

社会福祉学部
シラバス
Syllabus 2018

科目名: **英語 I**

担当者: Carlie Johnson(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: Students will improve their grammar, vocabulary, listening, speaking and pronunciation, reading and writing skills.

到達目標: (SBOs)
1) Students will be able to improve their reading skills by learning English grammar structures.
2) Students will improve their English communication skills through class activities.
3) Students will improve their listening skills through class activities.
4) Students will become more confident in their English abilities.

評価方法: 1) Their scores on tests and exams.
2) Attitude in class.

準備学習・履修上の注意等: 1) Bring English/Japanese dictionaries to class
2) Bring the textbook to class.

オフィスアワー: After classes.

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1-4)	unit1 Friends and Family	講義・演習	Carlie
2	1-4)	unit2 Jobs around the world	講義・演習	Carlie
3	1-4)	unit3 Houses and Apartments	講義・演習	Carlie
4	1-4)	Review of Units 1-3, Mini Test	講義・演習	Carlie
5	1-4)	unit4 Possessions	講義・演習	Carlie
6	1-4)	unit5 Daily Activities	講義・演習	Carlie
7	1-4)	unit6 Getting There	講義・演習	Carlie
8	1-4)	Review of Units 4-6, Mini Test	講義・演習	Carlie
9	1-4)	unit7 Free Time Activities	講義・演習	Carlie
10	1-4)	unit8 Clothes	講義・演習	Carlie
11	1-4)	unit9 Eat well	講義・演習	Carlie
12	1-4)	Review of Units7-9, Mini Test	講義・演習	Carlie
13	1-4)	unit10 Health	講義・演習	Carlie
14	1-4)	unit11 Making Plans	講義・演習	Carlie
15	1-4)	unit12 On the move	講義・演習	Carlie

教科書: WORLD ENGLISH INTRO Second Edition ISBN 978-1-305-08955-6

参考書: なし

科目名: 英語 I

担当者: 上田 留理(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: Students will be able to improve their reading, writing, listening, speaking skill and basic grammar by comprehending English materials regarding to cross-cultural issues.

到達目標: (SBOs) 1) Students will be able to improve reading skill by comprehending grammar/structure of English.
2) Students will be able to comprehend basic writing skill through translation practices.
3) Students will be able to improve English communication skill through class activities.
4) Students will be able to comprehend listening skill through dictation practices.
5) Students will be confident expressing their ideas and opinions in English.

評価方法: Total evaluation on class attitude, reports, and a comprehensive examination.

準備学習・履修上の注意等: Bring English/Japanese and Japanese/English dictionaries. Read assigned English material to prepare for the classes.

オフィスアワー: After classes

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)	Class introduction: thorough explanation of the course and expectations Writing self-introduction in English	講義・演習	上田
2	1)2)3)4)	Presentation of self-introduction in English	講義・演習	上田
3	1)2)3)4)	Unit 1 Given Name First Is Not the Rule in Many Places	講義・演習	上田
4	1)2)3)	Unit 1 Given Name First Is Not the Rule in Many Places	講義・演習	上田
5	1)2)3)	Unit 9 A Friendly Way to Greet Foreigners	講義・演習	上田
6	1)2)3)	Unit 9 A Friendly Way to Greet Foreigners	講義・演習	上田
7	1)2)3)	Cross-culture Study	講義・演習	上田
8	1)2)3)	Eight Steps Towards a More Satisfying Life	講義・演習	上田
9	1)2)3)	Unit 11 Japanese Animation Heroes Have Fans All Over the World	講義・演習	上田
10	1)2)3)	Unit 11 Japanese Animation Heroes Have Fans All Over the World	講義・演習	上田
11	1)2)3)	Unit 8 Forks, Chopsticks or Hands?	講義・演習	上田
12	4)5)	Unit 8 Forks, Chopsticks or Hands?	講義・演習	上田
13	4)5)	Walk to Remember—dictation practice and comprehension understanding	講義・演習	上田
14	1)2)3)	Walk to Remember—dictation practice and comprehension understanding	講義・演習	上田
15	1)2)3)4)5)	Review for the course	講義・演習	上田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **情報処理入門**

担当者: 井藤 英俊(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 情報処理の道具であるコンピュータに関する知識と操作方法を習得する。情報の入手、処理、発信といった情報処理は学生生活はもちろん、社会人になってからも必要不可欠なものである。コンピュータ用語なども幅広く知識を広げ、パソコン操作についてもWordやExcelのなどのソフトや画像処理、ファイルのバックアップなどについて快適に操作できるようになる。

到達目標: (SBOs) 1)LANの仕組みやセキュリティーの重要性を説明できる。
2)ファイルのバックアップについて、他メディアへの保存とクラウド保存ができる。ファイルのフォルダ階層について説明できる。
3)4)Wordで文書内にイラストを配置し、段組みなどのページレイアウトを設定できる。
4)Excelで表計算や集計ができる。セルの結合、表内の文字配置グラフ作成ができる。
5)ExcelでVLOOKUP関数を使えるようになる。またピボットテーブル機能を使いアンケート集計などデータ処理ができる。
6)Excelで作成した表やグラフをWordで活用できる。
7)PowerPointを使ってプレゼンテーションを作成できる。
8)画像の取り込みやサイズ変更、編集ができる。

評価方法: 毎回の講義で作成したファイルの評価を50%、まとめとして実施する小テストなどの確認課題を50%として総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: テキストは配布プリントを使用。パソコン操作はタイピングが不可欠。タイピングについては各自練習し、入力速度と正確さを身につけること。配布プリントは読み直して再度パソコンで操作すること。またシラバスをシラバスを確認して次の講義の用語や操作について調べておくこと。
テキストは配布プリントを使用。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日 12:30～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	ガイダンス インターネット接続とWebメール設定 Word2016入力の基礎 タブとインデント	講義・演習	井藤
2	3)	Word 文章入力と図形作成1 ワードアートで飾り文字を作る オンライン画像を使う	講義・演習	井藤
3	3)	Word 文章入力と図形作成2 文字の均等割り付けと表作成 フォント設定	講義・演習	井藤
4	7)	PowerPoint プレゼンテーション作成1 スライドの挿入とレイアウト	講義・演習	井藤
5	7)	PowerPoint プレゼンテーション作成2 アニメーション設定 スライドの表示 印刷設定	講義・演習	井藤
6	4)	表計算ソフトの基礎的な使い方 Excel2016の使い方を学ぶ・基礎編1 セルの選択と入力	講義・演習	井藤
7	4)5)	表計算ソフトの基礎的な使い方 Excel2016の使い方を学ぶ・基礎編2 行、列の削除、移動 グラフ作成	講義・演習	井藤
8	3)4)	WordとExcelのコラボレーション アンケート用紙の作成 Excelで作成した表をWordに図として貼付	講義・演習	井藤
9	8)	画像編集 フリーソフトで画像を編集・加工 写真を色鉛筆風や色つき版画風にする	講義・演習	井藤
10	3)	Wordで案内文を作成する 段落の網掛け セクション区切り 段組み	講義・演習	井藤
11	4)5)	Excel ピボットテーブル データの集計 検索と置換 並べ替え	講義・演習	井藤
12	4)5)	Excel ピボットグラフ ピボットテーブルからグラフを作成する	講義・演習	井藤

13	5)	Excel Vlookup関数1 検索値をもとに文字列を表示させる	講義・演習 井藤
14	5)	Excel Vlookup関数2 検索の方の違いを知る 近似値検索のTRUEと完全一致のFALSE	講義・演習 井藤
15	1)-8)	総まとめ WordやExcelなどこれまで学習したことを振り返り、課題作成 実習報告、論文作成に必要なパソコン力を発揮できるようにする	講義・演習 井藤

教科書： 使用しない。

参考書： 特に指定しないが、分からないパソコン用語や操作方法は、その都度インターネットで検索すること。

科目名: **情報処理入門**

担当者: 山内 利秋(葉・生)

配当学科: 臨床福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 大学生が講義や演習で様々な課題を作成出来るようになるための基礎的な作業や知識を習得していくプロセスを通じて、現代社会におけるICT(Information and Communication Technology)の意義について理解し、情報を収集・活用していくための能力を獲得していく事を目的とする。

到達目標: (SBOs)
1)ICTとは何かについて基本的に理解し、説明出来る。
2)情報の検索について理解し、運用出来る。
3)統計情報のような数値情報の分析方法を行える。
4)ファイル・データの管理を行い、情報の分類について理解出来る。
5)インターネットにおけるコミュニケーションを理解し、運用出来る。
6)視覚表現について理解する。
7)プレゼンテーションを理解し、実施出来る。

評価方法: 課題制作及び試験についてそれぞれ30%・70%の割合で評価する。

準備学習・履修上の注意等: メディアのリテラシーを習得しようとする真摯な態度が要求される。従ってテキスト及び課題に関わる予復習を最低1時間は行う事。また、アカウントを記載した用紙を無くさない事。1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	「コンピュータを構成しているモノとは何か」をテーマとしながら、情報通信技術と情報化が進行した今日の社会について考えていく。	講義	山内
2	1)4)	フォルダ・ファイルの種類や階層性を認識する事で、コンピュータにおける情報の分類について理解する。	講義	山内
3	1)5)	インターネットと今日のコミュニケーションについて理解する。	講義	山内
4	5)	メールのリテラシーを通じて、情報コミュニケーションの有効性・危険性について理解する。	講義	山内
5	4)	文章の形式や論理的構成を理解する。その1	講義	山内
6	4)	文章の形式や論理的構成を理解する。その2	講義	山内
7	3)	表計算やグラフ作成を行い、数値情報の分析について理解する。その1	講義	山内
8	3)	表計算やグラフ作成を行い、数値情報の分析について理解する。その2	講義	山内
9	6)7)	プレゼンテーション・発表の方法についての論理的方法を理解する。その1	講義	山内
10	6)7)	プレゼンテーション・発表の方法についての論理的方法を理解する。その2	講義	山内
11	2)	情報検索とは何かについて方法と技術を習得する。その1	講義	山内
12	2)	情報検索とは何かについて方法と技術を習得する。その2	講義	山内
13	7)	課題について調査し、まとめ、発表する。その1	演習	山内
14	7)	課題について調査し、まとめ、発表する。その2	演習	山内
15	7)	課題について調査し、まとめ、発表する。その3	演習	山内

教科書: 『学生のためのアカデミック情報リテラシーOFFICE2016対応』(阿部勘一) noa出版 【ISBN:978-4-908434-20-4】

参考書: 特になし。

科目名: **情報処理演習**

担当者: 山内 利秋(葉・生)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 社会の様々な課題を知り、さらにそれを解決する手段として情報メディアを使いこなす事はもはや必須となった。身近な問題が、地域社会さらには世界全体の問題とどのように関係しているのかを理解しつつ、それを解決するための一歩として、国土地理院による航空写真・宮崎県によるGISシステム・統計ソフト“R”を使用して基礎的な調査分析方法を学習し、自らが社会において主体的な行動を取れるようになる事を目指す。

到達目標: (SBOs) 1)社会で起こっている様々な課題と自らの生活空間・身近な社会における問題の関係性を理解し、説明出来る。
2)地域社会におけるコミュニケーションとメディアのあり方について理解し、具体的に説明出来る。
3)社会の課題を抽出し、それを理解するための調査方法を習得する。
4)統計解析用ソフトウェアの基本的な操作を習得する。
5)抽出した情報を分析し、説明する事が出来る。

評価方法: 発表・課題提出についてそれぞれ50%・50%の割合で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1.アカウントのログインをはじめ、基本的な使いこなしが出来ないと授業に全くついていけない。2.情報通信技術を自らの手で工夫して社会に対応出来るようにしようとする意欲を持っている事。グループまたは個人で考えながら作業を行なう部分が多く、コツコツと積み重ねる事が要求される。これらを意識して演習に活用出来る素材を予復習として集めてくる。

オフィスアワー: 火・水曜日2限、その他講義時間以外の在席時。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	グローカリゼーションと地域社会、身近な生活空間といったそれぞれのコミュニティにおける課題の存在を理解し、これを理解・解決していく事の重要性について理解する。	講義	山内
2	2)3)	自分の身の回りで発生している様々な課題を現象として捉えていく方法を、航空写真やGIS上にある情報から理解していく。その1	演習	山内
3	2)3)	自分の身の回りで発生している様々な課題を現象として捉えていく方法を、航空写真やGIS上にある情報から理解していく。その2	演習	山内
4	3)	身近な課題をとりあげ、それを解決するために、出来事のパターン化を行なう。その1	演習	山内
5	3)	身近な課題をとりあげ、それを解決するために、出来事のパターン化を行なう。その2	演習	山内
6	4)	統計解析ソフト“R”の基本的な操作方法を修得し、簡単な計算を行う。	演習	山内
7	4)	“Rコマンド”の基本的な操作方法を習得する。	演習	山内
8	4)	“R”を使ってデータの分類とまとめ方を習得する。	演習	山内
9	4)	“R”を使ってデータから推測する方法を習得する。	演習	山内
10	3)4)	調査手法を学ぶ。その1:アンケート調査について考え、デザインしてみる。	演習	山内
	3)4)	調査手法を学ぶ。その2:アンケートを集計してみる。	演習	山内
11	3)4)	調査手法を学ぶ。その3:“R”を使ってアンケートを分析してみるpart1。	演習	山内
12	3)4)	調査手法を学ぶ。その4:“R”を使ってアンケートを分析してみるpart2。	演習	山内
13	3)4)	調査手法を学ぶ。その5:分析結果から結論を導き出す。	演習	山内
14	3)4)	調査手法を学ぶ。その6:分析結果から結論を導き出す。	演習	山内
15	3)4)			

教科書: 特になし。

参考書: 『はじめてのR ごく初歩の操作から統計解析の導入まで』(村井潤一郎)【978-4-7628-2820-1】
『フリーソフト「R」ではじめる心理学統計入門』(実吉綾子)【978-4-7741-5431-2】

科目名: **キャリア教育**

担当者: 日田 剛(福・福)、外部講師

配当学科: スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 激動する社会の中で活躍していくためには、「意欲を持ち、考え、協同する力」が求められている。そのため学生は早期に将来の自分像を描き、大学で何を学び、学生生活をいかに送るかを考えることが重要である。
本科目は、①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力、といった3つの力と、これらを構成する「主体性」「課題発見力」「発信力」などの12の具体的な能力要素からなる「社会人基礎力」を高めることを目標とする。

到達目標: (SBOs) 1)科目のねらい、意義が理解できる。
2)現在の社会情勢を身近な問題から、広い視点での問題まで理解できる。
3)「社会人基礎力」の必要性、その内容を理解できる。
4)自分自身を知ること、目指すべき将来像を考えることができる。
5)仕事に必要な最低限の技術を接遇を通して理解できる。
6)日常生活の潜在危険性とその意対処法を理解できる。
7)グループでのディスカッションを通じて問題解決過程を経験し、「考え抜く力」を高める。
8)テーマに沿った活動をチームで行うことにより「チームで働く力」を高める。
9)卒業生面談会で得た学びを振り返り、自らの言葉で説明できる。
10)卒業生面談会で得た学びを、今後の生活に活かすために体系化できる。
11)自分のキャリア形成について具体的に描くことができる。
12)今後のキャリア形成について、相手にわかりやすく伝えることができる。

評価方法: 定期的なレポートと期末試験で総合的に評価。レポート10点×5回(50点) 期末試験(50点)

準備学習・履修上の注意等: 外部講師に失礼な態度をとらないこと。

オフィスアワー: 授業時間以外でキャリア教育支援室に在室であればいつでも可。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)		講義	日田
2	2)		講義	日田
3	3)	この科目を学習する目的を考える。	講義	日田
4	3)	自分を取り巻く社会環境を理解する。	講義・演習	日田
5	4)	社会人基礎力がどのように構成されているのか具体的に把握する。	講義・演習	外部講師
6	5)	社会人基礎力について、自らに当てはめて理解する。	講義	外部講師
7	6)	自己理解、他者理解について学ぶ。	講義	外部講師
8	7)	自らのキャリア形成について考える。	講義・演習	日田
9	8)	仕事するうえで必要な環境について考える。	演習	日田・外部講師
10	9)	グループに分かれて卒業生講演会に向けて質問事項を考える。	講義・演習	日田
11	9)	卒業生講演会に参加する。	講義・演習	日田
12	10)	卒業生講演会での学びを振り返り、グループで発表する。	講義・演習	日田
13	11)	卒業生講演会での学びを振り返り、グループで発表する。	講義	外部講師
14	11)	卒業生講演会を通して、個人で得た学びを整理する。	講義・演習	日田
15	12)	職場における問題点について考える。	講義・演習	日田
		自らのキャリアデザインを視覚化する。		
		自らのキャリアデザインについてグループ内で発表する。		

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない

科目名: コミュニケーション論

担当者: 清水 径子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習・講義

授業概要: 社会が求める能力の一つに「コミュニケーション力」が挙げられています。コミュニケーション論では、保健・福祉・医療など幅広い現場における人と人とが顔を合わせて行う対面的なコミュニケーション能力及び文書作成による伝達能力を育成することを目的としています。授業内容は基礎的な敬語及びマナーを学習し、様々な相手や場面に応じた基本的なコミュニケーション技術、援助的態度に必要なコミュニケーション能力についての講義形式および(グループ)ワーク形式で実施します。

到達目標: (SBOs) 1)社会が求めるコミュニケーションとは何かを考え、説明できる。
2)テキストを読み、自分の意見を書くことができる。
3)基礎的な敬語・マナーを用いることができる。
4)自分自身の物の見方や価値観に気付き、他者との違いを知る。
5)様々な相手や場面に応じた適切な言葉遣いができる。
6)相手に伝わる話し方を考え、実践できる。
7)相手の話を聴くための方法を考え、実践できる。
8)人間関係づくりのための演習に積極的に参加する。

評価方法: 授業態度及び課題提出状況を50%、筆記テストを50%として評価する。

準備学習・履修上の注意等: 原則、遅刻・欠席をしない。授業開始時に基本的な敬語のテストを行う。また、授業後には課題に取り組み、提出期限を厳守すること。

オフィスアワー: 授業の前後、それ以外は研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)5)	オリエンテーション 社会問題となっているコミュニケーション不足について 敬語: 自己紹介・挨拶・質問・返答の方法	講義・演習	清水
2	1)2)3)5)	コミュニケーション力低下の背景 敬語: 理解・確認・接客・取次 課題①: コミュニケーションが減少した背景をまとめなさい。	講義・SGD	清水
3	1)2)3)5)	コミュニケーションのメカニズムを理解する。 敬語: 電話のかけ方・受け方	講義・SGD	清水
4	1)3)5)	コミュニケーションの常識、非常識を考える。 敬語: Eメール・手紙 課題②: コミュニケーションとは何かまとめなさい。	講義・演習	清水
5	1)2)3)6)8)	相手に伝わる言語表現について理解し、考えることができる。 敬語: 報連相・ビジネス用語	講義・SGD	清水
6	1)2)3)7)8)	相手の伝えたいことを聴く力について理解する。 敬語: 内と外との関係・アポイントメントをとる 課題③: 事例を読み、会話の中で気を付けることをまとめなさい。	講義・SGD	清水
7	3)4)5)8)	自己覚知をし、他者との違いを学ぶ。 敬語: 取引先への訪問・面会	講義・SGD	清水
8	3)4)5)8)	他者との価値観の違い、自分自身の価値観への気づきが促される。 敬語: 相互理解・謝罪・案件の保留 課題④: コミュニケーションを図る際に自己覚知する理由をまとめなさい。	講義・SGD	清水
9	1)3)5)8)	社会人として必要な基礎的なコミュニケーションの常識や技術を学ぶ。 敬語: お礼・お断り・携帯電話のマナー	SGD	清水
10	3)4)5)6)8)	話し方、聞き方の自分の特徴について知る。 敬語: 接待・クレーム対応 課題⑤: 話し方、聞き方の自分の特徴をまとめなさい。	講義・演習	清水
11	3)5)6)7)8)	双方向コミュニケーションの重要性について学ぶ。 敬語: 冗長表現	講義・SGD	清水
12	3)5)6)7)8)	様々なコミュニケーション方法を知り、表現方法の多様さを学ぶ。 敬語: 社内での会話・ひとの呼称 課題⑥: 多様なコミュニケーション方法についてまとめなさい。	講義・SGD	清水

- | | | | |
|----|---|-----|----|
| 13 | 3)5)6)7)8) 学校や職場での人との交流について考え、人とのつきあい方を学ぶ。
敬語:ものの呼称・社会人のマナー | SGD | 清水 |
| 14 | 3)5)6)7)8) 相談される場面でのコミュニケーション方法を学ぶ。
敬語:社会人のマナー②・配慮のある一言
課題⑦:事例を読み、相談を受けた時に気を付けることをまとめなさい。 | SGD | 清水 |
| 15 | 3)5)6)7)8) まとめ 様々な場面に応じた言葉遣いに関して再確認する。
敬語:日常会話・冠婚葬祭 | SGD | 清水 |

教科書: コミュニケーション力～人間関係づくりに不可欠な能力(渡邊忠・渡辺三枝子)一般社団法人雇用問題研究会【978-4-87563-259-7】

参考書: 使用しない。

科目名: **コミュニケーション論**

担当者: 佐藤 豊子(非常勤講師)

配当学科: 作業療法学科・言語聴覚療法学科・視機能療法学科・臨床工学科・動物生命薬科学科・生命医科学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: ・コミュニケーションの意味や重要性など、コミュニケーションに関する基本的な知識を学ぶ。
・日常的なコミュニケーションのあり方を見直す。
・グループワークや、実習をとおして、コミュニケーション能力向上の方法を学ぶ。
・実践的なビジネスマナーや社会的常識を学ぶ。

到達目標: 1)コミュニケーションの重要性を理解できるようになる。
(SBOs) 2)実習や就職に有利なコミュニケーション能力を身につける。

評価方法: 講義中に随時求めるレポート、小テスト、受講態度を総合して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 適宜、授業の進捗状況を勘案しながら振り返りを行い、レポート等を活用しながらフィードバックを行いますので、予習・復習を学修準備を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション	講義	佐藤
2	1)	自己理解	講義	佐藤
3	2)	接遇の基本について学ぶ-挨拶・表情	講義	佐藤
4	2)	接遇の基本について学ぶ-身嗜み	講義	佐藤
5	2)	接遇の基本について学ぶ-言葉遣い(敬語の正しい使い方)	講義	佐藤
6	2)	接遇の基本について学ぶ-話し方・聞き方・電話対応	講義	佐藤
7	2)	接遇の基本について学ぶ-態度(身のこなし)	講義	佐藤
8	2)	相手に対する気配りについて学ぶ(配慮)	講義	佐藤
9	2)	ビジネスマナー	講義	佐藤
10	2)	ビジネスマナー	講義	佐藤
11	2)	事例研究	講義	佐藤
12	2)	事例研究	講義	佐藤
13	2)	医療福祉現場でのコミュニケーション	講義	佐藤
14	2)	医療福祉現場でのコミュニケーション	講義	佐藤
15	2)	まとめ	講義	佐藤

教科書: 使用しません。

参考書: 使用しません。

科目名: QOLと人間の尊厳

担当者: 園田 徹(作業)

配当学科: 社会福祉学部・保健科学部・動物生命薬科学科(1年)

必修・選択: 必修※視能及び動 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義SGD

授業概要: 他の人と共存して生きる人間のよりよい人生とは何かを、「QOL」と「人間の尊厳」の二つの観点から学ぶ。病気や障がいを持ちながら人生を全うすることの意味を知ることが、社会人としての基本的な態度を形成する上で重要である。「QOL」では、健康・疾病・障がいの関連をもとに「より良い人生」とは何かを理解するために、言葉の持つ意味を中心に人生や生活におけるquality(質)を科学的・構造的に考えるための基礎知識を修得する。「人間の尊厳」とは、どのような概念であろうか?例えば、「尊厳死」とは本人の人生観に基づいて延命治療を行わないことである。この事例のように、医療・福祉に携わる私たちは、本人の人生観を自分の基準とは異なるものとして否定しないこと(人間の尊厳)が特に求められる。「人間の尊厳」では、人間の尊厳を守ることができる人となるために、他人の価値観を否定せず容認する考え方を習得する。

到達目標: 1)QOLの言葉の意味を説明できる。
(SBOs) 2)人生や生活における「質」について説明できる。
3)医療・福祉の担い手として、社会のニーズに常に目を向け、QOLとその問題点を説明できる。
4)医療・福祉の担い手として、ふさわしい態度を示す。
5)自らの体験を通して、QOLの重要性を考える。
6)人の誕生、成長、加齢、死の意味を概説できる。
7)医療・福祉に関わる倫理的問題を列挙し、その概略と問題点を説明できる。
8)医療・福祉の担い手として、社会のニーズに常に目を向け、その概要と問題点を説明できる。
9)医療・福祉の担い手として、ふさわしい態度を示す。
10)自らの体験を通して、生命の尊さについて討議する。

評価方法: 受講態度および講義中に行うディスカッションによって評価(100%)する。

準備学習・履修上の注意等: 毎回の授業の前後、週末および長期休暇期間を使って、計29時間の自己学習を行うこと。授業の順番は入れ替わることがある。また、教材が変更されることもあるので注意すること。

オフィスアワー: 毎週月・火曜日の18:00~19:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	2)	人間の尊厳と教育を考える	講義 SGD	園田
2	4)7)	性の違いから人間関係を考える(性ホルモンと人間の行動)	講義 SGD	園田
3	4)	人間の尊厳を保つための仕事を考える(動物園飼育係)	講義 SGD	園田
4	3)4)7)	人間が尊厳を持って生きることを考える(サヘル)	講義 SGD	園田
5	1)3)6)7)8)9)	人の尊厳とQOLから認知症を考える(アルツハイマー)	講義 SGD	園田
6	1)2)3)4)6)	QOLと生きがいのある人生を考える(日本式おもてなし)	講義 SGD	園田
7	1)2)3)4)7)9)	QOLと女性たちの貧困を考える(女性の貧困)	講義 SGD	園田
8	1)2)3)5)	QOLと感情のコントロールを考える(感情のコントロール)	講義 SGD	園田
9	1)2)4)7)	障害を人間の尊厳とQOLから考える(サリドマイダー)	講義 SGD	園田
10	3)4)6)7)	立場の違いから人間の尊厳を考える(Sicko)	講義 SGD	園田
11	2)3)4)	共に支えあう人間の尊厳を考える(日本赤十字社)	講義 SGD	園田
12	3)9)10)	人間の尊厳を保つために必要な自己コントロールを考える(水谷:ドラッグ)	講義 SGD	園田
13	2)6)	たばこの害について	講義 SGD	園田
14	1)2)3)	QOLを考える	講義 SGD	園田
15	6)7)8)9)10)	人間の尊厳を考える	講義 SGD	園田

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: 日向国地域論

担当者: 横山 裕(福・福)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・子ども保育福祉学科・作業療法学科・言語聴覚療法学科・視機能療法学科・臨床工学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 九州保健福祉大学はその設立より延岡市を始めとして宮崎県北部地域に密着した大学として発展してきた。本講義を通してこの発展をさらに良きものとし学生が地域とより深く交流するための推進力を身につけることを目標とする。

到達目標: (SBOs) 1)地域の歴史や文化について説明できる。
2)地域に期待される大学像を知る。
3)地域における男女の生き方について説明できる。
4)地域の災害の歴史と現在の危機管理について説明できる。
5)地域における一次産業とその文化について説明できる。
6)地域の産業とまちづくりについて説明できる。
7)地域の医療・保健と健康政策について説明できる。
8)地域の暮らしと福祉の歩みについて知る。
9)地域の観光と娯楽の変遷について知る。

評価方法: 毎講義後の提出物の評価によって行う。

準備学習・履修上の注意等: 外部講師にご講義いただくので礼を失することのない受講態度で臨むこと。

オフィスアワー: 毎週月?金16:00?17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~8)	これまでの講義概要を理解し、地域について知ることの意義を理解する。	講義	横山
2	1)	宮崎県北地域に伝わる神話や今日にいたる様々な歴史について理解する。	講義	横山・外部講師
3	2)	本学設立の経緯や本学に対する地域の人々の思いと期待を知り、本学で学ぶことの意味を理解する。	講義	横山・外部講師
4	4)	県北地域が経験した災害とそれに対処してきた歴史を知り、蓄積された先人の知恵と現在の対応を知る。	講義	横山・外部講師
5	5)	県北地域の一次産業の歴史と現状を知り、それが育んできた豊かさを理解する。	講義	横山・外部講師
6	6)	企業城下町としての延岡市の歴史を知り、それとともに発展してきた街作りについて理解する。	講義	横山・外部講師
7	7)	県北地域で行われてきた健康に関する様々な実践活動について知る。	講義	横山・外部講師
8	7)	地域で暮らす人々の生活について知り、そこで展開される福祉政策について理解する。	講義	横山・外部講師
9	1)6)	県北地域の観光資源について知り、それを活かした街作り活動の現状を理解する。	講義	横山・外部講師
10	1)	県北地域の教育について知り、地域の人材育成がどのように実践されているのかを理解する。	講義	横山・外部講師
11	8)	県北地域の行政の現状を知り、様々な問題に対してどのような取り組みがなされているのかを理解する。	講義	横山・外部講師
12	1)	高千穂神社の歴史を古文書を通して理解し、そこで語り継がれてきた神話について知る。	講義	横山・外部講師
13	3)	県北地域の男女共同参画事業について知り、地域における男女の暮らしのあり方について理解する。	講義	横山・外部講師
14	1)	県北地域で行われている新能について知り、それが市民共同運動へと発展して行った経緯について理解する。	講義	横山・外部講師
15	1)~8)	講義を通じて学んだことをふりかえり各自が地域について考えたことをまとめる。	講義	横山

教科書: 必要に応じて別途指示する。

参考書： 必要に応じて別途指示する。

科目名: **国際保健福祉論**

担当者: 秋葉 敏夫(福・福)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・子ども保育福祉学科・作業療法学科・言語聴覚療法学科・視機能療法学科・臨床工学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 日本の保健・福祉の問題を考える場合に、多角的な視点を持つ必要がある。そのためには国内ばかりでなく、世界の保健や福祉の状況を学ばなければならない。本講義では、主に途上国の保健・福祉の問題を、政治、経済、教育、歴史的観点から学びを深めていく。これにより、国内の保健・福祉の問題をより幅広く考えることができるようになる。また、世界的に重要な感染症についても基本的な知識も得ることができる。

到達目標: (SBOs) 1)健康の定義、福祉の定義を説明できる
2)経済と保健の関係について説明できる。
3)リプロダクティブヘルスの観点から人口問題を考えることができる。
4)途上国の小児保健の状況及び問題点を述べるができる。
5)途上国の保健分野における援助機関の活動内容が説明できる。
6)プライマリーヘルスケアの出現に至る歴史的過程を述べるができる。
7)世界の主要な感染症に対して概略を説明できる。

評価方法: 毎回講義の後に提出する小テストの内容(50%)と、学期末に課される課題レポート、もしくは期末テストの点数で(50%)総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 講義中に質問をするので、積極的に意見を述べる。自らの頭で考えることが要求される。資料を配布するので、その内容を1時間以上かけてよく復習し、要点、疑問点を整理しておくこと。

オフィスアワー: 水・木・金曜日12:30から13:00まで

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	講義概要の説明、健康の定義、福祉の定義に関する諸説を紹介	講義	秋葉
2	2)	世界の貧困の状況、貧困と保健はどんな関係?	講義	秋葉
3	3)	人口問題の意味するところ、それに対してどんな対策がとられているのか?	講義	秋葉
4	4)	途上国の子供はどんな原因で、どれほど亡くなっているのか?	講義	秋葉
5	5)	世界保健機関(WHO)は途上国の保健にどのように貢献しているのか?	講義	秋葉
6	6)	人類はいつから保健というものを意識するようになったのか?	講義	秋葉
7	6)	感染症は人類の歴史にどのように影響してきたのか?	講義	秋葉
8	6)	プライマリーヘルスケアはなぜ考え出されたのか?	講義	秋葉
9	6)	プライマリーヘルスにどんな問題があるのか?	講義	秋葉
10	7)	エイズの現状、この病気の何が問題なのか?	講義	秋葉
11	7)	マラリアってどんな病気?	講義	秋葉
12	7)	結核は自分に関係のない病気なの?	講義	秋葉
13	7)	インフルエンザはなにが問題なの?	講義	秋葉
14	7)	肝炎ウイルスは何種類あるの?	講義	秋葉
15	7)	他の主要な感染症を紹介	講義	秋葉

教科書: 使用しない。必要に応じて資料を提供する。

参考書: 使用しない。

科目名: ボランティア活動

担当者: 山崎 きよ子(福・福)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・子ども保育福祉学科・作業療法学科・言語聴覚療法学科・視機能療法学科・臨床工学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義及び活動

授業概要: ①活動を通して地域住民とふれあい、住民がなぜボランティア活動するのかその意味を説明することができる。
②ボランティア活動を自ら行うことにより、ボランティアの意義と意味について自ら考察し実践することができる。
③今後の社会の中でボランティアはどう位置付けられるのかを考察し説明することができる。

到達目標: (SBOs) 1)ボランティアがなぜ授業科目に取り入れられたのかを学び、本講義の意義を理解できる。
2)実際の活動までのルールがわかり実践することができる。
3)様々なボランティアを理解し、ともに活動できる。
4)ボランティアを実践、また企画運営している社会人などと交流し他世代の価値観を知る。
5)社会的マナーを理解し、契約(約束)を守る。
6)報告書を適切にわかりやすく、正確に書く事ができる。
7)薬学教育モデル、コアカリキュラムとの対応ができる。
8)対人援助の基礎として社会福祉実践を念頭に置きながら活動することができる。

評価方法: 評価は出席による評価30%、活動内容、報告書を70%にする。活動内容、報告者の関しての第1次評価者は各学部ボランティアセンター担当教員、評価をまとめ入力するのは副ボランティアセンター長とする。

準備学習・履修上の注意等: 最初の3コマはオリエンテーション、ボランティア活動を行うための心得や社会的マナーなどの指導、ボランティアコーディネーター実践者からの講話、記録についてなどを座学で学ぶ。その後5月から翌年1月末までの間で10回程度のボランティアを実践し報告書を作成する。ボランティアを行う事については内容や団体などに一定の基準を設ける。ボランティアを実施する場合は大学が認定したものに限る。後期最初に夏休み終了までの実践状況を把握するための授業を実施する。後期の最後に到達目標に関する試験を実施する。

オフィスアワー: 要確認

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	・授業目標説明 ・単位認定方法の説明 ・実習センターの見学 ・ボランティア掲示板の確認 ・学生の連絡先の確認 ・学生の自己紹介書提出	講義	山崎
2	3)	ボランティア実践事例を通し、ボランティアの内容を具体的に学ぶ。	講義	山崎
3	2)4)	ボランティアを実践するためのルールを学ぶ。社会と接する際のマナーを実践的に学ぶ。	講義	山崎
4	5)	ボランティア実践	講義	山崎
5	6)	ボランティア実践	講義	山崎
6	2)~6)	ボランティア実践	実践	山崎
7	2)~6)	ボランティア実践	実践	山崎
8	2)~6)	ボランティア実践	実践	山崎
9	2)~6)	ボランティア実践	実践	山崎
10	2)~6)	ボランティア実践	実践	山崎
11	2)~6)	ボランティア実践	実践	山崎
12	2)~6)	ボランティア実践	実践	山崎
13	2)~6)	ボランティア実践	実践	山崎
14	2)~6)	ボランティア実践	実践	山崎
15	2)~6)	ボランティア実践	実践	山崎

教科書: 講義時に配布するプリントなどを使用する。

参考書: 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: **英語コミュニケーション**

担当者: Carlie Johnson(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習

授業概要: Students will improve their English ability including listening, speaking, writing, reading and pronunciation skills.

到達目標: 1) Students will improve their English comprehension through learning grammar structures.
(SBOs) 2) Students will improve their English communication skills through class activities.
3) Students will improve their listening skills.

評価方法: Total evaluation on class attitude and tests.

準備学習・履修上の注意等: 1) Bring English/Japanese dictionaries to class
2) Bring the textbook to class.

オフィスアワー: After classes.

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1-3)	unit1 People	講義・演習	Carlie
2	1-3)	unit2 Work, Rest, Play	講義・演習	Carlie
3	1-3)	unit3 Going Places	講義・演習	Carlie
4	1-3)	Review of Units 1-3, Mini Test	講義・演習	Carlie
5	1-3)	unit4 Food	講義・演習	Carlie
6	1-3)	unit5 Sports	講義・演習	Carlie
7	1-3)	unit6 Destinations	講義・演習	Carlie
8	1-3)	Review of Units 4-6, Mini Test	講義・演習	Carlie
9	1-3)	unit7 Communication	講義・演習	Carlie
10	1-3)	unit8 Moving Forward	講義・演習	Carlie
11	1-3)	unit9 Types of Clothing	講義・演習	Carlie
12	1-3)	Review of Units7-9, Mini Test	講義・演習	Carlie
13	1-3)	unit10 Lifestyles	講義・演習	Carlie
14	1-3)	unit11 Achievements	講義・演習	Carlie
15	1-3)	unit12 Consequences	講義・演習	Carlie

教科書: WORLD ENGLISH 1 Second Edition ISBN 978-1-305-08954-9

参考書: なし

科目名: **英語コミュニケーション**

担当者: Carlie Johnson(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習

授業概要: Students will improve their English ability including listening, speaking, writing, reading and pronunciation skills.

到達目標: 1) Students will improve their English comprehension through learning grammar structure.
(SBOs) 2) Students will improve their English communication skills through class activities.
3) Students will improve their listening skills.

評価方法: Total evaluation on class attitude and tests.

準備学習・履修上の注意等: 1) Bring English/Japanese dictionaries to class
2) Bring the textbook to class.

オフィスアワー: After classes.

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1-3)	unit1 People	講義・演習	Carlie
2	1-3)	unit2 Work, Rest, Play	講義・演習	Carlie
3	1-3)	unit3 Going Places	講義・演習	Carlie
4	1-3)	Review of Units 1-3, Mini Test	講義・演習	Carlie
5	1-3)	unit4 Food	講義・演習	Carlie
6	1-3)	unit5 Sports	講義・演習	Carlie
7	1-3)	unit6 Destinations	講義・演習	Carlie
8	1-3)	Review of Units 4-6, Mini Test	講義・演習	Carlie
9	1-3)	unit7 Communication	講義・演習	Carlie
10	1-3)	unit8 Moving Forward	講義・演習	Carlie
11	1-3)	unit9 Types of Clothing	講義・演習	Carlie
12	1-3)	Review of Units7-9, Mini Test	講義・演習	Carlie
13	1-3)	unit10 Lifestyles	講義・演習	Carlie
14	1-3)	unit11 Achievements	講義・演習	Carlie
15	1-3)	unit12 Consequences	講義・演習	Carlie

教科書: WORLD ENGLISH 1 Second Edition ISBN 978-1-305-08954-9

参考書: なし

科目名: 中国語 I

担当者: 登坂 学(保・工)

配当学科: 臨床福祉学科、スポーツ健康福祉学科、子ども保育福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 我が国にとって中国は、歴史的に見れば文化的に多大な恩恵を受けた親兄弟ともとれる親しみのある国である。しかし不幸な時代を経てようやく関係が修復したのもつかの間、経済力をつけた強大な中国は、いまや外交的にみれば極めて手ごわい交渉相手として我々の前に立ちはだかっている。国民の中国に対するイメージも悪化している。こういう時こそ敢えて中国を研究してみよう。大切なのは、気に入らないからと言って、引越すことはできないということ。国と国との関係はさておいて、どんな時でも人と人との顔の見える交流は大切にしないとけない。それが未来の日中関係を作る基礎だからだ。学生諸君には将来ぜひとも自分の可能な範囲で草の根交流を担ってほしい。これがこの授業を貫く担当者の願いである。

この授業では中国語の「はじめの一步」を、日常的によく使用する簡潔な表現に絞って学んでいく。この15回の授業内容を理解し運用できれば、ほぼ中国語検定「準4級」レベル(必要単語数500語)をマスターしたことになる。すなわち、中国語圏を旅行する際に必要となる基礎的な意思伝達が可能となるであろうし、地域に住む中国系の方々と本学留学生との片言の中国語を交えた会話を通じて、異文化交流を進めるきっかけをつくることもできるだろう。中国語のカラオケにも挑戦だ!

- 到達目標: (SBOs)
- 1)語彙力・・・日常会話で使用頻度の高い基礎500語をマスターし、運用できる。
 - 2)聴き取り能力・・・挨拶や決まり文句、数字(値段、時間、電話番号、郵便番号 等)を聴き取り、筆記することができる。ピンインを中国語に変換することができる。
 - 3)発音・会話能力・・・挨拶や決まり文句を中心に、観光旅行や日常に応用できる基本的な例文をマスターし、口頭で表現できる。
 - 4)読解力・・・決まり文句や旅行会話、日常会話の短い例文の意味を正しく捉え、和訳することができる。
 - 5)作文・文法力・・・決まり文句や旅行会話、日常会話の短い例文(日本語)を中国語に翻訳できる。
 - 6)中国理解・・・歴史、政治、経済、文化はもとより、中国人の日常生活に興味を持ち、中国をより客観的に理解することができる。

評価方法: 出席状況、受講態度及び毎授業冒頭に行う小テスト(40%)＋期末試験の成績(60%)で総合的に評価する。

- 準備学習・履修上の注意等:
- 1)道具としての語学だけでなく、中華文化圏の様々な事象に興味を持ち「何でも見てやろう」という好奇心および遊び心を持つこと。
 - 2)予習・復習で単語や例文をコツコツおぼえ、使えるようにする努力を厭わないこと。(最低1時間必要)
 - 3)本科目は直接的には免許・資格等に関係しない。そのため毎年「時間潰し」目的で聴講する学生も存在する。そのような中途半端な気持ちで中国語を選択するとついていくことが困難となり、ドロップアウトの危険性が高くなる。この点を熟慮のこと。
 - 4)後期の中国語Ⅱを履修するには、まず入門レベルであるこの科目(中国語Ⅰ)の単位を取得していることが前提となるので注意されたい。

オフィスアワー: 火曜12:30-13:00、水曜12:30-13:00、木曜12:30-13:00。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
	1)2)3)4)5)6)			
1	1)2)3)4)5)6)	【ウォーミングアップ: 授業の進め方、アンケート、中国の基礎知識、中国語の発音(1)】 自分の中国に関する知識および興味を確認できる。中華人民共和国およびその社会の基礎的事項、中国語圏の広がりについて説明できる。中国語の四声および母音を発音できる。ピンインとは何か説明できる。	講義・レッスン	登坂
2	1)2)3)4)5)6)	【ウォーミングアップ: 中国語の発音(2)】 前回に続き発音の基本を習得する。母音、複合母音、子音を練習し、正確に発音できるようになる。	講義・レッスン	登坂
3	1)2)3)4)5)6)	【第1課: ?是中国人?? あなたは中国人ですか?】 大きな声であいさつができ、自分の名前を中国語の発音で言え、「我姓～」の語法を使いながら自己紹介ができるようになる。次いで英語のbe動詞に相当する「是」の用法を学ぶことにより「わたしは～です」等を口頭で表現でき、単語を置き換えつつ肯定、否定、疑問の対話ができるようになる。	講義・レッスン	登坂
4	1)2)3)4)5)6)	【第2課: ?是什?? これは何ですか?】 引き続き「是」の用法に習熟する。「これは何ですか?」「これは～です。」「これは誰の○○ですか?」「これは△△君の○○です」等疑問文とその応答の表現ができるようになる。	講義・レッスン	登坂
5		【第3課: ?去?儿? どこへ行きますか?】 動詞の「去」を使って「どこへ行きますか?」「○○へ行きます」等の表現、動詞の		

1)2)3)4)5)6)	「有」を使って「あなたは〇〇がありますか?」「私は〇〇があります」等の対話ができるようになる。	講義・レッスン	登坂
6 1)2)3)4)5)6)	【第4課: ?个包多少?? このバッグはいくらですか?】 「いくらですか?」「〇〇円です」等、買い物をする時に役に立つ決まり文句と値段の表現を活用できるようになる。物の数を数えるときに使う量詞、ものを指し示す指示代名詞、基本的な形容詞の用法も学び使えるようになる。	講義・レッスン	登坂
7 1)2)3)4)5)6)	【第5課: ??上有事?? あなたは夜用事がありますか?】 予定をたずねる表現のほか、数字の読み方を覚え、実際に言えるようになる。数字を使った日付や時刻等の表現も理解し運用できるようになる。	講義・レッスン	登坂
8 1)2)3)4)5)6)	【第6課: ?吃?? 食事は済みましたか?】 日常の挨拶でもあり良く使われる「食事は済みましたか?」の表現を軸に、完了を表す「了」の用法、所在を表す「在」、願望「～したい」を表す「想」の用法を学び使えるようになる。	講義・レッスン	登坂
9 1)2)3)4)5)6)	【第7課: ?家有几口人? ご家族は何人ですか?】 場所を表す「在」「?」等の介詞の用法、存在を表す「有」反復疑問文等の用法を学び口頭で表現できる。家族の続柄もマスターしよう。	講義・レッスン	登坂
10 1)2)3)4)5)6)	【第8課: ?从几点?始打工? 何時からアルバイトを始めますか?】 〇年、〇カ月など、時間量を表す言い方、「～しなければならない」を表す助動詞の「得」、時間や場所の起点を表す介詞の「从」の用法をマスターし運用できる。	講義・レッスン	登坂
11 1)2)3)4)5)6)	【第9条: ?去?美国?? あなたはアメリカに行ったことがありますか?】 過去の経験を表す「?」、強調を表す「是～的」、介詞の「跟」「?」等の表現を理解し口頭で表現できる。	講義・レッスン	登坂
12 1)2)3)4)5)6)	【第10課: ?会唱歌儿?? あなたは歌を歌えますか?】 助動詞の「能」「会」、動作の様態を表現する結果補語の「得」、動詞を重ねることによって軽いニュアンスを表す言い方等に注目し、口頭で表現できるようになる。	講義・レッスン	登坂
13 1)2)3)4)5)6)	【第11課: ?在干什?? あなたは何をしていますか?】 動作の進行を表す「在～?」、「～しに行く」「～しに来る」の表現、選択疑問の「?是」、目的語を文頭に出す強調表現等に習熟し運用できる。	講義・レッスン	登坂
14 1)2)3)4)5)6)	【第12課: 祝?旅途愉快! 楽しいご旅行を! 自己紹介のスピーチ、総復習】 比較の表現、「的」の用法、二つの目的語をとる動詞、目的語が主述句となる表現について学び、口頭表現できるようになる。テキストの自己紹介文例を参照し、自己紹介の基本的表現を学び、自分の自己紹介文を考えることができる。これまで学んだ表現や文法事項、単語等が定着しているか確認できる。	講義・レッスン	登坂
15	【中国映画鑑賞によるヒアリング鍛錬】 中国映画の視聴をつうじて、中国人の思考法や人間関係の在り方を知ることができ、また劇中にすでに学んだ挨拶や決まり文句、基本的な表現等が出てくることに気づき、半期の中国語学習による効果を確認できる。	視聴	登坂

教科書: 最新2訂版「中国語 はじめの一步」竹島金吾 監修、尹・竹島 著、白水社【ISBN978-4-560-06925-7】

参考書: 辞書の指定はしない。しかし最近の電子辞書には中国語辞書(音声つき)がインストールされているものが多いので、これがあると学習が楽しくなるだろう。また、スマートフォンにも様々な中国語入力アプリや辞書アプリがある。試してみるのも良いだろう。

科目名: 中国語Ⅱ

担当者: 登坂 学(保・工)

配当学科: 臨床福祉学科、スポーツ健康福祉学科、子ども保育福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 前期(入門レベル)を引き継ぎ、中国語圏を旅行したり、これらの地域の人々と交流するために必要なコミュニケーション能力をさらに向上させる。このレベルをマスターすることで、受講生は旅行におけるサバイバル中国語から、日常会話能力へのステップアップを実現できる。具体的には、中国語検定4級(必要単語数1,000語)のレベルへの到達を目標とする。

到達目標: (SBOs) 1)語彙力…日常会話で使用頻度の高い基礎1,000語をマスターし、運用できる。
2)聴き取り能力…簡単な会話を聴き取り、筆記することができる。例文のピンインを中国語に変換することができる。
3)発音・会話能力…中国人旅行者や留学生と簡単な会話でコミュニケーションをとることができる。中国個人旅行が楽しめる。
4)読解力…簡単な日常会話を楽しむうえで必要な基本例文の意味を正しく捉え、和訳することができる。
5)作文・文法力…日常会話の短い例文(日本語)を中国語に翻訳できる。
6)中国語圏の理解…歴史、政治、経済、文化はもとより、中国人の日常生活に興味を持ち、中国をより客観的に理解することができる。

評価方法: 出席状況、受講態度及び毎授業冒頭に行うミニクイズ(40%)＋期末試験の成績(60%)で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 前期と同様、できるだけ多くの時間を発音練習と聴き取りに費やし、表現をより豊かなものにしていく。中国語圏の若者文化に親んでもらえるような各種資料(映像・音響資料を含む)も継続して紹介する。真に中国を理解したい学生の参加を求む。(予習・復習は毎回最低1時間必要)

※本科目は前期に実施した中国語Ⅰの単位を取得した学生が対象である。中国語Ⅰの単位を未取得の学生は受講できないので注意されたい。

オフィスアワー: 火曜12:30-13:00、水曜12:30-13:00、木曜12:30-13:00。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)5)6)	「ちょっと～だ。」「いささか～だ。」を表す「有点兒」を用いた発話、聴解、読解、作文ができるようになる。また、「～しに行きます。」「～しに来ます。」など動作の方向を表す「去」「来」の表現を使えるようになる。	講義・レッスン	登坂
2	1)2)3)4)5)6)	「何分間」「何時間」「何日間」「何年間」「何年間」など、時間の長さの表現に習熟し、発話、聴解、読解、作文ができるようになる。動詞が2つ以上の目的語をとる「二重目的語」、及び主語が1つでも動作が2つ以上続く「連動文」についても発話、聴解、読解、作文ができるようになる。	講義・レッスン	登坂
3	1)2)3)4)5)6)	「～したい」「～したくない」などの表現のキーワードとなる助動詞「想」の使い方、「～することができる」を表す「会」「能」「可以」等の表現に習熟し、発話、聴解、読解、作文ができるようになる。併せて、これらを用いた疑問文や否定文の表現も使えるようにする。	講義・レッスン	登坂
4	1)2)3)4)5)6)	「～から」「～まで」など、時間と場所の起点・終点を表す前置詞を学び発話、聴解、読解、作文ができるようになる。また、動作が行われる場所を表す「在」の用法を復習する。さらに、「～と一緒に」の表現のポイントとなる「跟」の用法を学び、発話、聴解、読解、作文ができるようになる。	講義・レッスン	登坂
5	1)2)3)4)5)6)	「～しています」「～しているところです」など、ある動作が今行われている最中であることを表す「在」や「？」を使った表現を中心に、現在進行形を学び、発話、聴解、読解、作文ができるようになる。	講義・レッスン	登坂
6	1)2)3)4)5)6)	「もうすぐ～である」を表す「快～了」を中心に未来形の表現に習熟し、発話、聴解、読解、作文ができるようになる。また、反復疑問文「是不是～？」の表現を学び、これまでに学習した「～??」と併せて疑問形の表現を豊かにできる。さらに、過去の出来事の場合や時間などを強調する時に用いる「是～的」を中心に、過去形の表現に習熟し、発話、聴解、読解、作文ができるようになる。	講義・レッスン	登坂
7	1)2)3)4)5)6)	「AはBより～です」を表す「A比B～」を中心に比較文の表現を学び、発話、聴解、読解、作文ができるようになる。同時に、「AはBほど～ではない」を表す比較の否定「A没有B～」、「AはBと同じである」を表す同等比較の「A跟B一样」について学び、発話、聴解、読解、作文ができるようになる。	講義・レッスン	登坂
8	1)2)3)4)5)6)	ここから初級の難関というべき補語について学んでいく。今回は程度補語「得」の使い方を学び、発話、聴解、読解、作文ができるようになる。動作がどのように行われたかを補助的に説明するこの表現は、和訳する場合も、中訳する場合も難しく、これに習熟することは中級への橋渡しになる。さらに「ますます～だ」「前より一層～だ」	講義・レッスン	登坂

に相当する「越来越～了」の表現を使えるようになる。

- 9 1)2)3)4)5) 動作が行われる回数を表す「動量補語」と、動作の行われる時間を表す「時量補語」を
6) 中心に学び、発話、聴解、読解、作文ができるようになる。また、「少しも～ではない」に相当する「一点儿+也+不～」の表現を使いこなせるようになる。 講義・レッスン 登坂
- 10 1)2)3)4)5) 動作の結果がどうであるかを補助的に説明し強調する役割の「結果補語」について、
6) まず「完」「好」「錯」をキーワードに学び、発話、聴解、読解、作文ができるようになる。次に「到」「在」「？」の結果補語も学ぶ。また、「～するとすぐに…」を表す「一～就…」、「～しながら…する」を表す「一边～一边…」の表現を使いこなせるようになる。 講義・レッスン 登坂
- 11 1)2)3)4)5) 動作の方向性を示す「方向補語」を学び、発話、聴解、読解、作文ができるようになる。
6) 具体的には動詞の後ろにつく「来」「回来」「去」がキーワードとなる。さらに「～ではあるが、しかし…」を示す「虽然～，但是…」の表現を使いこなせるようになる。 講義・レッスン 登坂
- 12 1)2)3)4)5) 使役の表現のポイントとなる「讓」及び受け身を示す「被」の表現と語法を理解し、
6) 発話、聴解、読解、作文ができるようになる。また、「ちょっと～する」の表現を作る「動詞+一+動詞」、「動詞+動詞」の表現を学び、使いこなせるようになる。さらに、「もし～ならば、…だ」を表す「如果～的话，就…」の表現を使いこなせるようになる。 講義・レッスン 登坂
- 13 1)2)3)4)5) 目的語を強調する場合の「把」の構文を学び、発話、聴解、読解、作文ができるよう
6) になる。すでに学んだ結果補語も多用されるので復習にもなる。 講義・レッスン 登坂
- 14 1)2)3)4)5) 【総復習】
6) 実用会話：学習の総仕上げとして、最後のセクションにある比較的長いダイアログを使用したレッスンを実施する。これを通して、これまでに学んだ文法項目が日常会話のなかでどのように使われているか理解し、定着を図ることができる。 講義・レッスン 登坂
- 15 1)2)6) 【中国映画鑑賞によるヒアリング鍛錬】
中国映画の視聴をつうじて、中国人の思考法や人間関係の在り方を知ることができ
る。また劇中にすでに学んだ挨拶や決まり文句、基本的な表現等が出てくることに
気づき、半期の中国語学習による効果を確認できる。 視聴 登坂

教科書： 中国語 つぎへの一歩（尹景春／竹島毅）白水社 ISBN978-4-560-06924-0

参考書： 辞書の指定はしない。しかし最近の電子辞書には中国語辞書（音声つき）がインストールされているものが多いので、これがあると学習が楽しくなるだろう。また、スマートフォンにも様々な中国語入力アプリや辞書アプリがある。試してみるのも良いだろう。

科目名: **日本語 I**

担当者: 三宮 基裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(1年)|※外国人留学生対象科目

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 日本語の理解を深めるために、聴解と読解について学習し、日本語能力試験N2レベルの日本語力を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)聴解力を高め、日常会話および大学での講義の内容が聞き取れるようになる
2)基礎的な読解力を高め、日常生活および講義で使用するテキスト等の書籍が読めるようになる
3)基本的な日本語文章の記述力を高め、簡単な日本語の文章が書ける

評価方法: 授業態度、小テスト等により総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 留学生のみを対象とする。
本授業は積み重ね学習であるため、必ず毎週出席すること。
1回の授業につき4時間を目安に予習・復習をおこなうこと。

オフィスアワー: 研究室在室時は、原則、いつでも対応する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【聴解1】 課題の理解1	講義	三宮
2	1)	【聴解2】 課題の理解2	講義	三宮
3	2)3)	【読解・書き方1】 地名を読む・書く	講義	三宮
4	2)3)	【読解・書き方2】 自己紹介書を書く	講義	三宮
5	2)3)	【読解・書き方3】 説明文を読む1	講義	三宮
6	2)3)	【読解・書き方4】 住所を読む・書く	講義	三宮
7	1)	【聴解3】 ポイントの理解1	講義	三宮
8	1)	【聴解4】 ぼんとの理解2	講義	三宮
9	2)3)	【読解・書き方5】 ポスターを読む・書く	講義	三宮
10	2)3)	【読解・書き方6】 説明文を読む2	講義	三宮
11	2)3)	【読解・書き方7】 手紙を読む・書く	講義	三宮
12	2)3)	【読解・書き方8】 案内文書を読む・書く	講義	三宮
13	1)	【聴解5】 概要の理解1	講義	三宮
14	1)	【聴解6】 概要の理解2	講義	三宮
15	2)3)	【読解・書き方9】 会話文を読む1	講義	三宮

教科書: 指定しない

参考書: 日本語初級読解 アルク
ドリル&ドリル日本語能力試験N2聴解・読解 ユニコム

科目名: **日本語Ⅱ**

担当者: 三宮 基裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(1年)|※外国人留学生対象科目

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 日本語の理解を深めるために、聴解と読解について学習し、日本語能力試験N2レベルの日本語力を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)聴解力を高め、日常会話および大学での講義の内容が聞き取れるようになる
2)基礎的な読解力を高め、日常生活および講義で使用するテキスト等の書籍が読めるようになる
3)基本的な日本語文章の記述力を高め、簡単な日本語の文章が書ける

評価方法: 授業態度、小テスト等により総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 留学生のみを対象とする。
本授業は積み重ね学習であるため、必ず毎週出席すること。
1回の授業につき4時間を目安に予習・復習をおこなうこと。

オフィスアワー: 研究室在室時は、原則、いつでも対応する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	2)3)	【読解・書き方1】 説明文を読む3	講義	三宮
2	2)3)	【読解・書き方2】 電話の対応をする	講義	三宮
3	2)3)	【読解・書き方3】 説明文を読む4	講義	三宮
4	1)	【聴解1】 即時応答1	講義	三宮
5	1)	【聴解2】 即時応答2	講義	三宮
6	2)3)	【読解・書き方4】 会話文を読む2	講義	三宮
7	2)3)	【読解・書き方5】 新聞記事を読む1	講義	三宮
8	2)3)	【読解・書き方6】 説明文を読む5	講義	三宮
9	2)3)	【読解・書き方7】 説明文を読む6	講義	三宮
10	1)	【聴解3】 統合理解1	講義	三宮
11	1)	【聴解4】 統合理解2	講義	三宮
12	2)3)	【読解・書き方8】 新聞記事を読む2	講義	三宮
13	2)3)	【読解・書き方9】 新聞記事を読む3	講義	三宮
14	2)3)	【読解・書き方10】 会話文を読む3	講義	三宮
15	2)3)	【読解・書き方11】 意見文を読む	講義	三宮

教科書: 指定しない

参考書: 日本語初級読解 アルク
ドリル&ドリル日本語能力試験N2聴解・読解 ユニコム

科目名: **日本語Ⅲ**

担当者: 三宮基裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 日本語で書かれた専門書や学術論文を読むための読解力およびレポート作成や研究論文を作成するための作文力を習得する。

到達目標: 1)小論文を読み、その内容が理解できるようになる
(SBOs) 2)日本語の文章作法を理解し、簡単な作文が書けるようになる

評価方法: 授業態度、小テスト等を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 留学生を対象とする。
本授業は積み重ね学習のため、必ず出席すること。
1回の授業につき4時間を目安に予習・復習をおこなうこと。

オフィスアワー: 研究室在室時は、原則、いつでも対応する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	2)	【作文1】文字・記号の書き方句読点	講義	三宮
2	2)	【作文2】書き言葉と話し言葉	講義	三宮
3	1)	【読解1】段落の構造	講義	三宮
4	1)	【読解2】中心文と指示文	講義	三宮
5	1)	【読解3】アウトライン	講義	三宮
6	2)	【作文3】文章の構造と段落の意味	講義	三宮
7	1)	【読解4】言葉の定義	講義	三宮
8	2)	【作文4】「は」と「が」の違い使い分け	講義	三宮
9	1)	【読解5】時間の経過	講義	三宮
10	1)	【読解6】比較・対照	講義	三宮
11	1)	【読解7】原因と結果	講義	三宮
12	1)	【読解8】位置・場所	講義	三宮
13	1)	【読解9】列挙と順序	講義	三宮
14	2)	【作文5】助詞相当語1	講義	三宮
15	1)	【読解10】理由と根拠	講義	三宮

教科書: 指定しない

参考書: 改訂版 大学・大学院留学生の日本語①読解編【978-4757426313】
改訂版 大学・大学院留学生の日本語②作文編【978-4757426320】

科目名: **日本語IV**

担当者: 三宮基裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 日本語で書かれた専門書や学術論文を読むための読解力およびレポート作成や研究論文を作成するための作文力を習得する。

到達目標: 1)小論文を読み、その内容が理解できるようになる
(SBOs) 2)日本語の文章作法を理解し、簡単な作文が書けるようになる

評価方法: 授業態度、小テスト等を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 留学生を対象とする。
本授業は積み重ね学習のため、必ず出席すること。
1回の授業につき4時間を目安に予習・復習をおこなうこと。

オフィスアワー: 研究室在室時は、原則、いつでも対応する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	2)	【作文1】理由の表現時間の表現	”講義	”三宮
2	1)	【読解1】意見文	講義	三宮
3	2)	【作文2】「こと」と「の」の使い方	講義	三宮
4	2)	【作文3】助詞相当語2	講義	三宮
5	2)	【作文4】間接疑問	講義	三宮
6	2)	【作文5】接続表現1	講義	三宮
7	2)	【作文6】接続表現2	講義	三宮
8	2)	【作文7】指示詞	講義	三宮
9	1)	【読解2】論文を読む1	講義	三宮
10	1)	【読解3】論文を読む2	講義	三宮
11	1)	【読解4】論文を読む3	講義	三宮
12	1)	【読解5】論文を読む4	講義	三宮
13	2)	【作文8】引用の仕方	講義	三宮
14	2)	【作文9】研究計画書を作成する1	講義	三宮
15	2)	【作文10】研究計画書を作成する2	講義”	三宮”

教科書: 指定しない

参考書: 改訂版 大学・大学院留学生の日本語①読解編【978-4757426313】
改訂版 大学・大学院留学生の日本語②作文編【978-4757426320】

科目名: 日本語総合講座 I a

担当者: 三宮 基裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(1年)|※外国人留学生対象科目

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 日常生活や学校生活で用いられる初級の漢字からなる日本語の基本的な語彙について、読み方、意味、書き方、用法を習得する。

到達目標: 1)初級の漢字が読める
(SBOs) 2)初級の漢字が書ける
3)初級の漢字・熟語の意味がわかる

評価方法: 授業態度・小テスト等で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 留学生を対象とする。
本授業は積み重ね学習によるので、必ず出席すること。
1回の授業につき4時間を目安に予習・復習をおこなうこと。

オフィスアワー: 研究室在室時は、原則、いつでも対応する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	時間を表す漢字	講義	三宮
2	1)2)3)	自然を表す漢字	講義	三宮
3	1)2)3)	学習活動で用いる漢字	講義	三宮
4	1)2)3)	動物・植物を表す漢字	講義	三宮
5	1)2)3)	位置を表す漢字	講義	三宮
6	1)2)3)	行動を表す漢字	講義	三宮
7	1)2)3)	食事関係する漢字	講義	三宮
8	1)2)3)	これまでの復習1	講義	三宮
9	1)2)3)	コミュニケーションで用いる漢字	講義	三宮
10	1)2)3)	家族を表す漢字	講義	三宮
11	1)2)3)	部屋を表す漢字	講義	三宮
12	1)2)3)	行動を表す漢字	講義	三宮
13	1)2)3)	経済を表す漢字	講義	三宮
14	1)2)3)	学科を表す漢字	講義	三宮
15	1)2)3)	これまでの復習2	講義	三宮

教科書: 指定しない。

参考書: 漢字から学ぶ語意1日常生活編 アルク
漢字から学ぶ語意2学校生活編 アルク

科目名: **日本語総合講座 I b**

担当者: 三宮 基裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(1年)|※外国人留学生対象科目

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 日常生活や学校生活で用いられる初級の漢字からなる日本語の基本的な語彙について、読み方、意味、書き方、用法を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)初級の漢字が読める
2)初級の漢字が書ける
3)初級の漢字・熟語の意味がわかる

評価方法: 授業態度・小テスト等で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 留学生を対象とする。
本授業は積み重ね学習によるので、必ず出席すること。
1回の授業につき4時間を目安に予習・復習をおこなうこと。

オフィスアワー: 研究室在室時は、原則、いつでも対応する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	授業に関係する漢字	講義	三宮
2	1)2)3)	試験に関係する漢字	講義	三宮
3	1)2)3)	心理を表す漢字	講義	三宮
4	1)2)3)	行動を表す漢字	講義	三宮
5	1)2)3)	病気を表す漢字	講義	三宮
6	1)2)3)	コミュニケーションで用いる漢字	講義	三宮
7	1)2)3)	人を表す漢字	講義	三宮
8	1)2)3)	これまでの復習1	講義	三宮
9	1)2)3)	交通に関係する漢字	講義	三宮
10	1)2)3)	数と図形を表す漢字	講義	三宮
11	1)2)3)	接辞を示す漢字	講義	三宮
12	1)2)3)	発表で用いる漢字	講義	三宮
13	1)2)3)	研究で用いる漢字	講義	三宮
14	1)2)3)	これまでの復習2	講義	三宮
15	1)2)3)	これまでの復習3	講義	三宮

教科書: 指定しない

参考書: 漢字から学ぶ語意1日常生活編 アルク
漢字から学ぶ語意2学校生活編 アルク

科目名: **日本語総合講座Ⅱa**

担当者: 三宮 基裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(1年)|※外国人留学生対象科目

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 日常生活や学校生活で用いられる初級の漢字からなる日本語の基本的な語彙について、読み方、意味、書き方、用法を習得する。

到達目標: 1)初級の漢字が読める
(SBOs) 2)初級の漢字が書ける
3)初級の漢字・熟語の意味がわかる

評価方法: 授業態度・小テスト等で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 留学生を対象とする。
本授業は積み重ね学習によるので、必ず出席すること。
1回の授業につき4時間を目安に予習・復習をおこなうこと。

オフィスアワー: 研究室在室時は、原則、いつでも対応する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	数を表す漢字	講義	三宮
2	1)2)3)	時間を表す漢字	講義	三宮
3	1)2)3)	状態を表す漢字	講義	三宮
4	1)2)3)	天気を表す漢字	講義	三宮
5	1)2)3)	位置を表す漢字	講義	三宮
6	1)2)3)	食事関係する漢字	講義	三宮
7	1)2)3)	身体の部分を表す漢字	講義	三宮
8	1)2)3)	これまでの復習1	講義	三宮
9	1)2)3)	買い物で用いる漢字	講義	三宮
10	1)2)3)	家族を表す漢字	講義	三宮
11	1)2)3)	趣味を表す漢字	講義	三宮
12	1)2)3)	建物を表す漢字	講義	三宮
13	1)2)3)	学部を表す漢字	講義	三宮
14	1)2)3)	状態を表す漢字	講義	三宮
15	1)2)3)	これまでの復習2	講義	三宮

教科書: 指定しない

参考書: 漢字から学ぶ語意1日常生活編 アルク
漢字から学ぶ語意2学校生活編 アルク

科目名: **日本語総合講座Ⅱb**

担当者: 三宮 基裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(1年)|※外国人留学生対象科目

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 日常生活や学校生活で用いられる初級の漢字からなる日本語の基本的な語彙について、読み方、意味、書き方、用法を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)初級の漢字が読める
2)初級の漢字が書ける
3)初級の漢字・熟語の意味がわかる

評価方法: 授業態度・小テスト等で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 留学生を対象とする。
本授業は積み重ね学習によるので、必ず出席すること。
1回の授業につき4時間を目安に予習・復習をおこなうこと。

オフィスアワー: 研究室在室時は、原則、いつでも対応する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	学校生活で用いる漢字	講義	三宮
2	1)2)3)	手続きに関係する漢字	講義	三宮
3	1)2)3)	状態を表す漢字	講義	三宮
4	1)2)3)	行動を表す漢字	講義	三宮
5	1)2)3)	コミュニケーションで用いる漢字	講義	三宮
6	1)2)3)	スポーツに関係する漢字	講義	三宮
7	1)2)3)	心理を表す漢字	講義	三宮
8	1)2)3)	これまでの復習1	講義	三宮
9	1)2)3)	経済を表す漢字	講義	三宮
10	1)2)3)	状態を表す漢字	講義	三宮
11	1)2)3)	敬語で用いる漢字	講義	三宮
12	1)2)3)	発表で用いる漢字	講義	三宮
13	1)2)3)	研究で用いる漢字	講義	三宮
14	1)2)3)	これまでの復習2	講義	三宮
15	1)2)3)	これまでの復習3	講義	三宮

教科書: 指定しない

参考書: 漢字から学ぶ語意1日常生活編 アルク
漢字から学ぶ語意2学校生活編 アルク

科目名: 哲学

担当者: 上農 正剛(福・子)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: どのような職業に就くにせよ、物事を分析的に理解し、判断を論理的に下すことは重要である。また、社会生活を営むに当たっては他者の存在を尊重し、その価値を理解できる感性も不可欠である。そのためには一人一人が物事を論理的、分析的に検証できる思考の技術を身につけておく必要がある。本講義では物事を論理的に考えるためには具体的にどのように考えればいいのか、どのような手続き、手順を踏めばいいのかという哲学的思考法の基本を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)哲学の定義、役割、歴史について概略的が説明できる。
2)哲学の社会的背景について説明できる。
3)判断のプロセスについて説明できる。
4)日本人の意識構造について説明できる。
5)哲学的思考法の基本形式について説明できる。
6)哲学的思考を実践的に運用展開できる。

評価方法: 学期末にノートの記述状態を確認(50%)、試験レポート(50%)の配分で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 事前学習として毎回「検討課題」を提示するので、1時間をかけ必要な情報をリサーチし、それに基づき自分なりの考察を準備して次回の授業に出席すること。
講義ノートの準備の仕方について第1回目の講義で説明するので、履修者は必ず第1回目の講義から出席すること。

オフィスアワー: 時間割確定後、通知する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	哲学という言葉の由来(西洋と日本)を理解する。	講義	上農
2	1)	哲学史の意味とそこから取り出せる現代的課題を理解する。	講義	上農
3	2)	哲学が生まれる社会的背景(社会構造)の意味を理解する(1)。	講義	上農
4	2)	哲学が生まれる社会的背景(社会構造)の意味を理解する(2)。	講義	上農
5	3)4)	日本人の思考様式について理解する。	講義	上農
6	1)2)3)4)	日本人の思考様式を支える日本語の歴史的特質について理解する。	講義	上農
7	3)	思考形式に関する心理的問題を理解する(1)	講義	上農
8	3)	思考形式に関する心理的問題を理解する(2)	講義	上農
9	5)	哲学的思考法に関する基本的理論を理解する(1)デカルト的思考	講義	上農
10	5)	哲学的思考法に関する基本的理論を理解する(2)帰納と演繹	講義	上農
11	5)	哲学的思考法に関する基本的理論を理解する(3)意欲・能力・必然性	講義	上農
12	5)	哲学的思考法に関する基本的理論を理解する(4)判断検証の4指標	講義	上農
13	6)	哲学的思考法を応用して失敗体験を検証する(1)	講義	上農
14	6)	哲学的思考法を応用して失敗体験を検証する(2)	講義	上農
15	5)	論理と価値という哲学的概念を理解する。	講義	上農

教科書: 使用しない。

参考書: 講義の中で適宜、助言する。

科目名: 倫理学

担当者: 横山 裕(福・福)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・子ども保育福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 善悪の成り立ちや決められ方の歴史を知ることが、価値観や自他の区別を学ぶために欠かせない知識と考え方を与えてくれる。
倫理学では、人間にとっての善悪がどのように決められ社会においてどう機能してきたのかを理解するために、古代ギリシャの思想家による考察、さらにそれが後世に与えた影響に関する基本的知識を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)倫理学の三つの類型について説明できる。
2)ソクラテス以前の善悪の成り立ちについて説明できる。
3)ソクラテスの「無知の知」及び善悪の考え方について説明できる。
4)プラトンの「イデア」及び善悪の考え方について説明できる。
5)アリストテレスの「目的論」及び善悪の考え方について説明できる。
6)アレキサンダー大王の歴史的意義と「コスモポリタニズム」について説明できる。
7)西洋的価値観の善悪と東洋的価値観の善悪について理解し、その差異の生じる背景について説明できる。
8)応用倫理学としての福祉学における倫理綱領について知る。

評価方法: 提出物の評価を30%及び講義内小試験70%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 高校で習った倫理社会・世界史を十分に復習しておくこと。倫理学は福祉分野における倫理綱領とも密接に関連するので、福祉学と無関係な独立した科目と考えないこと。

オフィスアワー: 毎週月?金16:00?17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	メタ倫理学、規範倫理学、応用倫理学の成立について知り、善悪を決めることの意味について考える。	講義	横山
2	2)	ギリシャ神話に記される物語から古代ギリシャ人が善悪をどう考えていたかを知る。	講義	横山
3	2)3)	ソクラテスに先行する思想家の善悪についての考え方を知り、ソクラテスの善悪の考え方との差異について考える。	講義	横山
4	3)	ソクラテスの善悪についての考え方を知り、「無知の知」の後世に与えた影響について考える。	講義	横山
5	3)4)	ソクラテスの裁判過程と結果から善悪の決め方について考え、プラトンの善悪についての問題意識を理解する。	講義	横山
6	4)	プラトンの「イデア」の概念を知り、善悪の決め方について理解する。	講義	横山
7	4)5)	プラトンの「イデア」の概念に対するアリストテレスの反論を理解し、アリストテレスの善悪についての考え方を知る。	講義	横山
8	5)	アリストテレスの善悪についての考え方を「目的論」から理解する。	講義	横山
9	5)6)	アリストテレスの善悪についての考え方の限界とアリストテレス以後の善悪についての考え方を知る。	講義	横山
10	6)	アレキサンダー大王によって変化した世界観とそこでの善悪の考え方について理解する。	講義	横山
11	7)	キリスト教、仏教などの宗教的価値観における善悪について理解する。	講義	横山
12	7)	漢字文化圏における善悪の根源について理解し、アルファベット文化圏との差異について知る。	講義	横山
13	8)	応用倫理学の対象分野について知り、その成立の背景について理解する。	講義	横山
14	8)	応用倫理学の一つの範疇としての福祉倫理について知り、実際の福祉倫理要項等について理解する。	講義	横山
15	1)~8)	講義を通じて学んだことを発展させ、各自における善悪の決定について考える。	講義	横山

教科書： 必要に応じて別途指示する。

参考書： 必要に応じて別途指示する。

科目名: 人間論

担当者: 上農 正剛(福・子)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義|演習

授業概要: 人間社会に不可避に生じる社会的事象(差別、紛争、身分格差、貧富、共生と自立、自然と文明、宗教と科学等の矛盾対立)について分析的に考える思考力を身につけることは、生老病死に関わる専門職を目指す者には不可欠な学習である。その学習の基盤構築を目指して人間論では人文社会諸科学(哲学、文化人類学、民俗学、社会学、宗教学、歴史学、記号論)の基本的思考方法を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)同時(即時)記録が実施できる。
2)民俗学の基本的事項について説明できる。
3)差別の基本的構造について説明できる。
4)文化現象の記号論分析について説明できる。
5)スティグマ概念について説明できる。
6)アジール概念について説明できる。
7)日本芸能の成立と発展について説明できる。
8)社会科学の思考法について説明できる。

評価方法: 受講ノートの記述状態(40%)(毎回收し確認する)、試験レポート(60%)の配分で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業で毎回「検討課題」を提示するので1時間かけて次回の授業までに考察してくること。その結果は講義ノートに書かせる。
【重要】講義ノートの準備の仕方について第1回目の講義で説明するので、履修者は必ず第1回目の講義から出席すること。

オフィスアワー: 時間割確定後、通知する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	2)3)8)	人間は人間(他者)をどのように扱ってきたか。その際、そこにはどのような手続き、価値観、問題が生じてきたか。その基本的問題編成のあり方を理解する。	講義	上農
2	1)	即時記録(同時記録)の具体的な方法を学び、習得する。	講義	上農
3	1)3)	同時記録の手法を使い資料映像の前半をノートに記録を取りながら視聴する。	演習	上農
4	1)3)	資料映像の後半をノートに記録を取りながら視聴する。	演習	上農
5	3)4)	資料映像の内容(物語)を相関図に書いてみて、人物と要素間の関係、構造を把握する。サクリフェイス(スケープゴート)概念を理解する。	講義	上農
6	7)	物語の主人公の行動に対する学生の評価(支持/反対)を取り上げ、社会的正義の観点からマイノリティの自己救済策の適切さについて考察する。	講義	上農
7	2)3)4)	記号論的手法を使い、女性主人公の職業的アイデンティティを考察し、被差別者としての彼女の行動原理の根拠を理解する。	講義	上農
8	2)3)7)	民俗学(柳田國男、折口信夫、南方熊楠)の思考を取り上げ、それが何を考え、何を避けてきたかを学び、その根底にある問題(差別)について考える。	講義	上農
9	2)3)4)	主人公たちのパーソナリティ分析を通し、<異人>の持つ社会的機能と意義を理解する。	講義	上農
10	5)	聖書由来の「聖痕」概念、それを踏まえた「スティグマ」概念の社会学的意味を理解する。	講義	上農
11	6)	マイノリティが身を守るための制限空間(「治外法権領域」「聖所」)であるアジールの歴史、機能を知り、その社会的、現代的意義を学ぶ。	講義	上農
12	3)5)6)7)	被差別民としての芸能者の由来とその社会的機能、歴史的変遷を学び、「人権」「平等」という近代的価値観の意味を再考する。	講義	上農
13	1)2)7)8)	資料映像の前半をノートに記録を取りながら視聴する。	演習	上農
14	1)2)7)8)	資料映像の後半をノートに記録を取りながら視聴する。	演習	上農
15	7)8)	矛盾に満ちた困難な現実社会の中を私たちは何を考え、どのように生きて行ったらいいのか?その際、基本的に考慮、自覚しなければならない事柄を再確認する。	講義	上農

教科書： 使用しない。

参考書： 講義の中で適宜、助言する。

科目名: **美術**

担当者: 安原 青兒(福・子)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・子ども保育福祉学科(各2年次)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 美を追求することは、世界と呼応する秩序と調和を人間の内に確かめる作業である。学生は古代ギリシャからすでに概念化されていた芸術観から現代美術に至るまでの西洋美術の変遷に沿って、その時々々の社会状況にも目を向けつつ概観し、美術史の基本知識を説明できるようになる。また東洋思想から、その美学の本質を文学、絵画、舞踏などを取り上げて見ていく中で自らの美的感覚のよりどころを探る。美術作品に親しむ機会を設け、諸芸術の持つ意味を理解できるよう芸術と人間の深いかかわりについて基礎的概念を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)学ぶ上でのルール(聞き、話す態度、ノートテイク、出席)などを守り、最後まで最善の受講態度を維持できる。
2)西洋美術史を概観し、代表的な社会の動きと合わせて説明することが出来る。
3)東洋的な美的思想を理解し、特に我が国の代表的な芸術を列挙し説明できる。
4)自らの美的感性を磨き、芸術に対して親しみを感じることが出来る。
5)能動的学習の成果として自作ノートを完成させることが出来る。

評価方法: 最終試験および自筆ノートの提出と、その期限の遵守。また受講態度や積極性など、総合的な授業点を勘案する。欠席は5回まで、遅刻・早退は3回で欠席1回分の減点とする。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき60分を目安に授業で取り上げた美術史や主義・思想、画家の年表、作品鑑賞の感想などを自筆ノートにまとめること。ノートは最終講義で提出を義務付けるので、毎回準備すること。

オフィスアワー: 講義時間以外の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【授業概要を学ぶ】 美術、美学の概念を理解する。講義の進め方、評価方法、授業準備等について理解し、学ぶ意識と意欲を高める。	講義	安原
2	1)2)	【古代ギリシャ】 古代ギリシャの美の概念を理解するため、プラトンからアリストテレス～プロティノスに至る芸術観を中心に理解を深める。	講義	安原
3	1)3)	【東洋思想】 東洋の美学思想について、孔子の芸術観と音楽と演劇的価値を中心に理解する。	講義	安原
4	1)2)3)	【中世1】 中世の世界観や芸術を、日本(能楽～世阿弥、茶の湯～千利休、俳諧～松尾芭蕉)と西洋(トマス・アキナス、中世写本芸術)との比較の中から学んでいく。	講義	安原
5	1)2)3)	【中世2】 中世の世界観や芸術を、日本(能楽～世阿弥、茶の湯～千利休、俳諧～松尾芭蕉)と西洋(トマス・アキナス、中世写本芸術)との比較の中から学んでいく。	講義	安原
6	1)2)4)	【西洋美術1】 イタリアを中心とするルネサンス芸術と文化の諸側面について学ぶ。特に取り上げるのはダ・ヴィンチ(最後の晩餐)、ミケランジェロ(天井画)、ラファエロ(聖母子像)にみる近代の幕開けについて理解する。	講義	安原
7	1)2)4)	【西洋美術2】 ルター宗教改革から人間観の変遷を経て生み出されたマニエリスム芸術からバロック様式に至る流れを理解する。	講義	安原
8	1)2)4)	【西洋美術3】 ロココ様式の中心画家たちを概観し、ロココからロマン主義へとつながるゴヤの人と芸術について学んでいく。	講義	安原
9	1)2)4)	【西洋美術4】 新古典主義及び同時代で、それと対極にあったロマン主義について学んでいく。特にフランス、ドイツのロマン派について理解を深める。	講義	安原
10	1)2)4)	【西洋美術5】 より生活や現実を重視した写実主義やバルビゾン派の考え方や、古典に帰ろうとするラファエル前派等の流れを学ぶ。	講義	安原
11	1)2)4)	【西洋美術6】 印象派とジャポニズム(特に浮世絵の隆盛)について理解を深める。	講義	安原

12	1)2)4)	【西欧美術7】 象徴主義、表現主義、また世紀末ウィーンの文化状況とクリムト、シーレの芸術について学ぶ。	講義	安原
13	1)2)4)	【西洋美術8】 キュビズム(ピカソ、デュシャン等)及びシュールレアリズム(ダリ、ミロ、エルンスト等)等の現代美術と、その生み出された時代背景を理解する。	講義	安原
14	1)~5)	【福祉と芸術】 「福祉の芸術化・芸術の福祉化」に焦点を当て、アウトサイダーアートからエイブルアートに至る流れを学んでいく。	講義	安原
15	1)~5)	【演習の総括】 これまで学習してきた美術史や思想の変遷を振り返り、それが現代の私たちにどのようにかわり、影響を受けているかをまとめる。また本講義をまとめてきた自筆ノートを各自、提出をする。	講義	安原

教科書： 使用しない

参考書： 講義時に必要に応じて提示する

科目名: **音楽**

担当者: 柳田美波(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 音楽の特性と魅力について学び、明るく潤いのある生活を送るための基礎的・基本的事項を習得する。講義を基本としながら、音声や映像の鑑賞を交えて学習をすすめる。

到達目標: (SBOs) 1)音楽の構成要素について理解できる。
2)音楽文化史と様々な作品について理解できる。
3)音楽の治療的効果。
4)感性と論理的思考について理解できる。
5)BGMの意味するものについて理解できる。

評価方法: 授業後の小レポートとレポート課題による評価。
また、授業中の関心意欲など総合的に勘案して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 音楽的視野を広げるために、普段から様々な音楽に親しんでおくこと。
また、休まず出席し、期限内に課題を提出すること。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション(講義概要と評価)	講義	松原
2	1)	ミュージカルについて学ぶ(サウンドオブミュージックを活用して)①	講義	松原
3	1)	ミュージカルについて学ぶ(サウンドオブミュージックを活用して)②	講義	松原
4	1)	ミュージカルについて学ぶ(サウンドオブミュージック)を活用して③	講義	松原
5	2)	古典派の音楽家について学ぶ(モーツァルトの一生を知る)①	講義	松原
6	2)	古典派の音楽家について学ぶ(モーツァルトの一生を知る)②	講義	松原
7	2)4)	舞台芸術としての音楽を学ぶ(ライオンキングにより)①	講義	松原
8	2)4)	舞台音楽としての音楽を学ぶ(ライオンキング)②	講義	松原
9	2)4)	古典派・ロマン派の音楽家について学ぶ(ベートーヴェン作曲 第九交響曲)	講義	松原
10	3)	セラピーとしての音楽を知る(体を使って)	講義	松原
11	3)	セラピーとしての音楽を知る	講義	松原
12	2)7)	映画音楽について学ぶ(ラ・ラ・ランドから)①	講義	松原
13	2)7)	映画音楽について学ぶ(ラ・ラ・ランド)②	講義	松原
14	2)8)	オペラを学ぶ	講義	松原
15	1~8)	まとめ 音楽の良さを生活に生かす工夫、計画と実践例	講義	松原

教科書: 使用しない。

参考書: 必要に応じて適宜紹介する。

科目名: **日本国憲法**

担当者: 山崎 知佳 (非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科 (2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 1947年に施行され、60年以上も存在した憲法が、2014年7月の安倍内閣による閣議決定で憲法解釈が変更された。そして、国民投票法も改正されるなど、憲法改正が問われる今日に主体的に生きるために、日本社会法秩序の基礎法である憲法の本質、国の統治構造について理解を深める。また、憲法は国家に関することのみを定めた法ではない。人はみなかけがえのない大切な存在であること、実社会では話し合いで民主的に決められていくこと、多数決でも奪ってはならない大切なものがあるといった人間社会の根本にあるものを定める法でもある。個人の尊厳を大切にしながら社会で生きるために、人権の種類や意味を理解し、現実起きた事件を紐解きながら、憲法がもつ法的思考を修得する。

到達目標: (SBOs)
1)憲法の意味、体系的な位置づけについて理解を深め、日本国憲法の基本原則について説明できる。
2)前文及び11章103力条からなる日本国憲法の体系について理解し、個々の条文の意味を簡潔に説明できる。
3)日本国憲法の制定過程について理解を深め、天皇の地位、9条等明治憲法との相違を説明できる。
4)条文が示す人権の意味について理解を深め、その要点を説明できる。
5)人権をめぐる諸問題について理解を深め、人権にどのような制約・衝突が生じ、問題が起こるのかについて説明できる。
6)三権分立による我が国の統治機構について三権それぞれの権能について簡潔に説明できる。
7)憲法保障及び憲法改正手続について理解を深め、そのしくみについて説明できる。
8)判例を理解し、具体的事例に当てはめ、法的思考を養うことができる。

評価方法: 毎回の授業中の小テストにより形成的評価を行う。毎回の学習態度(講義の出席・態度・提出物等)を総合的に勘案し(50%)、学期末の単位認定試験(50%)として、総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 授業の範囲の部分についての法律条文については、必ず読んでおくこと。授業の出席を前提とし、返却された小テストについては復習し完答できるようにしておくこと。憲法の条文については、毎授業持参すること。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	憲法とは何か …法体系、法の支配、近代立憲政治の原理	講義	山崎
2	1)3)	日本国憲法の制定過程 …日本国憲法の構成原理・明治憲法との相違	講義	山崎
3	1)2)4)	前文・戦争の放棄 …背景にある思想とその問題点、第9条の諸解釈とその問題点	講義	山崎
4	2)4)5)8)	国民の権利及び義務(1) …人権を支える基本原理、人権の限界	講義	山崎
5	2)4)5)8)	国民の権利及び義務(2) …精神的自由	講義	山崎
6	2)4)5)8)	国民の権利及び義務(3) …経済的自由、人身の自由	講義	山崎
7	2)4)5)8)	国民の権利及び義務(4) …社会権、受益権	講義	山崎
8	2)4)5)8)	国民の権利及び義務(5) …参政権、義務	講義,SGD	山崎
9	2)4)5)8)	基本的人権の制約原理、教育に関係する権利、義務	講義,SGD	山崎
10	2)6)	国会 …権力分立の意味及び国会の権能	講義	山崎
11	2)6)	内閣・天皇 …行政権の概念・議院内閣制・内閣の権能、天皇の地位と権能	講義	山崎
12	2)6)	司法 …司法権の意義と裁判所の権能	講義,SGD	山崎
13	2)6)	財政・地方自治 …地方自治の本旨・地方分権の現状	講義,SGD	山崎
14	2)4)5)8)	今日の人権 …プライバシーの権利等新しい人権と包括的基本権	講義,SGD	山崎
15	2)7)	これからの憲法の在り方 …憲法保障・憲法改正手続	講義,SGD	山崎

教科書: 使用しない。※随時プリントを配布

参考書: 憲法 第五版(芦部 信喜・高橋 和之 補訂) 岩波書店【978-4-00-022781-0】
有斐閣双書 憲法入門(伊藤 正巳) 有斐閣【978-4-641-11263-6】

科目名: **経済学**

担当者: 金谷 義弘(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 本年度の経済学は、経済という事象とそれに関する皆さんの知識が、実際に九州保健福祉大学を卒業して、実社会に出て、社会的に自立する上で、また、経済的に自立するという観点に立つて(特徴Ⅰ)、実践的生活を持つように修正して行く(特徴Ⅱ)ように努めて行きます。
そのために、皆さんが活動する医療や福祉なども包み込む、現代経済の仕組みをテーマ(特徴Ⅲ)にします。しかし、現代の経済社会といった場合に、眼前の現実だけ見ても、現実は見えません。何故なら、現実はずっと過去から未来へ向けて変動する過程にあるものだからです。そこで、近代経済社会が成立する18世紀から19世紀の先進資本主義諸国で、何故、コレラやペストの流行が起こったのか、それが急激な19世紀の経済発展に伴って発生したことなどについてもお話します(特徴Ⅳ)。この経済発展の過程で、急速な産業発展や、人口の都市集中などがあったからなのです。
また、昨今の経済は、ICT(情報・コミュニケーション技術)の急激な諸産業分野への浸透とも深い関係があります。そこで、産業面では、IoT(Internet of Things)、交通面では自動運転などを促すTelematics、金融面ではFinTechなどの事態が急激に進行しています。これらの変化に明らかに医療や福祉も影響を受けて行きます。このように経済というのは、実社会に出て生きていく上で必要不可欠な知識です。ここ200年余の経済発展の中で起こったこと、消費、その背後にある流通と生産、新製品の開発、雇用と所得などについて学んでいきましょう。

到達目標: (SBOs) 本講義の目的は、医療や福祉を学ぶ皆さんが、その自分たちの専門性を深め、進路を開拓する上で、如何に経済の観点からモノを見る理解力、分析力が必要・不可欠かを理解してもらうことを課題とする。そのためには経済現象に関する基礎的な理解が不可欠です。そこで、本講義は、
1)経済現象を理解できる見方・感覚を身につけること、
2)経済現象を歴史的な変化・発展から理解できること、
3)技術革新と経済発展の観点から、現実を見ることができ、
4)もって、これから遭遇するであろう現実や課題(それは多くの場合、皆さんの専門性を越えた総合力を要求することになります)を理解・分析できるようにすること
5)最後に、一講義科目、2単位を越えて、社会経済の変化と転換、それを反映する将来の職業的課題とのつながりを把握するために必要な、社会・経済事象を、主にWebを使ってどのように、情報収集するかという点についての実践的知識を獲得できること(これは私の本務である宮崎大学と他大学で実施して、高い効果が確認されました)。
などを到達目標にします。
こうした学習の中で、医療・福祉などの多様なサービスを知るためにも、並行して開講される「医療経済学」も受講してくれるとありがたいです(こちらでは医療の経済を中心にお話します)。

評価方法: (1) 所定の基準を満たす、授業への出席を前提にして、
? 授業終了後の質問についても大歓迎であり、また、リアクションペーパーへの質問感想も、(2)のように平常点に反映します。
(2)毎時間におけるリアクションペーパーの提出とその評価(30%)
? このリアクションペーパーの意義がるものを選択し、これらに対して、次週の授業冒頭でコメントを行い、同時に復習の作業として活用します。
(3)期末試験の点数(70%)
によって総合評価を行います。

準備学習・履修上の注意等: (1)心構えの問題として、経済学などを学ぶことは、皆さんの専門教育と異なり、自分の技能を現代社会の中に「位置づける」力を涵養します。
(2)社会・経済とその絶えざる変動などの複雑な諸条件の中に、本当は存在している、皆さんの職場、医療・福祉の現況を感知する理解力を目指して欲しい。
(3)資料は、十分読むに値するように書かれているので、復習に使って欲しい。
(4)Web上で、如何に信頼に値するデータを獲得するかについて、説明するので、各回の復習に関する指示に従って欲しい。
(5)適切な時期に、試験問題を複数選択できるように事前公開する。上掲(3)の配布資料は膨大になるので、毎回きっちりファイリングして、授業全体を見通した復習をされたい。

オフィスアワー: 非常勤なので、(1)講義終了後の口頭による質問を出されたい。また、(2)講義中に配るリアクションペーパーにて質問してもらいたい。質問やコメントは大歓迎!!!

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	3)	★社会科学系の授業は、その研究対象が変化・発展している。そのため、大きな社会経済上の事件があると、その変化に対応して、新しい論点を取り入れ、後掲の論点を何かを外す場合があること、また、各回の講義内容の順番が入れ替わることなどを了解されたい。	講義	金谷
2	2)	【①まずは、僕たち、私たちの生活にどれだけのお金がかかっていたか、これからかかってくるかを見てみよう】 A.これまで皆さんが大学に入るまでに、どれだけのお金がかかったか? B.人の人生には「ライフイベント」と呼ばれる、誰もが経験する事件がある。 C.これにどのくらいのお金がかかるのか? D.だから「ライフプラン」を立てないといけないのダッ!	講義	金谷

3	2)	【②経済の歴史(1)ーイギリス産業革命と資本主義経済の自立ー】 産業革命とは何か？それって歴史の対象じゃないのか？そうでもない。そこには技術革新が起爆剤となって、劇的な経済活動の高まりと教訓が見られる。	講義	金谷
4	1)2)4)	【③経済の歴史(2)ー世界各国の産業革命の進展と19世紀世界経済へー】 産業革命はイギリスを超えて、ベルギー、フランス、ドイツ、さらにはアメリカ、日本にまで波及した。それは経済活動だけでなく、鉄道、海運と運河、情報通信、医療などの諸側面に大きな変化をもたらした。 〔医療：都市への人口集中は、都市の生活環境の悪化を招き、例えば	講義	金谷
5	1)	1831年にロンドンでも、これらの大流行を招いた。疫学の祖と言われるジョン・スノウは、まだコレラ菌も発見されていない中で、統計的手法を使いながら原因究明を行った。〕	講義	金谷
6	1)	【④貨幣の経済学ー貝・銀貨・金貨から電子マネーまでー】 現代経済はまずもって貨幣経済である。それを非常に広く、歴史的発展の視野から理解する。〔医療：医療行為もまた貨幣換算されて取引される。そこから湧きでる疑問の数々〕	講義	金谷
7	1)	【⑤産業循環の経済学ー経済はたんたんとして発展した訳じゃないー】 経済の成長というもの、どんどん成長する時もあれば低迷して展望がない局面もある。そうした山と谷が織りなす経済成長の波動を産業循環という。その生の姿を通して、19世紀資本主義と20世紀以降の資本主義の歴史的変化を追う。繰り返しの中でだんだん違うことが起こっているんだ！ 〔医療：でも医療のような制度がその循環の波に晒されて困る！そこに「制度」を作る意義がある。〕	講義	金谷
8	1)	【⑥資本主義の経済学ー市場はグラウンド、プレイヤーは企業だー】 貨幣の経済学で見たのは、商品と貨幣の取引、すなわち市場、経済活動のグラウンドだ。現代経済では、そのグラウンドの上にもものすごく発展したプレイヤーがいる。それは利潤を追い求めて、激烈な競争をする。では資本主義とは何なのか？〔医療：通常市場では、財とサービスとが売買される。医療はサービス、では投薬は？〕	講義	金谷
9	1)	【⑦資本主義の経済学ー競争と技術革新のメカニズムー】 各々の産業に所属する個別企業(資本)は、何故、どのように競争するのかそのメカニズムを説明する。これは動的で現実を見る非常に重要な観点です。	講義 グループ学習	金谷
10	1)	【⑧何故産業は「循環」するのか？ー1920年代米国の経済発展を事例にー】 1920年代アメリカは、第一次世界大戦を終えて、自動車、水より安い石油、電気機械産業(言い換えると、ヘンリー・フォードとエジソン)、住宅建設などの発展によって未曾有の経済発展を経験した。その事情を、極力生き生きと説明したい。その中で、⑤で述べた産業循環の生きた姿を説明する。この経済発展は1929年の世界大恐慌に繋がるが、重要なのは、現代の技術革新との違いを考えるというところへ繋げることです。	講義	金谷
11	1)2)	【⑨経済社会の情報収集の経済学ー自分でやる経済情報収集ー】 ちょっと実践的に考えて見ても、企業や業界に関する社会・経済の調査力をアップしておくことは、直接的にも就活などに立つだろう。ではどうするか検索エンジンにキーワードを入れて…?! 実際には良い加減な情報も氾濫している。そんなことでは良い情報に出会えない。どこに大事な情報は集約されているのか？検索マシン盲従からの脱却経済学。請う、ご期待!!!	講義	金谷
12	1)2)	【⑩・⑪20世紀資本主義経済の発展とマネージメントの登場】 先に大19世紀資本主義はだんだん軽工業から重化学工業化した。しかし、20世紀に入って、自動車産業や電機産業、石油化学工業などが生まれた。これを鉄道・船舶・運河などの交通体系の形成が支えた。その中で、企業は「マネージメント(企業の運営をやりくりしていく手法)」を生み出す必要に迫られた。ここでは、アメリカ20世紀初期の経営学の登場を理解する。	講義	金谷
13	3)5)	【⑫・⑬モノ作りの経済学】 自動車産業では、20世紀初頭のフォードシステム、戦後日本の家電製品の製造、現代の自動車の自動運転化、iPhoneのグローバル製造など、モノ作りの変遷を追跡し、経済の生きた動態を理解する。	講義	金谷
14	3)4)6)	【⑭2000年代アメリカの経済成長と2008年のリーマンショック】 2000年代アメリカ経済の発展、グローバルシティ、不動産ブーム、サブプライムローン、住宅金融の活況と証券化(セキユリタイゼーション)の技術の活用、不動産ブームは崩壊して諸原因、ユーロを導入し発展した欧州経済とその危機への運動、学びとるべき教訓、などに触れる。	講義	金谷
15	3)7)	【⑮FinTechと金融の変化】	講義	金谷

リーマンショック後の金融は、自動車の自動運転の動きと同様に、ICTという技術革新によって、ベンチャー企業の新しい試みと相互の競争、既存金融機関に対するこれらベンチャー企業の圧迫の高まり、既存金融機関の反撃、AppleやGoogleなど情報巨大企業の関与と基板作りなどを簡単に紹介する。

経済学は、現代社会の動きを絶えず反映する責務が大きい分野であるため、開講期間中に新たな動きがあれば、上掲のシラバスは修正されることをご理解下さい。

教科書： 特になし。

参考書： 参考文献やWebサイトについては、逐次、授業中に配布資料にて指摘して行く。

科目名: **地域人権支援論**

担当者: 秋葉 敏夫(福・福)

配当学科: 薬学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 24 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 世界の様々な地域に人権を侵害されている人が多数存在する。人権の特性とは何なのか、それが侵されるということはどういう意味をもつのか、どんな支援方法があるのか。本講義により、世界各地(日本も含む)の人権の実情を把握し、大学で学ぶ自分がどうすれば彼らを支援できるかを考えられる。また、支援することの問題についても理解が深まる。

到達目標: (SBOs)

- 1) 人権の特性について理解できる。
- 2) 難民の現状概説できる。
- 3) 教育と人権問題の関係を説明できる。
- 4) 貧困と人権問題の関係について述べることができる。
- 5) 子どもの人権問題について第三者に説明できる。
- 6) 人道援助と政治との関係について理解ができる。
- 7) 社会学と援助の関係が説明できる。
- 8) 援助を行う上での注意点がわかる。

評価方法: 毎回講義の後に提出する課題小レポートの内容(30%)と、学期末に課される課題レポートの点数(70%)で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 講義中に質問をするので、積極的に意見を述べる事。また、配布された資料を見ながら復習、要点のまとめ、関連するニュースやウェブサイト情報を探したりして1時間以上の学習時間を確保すること。

オフィスアワー: 水・木・金曜日12:30から13:00まで

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	人権とは?	講義	秋葉
2	2)	難民になってみよう。	ロールプレイ	秋葉
3	2)	難民を減らすためにどのようなことが行われているのだろうか?	講義	秋葉
4	3)	人権と教育支援はどのような関係になっているの?	講義	秋葉
5	4)	保健医療分野と人権支援はどうなっているの?	講義	秋葉
6	4)	人権支援のためにどんな貧困対策が行われているの?	講義	秋葉
7	5)	世界的に見て、子どもの人権はどうなっているの?	講義	秋葉
8	5)	子どもの人権を守るためにどんな対策がとられているの?	講義	秋葉
9	6)	環境と人権はどうつながっているの?	講義	秋葉
10	6)	人権支援と政治はどんな関係になっているの?	講義	秋葉
11	7)	人道援助を担っているボランティアやNPO、NGO、国際機関、政府機関はどこが違うの? 援助と社会学はどんな関係があるの?	講義	秋葉
12	8)	援助は本当に良いことなの? 日本はどんな人道援助を行っているの? 国際機関はどんな人道援助をしているの?	講義	秋葉

教科書: 使用しない。必要に応じて資料を提供する。

参考書: 使用しない。

科目名: **インターンシップ I**

担当者: 日田 剛(福・福)、外部講師

配当学科: スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 本科目を受講することで、将来自分がどのような仕事に就きたいのかを具体的にすることができる。実際に社会で活躍している人や、地域を支える社会資源(社会福祉関係施設、一般企業、行政機関など)から、必要な技術や知識、そして心がけておくべきことを学び、学生である間に何を目標にするのかを明確にできる。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 科目の全体像を理解できる。
 - 2) 社会を取り巻く環境や、社会資源の役割について理解できる。
 - 3) 働く場を直接見ることで、仕事について具体的に自分の言葉で説明できる。
 - 4) 仕事をするうえで最低限必要な知識を理解できる。
 - 5) 社会で活かせる資格、必要とされる能力について理解できる。
 - 6) 職業体験としてのインターンシップについて理解できる。
 - 7) テーマに沿った活動をチームで行うことにより「チームで働く力」を高めることができる。
 - 8) インターンシップを体験した学生の報告会に主体的に参加することができる。
 - 9) インターンシップ報告会から、インターンシップで何が学べるのか理解し、言語化できる。
 - 10) 社会福祉分野の仕事について、実践者から直接説明を受け、理解できる。
 - 11) この科目で学んだことを、自らの人生設計にどう生かすのか整理することができる。

評価方法: 定期的なレポート課題、期末試験で総合的に評価を行う。レポート10点×5回(50点) 期末試験(50点)

準備学習・履修上の注意等: 演習は主体的に参加する。また外部講師には適切な態度で接する。

オフィスアワー: 授業時間以外でキャリア教育支援室に在籍であればいつでも可。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	この科目を学習する意義、目的を考える。	講義	日田
2	2)	社会資源について理解を深める。	講義	日田
3	3)	職場見学に参加するにあたり目的、目標を明確にする。	演習	日田
4	3)	グループに分かれ職場見学に参加する。	演習	日田・外部講師
5	3)	職場見学を振り返り、仕事について考えを深める。	講義・演習	日田・外部講師
6	4)	社会で一般的に必要な知識について知る。	講義	外部講師
7	5)	取得可能な資格を中心に社会で求められる能力を知る。	講義	外部講師
8	6)	インターンシップについて理解を深める。	講義	日田
9	7)	インターンシップ報告会の概要を理解し、聴講する際に着目する点を考える。	講義・演習	日田
10	8)	インターンシップ報告会に参加する。	講義	日田
11	9)	インターンシップ報告会から学んだ点を振り返る。	講義・演習	日田
12	9)	インターンシップ報告会での学びを発表する。	演習	日田
13	9)	インターンシップ報告会での学びを発表する。	演習	日田
14	10)	社会福祉分野の就労について理解を深める。	講義	日田
15	11)	この科目を振り返り、自らの方向性を考える。	講義・演習	外部講師 日田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **インターンシップⅡ**

担当者: 日田 剛(福・福)、外部指導者

配当学科: 臨床福祉学科2年・スポーツ健康福祉学科2年

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: この科目は自らがどのような分野、環境で仕事をしたいのかを明確にすることが目標である。また、実際にインターンシップでの職場体験を通し、仕事をするうえで必要な知識、技術、心構えとは何かを知るきっかけを得ることができる。卒業後の進路について具体的に考えることは、目的を持った有意義な大学生活を送ることに不可欠である。

到達目標: (SBOs)
1)自らが興味のある仕事の分野について明確にできる。
2)希望するインターンシップ先を選定できる。
3)インターンシップに必要な手続きを主体的に実施できる。
4)インターンシップの目的、目標を設定することができる。
5)インターンシップを通しての学びを考察することができる。

評価方法: 授業後のレポート、学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、出席状況、授業態度)、及びインターンシップの評価を総合して評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: インターンシップについての手続き、受け入れ先との連絡調整などを主体的に行う。

オフィスアワー: 授業時間外でキャリア教育支援室に在籍であればいつでも可。||

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	1)この科目の目的、意義について理解する。	講義	日田
2	1)	2)インターンシッププログラムについて理解する。	講義・演習	日田
3	2)	3)インターンシップの受け入れ事業所を調べる。	講義・演習	日田
4	2)	4)希望するインターンシップ先を決定する。	講義・演習	日田
5	3)	5)インターンシップ先への事前訪問について具体的な予定を立てる。	講義・演習	日田
6	3)4)	6)インターンシップに必要な書類を作成する。	講義・演習	日田
7	4)	7)インターンシップ先に事前訪問に行く。	実習	外部指導者
8	4)	8)インターンシップ中の注意事項を確認する。	講義	日田
9	5)	9)インターンシップの実施	実習	外部指導者・日田
10	5)	10)インターンシップの実施	実習	外部指導者・日田
11	5)	11)インターンシップの実施	実習	外部指導者・日田
12	5)	12)インターンシップの実施	実習	外部指導者・日田
13	5)	13)インターンシップの実施	実習	外部指導者・日田
14	5)	14)インターンシップの実施	実習	外部指導者・日田
15	5)	15)インターンシップの実施	実習	外部指導者・日田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **インターンシップⅢ**

担当者: 日田 剛(福・福)、外部指導者

配当学科: 臨床福祉学科2年生・スポーツ健康福祉学科2年生

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習

授業概要: インターンシップの経験から考察を深め、自らの課題、それを克服するための具体的な方策を明確にできる。また、経験を言語化してそれを伝える力を身に付けることができる。この科目を通して、残りの大学生活を送るに当たり何をすべきかを自覚できる。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)インターンシップの振り返りから自己の課題を認識できる。
 - 2)インターンシップの経験に考察を加え、言語化できる。
 - 3)インターンシップの経験を他者に伝え共有することができる。
 - 4)新たなインターンシップについて企画、提案することができる。
 - 5)インターンシップとインターンシップ報告会を通して総合的な自己評価ができる。

評価方法: 課題レポート、学習への取り組み姿勢(授業の出席状況、課題の提出状況)、インターンシップ報告会への取り組みで総合的に評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: インターンシップ報告会の実施など主体的な姿勢が求められる。

オフィスアワー: 授業時間以外でキャリア教育支援室に在室中であればいつでも可。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	インターンシップについての振り返りを行う。	講義・演習	日田
2	2)	インターンシップ報告書作成について理解する。	講義・演習	日田
3	2)	インターンシップ報告書を作成する。	演習	日田
4	2)	インターンシップ報告書を作成する。	演習	日田
5	3)	インターンシップ報告会について理解する。	講義・演習	日田
6	3)	インターンシップ報告会に必要な資料を作成する。	演習	日田
7	3)	インターンシップ報告会に必要な資料を作成する。	演習	日田
8	3)	インターンシップ報告会を実施する。	演習	日田
9	5)	インターンシップ報告会の振り返りを行う。	講義・演習	日田
10	4)	インターンシップのあり方について、自らの経験も踏まえて検討する。	講義・演習	日田
11	4)	新しいインターンシップの形を企画する。	演習	日田
12	4)	企画したインターンシップについて整理してまとめる。	演習	日田
13	4)	企画したインターンシップの内容を共有する。	演習	日田
14	5)	今後の自らの進路について考察する。	講義・演習	日田
15	5)	総合的に自己評価を行う。	講義・演習	日田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **生物学**

担当者: 渡辺 渡(保・工)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 生物学では、生命体(生物体)の概要を科学的に理解し、生物学的なものの考え方を習得することを第一目標とする。そのためには個々の知識のみを獲得するのではなく、授業全体を通して内容の繋がりを生物学的意義、またそれぞれの知見が得られてきた過程や背景などを理解する。所属学科の分野にのみ留まらず、社会福祉学部の学生として、偏りなく内容を理解し知識を修得することが大切である。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 生命体を持つ性質について説明できる。
 - 2) 生命体を構成する核酸、タンパク質、脂質、炭水化物について説明できる。
 - 3) 細胞小器官(オルガネラ)、細胞骨格の構造と機能について説明できる。
 - 4) 遺伝現象を担う核酸(DNAとRNA)、DNAの複製機序、体細胞分裂、減数分裂について説明できる。
 - 5) 生命活動を担うエネルギーの獲得、ATPが果たす役割について説明できる。
 - 6) 免疫機能、脳の機能、ストレスの機序、老化現象、筋肉の機能について説明できる。
 - 7) 遺伝子組換え、クローン技術、再生医療について説明できる。
 - 8) 生態系の構成、生命体を取り巻く環境について説明できる。

評価方法: 毎回の授業終了後に行う小試験、レポートおよび学期末の単位認定試験で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業は主にプロジェクターで資料および説明図を提示し、その内容を解説する形で進める。社会福祉系総合大学に学ぶ学生は、人の健康や幸せを支える生命科学系学問である生物学を基盤に「生物全体の幸せ」を考えていくことが求められる。授業の内容に関して予習項目・内容を指示するので、それに従って予習してくる。毎回の授業後は、授業中に自分でとったノート、配付されたプリントを使って授業内容をレポートにまとめて復習すること。1回の授業につき4時間を目安に予習と復習を行うこと。受験で生物学を選択しなかった人は、基礎知識を早期に習得するよう努力すること。受験で生物学を選択した人は、既得の知識に生物学の世界を再構築するよう努めること。

オフィスアワー: 毎週月曜～金曜日: 12:20～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【生命体の概念】 生命体を持つ性質	講義	渡辺
2	2)	【生命現象を支える分子1】 生命体を構成する核酸、タンパク質	講義	渡辺
3	2)	【生命現象を支える分子2】 生命体を構成する糖質、脂質	講義	渡辺
4	3)	【細胞の構造と機能】 細胞小器官(オルガネラ)、細胞骨格	講義	渡辺
5	4)	【核酸と染色体】 遺伝現象を担う核酸(DNAおよびRNA)と染色体	講義	渡辺
6	4)	【DNAの複製と細胞分裂】 DNA複製の機序、体細胞分裂、減数分裂	講義	渡辺
7	5)	【エネルギーと代謝】 生命活動を担うエネルギーの獲得とATP	講義	渡辺
8	6)	【生命体の機能1】 免疫に関わる物質、免疫担当細胞	講義	渡辺
9	6)	【生命体の機能2】 免疫に関わる病気(免疫疾患)	講義	渡辺
10	6)	【生命体の機能3】 神経系の構造、脳の働き	講義	渡辺
11	6)	【生命体の機能4】 ホルモンの作用、ストレスの機序	講義	渡辺
12	6)	【生命体の機能5】 老化関連物質、老化現象、抗酸化作用、水素と生命体	講義	渡辺
13	6)	【生命体の機能6】	講義	渡辺

運動に関わる物質、筋肉(筋肉エンジン)

14	7)	【バイオテクノロジー】 遺伝子組換え、クローン技術、DNA鑑定、再生医療	講義	渡辺
15	8)	【生命体と環境】 生態系の構成、生命体を取り巻く環境	講義	渡辺

教科書: 使用しません。

参考書: 資料(プリント)を配付します。

科目名: **生理学**

担当者: 小川 芳徳(福・ス)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・こども保育福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 生体の示す特有な現象(生命現象)を知ることが、疾病の成因や健康の維持増進に役立てるために必要であり重要な知識である。
生理学では、健康な状態において、身体が刺激に対してどのように応答をして如何に恒常性(ホメオステシス)を保っているかを理解し、基本的な知識を修得する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 身体の構成を説明できる
- 2) 外部情報の獲得について説明できる
- 3) 精神機能について説明できる
- 4) 随意運動にかかわる機能について説明できる
- 5) 生命を継ぐことを説明できる
- 6) 血液循環の機能を説明できる
- 7) 栄養の摂取と利用の仕方を説明できる
- 8) 内部環境の維持について説明できる
- 9) 生体を防御するしくみを説明できる

評価方法: 授業ごとの確認テストにより形成的評価(授業の指導方法の確認・修正のための評価)を行う。学習への取り組み姿勢(授業態度、課題の提出)の評価を20%及び学期末の単位認定試験80%とし、総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき4時間の予習・復習を行うこと(土、日、祝日、長期休暇を用いて)。授業プリントの次回授業部分(事前に配布する)を読んでおくこと。

オフィスアワー: 12:30~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	からだのしくみ、その概略を知る。	講義	小川
2	1)4)	骨格 骨の連結	講義	小川
3	1)3)	神経	講義	小川
4	1)4)	骨格筋 筋力発揮の様式と神経調節	講義	小川
5	1)8)	呼吸によるガス交換	講義	小川
6	1)6)	心臓による血液の運搬	講義	小川
7	7)	エネルギーを得るための消化と吸収	講義	小川
8	7)	体液	講義	小川
9	8)	栄養と代謝	講義	小川
10	8)9)	体温	講義	小川
11	8)	腎臓・尿路	講義	小川
12	1)2)5)8)	内分泌系	講義	小川
13	1)5)	生殖	講義	小川
14	1)2)	感覚1 体性感覚、内臓感覚	講義	小川
15	1)2)	感覚2 特殊感覚(視覚、聴覚、嗅覚、味覚、平衡感覚)	講義	小川

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **生理学**

担当者: 小川芳徳(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科1年

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 生体は特有な生命現象を示します。生理学は、その生命現象の機序を研究する自然科学です。生体は、外界からの刺激に対して反応・応答します。この科目では、刺激に対して応答するメカニズム、そして生体を保持する仕組みを理解し、基本的な知識を修得することを目的にします。

到達目標: (SBOs)

- 1) 身体の構成を説明できる
- 2) 外部情報の獲得について説明できる
- 3) 精神機能について説明できる
- 4) 随意運動にかかわる機能について説明できる
- 5) 生命を継ぐことを
- 6) 血液循環の機能
- 7) 栄養の摂取と利用の仕方を
- 8) 内部環境の維持について
- 9) 生体を防御するしくみ

評価方法: 授業ごとの確認テストにより形成的評価(授業の指導方法の確認・修正のための評価)を行う。学習への取り組み姿勢(授業態度、課題の提出)の評価を20%および学期末の単位認定試験を80%とし、総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき4時間の予習・復習を行うこと(土、日、祝日、長期休暇を用いて)。授業プリントの次回授業部分(事前に配布する)を読んでおくこと。

オフィスアワー: 12:30~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	生理機能の特徴、細胞の構造と機能、物質代謝	講義	小川
2	1)	体液の組成とはたらき	講義	小川
3	1)	物質移動	講義	小川
4	1)5)8)	血液の組成とはたらき、止血、線維素溶解能、血液型	講義	小川
5	1)5)8)	心臓血管系、心臓の構造とはたらき	講義	小川
6	1)5)8)	血液循環	講義	小川
7	1)5)8)	循環調節、リンパ系	講義	小川
8	1)8)	呼吸器、換気とガス交換	講義	小川
9	1)8)	呼吸運動とその調節	講義	小川
10	1)6)	消化と吸収、消化管の運動	講義	小川
11	1)6)	消化液と吸収	講義	小川
12	1)6)	肝臓の働きおよび摂食の調節	講義	小川
13	7)	食品と栄養素	講義	小川
14	7)	代謝	講義	小川
15	7)	各栄養素の働き、および代謝	講義	小川

教科書: 生理学(東洋療法学校協会編)医歯薬出版株式会社【978-4-263-24166-0 C3347】

参考書: 特に指定しない。

科目名: **基礎統計学**

担当者: 三宅 邦建(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: この科目の目的は、学生が統計学の基礎と実務的な知識を習得することにある。学生は将来の進路(福祉関連の仕事など)に役立つ実践的な統計の知識を得、学期終了後には簡単な統計分析を独力でできることが期待される。データについての基礎知識、集団の特徴を表す統計量、標準得点、さらには関連性・相関係数について学ぶ。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)統計学とはなにかを説明できる。
 - 2)データの特徴を説明でき、4つの尺度を実際のデータで区別できる。
 - 3)度数分布表をデータから作成できる。
 - 4)集団の特徴を表す代表値の区別ができ、簡単な計算が出来る。
 - 5)度数分布表をグラフ化し、度数分布多角形、度数分布曲線とその意味の理解へと発展させることができる。
 - 6)標準偏差の意味を理解し、計算できる。
 - 7)標準得点の意味と得点の標準化の必要性を理解する
 - 8)正規分布の概念を理解し、標準正規分布表を用い得点の相対的位置を計算できる。
 - 9)標準偏差と標準得点を日常生活に応用できる。
 - 10)データ表からクロス集計表を作成し、2変数の関係を記述できる。
 - 11)ピアソン相関係数の基礎と特徴を説明できる。

評価方法: 学期末試験で評価する

準備学習・履修上の注意等: 認定心理士取得希望者は「心理統計学」を受講のこと。基礎統計学と心理統計学は同時に受講できません。基礎統計学履修済みの学生は心理統計学を後から履修できません。授業妨害(私語)をする学生は、即刻退室を命じます。統計学は毎回の授業の積み重ねなので、解らないままにしないで、一回の授業に対して最低1時間復習して下さい。

オフィスアワー: 担当者の研究室(518号)に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション 統計学とはなにか	講義	三宅
2	1)2)	データのまとめ方 #1 データの特徴と尺度法	講義	三宅
3	3)	データのまとめ方 #2 単純集計と度数分布表	講義	三宅
4	4)	データのまとめ方 #3 3つの代表値と平均値の計算	講義	三宅
5	4)	データのまとめ方 #4 3つの代表値と中央値の計算	講義	三宅
6	5)	データのまとめ方 #5 グラフとデータの視覚化	講義	三宅
7	6)	標準偏差の意味	講義	三宅
8	7)	標準得点 #1 標準正規分布とその利用	講義	三宅
9	7)	標準得点 #2 標準正規分布表と得点の相対的位置	講義	三宅
10	7)	標準得点 #3 標準正規分布表活用の応用	講義	三宅
11	10)	二変数の関係を調べる #1 クロス集計表の作成	講義	三宅
12	10)	二変数の関係を調べる #2 クロス集計表の解釈	講義	三宅
13	11)	二変数の関係を調べる #3 相関係数 プロット図と二変数の関係	講義	三宅
14	11)	二変数の関係を調べる #4 相関係数 ピアソン相関係数の基礎と特徴	講義	三宅
15	11)	二変数の関係を調べる #5 相関係数 「統計的關係」と日常生活	講義	三宅

教科書： 統計学なんて楽勝だ 第2版 (三宅邦建)

参考書： なし

科目名: 生涯スポーツ実習 I

担当者: 正野 知基(福・ス) 山本 順之(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 生涯を通じてスポーツ・レクリエーションを楽しみながら体力づくり・生きがいづくりを進める生涯スポーツの実現を目指すとともに、心身の健全な発達と明るく豊かで活力に満ちた生きがいのある生活を形成していく態度を学ぶ。本授業では、ネット型スポーツであるバレーボール、バドミントンと、同じくネットを用いたニュースポーツであるインディアカ、ミニバレー、ラケットテニスを取り上げる。これらの種目を通して、スポーツ・レクリエーション活動を行う際の協調性やマナー等の重要性を理解し、さらに安全に実施するための資質を習得する。

到達目標: (SBOs) 1) 当該種目のルールが説明でき、基本動作が実践できる。
2) 当該種目の個人技術が実践できる。
3) 状況に応じた攻撃や守備が実践できる。
4) 技術の習得やパフォーマンス向上のために仲間とコミュニケーションをとり協力できる。
5) 安全を考慮した行動ができる。

評価方法: 試合成績(20%)、授業の記録(30%)、授業に対する取り組み状況(50%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 運動にふさわしい服装・体育館シューズを準備すること。また、安全のためにも緊張感を持って授業に臨むこと。日常生活の中でも身体を動かすことを意識し、健康管理に努めること。

オフィスアワー: 時間割発表後に研究室ドアに掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)5)	バレーボール: チーム編成、基本動作の習得	実習	山本
2	2)4)5)	バレーボール: 個人的技術の習得を目指した基礎編(1)	実習	山本
3	2)4)5)	バレーボール: 個人的技術の習得を目指した基礎編(2)	実習	山本
4	3)4)5)	バレーボール: 状況に応じた攻撃や守備を目指した応用編(1)□	実習	山本
5	3)4)5)	バレーボール: 状況に応じた攻撃や守備を目指した応用編(2)□	実習	山本
6	3)4)5)	バレーボール: 状況に応じた攻撃や守備を目指した応用編(3)□	実習	山本
7	3)4)5)	バレーボール: 状況に応じた攻撃や守備を目指した応用編(4)□	実習	山本
8	1)4)5)	ミニバレー: 用具やルールを変更したニュースポーツの体験	実習	山本
9	1)4)5)	インディアカ: 用具やルールを変更したニュースポーツの体験	実習	山本
10	1)5)	バドミントン: チーム編成、基本動作の習得	実習	山本
11	2)4)5)	バドミントン: 個人的技術の習得を目指した基礎編	実習	山本
12	3)4)5)	バドミントン: 状況に応じた攻撃や守備を目指した応用編(1)	実習	山本
13	3)4)5)	バドミントン: 状況に応じた攻撃や守備を目指した応用編(2)	実習	山本
14	3)4)5)	バドミントン: 状況に応じた攻撃や守備を目指した応用編(3)	実習	山本
15	1)4)5)	ラケットテニス: 用具やルールを変更したニュースポーツの体験	実習	山本

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **生涯スポーツ実習 I**

担当者: 井藤 英俊(福・ス)

配当学科: 臨床福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 生涯スポーツ実習 I は、各種スポーツなどを行なって楽しい、汗を流して体力がついたということも重要であるが、大学生活において、あるいは大学卒業後に生涯にわたって健康で豊かな生活を送るために必要な「運動・スポーツを生活に取り入れていく習慣」を形成するために、その実践方法を学び修得する。さらに、運動・スポーツを通じたコミュニケーションや、体のふれあいを通じた仲間づくりを修得する。

到達目標: (SBOs) 1)バレーボールの特性・楽しみ方・基本技術を修得し、実践できる。
2)ソフトボールの特性・楽しみ方・基本技術を修得し、実践できる。
3)バスケットボールの特性・楽しみ方・基本技術を修得し、実践できる。
4)バドミントン・室内テニスの特性・楽しみ方・基本技術を修得し、実践できる。
5)卓球・フットサルの特性・楽しみ方・基本技術を修得し、実践できる。

評価方法: 受講態度(自己の技能に関心を持ち、仲間と協力・助言しあいながら積極的に取り組む)70%、技能テスト30%

準備学習・履修上の注意等: 体育館シューズ、グラウンドシューズの二足を用意すること
運動着(ジャージ)で受講すること、アクセサリ(金具)は身につけないで受講すること

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日 12:30～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【生涯スポーツ実習 I のねらい】 バレーボール①オーバーハンドパス、アンダーハンドパス	実習	井藤
2	1)	バレーボール②アンダーハンドサーブ、サイドハンドサーブ、フロターサーブ	実習	井藤
3	1)	バレーボール③レシーブ、スパイク、ブロック	実習	井藤
4	2)	ソフトボール①キャッチボール、ピッチング	実習	井藤
5	2)	ソフトボール②打つ構え方、スイング、バント	実習	井藤
6	2)	ソフトボール③ポジション別捕球のポイント(捕手、内野手、外野手)	実習	井藤
7	3)	バスケットボール①ボールハンドリング、ドリブル	実習	井藤
8	3)	バスケットボール②シュート (リングに正体する、スタンス、床に対して垂直に立つ、シューティングハンド)	実習	井藤
9	3)	バスケットボール③パスとカット、パスとスクリーン	実習	井藤
10	4)	バドミントン①ラケットの握り方、ストローク	実習	井藤
11	4)	バドミントン②フライトの種類と打ち方	実習	井藤
12	4)	室内テニス①ラケットの握り方(グリップ)、グラントストローク	実習	井藤
13	4)	室内テニス②サービウ、アプローチ、ホレー、スマッシュ	実習	井藤
14	4)	卓球ラケットの握り方、基本姿勢とスイング、サービスの出し方	実習	井藤
15	5)	フットサル キック、ボールコントロール、ドリブル	実習	井藤

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **生涯スポーツ実習Ⅱ**

担当者: 井藤 英俊(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 身体と心を一体として捉え、スポーツや運動、レクリエーションについての理解とスポーツの合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的にスポーツを楽しむ資質や能力を育てる。また、健康の保持増進のための実践力と体力向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を学習する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)生涯スポーツ運動実践への動機づくりの説明ができる。
 - 2)将来のライフスタイルとしてスポーツを理解し説明ができる。
 - 3)各ライフステージにおけるスポーツの生きがい説明ができる。
 - 4)スポーツを通して仲間づくりの効果を説明できる。
 - 5)技術を伸ばして競技や大会に参加する意気込みを説明できる。
 - 6)運動を通して協力する。また、協同できる事を説明できる。
 - 7)スポーツを通して健康管理ができる事が説明できる。

評価方法: 受講態度、実技テスト、レポートなどにより総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 大学指定のTシャツ、体育館シューズ、グラウンド用シューズを着用すること。
スポーツ種目は、自然環境により変更することもある。
運動を安全に楽しく実施できる。生涯に繋がる学習を学ぶ。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日 12:30～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	個人種目スポーツ 柔軟運動 ゲーム運動 各体操	実習	井藤
2	1)2)3)	個人種目スポーツ ストレッチ 柔軟運動 器械器具を使ってゲーム運動	実習	井藤
3	1)2)3)	個人種目スポーツ 縄跳び 大縄跳び 一輪車 竹馬	実習	井藤
4	1)4)5)	屋外団体種目スポーツ ソフトボール	実習	井藤
5	1)4)5)	屋外団体種目スポーツ ソフトボール	実習	井藤
6	2)3)4)	個人種目スポーツ スポーツ吹矢	実習	井藤
7	2)3)4)	個人種目スポーツ ゴルフ	実習	井藤
8	2)5)	個人・ペア種目スポーツ バトミントン	実習	井藤
9	2)5)	個人・ペア種目スポーツ バトミントン	実習	井藤
10	1)5)6)	屋内団体種目スポーツ バレーボール	実習	井藤
11	1)5)6)	屋内団体種目スポーツ バレーボール	実習	井藤
12	1)5)6)	屋内団体種目スポーツ バレーボール	実習	井藤
13	1)6)7)	個人種目スポーツ ストレッチ体操 器械器具を使ってゲーム運動	実習	井藤
14	1)5)6)	屋内団体種目スポーツ バスケットボール	実習	井藤
15	1)2)3)4)	個人種目スポーツ(屋外) ボーリング	実習	井藤

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **生涯スポーツ実習Ⅱ**

担当者: 山本 順之(福・ス)

配当学科: 臨床福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 生涯スポーツ実習Ⅱは、実習Ⅰに引き続き、大学生活において、あるいは大学卒業後に生涯にわたって健康で豊かな生活を送るために必要な「運動・スポーツを生活に取り入れていく習慣」を形成するために、その実践方法を学び修得する。さらに、運動・スポーツを通じたコミュニケーションや、体のふれあいを通じた仲間づくりを修得する。なお、実習Ⅱでは実習Ⅰで実施した種目を再度取り上げ、ゲームの進め方・運営の方法などを修得する。

到達目標: (SBOs) 1)サッカーの特性・楽しみ方・基本技術を修得し、実践できる。
2)ハンドボールの特性・楽しみ方・基本技術を修得し、実践できる。
3)ソフトボール、バレーボール、バドミントン、バスケットボール、フットサルの種目を実施し、スポーツの楽しさを享受し実践できる。
4)今後の生活を豊かにするべく、生涯スポーツの確立をめざし実践できる。

評価方法: 受講態度(自己の技能に関心を持ち、仲間と協力・助言しあいながら積極的に取り組む)70%、技能テスト30%

準備学習・履修上の注意等: 体育館シューズ、グラウンドシューズの二足を用意すること
運動着(ジャージ)で受講すること、アクセサリ(金具)は身につけないで受講すること

オフィスアワー: 時間割発表後に研究室ドアに掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【生涯スポーツ実習Ⅱのねらい】 サッカー①インサイドキック(足の内側)、アウトサイドキック(足の甲・外側半分)、インフロントキック(親指中心)	実習	山本
2	1)	サッカー②ボールコントロール、クッションコントロール、ウェッジコントロール	実習	山本
3	1)	サッカー③ドリブル、突破のドリブル、キープのドリブル	実習	山本
4	2)	ハンドボール①パス、キャッチ、ドリブル	実習	山本
5	2)	ハンドボール②ランニングシュート、ジャンプシュート	実習	山本
6	3)4)	ソフトボール①打つ、捕る、投げる、走るなどのソフトボールのおもしろさの特性をふまえ、チーム間でルールを確認し、チームが共通意識をもってゲームに参加する。	実習	山本
7	3)4)	ソフトボール②上記の応用を実践する。	実習	山本
8	3)4)	バレーボール①ポジショニングの大切さに気づきながらゲームに参加する チームで作戦(組み立てる)を立てて、ゲームを行なうおもしろさに気づく。	実習	山本
9	3)4)	バレーボール②上記の応用を実践する。	実習	山本
10	3)4)	バドミントン①シャトルの飛び方が、力の加減やラケット面の使い方ではいろいろと変化するおもしろさを理解し、ゲームに参加する。	実習	山本
11	3)4)	バドミントン②上記の応用を実践する。	実習	山本
12	3)4)	バスケットボール①1チーム5人編成であり、原則的に身体接触は禁止であるゲームにおいては、個人の能力だけでなく、攻守にわたってお互いに協力し、チームワークを図ることで勝敗が変わってくることを理解する。	実習	山本
13	3)4)	バスケットボール②上記の応用を実践する。	実習	山本
14	3)4)	フットサル 体の巧みな動きに加え、足や頭でボールを操作しゲームのおもしろさに気づく。	実習	山本
15	1)~4)	実習Ⅰ、Ⅱの学び振り返り、今後の活動に生かす。	実習	山本

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **健康科学論**

担当者: 松田 智香子(福・ス)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科・臨床福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 健康について様々な観点から学び、現在の健康のみならず、生涯にわたって健康でより良い生活を送るために必要な基礎的知識の修得を目指す。

到達目標: (SBOs) 1)「健康」捉え方について理解し、健康の概念について説明できる。
2)現代社会における健康問題について列挙し、健康づくり施策の変遷を説明できる。
3)食生活について正しい知識を説明できる。
4)過剰な栄養摂取から起こる生活習慣病について、その発生機序を説明できる。
5)メタボリックシンドロームについて正しい理解をし、その診断基準を列挙できる。
6)生活習慣病の知識を身に付け、予防するための生活習慣を説明できる。
7)運動不足がもたらす問題点と身体活動の必要性について説明できる。
8)健康生活と睡眠について説明できる。
9)嗜好品の身体に及ぼす影響と健康との関係について説明できる。

評価方法: 期末試験(90%)、授業態度・課題への取り組み(10%)
原則、再試験は行わない。
なお、再試験を行う場合は、本試験で基準点以上の者のみ再試験を受験できる。
(基準点は授業時に説明する)

準備学習・履修上の注意等: 授業時に配布した資料やノートをまとめ事後学習を行う。また毎授業後に次回授業内容を提示するので事前準備を行うなど1コマ当り4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割が決定次第、掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	「健康」の概念	講義	松田
2	2)	健康づくり施策の変遷	講義	松田
3	3)	栄養摂取の基礎知識	講義	松田
4	3)	健康の保持増進のための食生活①	講義	松田
5	3)	健康の保持増進のため食生活②	講義	松田
6	3)4)	健康と食の嗜好品	講義	松田
7	5)	生活習慣病とメタボリックシンドロームの基礎知識	講義	松田
8	6)	生活習慣病の予防と改善①(動脈硬化、高血圧症)	講義	松田
9	6)	生活習慣病の予防と改善②(Ⅱ型糖尿病)	講義	松田
10	6)	生活習慣病の予防と改善③(心疾患、脳血管疾患)	講義	松田
11	7)	運動不足がもたらす問題点	講義	松田
12	7)	生活習慣病の予防のための身体活動	講義	松田
13	8)	健康と睡眠	講義	松田
14	9)	健康生活と嗜好品①(タバコ)	講義	松田
15	9)	健康生活と嗜好品②(アルコール)	講義	松田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **社会福祉の基礎**

担当者: 川崎 順子(福・ス)、外部講師

配当学科: スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 社会福祉学部で学ぶ上で共通する言葉「社会福祉」とは何かの問いを探索し、基礎知識を修得することを目指す。具体的には、まず自らの生活状況を起点に、現代社会に起きている生活課題を理解し、社会福祉の必要性や考え方、支援のあり方を整理する。さらに、歴史的成り立ちや福祉の先覚者の思想を学び、現代に通じる理念を理解する。そのうえで、一人の生活者として、あるいは支援者として必要とされる知識や技術の修得課題を明確にしていく。さらに、自らの将来像と社会福祉との関連性を見だし、社会福祉を学ぶ意義を理解する。

到達目標: (SBOs) 1) 私たちの暮らしと福祉とのかかわりを説明できる。
2) 社会福祉の思想、歴史について説明できる。
3) 社会福祉の成り立ちから、現代社会に求められる社会福祉のありようを説明できる。
4) 社会福祉に関わる制度や専門職の位置づけを説明できる。
5) 社会福祉に携わる支援者の職業倫理を列挙し説明できる。
6) 目指す専門職と社会福祉の関連性について説明できる。

評価方法: 授業ごとのレポートや小テストにより形成的評価(授業の指導方法の確認・修正のための評価)を行う。学習への取り組み姿勢(授業態度、課題の提出)の評価を30%及び学期末の単位認定試験70%とし、総合的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき4時間の予習・復習を行うこと(土、日、祝日、長期休暇を用いる)。
次回の授業アナウンスの際に提示された事前課題に必ず取り提出すること。
授業時に配布するプリントの整理を行うこと。

オフィスアワー: 12:30~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション (社会福祉学を学ぶにあたっての基本的な考え方、学びの姿勢、めざすものを理解する)	講義	川崎
2	1)	現代社会に起きている生活課題の状況を理解する	講義・SGD	川崎
3	2)	社会福祉の歴史的成り立ちの概要を理解する	講義	川崎
4	2)3)	福祉の先覚者の思想を理解する(1)	講義・SGD	川崎
5	2)3)	福祉の先覚者の思想を理解する(2)	講義・SGD	川崎
6	2)3)	福祉の先覚者の思想を理解する(3)	講義・SGD	川崎
7	3)4)	社会福祉の法律、制度の概要を理解する	講義	川崎
8	3)4)	専門職の位置づけを理解する	講義	川崎
9	2)3)4)5)	実践現場における福祉サービスの実際を理解する	講義・SGD	川崎・外部講師
10	2)3)4)5)	実践現場における福祉サービスの実際を理解する。	講義・SGD	川崎・外部講師
11	1)3)4)5)6)	当事者の現状と支援のあり方を理解する。	講義・SGD	川崎・外部講師
12	4)5)6)	専門職としての職業倫理を理解する。	講義	川崎
13	4)5)6)	目指す専門職と社会福祉の関連性を理解する。	講義	川崎
14	4)5)6)	目指す専門職と社会福祉の関連性を理解する。	講義	川崎

教科書: 必要に応じて紹介。

参考書: 編著者川崎順子・辻尾朋子・荻田藍子(2018)「歴史との対話～現代福祉の源流を探る～」大学教育出版【978-4-86429-486-7】

科目名: **基礎演習 I**

担当者: 三宮基裕(福・福)、秋葉敏夫(福・福)、前田直樹(福・福)、横山裕(福・福)、加藤謙介(福・福)、元木久男(福・子)、黒須 依子(福・子)、上農 正剛(福・子)、(予定:外部講師)チューター時間は各チューターが担当する。

配当学科: 臨床福祉学科・子ども保育福祉学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: **【授業の概要】**

専門書や研究論文の読解およびレポート・論文などの執筆に向けて、大学での勉学の土台となる総合的国語力を伸ばすために、演習を通じて「読む」「書く」「考える」の基礎の習得する

【一般目標(GIO)】

(1)ノートテイキング、(2)読解力、(3)漢字力、(4)思考力などを習得する

到達目標: (SBOs) 1)高校までの学習と大学での学びの違いを理解し、自律的な学生生活が送れる。
2)現時点の語彙力、読解力等の習得度を認識し、課題が明確にできる。
3)図書館の機能やインターネットで得られる情報を理解し、適切な資料検索ができる。
4)高校の授業と大学講義との違いを認識し、講義ノートを作成することができる。
5)文章の展開と組み立て捉えることができ、文章の内容を自分なりに解釈できる。
6)文章作成の基本的なルールを認識し、文章作成に応用できる。
7)引用と縮約・要約の違いを理解し、適切な引用、縮約・要約ができる。

評価方法: 毎時間の課題および受講態度、ホームワークの実施状況などにより、各クラスの担当者が総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 10名程度の少人数のゼミ形式で行う講義の進度および内容はクラスの状態により適宜変更する。
毎月初めの講義はチューター時間とする。
1回の授業につき1時間を目安に予習・復習をおこなうこと。

オフィスアワー: 各担当教員に確認

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	チューター時間	個別指導	チューター
2	1)	大学生活の理解(外部講師を予定)	講義	外部講師
3	2)	習熟度の確認	演習	科目担当
4	1)	チューター時間	個別指導	チューター
5	4)	大学での学習の仕方	演習・SGD	科目担当
6	3)	資料検索の方法 1	演習・SGD	科目担当
7	3)	資料検索の方法 2	演習・SGD	科目担当
8	1)	チューター時間	個別指導	チューター
9	5)	文章読解 1	演習・SGD	科目担当
10	5)	文章読解 2	演習・SGD	科目担当
11	6)	文章作法 1	演習・SGD	科目担当
12	1)	チューター時間	個別指導	チューター
13	6)	文章作法 2	演習・SGD	科目担当
14	7)	引用の仕方	演習・SGD	科目担当
15	7)	要約の方法	演習・SGD	科目担当

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **基礎演習 I**

担当者: 正野知基(福・ス)、渡邊一平(福・ス)、松田智香子(福・ス)、山本順之(福・ス)、中野祐也(福・ス)、井藤英俊(福・ス)、(予定:外部講師)チューター時間は各チューターが担当する。

配当学科: スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: **【授業の概要】**

専門書や研究論文の読解およびレポート・論文などの執筆に向けて、大学での勉学の土台となる総合的国語力を伸ばすために、演習を通じて「読む」「書く」「考える」の基礎の習得する

【一般目標(GIO)】

(1)ノートテイキング、(2)読解力、(3)漢字力、(4)思考力などを習得する

到達目標: (SBOs) 1)高校までの学習と大学での学びの違いを理解し、自律的な学生生活が送れる。
2)現時点の語彙力、読解力等の習得度を認識し、課題が明確にできる。
3)大学図書館の機能を理解し、大学図書館を活用して適切な資料検索ができる。
4)高校の授業と大学講義との違いを認識し、講義ノートを作成することができる。
5)文章の展開と組み立て捉えることができ、文章の内容を自分なりに解釈できる。
6)文章作成の基本的なルールを認識し、文章作成に応用できる。
7)社会事象を通じて幅広い教養を習得し、多世代とのコミュニケーションに活用できる。

評価方法: 毎時間の課題および受講態度、ホームワークの実施状況などにより、各クラスの担当者が総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 10名程度の少人数のゼミ形式で行う講義の進度および内容はクラスの状態により適宜変更する。
毎月初めの講義はチューター時間とする。
1回の授業につき1時間を目安に予習・復習をおこなうこと。

オフィスアワー: 各担当教員に確認

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)7)	チューター時間	個別指導	チューター
2	1)	大学生活の理解(外部講師を予定)	講義	外部講師
3	2)	習得度の確認	確認テスト	科目担当
4	1)7)	チューター時間	個別指導	チューター
5	3)	資料検索の方法	演習	科目担当
6	4)	ノートテイキング①	講義	科目担当
7	1)7)	チューター時間	個別指導	チューター
8	4)	ノートテイキング②	演習・SGD	科目担当
9	5)	文章読解力①	講義・演習	科目担当
10	5)	文章読解力②	講義・演習	科目担当
11	5)	文章読解力③	講義・演習	科目担当
12	1)7)	チューター時間	個別指導	チューター
13	6)	文章作法①	講義・演習	科目担当
14	6)	文章作法②	講義・演習	科目担当
15	6)	文章作法③	講義・演習	科目担当

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **基礎演習Ⅱ**

担当者: 三宮基裕(福・福)、秋葉敏夫(福・福)、前田直樹(福・福)、横山裕(福・福)、加藤謙介(福・福)、元木久男(福・子)、黒須 依子(福・子)、上農 正剛(福・子)、(予定:外部講師)チューター時間は各チューターが担当する。

配当学科: 臨床福祉学科・子ども保育福祉学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: **【授業の概要】**
基礎演習Ⅰで養成した基礎的国語力をさらに伸ばすとともに、論文作成の技術およびプレゼンテーション力を習得する。
【一般目標(GIO)】
学術論文の執筆に向けて、より発展的な(1)読解力、(2)資料収集、(3)作文力、(4)考察力、(5)プレゼンテーション力などを習得する。

到達目標: (SBOs) 1)福祉専門職に必要な知識と技術を理解し、将来の目標設定ができる。
2)学術論文等を読み、要約および報告ができる。
3)興味・関心ある事象をみつけ、小論文のテーマ設定ができる。
4)テーマに則した資料が収集できる。
5)文献や資料を読み解き、考察を加えることができる。
6)学術論文に準じた小論文を作成することができる。
7)発表資料を作成し、他者に分かりやすく報告できる。

評価方法: 毎時間の課題および受講態度、ホームワークの実施状況などにより総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 10名程度の少人数のゼミ形式で行う講義の進捗および内容はクラスの状況により適宜変更する。
毎月初めの講義はチューター時間とする。
1回の授業につき1時間を目安に予習・復習をおこなうこと。

オフィスアワー: 各担当教員に確認

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	チューター時間	個別指導	チューター
2	1)	大学生活の理解(外部講師を予定)	講義	外部講師
3	3)	研究テーマを見つける	演習・SGD	科目担当
4	2)4)5)	資料を集める 1	演習・SGD	科目担当
5	2)4)5)	資料を集める 2	演習・SGD	科目担当
6	1)	チューター時間	個別指導	チューター
7	5)6)	小論文を書く 1	演習・SGD	科目担当
8	5)6)	小論文を書く 2	演習・SGD	科目担当
9	5)6)	小論文を書く 3	演習・SGD	科目担当
10	5)6)	小論文を書く 4	演習・SGD	科目担当
11	1)	チューター時間	個別指導	チューター
12	4)7)	発表資料の作成 1	演習・SGD	科目担当
13	4)7)	発表資料の作成 2	演習・SGD	科目担当
14	1)	チューター時間	個別指導	チューター
15	7)	研究発表	演習・SGD	科目担当

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **基礎演習Ⅱ**

担当者: 正野知基(福・ス)、渡邊一平(福・ス)、松田智香子(福・ス)、山本順之(福・ス)、中野祐也(福・ス)、井藤英俊(福・ス)、(予定:外部講師)チューター時間は各チューターが担当する。

配当学科: スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: **【授業の概要】**
基礎演習Ⅰで養成した基礎的国語力をさらに伸ばすとともに、論文作成の技術およびプレゼンテーション力を習得する。
【一般目標(GIO)】
学術論文の執筆に向けて、より発展的な(1)読解力、(2)資料収集、(3)作文力、(4)考察力、(5)プレゼンテーション力などを習得する。

到達目標: (SBOs) 1)学生としての本分を再認識し、専門科目の学習方法および実習や就職等に向けた心構えを理解し、将来の目標設定ができる。
2)学術論文等を読み、要約および報告ができる。
3)興味・関心ある事象をみつけ、小論文のテーマ設定ができる。
4)テーマに則した資料が収集できる。
5)文献や資料を読み解き、考察を加えることができる。
6)学術論文に準じた小論文を作成することができる。
7)発表資料を作成し、他者に分かりやすく報告できる。
8)社会事象を理解し、卒業研究を見据えた幅広い教養を習得する。

評価方法: 毎時間の課題および受講態度、ホームワークの実施状況などにより、各クラスの担当者が総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 10名程度の少人数のゼミ形式で行う講義の進度および内容はクラスの状況により適宜変更する。
毎月初めの講義はチューター時間とする。
1回の授業につき1時間を目安に予習・復習をおこなうこと。

オフィスアワー: 各担当教員に確認

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)8)	チューター時間	個別指導	チューター
2	8)	社会事象の理解	講義	科目担当
3	2)	記事・文献等の要約①	演習・SGD	科目担当
4	2)	記事・文献等の要約②	演習・SGD	科目担当
5	3)	小論文のテーマ設定(テーマ設定の方法)	講義・演習	科目担当
6	1)8)	チューター時間	個別指導	チューター
7	4)	資料の検索・収集(資料収集の方法)	講義・演習	科目担当
8	5)6)	小論文の執筆①(小論文の書き方)	講義・演習	科目担当
9	5)6)	小論文の執筆②	演習	科目担当
10	1)8)	チューター時間	個別指導 (講義)	チューター・ 外部講師
11	5)6)	小論文の執筆③	演習	科目担当
12	7)	発表資料の作成①(効果的な資料作成と発表の方法)	講義・演習	科目担当
13	1)8)	チューター時間	個別指導	科目担当
14	7)	発表資料の作成②	演習	チューター・ 外部講師
15	7)	研究発表	SGD	科目担当
				科目担当

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **基礎演習Ⅲ**

担当者: 三宮基裕(福・福)、秋葉敏夫(福・福)、前田直樹(福・福)、横山裕(福・福)、加藤謙介(福・福)、正野 知基(福・ス)、渡邊 一平(福・ス)、梅田靖次郎(福・ス)、立木宏樹(福・ス)、富田賢一(福・ス)、元木久男(福・子)、黒須 依子(福・子)、上農 正剛(福・子)、(予定:外部講師)チューター時間は各チューターが担当する。

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 【授業の概要】
1年次で養成した基礎的国語力をさらに伸ばすとともに、論文作成の技術およびプレゼンテーション力を習得する。
【一般目標(GIO)】
学術論文の執筆に向けて、より発展的な(1)読解力、(2)資料収集、(3)作文力、(4)考察力、(5)プレゼンテーション力などを習得する。

到達目標: (SBOs) 1)学生としての本分を再認識し、専門科目の学習方法および実習や就職等に向けた心構えを理解し、将来の目標設定ができる。
2)学術論文等を読み、要約および報告ができる。
3)興味・関心ある事象を見つけ、小論文のテーマ設定ができる。
4)テーマに則した資料が収集できる。
5)文献や資料を読み解き、考察を加えることができる。
6)学術論文に準じた小論文を作成することができる。
7)発表資料を作成し、他者に分かりやすく報告できる。
8)社会事象を理解し、卒業研究を見据えた幅広い教養を習得する。
9)現時点の語彙力、読解力等の習得度を認識し、課題が明確にできる。

評価方法: 毎時間の課題および受講態度、ホームワークの実施状況などにより総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 10名程度の少人数のゼミ形式で行う講義の進度および内容はクラスの状態により適宜変更する。
毎月初めの講義はチューター時間とする。
1回の授業につき1時間を目安に予習・復習をおこなうこと。

オフィスアワー: 各担当教員に確認

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)7)	チューター時間	個別指導	チューター
2	1)	大学生活の理解(外部講師を予定)	講義	外部講師
3	9)	確認テスト①	確認テスト	科目担当
4	1)7)	チューター時間	個別指導	チューター
5	2)	記事・文献等の要約①	演習・SGD	科目担当
6	2)	記事・文献等の要約②	演習・SGD	科目担当
7	2)	記事・文献等の要約④	演習・SGD	科目担当
8	1)7)	チューター時間	個別指導	チューター
9	7)	社会事象の理解	SGD	科目担当
10	3)	小論文テーマの設定①(テーマ設定の方法)	講義	科目担当
11	3)	小論文テーマの設定②	演習・SGD	科目担当
12	1)8)	チューター時間	個別指導	チューター
13	4)	資料の検索・収集①(資料収集の方法)	講義	科目担当
14	4)5)	資料の検索・収集②	演習・SGD	科目担当
15	9)	確認テスト②	確認テスト	科目担当

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **基礎演習IV**

担当者: 三宮基裕(福・福)、秋葉敏夫(福・福)、前田直樹(福・福)、横山裕(福・福)、加藤謙介(福・福)、正野 知基(福・ス)、渡邊 一平(福・ス)、梅田靖次郎(福・ス)、立木宏樹(福・ス)、富田賢一(福・ス)、元木久男(福・子)、黒須 依子(福・子)、上農 正剛(福・子)、チューター時間は各チューターが担当する。

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 【授業の概要】
1年次で養成した基礎的国語力をさらに伸ばすとともに、論文作成の技術およびプレゼンテーション力を習得する。
【一般目標(GIO)】
学術論文の執筆に向けて、より発展的な(1)読解力、(2)資料収集、(3)作文力、(4)考察力、(5)プレゼンテーション力などを習得する。

到達目標: (SBOs) 1)学生としての本分を再認識し、専門科目の学習方法および実習や就職等に向けた心構えを理解し、将来の目標設定ができる。
2)学術論文等を読み、要約および報告ができる。
3)興味・関心ある事象をみつけ、小論文のテーマ設定ができる。
4)テーマに則した資料が収集できる。
5)文献や資料を読み解き、考察を加えることができる。
6)学術論文に準じた小論文を作成することができる。
7)発表資料を作成し、他者に分かりやすく報告できる。
8)社会事象を理解し、卒業研究を見据えた幅広い教養を習得する。

評価方法: 毎時間の課題および受講態度などにより総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 10名程度の少人数のゼミ形式で行う講義の進度および内容はクラスの状況により適宜変更する。
毎月初めの講義はチューター時間とする。
1回の授業につき1時間を目安に予習・復習をおこなうこと。

オフィスアワー: 各担当教員に確認

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)7)	チューター時間	個別指導	チューター
2	5)6)	小論文の執筆①(小論文の書き方)	講義	科目担当
3	5)6)	小論文の執筆②	演習	科目担当
4	5)6)	小論文の執筆③	演習	科目担当
5	5)6)	小論文の執筆④	演習	科目担当
6	1)8)	チューター時間	個別指導	チューター
7	5)6)	小論文の執筆⑤	演習	科目担当
8	8)	社会事象の理解	SGD	科目担当
9	7)	発表資料の作成①(効果的な資料作成と発表の方法)	講義	科目担当
10	7)	発表資料の作成②	演習	科目担当
11	1)8)	チューター時間	個別指導	チューター
12	7)	発表資料の作成③	演習	科目担当
13	7)	研究発表	SGD	科目担当
14	1)8)	チューター時間	個別指導	チューター
15	9)	習得度の確認	確認テスト	科目担当

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **社会学**

担当者: 山本 順之(福・ス)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 社会福祉分野で職業活動に従事し、福祉社会の創造的な担い手となるうえで必要となる、社会および人びとの社会生活を理解し、これらの事象を洞察する能力を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)人びとの生活営為を社会のありように結びつけて説明できる。
2)個人と社会の関係を説明できる。
3)社会集団と組織の構造と機能のについて説明できる。
4)家族を社会事象として説明できる。
5)社会問題や逸脱問題を分析し、説明できる。
6)社会学における主な社会理論を説明できる。

評価方法: 学期末試験および授業への取り組み姿勢を総合的に評価する。
定期試験(60%)課題(レポート・小テスト等)(20%)講義内における総合的姿勢(20%)

準備学習・履修上の注意等: 毎回の授業終了後に、教科書および授業時に配布する課題を3時間(授業全体で45時間)以上熟読し、復習すること。

オフィスアワー: 時間割発表後に研究室ドアに掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	社会システムの概念及び社会と文化を理解する。	講義	山本
2	1)	社会階級と社会階層の概念及び現代社会の階層構造を理解する。	講義	山本
3	1)	社会変動の概念及び近代化、産業化、都市化、情報化について理解する。	講義	山本
4	1)	現代社会の人口構造及び少子高齢化の現状その他の人口問題を理解する。	講義	山本
5	1)	地域、コミュニティの概念及び都市化と現代の地域社会の諸問題を理解するを理解する。	講義	山本
6	2)	社会的行為と社会的相互行為について理解する。	講義	山本
7	2)	社会的地位と役割の概念を理解する。	講義	山本
8	3)	社会集団の概念及び社会集団の諸類型を理解する①。	講義	山本
9	3)	社会集団の概念及び社会集団の諸類型を理解する②。	講義	山本
10	3)	組織と官僚制について理解する。	講義	山本
11	4)	家族の概念及び家族の類型と形態、機能等について理解する。	講義	山本
12	5)	社会病理と逸脱について理解する。	講義	山本
13	5)	社会的逸脱に関する諸理論について理解する。	講義	山本
14	6)	A.コント、H.スペンサー、M.ウェーバー、K.マルクス等の社会理論を理解する。	講義	山本
15	6)	E.デュルケム、G.ジンメル、テニース等の社会理論を理解する。	講義	山本

教科書: 社会理論と社会システム 第3版 (社会福祉士養成講座編集委員会 編) 中央法規出版 【978-4-8058-3930-0】

参考書: 授業で参考文献等を提示する。

科目名: **社会学**

担当者: 山本 順之(福・ス)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 社会福祉分野で職業活動に従事し、福祉社会の創造的な担い手となるうえで必要となる、社会および人びとの社会生活を理解し、これらの事象を洞察する能力を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)人びとの生活営為を社会のありように結びつけて説明できる。
2)個人と社会の関係を説明できる。
3)社会集団と組織の構造と機能のについて説明できる。
4)家族を社会事象として説明できる。
5)社会問題や逸脱問題を分析し、説明できる。
6)社会学における主な社会理論を説明できる。

評価方法: 学期末試験および授業への取り組み姿勢を総合的に評価する。
定期試験(60%)課題(レポート・小テスト等)(20%)講義内における総合的姿勢(20%)

準備学習・履修上の注意等: 毎回の授業終了後に、教科書および授業時に配布する課題を3時間(授業全体で45時間)以上熟読し、復習すること。

オフィスアワー: 時間割発表後に研究室ドアに掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	社会システムの概念及び社会と文化を理解する。	講義	山本
2	1)	社会階級と社会階層の概念及び現代社会の階層構造を理解する。	講義	山本
3	1)	社会変動の概念及び近代化、産業化、都市化、情報化について理解する。	講義	山本
4	1)	現代社会の人口構造及び少子高齢化の現状その他の人口問題を理解する。	講義	山本
5	1)	地域、コミュニティの概念及び都市化と現代の地域社会の諸問題を理解するを理解する。	講義	山本
6	2)	社会的行為と社会的相互行為について理解する。	講義	山本
7	2)	社会的地位と役割の概念を理解する。	講義	山本
8	3)	社会集団の概念及び社会集団の諸類型を理解する①。	講義	山本
9	3)	社会集団の概念及び社会集団の諸類型を理解する②。	講義	山本
10	3)	組織と官僚制について理解する。	講義	山本
11	4)	家族の概念及び家族の類型と形態、機能等について理解する。	講義	山本
12	5)	社会病理と逸脱について理解する。	講義	山本
13	5)	社会的逸脱に関する諸理論について理解する。	講義	山本
14	6)	A.コント、H.スペンサー、M.ウェーバー、K.マルクス等の社会理論を理解する。	講義	山本
15	6)	E.デュルケム、G.ジンメル、テンニース等の社会理論を理解する。	講義	山本

教科書: 社会理論と社会システム 第3版 (社会福祉士養成講座編集委員会 編) 中央法規出版 【978-4-8058-3930-0】

参考書: 授業で参考文献等を提示する。

科目名: **心理学**

担当者: 前田 直樹(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(1年)

必修・選択: 選択

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 心理学は心の発生、機構、機能などの追及する心の科学であり、個を超えて様々な現象に潜む心理法則の一般性を明らかにすることを課題とする学問である。したがって、その領域は、学習、知覚、感情、知能など多岐にわたる。本講義では心理学の概要と様々な理論をできるだけ身近で日常的な例を上げながら学習する。

到達目標: (SBOs)
1)心理学がどのような学問であるかを全般的に説明できる。
2)学習、記憶、知覚について説明できる。
3)知能について説明できる。
4)性格理論の内容や違いを説明できる。
5)ストレスが心理面に与える影響について理解する。
6)発達が心理面にどのような影響を及ぼすのか理解できる。

評価方法: 筆記試験

準備学習・履修上の注意等: 心理学という学問を自ら積極的に追求しようとする姿勢。

オフィスアワー: (月) 18:00-18:30

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	(心理学とは) ○心理学の定義や様々な理論を理解する。	講義	前田
2	1)	(心理学の歴史) ○心理学の成り立ち及び現代にいたるまでの歴史や流れを理解する。	講義	前田
3	1)	(動機づけ) ○人間を含めた動物の行動の原因である動機づけを学習し、行動の方向性を定める要因と行動の程度を定める要因などを理解する。	講義	前田
4	1)	(感情) ○生理的過程と深く結び付いている心の働きである感情、情緒や情動、気分などの違いを理解する。	講義	前田
5	1)2)	(知覚) ○脳の働きによって物事を認識する知覚が、日常生活でどのように成り立っているのかを理解する。	講義	前田
6	1)2)	(学習) ○学習理論の歴史やレスポナント条件づけやオペラント学習など、学習の種類について理解する。	講義	前田
7	3)	(知能) ○知能の定義や内容、検査などについて理解する。	講義	前田
8	4)	(人格) ○類型論や特性論などの理論を理解し、人格について心理学的に理解する。	講義	前田
9	5)	(適応) ○ストレスが日常生活に及ぼす影響、それによる心理的な障害などを理解する。	講義	前田
10	1)	(社会と人間) ○集団のまとまりや構造、その中で人間と関わる対人相互作用について理解する。	講義	前田
11	6)	(発達理論) ○心理学における発達の定義や様々な立場における発達理論を理解する。	講義	前田
12	6)	(発達段階) ○各発達段階、及びそれぞれの段階における質的・心理学的変化について理解する。	講義	前田
13	6)	(発達課題) ○人間がそれぞれの発達段階で必要とされる発達課題について理解する。	講義	前田
14	6)	(高齢者の心理) ○仕事からの引退や身体機能の低下などに伴う高齢者の心理について理解する。	講義	前田

15 1)2)3)4)5)6 (総括)

) ○これまでの授業を総括し、心理学の基礎を正しく理解する。

講義

前田

教科書: 使用しない。

参考書: 心理学理論と心理的援助(中央法規)

科目名: **心理学**

担当者: 前田直樹

配当学科: スポーツ健康福祉学科1年

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 心理学は心の発生、機構、機能などの追及する心の科学であり、個を超えて様々な現象に潜む心理法則の一般性を明らかにすることを課題とする学問である。したがって、その領域は、学習、知覚、感情、知能など多岐にわたる。本講義では心理学の概要と様々な理論をできるだけ身近で日常的な例を上げながら学習する。

到達目標: (SBOs) 1)心理学がどのような学問であるかを全般的に説明できる。
2)学習、記憶、知覚について説明できる。
3)知能について説明できる。
4)性格理論の内容や違いを説明できる。
5)ストレスが心理面に与える影響について理解する。
6)発達が心理面にどのような影響を及ぼすのか理解できる。

評価方法: 筆記試験

準備学習・履修上の注意等: 心理学という学問を自ら積極的に追求しようとする姿勢。

オフィスアワー: (月) 18:00-18:30

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	(心理学とは) ○心理学の定義や様々な理論を理解する。	講義	前田
2	1)	(心理学の歴史) ○心理学の成り立ち及び現代にいたるまでの歴史や流れを理解する。	講義	前田
3	1)	(動機づけ) ○人間を含めた動物の行動の原因である動機づけを学習し、行動の方向性を定める要因と行動の程度を定める要因などを理解する。	講義	前田
4	1)	(感情) ○生理的過程と深く結び付いている心の働きである感情、情緒や情動、気分などの違いを理解する。	講義	前田
5	1)2)	(知覚) ○大脳の働きによって物事を認識する知覚が、日常生活でどのように成り立っているのかを理解する。	講義	前田
6	1)2)	(学習) ○学習理論の歴史やレスポナント条件づけやオペラント学習など、学習の種類について理解する。	講義	前田
7	3)	(知能) ○知能の定義や内容、検査などについて理解する。	講義	前田
8	4)	(人格) ○類型論や特性論などの理論を理解し、人格について心理学的に理解する。	講義	前田
9	5)	(適応) ○ストレスが日常生活に及ぼす影響、それによる心理的な障害などを理解する。	講義	前田
10	1)	(社会と人間) ○集団のまとまりや構造、その中で人間と関わる対人相互作用について理解する。	講義	前田
11	6)	(発達理論) ○心理学における発達の定義や様々な立場における発達理論を理解する。	講義	前田
12	6)	(発達段階) ○各発達段階、及びそれぞれの段階における質的・心理学的変化について理解する。	講義	前田
13	6)	(発達課題) ○人間がそれぞれの発達段階で必要とされる発達課題について理解する。	講義	前田
14	6)	(高齢者の心理) ○仕事からの引退や身体機能の低下などに伴う高齢者の心理について理解する。	講義	前田

) ○これまでの授業を総括し、心理学の基礎を正しく理解する。

教科書: 使用しない。

参考書: 心理学理論と心理的援助(中央法規)

科目名: 人体の構造と機能及び疾病

担当者: 貫 優美子(福・福) 稲田 弘子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 「福祉」は「人」を対象としています。将来、福祉の専門職として心身に障害がある人を支援するため、さらには、医療専門職等と連携ができる福祉専門職になるために必要な医学的基礎知識を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)人の成長・発達と老化について説明できる。
2)人体の各器官の構造と機能について説明できる。
3)疾病の概要について説明できる。
4)障害の概要について説明できる。
5)リハビリテーションの概要について説明できる。
6)国際機能分類の基本的考え方と概要について説明できる。
7)健康の捉え方について説明できる。

評価方法: 筆記試験により評価する。出席・授業態度等は成績評価の参考にとどめる。
筆記試験は、中間試験(8回目)が60点、終了試験(16回目)が40点とする。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士を目指す学生は必修である。
プリント配布は最小限であり、必要時(解剖図等)は、パワーポイントで表示し説明する。マイノート作成もしくは、テキストに書き込むこと。
テキストを主に使用するので必ず購入しておくこと。

オフィスアワー: 時間割確定後に研究室前に掲示します。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション 人の成長・発達と老化	講義	稲田
2	2)	身体構造と心身の機能①	講義	貫
3	2)	身体構造と心身の機能②	講義	貫
4	3)	疾病の概要① 生活習慣病、悪性腫瘍、脳血管疾患、心疾患、高血圧	講義	貫
5	3)	疾病の概要② 糖尿病と内分泌疾患、呼吸器疾患、消化器疾患	講義	貫
6	3)	疾病の概要③ 血液疾患と膠原病、腎臓疾患、泌尿器疾患、骨・関節疾患	講義	貫
7	3)	疾病の概要④ 目・耳の疾患、感染症、神経疾患と難病、先天性疾患他	講義	貫
8	3)	中間試験と前半の総括	講義	貫
9	4)	障害の概要① 視覚障害、聴覚障害	講義	稲田
10	4)	障害の概要② 平衡感覚障害 肢体不自由 内部障害	講義	稲田
11	4)	障害の概要③ 認知症	講義	稲田
12	4)	障害の概要④ 知的障害、発達障害	講義	稲田
13	4)	障害の概要⑤ 高次脳機能障害、精神障害	講義	稲田
14	5)6)	リハビリテーションの概要 ICFの基本的考え方と概要	講義	稲田
15	7)	健康の捉え方	講義	稲田

教科書: 人体の構造と機能及び疾病 (編集 社会福祉士養成講座編集委員会) 中央法規

参考書: 必要時プリントを配布する。

科目名: 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度

担当者: 赤木 保吉(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 子ども家庭福祉の意義と理念を理解し、児童福祉法をはじめとした関係法規による子どもと家庭の福祉の保障の仕組みを理解することによって子ども家庭福祉の分野における福祉サービスの担い手としての資質と能力を獲得する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 子ども家庭福祉の理念とニーズを説明できる
- 2) 子どもと家庭の歴史と権利を理解できる
- 3) 子ども家庭福祉の現状とその概要を説明できる
- 4) 児童福祉法に規定する子ども家庭福祉対策を説明できる
- 5) ひとり親家庭対策を説明できる
- 6) 子ども貧困の防止の現状と対策を理解する
- 7) 障害のある子どもと家族への支援と制度を説明できる
- 8) 母子保健対策を説明できる
- 9) 保育対策の現状と課題を理解する
- 10) 児童虐待の防止対策を説明できる

評価方法: 出席率と授業への取組み姿勢、学期末テストで総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 教科書は必ず熟読し、復習すること。また新聞にもしっかり目を通して関係する記事を読み現実的な思考力や検討ができるようになること。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	子ども家庭福祉の理念とその原理	講義	赤木
2	2)	子ども家庭の権利保障とその発展	講義	赤木
3	1)3)	子ども・家庭の現状とそのニーズ	講義	赤木
4	2)4)	子ども家庭福祉の進展と子ども・子育て支援制度の創設	講義	赤木
5	4)	子ども家庭福祉の法体系	講義	赤木
6	3)4)	子ども家庭福祉の実施体制と財政	講義	赤木
7	2)4)	子ども家庭福祉の専門職	講義	赤木
8	2)4)	子ども家庭福祉と権利擁護	講義	赤木
9	6)8)	子どもの貧困の防止と母子保健	講義	赤木
10	7)8)	障害・難病のある子どもと家族への支援と児童健全育成	講義	赤木
11	9)	保育と地域子育て支援	講義	赤木
12	5)6)	ひとり親家庭の福祉	講義	赤木
13	1)7)	社会的養護と非行・情緒障害児への支援	講義	赤木
14	10)	児童虐待対策と子どもと家庭にかかわる女性福祉	講義	赤木
15	1)3)10)	子ども家庭福祉援助活動	講義	赤木

教科書: 社会福祉士養成講座編集委員会 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度(第6版) 中央法規出版【978-4-8058-5302-3】

参考書: 授業で参考文献を提示する。

科目名: **障害者に対する支援と障害者自立支援制度**

担当者: 鹿嶋 隆志(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 障害者自立支援法の成立にともない、障害者福祉サービスの利用の仕組みは大きく変わり、サービス内容と質の充実が求められるようになった。障害者施策の対象者は高齢化に伴い増加しあらゆる年齢層にわたり障害の種類も多様化している。このような背景から、講義では障害者への支援の歴史を概観しながら、今日求められている障害者福祉の制度や機能を考える。そしてクライアントの視点に立ちつつ建設的に制度を活用できるソーシャルワーカーの姿勢を身につけることを目標とする。

到達目標: (SBOs) 1)障害者福祉制度の発展の歴史を理解する。
2)障害者福祉の理念を理解する。
3)国際的な障害の捉え方を知っている。
4)障害者の生活実態を理解する。
5)障害者自立支援法の仕組みと課題が説明できる。
6)障害者支援のためのソーシャルワーカーの専門性について理解する。
7)広義の障害者への支援制度、雇用、教育、保健・医療、居住環境や移動、社会参加、所得保障など生活者として必要とされる施策について理解する。
8)本講義を通じて、福祉課題を建設的に分析する態度を身につける。

評価方法: 期末試験の成績により評価する。途中確認テストはします。

準備学習・履修上の注意等: 予習・復習を行うこと。
講義中の飲食・私語は禁ずる。社会福祉士指定科目であるため、テキストを使用する(必携)。用語が想起できるようにとどまらず、国家試験に対応できるよう理念と施策の関連を理解してほしい。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)8)	【オリエンテーション:障害者福祉論で学ぶ事】 1.我が国の施策体系の中の障害者福祉の位置づけを知る。 2.障害をもつ人の生活を支える施策や方法の必要性について考える。 そして、障害者福祉と人権の関連について説明できる。	講義	鹿嶋
2	1)2)	【障害者福祉の歴史的変遷1】 ノーマライゼーションの取り組みについて学び、障害者福祉の基本的理念を理解する。 1.ノーマライゼーションの理念について説明できる。 2.施設処遇と在宅・地域福祉サービスを比較し、課題を例示できる。	講義	鹿嶋
3	1)2)	【障害者福祉の歴史的変遷2】 リハビリテーションの取り組みについて学び、障害者福祉の基本的理念を理解する。 1.リハビリテーションの理念について説明できる。 2.全人的な復権として、ADLの自立とQOLの向上について説明できる。 3.自立と自己決定権について説明できる。	講義	鹿嶋
4	3)	【国際的な障害の捉え方】 我が国の障害者施策の発展に影響を与えた国際障害年と国際障害概念について理解する。さらに国際生活機能分類について理解する。	講義	鹿嶋
5	1)4)	【我が国の障害者福祉制度の歴史1】 1.貧困施策から障害者施策が芽生えた経緯が説明できる。 2.制度の狭間の課題として重症心身障害児者問題、発達障害者問題について説明できる。 3.心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律について障害との関連から説明できる。	講義	鹿嶋
6	1)4)5)	【我が国の障害者福祉制度の歴史2】 1.障害者自立支援法の成立の経緯が説明できる。法の目的と児童福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律等との関係について説明できる。 2.制度の利用・認定の仕組み、費用負担の位置づけが説明できる。 3.権利擁護の事業(成年後見制度と日常生活自立支援事業)が説明できる。	講義	鹿嶋
7	4)	【我が国の障害者を取り巻く社会情勢と実態】 障害者の生活実態を理解する。 1.障害種別ごとの障害の特性や人数の推移が説明できる。 2.障害種別に応じた生活の実情とニーズが説明できる。	講義	鹿嶋

8	5)	【障害者自立支援法の制度1】 障害者自立支援法の制度、とくに自立支援給付としての介護給付と訓練等給付の事業に焦点をあて、1.サービス体系が説明できる。日中活動と夜間等の居住支援事業の関連が説明できる。2.自立支援医療、補装具について説明できる。3.市町村・都道府県・国・指定サービス事業者の役割が説明できる。	講義	鹿嶋
9	5)	【障害者自立支援法の制度2】 障害者自立支援法の制度、とくに地域生活支援事業に焦点をあて、1.地域生活支援事業における市町村と都道府県の役割を説明できる。2.事業内容が説明できる。3.障害者福祉サービスの利用を進める上でのサービス提供機関の役割とアドボガシーのための取り組みについて説明できる。	講義	鹿嶋
10	5)	【障害者自立支援法の制度3】 障害者自立支援法の制度利用を進める上での専門職の役割と関係機関の連携について、1.サービス管理責任者やサービス提供事業者と各事業サービスの関連を説明できる。2.相談支援事業と相談支援体制、サービス利用計画、地域自立支援協議会について説明できる。	講義	鹿嶋
11	6)	【障害者総合福祉法に向けての動向】 1.障害者自立支援法の課題が分かる。 2.障がい者制度改革推進会議の取り組みが分かる。	講義	鹿嶋
12	7)	【関連施策】障害児の教育制度の発展の歴史を理解する。 1.特別支援教育体制について説明できる。 2.インクルージョンの考え方が説明できる。	講義	鹿嶋
13	7)	【関連施策】障害児者、高齢者の移動・情報保障、社会参加の促進に関する施策を理解する。 1.バリアフリーの考え方について説明できる。 2.ユニバーサルデザインの考え方が説明できる。	講義	鹿嶋
14	7)	【関連施策】障害者の雇用に関する施策を理解する。 1.雇用義務制度について説明できる。 2.職業リハビリテーションの方法が説明できる。	講義	鹿嶋
15	1)-8)	【障害児者支援のための相談の方法】障害児者がサービスの利用を行う際の支援のプロセスや方法を実践できる。 1.エンパワーメントの視点を事例から説明できる。 2.ケアマネジメントの手順やアセスメントやモニタリングの際の着眼点を説明できる。	講義	鹿嶋

教科書： 障害者に対する支援と障害者自立支援制度第5版、中央法規【978-4-8058-5107-4】

参考書： 使用しない。

科目名: **高齢者に対する支援と介護保険制度 I**

担当者: 山崎 きよ子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 日本社会においては20世紀から21世紀末にかけて、「高齢者」は時代のキーワードとなり、現在では高齢者にかかる制度改革が進行中である。そこで本講義においては、第1に高齢者の支援が高齢者理解の下に行うことができるように高齢者の特性ならびに高齢者福祉の歴史的展開を理解できること。第2に現代の高齢者問題について、その制度、政策と実践の動向を概観し、それらを通して望まれる高齢者福祉について理解を深める。

到達目標: (SBOs)

- 1)高齢者における生活の変化と適応・家族と社会関係・社会参加と生きがい・高齢者の安全と差別の側面から説明できる。
- 2)加齢に伴う身体機能の変化・加齢に伴う基礎的運動能力の変化の側面から説明できる。
- 3)高齢者へのイメージ・高齢者の心理的特徴－精神機能の老化・老年期の心の病気の側面から説明できる。
- 4)生涯発達の意味・高齢者の人生と社会変動－ライフサイクルとライフコース・死とスピリチュアリティの側面から説明できる。
- 5)少子高齢社会の到来・少子高齢化の要因・人口高齢化の地域間格差・高齢者を取り巻く家族の状況の側面から説明できる。
- 6)高齢者の健康問題・高齢者の介護問題・高齢者の経済的問題・高齢者の生活意義の諸問題の側面から説明できる。
- 7)古代から近代までの高齢者福祉を説明できる。
- 8)第二次世界大戦後平成の高齢者保健福祉を学び、高齢者保健福祉施策の理念の変化を説明できる。
- 9)高齢者社会対策基本法の概要・高齢者社会対策大綱の概要を説明できる。
- 10)老人福祉法成立の経緯・老人福祉法の構成・総則の主な内容・福祉の措置・老人福祉計画・有料老人ホーム・その他の規定を説明できる。
- 11)成立の経緯・成立の背景・主な内容・「高齢者の医療の確保に関する法律」の今、そして、これからの課題を説明できる。
- 12)高齢者虐待防止法成立の背景・高齢者虐待防止法の枠組みと特徴・高齢者虐待防止法と虐待対応の実際を説明できる。
- 13)バリアフリー新法・高齢者の居住の安定確保に関する法律・権利擁護と成年後見制度・社会参加と障害学習を説明できる。
- 14)介護保険制度の全体像を説明できる。
- 15)介護保険制度の目的と理念を説明できる。

評価方法: 授業時間内に行う小テスト、受講態度、及び期末に行なう試験を総合的に勘案する。

準備学習・履修上の注意等: 授業前後に 関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。

オフィスアワー: 毎週12:30～13:30(水曜日除く)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【高齢者を社会的に理解する】 高齢者における生活の変化と適応・家族と社会関係・社会参加と生きがい・高齢者の安全と差別の側面から理解する。	講義	山崎
2	2)	【高齢者を身体的に理解する】 加齢に伴う身体機能の変化・加齢に伴う基礎的運動能力の変化の側面から理解する。	講義	山崎
3	3)	【高齢者を精神的に理解する】 高齢者へのイメージ・高齢者の心理的特徴－精神機能の老化・老年期の心の病気の側面から理解する。	講義	山崎
4	4)	【高齢者を総合的に理解する】 生涯発達の意味・高齢者の人生と社会変動－ライフサイクルとライフコース・死とスピリチュアリティの側面から理解する。	講義	山崎
5	5)	【少子高齢社会と社会的問題を理解する】 少子高齢社会の到来・少子高齢化の要因・人口高齢化の地域間格差・高齢者を取り巻く家族の状況の側面から理解する。	講義	山崎
6	6)	【高齢者を取り巻く諸問題を学ぶ】 高齢者の健康問題・高齢者の介護問題・高齢者の経済的問題・高齢者の生活意義の諸問題の側面から理解する。	講義	山崎
7	7)	【高齢者福祉の起源と生成を学ぶ】 古代から近代までの高齢者福祉を学ぶ。	講義	山崎
8	8)	【高齢者保健福祉制度の発展を学ぶ】	講義	山崎

第二次世界大戦後平成の高齢者保健福祉を学び、高齢者保健福祉施策の理念の変化を学ぶ。

9	9)	【高齢者保健福祉制度・施策の体系を学ぶ】 高齢者社会対策基本法の概要・高齢者社会対策大綱の概要を学ぶ。	講義	山崎
10	10)	【老人福祉法を学ぶ】 老人福祉法成立の経緯・老人福祉法の構成・総則の主な内容・福祉の措置・老人福祉計画・有料老人ホーム・その他の規定を学ぶ。	講義	山崎
11	11)	【高齢者の医療の確保に関する法律を学ぶ】 成立の経緯・成立の背景・主な内容・「高齢者の医療の確保に関する法律」の今、そして、これからの課題を学ぶ。	講義	山崎
12	12)	【高齢者虐待防止法を学ぶ】 高齢者虐待防止法成立の背景・高齢者虐待防止法の枠組みと特徴・高齢者虐待防止法と虐待対応の実際を学ぶ。	講義	山崎
13	13)	【その他の関係法規を学ぶ】 バリアフリー新法・高齢者の居住の安定確保に関する法律・権利擁護と成年後見制度・社会参加と障害学習を学ぶ。	講義	山崎
14	14)	【介護保健制度の基本的枠組み・仕組みを学ぶ①】 介護保険制度の全体像を学ぶ。	講義	山崎
15	15)	【介護保健制度の基本的枠組み・仕組みを学ぶ②】 介護保険制度の目的と理念を学ぶ。	講義	山崎

教科書： 高齢者に対する支援と介護保険制度 第5版（社会福祉士養成講座編集委員会 編）中央法規【978-4-8058-5107-4】

参考書： 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: **高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ**

担当者: 山崎 きよ子(福・福)、稲田 弘子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(1年次)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 2000年に介護保険法が導入され、大幅な改革が行われた。さらに2006年より改定介護保険法が施行されている。この介護保険について制度・組織・役割を高齢者を支援する視点から学ぶ。さらに介護について社会福祉士の立場から理解しておくべきことを学ぶ。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)介護支援専門員・訪問介護員・介護職員・その他の専門職を説明できる。
 - 2)居住サービス・住宅改修サービス・居宅介護支援を説明できる。
 - 3)施設サービスを説明できる。
 - 4)介護予防の考え方・介護予防事業・介護予防サービスを説明できる。
 - 5)国の役割・都道府県の役割・市町村の役割を説明できる。
 - 6)指定サービス事業者の役割・国民健康保険団体連合会の説明できる。
 - 7)地域包括支援センターの目的および設置主体・市町村の責務・地域包括支援センターの活動の実際を説明できる。
 - 8)高齢者福祉への取り組みのあゆみ・高齢者福祉事業への社会福祉協議会の取り組みを説明できる。
 - 9)高齢者理解の方法・個人、家族に対する相談援助・地域を活用した相談援助・ケアマネジメントを説明できる。
 - 10)介護保険法における連携と実際を説明できる。
 - 11)専門職の役割と実際を説明できる。
 - 12)専門職による協働・専門職の倫理を説明できる。
 - 13)介護の概念・理念・対象と介護予防の概念を説明できる。
 - 14)介護過程の概要、展開技法を説明できる。
 - 15)自立に向けた介護、自立支援、認知症ケアを説明できる。

評価方法: 前期、後期二回に定期試験及び出席時に毎回提出するレポート及び授業中随時行うミニテストを考慮して行う

準備学習・履修上の注意等: 授業前後に4時間の予習復習に時間を設けること

オフィスアワー: 毎週12:30～13:30(水曜日除く)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【介護保険サービスの体系①】 介護支援専門員・訪問介護員・介護職員・その他の専門職を学ぶ。	講義	山崎
2	2)	【介護保険サービスの体系②】 居住サービス・住宅改修サービス・居宅介護支援を学ぶ。	講義	山崎
3	3)	【介護保険サービスの体系③】 施設サービスを学ぶ。	講義	山崎
4	4)	【介護保険サービスの体系④】 介護予防の考え方・介護予防事業・介護予防サービスを学ぶ。	講義	山崎
5	5)	【高齢者を支援する組織と役割①】 国の役割・都道府県の役割・市町村の役割を学ぶ。	講義	山崎
6	6)	【高齢者を支援する組織と役割②】 指定サービス事業者の役割・国民健康保険団体連合会の役割。	講義	山崎
7	7)	【高齢者を支援する組織と役割③】 地域包括支援センターの目的および設置主体・市町村の責務・地域包括支援センターの活動の実際を学ぶ。	講義	山崎
8	8)	【高齢者を支援する組織と役割④】 高齢者福祉への取り組みのあゆみ・高齢者福祉事業への社会福祉協議会の取り組みを学ぶ。	講義	山崎
9	9)	【高齢者支援の方法と実際①】 高齢者理解の方法・個人、家族に対する相談援助・地域を活用した相談援助・ケアマネジメントを学ぶ。	講義	稲田
10	10)	【高齢者支援の方法と実際②】 介護保険法における連携と実際を学ぶ。	講義	稲田
11	11)	【高齢者を支援する専門職の役割と実際①】 専門職の役割と実際を学ぶ。	講義	稲田
12	12)	【高齢者を支援する専門職の役割と実際②】	講義	稲田

専門職による協働・専門職の倫理を学ぶ。

13	13)	【介護の概念や対象】 介護の概念・理念・対象と介護予防の概念を学ぶ。	講義	稲田
14	14)	【介護の過程】 介護過程の概要、展開技法を学ぶ。	講義	稲田
15	15)	【介護各論】 自立に向けた介護、自立支援、認知症ケアを学ぶ。	講義	稲田

教科書： 高齢者に対する支援と介護保険制度 第5版（社会福祉士養成講座編集委員会 編）中央法規【978-4-8058-5107-4】

参考書： 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: 相談援助の基盤と専門職 I

担当者: 川崎 順子(福・ス)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 相談援助の基盤と専門職 I では、社会福祉士と精神保健福祉士の役割と意義、相談援助の基本概念について理解することにより、相談援助職の基盤をつくることとなる。この基盤をつくるために、相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理を学び、社会福祉士に求められる基本的な知識を習得する。

到達目標: 1)社会福祉士の役割と意義を説明できる。
2)精神保健福祉士の役割と意義について説明できる。
3)相談援助の概念と範囲について概説できる。
4)社会福祉士及び介護福祉士法に基づく定義や義務が説明できる。
5)ソーシャルワークに係る各種国際定義の内容が概説できる。
6)相談援助の形成過程におけるソーシャルワークの源流から基礎確立期について概説できる。
7)相談援助の形成過程におけるソーシャルワークの発展期から統合化を概説できる。
8)相談援助の価値の重要性について説明できる。
9)相談援助の判断指針となる理念について概説できる。

評価方法: 毎時間後のレポートと適宜小テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を30%及び前期末試験70%として総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。具体的に、授業前の予習では、次回シラバスの授業内容について、テキストを読み、まとめておくこと。復習では、授業時に配布された資料・レジュメをファイリングし、再度テキストと照らし合わせ再確認を行うこと。適宜の小テストに備え、重要事項をノートにまとめておくこと。提示された課題に取り組むことなどである。

オフィスアワー: 時間割確定後研究室に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	現代社会に起きている地域での生活状況と相談援助の必要性を理解する	講義	川崎
2	1)2)	社会福祉士と精神保健福祉士の位置づけと相談援助の専門職に求められる専門性を理解する	講義	川崎
3	3)4)5)	ソーシャルワークの定義とソーシャルワークの目的、実践活動の状況を知る	講義	川崎
4	3)4)5)	ソーシャルワークを構成する要素としてのクライアントシステム、ニーズ、ソーシャルワーカー、社会資源・サービス等を知る	講義	川崎
5	6)	ソーシャルワークの歴史的展開におけるCOS活動やセツルメント活動を知る	講義	川崎
6	6)7)	ソーシャルワークの基礎確立期におけるケースワークグループワークの発展過程を理解する	講義	川崎
7	6)7)	ソーシャルワークの発展期における診断主義派や機能主義派の内容を理解する	講義	川崎
8	6)7)	ソーシャルワークの展開期におけるソーシャルワークのモデルやアプローチ等の理論や実践モデルを知る	講義	川崎
9	6)7)	ソーシャルワークの統合化の動向、ジェネラリストアプローチの成立からジェネラリストソーシャルワークへの流れを理解する	講義	川崎
10	8)	ソーシャルワーク実践と価値を考える	講義	川崎
11	8)	ソーシャルワークの実践における権利擁護の視点と支援のあり方を考える	講義	川崎
12	8)9)	ソーシャルワーク実践の理念「クライアントの自己決定」「自立支援」を理解する	講義	川崎
13	8)9)	ソーシャルワーク実践の理念「エンパワメント」「ストレングス視点」を理解する	講義	川崎
14	8)9)	ソーシャルワーク実践の理念「地域生活支援」「ノーマライゼーション」を理解する	講義	川崎
15	8)9)	ソーシャルワーク実践の理念「ソーシャルインクルージョン」を理解する	講義	川崎

教科書: 新・社会福祉士養成講座6 相談援助の基盤と専門職 第3版 (社会福祉士養成講座編集委員会 編集) 中央法規【978-4-8058-5102-9】

参考書: 使用しない。

科目名: 相談援助の基盤と専門職Ⅱ

担当者: 川崎 順子(福・ス)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 相談援助の基盤と専門職Ⅱでは、相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理を学ぶとともに、総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能を理解し、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる基本的な知識を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)相談援助に係る専門職の概念と範囲について概説できる。
2)専門職倫理の必要性和倫理的ジレンマにおける判断について説明できる。
3)総合的かつ包括的な相談援助のあり方について概説できる。
4)総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能について説明できる。
5)総合的かつ包括的な援助と他職種連携の意義と内容を説明できる。

評価方法: 毎時間後のレポートと適宜小テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を30%及び前期末試験70%として総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。具体的には、授業前の予習では、次回シラバスの授業内容について、テキストを読み、まとめておくこと。復習では、授業時に配布された資料・レジュメをファイリングし、再度テキストと照らし合わせ再確認を行うこと。適宜の小テストに備え、重要事項をノートにまとめておくこと。提示された課題に取り組むことなどである。

オフィスアワー: 時間割確定後研究室に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	相談援助にかかる専門職としての成立条件と専門職能団体の活動状況を知る	講義	川崎
2	1)	相談援助にかかる社会福祉関係分野(福祉行政)における専門職の職種と職場、多様な分野で活躍するソーシャルワーカーの実際を理解する	講義	川崎
3	1)	相談援助にかかる社会福祉関係分野(民間施設・組織)における専門職の職種と職場、相談援助の業務範囲を知る	講義	川崎
4	1)	諸外国(イギリス・アメリカ・スウェーデン)におけるソーシャルワーカーの位置づけと日本におけるソーシャルワーカーとの相違を理解する	講義	川崎
5	2)	ソーシャルワーカーに求められる専門職倫理の必要性を考える	講義	川崎
6	2)	倫理綱領の意義、全米ソーシャルワーカー協会の倫理綱領並びに日本社会福祉士会の倫理綱領・行動規範を理解する	講義	川崎
7	2)	ソーシャルワーク実践における倫理的ジレンマの内容を考える	講義・SGD	川崎
8	2)	ソーシャルワーク実践における倫理的ジレンマの事例による倫理的判断の過程と倫理的判断を理解する	講義	川崎
9	3)	ソーシャルワークを実践における援助の方向性として求められている「総合的かつ包括的な相談援助」の動向と背景を知る	講義	川崎
10	3)	地域を基盤としたソーシャルワークの基本的視座と生活の場で援助を展開していく実践のあり方考える	講義	川崎
11	3)	地域を基盤としたソーシャルワークの基本的な内容、生活の場で援助を展開していく実践のあり方考える	講義	川崎
12	3)4)5)	地域を基盤としたソーシャルワークを展開していくためのジェネラリストの視点とチームアプローチの意義と内容を理解する	講義	川崎
13	3)4)5)	地域を基盤としたソーシャルワークを展開していくための専門的機能(予防機能・新しいニーズへの対応機能)を理解する	講義	川崎
14	3)4)5)	地域を基盤としたソーシャルワークを展開していくための専門的機能(総合的支援機能・権利擁護機能・社会資源開発機能)を理解する	講義	川崎
15	1)2)3)4)5)	ソーシャルワーク実践における専門職の役割と会福祉士・精神保健福祉士に求められる専門性を考える	講義	川崎

教科書: 新・社会福祉士養成講座6 相談援助の基盤と専門職 第3版(編集 社会福祉士養成講座編集委員会) 中央法規【978-4-8058-5102-9】

参考書： 使用しない。

科目名: 現代社会と福祉 I

担当者: 横山 裕(福・福)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(1年) 臨床福祉学科臨床福祉専攻以外の専攻(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 社会変動に伴う生活問題や福祉ニーズの多様化・複雑化・高度化に対応して、社会福祉の守備範囲も拡大傾向にあり、また、保健・医療・更生保護・就労支援・住宅などの関連する社会サービスとの連携や調整が社会福祉士には求められているため、現代社会の変化を踏まえつつ、「社会福祉」「福祉政策」「社会政策」のそれぞれについて体系的に整理し、またその相互関係について基本的な考え方を習得する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 社会福祉の視点と枠組みについて説明できる
- 2) 社会の変化と福祉について説明できる
- 3) 福祉と福祉政策について説明できる
- 4) 社会政策と福祉政策について説明できる。
- 5) 福祉の思想と哲学について説明できる。
- 6) 福祉政策の発展過程について説明できる。
- 7) 少子高齢化時代の福祉政策について説明できる。
- 8) 福祉政策における必要と資源について説明できる

評価方法: 授業後におけるレポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学習への取り組み姿勢(レポートの提出状況、授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を7割として、包括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業ごとに、4時間の予習、復習の学習を行うこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計60時間の予習復習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割が確定後研究室に掲示する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	これから学んでいく各章における考察と記述の基準となる視点、枠組み、そして使用していく基本的な用語の意味を知る。	講義	横山
2	2)	福祉国家がどのような歴史的な背景の中で生まれ、どのような形をとるようになったかを考える。	講義・SGD	横山
3	2)	現在の日本の福祉を考えるうえで重要な社会変化について、「人口の変化」、「労働の変化」「家族の変化」という3つの観点から現代社会と福祉の相関性について考える。	講義	横山
4	3)	社会福祉を基軸に、福祉と福祉政策の意味と内容、隣接する施策の内容やそれらに通底する理念、価値を考える。	講義	横山
5	3)	福祉政策の意義や性格、社会福祉士に期待される役割と機能を知る。	講義	横山
6	4)	福祉は資源に対する再配分のあり方やその根拠に関して、市場とは異なる思想を持っている。市場の論理との対比で福祉の思想を理解する必要がある。市場の論理の特性を解明し、市場の論理を適用する際の限界性を考える。	講義・SGD	横山
7	4)	市場の論理と福祉の思想が調和的に実現する可能性とともに現代正義論のパイオニアである政治哲学者ロールズと潜在能力理論の経済哲学者のセンの考え方のもとに福祉思想の基盤とその実現方法に関する哲学的考え方を知る。	講義	横山
8	5)	社会福祉政策以外の社会政策の中で社会福祉士の仕事と関係してくる部分の福祉政策の内容を考える。	講義	横山
9	5)	社会政策の中の社会福祉政策の体系と、福祉政策の体系を知る。	講義	横山
10	6)	慈善事業から感化救済事業を経て、社会事業の形成に至るまでの歴史の認識と、人権や生活の考え方を知る。	講義	横山
11	6)	第二次世界大戦から1970年代初頭での福祉政策、すなわち戦後の改革と高度経済成長期の福祉政策の発展過程を知る。	講義	横山
12	7)	1970年代から1980年代は高度経済成長が終焉する中で少子高齢化への対応が課題とされた時期の「福祉システム」の調整がどのように行われたかを見る。	講義	横山
13	7)	1990年代と2000年代以降の福祉政策の「調整」・「改革」がどのように行われたかを見る。	講義	横山

14	8)	「必要」とは何か、さらに「必要」と「需要」の関係性の中での福祉政策のあり方を考える。	講義	横山
15	8)	「必要」が誰によってどのように判断・判定されるのか、また福祉政策の中で「必要」を充足する「資源」とは何かを考える。	講義	横山

教科書： 新・社会福祉士養成講座4「現代社会と福祉」第4版（社会福祉士養成講座編集委員会）中央法規出版株式会社【978-4-8058-3931-7】

参考書： 使用しない。

科目名: 現代社会と福祉 I

担当者: 横山 裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科臨床福祉専攻 (1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 社会変動に伴う生活問題や福祉ニーズの多様化・複雑化・高度化に対応して、社会福祉の守備範囲も拡大傾向にあり、また、保健・医療・更生保護・就労支援・住宅などの関連する社会サービスとの連携や調整が社会福祉士には求められているため、現代社会の変化を踏まえつつ、「社会福祉」「福祉政策」「社会政策」のそれぞれについて体系的に整理し、またその相互関係について基本的な考え方を習得する。

到達目標: (SBOs) 1) 社会福祉の視点と枠組みについて説明できる
2) 社会の変化と福祉について説明できる
3) 福祉と福祉政策について説明できる
4) 社会政策と福祉政策について説明できる。
5) 福祉の思想と哲学について説明できる。
6) 福祉政策の発展過程について説明できる。
7) 少子高齢化時代の福祉政策について説明できる。
8) 福祉政策における必要と資源について説明できる

評価方法: 授業後におけるレポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学習への取り組み姿勢(レポートの提出状況、授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を7割として、包括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業ごとに、4時間の予習、復習の学習を行うこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計60時間の予習復習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割が確定後研究室に掲示する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	これから学んでいく各章における考察と記述の基準となる視点、枠組み、そして使用していく基本的な用語の意味を知る。	講義	横山
2	2)	福祉国家がどのような歴史的な背景の中で生まれ、どのような形をとるようになったかを考える。	講義・SGD	横山
3	2)	現在の日本の福祉を考えるうえで重要な社会変化について、「人口の変化」、「労働の変化」「家族の変化」という3つの観点から現代社会と福祉の相関性について考える。	講義	横山
4	3)	社会福祉を基軸に、福祉と福祉政策の意味と内容、隣接する施策の内容やそれらに通底する理念、価値を考える。	講義	横山
5	3)	福祉政策の意義や性格、社会福祉士に期待される役割と機能を知る。	講義	横山
6	4)	福祉は資源に対する再配分のあり方やその根拠に関して、市場とは異なる思想を持っている。市場の論理との対比で福祉の思想を理解する必要がある。市場の論理の特性を解明し、市場の論理を適用する際の限界性を考える。	講義・SGD	横山
7	4)	市場の論理と福祉の思想が調和的に実現する可能性とともに現代正義論のパイオニアである政治哲学者ロールズと潜在能力理論の経済哲学者のセンの考え方のもとに福祉思想の基盤とその実現方法に関する哲学的考え方を知る。	講義	横山
8	5)	社会福祉政策以外の社会政策の中で社会福祉士の仕事と関係してくる部分の福祉政策の内容を考える。	講義	横山
9	5)	社会政策の中の社会福祉政策の体系と、福祉政策の体系を知る。	講義	横山
10	6)	慈善事業から感化救済事業を経て、社会事業の形成に至るまでの歴史の認識と、人権や生活の考え方を知る。	講義	横山
11	6)	第二次世界大戦から1970年代初頭での福祉政策、すなわち戦後の改革と高度経済成長期の福祉政策の発展過程を知る。	講義	横山
12	7)	1970年代から1980年代は高度経済成長が終焉する中で少子高齢化への対応が課題とされた時期の「福祉システム」の調整がどのように行われたかを見る。	講義	横山
13	7)	1990年代と2000年代以降の福祉政策の「調整」・「改革」がどのように行われたかを見る。	講義	横山

14	8)	「必要」とは何か、さらに「必要」と「需要」の関係性の中での福祉政策のあり方を考える。	講義	横山
15	8)	「必要」が誰によってどのように判断・判定されるのか、また福祉政策の中で「必要」を充足する「資源」とは何かを考える。	講義	横山

教科書： 新・社会福祉士養成講座4「現代社会と福祉」第4版（社会福祉士養成講座編集委員会）中央法規出版株式会社【978-4-8058-3931-7】

参考書： 使用しない。

科目名: 現代社会と福祉Ⅱ

担当者: 横山 裕(福・福)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(1年) 臨床福祉学科臨床福祉専攻以外の専攻(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 社会変動に伴う生活問題や福祉ニーズの多様化・複雑化・高度化に対応して、社会福祉の守備範囲も拡大傾向にあり、また、保健・医療・更生保護・就労支援・住宅などの関連する社会サービスとの連携や調整が社会福祉士には求められているため、現代社会の変化を踏まえつつ、「社会福祉」「福祉政策」「社会政策」のそれぞれについて体系的に整理し、またその相互関係について基本的な考え方を習得する。

到達目標: (SBOs)
1)福祉政策の理念・主体・手法の説明ができる
2)福祉政策の関連領域の説明ができる
3)社会福祉制度を体系的に整理し説明できる
4)福祉サービスの提供について説明できる
5)福祉サービスと援助活動についての技術・知識の基本を説明できる
6)福祉政策の国際比較について事象を使って説明できる
7)福祉政策の課題と展望について意見を述べる事ができる

評価方法: 授業後におけるレポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学修への取り組み姿勢(レポートの提出状況、授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を7割として、包括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 前期の社会福祉概論Ⅰを復習して授業に望むこと。ⅠとⅡは密接に関連するものであり独立したものではないことに留意すること。1回の授業ごとに、4時間の予習、復習の学習を行うこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計60時間の予習復習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割が確定後研究室に掲示する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	社会福祉の制度的な枠組みに根拠を与え、方向付けている政策についての理念や福祉政策資源の配分システムを知る。	講義	横山
2	1)	社会福祉の制度的な枠組みに根拠を与え方向付けている政策について、誰によって、どのように策定されるのか、その手法と政策決定過程・評価を考える。	講義・SGD	横山
3	2)	福祉政策の関連領域としての「人権擁護政策」「保健医療政策」「所得政策」と、福祉政策との連携の在り方を知る。	講義	横山
4	2)	福祉政策の関連領域としての「雇用政策」「教育政策」「住宅政策」「震災」と福祉政策との連携のあり方を知る。	講義	横山
5	3)	社会福祉のあり方を現実的に規程する社会福祉制度の構造を知る。	講義	横山
6	3)	社会福祉構造改革と社会福祉制度と福祉サービスの提供の方法を知る。	講義	横山
7	4)	社会福祉供給の仕組みと供給の過程・利用過程を見る。	講義	横山
8	4)	福祉サービスの提供過程と利用過程の修正などの福祉サービス提供における運営管理の機能を理解する。	講義	横山
9	5)	相談援助における基本的な原則・視点・考え方と方法を考える。	講義・SGD	横山
10	5)	社会福祉士が利用者本人あるいは家族への援助をおこなう際に地域の働きかけが必要になったときの働きかけ方を考える。	講義・SGD	横山
11	6)	欧米の福祉政策一スウェーデン、アメリカの高齢者福祉・介護について知る。	講義	横山
12	6)	欧米の福祉政策一ドイツ、イギリスの高齢者介護と日本の違いを知る。	講義	横山
13	6)	東アジア諸国の福祉政策一韓国、中国、台湾の福祉政策と東アジア福祉モデルの構築を考える。	講義・SGD	横山
14	7)	社会不安と福祉政策の課題の把握を踏まえた地域福祉の政策と計画の必要性、地域ケアシステムの構築を考える。	講義・SGD	横山

教科書: 新・社会福祉士養成講座4「現代社会と福祉」第4版(社会福祉士養成講座編集委員会)中央法規出版株式会社
【978-4-8058-3931-7】

参考書: 使用しない。

科目名: 現代社会と福祉Ⅱ

担当者: 横山 裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科臨床福祉専攻(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 社会変動に伴う生活問題や福祉ニーズの多様化・複雑化・高度化に対応して、社会福祉の守備範囲も拡大傾向にあり、また、保健・医療・更生保護・就労支援・住宅などの関連する社会サービスとの連携や調整が社会福祉士には求められているため、現代社会の変化を踏まえつつ、「社会福祉」「福祉政策」「社会政策」のそれぞれについて体系的に整理し、またその相互関係について基本的な考え方を習得する。

到達目標: (SBOs)
1)福祉政策の理念・主体・手法の説明ができる
2)福祉政策の関連領域の説明ができる
3)社会福祉制度を体系的に整理し説明できる
4)福祉サービスの提供について説明できる
5)福祉サービスと援助活動についての技術・知識の基本を説明できる
6)福祉政策の国際比較について事象を使って説明できる
7)福祉政策の課題と展望について意見を述べる事ができる

評価方法: 授業後におけるレポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学修への取り組み姿勢(レポートの提出状況、授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を7割として、包括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 前期の社会福祉概論Ⅰを復習して授業に望むこと。ⅠとⅡは密接に関連するものであり独立したものではないことに留意すること。1回の授業ごとに、4時間の予習、復習の学習を行うこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計60時間の予習復習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割が確定後研究室に掲示する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	社会福祉の制度的な枠組みに根拠を与え、方向付けている政策についての理念や福祉政策資源の配分システムを知る。	講義	横山
2	1)	社会福祉の制度的な枠組みに根拠を与え方向付けている政策について、誰によって、どのように策定されるのか、その手法と政策決定過程・評価を考える。	講義・SGD	横山
3	2)	福祉政策の関連領域としての「人権擁護政策」「保健医療政策」「所得政策」と、福祉政策との連携の在り方を知る。	講義	横山
4	2)	福祉政策の関連領域としての「雇用政策」「教育政策」「住宅政策」「震災」と福祉政策との連携のあり方を知る。	講義	横山
5	3)	社会福祉のあり方を現実的に規程する社会福祉制度の構造を知る。	講義	横山
6	3)	社会福祉構造改革と社会福祉制度と福祉サービスの提供の方法を知る。	講義	横山
7	4)	社会福祉供給の仕組みと供給の過程・利用過程を見る。	講義	横山
8	4)	福祉サービスの提供過程と利用過程の修正などの福祉サービス提供における運営管理の機能を理解する。	講義	横山
9	5)	相談援助における基本的な原則・視点・考え方と方法を考える。	講義・SGD	横山
10	5)	社会福祉士が利用者本人あるいは家族への援助をおこなう際に地域の働きかけが必要になったときの働きかけ方を考える。	講義・SGD	横山
11	6)	欧米の福祉政策一スウェーデン、アメリカの高齢者福祉・介護について知る。	講義	横山
12	6)	欧米の福祉政策一ドイツ、イギリスの高齢者介護と日本の違いを知る。	講義	横山
13	6)	東アジア諸国の福祉政策一韓国、中国、台湾の福祉政策と東アジア福祉モデルの構築を考える。	講義・SGD	横山
14	7)	社会不安と福祉政策の課題の把握を踏まえた地域福祉の政策と計画の必要性、地域ケアシステムの構築を考える。	講義・SGD	横山

教科書: 新・社会福祉士養成講座4「現代社会と福祉」第4版(社会福祉士養成講座編集委員会)中央法規出版株式会社
【978-4-8058-3931-7】

参考書: 使用しない。

科目名: 低所得者に対する支援と生活保護制度

担当者: 日田 剛(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(2年)・スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 公的扶助分野は、現代社会が生み出す貧困・低所得問題に対処するための一連の制度的な取組を指し、市民生活を守る社会保障・社会福祉制度の最後のセーフティーネットとして位置づけられている。公的扶助の概念と範囲、意義と役割についての理解、「貧困」「低所得」などの問題の理解、公的扶助制度の主要制度である生活保護制度の仕組み、動向、福祉事務所を中心とした実施体制などの理解、相談活動実践事例など、自立支援プログラムの在り方などの理解を通じて、専門家としての知識の修得を図る。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)公的扶助の概念、範囲、役割、機能について説明できる。
 - 2)公的扶助の対象となる貧困・低所得とは何なのかなどを説明できる。
 - 3)公的扶助の制度的沿革、わが国の貧困・低所得対策などが説明できる。
 - 4)生活保護制度の仕組み(目的・原理・原則など)、不服審査制度など説明できる。
 - 5)最低生活保障水準の考え方、生活扶助基準の算定方法など説明できる。
 - 6)生活保護の受給人員、世帯の動向、各種扶助別人員数などの説明ができる。
 - 7)低所得者対策としての生活福祉資金制度の内容を説明できる。
 - 8)生活保護運営実施体制と関係機関、団体の役割などについて説明できる。
 - 9)貧困・低所得者に対する相談援助活動(関連専門職・専門機関との連携など)を説明できる。
 - 10)生活保護における自立支援プログラムについて説明ができる。

評価方法: ミニテスト、単位認定試験、授業態度などを総合的に判断して評価。

準備学習・履修上の注意等: 予習・復習を行うこと。
授業中にミニテストを実施する。社会福祉士国家資格試験の過去問を使用して実施する。生活保護は社会情勢との関連があるので、新聞などを読むこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	公的扶助の概念・制度概念としての公的扶助と社会保険・公的扶助の範囲・わが国における公的扶助のとりえ方・公的扶助の意義と役割・セーフティーネット機能・ナショナル・ミニマム	講義	日田
2	2)	貧困・低所得とは何か、貧困と社会的排除(絶対的貧困・相対的貧困、社会的排除としての貧困、わが国における貧困の研究、貧困・低所得者問題の現代的課題	講義	日田
3	3)	公的扶助制度の歴史: 海外の歴史、日本の歴史、貧困・低所得者対策の近年の動向	講義	日田
4	4)	生活保護法の目的・基本原理・原則、保護の種類と内容および方法、保護施設	講義	日田
5	4)	被保護者の権利および義務、不服申立と訴訟、生活保護の財源・予算	講義	日田
6	5)	最低生活保障水準の考え方、生活保護基準の考え方	講義	日田
7	5)	生活保護基準の実際、最低生活保障水準の実際	講義	日田
8	6)	生活保護の動向: 被保護人員・世帯数、保護の開始・廃止	講義	日田
9	6)	生活保護の動向: 医療扶助の動向。介護扶助の動向	講義	日田
10	7)	低所得者の概要: 生活福祉資金貸付制度	講義	日田
11	7)	低所得者の概要: 社会手当制度、ホームレス対策、その他の低所得者対策	講義	日田
12	8)	生活保護の運営実施体制と関係機関・団体: 国・都道府県・市町村の役割、福祉事務所の役割、福祉事務所専門職員の役割	講義	日田
13	9)	貧困・低所得者に対する相談援助活動: 生活保護制度における相談援助活動	講義	日田

14	9)	貧困・低所得者に対する相談援助活動:他機関・他職種との連携・協働	講義	日田
15	10)	生活保護における自立支援:自立とは何か	講義	外部講師

教科書: 新・社会福祉士養成講座 低所得者に対する支援と生活保護制度[第4版] (社会福祉士養成講座編集委員会) 中央法規出版株式会社【978-4-8058-5303-0】

歴史との対話—現代府福祉の源流を探る—(西尾祐吾 塚口伍喜夫)大学教育出版

参考書: 使用しない。

科目名: 地域福祉の理論と方法 I

担当者: 山崎 睦男(福・子)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 利用者本位の社会福祉の構築とともに、福祉サービス利用者の地域での自立生活を支援する地域福祉の推進は社会福祉の基調をなすものであり、今後の社会福祉の実践や政策の展開に係り、貢献できる社会福祉士になるために、地域福祉の基礎知識を体系的に理解し、実践と運営に必要と考えられる方法や技術を習得する。

到達目標: 1)新しい社会福祉システムについて説明できる
2)地域福祉の基本的考え方を説明できる
3)地域福祉の主体形成と福祉教育の方法について説明できる
4)コミュニティソーシャルワークと専門職の役割について説明できる
5)行政組織と民間組織の役割と実際について説明できる

評価方法: 授業後におけるレポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学習への取り組み姿勢(レポートの提出状況、授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を7割として、包括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業ごとに、4時間の予習、復習の学習を行うこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計60時間の予習復習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割が確定後研究室に掲示する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	戦前・戦後復興期における地域福祉に関する理論体系化される過程と具体的な制度を知る。	講義	山崎
2	1)	住民等と行政の協働による新しい地域福祉の構成要素を考える。	講義・SGD	山崎
3	1)	福祉コミュニティの考え方と地域福祉の主体形成を考える。	講義・SGD	山崎
4	2)	地域福祉理論の発展と広がりをもたせた地域自立生活支援のあり方と地域福祉の理念を知る。	講義	山崎
5	2)	地域福祉における地域の重層的な圏域設定の考え方と地域コミュニティ型組織・アソシエーション型組織との有機的な連携方法を考える。	講義・SGD	山崎
6	3)	地域福祉推進と福祉教育、福祉教育の歴史、実践を知る。	講義	山崎
7	3)	福祉教育の概念と内容を知る。	講義	山崎
8	4)	地方分権化と地域福祉計画を考える。	講義・SGD	山崎
9	4)	社会福祉協議会の位置づけと役割の変化を理解する。	講義	山崎
10	4)	地域福祉における社会福祉法人及び特定非営利活動法人の役割と今日的な課題を考える。	講義・SGD	山崎
11	4)	民生委員・児童委員、保護司の働き、民間営利組織の役割を知る。	講義	山崎
12	5)	コミュニティソーシャルワークとコミュニティワークの相違、コミュニティソーシャルワークの代表的な考え方を知る。	講義	山崎
13	5)	コミュニティソーシャルワークの展開とそのシステム、コミュニティソーシャルワークの方法を理解する。	講義・SGD	山崎
14	5)	専門多職種連携によるチームアプローチとコミュニティソーシャルワーク。	講義	山崎
15	5)	住民主体の地域活動を組織化していくコミュニティソーシャルワークの視点からの地域住民と専門職とのかわり。	講義	山崎

教科書: 新・社会福祉士養成講座9「地域福祉の理論と方法」第3版(社会福祉士養成講座編集委員会)中央法規出版株式

会社【978-4-8058-5105-0】

参考書： 使用しない。

科目名: **地域福祉の理論と方法Ⅱ**

担当者: 山崎 睦男(福・子)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 利用者本位の社会福祉の構築とともに、福祉サービス利用者の地域での自立生活を支援する地域福祉の推進は社会福祉の基調をなすものであり、今後の社会福祉の実践や政策の展開に係り、貢献できる社会福祉士になるために、地域福祉の基礎知識を体系的に理解し、実践と運営に必要と考えられる方法や技術を習得する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 住民の参加と方法を説明できる。
- 2) ソーシャルサポートネットワークについて説明できる。
- 3) 地域における社会資源の活用・調整・開発について説明できる。
- 4) 地域における福祉ニーズの把握方法について説明できる。
- 5) 地域トータルケアシステムについて説明できる。
- 6) 地域における福祉サービスの評価方法について説明できる。
- 7) 日本の地域福祉に影響を与えた海外の考え方を説明できる。

評価方法: 授業後におけるレポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学習への取り組み姿勢(レポートの提出状況、授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を7割として、包括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 地域福祉の理論と方法はⅠとⅡの総合科目であり独立した科目としては捉えないこと。1回の授業ごとに、4時間の予習、復習の学習を行うこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計60時間の予習復習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割が確定後研究室に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	地域福祉推進における住民参加の意義を考える。	講義・SGD	山崎
2	1)	「参加」の代表性と参加方法を知る。	講義	山崎
3	2)	ソーシャルサポートネットワークの考え方とソーシャルサポートネットワークとエコロジカルアプローチの方法を理解する。	講義	山崎
4	2)	ソーシャルサポートネットワークとコミュニティソーシャルワークの関係を知る。	講義・SGD	山崎
5	3)	社会資源を活用する方法としてのコーディネートのプロセスと福祉サービスの開発を知る。	講義・SGD	山崎
6	3)	助成金の有効活用、具体的なまちづくりとソーシャルアクションの方法を知る。	講義	山崎
7	4)	アウトリーチの意義と質的な福祉ニーズの把握方法を知る。	講義	山崎
8	4)	量的な福祉ニーズの把握方法と実際を見る。	講義	山崎
9	5)	地域トータルケアシステムの必要性と考え方、その展開方法を理解する。	講義	山崎
10	5)	地域トータルケアシステムの事例を見る。	講義・SGD	山崎
11	5)	ソーシャルケア従事者の組織化を考える。	講義・SGD	山崎
12	6)	福祉サービスの評価を必要とする背景と評価の考え方を知る。	講義	山崎
13	6)	福祉サービスの評価の方法と展開を理解する。	講義	山崎
14	7)	災害支援と地域福祉を理解する。	講義	山崎
15	7)	日本の地域福祉に影響を与えた海外の考え方を理解する。	講義	山崎

教科書： 新・社会福祉士養成講座9「地域福祉の理論と方法」第3版（社会福祉士養成講座編集委員会）中央法規出版株式会社【978-4-8058-5105-0】

参考書： 使用しない。

科目名: **社会保障 I**

担当者: 山崎 知佳 (非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 社会保障制度は、私たちの安心と生活の安定を守るセーフティネットであるといわれる。少子高齢化、血縁・地縁が希薄化する中残った職縁も雇用関係の変化により確固たるものではなくなった現在において、社会保障制度の在り方が問われている。即ち、日本はどのような社会を目指すのか、日本が目指す社会の中で社会保障にどのような機能を担わせるのかを国民一人ひとりが自身の問題として考えるために必要がある。また、福祉の仕事を円滑かつ適切に遂行するためにも、知識を正確に身につけ、使いこなす必要がある。バックグラウンドの異なる人をどう支えるか、総合的に個別化したサービス提供を行うためにも、そして、保健・医療・福祉等の関係者との連絡・調整を行うためにも、社会保障制度の習得を図る。

到達目標: (SBOs) 1) 社会保障の理念と機能を説明できる。
2) 社会保障発達の歴史、及びそこに伏流する思想・哲学についても理解し、その経緯を説明できる。
3) 社会保障制度の体系、仕組みを把握し、その構造について説明できる。
4) 社会保障費用に関する統計を読み、費用規模、部分別内訳、財源確保状況等について、また社会保障制度の経済における関係、影響について説明できる。
5) 日本における公的年金制度について、体系・各制度の給付、負担の概要について説明できる。
6) 日本における医療保険制度の沿革、各保険の目的・対象・保険者・給付・費用負担について説明できる。

評価方法: 授業中の小テストにより形成的評価を行う。毎回の学習態度(講義の出席・態度・小テスト等)を総合的に勘案し、学期末の単位認定試験と共に、総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 授業該当箇所の教科書を読み、予習しておくこと。
授業の範囲の部分についての法律条文、各自がもつ教科書、社会福祉士参考書の該当箇所を復習しておくこと。1回の授業につき、60分以上の予習・復習を行うこと。返却された小テストは、復習をし、同じ問題がでたときには回答ができるようにしておくこと
社会情勢と密接な社会保障制度であるため、新聞・時事ニュース等を読読しておくこと

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	社会保障のイントロダクション、私たちの生活と社会保障	講義	山崎
2	1)	社会保障の理念と機能(憲法との関係、定義と目的)	講義	山崎
3	2)	欧米における社会保障の歴史的展開(社会保障の源流から発展)	講義	山崎
4	2)	日本における社会保障の歴史的展開	講義	山崎
5	3)	社会保障の制度体系	講義	山崎
6	3)	社会保障制度(社会保険・社会扶助)の構造	講義	山崎
7	4)	社会保障給付費の推移、内訳、比較	講義	山崎
8	4)	社会保障の財源、経済との関係	講義	山崎
9	5)	年金保険制度の概要、沿革	講義	山崎
10	5)	国民年金の適用、種類、費用負担等、厚生年金との比較	講義	山崎
11	5)	共済年金、年金保険制度をめぐる動向	講義	山崎
12	6)	医療保険制度の沿革と概要	講義	山崎
13	6)	健康保険と共済保険、国民健康保険制度(1)	講義	山崎
14	6)	国民健康保険制度(2)	講義	山崎
15	6)	後期高齢者医療制度、国民医療費、医療をめぐる動向	講義	山崎

教科書: 新・社会福祉士養成講座 社会保障[第5版](社会福祉士養成講座編集委員会)中央法規出版株式会社【978-4805853009】

参考書: 特に指定しない。

科目名: **社会保障Ⅱ**

担当者: 山崎 知佳 (非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 社会保障制度は、私たちの安心と生活の安定を守るセーフティネットであるといわれる。少子高齢化、血縁・地縁が希薄化する中残った職縁も雇用関係の変化により確固たるものではなくなった現在において、社会保障制度の在り方が問われている。即ち、日本はどのような社会を目指すのか、日本が目指す社会の中で社会保障にどのような機能を担わせるのかを国民一人ひとりが自身の問題として考えるために必要がある。また、福祉の仕事を円滑かつ適切に遂行するためにも、知識を正確に身につけ、使いこなす必要がある。バックグラウンドの異なる人をどう支えるか、総合的・包括的に個別化したサービス提供を行うためにも、そして、保健・医療・福祉等の関係者との連絡・調整を行うためにも、社会保障制度の習得を図る。

到達目標: (SBOs) 1)介護保険制度の沿革と制度の概要等が説明できる。
2)労働保険の沿革と目的・対象・保険給付等が説明できる。
3)社会福祉制度の各制度の概要と現状・ニーズについて説明できる。
4)社会保険と民間保険との違い、役割・機能・特徴について説明できる。
5)諸外国における社会保障制度について説明できる。
6)社会経済の変化の中における社会保障の課題、背景、多様化する福祉ニーズについて説明できる。

評価方法: 授業中の小テストにより形成的評価を行う。毎回の学習態度(講義の出席・態度・小テスト等)を総合的に勘案し、学期末の単位認定試験と共に、総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 授業該当箇所の教科書を読み、予習しておくこと。
授業の範囲の部分についての法律条文、各自がもつ教科書、社会福祉士参考書の該当箇所を復習しておくこと。1回の授業につき、60分以上の予習・復習を行うこと。返却された小テストは、復習をし、同じ問題がでたときには回答ができるようにしておくこと
社会情勢と密接な社会保障制度であるため、新聞・時事ニュース等を閲読しておくこと

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	高齢化社会における介護保険創設の経緯	講義	山崎
2	1)	介護保険制度の概要、動向	講義	山崎
3	2)	労働保険制度の沿革と概要	講義	山崎
4	2)	労働者災害補償保険の目的、対象、保険給付、財源構成、課題	講義	山崎
5	2)	雇用保険の目的、対象、保険給付、財源構成、課題	講義	山崎
6	3)	社会福祉制度の沿革と概要(体系、財政、基本法)	講義	山崎
7	3)	公的扶助、生活保護制度、障害者福祉	講義	山崎
8	3)	児童福祉、母子・父子・寡婦福祉	講義	山崎
9	3)	高齢者福祉(介護保険との関係、その他の高齢者福祉)、社会手当制度	講義	山崎
10	4)	社会保険と民間保険の関係、原理原則	講義	山崎
11	4)	民間保険の概要、企業年金等	講義	山崎
12	5)	諸外国における社会保障制度(1)	講義	山崎
13	5)	諸外国における社会保障制度(2)	講義	山崎
14	6)	日本の現状:少子高齢化	講義	山崎
15	6)	労働市場の変化と社会保障	講義	山崎

教科書: 新・社会福祉士養成講座 社会保障[第5版](社会福祉士養成講座編集委員会)中央法規出版株式会社【978-4805853009】

参考書: 特に指定しない。

科目名: 相談援助の理論と方法 I

担当者: 山崎 きよ子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 社会福祉士及び介護福祉士法の改正により、相談援助の内容が大きく変更した。法の第2条で「身体上若しくは精神上的の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障があるものの福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供するもの又は医師その他の保健医療サービスを提供するものその他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うこと」を「相談援助」と位置づけられたことにより相談援助の理論と方法について深く学ぶことを目的とする。

到達目標: (SBOs) 1)ソーシャルワーカーの具体的な事例、仕事からとらえたソーシャルワークの定義と枠組みを説明できる。
2)ソーシャルワークを構成する要素・職場・組織を説明できる。
3)ソーシャルワークの構造・ニーズを説明できる。
4)ソーシャルワークの機能を説明できる。
5)実践における人と環境・人にとっての環境の意味を説明できる。
6)人と環境の全体性、ソーシャルワーク論を説明できる。
7)援助関係の意義、形成プロセスに影響する要因を説明できる。
8)援助構造と援助関係、援助関係の質の自己覚知を説明できる。
9)相談援助の展開過程の流れ、ケース発見、受理面接を説明できる。
10)問題把握からニーズ確定まで、ニーズ確定から事前評価まで、事前評価から支援目標・目標設定までを説明できる。
11)経過観察、再アセスメントと支援の強化を説明できる。
12)支援の終結と効果測定・評価・アフターケア、予防的対応とサービス開発を説明できる。
13)アウトリーチの意義と目的を説明できる。
14)アウトリーチの方法と留意点を説明できる。

評価方法: 前期、後期二回に定期試験及び出席時に毎回提出するレポート及び授業中随時行うミニテストを考慮して行う。

準備学習・履修上の注意等: 授業前後に、関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。

オフィスアワー: 毎週12:30~13:30(水曜日除く)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1		【相談援助の理論と方法講義のオリエンテーション】	講義	山崎
2	1)	【相談援助とは①】 ソーシャルワーカーの具体的な事例、仕事からとらえたソーシャルワークの定義と枠組みを学ぶ。	講義	山崎
3	2)	【相談援助とは②】 ソーシャルワークを構成する要素・職場・組織を学ぶ。	講義	山崎
4	3)	【相談援助の構造と機能①】 ソーシャルワークの構造・ニーズを学ぶ。	講義	山崎
5	4)	【相談援助の構造と機能②】 ソーシャルワークの機能を学ぶ。	講義	山崎
6	5)	【人と環境の相互作用①】 実践における人と環境・人にとっての環境の意味を学ぶ。	講義	山崎
7	6)	【人と環境の相互作用②】 人と環境の全体性、ソーシャルワーク論を学ぶ。	講義	山崎
8	7)	【相談援助における援助関係①】 援助関係の意義、形成プロセスに影響する要因を学ぶ。	講義	山崎
9	8)	【相談援助における援助関係②】 援助構造と援助関係、援助関係の質の自己覚知を学ぶ。	講義	山崎
10	9)	【相談援助の展開過程 I ①】 相談援助の展開過程の流れ、ケース発見、受理面接を学ぶ。	講義	山崎
11	10)	【相談援助の展開過程 I ②】 問題把握からニーズ確定まで、ニーズ確定から事前評価まで、事前評価から支援目標・目標設定までを学ぶ。	講義	山崎

12	11)	【相談援助の展開過程Ⅱ①】 経過観察、再アセスメントと支援の強化を学ぶ。	講義	山崎
13	12)	【相談援助の展開過程Ⅱ②】 支援の終結と効果測定・評価・アフターケア、予防的対応とサービス開発を学ぶ。	講義	山崎
14	13)	【援助のためのアウトリーチの技術①】 アウトリーチの意義と目的を学ぶ。	講義	山崎
15	14)	【援助のためのアウトリーチの技術②】 アウトリーチの方法と留意点を学ぶ。	講義	山崎

教科書： 相談援助の理論と方法Ⅰ 第3版（社会福祉養成講座編集委員会）中央法規【978-4-8058-5103-6】

参考書： 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: **相談援助の理論と方法Ⅱ**

担当者: 山崎 きよ子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 社会福祉士及び介護福祉士法の改正により、相談援助の内容が大きく変更した。法の第2条で「身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障があるものの福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供するもの又は医師その他の保健医療サービスを提供するものその他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うこと」を「相談援助」と位置づけられたことにより相談援助の理論と方法について深く学ぶことを目的とする。

到達目標: (SBOs)

- 1)契約の意義と目的を説明できる。
- 2)契約の方法と留意点を説明できる。
- 3)ソーシャルワークにおけるアセスメントの特定、援助的關係、面接を説明できる。
- 4)アセスメントで得るべき情報、面接で得た情報の使い方を説明できる。
- 5)介入の意義と目的を説明できる。
- 6)介入の方法と留意点を説明できる。
- 7)経過観察、再アセスメントを説明できる。
- 8)効果測定、評価とサービス開発を説明できる。
- 9)相談援助における面接の目的、展開を説明できる。
- 10)面接において用いる技術とコミュニケーション、面接の形態を説明できる。
- 11)記録の意義とその活用目的、種類と活用を説明できる。
- 12)記録の方法とIT化、技術の実際例と今後の説明できる。
- 13)交渉の意義と目的、方法と留意点を説明できる。
- 14)プレゼンテーションの技術を説明できる。

評価方法: 前期、後期二回に定期試験及び出席時に毎回提出するレポート及び授業中随時行うミニテストを考慮して行う。

準備学習・履修上の注意等: 学生は授業前後に4時間の予習復習時間をもつこと

オフィスアワー: 毎週12:30～13:30(水曜日除く)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1		【相談援助の理論と方法講義のオリエンテーション】	講義	山崎
2	1)	【相談援助のための契約技術①】 契約の意義と目的を学ぶ。	講義	山崎
3	2)	【相談援助のための契約技術②】 契約の方法と留意点を学ぶ。	講義	山崎
4	3)	【相談援助のためのアセスメント技術①】 ソーシャルワークにおけるアセスメントの特定、援助的關係、面接を学ぶ。	講義	山崎
5	4)	【相談援助のためのアセスメント技術②】 アセスメントで得るべき情報、面接で得た情報の使い方を学ぶ。	講義	山崎
6	5)	【相談援助のための介入の技術①】 介入の意義と目的を学ぶ。	講義	山崎
7	6)	【相談援助のための介入の技術②】 介入の方法と留意点を学ぶ。	講義	山崎
8	7)	【相談援助のための経過観察(モニタリング)、再アセスメント、効果測定、 評価の技術①】 経過観察、再アセスメントを学ぶ。	講義	山崎
9	8)	【相談援助のための経過観察(モニタリング)、再アセスメント、効果測定、 評価の技術②】 効果測定、評価とサービス開発を学ぶ。	講義	山崎
10	9)	【相談援助のための面接の技術①】 相談援助における面接の目的、展開を学ぶ。	講義	山崎
11	10)	【相談援助のための面接の技術②】 面接において用いる技術とコミュニケーション、面接の形態を学ぶ。	講義	山崎
12	11)	【相談援助のための記録の技術①】 記録の意義とその活用目的、種類と活用を学ぶ。	講義	山崎

13	12)	【相談援助のための記録の技術②】 記録の方法とIT化、技術の実際例と今後の課題。	講義	山崎
14	13)	【相談援助のための交渉の技術①】 交渉の意義と目的、方法と留意点を学ぶ。	講義	山崎
15	14)	【相談援助のための交渉の技術②】 プレゼンテーションの技術を学ぶ。	講義	山崎

教科書： 相談援助の理論と方法 I 第3版（社会福祉養成講座編集委員会）中央法規【978-4-8058-5103-6】

参考書： 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: 相談援助の理論と方法Ⅲ

担当者: 鹿嶋 隆志(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科 (3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 相談援助の過程を理解し、個人、家族、小集団・組織、地域社会といったクライアント・システムに対して、社会福祉士がソーシャルワーカーとしていかに対応していくかの実践力を有する力を身につけるために、福祉課題を抱えた者からの相談への対応や、これを受けて総合的かつ包括的にサービスを提供することの必要性及びその具体的方法にかかわる知識・技術を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)相談援助における対象について説明できる。
2)ケースマネジメントの方法について説明できる。
3)グループを活用した相談援助の方法について説明できる。
4)コーディネーションとネットワーキングの方法について説明できる。
5)相談援助における社会資源の活用・調整・開発の方法について説明できる。
6)相談援助における個人情報保護について説明できる。
7)相談援助におけるICTの活用について説明できる。

評価方法: 授業後におけるレポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学習への取り組み姿勢(レポートの提出状況、授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を7割として、包括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 社会福祉援助技術Ⅰ・Ⅱを十分復習して授業に臨むこと。
1回の授業ごとに、4時間の予習、復習の学習を行うこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計60時間の予習復習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割が確定後研究室に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	社会福祉援助活動の概念と定義を理解する。	講義	鹿嶋
2	1)	相談援助の対象領域である個人、家族、集団、地域をどう捉えるかを考える。	講義・SGD	鹿嶋
3	2)	ケースマネジメントの基本とケースマネジメントの展開過程を見る。	講義	鹿嶋
4	2)	ケースマネジメントにおけるアセスメントの特徴とその方法を理解する。	講義	鹿嶋
5	2)	ケアプランの作成・実施の特徴を知る。	講義・SGD	鹿嶋
6	2)	ケースマネジメントとソーシャルワークの関係を考える。	講義・SGD	鹿嶋
7	3)	グループワークの意義やグループを活用した相談援助の展開過程を知る。	講義	鹿嶋
8	3)	自助グループを活用した相談援助のあり方を考える。	講義・SGD	鹿嶋
9	4)	コーディネーションの目的、意義、方法、技術を理解する。	講義	鹿嶋
10	4)	コーディネーションが有効に機能するための連携や協働の基盤となる結びつき方であるネットワーキングの意義、目的、方法を理解する。	講義・SGD	鹿嶋
11	4)	地域福祉推進のための総合的なネットワークの形成とシステム化を考える。	講義・SGD	鹿嶋
12	5)	社会資源の活用、調整、開発の意義や目的、方法を知る。	講義・SGD	鹿嶋
13	5)	クライアントの権利を擁護していくソーシャルアクションの方法を知る。	講義	鹿嶋
14	6)	相談援助における個人情報の保護の基礎的知識を理解する。	講義	鹿嶋
15	7)	相談援助における情報通信技術(ICT)の活用を知る。	講義	鹿嶋

教科書: 新・社会福祉士養成講座「相談援助の理論と方法Ⅱ」第3版(社会福祉士養成講座編集委員会)中央法規出版株式会社【978-4-8058-5104-3】

参考書: 使用しない。

科目名: 相談援助の理論と方法Ⅳ

担当者: 鹿嶋 隆志(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 社会福祉援助技術論Ⅰ・Ⅱを踏まえ、相談援助の過程を理解し、個人、家族、小集団・組織、地域社会といったクライアント・システムに対して、社会福祉士がソーシャルワーカーとしていかに対応していくかの実践力を有する力を身につける。具体的には、福祉課題を抱えた者からの相談への対応や、これを受けて総合的かつ包括的にサービスを提供することの必要性及びその具体的方法にかかわる知識の習得に重点を置いて進める。

到達目標: (SBOs) 1)「実践モデル」と「アプローチ」をそれぞれ「課題認識への類型」と「課題解決への方法」として峻別理解する。
2)「心理社会的」「機能的」「問題解決」「課題中心」「危機介入」「行動変容」の6つのアプローチについて理解し、特性と限界を学ぶ。
3)「エンパワメント」「ナラティブ」「実存主義」「フェミニスト」「解決志向」の5つのアプローチについて理解し、特性と限界を学ぶ。
4)スーパービジョンとコンサルテーションの重要性について理解し、相談援助過程生じる様々な困難を克服し、専門職としてより高いレベルで実践できるようにする。
5)ケースカンファレンスの技法及び価値を通じて、クライアントの生活を豊かにするとともに専門職として成長できることを学ぶ。
6)相談援助における個人情報保護の基礎的な理解を図る。
7)相談援助におけるICT(情報通信技術)の活用に対する理解を深める。
8)事例研究・事例分析に対する理解を深める。

評価方法: 筆記試験70%、課題の提出状況及び授業態度30%として総合的に判断して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 各講義毎に事例を用いるので事前に予習を行い講義に臨み、復習も行うこと。緊張感を持って、積極的に講義に参加すること。

オフィスアワー: 講義時間前後の空時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【相談援助総論(イントロダクション)】 ソーシャルワークにおけるソーシャルワーカーのミッションとパッションについて理解する。 ～ケアマネジメント・グループワーク・ネットワーキング～	講義	鹿嶋
2	1)2)	【ジネラリスト・ソーシャルワーカーとスペシャリスト・ソーシャルワーカーでの実践モデルとアプローチ】 ～治療モデル・生活モデル・ストレスモデルの特徴を理解する～	講義・SGD	鹿嶋
3	1)2)	【事例を通じて展開する(否定・認知・受容の段階別におけるインテーク～終結まで)】 ～治療モデル・生活モデル・ストレスモデル～	SGD	鹿嶋
4	1)2)4)	【さまざまな実践モデルとアプローチ①(心理職と福祉職の相違)】 ～必ずしも治療を目的とはしない日本のソーシャルワーカーその経緯～	講義	鹿嶋
5	1)2)3)	【さまざまな実践モデルとアプローチ②(要支援者の持っている本来の力を引き出すアプローチ)】 ～エンパワメントアプローチ・ナラティブアプローチ・その他のポストモダンアプローチ～	講義	鹿嶋
6	1)2)3)	【さまざまな実践モデルとアプローチ③(模擬相談)】 ～余命宣告された不安を語ることで焦点化し、どんな支援が必要かを考える～	SGD	鹿嶋
7	1)2)3)	【さまざまな実践モデルとアプローチ④(自己のふりかえり)】 ～「山で最後を迎えたい(ビデオ)」を鑑賞し、自分にあつたアプローチを考察し、言語化する～	SGD	鹿嶋
8	4)	【スーパービジョンとコンサルテーション(違いと必要性)】 ～実習・新人・中堅・ベテランでスーパービジョンとコンサルテーションの重要性について～	講義	鹿嶋
9	5)	【ケースカンファレンス①(その意義と目的)】 ～事例提供、ケース会議の重要性～	講義	鹿嶋
10	5)	【ケースカンファレンス②(模擬カンファレンス)】 ～それぞれの立場でよりよいカンファレンスのあり方について感じてみる～	ロールプレイ	鹿嶋
11	6)7)	【個人情報の取り扱いについて】 ～相談援助における個人情報保護の課題～ 【相談援助における情報通信技術(ICT)の活用】 ～相談援助における情報通信技術(ICT)活用の留意点～	講義	鹿嶋
12	8)	【事例研究・事例分析(事例研究及び事例分析の目的と意義)】	講義	鹿嶋

～実践の科学科の必要性について～

- | | | | |
|----|---|-----|----|
| 13 | 1)2)3)5)8) 【援助の実際①(一人暮らしの認知症のある事例)】
～地域包括支援センターとして～ | SGD | 鹿嶋 |
| 14 | 1)2)3)4)5)7)8) 【援助の実際②(触法障害者の地域移行について)】
～事例を読み込む～ | 講義 | 鹿嶋 |
| 15 | 1)2)3)5)8) 【援助の実際③(当事者の声を聴く)】
～ゲストスピーカーを招いて実際の生活暦を語ってもらい、当事者側が
求める支援とは何かについて考察する～ | SGD | 鹿嶋 |

教科書: 新・社会福祉士養成講座「相談援助の理論と方法Ⅱ」第3版(社会福祉士養成講座編集委員会)中央法規出版株式会社【978-4-8058-5104-3】

参考書: 使用しない。

科目名: **権利擁護と成年後見制度**

担当者: 日田 剛(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 憲法、民法、行政法の基本的な知識を習得し、相談援助を展開する上で、想定される法律問題に対応ができる。また、具体的に成年後見制度や関連制度の内容を理解し、誰のための何の権利擁護を実践しなければならないかが明らかにできる。この科目での学習を通して社会福祉士として果たすべき使命と役割を理解し、鋭い人権感覚を養うことができる。

到達目標: (SBOs) 1)憲法、民法、行政法が生活にどのように関わっているか説明できる。
2)成年後見制度の基本的な仕組みや申立ての流れを理解し、その特性、最近の動向を把握できる。
3)日常生活自立支援事業の概要を理解し、成年後見制度と関連付けて把握できる。
4)成年後見利用支援事業の概要を理解し、問題点を指摘できる。
5)利用者の権利擁護を図るために、専門機関、専門職がどのように連携しているのか説明できる。
6)権利擁護にかかわる専門職の役割と社会福祉士の立ち位置を確認できる。
7)判断能力の不十分な高齢者、障害者を支援する社会福祉士の活動の実際を理解し、その重要性を把握できる。
8)事例を通じて権利擁護の実践について具体的にイメージすることができる。

評価方法: 科目単位認定試験および授業後に提出させるレポート課題により評価。

準備学習・履修上の注意等: 講義時には教科書を使用するため必ず持ってくる。1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。その他、毎授業後にレポートを提出すること。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【相談援助の活動と法①】 権利擁護に向けた相談援助の活動において想定される法律問題を列挙できる。	講義	日田
2	1)	【相談援助の活動と法②】 社会福祉士として権利擁護の役割を担うための法制度はどのようなものがあるのか理解し、説明できる。	講義	日田
3	2)	【成年後見制度①】 成年後見制度の基本的な仕組みや申立ての流れを学習することによって、社会福祉士が成年後見制度の担い手として、法律専門職とともに権利擁護の役割を果たす意味は何かを説明できる。	講義	日田
4	2)	【成年後見制度②】 最近の動向を踏まえ、後見事務のあり方など制度の課題を列挙できる。	講義	日田
5	3)	【日常生活自立支援事業①】 日常生活自立支援事業が成年後見制度と車の両輪と位置づけられるのは何故なのかを説明できる。	講義	日田
6	3)	【日常生活自立支援事業②】 成年後見制度との相違点や特徴を列挙でき、この両者は相互に補完し合う形で機能を果たしていることを説明できる。	講義	日田
7	4)	【成年後見制度利用支援事業①】 経済的理由で費用や報酬の支払いができない人は、成年後見制度を利用できないといった事態に陥るため、市長村が行う成年後見制度の利用を支援する事業を創設したがその変遷を説明できる。	講義	日田
8	4)	【成年後見制度利用支援事業②】 福祉行政が経済的理由で費用や報酬の支払いができない人に対してどのように支援していくかを説明できる。	講義	日田
9	5)	【権利擁護にかかわる組織・団体①】 成年後見制度の根幹である家庭裁判所の役割を列挙できる。	講義	日田
10	5)	【権利擁護にかかわる組織・団体②】 制度を支える法務局、市長村、社会福祉協議会、児童相談所の役割を列挙でき、社会福祉士の役割と業務内容を説明できる。	講義	日田
11	6)	【権利擁護にかかわる専門職の役割①】 成年後見制度を含めた権利擁護制度にかかわる弁護士、司法書士、公証人、医師の役割を説明できる。	講義	日田

- | | | | |
|----|------------|---|------|
| 12 | 6) | 【権利擁護にかかわる専門職の役割②】
社会福祉の活動の実際を理解し、第三者であるいずれの専門職においても鋭い人権感覚が必要であることが説明できる。 | 日田 |
| 13 | 7) | 【成年後見活動の実際①】
認知症を有する高齢者の虐待事例や重度知的障がい者の虐待事例から成年後見活動の実際を理解し、支援の留意点を説明できる。 | 外部講師 |
| 14 | 7) | 【成年後見活動の実際②】
市長村長申立ての事例を理解することによって、より明確な成年後見人等の役割と市長村の役割を説明できる。 | 外部講師 |
| 15 | 1)2)5)6)8) | 【権利擁護活動の実際】
ソーシャルワーク実践は、児童から高齢者、障がい者、ホームレスの人などを対象にした幅の広い支援が必要であり、そのためには医療や福祉の知識だけでなく、総合的な知識が必要なことを、事例を通して理解し、社会福祉士という専門職の価値と原則の具体化とはどういうことなのかを説明できる。 | 日田 |

教科書： 『新・社会福祉士養成講座第19巻 権利擁護と成年後見制度』第3版（社会福祉士養成講座編集委員会 編）中央法規出版【978-4-8058-3568-5】

参考書： 使用しない。

科目名: **社会調査の基礎**

担当者: 三宮 基裕(臨・臨)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・子ども保育福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: この教科では、社会調査の基礎を学ぶ。学期終了時には、量的研究と質的研究という二つの研究方法の概要、実際の手続き、それぞれの長所と短所を修得する。もう一歩進んで、知識としての社会調査を超えて、実際に簡単な調査を実施できるようになることが目的である。

到達目標: (SBOs)

- 1)量的研究と質的研究の違いを説明でき、また日本の統計制度(法)の概要を整理できる。
- 2)標本抽出と母集団との関係について理解し、無作為抽出法の利点を説明できる。
- 3)質問紙作成上の留意点について学び、既存のアンケート項目の問題点を指摘できる。
- 4)データ収集の様々な方法の長所と短所を列挙できる。
- 5)記述統計を理解し、単純集計・クロス集計ができる。
- 6)相関係数など2変数の関係について学び、現実の調査データに応用できる。
- 7)質的調査と量的調査の認識論について比較・説明できる。
- 8)質的調査の調査手法について学び、それぞれの特徴を説明できる。
- 9)逐語記録からコーディングへのプロセスを学び、質的調査のデータ化の手順を簡単な実例に基づいて実際にできる。
- 10)個人情報取り扱い方法、研究倫理について学び、それを説明できる。

評価方法: 受講態度と期末試験の成績を最終評価とします。

準備学習・履修上の注意等: 統計学が解っていないと内容の理解が厳しいです。基礎統計学レベルの知識は最低限必要です。基礎統計学や心理学研究法を履修積みの学生は、これらの科目内容と結び付けて学習すること。統計学未修了者は同時履修をすること。授業妨害(私語)をする学生は即刻退室を命じます。一回の授業で最低1時間は復習して下さい。

オフィスアワー: 研究室在室時は随時対応

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション、テキスト第1章 社会調査と社会福祉	講義	三宮
2	1)	社会調査の概要 テキスト第2章 意義、目的、対象、方法、統計法	講義	三宮
3	2)	量的調査1 テキスト第3章第1節 量的調査の特徴と種類	講義	三宮
4	3)	量的調査2 テキスト第3章第2節 調査票の作成と留意点 ワーディング、信頼性と妥当性	講義	三宮
5	3)4)	量的調査4 第3章第3節 調査票の配布と回収	講義	三宮
6	5)	量的調査5 第3章第4節 量的データの分析 尺度水準、集計、データの視覚化	講義	三宮
7	5)	量的調査6 第3章第4節 量的データの分析 1変量の記述統計	講義	三宮
8	5)	量的調査6 第3章第4節 量的データの分析 1変量の記述統計	講義	三宮
9	6)	量的調査7 第3章第4節 量的データの分析 相関係数など2変数の関係#1	講義	三宮
10	6)	量的調査8 第3章第4節 量的データの分析 相関係数など2変数の関係#2	講義	三宮
11	7)	質的調査1 第4章第1～3節 質的調査の特徴	講義	三宮
12	8)	質的調査2 第4章第4節 面接法(自由面接、構造化面接等)	講義	三宮
13	8)	質的調査3 第4章第5節 質的調査の実施、記録方法と注意事項	講義	三宮
14	9)	質的調査5 第4章第6節 質的データの整理と分析、逐語記録からコーディングへのプロセス、データ化の手順	講義	三宮
15	10)	質的調査6 第5章 社会調査の倫理(個人情報の扱い等)	講義	三宮

教科書: 新・社会福祉士養成講座5 社会調査の基礎 第3版 (社会福祉士養成講座編集委員会=編集) 中央法規出版【978-4-8058-3760-3】

参考書： 社会福祉士国家試験受験ワークブック(専門科目編)(社会福祉士国家試験受験ワークブック編集委員会＝編集)
中央法規出版※最新のもの

科目名: **保健医療サービス**

担当者: 稲田 弘子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科3年生

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 日本の保健医療サービスは、「いつでもどこでも誰でも」が安心して医療を受けられる国民皆保険の医療保険制度によって成り立っている。
近年、疾病構造が変化し、また超高齢社会になり、ますます保健・医療・福祉の連携が重要になってきている。国の政策として、「地域包括ケアシステム」「チーム医療」が一つの柱となっている。保健・医療分野と連携できる社会福祉士となるために、医療保険制度の概要や基本的な知識、それに基づいた実践事例が理解できるための知識を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 保健医療制度の概要について説明することができる。
2) ステークホルダーの相互関係とそれぞれの構成要素について説明することができる。
3) 医療提供施設で働く専門職の役割や連携、基本姿勢について説明することができる。
4) 医療保険制度を取り巻く制度や新・改正について説明することができる。
5) 医療と福祉との連携と実践について説明することができる。

評価方法: 学期末の単位認定試験95%と学習への取り組み姿勢(授業態度、出欠遅刻状況等)5%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 社会福祉士国家試験受験希望者は必修。
毎授業ごとにテキストや配布するプリントをよみかえし、1回の授業につき120分をめぐりに自分で復習し、まとめること。また、返却された小テストを復習しておくこと。
定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。

オフィスアワー: 時間割が確定後、研究室前に提示します。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)4)	保健医療サービスの構成要素とステークホルダー、「サザエさん病気になる」の巻	講義	稲田
	2)	(医療保険の種類と対象、後期高齢者医療制度等)□		
2	4)	「サザエさん病気になる」の巻(保険料、診療報酬制度、一部負担金等)□	講義	稲田
3		「サザエさん病気になる」の巻(病院等の定義と種類、特定機能病院、地域医療支援	講義	稲田
	3)4)	病院、助産所等)□		
4	4)	「カツオ君家が大変だ」の巻(医療従事者、入院診療計画書)□	講義	稲田
5	4)	「カツオ君家が大変だ」の巻(入院時食事療養費、現金給付)□	講義	稲田
6	4)	「穴子さんガンになる」の巻(高額療養費)□	講義	稲田
7	4)	「穴子さんガンになる」の巻(保険外併用療養費、がん対策)□	講義	稲田
8	4)	「穴子さんガンになる」の巻(緩和ケア病棟、高額医療・高額介護合算療養費)□	講義	稲田
9		「波平の双子の兄 海平 脳梗塞で倒れる」の巻(救急医療体制、回復期リハビリ	講義	稲田
	3)	テーション病棟)□		
10		「波平の双子の兄 海平 脳梗塞で倒れる」の巻(医療ソーシャルワーカーの役割と業	講義	稲田
	5)	務内容)□		
11		「波平の双子の兄 海平 脳梗塞で倒れる」の巻(地域連携、多職種連携について)□	講義	稲田
	3)	「波平の双子の兄 海平 脳梗塞で倒れる」の巻(保健医療サービス専門職の基本		
12		的姿勢)□	講義	稲田
	4)	国民医療費について□		
13	4)	医療法と医師法について□	講義	稲田
14	1)-5)	医療保険制度と介護保険制度について、総括□	講義	稲田
15			講義	稲田

教科書: 「保健医療サービス」第5版(社会福祉士養成講座編集委員会 編)中央法規【978-4-8058-5432-7】

参考書: 使用しない。(必要時プリントを配布する)

科目名: 福祉行財政と福祉計画

担当者: 山崎 睦男(福・子)

配当学科: 臨床福祉学科(3年)(4年)・スポーツ健康福祉学科(3年)(4年)・子ども保育福祉学科(3年)(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 福祉実践の観点からみると、従来、国が示す方針を前提としてさまざまな支援が行われて来たのに対し、社会福祉基礎構造改革後はサービスの利用者と提供者の対等な関係の確立、多様な需要への総合的支援、多様な主体の参入促進、サービスの質と効率性の確保等を前提に、市町村を中心とし、住民参加のもとに、支援を必要とする当事者、サービス提供に携わる事業者、行政担当者、福祉の専門家などが集まって計画の枠組みを検討するようになった。福祉専門職には、現場実践における専門性のみならず、計画策定における専門性も求められる。このことから、行政、財政、計画策定の基礎を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)福祉の概念と福祉法制度の展開を学び、今日の行財政、福祉計画が登場した背景、考え方を説明できる。
 - 2)社会経済システムの変化に伴う、国と地方公共団体の関係の変化等について説明できる。
 - 3)国、地方の財政だけでなく民間社会福祉事業に固有な財源、共同募金、寄付金などの全体像を説明できる。
 - 4)社会福祉制度の実施体制(国、都道府県、市区町村)、専門諸機関、市区町村の相談機関等を説明できる。
 - 5)福祉計画の目的、意義について理解し、専門職として説明できる。
 - 6)福祉計画の概念・類型、計画の過程モデルの特徴、ニーズ把握技法等について説明できる。
 - 7)老人福祉計画・介護保険事業計画、障害者計画・障害者福祉計画、次世代育成支援行動計画、地域福祉計画等について説明できる。

評価方法: ミニテスト、単位認定試験、授業態度などを総合的に判断して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業中に「ミニテスト(国家資格試験過去問)」を実施する。国家資格試験対象科目なので予習・復習をしっかりやること。

オフィスアワー: 時間割が確定後研究室に掲示する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	福祉を実現する主体と機能、社会福祉のとらえ方、変化する社会福祉の概念、社会福祉制度の確立期・拡充期・見直し期・改革期、現在の段階	講義	山崎
2	1)2)	社会福祉と計画、福祉行政と福祉計画、三権分立と政府の役割、国と地方自治体の関係、行政改革の動き、社会福祉実践と法制度の創造、社会福祉の法令を読むポイント	講義	山崎
3	2)	社会福祉関係の政省令、社会福祉関係の通知・要綱、国の役割と組織、地方自治体の組織、社会福祉関係法の体系と社会福祉基礎構造、基礎構造改革と福祉サービスの利用方式の分化	講義	山崎
4	3)	財政と社会福祉、一般会計と社会保障関係費の動向、地方自治体の財政と民生費の動向	講義	山崎
5	3)	民間社会福祉事業の財源、福祉サービスの利用と費用負担	講義	山崎
6	4)	社会福祉構造改革、相談過程(サービスに関する情報提供・相談、申請・決定等)	講義	山崎
7	4)	相談体制、専門諸機関(福祉事務所、児童相談所等)	講義	山崎
8	4)	地域の相談システム(地域包括支援センター、障害者相談支援事業等)、専門職(福祉事務所の現業員、査察指導員、児童福祉司等)	講義	山崎
9	5)	福祉計画の目的・意義とは、福祉援助の現場から福祉計画へ、計画のサイクルと福祉援助の現場	講義	山崎
10	6)	福祉計画の基本的視点(計画の日常性、社会体制と社会計画、福祉計画の概念等)福祉計画の過程と留意点(福祉計画の過程モデル、福祉計画の過程とその特徴等)	講義	山崎
11	6)	福祉計画のニーズ把握(ニーズの概念、ニーズの類型、ニーズ把握の技法)	講義	山崎
12	6)	福祉計画における評価(評価の難しさ、福祉計画の評価技法等)、福祉計画における住民参加(社会福祉における住民参加、地域福祉計画と住民参加等)	講義	山崎
13	7)	福祉計画の実際(福祉計画の事例研究の視点、老人福祉計画・介護保険事業計画)	講義	山崎
14	7)	福祉計画の実際(障害者計画・障害福祉計画、次世代育成支援行動計画)	講義	山崎

教科書: 新・社会福祉士養成講座 福祉行財政と福祉計画[第5版] (社会福祉士養成講座編集委員会) 【978-4-8058-5430-3】

参考書: 使用しない。

科目名: 就労支援サービス

担当者: 佐島 良一(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 15 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: これまで就労支援は、障害者雇用や生活保護など限られた対象者への課題とされて来た。しかし現代の生きにくさは若年層におけるニートやフリーター、ホームレスなど不就労、ワーキングプアといわれる不安定就労等へのセーフティネットとしての機能が強調されるようになってきました。現在の社会、経済が激動している中で、それに対応して支援の対象者は急速に拡大してきています。この教科では、相談援助活動を展開する上で必要とされる労働関係の制度について学習します。

到達目標: (SBOs) 1)働くことの意味を経済的側面と社会参加の側面から理解する。
2)現在の労働環境と支援の対象者を理解する。
3)就労についての法制度・行政機関・専門職員の役割を理解する。
4)福祉施策としての就労支援の強化施策を理解する。

評価方法: 定期試験により評価する。

準備学習・履修上の注意等: 「職に就くこと」や「働くこと」についての理解を確かなものにするため、積極的な参加を望みます。予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 授業前後の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	働くことの意味を個人と社会の関係から理解する。	講義	佐島
2	1)2)	現代の労働を取り巻く状況を理解する。労働人口、産業別就業者の構成割合、雇用形態の変化からワークライフバランスについて考える。	講義	佐島
3	3)4)	わが国の労働に関する法律や制度について理解する。国連や諸外国の労働問題の捉え方を知る。	講義	佐島
4	3)	障害者の雇用の促進に関する法律について理解する。雇用施策からの障害者への就労支援を理解する。	講義	佐島
5	4)	障害者への福祉施策としての就労支援について理解する。「福祉から雇用へ」を掲げる福祉事務所とハローワークの役割を理解する。低所得者への就労支援施策を理解する。自立支援プログラムについて理解する。	講義	佐島
6	2)3)4)	就労支援サービスを展開していく専門機関のネットワークのあり方について理解する。	講義	佐島
7	1)2)3)4)	社会福祉援助の視点から、生きにくい現代社会におけるセーフティネットの機能をもつ就労支援サービスの担い手の役割を考える。	講義	佐島
8	1)2)3)4)	社会福祉援助の視点から、就労支援サービスの役割を考える。	講義	佐島

教科書: 新・社会福祉士養成講座 18就労支援サービス第4版 中央法規【ISBN:978-4-8058-5304-7】

参考書: 使用しない。

科目名: **福祉サービスの組織と経営**

担当者: 山崎 睦男(福・子)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 新たな時代における福祉サービスの提供組織とその新たな経営モデルの必要性が叫ばれる中で、社会福祉士は、従来からの相談援助を中心とした職務から、幅広く福祉サービス全体の運営管理にかかわっていくことが期待され、そのために、福祉サービスの組織と経営のあり方を理解し、新たな社会福祉実践の視点の獲得と関連する知識・技術を修得する。

到達目標: (SBOs)
1)福祉サービスにおける組織と経営について説明できる。
2)福祉サービスにかかわる組織や団体について説明できる。
3)福祉サービスの組織と経営の基礎理論について説明できる。
4)福祉サービスの管理運営の方法—サービス管理について説明できる。
5)福祉サービスの管理運営の方法—人事管理と労務管理について説明できる。
6)福祉サービスの管理運営の方法—会計管理と財務管理について説明できる。
7)福祉サービスの管理運営の方法—情報管理について説明できる。

評価方法: 授業後におけるレポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学習への取り組み姿勢(レポートの提出状況、授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を7割として、包括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業ごとに、4時間の予習、復習の学習を行うこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計60時間の予習復習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割が確定後研究室に掲示する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	福祉サービスにおける組織と経営を知る。	講義	山崎
2	2)	社会福祉に関連する法人を理解する。	講義	山崎
3	2)	社会福祉法人、特定非営利活動法人の役割や現状を考える。	講義・SGD	山崎
4	2)	医療法人、営利法人、市民団体、協同組合、自治会の役割を知る。	講義	山崎
5	3)	経営戦略の策定プロセス、事業計画の策定から実行、評価を見る。	講義	山崎
6	3)	組織と管理運営の基礎理論を理解する。	講義	山崎
7	3)	集団の力学(グループダイナミックス)に関する基礎理論、リーダーシップに関する基礎理論を知る。	講義	山崎
8	4)	サービスマネジメントの基礎的事項を知る。	講義・SGD	山崎
9	4)	サービスの質の評価の考え方と実際を知る。	講義	山崎
10	4)	苦情対応とリスクマネジメントの方法を考える。	講義・SGD	山崎
11	4)	今後の福祉サービスのあり方を考える。	講義・SGD	山崎
12	5)	福祉サービスの人事労務管理はどうあるべきか、そのあり方と手法を知る。	講義・SGD	山崎
13	5)	人材育成をどのように進めていくべきか、そのあり方と手法を知る。	講義	山崎
14	6)	社会福祉法人の財務管理の考え方と財務諸表を見る。	講義	山崎
15	7)	事業経営における情報の活用、利用者への情報開示、個人情報の保護、サービス評価などを理解する。	講義・SGD	山崎

教科書: 新・社会福祉士養成講座11「福祉サービスの組織と経営」第5版(社会福祉士養成講座編集委員会)中央法規出版株式会社【9 78-4-8058-5431-0】

参考書: 使用しない。

科目名: **更生保護制度**

担当者: 日田 剛(福・福)、外部講師

配当学科: スポーツ健康福祉学科・臨床福祉専攻・動物療法専攻・臨床心理専攻・子ども保育福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 15 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 更生保護制度に関する制度、その他実態と社会支援等を学習し、リーガルソーシャルワーカーとしての知識、スキルを習得し実践能力を高めることができる。

到達目標: (SBOs) 1)リーガルソーシャルワーカーの役割と使命を説明することができる。
2)相談援助活動において必要となる更生保護制度について理解する。
3)更生保護を中心に、刑事司法・少年司法分野で活動する組織、団体及び専門職について理解する。
4)更生保護を中心に、刑事司法・少年司法分野で活動する組織、団体及び専門職について理解する。
5)刑事司法・少年司法分野の他機関等との連携の在り方について理解する。
6)リーガルソーシャルワーカーの実際と今後の展望を具体的にイメージし、描けることができる。

評価方法: 科目単位認定試験により評価。

準備学習・履修上の注意等: 講義時には教科書を使用するため必ず持ってくる。1コマ当たり3時間を目安に予習・復習を行うこと。毎授業後に次回授業内容のポイントを示すので、事前準備を行うこと。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1) 6)	この科目を学習する目的を考える ～リーガルソーシャルワークの必要性について～	講義・SGD	日田 剛
2	2)	□ 更生保護制度の概要① 更生保護とは何か	講義	日田 剛
3	2)	更生保護制度の概要② 生活環境調整と犯罪被害者	講義	日田 剛
4	3) 4) 5)	更生保護制度の担い手	講義	日田 剛
5	3) 4) 5)	更生保護制度における関係機関・団体との連携	講義	日田 剛
6	2) 3) 4) 5)	更生保護の実際と今後の展望	講義	外部講師
7	1) 2) 3) 4) 5)	医療保護制度の概要	講義	日田 剛
8	1) 2) 3) 4) 5)	事例検討	講義・SGD	外部講師

教科書: 新・社会福祉士養成講座20 「更生保護制度」第4版(社会福祉士養成講座編集委員会)中央法規出版株式会社【978-4-8058-5433-4】

参考書: 更生保護制度 第2版 -司法福祉(社会福祉士シリーズ 20) 弘文堂【978-4335611568】

科目名: **相談援助演習 I**

担当者: 山崎きよ子 川崎順子 西田美香 谷口衛

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科・

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 相談援助実践の価値・知識・技術を具体的な演習課題を通して修得する。
相談援助における基本技術を学び相談援助演習の基礎を理解する。
自己理解と他者理解、基本的な面接技術コミュニケーションを修得する。

到達目標: (SBOs)

- 1)演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を説明できる。
- 2)“人”を説明できる。
- 3)専門家による「原因の理解(診断)」、人(クライアント)を理解するための面接を説明できる。
- 4)他者の“こころ”を説明できる。
- 5)自己の“こころ”を説明できる。
- 6)他者の“気持ち”を説明できる。
- 7)自己の“気持ち”を説明できる。
- 8)他者の“行動”を説明できる。
- 9)自己の“行動”を説明できる。
- 10)相談援助における面接の目的と特性を説明できる。
- 11)面接の基盤、インテーク面接の場面を説明できる。
- 12)面接における基本的応答技法を説明できる。
- 13)面接の展開を説明できる。
- 14)非言語コミュニケーションを説明できる。

評価方法: 授業中における演習実施中の態度、及び毎回提出するレポートなどを統合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習は授業参加が基本であるため、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。
授業前後に 関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。

オフィスアワー: 各教員のオフィスアワーに准ずる。講義前後の可能な時間(非常勤講師)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を理解する。	演習	全員
2	2)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」①】 “人”を理解する。	演習	全員
3	3)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」②】 専門家による「原因の理解(診断)」、人(クライアント)を理解するための面接を理解する。	演習	全員
4	4)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」③】 他者の“こころ”を理解する。	演習	全員
5	5)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」④】 自己の“こころ”を理解する。	演習	全員
6	6)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」⑤】 他者の“気持ち”を理解する。	演習	全員
7	7)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」⑥】 自己の“気持ち”を理解する。	演習	全員
8	8)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」⑦】 他者の“行動”を理解する。	演習	全員
9	9)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」⑧】 自己の“行動”を理解する。	演習	全員
10	10)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術①】 相談援助における面接の目的と特性を理解する。	演習	全員
11	11)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術②】 面接の基盤、インテーク面接の場面を理解する。	演習	全員
12	12)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術③】 面接における基本的応答技法を理解する。	演習	全員

13	13)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術④】 面接の展開を理解する。	演習	全員
14	14)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術⑤】 非言語コミュニケーションを理解する。	演習	全員
15	1)~14)	【授業のまとめと振り返り】 グループを評価し、前期演習を振り返る。	演習	全員

教科書： 講義時に配布するプリントなどを使用する。

参考書： 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: **相談援助演習 I**

担当者: 山崎きよ子 川崎順子 西田美香 谷口衛

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科・

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 相談援助実践の価値・知識・技術を具体的な演習課題を通して修得する。
相談援助における基本技術を学び相談援助演習の基礎を理解する。
自己理解と他者理解、基本的な面接技術コミュニケーションを修得する。

到達目標: (SBOs)

- 1)演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を説明できる。
- 2)“人”を説明できる。
- 3)専門家による「原因の理解(診断)」、人(クライアント)を理解するための面接を説明できる。
- 4)他者の“こころ”を説明できる。
- 5)自己の“こころ”を説明できる。
- 6)他者の“気持ち”を説明できる。
- 7)自己の“気持ち”を説明できる。
- 8)他者の“行動”を説明できる。
- 9)自己の“行動”を説明できる。
- 10)相談援助における面接の目的と特性を説明できる。
- 11)面接の基盤、インテーク面接の場面を説明できる。
- 12)面接における基本的応答技法を説明できる。
- 13)面接の展開を説明できる。
- 14)非言語コミュニケーションを説明できる。

評価方法: 授業中における演習実施中の態度、及び毎回提出するレポートなどを統合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習は授業参加が基本であるため、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。
授業前後に 関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。

オフィスアワー: 各教員のオフィスアワーに准ずる。講義前後の可能な時間(非常勤講師)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を理解する。	演習	全員
2	2)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」①】 “人”を理解する。	演習	全員
3	3)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」②】 専門家による「原因の理解(診断)」、人(クライアント)を理解するための面接を理解する。	演習	全員
4	4)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」③】 他者の“こころ”を理解する。	演習	全員
5	5)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」④】 自己の“こころ”を理解する。	演習	全員
6	6)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」⑤】 他者の“気持ち”を理解する。	演習	全員
7	7)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」⑥】 自己の“気持ち”を理解する。	演習	全員
8	8)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」⑦】 他者の“行動”を理解する。	演習	全員
9	9)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」⑧】 自己の“行動”を理解する。	演習	全員
10	10)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術①】 相談援助における面接の目的と特性を理解する。	演習	全員
11	11)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術②】 面接の基盤、インテーク面接の場面を理解する。	演習	全員
12	12)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術③】 面接における基本的応答技法を理解する。	演習	全員

13	13)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術④】 面接の展開を理解する。	演習	全員
14	14)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術⑤】 非言語コミュニケーションを理解する。	演習	全員
15	1)~14)	【授業のまとめと振り返り】 グループを評価し、前期演習を振り返る。	演習	全員

教科書： 講義時に配布するプリントなどを使用する。

参考書： 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: **相談援助演習 I**

担当者: 山崎きよ子 川崎順子 西田美香 谷口衛

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科・

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 相談援助実践の価値・知識・技術を具体的な演習課題を通して修得する。
相談援助における基本技術を学び相談援助演習の基礎を理解する。
自己理解と他者理解、基本的な面接技術コミュニケーションを修得する。

到達目標: (SBOs)

- 1)演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を説明できる。
- 2)“人”を説明できる。
- 3)専門家による「原因の理解(診断)」、人(クライアント)を理解するための面接を説明できる。
- 4)他者の“こころ”を説明できる。
- 5)自己の“こころ”を説明できる。
- 6)他者の“気持ち”を説明できる。
- 7)自己の“気持ち”を説明できる。
- 8)他者の“行動”を説明できる。
- 9)自己の“行動”を説明できる。
- 10)相談援助における面接の目的と特性を説明できる。
- 11)面接の基盤、インテーク面接の場面を説明できる。
- 12)面接における基本的応答技法を説明できる。
- 13)面接の展開を説明できる。
- 14)非言語コミュニケーションを説明できる。

評価方法: 授業中における演習実施中の態度、及び毎回提出するレポートなどを統合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習は授業参加が基本であるため、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。
授業前後に 関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。

オフィスアワー: 各教員のオフィスアワーに准ずる。講義前後の可能な時間(非常勤講師)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を理解する。	演習	全員
2	2)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」①】 “人”を理解する。	演習	全員
3	3)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」②】 専門家による「原因の理解(診断)」、人(クライアント)を理解するための面接を理解する。	演習	全員
4	4)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」③】 他者の“こころ”を理解する。	演習	全員
5	5)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」④】 自己の“こころ”を理解する。	演習	全員
6	6)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」⑤】 他者の“気持ち”を理解する。	演習	全員
7	7)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」⑥】 自己の“気持ち”を理解する。	演習	全員
8	8)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」⑦】 他者の“行動”を理解する。	演習	全員
9	9)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」⑧】 自己の“行動”を理解する。	演習	全員
10	10)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術①】 相談援助における面接の目的と特性を理解する。	演習	全員
11	11)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術②】 面接の基盤、インテーク面接の場面を理解する。	演習	全員
12	12)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術③】 面接における基本的応答技法を理解する。	演習	全員

13	13)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術④】 面接の展開を理解する。	演習	全員
14	14)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術⑤】 非言語コミュニケーションを理解する。	演習	全員
15	1)~14)	【授業のまとめと振り返り】 グループを評価し、前期演習を振り返る。	演習	全員

教科書： 講義時に配布するプリントなどを使用する。

参考書： 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: **相談援助演習 I**

担当者: 山崎きよ子 川崎順子 西田美香 谷口衛

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科・

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 相談援助実践の価値・知識・技術を具体的な演習課題を通して修得する。
相談援助における基本技術を学び相談援助演習の基礎を理解する。
自己理解と他者理解、基本的な面接技術コミュニケーションを修得する。

到達目標: (SBOs)

- 1)演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を説明できる。
- 2)“人”を説明できる。
- 3)専門家による「原因の理解(診断)」、人(クライアント)を理解するための面接を説明できる。
- 4)他者の“こころ”を説明できる。
- 5)自己の“こころ”を説明できる。
- 6)他者の“気持ち”を説明できる。
- 7)自己の“気持ち”を説明できる。
- 8)他者の“行動”を説明できる。
- 9)自己の“行動”を説明できる。
- 10)相談援助における面接の目的と特性を説明できる。
- 11)面接の基盤、インテーク面接の場面を説明できる。
- 12)面接における基本的応答技法を説明できる。
- 13)面接の展開を説明できる。
- 14)非言語コミュニケーションを説明できる。

評価方法: 授業中における演習実施中の態度、及び毎回提出するレポートなどを統合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習は授業参加が基本であるため、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。
授業前後に 関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。

オフィスアワー: 各教員のオフィスアワーに准ずる。講義前後の可能な時間(非常勤講師)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を理解する。	演習	全員
2	2)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」①】 “人”を理解する。	演習	全員
3	3)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」②】 専門家による「原因の理解(診断)」、人(クライアント)を理解するための面接を理解する。	演習	全員
4	4)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」③】 他者の“こころ”を理解する。	演習	全員
5	5)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」④】 自己の“こころ”を理解する。	演習	全員
6	6)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」⑤】 他者の“気持ち”を理解する。	演習	全員
7	7)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」⑥】 自己の“気持ち”を理解する。	演習	全員
8	8)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」⑦】 他者の“行動”を理解する。	演習	全員
9	9)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」⑧】 自己の“行動”を理解する。	演習	全員
10	10)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術①】 相談援助における面接の目的と特性を理解する。	演習	全員
11	11)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術②】 面接の基盤、インテーク面接の場面を理解する。	演習	全員
12	12)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術③】 面接における基本的応答技法を理解する。	演習	全員

13	13)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術④】 面接の展開を理解する。	演習	全員
14	14)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術⑤】 非言語コミュニケーションを理解する。	演習	全員
15	1)~14)	【授業のまとめと振り返り】 グループを評価し、前期演習を振り返る。	演習	全員

教科書： 講義時に配布するプリントなどを使用する。

参考書： 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: **相談援助演習Ⅱ**

担当者: 山崎 きよ子(福・福)、谷口 衛(非常勤講師)、川崎 順子(福・ス)、西田 美香(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 相談援助実践の価値・知識・技術を具体的な演習課題を通して修得する。
さまざまな事例を活用した相談援助について演習を通して修得する。
相談演習ビネット(事例)を通して、各相談援助についての課題を説明することができる。
接技術コミュニケーションを修得する。
※健康長寿と地域コミュニティ形成に向けての地域福祉力調査【木城町との連携調査事業】

- 到達目標: (SBOs)
- 1)演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を説明できる。
 - 2)地域福祉計画の策定に関する相談援助について説明できる。
 - 3)地域におけるサービス提供に関する相談援助について説明できる。
 - 4)地域におけるネットワークキングに関する相談援助について説明できる。
 - 5)地域における権利擁護活動に関する相談援助について説明できる。
 - 6)社会資源の把握、活用、調整、開発に関する相談援助について説明できる。
 - 7)住民参加と組織化活動に関する相談援助について説明できる。
 - 8)治療・環境・生活・ストレングスモデルに関する相談援助について説明できる。
 - 9)心理社会的・機能的アプローチに関する相談援助について説明できる。
 - 10)問題解決・危機介入・行動変容アプローチに関する相談援助について説明できる。
 - 11)エンパワメントアプローチに関する相談援助について説明し、実践できる。
 - 12)家族システム論に関する相談援助について説明し、実践できる。
 - 13)ケースマネジメントに関する相談援助について説明し、実践できる。
 - 14)ケアプラン・グループワークに関する相談援助について説明し、実践できる。

評価方法: 授業中における演習実施中の態度、及び毎回提出するレポートなどを統合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習は授業参加が基本であるため、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。
授業前後の4時間の予習復習時間を設けること

オフィスアワー: 各教員のオフィスアワーに准ずる。講義前後の可能な時間(非常勤講師)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を理解する。	演習	全員
2	2)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —地域を基盤とした相談援助演習①】 地域福祉計画の策定に関する相談援助について理解する。	演習	全員
3	3)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —地域を基盤とした相談援助演習②】 地域におけるサービス提供に関する相談援助について理解する。	演習	全員
4	4)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —地域を基盤とした相談援助演習③】 地域におけるネットワークキングに関する相談援助について理解する。	演習	全員
5	5)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —地域を基盤とした相談援助演習④】 地域における権利擁護活動に関する相談援助について理解する。	演習	全員
6	6)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —地域を基盤とした相談援助演習⑤】 社会資源の把握、活用、調整、開発に関する相談援助について理解する。	演習	全員
7	7)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —地域を基盤とした相談援助演習⑥】 住民参加と組織化活動に関する相談援助について理解する。	演習	全員
8	8)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —実践モデルやアプローチに関する相談援助演習①】 治療・環境・生活・ストレングスモデルに関する相談援助について理解する。	演習	全員
9	9)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —実践モデルやアプローチに関する相談援助演習②】 心理社会的・機能的アプローチに関する相談援助について理解する。	演習	全員

10	10)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —実践モデルやアプローチに関する相談援助演習③】 問題解決・危機介入・行動変容アプローチに関する相談援助について理解する。	演習	全員
11	11)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —実践モデルやアプローチに関する相談援助演習④】 エンパワメントアプローチに関する相談援助について理解する。《木城町連携事業》	演習	全員
12	12)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —実践モデルやアプローチに関する相談援助演習⑤】 家族システム論に関する相談援助について理解する。《木城町連携事業》	演習	全員
13	13)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —実践モデルやアプローチに関する相談援助演習⑥】 ケースマネジメントに関する相談援助について理解する。《木城町連携事業》	演習	全員
14	14)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —実践モデルやアプローチに関する相談援助演習⑦】 ケアプラン・グループワークに関する相談援助について理解する。《木城町連携事業》	演習	全員
15	1)~14)	【授業のまとめと振り返り】 グループを評価し後期演習を振り返る。	演習	全員

教科書： 講義時に配布するプリントなどを使用する。

参考書： 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: 相談援助演習Ⅲ

担当者: 山崎 きよ子(福・福)、川崎 順子(福・ス)、貫優美子

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科・

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 相談援助実践の価値・知識・技術を具体的な演習課題を通して修得する。さまざまな事例を活用した相談援助について演習を通して修得する。相談演習ビネット(事例)を通して、各相談援助演習の課題を説明することができる。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を説明できる。
 - 2)社会的排除に関する相談援助演習を説明できる①
 - 3)社会的排除に関する相談援助演習を説明できる②
 - 4)ミクロからマクロ・レベル実践に焦点を当てた相談援助演習を説明できる①
 - 5)ミクロからマクロ・レベル実践に焦点を当てた相談援助演習を説明できる②
 - 6)サービス評価に関する相談援助演習を説明できる①
 - 7)サービス評価に関する相談援助演習を説明できる②
 - 8)就労支援(障害者)に関する相談援助演習を説明できる。
 - 9)就労支援(母子)に関する相談援助演習を説明できる。
 - 10)病院から退院に関する相談援助演習を説明できる。
 - 11)家庭内暴力(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談援助演習を説明できる。
 - 12)虐待(高齢者)への相談援助演習を説明できる。
 - 13)虐待(児童)への相談援助演習を説明できる。
 - 14)学校でのいじめ問題に関する相談援助演習を説明できる。

評価方法: 授業中における演習実施中の態度、及び毎回提出するレポートなどを統合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習は授業参加が基本であるため、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。授業前後に 関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。

オフィスアワー: 各教員のオフィスアワーに準ずる。講義前後の可能な時間(非常勤講師)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を理解する。	演習	全員
2	2)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習①】 社会的排除に関する相談援助演習を理解する①	演習	全員
3	3)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習②】 社会的排除に関する相談援助演習を理解する②	演習	全員
4	4)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習③】 ミクロからマクロ・レベル実践に焦点を当てた相談援助演習を理解する①	演習	全員
5	5)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習④】 ミクロからマクロ・レベル実践に焦点を当てた相談援助演習を理解する②	演習	全員
6	6)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑤】 サービス評価に関する相談援助演習を理解する①	演習	全員
7	7)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑥】 サービス評価に関する相談援助演習を理解する②	演習	全員
8	8)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑦】 就労支援(障害者)に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
9	9)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑧】 就労支援(母子)に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
10	10)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習	演習	全員

		—社会問題を基盤とした相談援助演習⑨】 病院から退院に関する相談援助演習を理解する。		
11	11)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑩】 家庭内暴力(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
12	12)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑪】 虐待(高齢者)への相談援助演習を理解する。	演習	全員
13	13)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑫】 虐待(児童)への相談援助演習を理解する。	演習	全員
14	14)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑬】 学校でのいじめ問題に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
15	1)~14)	【授業のまとめと振り返り】 グループを評価し前期演習を振り返る。	演習	全員

教科書: 講義時に配布するプリントなどを使用する。

参考書: 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: 相談援助演習Ⅲ

担当者: 山崎 きよ子(福・福)、川崎 順子(福・ス)、貫優美子

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科・

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 相談援助実践の価値・知識・技術を具体的な演習課題を通して修得する。さまざまな事例を活用した相談援助について演習を通して修得する。相談演習ビネット(事例)を通して、各相談援助演習の課題を説明することができる。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を説明できる。
 - 2)社会的排除に関する相談援助演習を説明できる①
 - 3)社会的排除に関する相談援助演習を説明できる②
 - 4)ミクロからマクロ・レベル実践に焦点を当てた相談援助演習を説明できる①
 - 5)ミクロからマクロ・レベル実践に焦点を当てた相談援助演習を説明できる②
 - 6)サービス評価に関する相談援助演習を説明できる①
 - 7)サービス評価に関する相談援助演習を説明できる②
 - 8)就労支援(障害者)に関する相談援助演習を説明できる。
 - 9)就労支援(母子)に関する相談援助演習を説明できる。
 - 10)病院から退院に関する相談援助演習を説明できる。
 - 11)家庭内暴力(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談援助演習を説明できる。
 - 12)虐待(高齢者)への相談援助演習を説明できる。
 - 13)虐待(児童)への相談援助演習を説明できる。
 - 14)学校でのいじめ問題に関する相談援助演習を説明できる。

評価方法: 授業中における演習実施中の態度、及び毎回提出するレポートなどを統合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習は授業参加が基本であるため、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。授業前後に 関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。

オフィスアワー: 各教員のオフィスアワーに準ずる。講義前後の可能な時間(非常勤講師)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を理解する。	演習	全員
2	2)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習①】 社会的排除に関する相談援助演習を理解する①	演習	全員
3	3)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習②】 社会的排除に関する相談援助演習を理解する②	演習	全員
4	4)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習③】 ミクロからマクロ・レベル実践に焦点を当てた相談援助演習を理解する①	演習	全員
5	5)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習④】 ミクロからマクロ・レベル実践に焦点を当てた相談援助演習を理解する②	演習	全員
6	6)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑤】 サービス評価に関する相談援助演習を理解する①	演習	全員
7	7)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑥】 サービス評価に関する相談援助演習を理解する②	演習	全員
8	8)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑦】 就労支援(障害者)に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
9	9)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑧】 就労支援(母子)に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
10	10)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習	演習	全員

		—社会問題を基盤とした相談援助演習⑨】 病院から退院に関する相談援助演習を理解する。		
11	11)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑩】 家庭内暴力(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
12	12)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑪】 虐待(高齢者)への相談援助演習を理解する。	演習	全員
13	13)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑫】 虐待(児童)への相談援助演習を理解する。	演習	全員
14	14)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑬】 学校でのいじめ問題に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
15	1)~14)	【授業のまとめと振り返り】 グループを評価し前期演習を振り返る。	演習	全員

教科書: 講義時に配布するプリントなどを使用する。

参考書: 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: 相談援助演習Ⅲ

担当者: 山崎 きよ子(福・福)、川崎 順子(福・ス)、貫優美子

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科・

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 相談援助実践の価値・知識・技術を具体的な演習課題を通して修得する。さまざまな事例を活用した相談援助について演習を通して修得する。相談演習ビネット(事例)を通して、各相談援助演習の課題を説明することができる。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を説明できる。
 - 2)社会的排除に関する相談援助演習を説明できる①
 - 3)社会的排除に関する相談援助演習を説明できる②
 - 4)ミクロからマクロ・レベル実践に焦点を当てた相談援助演習を説明できる①
 - 5)ミクロからマクロ・レベル実践に焦点を当てた相談援助演習を説明できる②
 - 6)サービス評価に関する相談援助演習を説明できる①
 - 7)サービス評価に関する相談援助演習を説明できる②
 - 8)就労支援(障害者)に関する相談援助演習を説明できる。
 - 9)就労支援(母子)に関する相談援助演習を説明できる。
 - 10)病院から退院に関する相談援助演習を説明できる。
 - 11)家庭内暴力(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談援助演習を説明できる。
 - 12)虐待(高齢者)への相談援助演習を説明できる。
 - 13)虐待(児童)への相談援助演習を説明できる。
 - 14)学校でのいじめ問題に関する相談援助演習を説明できる。

評価方法: 授業中における演習実施中の態度、及び毎回提出するレポートなどを統合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習は授業参加が基本であるため、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。授業前後に 関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。

オフィスアワー: 各教員のオフィスアワーに準ずる。講義前後の可能な時間(非常勤講師)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を理解する。	演習	全員
2	2)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習①】 社会的排除に関する相談援助演習を理解する①	演習	全員
3	3)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習②】 社会的排除に関する相談援助演習を理解する②	演習	全員
4	4)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習③】 ミクロからマクロ・レベル実践に焦点を当てた相談援助演習を理解する①	演習	全員
5	5)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習④】 ミクロからマクロ・レベル実践に焦点を当てた相談援助演習を理解する②	演習	全員
6	6)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑤】 サービス評価に関する相談援助演習を理解する①	演習	全員
7	7)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑥】 サービス評価に関する相談援助演習を理解する②	演習	全員
8	8)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑦】 就労支援(障害者)に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
9	9)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑧】 就労支援(母子)に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
10	10)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習	演習	全員

		—社会問題を基盤とした相談援助演習⑨】 病院から退院に関する相談援助演習を理解する。		
11	11)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑩】 家庭内暴力(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
12	12)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑪】 虐待(高齢者)への相談援助演習を理解する。	演習	全員
13	13)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑫】 虐待(児童)への相談援助演習を理解する。	演習	全員
14	14)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑬】 学校でのいじめ問題に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
15	1)~14)	【授業のまとめと振り返り】 グループを評価し前期演習を振り返る。	演習	全員

教科書: 講義時に配布するプリントなどを使用する。

参考書: 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: 相談援助演習Ⅲ

担当者: 山崎 きよ子(福・福)、川崎 順子(福・ス)、貫優美子

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科・

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 相談援助実践の価値・知識・技術を具体的な演習課題を通して修得する。さまざまな事例を活用した相談援助について演習を通して修得する。相談演習ビネット(事例)を通して、各相談援助演習の課題を説明することができる。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を説明できる。
 - 2)社会的排除に関する相談援助演習を説明できる①
 - 3)社会的排除に関する相談援助演習を説明できる②
 - 4)ミクロからマクロ・レベル実践に焦点を当てた相談援助演習を説明できる①
 - 5)ミクロからマクロ・レベル実践に焦点を当てた相談援助演習を説明できる②
 - 6)サービス評価に関する相談援助演習を説明できる①
 - 7)サービス評価に関する相談援助演習を説明できる②
 - 8)就労支援(障害者)に関する相談援助演習を説明できる。
 - 9)就労支援(母子)に関する相談援助演習を説明できる。
 - 10)病院から退院に関する相談援助演習を説明できる。
 - 11)家庭内暴力(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談援助演習を説明できる。
 - 12)虐待(高齢者)への相談援助演習を説明できる。
 - 13)虐待(児童)への相談援助演習を説明できる。
 - 14)学校でのいじめ問題に関する相談援助演習を説明できる。

評価方法: 授業中における演習実施中の態度、及び毎回提出するレポートなどを統合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習は授業参加が基本であるため、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。授業前後に 関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。

オフィスアワー: 各教員のオフィスアワーに準ずる。講義前後の可能な時間(非常勤講師)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を理解する。	演習	全員
2	2)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習①】 社会的排除に関する相談援助演習を理解する①	演習	全員
3	3)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習②】 社会的排除に関する相談援助演習を理解する②	演習	全員
4	4)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習③】 ミクロからマクロ・レベル実践に焦点を当てた相談援助演習を理解する①	演習	全員
5	5)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習④】 ミクロからマクロ・レベル実践に焦点を当てた相談援助演習を理解する②	演習	全員
6	6)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑤】 サービス評価に関する相談援助演習を理解する①	演習	全員
7	7)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑥】 サービス評価に関する相談援助演習を理解する②	演習	全員
8	8)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑦】 就労支援(障害者)に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
9	9)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑧】 就労支援(母子)に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
10	10)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習	演習	全員

		—社会問題を基盤とした相談援助演習⑨】 病院から退院に関する相談援助演習を理解する。		
11	11)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑩】 家庭内暴力(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
12	12)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑪】 虐待(高齢者)への相談援助演習を理解する。	演習	全員
13	13)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑫】 虐待(児童)への相談援助演習を理解する。	演習	全員
14	14)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑬】 学校でのいじめ問題に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
15	1)~14)	【授業のまとめと振り返り】 グループを評価し前期演習を振り返る。	演習	全員

教科書: 講義時に配布するプリントなどを使用する。

参考書: 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: 相談援助演習Ⅳ

担当者: 山崎 きよ子(福・福)、川崎 順子(福・ス)、鹿嶋 隆志(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉専攻、スポーツ健康福祉学科、子ども保育福祉学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 演習Ⅰ～演習Ⅳ並びに社会福祉援助技術現場実習を通して得た社会福祉援助技術をさらに深める。特に社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術についての実践能力を高め、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる。

到達目標: 1.レジデンシャル・ソーシャルワークを実践できる。
(SBOs) 2.フィールド・ソーシャルワークの展開について実践

評価方法: 演習理解度を評価するために試験を行う。
演習参加の自発性、積極性を評価基準に加味する。

準備学習・履修上の注意等: 授業前後に 関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。

オフィスアワー: 各教員のオフィスアワーに準ずる。講義前後の可能な時間(非常勤講師)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	ソーシャルワークの基本的機能	演習	全員
2	1)	レジデンシャル・ソーシャルワークの特徴と機能	演習	全員
3	2)	フィールド・ソーシャルワークの特徴と機能	演習	全員
4	1)	レジデンシャル・ソーシャルワークの具体的実践内容1	演習	全員
5	1)	レジデンシャル・ソーシャルワークの具体的実践内容2	演習	全員
6	1)	レジデンシャル・ソーシャルワークの具体的実践内容3	演習	全員
7	1)	レジデンシャル・ソーシャルワークの具体的実践内容4	演習	全員
8	1)	レジデンシャル・ソーシャルワークの具体的実践内容5	演習	全員
9	2)	フィールド・ソーシャルワークの具体的実践内容1	演習	全員
10	2)	フィールド・ソーシャルワークの具体的実践内容2	演習	全員
11	2)	フィールド・ソーシャルワークの具体的実践内容3	演習	全員
12	2)	フィールド・ソーシャルワークの具体的実践内容4	演習	全員
13	2)	フィールド・ソーシャルワークの具体的実践内容5	演習	全員
14	1)2)	まとめ	演習	全員
15	1)2)	まとめ	演習	全員

教科書: 講義時に配布するプリントなどを使用する。

参考書: 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: 相談援助実習指導 I**担当者:** 秋葉 敏夫(福・福)、山崎 きよ子(福・福)、山崎睦男(福・子)三宮基裕(福・福)、川崎 順子(福・ス)、|貫 優美子(福・福)清水径子(福・福)日田剛(福・福)**配当学科:** 臨床福祉学科臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科**必修・選択:** 選択 **単位数:** 1 **時間数:** 30 **開講期:** 後期 **授業形態:** 演習**授業概要:** 相談援助実習指導 I では、相談援助実習の意義を明確にし、集団・個別指導を通して、実習分野における実習内容や利用者の理解を深める。また、実習の基本的態度やマナーをはじめ相談援助の専門職として求められる資質、技術、倫理、自己に求められる課題などを明確にし、総合的に対応できる能力を習得する。**到達目標:** (SBOs)
1)相談援助実習の意義について説明できる。
2)実習を行う実習分野の役割・機能が説明できる。
3)実習分野の選定動機が説明できる。
4)実習に向けての事前学習・事前準備ができる。
5)実習先の法的根拠や業務内容が説明できる。
6)実習に必要なとされる基本的態度を示すことができる。
7)実習体験を行い、具体的な実習課題を明確に説明できる。**評価方法:** 相談援助実習指導 I で配布した実習ファイルに掲載している評価表に基づいて評価する。**準備学習・履修上の注意等:** 履修に関する関連科目の修得等の条件を満たすために、家庭学習を欠かさないこと。
実習に向けての基本的態度を備え、実習手続きに必要な書類の提出期限を厳守すること。**オフィスアワー:** 実習センター 9:00~17:00**授業計画**

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 実習の概要、年間授業スケジュール・履修条件等を踏まえた実習意義の明確化	演習	全員
2	2)	【実習先分野の理解1】 本学が指定する実習施設・機関の状況と実習先の役割や機能	演習	全員
3	2)3)4)	【実習先分野の理解2】 実習施設・機関の実習指導者からの講話による実習先の状況理解と実習先選定のための事前準備	演習	全員 外部講師
4	2)3)4)	【実習先分野の理解3】 実習施設・機関の実習指導者からの講話による実習先の状況理解と実習先選定のための事前準備	演習	全員・外部 講師
5	2)3)4)	【実習先分野の理解4】 実習施設・機関の実習指導者からの講話による実習先の状況理解と実習先選定のための事前準備	演習	全員
6	2)3)4)	【実習先分野の理解5】 先輩からの実習体験発表による実習の状況・事前学習の必要性の理解、実習先選定のための事前準備	演習	全員
7	2)3)4)	【実習先分野の理解6】 先輩からの実習体験発表による実習の状況・事前学習の必要性の理解、実習先選定のための事前準備	演習	全員
8	3)	【実習先分野・施設の選定】 実習希望理由の明確化による実習分野の選定	演習	全員
9	3)4)	【実習先分野・施設の選定】 実習先の調整と実習分野における実習プログラムの内容	演習	全員
10	4)5)	【実習分野別における実習先の理解】 実習先の法的根拠や業務内容	演習	全員
11	4)5)	【実習分野別における実習先の理解】 実習先の業務内容や利用者の理解	演習	全員
12	4)5)	【実習分野別における実習先の理解】 実習先の業務内容や利用者の理解、事前学習の準備	演習	全員
13	4)6)	【社会人マナー講座】 外部講師による実習に求められる基本的態度や社会人としてのマナーのあり方	演習	全員・外部 講師

14	4)6)	【実習希望先への訪問・体験学習の方法の理解】 実習希望先への挨拶訪問と体験学習の方法	演習	全員
15	4)6)7)	【実習希望先への挨拶訪問・体験学習】 実習希望先への挨拶訪問と体験学習、本実習に向けての自己課題の明確化	演習	全員

教科書： 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: 相談援助実習指導Ⅱ**担当者:** 秋葉 敏夫(福・福)、山崎睦夫(福・子)、山崎 きよ子(福・福)、三宮基裕(福・福)、川崎 順子(福・ス)、|貫 優美子(福・福)、清水径子(福・福)、日田剛(福・福)**配当学科:** 臨床福祉学科臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科**必修・選択:** 選択 **単位数:** 1 **時間数:** 30 **開講期:** 前期 **授業形態:** 演習**授業概要:** 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱでは、社会福祉援助技術現場実習の意義を明確にし、集団・個別指導を通じた分野別指導により実習先の業務内容や相談援助の場面を具体的に理解し、実習課題を設定するとともに、実習先で求められる相談援助の知識や技術を習得し、実習の事前準備ができる。

- 到達目標:**
- (SBOs)
-
- 1)実習の事前準備に必要な心構えができる。
-
- 2)実習先の概要や法的根拠・役割・機能が説明できる。
-
- 3)実習先の業務内容や利用者の特性が説明できる。
-
- 4)専門職に必要なとされる知識・技術について説明できる。
-
- 5)実習目標・課題を明確に設定することができる。

評価方法: 相談援助実習指導Ⅰで配布した実習ファイルに掲載している評価表に基づいて評価する。**準備学習・履修上の注意等:** 1回の授業につき、最低1時間の準備学習が必要である。
また実習に必要な法的根拠、用語を家庭で学習をしっかりと学習すること。
履修に関する関連科目の修得等の条件を満たしておくこと。実習に向けての基本的態度を備え、実習手続きに必要な書類の提出期限を厳守すること。**オフィスアワー:** 実習センター 9:00~17:00**授業計画**

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 年間授業スケジュールに基づく実習の事前準備の必要性の理解と実習に向けての心構え	演習	全員
2	1)2)	【分野別専門援助技術の理解1】 実習先の法的根拠、実習先の役割や機能	演習	全員
3	1)2)3)	【分野別専門援助技術の理解2】 実習先の事業内容や専門職の業務内容の理解、実習課題設定の準備。 分野によっては、実習先指導者から具体的な業務内容などについての講義。	演習	全員
4	1)2)3)	【分野別専門援助技術の理解3】 実習先の施設や機関の現状の理解、援助に必要な知識・技術の必要性。 分野によっては、実習先指導者から実習先の現状についての講義。	演習	全員
5	1)2)3)	【分野別専門援助技術の理解4】 実習先の利用者の特性や状況について。分野によっては、実習指導者・当事者からの講話。	演習	全員(外部講師含)
6	3)	【分野別専門援助技術の理解5】 実習先の利用者の特性や状況について。分野によっては、実習指導者・当事者からの講話。	演習	全員(外部講師含む)
7	3)4)	【分野別専門援助技術の理解6】 実習先の利用者とのコミュニケーション方法や支援計画作成方法	演習	全員
8	3)4)	【分野別専門援助技術の理解7】 実習先における相談援助の展開過程における人間理解や援助関係の形成方法	演習	全員
9	4)5)	【分野別専門援助技術の理解8】 実習先における実習目標や具体的課題の3段階設定	演習	全員(外部講師含む)
10	1)4)	【感染症の理解と対応方法】 実習に伴うリスクマネジメントの一つとしての感染対策の具体的方法	演習	全員
11	4)5)	【分野別専門援助技術の理解9】 実習先における実習目標や実習課題の設定、実習課題達成のための事前学習	演習	全員
12	4)5)	【実習分野別における専門援助技術の理解10】 実習日誌の記録方法や実習ファイルの活用方法	演習	全員
13	1)4)5)	【実習分野別における専門援助技術の理解11】	演習	全員

個別面談の実施。実習課題を達成するための具体的な実習内容・プログラムの確認

14	1)4)5)	【実習分野別における専門援助技術の理解12】 個別面談の実施。実習課題を達成するための具体的な実習内容・プログラムの確認	演習	全員
15	1)4)5)	【実習直前オリエンテーション】 本実習に向けての最終確認	演習	全員

教科書： 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: 相談援助実習指導Ⅲ**担当者:** 秋葉 敏夫(福・福)、山崎睦男(福・子)、山崎 きよ子(福・福)、三宮基裕(福・福)川崎 順子(福・ス)、|貫 優美子(福・福)、清水径子(福・福)日田剛(福・福)**配当学科:** 臨床福祉学科臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科**必修・選択:** 選択 **単位数:** 1 **時間数:** 30 **開講期:** 後期 **授業形態:** 演習**授業概要:** 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲでは、社会福祉援助技術現場実習における具体的な援助活動や体験を振り返り、事前に設定した実習課題の達成状況や個別指導による評価を行うことにより、自己課題を見出していく。具体的には、社会福祉士として求められるコミュニケーションや円滑な人間関係の形成、さらに利用者やその関係者への権利擁護や支援のあり方、多職種との連携、社会資源の活用など必要な専門知識・技術及び関連知識の理解を深めていき、総合的に対応できる能力を習得する。**到達目標:** (SBOs) 1)実習の振り返りを行い、実習課題の達成状況を整理することができる。
2)援助関係の形成状況を振り返り、自己課題が明確に説明できる。
3)実習を踏まえて、専門的知識・技術を体系化して説明できる。
4)実習の総括を行い、報告書にまとめることができる。
5)実習状況の相互発表、指導者からの評価を受け、自己評価できる。**評価方法:** 相談援助実習指導Ⅰで配布した実習ファイルに掲載している評価表に基づいて評価する。**準備学習・履修上の注意等:** 履修に関する関連科目の修得等の条件を満たすために、事前学習を最低1時間は実施すること。**オフィスアワー:** 実習センター 9:00～17:00**授業計画**

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 授業スケジュールに基づく実習事後の振り返りの必要性の理解、実習のまとめに向けての心構え	演習	全員
2	1)2)	【分野別実習事後振り返り1】 実習の総体的な振り返り、SGDや成果発表などによる実習課題の達成状況の確認	演習	全員
3	1)2)	【分野別実習事後振り返り2】 実習の総体的な振り返り、SGDや成果発表などによる実習課題の達成状況の確認	演習	全員
4	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り3】 実習における具体的な援助関係の形成状況の振り返り、SGDや成果発表による自己課題の明確化	演習	全員
5	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り4】 実習における具体的な援助関係の形成状況の振り返り、SGDや成果発表による自己課題の明確化。	演習	全員
6	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り5】 実習における専門的知識や技術の活用状況の振り返り、SGDや成果発表などによる自己課題の明確化	演習	全員 外部講師
7	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り6】 実習における専門的知識や技術の活用状況の振り返り、SGDや成果発表などによる自己課題の明確化	演習	全員
8	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り7】 実習における専門的知識や技術の活用状況の振り返り、SGDや成果発表などによる自己課題の明確化	演習	全員
9	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り8】 実習における専門的知識や技術の活用状況の振り返り、SGDや成果発表などによる自己課題の明確化	演習	全員 外部講師
10	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り9】 実習先からの実習評価表を踏まえ指導教員との個別面談の実施。実習の自己課題や到達状況の整理。	演習	全員
11	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り10】 実習先からの実習評価表を踏まえ指導教員との個別面談の実施。実習の自己課題や到達状況の整理。	演習	全員
12	4)	【分野別実習事後振り返り11】	演習	全員

実習の総合的なまとめ、実習報告書の作成

13	4)	【分野別実習事後振り返り12】 実習の総合的なまとめ、実習報告書の作成	演習	全員
14	5)	【実習報告全体会1】 実習報告書によるまとめ、他分野の実習状況について代表学生から実習報告発表。実習指導者・教員からの講評	演習	全員
15	5)	【実習報告全体会2】 実習報告書によるまとめ、他分野の実習状況について代表学生から実習報告発表。実習指導者・教員からの講評。実習の総括	演習	全員

教科書： 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: 相談援助実習

担当者: 秋葉 敏夫(福・福)、山崎 きよ子(福・福)、三宮基裕(福・福)山崎睦男(福・子)、川崎 順子(福・ス)、貫 優美子(福・福)、清水 径子(福・福)日田剛(福・福)、

配当学科: 臨床福祉学科臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科

必修・選択: 選択 単位数: 4 時間数: 180 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 社会福祉援助技術現場実習では、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際的に理解し、実践的な技術などを体得する。社会福祉士として求められる資質、技術、倫理、自己に求められる課題を明確にしなが、総合的に対応できる能力を習得する。利用者や関係者の権利擁護や支援のあり方、多職種との連携、社会資源の活用など必要な専門知識・技術及び関連知識の理解を深めていき、具体的内容を実践的に理解する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)社会人としての基本的態度を習得する。
 - 2)実習課題を意識しながら、積極的・主体的に実習を行うことができる。
 - 3)実習記録等提出物は、期限内に的確に提出できる。
 - 4)職場実習段階における実習先の概要を説明できる。
 - 5)職種実習として実習先に所属する多様な職種の業務内容を説明できる。
 - 6)ソーシャルワーク実習として、多様な専門知識・技術のあり方について説明し、実践することができる。

評価方法: 相談援助実習指導 I で配布した実習ファイルに掲載している評価表に基づいて評価する。

準備学習・履修上の注意等: 履修に関する関連科目の修得等の条件を満たしておくこと。実習事前学習に積極的に取り組み、実習課題を明確に設定しておくこと。実習期間は実習に専念すること。

オフィスアワー: 実習センター 9:00~18:30

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3) 4)5)6)	【実習の実施】 本学が指定した実習先において、23日間かつ180時間以上の実習を行う。 実習期間は、本学の指定した期間を原則とするが、実習先との協議により変更して行うこともある。 実習期間には、毎日実習記録を行い、実習先に提出する。	実習	全員
2	1)2)3) 4)5)6)	具体的な実習プログラムは、自己の実習課題を踏まえ、実習先指導者との調整により決定する。 日常的に実習指導者からの指導を受けるとともに、大学の実習担当教員から、基本的に1週間に1回の指導を受ける。実習担当教員からの指導は、実習先における巡回指導と帰校日設定による指導の2通りで行う。	実習	全員
3	4)5)6)	実習では、次に掲げる事項が実施できるように目標を掲げ実習に取り組む。 [I 実習態度・取組姿勢] 1. 社会人としての態度・マナー(挨拶・礼儀等)が身についている。 2. 出勤時間や注意事項等の業務遂行の規則を守ることができる。	実習	全員
4	4)5)6)	3. 実習指導者の指導・助言を積極的に求め、主体的に学習を進めることができる。 4. 実習に関わった職員や関係者と強調することができる。 5. 実習記録やその他の書類等を的確に作成し、期限までに提出することができる。	実習	全員
5	4)5)6)	[II ソーシャルワーク実習] 1. 実習機関・施設のある地域の特性(人口動態・文化・生活状況等)を理解している。 2. 実習機関・施設が地域に果たしている機能や役割を理解している。 3. 実習機関・視悦の法的根拠や運営理念、業務内容を理解している。	実習	全員
6	4)5)6)	4. 実習機関・施設における他職種の役割と業務内容を理解している。 5. 社会福祉士の役割と業務内容を理解している。 6. 専門職としての価値・倫理を理解している。 7. チームアプローチのあり方、関係機関との連携のあり方を理解している。	実習	全員
7	4)5)6)	8. 利用者や家族、関係者と関わることができる。(人間関係の形成・コミュニケーション能力) 9. 利用者の実態、ニーズの把握方法を理解している。 10. アセスメントの方法を理解している。(情報収集・面接技術・課題整理等) 11. 支援計画の作成ができ、支援プロセスを理解している。	実習	全員
8	4)5)6)	12. 支援に必要な社会資源(フォーマル・インフォーマル)について理解している。 13. ケア会議や各種会議の運営方法(企画・調整・実施)を理解している。 14. 行事や事業計画・調査等の企画・立案・実施ができる。	実習	全員

15. 地域への働きかけや組織化の方法を理解している。

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **時事福祉学**

担当者: 西田 美香(福・福)・清水 径子(福・福)・山崎 きよ子(福・福)・川崎 順子(福・ス)山崎睦夫

配当学科: 臨床福祉専攻・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 社会福祉法制度は、毎年のように変更され、それにしたがって内容も変更される。最新の制度を理解することは、現代社会の中でソーシャルワークに携わる専門職には、必要不可欠である。本講義は最新の法制度の理解、及びサービスに関する理解・現代社会と福祉について理解し、それを社会福祉福祉士として実践できるようになることを学ぶ。

到達目標: (SBOs) 1)社会福祉士事業として必要な人体の構造と機能及び疾病及び医療・保健サービスについて説明できる。
2)社会福祉士事業として必要な心理・社会学理論とその応用をもとにした支援ができる
3)現代社会と福祉について説明できる。
4)社会保障、福祉行政、貧困者への支援及び権利擁護について説明できる。
5)社会福祉の相談援助力について説明し、実践できる。
6)高齢、障害、児童、その他福祉サービスの必要な対象者に対して必要な知識を持って支援できる。
7)模擬試験結果を振り返り自分の弱点を理解できる。
8)グループディスカッションによって人の学習方法を学ぶ。

評価方法: 前期の定期試験・模擬試験・授業内小テストにて評価する。

準備学習・履修上の注意等: 社会福祉、精神保健福祉士、国家試験受験を希望する学生
授業前後に 関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。

オフィスアワー: 各教員のオフィスアワーに準ずる

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~8)	【時事福祉学オリエンテーション】 時事福祉学を開講するにあたってのオリエンテーション、目標の説明	講義	全員
2	1)~6)	【模擬試験①②】	講義	全員
3	7)8)	【全体授業】	講義	全員
4	7)8)	【個別面談】	講義	全員
5	1)	【人体・医療サービス】	講義	全員
6	2)	【模擬試験①②】	講義	全員
7	7)8)	【全体授業】	講義	全員
8	4)	【社会保障・福祉と行政】	講義	全員
9	4)	【貧困・権利擁護】	講義	全員
10	5)	【模擬試験①②】	講義	全員
11	7)8)	【全体授業】	講義	全員
12	6)	【分野別クライアントの状況】	講義	全員
13	1)~6)	【分野別クライアントの状況】	講義	全員
14	1)~6)	【模擬試験①②】	講義	全員

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 認知症の理解 I

担当者: 稲田 弘子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 我が国における認知症ケアは、パーソンセンタードケアつまりその人らしさを大切にケアの在り方が主になっている。認知症高齢者がその人らしく、地域や施設で生活できるよう支援することのできる介護福祉士となるために、認知症に関する基礎的知識や、認知症の特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 認知症の基本的な知識について説明できる。
2) 認知症に伴うこころの変化について説明できる。
3) 認知症のケアのあり方について説明できる。

評価方法: 学期末の単位認定試験70%と学習への取り組み姿勢(授業態度、レポート内容、出欠遅刻)30%で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。高等学校教諭1種免許状(福祉)を希望する場合は必修。毎授業ごとにテキストや配布するプリントをよみかえし、1回の授業につき120分をめぐりに自分で復習し、まとめること。定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。

オフィスアワー: 時間割確定後、研究室前に提示。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション。認知症を取り巻く社会的状況について	講義	稲田
2	1)	認知症の定義について(介護保険法、ICD-10)	講義	稲田
3	1)	認知症の原因となる主な病気について	講義	稲田
4	1)	認知症の中核症状とBPSDについて	講義	稲田
5	1)	介護の基本について(竹内理論)	講義	稲田
6	2)	認知症高齢者本人の心情や心理について(ビデオ「遠い日の架け橋」)	講義	稲田
7	2)	認知症高齢者本人の心情や心理について	講義	稲田
8	2)	認知症高齢者本人の内的世界について	講義	稲田
9	2)	認知症高齢者本人の内的世界について(クリスティンブライデン氏の手記より)	講義	稲田
10	3)	認知症ケアの原理・原則について(9の法則)	講義	稲田
11	3)	認知症ケアの実際について(環境を変えない GH、小規模多機能等)	講義・GW	稲田
12	3)	認知症ケアの実際について(ビデオ「ぼけと向き合う日々」)	講義・GW	稲田
13	3)	認知症ケアの実際について(ビデオ「ぼけと向き合う日々」)	講義・GW	稲田
14	3)	家族のたどる心理ステップについて	講義	稲田
15	3)	総括「いつだってこころは生きている」他	講義	稲田

教科書: 改訂・認知症ケアの基礎(日本認知症ケア学会 編) 株式会社 ワールドプランニング【978-4-948742-90-1】

参考書: 使用しない。(必要時プリントを配布する)

科目名: **認知症の理解 I**

担当者: 稲田 弘子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 我が国における認知症ケアは、パーソンセンタードケアつまりその人らしさを大切にケアの在り方が主になっている。認知症高齢者がその人らしく、地域や施設で生活できるよう支援することのできる介護福祉士となるために、認知症に関する基礎的知識や、認知症の特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 認知症の基本的な知識について説明できる。
2) 認知症に伴うこころの変化について説明できる。
3) 認知症のケアのあり方について説明できる。

評価方法: 学期末の単位認定試験80%と学習への取り組み姿勢(授業態度、レポート内容、出欠遅刻)20%で総括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。高等学校教諭1種免許状(福祉)を希望する場合は必修。毎授業ごとにテキストや配布するプリントをよみかえし、1回の授業につき120分をめぐりに自分で復習し、まとめること。
定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。

オフィスアワー: 時間割確定後、研究室前に提示。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション。認知症を取り巻く社会的状況について	講義	稲田
2	1)	認知症の定義について(介護保険法、ICD-10)	講義	稲田
3	1)	認知症の原因となる主な病気について	講義	稲田
4	1)	認知症の中核症状とBPSDについて	講義	稲田
5	1)	介護の基本について(竹内理論)	講義	稲田
6	2)	認知症高齢者本人の心情や心理について(ビデオ「遠い日の架け橋」)	講義	稲田
7	2)	認知症高齢者本人の心情や心理について	講義	稲田
8	2)	認知症高齢者本人の内的世界について	講義	稲田
9	2)	認知症高齢者本人の内的世界について(クリスティンブライデン氏の手記より)	講義	稲田
10	3)	認知症ケアの原理・原則について(9の法則)	講義	稲田
11	3)	認知症ケアの実際について(環境を変えない GH、小規模多機能等)	講義・GW	稲田
12	3)	認知症ケアの実際について(ビデオ「ぼけと向き合う日々」)	講義・GW	稲田
13	3)	認知症ケアの実際について(ビデオ「ぼけと向き合う日々」)	講義・GW	稲田
14	3)	家族のたどる心理ステップについて	講義	稲田
15	3)	総括「いつだってこころは生きている」他	講義	稲田

教科書: 改訂・認知症ケアの基礎(日本認知症ケア学会 編) 株式会社 ワールドプランニング【978-4-948742-90-1】

参考書: 使用しない。(必要時プリントを配布する)

科目名: **認知症の理解Ⅱ**

担当者: 稲田 弘子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(3年) スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 我が国における認知症ケアは、パーソンセンタードケアつまりその人らしさを大切にケアの在り方が主になっている。認知症高齢者がその人らしく、地域や施設で生活できるよう支援することのできる介護福祉士となるために、認知症に関する基礎的知識やケアの在り方をさらに深め、認知症ケアの課題を理解し、地域全体でささえることのできる介護の視点を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)認知症についての基礎知識について説明できる。
2)認知症の人のケアのありかたについて説明できる。
3)若年性認知症の理解と支援について説明できる。
4)認知症予防について説明できる。

評価方法: 学期末の単位認定テスト80%と学習への取り組み状況(授業態度、レポート内容、出欠遅刻状況)20%で総合的に評価する。
9回目に、中間試験を実施する。

準備学習・履修上の注意等: 「認知症の理解Ⅰ」を履修していること。介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。
毎授業ごとにテキストや配布するプリントをよみかえし、1回の授業につき120分をめぐりに自分で復習し、まとめること。
定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。

オフィスアワー: 時間割確定後、研究室前に提示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	「認知症の理解Ⅰ」の復習	講義	稲田
2	1)	脳神経系、記憶について	講義	稲田
3	1)	アルツハイマー型認知症について① 病態	講義	稲田
4	1)	アルツハイマー型認知症について② 薬 検査	講義	稲田
5	1)	レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症について	講義	稲田
6	1)	脳血管性認知症、生常圧水頭症、慢性硬膜下血腫について	講義	稲田
7	2)	認知症の歴史 DVD「きのこエスポアール病院の30年」	講義	稲田
8	2)	認知症の歴史から認知症ケア変遷を考える	講義	稲田
9	2)	パーソンセンタードケアについて	講義	稲田
10	2)	バリデーション,ユマニチュードについて	講義	稲田
11	2)	高齢者虐待、身体拘束について①	講義	稲田
12	2)	高齢者虐待、身体拘束について②	講義	稲田
13	3)	若年性認知症について	講義	稲田
14	3)	若年性認知症の支援のあり方について	講義	稲田
15	4)	MCI,認知症予防について	講義	稲田

教科書: 改訂・認知症ケアの基礎(日本認知症ケア学会 編) 株式会社 ワールドプランニング【978-4-948742-90-1】
「認知症の理解Ⅰ」で使用している。

参考書: 使用しない。(必要時プリントを配布する)

科目名: **スクールソーシャルワーク論**

担当者: 横山 裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)、臨床心理専攻(3年)、スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: スクールソーシャルワーク論では、福祉専門職として学校におけるさまざまな福祉的課題の解決にあたるスクールソーシャルワークについて学ぶ。スクールソーシャルワークの歴史、理論、プロセスを学び、問題解決において連携、協働するさまざまな社会資源について理解する。

到達目標: 1)スクールソーシャルワークの概要を理解する。
(SBOs) 2)学校現場での支援の方法を理解し、説明することができる。
3)連携協働する社会資源について理解する。
4)学んだ知識を支援の実践に活用し問題解決への具体的なプランを立案できる。

評価方法: 講義内での指導を含めた講義への取り組み60%、課題提出40%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 可能であれば学校現場に出向いてスクールソーシャルワーク実践を体験する。その際は、福祉専門職を志す人間として恥ずかしくない立ち居振る舞いが求められる。

オフィスアワー: 研究室前に掲示。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	スクールソーシャルワークの概要	講義	横山
2	1)	スクールソーシャルワークの歴史	講義	横山
3	1)2)	日本におけるスクールソーシャルワークの歴史	講義	横山
4	1)2)	学校における福祉的問題の現状	講義	横山
5	2)3)4)	組織としての学校と職務分掌における生徒指導	講義	横山
6	2)3)4)	関連する児童福祉の体制	講義	横山
7	2)3)4)	問題行動と不登校への関わり方	講義	横山
8	2)3)4)	事例検討1	講義	横山
9	2)3)4)	事例検討2	講義	横山
10	2)3)4)	事例検討3	講義	横山
11	2)3)4)	事例検討4	講義	横山
12	2)3)4)	事例検討5	講義	横山
13	2)3)4)	スクールソーシャルワーク実践見学1(もしくは事例検討6)	講義	横山
14	2)3)4)	スクールソーシャルワーク実践見学2(もしくは事例検討7)	講義	横山
15	2)3)4)	総括	講義	横山

教科書: 使用しません。

参考書: スクールソーシャルワーカー活動実践事例集http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1246334.htm

科目名: **スクールソーシャルワーク演習**

担当者: 横山 裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)、臨床心理専攻(3年)、スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: スクールソーシャルワーク演習では、福祉専門職として学校におけるさまざまな福祉的課題の解決にあたるスクールソーシャルワークについて演習を通じて学ぶ。スクールソーシャルワーク論で学んだ援助過程をロールプレイを通じて確認し、実践する力を身につける。

到達目標: (SBOs)
1)スクールソーシャルワークの意義を確認する。
2)学校現場での支援の方法を理解し、実践することができる。
3)連携協働する社会資源について理解し、連携する力を身につける。
4)学んだ知識を支援の実践に活用し問題解決への具体的なプランを立案し、援助の見える化ができる。

評価方法: 演習内での指導を含めた演習への取り組み50%、学外ボランティア活動への評価50%

準備学習・履修上の注意等: 自治体が募集している学校ボランティアに参加して、学校現場に出向いてスクールソーシャルワーク実践を体験する。その際は、福祉専門職を志す人間として恥ずかしくない立ち居振る舞いが求められる。

オフィスアワー: 研究室前に掲示。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	スクールソーシャルワークの価値の理解と実践	講義	横山
2	1)	スクールソーシャルワーカーの活動の意義理解と実践	演習	横山
3	1)2)	日本におけるスクールソーシャルワーク背景を踏まえた活動理解	演習	横山
4	1)2)	スクールソーシャルワークの諸業務の理解と実践	演習	横山
5	2)3)4)	ケース記録の意義と方法	演習	横山
6	2)3)4)	学内連携とスーパービジョンの機能と実際	演習	横山
7	2)3)4)	教師による生徒指導や学習指導におけるスクールソーシャルワーカーの関わり	演習	横山
8	2)3)4)	演習1(児童虐待事案)	演習	横山
9	2)3)4)	演習2(貧困過程事案)	演習	横山
10	2)3)4)	演習3(いじめ問題事案)	演習	横山
11	2)3)4)	演習4(不登校事案)	演習	横山
12	2)3)4)	演習5(問題行動事案)	演習	横山
13	2)3)4)	演習6(他職種連携トラブル事案)	演習	横山
14	2)3)4)	演習7(スクールカウンセラー連携事案)	演習	横山
15	2)3)4)	総括	講義	横山

教科書: 使用しません。

参考書: スクールソーシャルワーカー活動実践事例集http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1246334.htm

科目名: **医療ソーシャルワーク論**

担当者: 川崎 順子(福・ス)、貫 優美子(福・福)

配当学科: スポーツ健康福祉学科 臨床福祉学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義|演習

授業概要: 超高齢社会を迎えた日本の医療現場は、治療重視の医療モデルから病気と共に生きる生活モデルへと変化している。そのような状況のなか、医療現場で患者を支える医療ソーシャルワーカーへの役割が求められている。そのため医療ソーシャルワーク論では医療ソーシャルワーカーの価値や倫理を学び医療ソーシャルワーカーの役割を明確にし実践の場で患者やその家族に寄り添った支援ができることを目標とする。

到達目標: (SBOs) 1.「病む」ことによる経験する多様な課題を理解する。
2.多様な援助者の一人として医療ソーシャルワーカーに焦点付け、医療ソーシャルワーカーの援助活動の概要を説明できる。
3.「病む」人に対する支援について、システムや制度、政策による支援について理解し考察する。
4.病院機能別について、具体的な支援の在り方を理解し医療ソーシャルワーカーの立ち位置を考察する。

評価方法: 定期試験により評価する。

準備学習・履修上の注意等: 社会福祉士の資格取得を希望し、相談援助実習を履修済みのもの。
4年次の医療ソーシャルワーク実習を履修・希望する者は必修する。
1回の授業につき、4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 16時30分～17時30分。ただし木、実習期間中は除く。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	2)	医療における社会保障政策の動向と医療ソーシャルワーカーの役割を理解する。	講義	川崎・貫
2	2)	医療ソーシャルワークの成立の経過と今後の課題を理解する。	講義	川崎・貫
3	2)	医療ソーシャルワークの業務指針と価値と倫理について理解する。	講義	川崎・貫
4	1)	医療ソーシャルワーカーに必要な医学的知識を理解する。	講義	川崎・貫
5	1)2)	病院の機能と医療ソーシャルワーカーの業務内容を理解する。	講義	川崎・貫
6	3)	診療報酬について学び、そのプロセスを理解する。	講義	川崎・貫
7	1)2)3)	生活機能障がい者の苦しみを理解し、事例をとおして支援の在り方を探る。	講義	川崎・貫
8	1)2)3)	医療における「家族」を理解するための視点や支援の方法を事例で理解する	講義	川崎・貫
9	2)3)4)	医療ソーシャルワーカーの支援展開を事例で理解する。①	SGD	川崎・貫
10	2)3)4)	医療ソーシャルワーカーの支援展開を事例で理解する。②	SGD	川崎・貫
11	2)3)4)	医療ソーシャルワーカーの支援展開を事例で理解する。③	SGD	川崎・貫
12	4)	医療の場で活躍する実践者を招聘し、倫理的ジレンマ等の実際を知る。	講義	川崎・貫
13	4)	医療ソーシャルワーカーの活躍する実践の場を見学し役割を理解する。①	施設見学	川崎・貫
14	4)	医療ソーシャルワーカーの活躍する実践の場を見学し役割を理解する。②	施設見学	川崎・貫
15	2)	総括 医療ソーシャルワーカーの役割を説明することができる。	講義	川崎・貫

教科書: 使用しない

参考書: よくわかる医療福祉 ミネルヴァ書房
保健医療ソーシャルワークの基礎 -実践力の構築- 公益財団法人 日本医療社会福祉協議会編

科目名: **チーム医療概論**

担当者: 貫 優美子(福・福)・川崎 順子(スポ)

配当学科: スポーツ健康福祉学科 臨床福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義|演習

授業概要: 保健・医療分野のソーシャルワーク展開においても、多くの職種や多様な関係機関と連携・協働していくことで、利用者の支援システムを構築していくことが求められる。チーム医療概論では、多様な職種・機関の目的、役割や視点を理解するとともに、チームで支援していくための連携の考え方や方法論を修得する。
また、医療領域特有の実践課題を理解し、ソーシャルワークを展開できる実践力を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 医療ソーシャルワークの連携・協働の目的と必要性について説明できる。
2) 医療領域に関わる専門職の位置づけと役割について説明できる。
3) 医療領域における多職種連携のあり方を説明できる。
4) 連携場面における医療ソーシャルワーカーの役割を説明できる。
5) 連携に必要とされる実践力とは何かを説明できる。
6) 医療領域における実践課題が整理でき、チームマネジメントの重要性が説明ができる。

評価方法: 定期試験により評価する。

準備学習・履修上の注意等: 社会福祉士の資格取得を希望し、相談援助実習を履修済みのもの。
4年次の医療ソーシャルワーク実習を履修予定のもの。
1回の授業につき、4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 16時30分～17時30分。ただし木、実習期間中は除く。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	医療領域におけるソーシャルワーク展開を理解する(医療機関内)(1)	講義	貫・川崎
2	1)	医療領域におけるソーシャルワーク展開を理解する(医療機関外)(2)	講義	貫・川崎
3	2)	医療領域に関わる専門職の法的根拠と役割を理解する(1)	講義・SGD	貫・川崎
4	2)	医療領域に関わる専門職の法的根拠と役割を理解する(2)	講義・SGD	貫・川崎
5	3)	医療ソーシャルワークにおける連携の必要性を理解する	講義	貫・川崎
6	3)	連携の考え方やチームワーク方法論を理解する(1)	講義・SGD	貫・川崎
7	3)	連携の考え方やチームワーク方法論を理解する(2)	講義・SGD	貫・川崎
8	3)	事例に基づく多職種連携の実践状況を理解する(1)	講義	貫・川崎
9	3)	事例に基づく多職種連携の実践状況を理解する(2)	講義	貫・川崎
10	4)	医療機関内の連携場面における医療ソーシャルワーカーの役割を理解する	講義・SGD	貫・川崎
11	4)	医療機関外との連携場面における医療ソーシャルワーカーの役割を理解する	講義・SGD	貫・川崎
12	2)3)4)5)	医療ソーシャルワーカーの連携実践課題を理解する	講義・SGD	貫・川崎
13	2)3)4)5)	多職種連携の有り方を理解する(外部講師招聘)	外部講師	貫・川崎
14	4)5)6)	多職種連携のあり方を理解する(ケア会議・カンファレンス等の見学)	見学	貫・川崎
15	4)5)6)	チームマネジメントの重要性をまとめることができる	講義	貫・川崎

教科書: 必要に応じて紹介を行う

参考書: 使用しない。

科目名: **スポーツマネジメント**

担当者: 山本 順之(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: マネジメントに関する概念定義やその方法等に関する基礎知識を理解し、さまざまなスポーツ集団や組織、団体等を運営・管理やスポーツイベント、教室、あるいは体育授業の運営、管理等、マネジメントの実践的知識を修得する。

到達目標: 1) マネジメントの概念や、その目的、意義、方法について説明できる。
(SBOs) 2) 商品としてのスポーツに関するマネジメントの仕組みを説明できる。
3) スポーツにおける個人マネジメントと組織マネジメントの仕組みと方法を説明できる。
4) スポーツ団体・組織におけるマネジメントの方法を説明できる。
5) 具体的なスポーツクラブ(総合型地域スポーツクラブ等)におけるマネジメントの方法を説明できる。
6) 学校体育経営におけるマネジメントについて説明できる。

評価方法: 定期試験(60%) 課題(レポート・小テスト等)(20%) 講義内における総合的姿勢(20%)

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり4時間を目安に予習・復習する。講義に関連する小課題を提出する。

オフィスアワー: 時間割発表後に研究室ドアに掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【マネジメントとは】 現代におけるマネジメントのあり方から、その概念、目的、方法などについて理解する。特に、組織管理という視点から、モノ、ヒト、カネを総合的に管理するあり方について理解する。	講義	山本
2	1)2)	【スポーツにおけるサービスマーケティング】 マーケティングの基礎知識とともに、サービスとしてのスポーツについて理解する。	講義	山本
3	1)2)	【スポーツにおけるブランドマーケティング】 ブランドとしてのスポーツに関する知識とともにそのスポーツ商品、サービスのプロモーション戦略について理解する。	講義	山本
4	3)	【現代におけるスポーツマネジメントとは】 現代におけるスポーツマネジメントの現状からその概念、目的、方法やその領域と構造について理解する。	講義	山本
5	1)3)	【スポーツ選手の心理的マネジメントと集団マネジメント】 スポーツ指導における集団、及び選手の心理的マネジメントについて理解する。	講義	山本
6	3)4)	【スポーツ組織、団体におけるスタッフの役割】 スポーツ関連の組織、団体や地域におけるスポーツクラブ等におけるスタッフの資質や役割について理解する。	講義	山本
7	1)3)4)	【まちづくりとスポーツマネジメント】 まちづくりに活用されるスポーツクラブやスポーツイベントの運営、企画や地域におけるさまざまなスポーツ関連事業におけるマネジメントについて理解する。	講義	山本
8	3)4)	【チーム・クラブ・アソシエーションにおけるマネジメント】 スポーツ集団についてチーム・クラブ・アソシエーションのあり方、及びそれぞれのマネジメントについて理解する。	講義	山本
9	3)4)5)	【総合型地域スポーツクラブのマネジメント1】 地域のスポーツクラブにおけるマネジメントの仕組みについて理解する。	講義	山本
10	3)4)5)	【総合型地域スポーツクラブのマネジメント2】 総合型地域スポーツクラブを事例としてその育成と運営におけるスポーツマネジメントの必要性和実際について理解する。	講義	山本
11	3)4)5)	【クラブマネジャーの役割】 地域で活躍するクラブマネジャーの役割について、総合型地域スポーツクラブにおける事例を取り上げ、理解する。	講義	山本
12	3)4)5)	【スポーツ団体・組織の経営と権利ビジネス】 スポーツ団体・組織におけるマネジメントと権利ビジネスについて理解する。	講義	山本

13	3)4)5)	【スポーツマネジメントとしてのガバナンス】 スポーツ団体、組織に必要なガバナンスについて理解する。	講義	山本
14	3)4)5)	【スポーツマネジメントにおけるリスク管理】 スポーツ団体・組織等におけるリスクマネジメントについて理解する。	講義	山本
15	3)4)5)6)	【学校体育におけるマネジメント】 学校の体育経営を取り上げ、学校体育経営体のマネジメントについて理解する。	講義	山本

教科書： 使用しない。

参考書： 必要に応じて資料を配布する。

科目名: **スポーツ心理学 I**

担当者: 正野 知基(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 自己実現へ向け運動・スポーツを楽しむために必要な運動・スポーツと心とのかかわり合いについて学ぶ。また、運動・スポーツ習慣の確立を含め、健康や生活習慣病予防のための望ましい健康行動を実践していくための行動変容の理論と実践について理解する。さらに、心身の健康増進のためにメンタルヘルスについて理解し、カウンセリング、ストレスアセスメントと対処法についての理論と方法を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 運動・スポーツと心とのかかわり合いを理解し、説明できる。
2) 運動・スポーツにおける動機づけについて理解し、説明できる。
3) コーチングを効率的に進めていく上での心理的問題とその解決方法、行ったコーチングの評価方法について理解し、説明できる。
4) 行動変容の理論と実際について理解し、説明できる。
5) 行動変容のための技法、カウンセリングおよび相談指導の技法を体験・理解する。
6) 心の健康(メンタルヘルス)の維持増進に必要な知識を理解し、説明できる。
7) 運動・スポーツにかかわる様々な問題解決の援助を行うために必要な知識を理解し、説明できる。
8) ストレスアセスメントとストレスに対する対処法について理解し、説明できる。

評価方法: 定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業の中で、健康行動改善のための行動変容技法やカウンセリングの実習を行う。単に講義を聴くだけでなく、積極的に与えられた課題に取り組むこと。また、授業中に適宜理解度を確認するために質問を行うので、授業内容にかかわるキーワードについて事前に調べておくことと、復習を行うこと。予習復習は1コマ当たり4時間を目安とする。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日 12:30～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	運動・スポーツと心	講義	正野
2	2)	運動・スポーツにおける動機づけ	講義	正野
3	3)	コーチングの心理(1)	講義	正野
4	3)	コーチングの心理(2)	講義	正野
5	4)	行動変容の理論と実際(1)	講義	正野
6	4)	行動変容の理論と実際(2)	講義	正野
7	4)	行動変容の理論と実際(3)	講義	正野
8	5)	行動変容の理論と実際(4)	実習	正野
9	6)	心の健康論	講義	正野
10	7)	運動・スポーツとカウンセリング(1)	講義	正野
11	7)	運動・スポーツとカウンセリング(2)	講義	正野
12	7)	運動・スポーツとカウンセリング(3)	講義	正野
13	8)	ストレスアセスメントと対処法(1)	講義	正野
14	8)	ストレスアセスメントと対処法(2)	講義	正野

教科書: 使用しない。

参考書: 健康運動指導士養成講習会テキスト(健康体づくり事業財団)
健康運動実践指導者養成用テキスト(健康体づくり事業財団)
公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目Ⅰ・Ⅱ(日本体育協会)
公認スポーツプログラマー専門科目テキスト(日本体育協会)

科目名: **スポーツ心理学Ⅱ**

担当者: 藤原 大樹(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: スポーツ現場で働く人間にとって、運動・スポーツ場面におけるアスリートの心理・行動の理解は必須である。この授業では、競技パフォーマンスに影響するモチベーション、覚醒水準、自信、イメージ等の心理的要因についての理論を学習するとともに、心理的スキルトレーニングの実習を行うことで、アスリートに対する心理的サポートについての理解を深める。

到達目標: (SBOs) 1)アスリートに必要な心理的スキルの内容について説明できる。
2)アスリートの特徴を把握するためのポイントについて説明できる。
3)心理的要因が競技パフォーマンスに影響するメカニズムの理論的背景を説明できる。
4)競技前の心理的準備に必要な手順を説明できる。
5)チームビルディングの方法を説明できる。
6)メンタルトレーニングを指導する際の注意点について説明できる。

評価方法: 講義レポート・演習レポート 70%
課題発表 30%

準備学習・履修上の注意等: レポート作成や課題発表の準備など適宜指示する。

オフィスアワー: 授業時間の前後30分間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1 6	オリエンテーション: スポーツ心理学(Ⅱ)の概要について理解する	講義	藤原
2	1 2 4 6	競技力向上とメンタルトレーニング	講義	藤原
3	2 3 6	パーソナリティ: 競技選手のパーソナリティ	講義	藤原
4	1 3 4 6	モチベーション: 競技意欲を高めるトレーニング	講義・演習	藤原
5	1 3 4 6	情動のコントロール: 緊張や不安のコントロール、あがりの防止	講義・演習	藤原
6	1 3 4 6	注意と集中: 注意の認知過程、注意の固定、視線、ルーティンなど	講義・演習	藤原
7	1 3 4 6	イメージ: イメージの特徴、イメージトレーニングの基礎	講義・演習	藤原
8	1 3 4 6	自信: 自信とは、自信を形成する要因、自信を育てる方法	講義・演習	藤原
9	4 5	チームビルディング①: 集団力学、凝集性、コミュニケーション	講義・演習	藤原
10	4 5	チームビルディング②: リーダーシップ、フォロワーシップ	講義・演習	藤原
11	4 5	試合のための心理的準備: 理想的な心理状態、ピーキング	講義	藤原
12	3 4 5	チーム戦略と認知的技術	講義	藤原
13	2 3 6	スポーツ傷害と心理的サポート: 傷害の原因、ストレス、リハビリ	講義	藤原
14	2 6	スポーツと攻撃性: 攻撃行動、社会的逸脱、怒りのコントロール	講義	藤原
15	2 6	スポーツキャリア: バーンアウト、キャリアパターン、引退、セカンドキャリア	講義	藤原

教科書: よくわかるスポーツ心理学(中込四朗、伊藤豊彦、山本祐二 編著) ミネルヴァ書房【978-4-623-06179-2】

参考書: スポーツメンタルトレーニング教本: 日本スポーツ心理学編(2005) 大修館書店
教養としてのスポーツ心理学: 徳永幹雄編(2005) 大修館書店

科目名: **スポーツ社会学**

担当者: 山本 順之(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: スポーツと社会の関係性について、さまざまな現代スポーツから検証する。具体的には現代スポーツにおける特徴的なスポーツ現象やスポーツを取り巻く社会的状況を取り上げ、スポーツにみられる現象と社会がいかなる関係性において成立しているか(スポーツが社会へ何をもたらしているかや社会がスポーツの何を規定しているか等)について理解し、現代社会におけるスポーツや身体文化の状況を分析する視角を身につける。

到達目標: (SBOs) 1)スポーツと社会の多面的な関係性について説明できる。
2)スポーツと文化、政治、経済との関係性について説明できる。
3)スポーツの社会的価値について説明できる。
4)現代スポーツにみられる課題について社会学的に説明できる
5)今後のスポーツにおける方向性について社会学的に説明できる。

評価方法: 定期試験(60%)課題(レポート・小テスト等)(20%) 講義内における総合的姿勢(20%)

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり4時間を目安に予習・復習する。設定された各テーマ関連する小課題を提出する。

オフィスアワー: 時間割発表後に研究室ドアに掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)3)	【スポーツ社会学はなぜ必要か】 スポーツ社会学の学問的特徴とそこに見出される価値について理解する。	講義	山本
2	1)2)	【スポーツの社会、文化システム】 スポーツが社会においていかに位置づけられているか、あるいは文化システムとしてどのように機能しているのか等について理解する。	講義	山本
3	3)	【スポーツと社会化】 スポーツによる社会化、スポーツへの社会、両面からスポーツと社会化の概念について理解する。	講義	山本
4	2)	【スポーツと政治】 政治的プロパガンダとしてのスポーツのあり方を歴史的な事象(ヒトラーとオリンピック、ワールドカップサッカーの誘致合戦等)から理解する。	講義	山本
5	2)	【スポーツと経済】 高騰するプロ選手の年俵やプロチーム経営からスポーツと経済の関係性について理解する。	講義	山本
6	1)2)4)	【スポーツと暴力】 暴力性を有するスポーツに注目し、選手のみならずファン(フーリガンと呼ばれるサポーター)の暴力性について理解する。	講義	山本
7	1)2)4)	【スポーツにおける非社会的行為】 八百長あるいはドーピングなどの不正行為がなぜ起きるのかについて社会との関連性から理解する。	講義	山本
8	1)2)4)	【肥大化するスポーツ】 プロフェッショナルリズムの進行やスポーツイベントの肥大化から起こりうるスポーツの課題について理解する。	講義	山本
9	2)3)4)	【スポーツ行政の政策、施策】 スポーツ行政におけるスポーツ政策、施策の社会的背景やその現状について理解する。	講義	山本
10	3)4)5)	【地域スポーツの未来像】 地域におけるスポーツ振興の出現した社会的背景とその歴史の変遷とともに、現代における総合型地域スポーツクラブの取り組みについて理解する。	講義	山本
11	3)4)5)	【学校体育の行く末】 学校体育に求められるアカウンタビリティと今後予想される学校体育の方向性について理解する。	講義	山本
12	3)4)5)	【学校運動部のあり方】 学校運動部の社会的必要性と教育現場におけるその役割について理解する。	講義	山本
13	3)4)5)	【アスリート育成システムとセカンドキャリア】	講義	山本

アスリートの育成におけるそのシステムとセカンドキャリアに関する取り組みについて理解する。

14	3)4)5)	【障害者スポーツの普及、発展と文化的課題】 障害者スポーツの歴史的展開と、現代における障害者とスポーツを取り巻く環境からその文化的課題を理解する。	講義	山本
15	5)	【スポーツ社会学考】 スポーツに関する最もタイムリーな話題から現代スポーツの課題と今後のスポーツの創造に対する、スポーツ社会学の可能性について理解する。	講義	山本

教科書： 使用しない。

参考書： 必要に応じて資料を配布する。

科目名: **運動学**

担当者: 三輪 佳見(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 体育授業における運動指導の基礎理論である現象学的な発生運動学について、運動の構造と発生に関する基本的な事項を概観し、指導実践の問題を具体的に取り上げ解説する。

到達目標: (SBOs) 1)非循環運動の局面構造の説明ができる。
2)単一形態の運動の習熟と動きの変容を説明できる。
3)戦術的意味における動きの変容を説明できる。
4)消失動作の意味(価値)について説明できる。
5)循環運動の局面構造について説明できる。
6)複合形態のタイプについて説明できる。
7)複合形態の運動の構造について説明できる。
8)複合形態の運動の指導における問題点について説明できる。
9)運動指導の体系化について説明できる。
10)運動の系統的指導について説明できる。

評価方法: 試験及び授業中の発問への応答にて評価する。

準備学習・履修上の注意等: 毎回の講義内容について、自己の専門種目を中心に具体的な例でまとめ理解を深めるようにする。

オフィスアワー: 講義時間の前後

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1		体育教師の専門性としての運動指導力	講義	三輪
2	1)	単一形態の運動の構造 ①非循環運動の局面構造	講義	三輪
3	2)	単一形態の運動の構造 ②動きの習熟と新たな構造の発生	講義	三輪
4	3)	単一形態の運動の構造 ③戦術的意味における構造の発生	講義	三輪
5	4)	単一形態の運動の構造 ④消失動作の意味(価値)について	講義	三輪
6	5)	単一形態の運動の構造 ⑤循環運動の局面構造	講義	三輪
7	5)	単一形態の運動の構造 ⑥循環運動の指導について	講義	三輪
8	1)2)3)4)5)	単一形態の運動の構造 ⑦まとめ(テスト)	講義	三輪
9	6)	複合形態の運動の構造	講義	三輪
10	7)8)	複合形態の運動の指導 ①投げて打つ	講義	三輪
11	7)8)	複合形態の運動の指導 ②走って跳ぶ	講義	三輪
12	7)8)	複合形態の運動の指導 ③走って投げる・打つ・蹴る	講義	三輪
13	7)8)	複合形態の運動の指導 ④走って跳んで投げる・打つ	講義	三輪
14	9)	運動指導の体系化 ①一般的体力と専門的体力	講義	三輪
15	10)	運動指導の体系化 ②運動の系統的指導について	講義	三輪

教科書: 使用しない。

参考書: 金子明友・朝岡正雄編著「運動学講義」大修館書店
マイネル,K.著 金子明友訳「スポーツ運動学」大修館書店
吉田 茂・三木四郎編「教師のための運動学」大修館書店
金子明友著「身体知の構造」明和出版

科目名: **運動生理学**

担当者: 小川 芳徳(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科1年

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 運動中に起こっている身体内部の応答を知ることが、スポーツ競技力の向上、健康の維持増進のためには必要、かつ重要な知識である。
運動生理学では、安静にしている時と運動を行っている時の身体の応答を比較し運動の身体に及ぼす影響について理解し、基本的な知識を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 身体各臓器の役割とそれらの機能を説明できる。
 - 2) 運動と身体各臓器・機能の説明ができる。
 - 3) 運動の違いと各臓器、各機能のはたらきが説明できる。
 - 4) 運動の違いと各臓器の機能の関わりが説明できる。
 - 5) 運動時のエネルギー供給機構を説明できる。
 - 6) 環境の違いにより運動が身体へ及ぼす影響を説明できる。
 - 7) 発育期から高齢に至るまでの形態的・機能的変化を説明できる。

評価方法: 授業ごとの確認テストにより形成的評価(授業の指導方法の確認・修正のための評価)を行う。学習への取り組み姿勢(授業態度、課題の提出)の評価を20%及び学期末の単位認定試験80%とし、総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき4時間の予習・復習を行うこと(土、日、祝日、長期休暇を用いて)。授業プリントの次回授業部分(事前に配布する)を読んでおくこと。

オフィスアワー: 12:30~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	1 運動生理学とはなにか? その概略を知る。	講義	小川
2	2)3)	2 骨格筋と運動1: 骨格筋の解剖学、組織学、生理学的特徴	講義	小川
3	2)3)4)	3 骨格筋と運動2: 筋力発揮の様式と神経調節	講義	小川
4	2)3)4)	4 呼吸と運動: 呼吸器系の役割、一過性運動とトレーニング慢性効果	講義	小川
5	2)3)	5 循環系と運動1: 一過性運動での心臓の応答、血圧・血流について	講義	小川
6	2)3)4)	6 循環系と運動2: 酸素摂取量と換気量、EPOC、慢性運動の効果	講義	小川
7	2)3)	7 神経系と運動1: 神経細胞の基本、運動発現、感覚と運動の相動	講義	小川
8	2)3)4)	8 神経系と運動2: 一過性運動の神経筋機能の反応	講義	小川
9	2)3)4)	9 内分泌と運動	講義	小川
10	5)	10 エネルギー代謝と運動1: 一過性の運動によるエネルギー供給機構について	講義	小川
11	5)	11 エネルギー代謝と運動2: 運動トレーニングによるエネルギー供給機構について	講義	小川
12	2)3)4)	12 免疫と運動	講義	小川
13	6)	13 高温環境と運動: 環境温と体温調節機構について	講義	小川
14	6)	14 水中環境と運動: 水中環境の特性、水中での体温、水中運動のエネルギー代謝	講義	小川
15	1)~7)	15 運動と発育発達・加齢: 発育発達期から高齢に至るまでの形態変化の特徴、機	講義	小川

能の特徴

教科書: 教科書は用いない。その都度プリントを配布する。

参考書: 授業時に紹介する。

科目名: **スポーツ栄養学 I**

担当者: 松田 智香子(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2012年度入学生2年・2011年度以前入学生3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: ヒトにとっての栄養素の役割、それらの消化吸収の機序やその必要量、体内での活用方法についての栄養学の基礎的知識を学ぶ。その上で食物摂取のアンバランスにより生じる生体への影響についての知識を深める。特に摂取エネルギーと消費エネルギーのバランスから体重コントロールの方法を理解し、修得を目指す。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)身体と栄養・食事について理解し説明できる。
 - 2)日本人の栄養摂取状況の変化について知り、食生活と生活習慣病の関係について具体的に説明できる。
 - 3)食品の分類と栄養学的特徴について列挙でき、食事摂取基準について具体的に説明できる。
 - 4)日本人の食生活指針、食事バランスガイドについて理解し、特定保健食品と栄養補助食品の摂取について説明できる。
 - 5)三大栄養素の役割について理解し、説明できる。
 - 6)ビタミンとミネラル、水の特徴と役割について理解し、説明できる。
 - 7)消化器系の構造と栄養素の消化の機構について具体的に理解する。
 - 8)3大栄養素の代謝について理解し、体内のエネルギー代謝と酸素消費量について説明でき。
 - 9)安静時代謝と生活活動代謝について理解し、1日の総エネルギー消費と推定エネルギー必要量を推定することができる。
 - 10)1日のエネルギー代謝率とMETSについて理解した上で、身体活動量測定(生活時間調査)を行い問題点を列挙できる。
 - 11)栄養・食事アセスメントを行い、問題点に対して改善案を提示できる。
 - 12)低栄養を含む栄養・食事ケアについて理解し、説明できる。
 - 13)スポーツ活動に応じた栄養摂取の方法について説明できる。
 - 14)アスリートの活動量に適切な食生活について説明できる。

評価方法: 期末試験(90%)、授業態度・課題への取り組み(10%)
原則、再試験は行わない。
なお、再試験を行う場合は、本試験で基準点以上の者のみ再試験を受験できる。
(基準点は授業時に説明する)

準備学習・履修上の注意等: 授業時に配布した資料やノートをまとめ事後学習を行う。また毎授業後に次回授業内容を提示するので事前準備を行うなど1コマ当り4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割が確定次第掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	身体と栄養・食事	講義	松田
2	2)	日本人の栄養摂取状況の変化と生活習慣病	講義	松田
3	3)	食品の分類と栄養学的特徴	講義	松田
4	4)	食生活指針と食事バランスガイド	講義	松田
5	5)	炭水化物の役割	講義	松田
6	5)	たんぱく質の役割	講義	松田
7	5)	脂質の役割	講義	松田
8	6)	ビタミンとミネラル、水の特徴と役割	講義	松田
9	7)	消化器系の構造と栄養素の消化機構	講義	松田
10	7)13)	栄養素の吸収機構	講義	松田
11	8)9)13)	3大栄養素の代謝、体内のエネルギー代謝と酸素消費量	講義	松田
12	9)10)13)	安静時代謝と生活活動代謝、スポーツと栄養	講義	松田
13	11)	身体活動量測定(生活時間調査)	実習	松田
14	12)	栄養・食事アセスメント	実習	松田
15	14)	アスリートの栄養・食事ケア	講義	松田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **スポーツ栄養学Ⅱ**

担当者: 室井由起子(非常勤講師)、安達瑞保(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: スポーツ選手が試合で最大限能力を発揮したり、けがを予防して質の高いトレーニングを実施し、競技を長く続けられるようにするための食事法のサポートが行えるようにする。そのためにまず、アスリートにとっての栄養摂取の重要性について理解する。また、望ましい栄養状態を保てるように栄養素や食品についての正しい知識を持ち、実践のための技術を身につける。さらに、競技特性や練習量、目的に応じての食事内容を理解する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)アスリートの身体組成について理解し、説明できる。
 - 2)アスリートのからだ作りとウエイトコントロールについて理解し、説明できる。
 - 3)アスリートの栄養ケア・マネジメントについて理解し、説明できる。
 - 4)アスリートのエネルギー消費量について理解し、説明できる。
 - 5)アスリートのコンディショニングと栄養補給について理解し、説明できる。
 - 6)アスリートの水分補給について理解し、説明できる。
 - 7)アスリートの食事計画について理解し、説明できる。
 - 8)栄養欠陥に基づく疾病と対策について理解し、説明できる。
 - 9)さまざまな状況下における栄養ケアについて理解し、説明できる。
 - 10)サプリメント利用時の留意点について理解し、説明できる。
 - 11)アスリートの栄養指導、栄養教育の実際について理解し、説明できる。

評価方法: 定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 予習・復習を必ず行うこと。

オフィスアワー: 講義時間以外の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	(1)	アスリートの身体づくり: 筋肉づくり	講義	室井
2	(1)	アスリートの身体づくり: 骨づくり	講義	室井
3	(1)	アスリートの身体組成	講義	室井
4	(2)	アスリートのエネルギー消費量の構成要素	講義	室井
5	(1)(3)	アスリートウエイトコントロール: 増量 過タンパク質、脂質の過剰摂取	講義	室井
6	(1)(3)	アスリートウエイトコントロール: 減量 エネルギー不足 タンパク質不足	講義	室井
7	(3)	鉄欠乏性貧血、月経障害、骨障害、摂食障害	講義	室井
8	(3)	ビタミン摂取とコンディショニング、欠乏、過剰摂取	講義	室井
9	(2)	種目特性の分類と食事、グリコーゲン補給と回復	講義	室井
10	(2)	アスリートの水分補給	講義	室井
11	(4)	期分けによる食事: 試合前、試合当日、試合後	講義	室井
12	(4)	期分けによる食事: 遠征時、合宿時、オフ時	講義	室井
13	(5)	サプリメント	講義	室井
14	(5)	サプリメント	講義	安達
15	(6)	栄養指導、栄養教育の実際	講義	安達

教科書: 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑨スポーツと栄養(日本体育協会)

参考書: アスリートの栄養・食事ガイド(日本体育協会スポーツ医・科学専門委員会編集)

科目名: **バイオメカニクス**

担当者: 小川 芳徳(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 身体の動きを知ることは、スポーツ競技における身体活動の理解や健康の維持増進を学ぶ上で欠かせない知識と考え方を示してくれる。
バイオメカニクスでは、からだ全体の動きを力学的に理解するため身体の内部構造(骨、筋肉、靭帯等)とその機能について理解し、基本的な知識を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 身体の臓器の名称、形態を説明できる。
2) 力学、および力学的視点から身体活動を説明できる。
3) 関節運動と全身運動を理解し、説明できる。
4) 身体構造と力学的運動要因について説明できる。
5) 全身運動と仕事・エネルギーについて説明できる。
6) 陸上での運動・動作について説明できる。
7) 水泳・水中運動について説明できる。

評価方法: 授業ごとの確認テストにより形成的評価(授業の指導方法の確認・修正のための評価)を行う。学習への取り組み姿勢(授業態度、課題の提出)の評価を20%及び学期末の単位認定試験80%とし、総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき4時間の予習・復習を行うこと(土、日、祝日、長期休暇を用いて)。授業プリントの次回授業部分(事前に配布する)を読んでおくこと。

オフィスアワー: 12:30~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	身近な運動を取り上げ、バイオメカニクスとは何かを考える。	講義	小川
2	2)	力学の基礎(直線運動、曲線運動、速度、加速度等)と関節運動、全身運動	講義	小川
3	2)	力学の基礎(重心、並進運動、回転運動等)と関節運動、全身運動	講義	小川
4	1)2)3)4)	身体構造と力学的運動要因	講義	小川
5	1)2)3)4)	頭頸部の関節運動	講義	小川
6	1)2)3)4)	上肢の関節運動	講義	小川
7	1)2)3)4)	脊柱と胸郭の運動	講義	小川
8	1)2)3)4)	骨盤と下肢の運動(1):骨盤の連結構造、体重支持機構	講義	小川
9	1)2)3)4)	骨盤と下肢の運動(2):膝関節、足関節の構造とその働き	講義	小川
10	5)	全身運動と仕事・エネルギー(1):呼吸循環系の構造・機能と筋出力の関係	講義	小川
11	5)	全身運動と仕事・エネルギー(2):移動運動の力学的エネルギー源について	講義	小川
12	1)~6)	陸上での運動・動作(1):歩行運動、ジョギング運動	講義	小川
13	1)~6)	陸上での運動・動作(2):ランニング運動、跳躍運動、投てき	講義	小川
14	1)~5)7)	水中・水泳運動(1):水の物理的性質、水圧と生理学的反応	講義	小川
15	1)~5)7)	水中・水泳運動(2):推進力発揮の腕・脚の運動	講義	小川

教科書： 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: トレーニング論

担当者: 正野 知基(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 講義

授業概要: トレーニングの重要性はスポーツだけではなく、減量、生活習慣病予防、そして介護保険による筋力トレーニングなど社会的にも注目されている。このようなニーズに応えるためには、適切な知識と技能が求められる。そこで本講義では、まず体力学で学んだ健康運動・スポーツと体力との関係を確認したうえで、体力を向上させるための科学的トレーニングの基本的な考え方・具体的な実施方法や指導上の注意点を理解することによって、トレーニングの合理的かつ効果的な指導に必要な知識を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)健康運動・スポーツと体力とのかかわりを理解し、説明できる。
 - 2)トレーニングの原理・原則について理解し、説明できる。
 - 3)トレーニングの種類について理解し、説明できる。
 - 4)健康づくりの観点からみたトレーニング・運動処方原則について理解し、説明できる。
 - 5)トレーニングとトレーニング効果には特異性があることを理解し、説明できる。
 - 6)全身運動によるエアロビクトレーニングの理論とその効果について理解し、説明できる。
 - 7)筋力・筋持久力・筋パワー向上のためのトレーニングの理論とその効果について理解し、説明できる。
 - 8)女性の体力・運動能力の特徴とトレーニングについて理解し、説明できる。
 - 9)青少年期の成長発育とトレーニングについて理解し、説明できる。
 - 10)加齢に伴う体力の自然減退とトレーニング、特に高齢者への対応について理解し、説明できる。
 - 11)障がい者の運動能力の特徴とトレーニングについて理解し、説明できる。
 - 12)指導計画の立案と安全管理の方法について理解し、説明できる。

評価方法: 定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業中に理解度を確認するために学生への質問を適宜行う。緊張感を持って参加すること。毎回の授業後に次回授業内容を示すので、必ず予習を行って授業に臨むこと。また、配布資料・ノートをしっかりとまとめ、復習を行うこと。予習復習は1コマ当たり4時間を目安とする。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日 12:30～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	健康運動・スポーツと体力口	講義	正野
2	2)	□ トレーニングの原理・原則(1)	講義	正野
3	2)	□ トレーニングの原理・原則(2)	講義	正野
4	3)	□ トレーニングの種類	講義	正野
5	4)	□ 健康づくりのためのトレーニング・運動処方原則口	講義	正野
6	5)	□ トレーニングとトレーニング効果の特異性	講義	正野
7	6)	□ 全身運動によるエアロビクトレーニング	講義	正野
8	7)	□ 筋力・筋持久力・筋パワーとトレーニング(1)	講義	正野
9	7)	□ 筋力・筋持久力・筋パワーとトレーニング(2)	講義	正野
10	8)	□ 女性の体力・運動能力の特徴とトレーニング	講義	正野
11	9)	□ 青少年期の成長発育とトレーニング	講義	正野
12	10)	□ 加齢に伴う体力の自然減退とトレーニング	講義	正野
13	11)	□ 障がい者の運動能力の特徴とトレーニング	講義	正野

14	12)	<input type="checkbox"/> 指導計画と安全管理(1) <input type="checkbox"/>	講義	正野
15	12)	<input type="checkbox"/> 指導計画と安全管理(2) <input type="checkbox"/>	講義	正野

教科書: 使用しない。

参考書: 健康運動指導士養成講習会テキスト(健康体づくり事業財団)
健康運動実践指導者養成用テキスト(健康体づくり事業財団)
公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目 I・II(日本体育協会)
公認スポーツプログラマー専門科目テキスト(日本体育協会)

科目名: **体力学**

担当者: 井藤 英俊(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 「体力」をいろいろな角度から捉え、その基本的な考え方および測定・評価方法について学び、今日的な「体力」とは何かを考える。まず、体力を考える上で必要な基礎知識を整理する。そして、体力の歴史的な移り変わりを踏まえ、21世紀のわが国における健康と体力について考える。さらに、様々な体力要素について測定・評価する方法、様々な人々(各年代別、性別、障がい者等)についての体力の考え方を理解し、実際に測定・評価を行うための知識を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) エネルギーと栄養についての考え方を説明できる。
 - 2) 運動のエネルギーと運動の種類について説明できる。
 - 3) 体力とは何かを説明できる。
 - 4) 21世紀にわが国において求められる健康と体力について、各年代別に説明できる。
 - 5) 体力測定・テストの意義について説明できる。
 - 6) 新体力テストのねらいと特徴について説明できる。
 - 7) 新体力テストの各テスト項目の持つ意義および測定・評価方法について説明できる。
 - 8) 有酸素性能力と無酸素性能力の持つ意義および測定・評価方法について説明できる。
 - 9) 形態・身体組成の持つ意義および測定・評価方法について説明できる。
 - 10) 筋力・筋持久力・柔軟性の持つ意義および測定・評価方法について説明できる。
 - 11) 高齢者の体力的特徴と体力測定を行うことの意義およびその測定・評価方法について説明できる。
 - 12) 介護予防の観点から捉えた体力とその測定・評価方法について説明できる。
 - 13) 障がい者の体力的特徴と体力測定を行うことの意義およびその測定・評価方法について説明できる。

評価方法: 定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 教科書を必ず購入・持参すること。なお、この教科書は体力学演習でも使用する。授業中に理解度を確認するために学生への質問を適宜行うので、教科書を事前に読んでおくことと、復習を行い授業内容の確認を行うこと。予習復習は1コマ当たり4時間を目安とする。緊張感を持って参加すること。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日 12:30～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	体力を考える上での基礎知識(1)エネルギーと栄養	講義	井藤
2	2)	体力を考える上での基礎知識(2)運動のエネルギーと運動の種類	講義	井藤
3	3)	体力とは	講義	井藤
4	4)	21世紀の健康と体力	講義	井藤
5	5)	体力測定・テストとは	講義	井藤
6	6)	新体力テストと諸外国の体力テスト	講義	井藤
7	7)	新体力テストのテスト項目と評価システム(1)	講義	井藤
8	7)	新体力テストのテスト項目と評価システム(2)	講義	井藤
9	8)	有酸素性能力と無酸素性能力(1)	講義	井藤
10	8)	有酸素性能力と無酸素性能力(2)	講義	井藤
11	9)	形態・身体組成	講義	井藤
12	10)	筋力・筋持久力・柔軟性	講義	井藤
13	11)	高齢者の体力測定法と評価	講義	井藤
14	12)	介護予防に関する体力測定法と評価	講義	井藤
15	13)	障がい者と体力	講義	井藤

教科書: 新体力テスト 有意義な活用のために(文部科学省)ぎょうせい【4-324-06135-1】
* 体力学演習においても使用します。必ず購入してください。

参考書: 健康運動指導士養成講習会テキスト(健康体力づくり事業財団)
健康運動実践指導者養成用テキスト(健康体力づくり事業財団)
公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目Ⅰ・Ⅱ(日本体育協会)

科目名: **スポーツ医学 I**

担当者: 加藤 晴康(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・実習

授業概要: 高齢化社会進む現在、スポーツは健康維持するために大変注目されている。しかし、成人病などを抱えている人たちが、安全にスポーツを行うためには、サポートする人たちが最低の医学的知識を有することが必要とされている。学生は、心電図の基本的知識を修得し、正常心電図と異常心電図を見分けること、スポーツ外傷の簡単な処置、負荷心電図の方法を理解することを目的とする。

到達目標: (SBOs) 1)スポーツ医学的な知識が必要な状況および必要となる具体的な知識を列挙することができる。
2)運動負荷試験の目的、必要性および具体的な方法について説明および実施することができる。
3)運動負荷試験の絶対的禁忌および相対的禁忌を列挙し、説明することができる。
4)心電図を測定することができ、正常心電図を説明することができる。
5)不整脈や虚血性心疾患の心電図を判断し、それを説明できる。
6)スポーツで生じる代表的な外傷・障害を列挙し、説明できる。
7)スポーツ外傷の応急処置、治療や予防ができる。
8)内科的疾患および救急疾患(熱中症・心肺停止)に対して、適切な処置ができる。

評価方法: 毎時間における小テストや発言などによる授業への取り組み、最終テストより総合的に判断する。

準備学習・履修上の注意等: 実習の時に、床に座ったり、横になつたりすることがある。実習の時は、対応できる服装が望ましい。1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【スポーツ医学について】 スポーツ現場でおきるアクシデントを探る	講義	加藤
2	2)	【運動負荷試験とは】 運動負荷試験について考えよう。	講義	加藤
3	3)	【運動負荷試験の禁忌1】 絶対に運動してはいけない病気とは。	講義	加藤
4	3)	【運動負荷試験の禁忌2】 とても注意しないと運動することができない病気とは。	講義	加藤
5	1)	【運動負荷試験】 運動負荷試験はどのように行うのか。	実習	加藤
6	4)	【運動負荷試験・心電図1】 正常心電図とは何?	講義	加藤
7	5)	【運動負荷試験・心電図2】 異常な心電図を見つけよう-不整脈・心筋梗塞	実習	加藤
8	6)	【スポーツ医学(外科系)】 スポーツのケガには、どのようなものがあるか。	講義	加藤
9	7)	【スポーツ医学(外科系)】 けが人が出た! そのときあなたは、どうする?	実習	加藤
10	7)	【スポーツ医学(外科系)】 スポーツ障害や変形性関節症などの疾患に運動プログラム、予防プログラムを作ってみよう。	実習	加藤
11	8)	【スポーツ医学(内科系)】 スポーツの現場で死者を出してはならない。	講義	加藤
12	8)	【スポーツ医学(内科系)】 突然死や熱中症の選手に対し、あなたはどのように対応しますか。	実習	加藤
13	6)7)	【スポーツ医学(頭部打撲)】 脳震盪の運動休止をしなければならない理由とその休止期間について説明できる。	講義	加藤
14	1)8)	【スポーツ医学(育成期スポーツ障害とドーピング)】 トップアスリートを育てるためには、どのような医学的サポートが必要か。	講義	加藤

15 1) 【トップアスリートサポート】
トップアスリートについて語ろう！

講義

加藤

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **スポーツ医学Ⅱ**

担当者: 加藤 晴康(非常勤講師:医師・スポーツドクター) 神田 潤一(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義・実習

授業概要: 競技力の向上に効果的で安全なスポーツ活動をサポートするシステムをはじめ、アスリートに生じやすい内科的障害や外科的な外傷・障害について理解し、その予防法と対応策、アスレティックリハビリテーション、コンディショニングなどの実際を身につける。そのほか、精神障害、特殊環境、アンチドーピングなど、スポーツを取り巻く様々な環境における医学的知識について学修する。

到達目標: (SBOs) 1)アスリートの健康管理について理解し、説明できる。
2)アスリートの内科的障害と対策について理解し、説明できる。
3)アスリートの外傷・障害と対策について理解し、説明できる。
4)アスレティックリハビリテーションとトレーニング計画について理解し、説明できる。
5)コンディショニングの手法について理解し、説明できる。
6)スポーツによる精神障害と対策について理解し、説明できる。
7)特殊環境下での対応について理解し、説明できる。
8)アンチドーピングについて理解し、説明できる。
9)コンディショニングの手法(ストレッチング、テーピング、アイシング、スポーツマッサージ)の実際について理解し、実施できる。

評価方法: 毎時間における小テストや発言などによる授業への取り組み、最終テストにより総合的に判断する。

準備学習・履修上の注意等: 実習の時に、床に座ったり、横になつたりすることがある。実習のときは、対応できる服装が望ましい。1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	アスリートの健康管理	講義	加藤
2	2)	アスリートの内科的障害と対策	講義	加藤
3	3)	アスリートの外傷・障害と対策1	講義	加藤
4	3)	アスリートの外傷・障害と対策2	講義	加藤
5	4)	アスレティックリハビリテーションとトレーニング計画1	講義	加藤
6	4)	アスレティックリハビリテーションとトレーニング計画2	講義	加藤
7	5)	コンディショニングの手法I	講義	加藤
8	6)	スポーツによる精神障害と対策	講義	加藤
9	7)	特殊環境下での対応	講義	加藤
10	8)	アンチドーピング	講義	加藤
11	9)	コンディショニングの手法の実際1	実習	神田
12	9)	コンディショニングの手法の実際2	実習	神田
13	9)	コンディショニングの手法の実際3	実習	神田
14	9)	コンディショニングの手法の実際4	実習	神田
15	9)	コンディショニングの手法の実際5	実習	神田

教科書: 使用しない。

参考書: 公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目Ⅲ(日本体育協会)

科目名: **公衆衛生学**

担当者: 秋葉 敏夫(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・動物療法専攻・スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 人々の健康の維持・増進は「福祉社会」の構築にとって基本的な要素となっている。公衆衛生学は「みんなの健康をみんなで守り、向上させるための組織的な営み」といえるので、社会福祉を学ぶ学生には大切な講義である。また、保健の教員を目指す学生にとっても、生徒の保健教育上、欠かせない情報が学ぶことができる。本講義を受講すれば、公衆衛生学の知識に基づいて、より良い福祉サービスが提供できるような視点を持てるようになる。特に、予防医学(特に感染症対策、母子保健、生活習慣病対策、老人保健、環境保健)、国際保健、保健行政の分野での理解を深めることができる。

到達目標: (SBOs) 1)公衆衛生の概念を理解できる。
2)公衆衛生と疾病の関係について説明ができる。
3)公衆衛生と様々な制度との関係を述べるができる。
4)世界の保健と公衆衛生活動の関係を説明できる。

評価方法: 授業後の小テスト(30%)、学期末の筆記試験(60%)、課題の提出状況・授業態度(10%)を考慮して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 講義中に学生の意見を求めることがある。緊張感を持って講義に臨んでほしい。
学習の範囲が広範囲に及ぶので、教科書を用いた十分な復習(1時間以上)が必要である。

オフィスアワー: 火・水・木曜日12:15~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)	公衆衛生では何を学ぶのか?	講義	秋葉
2		健康の定義とは?	講義	秋葉
3		健康と環境はどのように関連しているのか?	講義	秋葉
4		公衆衛生学で用いられる疫学的手法にどんなものがあるのか?	講義	秋葉
5		健康に関する指標がなぜ大事なのか?	講義	秋葉
6		公衆衛生上重要な感染症にどんなものがあるのか?	講義	秋葉
7		公衆衛生上重要な感染症にどんなものがあるのか?	講義	秋葉
8		栄養と健康はどんな関係になっているのか?	講義	秋葉
9		生活環境の保全てなんなの?	講義	秋葉
10		日本の医療制度はどうなっているのか?	講義	秋葉
11		地域保健活動ってなに?	講義	秋葉
12		母子保健はなぜ大事なのか?	講義	秋葉
13		学校保健はどんな内容なの?	講義	秋葉
14		生活習慣病、難病はどんなインパクトを社会に与えているのか?	講義	秋葉
15		ヘルスプロモーションてなんなの?	講義	秋葉

教科書: わかりやすい公衆衛生学(清水 忠彦・佐藤 拓代)ニューヴェルヒロカワ【978-86174-030-5】

参考書: 使用しない。

科目名: **スポーツファーストエイド**

担当者: 神田潤一(福・ス)、山田強一(非常勤:医師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・実習

授業概要: 重篤な傷害や疾患についての知識を身につけたうえで、心肺蘇生法やAEDなどの第一発見者が行うべき救急処置法や、スポーツ現場で頻発する怪我に対する応急処置を実践を通じて学ぶ。また、スポーツ現場に必要な救急体制の整備についての知識も習得していく。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 救急処置とは・救急時の行動と救急処置の実際について理解し、説明できる。
 - 2) 整形外科的障害(骨・関節および筋の損傷～RICE・固定法)の救急処置について理解し、説明できる。
 - 3) 整形外科的障害(骨・関節および筋の損傷～RICE・固定法)の救急処置について理解し、実施できる。
 - 4) 外科的救急処置(創傷と出血)の救急処置について理解し、説明できる。
 - 5) 外科的救急処置(創傷と出血)の救急処置について理解し、実施できる。
 - 6) 心肺蘇生法について理解し、説明できる。
 - 7) 心肺蘇生法について理解し、実施できる。
 - 8) 頭部外傷の救急処置について理解し、説明できる。
 - 9) 頭部外傷の救急処置について理解し、実施できる。
 - 10) ショックの救急処置について理解し、説明できる。
 - 11) ショックの救急処置について理解し、実施できる。
 - 12) 高温と低温による障害の救急処置について理解し、説明できる。
 - 13) 高温と低温による障害の救急処置について理解し、実施できる。
 - 14) 救急体制について理解し、説明できる。

評価方法: 実技試験
(心肺蘇生、頭部外傷、整形外科的障害、救急対応)

準備学習・履修上の注意等: 技術習得のための理解は必須です。予習・復習は1コマあたり4時間を目安に行うこと。

オフィスアワー: 講義時間以外の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	救急処置とは・救急時の行動と救急処置の実際	講義	神田
2	2)	整形外科的障害(骨・関節および筋の損傷～RICE・固定法)	講義	山田
3	3)	整形外科的障害(骨・関節および筋の損傷～RICE・固定法) 実習	実習	山田
4	4)	外科的救急処置(創傷と出血)	講義	神田
5	5)	外科的救急処置(創傷と出血) 実習	実習	神田
6	6)	心肺蘇生法	講義	山田
7	7)	心肺蘇生法 実習1	実習	山田
8	7)	心肺蘇生法 実習2	実習	神田
9	8)	頭部外傷	講義	神田
10	9)	頭部外傷 実習	実習	神田
11	10)	ショック	講義	神田
12	11)	ショック 実習	実習	神田
13	12)	高温と低温による障害	講義	神田
14	13)	高温と低温による障害 実習	実習	神田
15	14)	救急体制	講義	神田

教科書: 1回目の講義にて説明。

参考書: 健康運動指導士養成講習会テキスト(健康・体づくり事業財団)、健康運動実践指導者養成用テキスト(健康・体づくり事業財団)、公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑧救急処置(日本体育協会)

科目名: **アダプテッドスポーツ論**

担当者: 松田 智香子(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: アダプテッド(adapted)とは「適合した」という意味である。歴史的には障がい者を対象にスポーツをリハビリテーションの一環として取り入れたことから始まり、現在では競技にまで発展している。本講義では、「アダプテッド・スポーツ」種目の意味と必要性を認識、アダプテッド・スポーツを取り巻いている身体的・文化的・社会的背景、そして関わっている諸々の事象について理解し、将来、福祉分野や障がい者スポーツ分野で実践的に活かせる知識の修得を目指す。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)アダプテッド・スポーツの科学的支援の意義と内容を説明できる。
 - 2)アダプテッド・スポーツの歴史と競技として発展した背景を説明できる。
 - 3)アダプテッド・スポーツが心身の健康に及ぼす効果について説明できる。
 - 4)障がい者におけるトレーナビリティの可能性を説明できる。
 - 5)高齢者におけるトレーナビリティの可能性を説明できる。
 - 6)高齢者・障がい者にとってのレクリエーションの意義を説明できる。
 - 7)アダプテッド・スポーツがノーマライゼーション社会の実現に与えた影響について説明できる。
 - 8)女性のアダプテッド・スポーツへの参加の現状と課題について説明できる。
 - 9)アダプテッド・スポーツ発展のための法的・行政的支援について説明できる。
 - 10)アダプテッド・スポーツにおけるボランティアの果たすべき役割や意義を説明することができる。
 - 11)幼児期、高齢者、障がい者(肢体不自由者)で実施されているアダプテッド・スポーツを説明できる。
 - 12)障がい者(知的、精神)のアダプテッド・スポーツの実際を説明できる。
 - 13)アダプテッド・スポーツを指導する上での現状と課題、さらに今後の展望を論じることができる。

評価方法: 期末試験(90%)、授業態度・課題への取り組み(10%)
原則、再試験は行わない。
なお、再試験を行う場合は、本試験で基準点以上の者のみ再試験を受験できる。
(基準点は授業時に説明する)

準備学習・履修上の注意等: 授業時に配布した資料やノートをまとめ事後学習を行う。また毎授業後に次回授業内容を提示するので事前準備を行うなど1コマ当り4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割が決定次第、掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	アダプテッド・スポーツの提唱と基本理念	講義	松田
2	2)	アダプテッド・スポーツの歴史変遷	講義	松田
3	2)	アダプテッド・スポーツ発展の社会的背景	講義	松田
4	1)2)	アダプテッド・スポーツと障がい者・高齢者の福祉	講義	松田
5	9)10)	アダプテッド・スポーツの法的、行政的支援	講義	松田
6	10)	アダプテッド・スポーツにおけるボランティアの意義	講義	松田
7	1)9)13)	アダプテッド・スポーツの指導者システム	講義	松田
8	3)6)	アダプテッド・スポーツとリハビリテーション、レクリエーション	講義	松田
9	6)7)	アダプテッド・スポーツとノーマライゼーション	講義	松田
10	3)	健康とアダプテッド・スポーツ	講義	松田
11	3)4)	体力運動能力の向上とアダプテッド・スポーツ①(障がい者)	講義	松田
12	3)5)	体力運動能力の向上とアダプテッド・スポーツ②(中高年・高齢者)	講義	松田
13	8)	女性とアダプテッド・スポーツ	講義	松田
14	11)	アダプテッド・スポーツの実際①(幼児期、高齢者、障がい者(肢体不自由))	講義	松田
15	12)	アダプテッド・スポーツの実際②(障がい者(知的、精神))	講義	松田

教科書: 特になし。

参考書: 特になし。

科目名: コーチング論

担当者: 正野 知基(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: スポーツ指導者は、基本的には多種多様な世代・層の人たちに対して、それぞれの関心や目的に応じた指導・支援と環境づくりを行わなくてはならない。いくらトレーニングの原理・原則に基づいたプログラムを作成できたとしても、競技者の自発性や積極性を導き出して主体的にトレーニングに取り組んでもらえなければ、その効果を十分に得ることはできない。そこで本講義では、指導者の役割、コーチングの基本的な考え方を理解し、さらにスポーツ活動やパフォーマンスを促進する指導に際して必要な、競技者及び指導者自身のメンタルマネジメントについての知識を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) スポーツ指導者の必要性、スポーツ医科学に関する知識の必要性を理解し、説明できる。
2) スポーツ指導者が備えるべき倫理性について理解し、説明できる。
3) スポーツ指導者がその役割を果たすために必要な心構え、どのような視点を持つべきか理解し、説明できる。
4) 世界の舞台を目指すアスリートの発掘・育成の重要性と指導者の役割について理解し、説明できる。
5) プレーヤーと指導者の望ましい関係について理解し、説明できる。
6) ミーティングの方法について理解し、説明できる。
7) 世界の頂点をめざすアスリートの育成・強化の在り方と指導者の役割について理解し、説明できる。
8) メンタルマネジメントおよびメンタルトレーニングの理論とその方法について理解し、説明できる。
9) 指導者のメンタルマネジメントについて理解し、説明できる。

評価方法: 定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業中に理解度を確認するために学生への質問を適宜行う。緊張感を持って参加すること。毎回の授業後に次回授業内容を示すので、必ず予習を行って授業に臨むこと。また、配布資料・ノートをしっかりとまとめ、復習を行うこと。予習復習は1コマ当たり4時間を目安とする。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日 12:30～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	スポーツ指導者とは	講義	正野
2	2)	スポーツ指導者の倫理	講義	正野
3	3)	指導者の心構え・視点	講義	正野
4	4)	世界の舞台を目指すアスリートの発掘・育成の重要性と指導者の役割	講義	正野
5	5)	プレーヤーと指導者の望ましい関係	講義	正野
6	6)	ミーティングの方法	講義	正野
7	7)	世界の頂点をめざすアスリートの育成・強化の在り方と指導者の役割(1)	講義	正野
8	7)	世界の頂点をめざすアスリートの育成・強化の在り方と指導者の役割(2)	講義	正野
9	8)	メンタルマネジメントとメンタルトレーニング(1)	講義	正野
10	8)	メンタルマネジメントとメンタルトレーニング(2)	講義	正野
11	8)	メンタルマネジメントとメンタルトレーニング(3)	講義	正野
12	8)	メンタルマネジメントとメンタルトレーニング(4)	講義	正野
13	8)	メンタルマネジメントとメンタルトレーニング(5)	講義	正野
14	8)	メンタルマネジメントとメンタルトレーニング(6)	講義	正野
15	9)	指導者のメンタルマネジメント	講義	正野

教科書: 使用しない。

参考書: 公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(日本体育協会)

科目名: **運動器の解剖と機能 I**

担当者: 神田潤一(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: バイオメカニクス、運動生理学で学習した身体の構造と機能を基に各関節の動きを理解し、関節可動域の測定方法を学ぶ。筋肉の起始・付着、各関節運動にかかわる筋肉を理解し、徒手筋力テストの方法を学ぶ。運動器の解剖と機能 I では、上肢・体幹を中心に学ぶ。

到達目標: (SBOs)

- 1) 運動器の解剖と機能の概論について理解し、説明できる。
- 2) 脊椎の解剖と機能について理解し、説明できる。
- 3) 脊椎の関節可動域について理解し、説明できる。
- 4) 上肢の解剖と機能について理解し、説明できる。
- 5) 上肢の関節可動域について理解し、説明できる。
- 6) 下肢の解剖と機能について理解し、説明できる。
- 7) 下肢の関節可動域について理解し、説明できる。
- 8) 頸部・体幹の解剖と機能について理解し、説明できる。
- 9) 頸部・体幹の徒手筋力テストについて理解し、実施できる。
- 10) 肩の解剖と機能について理解し、説明できる。
- 11) 肩の徒手筋力テストについて理解し、実施できる。
- 12) 肘・前腕・手の解剖と機能について理解し、説明できる。
- 13) 肘・前腕・手の徒手筋力テストについて理解し、実施できる。

評価方法: 定期試験により評価する。

準備学習・履修上の注意等: バイオメカニクス、運動生理学を合格した者が受講可能。
予習・復習を必ず行うこと。

オフィスアワー: 講義時間以外の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	運動器の解剖と機能概論	講義	神田
2	2)	脊椎	講義	神田
3	3)	脊椎の関節可動域	講義	神田
4	4)	上肢	講義	神田
5	5)	上肢の可動域	講義	神田
6	6)	下肢	講義	神田
7	7)	下肢の可動域	講義	神田
8	2~7)	2~7回目の授業のまとめ	講義	神田
9	8)	頸部・体幹	講義	神田
10	9)	頸部・体幹の徒手筋力テスト	講義	神田
11	10)	肩	講義	神田
12	11)	肩の徒手筋力テスト	講義	神田
13	12)	肘・前腕・手	講義	神田
14	13)	肘・前腕・手の徒手筋力テスト	講義	神田
15	8~13)	9~14回目の授業のまとめ	講義	神田

教科書: 1回目の講義にて説明。

参考書: 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト②運動器の解剖と機能(日本体育協会)

科目名: **運動器の解剖と機能Ⅱ**

担当者: 神田 潤一(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: バイオメカニクス、運動生理学で学習した身体の構造と機能を基に各関節の動きを理解し、関節可動域の測定方法を学ぶ。筋肉の起始・付着、各関節運動にかかわる筋肉を理解し、徒手筋力テストの方法を学ぶ。運動器の解剖と機能Ⅱでは、下肢について学んだ後、身体全体の運動について総合的に学ぶ。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 股関節の解剖と機能について理解し、説明できる。
 - 2) 股関節の関節可動域について理解し、説明できる。
 - 3) 膝関節の解剖と機能について理解し、説明できる。
 - 4) 膝関節の関節可動域について理解し、説明でき
 - 5) 足関節の解剖と機能について理解し、説明でき
 - 6) 足関節の関節可動域について理解し、説明でき
 - 7) バイオメカニクスの原理について理解し、説明できる。
 - 8) 肩ユニットのバイオメカニクスについて理解し、説明できる。
 - 9) 肘・手関節ユニットのバイオメカニクスについて理解し、説明できる。
 - 10) 脊椎ユニットのバイオメカニクスについて理解し、説明できる。
 - 11) 股関節ユニットのバイオメカニクスについて理解し、説明できる。
 - 12) 膝関節ユニットのバイオメカニクスについて理解し、説明できる。
 - 13) 足関節ユニットのバイオメカニクスについて理解し、説明できる。

評価方法: 定期試験及び実技テストの総合評価

準備学習・履修上の注意等: 運動器の解剖と機能Ⅰを合格した者が受講可能。
予習・復習は1コマあたり4時間を目安に行うこと。

オフィスアワー: 講義時間以外の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	股関節	講義	神田
2	2)	股関節の関節可動域	講義	神田
3	3)	膝関節	講義	神田
4	4)	膝関節の関節可動域	講義	神田
5	5)	足関節	講義	神田
6	6)	足関節の関節可動域	講義	神田
7	1)~6)	1~6回目授業のまとめ	講義	神田
8	7)	バイオメカニクスの原理	講義	神田
9	8)	肩ユニット	講義	神田
10	9)	肘・手関節ユニット	講義	神田
11	10)	脊椎ユニット	講義	神田
12	11)	股関節ユニット	講義	神田
13	12)	膝関節ユニット	講義	神田
14	13)	足関節ユニット	講義	神田
15	7)~13)	8~14回目の授業のまとめ	講義	神田

教科書: 1回目の講義にて説明。

参考書: ・公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト②運動器の解剖と機能(日本体育協会)
・新・徒手筋力検査法 Helen J. Hislop, Jacqueline Montgomery 著 津山直一, 中村耕三 訳 共同医書

科目名: **スポーツ科学**

担当者: 正野 知基(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: スポーツ科学とは、現象としてのスポーツ活動の中に存在し作用している法則性を見出して、競技力向上や心身の健康、スポーツ活動そのものに役立つ知識を得ようとする学問である。本講義では、スポーツ科学研究の成果として明らかとなった競技スポーツ指導者に必要な身体の仕組みと働きについて理解し、さらに競技者育成のための指導法についての知識を修得する。

到達目標: (SBOs)
1)運動器の仕組みと働きを理解し、説明できる。
2)呼吸循環器系の働きとエネルギー供給に仕組みについて理解し、説明できる。
3)スポーツバイオメカニクスの基礎について理解し、説明できる。
4)スキルの獲得とその獲得過程について理解し、説明できる。
5)競技力向上のためのトレーニング計画とその実際について理解し、説明できる。
6)トップアスリートを育てるために指導者が持つべき視点について理解し、説明できる。
7)トップアスリートの育成・強化の方法とその評価について理解し、説明できる。
8)競技力向上のためのチームマネジメントについて理解し、説明できる。
9)競技力向上のための情報とその活用について理解し、説明できる。

評価方法: 定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業中に理解度を確認するために学生への質問を適宜行う。緊張感を持って参加すること。予習復習は1コマ当たり4時間を目安とする。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日 12:30～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	運動器の仕組みと働き(1)	講義	正野
2	1)	運動器の仕組みと働き(2)	講義	正野
3	2)	呼吸循環器系の働きとエネルギー供給(1)	講義	正野
4	2)	呼吸循環器系の働きとエネルギー供給(2)	講義	正野
5	3)	スポーツバイオメカニクスの基礎(1)	講義	正野
6	3)	スポーツバイオメカニクスの基礎(2)	講義	正野
7	4)	スキルの獲得とその獲得過程(1)	講義	正野
8	4)	スキルの獲得とその獲得過程(2)	講義	正野
9	5)	競技力向上のためのトレーニング計画とその実際(1)	講義	正野
10	5)	競技力向上のためのトレーニング計画とその実際(2)	講義	正野
11	6)	トップアスリートを育てるために～指導者が持つべき視点～	講義	正野
12	7)	トップアスリートの育成・強化の方法とその評価	講義	正野
13	8)	競技力向上のためのチームマネジメント(1)	講義	正野
14	8)	競技力向上のためのチームマネジメント(2)	講義	正野
15	9)	競技力向上のための情報とその活用	講義	正野

教科書: 使用しない

参考書: 公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目Ⅲ(日本体育協会)

科目名: トレーニング科学

担当者: 正野 知基(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: トレーニング科学とは、人間の運動パフォーマンス向上を目指して行われる種々のトレーニングに関する実証可能な知識を体系化したものである。競技力を向上させるためには、的確なトレーニング指導が必須となる。コンディショニングおよびリハビリテーションをトレーニングの一環と捉えると、アスレティックトレーナーのトレーニングへのかかわりは極めて広く深いものである。本講義では、アスレティックトレーナーに必要なトレーニング科学の基礎について理解し、さらにその実際についての知識を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)運動パフォーマンス向上とトレーニングとの関係を理解し、説明できる。
2)運動パフォーマンス向上を目指した的確なトレーニング条件の設定について理解し、説明できる。
3)運動パフォーマンス向上を目指した的確なトレーニングプランの作成について理解し、説明できる。
4)有酸素性機能を向上させるためのトレーニングについて理解し、説明できる。
5)無酸素性機能を向上させるためのトレーニングについて理解し、説明できる。
6)神経機能にかかわる身体能力を向上させるためのトレーニングについて理解し、説明できる。
7)柔軟性とトレーニングとの関係について理解し、説明できる。
8)身体組成・体型とトレーニングとの関係について理解し、説明できる。
9)最新のトレーニング方法について理解し、説明できる。
10)トレーニングを行う際の注意点について理解し、説明できる。

評価方法: 定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業中に理解度を確認するために学生への質問を適宜行う。緊張感を持って参加すること。予習復習は1コマ当たり4時間を目安とする。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日 12:30～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	運動パフォーマンス向上とトレーニング	講義	正野
2	2)	トレーニングの条件(1)	講義	正野
3	2)	トレーニングの条件(2)	講義	正野
4	3)	トレーニングのプラン(1)	講義	正野
5	3)	トレーニングのプラン(2)□	講義	正野
6	4)	有酸素性機能(全身持久力・筋持久力)とトレーニング(1)	講義	正野
7	4)	有酸素性機能(全身持久力・筋持久力)とトレーニング(2)	講義	正野
8	5)	無酸素性機能(筋力・パワー)とトレーニング(1)	講義	正野
9	5)	無酸素性機能(筋力・パワー)とトレーニング(2)	講義	正野
10	6)	神経機能(巧緻性・スピード・バランス)とトレーニング(1)	講義	正野
11	6)	神経機能(巧緻性・スピード・バランス)とトレーニング(2)	講義	正野
12	7)	柔軟性とトレーニング	講義	正野
13	8)	身体組成・体型とトレーニング	講義	正野
14	9)	新しいトレーニング	講義	正野
15	10)	トレーニングでの注意点	講義	正野

教科書: トレーニング科学(北川 薫)文光堂【978-4-8306-5164-9】

参考書: 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト ワークブック スポーツ科学(日本体育協会)文光堂

科目名: **スポーツ原理**

担当者: 山本 順之(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 「スポーツとは何か」という根本的な問いに対して、スポーツの起源から普及、発展等、歴史的過程を踏まえ、現代社会における様々なスポーツの概念や価値等を把握する。具体的には、近代スポーツを中心としたスポーツの歴史についてイギリス、及びアメリカにおけるスポーツの普及、発展とそこで創りあげられたスポーツのイデオロギーや価値等について理解する。そして、こうしたスポーツのイデオロギーや価値とともにスポーツがもつ本質的な構造、機能、さらには現代におけるスポーツの様相、現状とその課題を検討する能力や思考を習得する。

到達目標: (SBOs) 1) 古代から近代にかけてのスポーツの歴史的展開について説明できる。
2) あそびとスポーツの原理的な関係について説明できる。
3) 近代スポーツの普及、発展について説明できる。
4) 現代スポーツにおける諸課題を理解し、スポーツのあり方について説明できる。
5) 体育の特徴とその歴史的展開について説明できる。
6) 体育とスポーツの関係性を説明できる。

評価方法: 定期試験(60%)小課題(レポート・小テスト等)(20%) 講義内における総合的姿勢(20%)

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり4時間を目安に予習・復習する。設定された各テーマ関連する小課題を提出する。

オフィスアワー: 時間割発表後に研究室ドアに掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)3)	【スポーツとは何か?】 スポーツの概念について現代スポーツにおけるさまざまな課題(例えば、ドーピングや八百長問題)からスポーツとは何なのかを問うことで、スポーツの概念定義を理解する。	講義	山本
2	1)2)	【スポーツの起源】 古代スポーツ(エスニックスポーツ)における祝祭性や宗教性を理解する。また、遊戯論(ホイジンガ)との関連性について理解する。	講義	山本
3	1)3)	【近代スポーツの出現】 イギリスの歴史社会的状況を踏まえ、いかにして近代スポーツが創りあげられたかについて理解する。特に、近代スポーツのイデオロギーとして現代まで脈々と継承されるジェントルマンシップやアスレティシズムについて理解する。	講義	山本
4	3)	【近代スポーツとアメリカ】 イギリスから伝播した近代スポーツがアメリカでアメリカナイズされる過程とその特徴について理解する。	講義	山本
5	3)	【近代スポーツにおけるイギリスとアメリカのイデオロギー】 第3回・4回にて学習したイギリス及びアメリカそれぞれにおける近代スポーツのあり方について比較検討し、現代スポーツにおけるその影響について理解する。	講義	山本
6	4)	【現代スポーツにおける課題】 肥大化するスポーツイベントから現代スポーツの課題を理解する。	講義	山本
7	4)	【現代スポーツにおける課題】 プロフェッショナルスポーツにおける課題について理解する。	講義	山本
8	4)	【現代スポーツにおける課題】 ドーピング問題について理解する。	講義	山本
9	4)	【現代スポーツにおける課題】 スポーツマンの不正行為について理解する。	講義	山本
10	4)	【現代スポーツにおける課題】 グローバル化するスポーツについて理解する。	講義	山本
11	4)	第6回から第10回までの講義において理解した現代スポーツにおけるさまざまな課題からみた新たなスポーツのあり方論について理解する。	講義	山本
12	5)	【スポーツと体育の比較】 わが国における体育の概念についてその歴史的過程を踏まえ、どのように体育なるものが発展してきたか理解する。	講義	山本

13	5)6)	【現代におけるスポーツと体育】 現代における体育とスポーツの関連性について概観し、その関係性を構築してきた歴史的過程について理解する。	講義	山本
14	5)6)	【現代におけるスポーツと体育】 現代におけるスポーツと体育の関連性から、その狭間に存在する課題について理解する。	講義	山本
15	2)4)6)	【スポーツとは何か？なぜ必要なのか？】 体育を含め人間にとってのスポーツの存在意義と今後の新たなスポーツの創造について理解する。	講義	山本

教科書： 使用しない。

参考書： 必要に応じて資料を配布する。

科目名: **スポーツ健康福祉論**

担当者: 佐藤圭創(薬)、松田 智香子(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 「スポーツ」「健康」「福祉」の3つの側面から時代的背景やそれらの相互関係について学ぶ。健康とは何かについてその歴史的变化や、社会や個人の健康への取り組みを概観し、現代に至るまでの制度や施策について理解する。また運動不足から生じる様々な疾病や障がいの現状を知り、その具体的対処法を学ぶ。これらの理解を基に「身体を動かすこと」の意味を知り、健康のあり方について総合的に考える能力の修得を目指す。

到達目標: (SBOs)

- 1)健康と身体、健康と身体活動の関係について説明できる。
- 2)身体活動と福祉の関係について説明できる。
- 3)健康の概念と医事法規について説明できる。
- 4)健康づくり施策について理解し、説明することができる。
- 5)運動の基準と指針について特徴的なことが列挙できる。
- 6)生活習慣病について列挙できる。
- 7)生活習慣病と運動疫学について学んだことを基に改善策を提案できる。
- 8)介護予防への取り組みについて理解し、その問題点を説明できる。
- 9)健康づくりのための運動やレクリエーションの重要性について説明できる。
- 10)福祉社会においてスポーツやレクリエーションの役割や在り方について説明できる。

評価方法: 定期試験(90%)、授業態度・課題への取り組み(10%)
原則、再試験は行わない。
なお、再試験を行う場合は本試験で基準点以上の者のみ再試験を受験できる。
(再試験を受験するための本試験での基準点については授業時に説明する)

準備学習・履修上の注意等: 毎授業後に必ずレジュメを読み返し、講義ノートと合わせて要点をまとめる。また毎授業終了時に次回授業内容を示すので、事前学習を行うなど1コマ当り4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割が確定後に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	スポーツ健康福祉論の目的	講義	松田
2	1)2)	健康と身体活動・運動	講義	松田
3	1)9)	トレーニングとは	講義	松田
4	1)9)	健康づくりのための運動	講義	松田
5	9)10)	健康づくりとスポーツ、レクリエーション	講義	松田
6	9)10)	福祉とスポーツ、レクリエーション	講義	松田
7	9)10)	障がい者のスポーツ、レクリエーション	講義	松田
8	9)10)	高齢者のスポーツ、レクリエーション	講義	松田
9	9)10)	福祉社会のスポーツ、レクリエーション	講義	松田
10	3)	健康管理概論①	講義	佐藤
11	4)	健康づくり施策①	講義	佐藤
12	5)	健康づくり施策②	講義	佐藤
13	6)	健康管理概論	講義	佐藤
14	7)	健康づくり施策	講義	佐藤
15	8)	健康管理概論	講義	佐藤

教科書: 特になし。

参考書: 特になし。

科目名: **運動処方論**

担当者: 小川 芳徳(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 健康を維持増進するためには“適度”な運動が必要であり、そのため「運動」の基本や原則について知ることは欠かせない知識である。
運動処方では、「運動」についてその基本・原則を学び、運動プログラムの作成、「運動」を提供する上での注意点を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 運動の効果を説明できる。
2) 運動(トレーニング)の原則を説明できる。
3) メディカルチェックの意味を説明できる。
4) 運動プログラムの重要性を説明できる。
5) 運動プログラムの内容を説明できる。
6) 運動プログラムを作成できる。
7) 利用者のニーズに則した適切な運動プログラムを提供できる。

評価方法: 授業ごとの確認テストにより形成的評価(授業の指導方法の確認・修正のための評価)を行う。学習への取り組み姿勢(授業態度、課題の提出)の評価を20%及び学期末の単位認定試験80%とし、総括的評価を行う

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき4時間の予習・復習を行うこと(土、日、祝日、長期休暇を用いて)。授業プリントの次回授業部分(事前に配布する)を読んでおくこと。

オフィスアワー: 12:30~13:00(会議などを除く)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	1 運動処方とはなにか	講義	小川
2	1)2)	2 運動の効果と運動不足	講義	小川
3	3)	3 検診結果の読み方および効果判定1:健康診査、血液検査、尿検査	講義	小川
4	3)	4 検診結果の読み方および効果判定2:生理的検査の種類と見方	講義	小川
5	3)	5 メディカルチェックの重要性1:個人歴、血液検査、心電図、運動負荷テスト	講義	小川
6	3)	6 メディカルチェックの重要性2:運動前・中・後、トレーニング中のチェック	講義	小川
7	4)~6)	7 運動プログラム作成の理論1:運動プログラムの基本原則	講義	小川
8	4)~6)	8 運動プログラム作成の理論2:運動負荷試験の種類とエネルギー消費	講義	小川
9	4)~6)	9 運動プログラム作成の理論3:ウォーミングアップ、クーリングダウン、運動様式	講義	小川
10	1)~7)	10 服薬者における運動プログラム作成の基本、運動中の事故防止について	講義	小川
11	1)~7)	11 高血圧、糖尿病、脂質異常、メタボリックシンドロームの服薬者に対する運動プログラム	講義	小川
12	1)~7)	12 生活習慣病に対する適切な運動プログラム1:複合的な症状に対するプログラム	講義	小川
13	1)~7)	13 生活習慣病に対する適切な運動プログラム2:虚血性心疾患、腰痛症	講義	小川
14	1)~7)	14 生活習慣病に対する適切な運動プログラム3:肥満症、高血圧症	講義	小川
15	1)~7)	15 生活習慣病に対する適切な運動プログラム4:糖尿病、変形性関節症	講義	小川

教科書： 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: **体力学演習**

担当者: 井藤 英俊(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 「体力」の測定方法、その結果の評価・活用方法について、体力学の講義で学んだことを基に演習を行うことによって、より理解を深めていく。新体力テストおよび運動適性テストといった特殊な測定機器を使用せずに実施できるフィールドテストを実際に体験していきながら、その実施方法を体得していく。また、これらのテストによって得られたデータをどのように活用するのかについて、基礎的な統計処理法を学ぶことによって、体力測定結果の分析・評価方法を修得する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 新体力テストの実施計画と運営方法について理解し、説明できる。
- 2) 新体力テスト(20-64歳対象)の各テスト項目の実施方法を理解し、実施できる。
- 3) テスト結果の分析・評価法について理解し、実施できる。
- 4) 新体力テスト(65-79歳対象)の各テスト項目の実施方法を理解し、実施できる。
- 5) 介護予防に関する体力テストの各テスト項目の実施方法を理解し、実施できる。
- 6) 上記項目において実施していないその他の調整力テストの各テスト項目の実施方法を理解し、実施できる。
- 7) 運動適性テストの実施計画と運営方法について理解し、説明できる。
- 8) 運動適性テストの各テスト項目の実施方法を理解し、実施できる。
- 9) 形態・身体組成を測定するための各測定の実施方法を理解し、実施できる。
- 10) 各種体力テストの分析・評価結果の活用方法について理解し、活用できる。

評価方法: レポート(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 教科書を必ず購入・持参すること。なお、この教科書は体力学で使用したものである。授業中に理解度を確認するために学生への質問を適宜行う。緊張感を持って参加すること。各種体力テストを円滑に進めるため、予習をして授業に臨むこと。また、最後にレポートとしてまとめるので、体力テストで得られたデータの整理、授業の復習を怠らないこと。予習復習は1コマ当たり4時間を目安とする。日常生活の中でも身体を動かすことを意識し、健康管理に努めること。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日 12:30～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	新体力テストの実施計画と運営	講義	井藤
2	2)	新体力テストの実施(20-64歳対象)(1)	実習	井藤
3	2)	新体力テストの実施(20-64歳対象)(2)	実習	井藤
4	3)	テスト結果の分析・評価法(1)	演習	井藤
5	3)	テスト結果の分析・評価法(2)	演習	井藤
6	4)	新体力テストの実施(65-79歳対象)(1)	実習	井藤
7	4)	新体力テストの実施(65-79歳対象)(2)	実習	井藤
8	5)	介護予防に関する体力測定(1)	実習	井藤
9	5)	介護予防に関する体力測定(2)	実習	井藤
10	6)	その他の調整力テストの実施	実習	井藤
11	7)	運動適性テストとは	講義	井藤
12	8)	運動適性テストの実施	実習	井藤
13	9)	形態・身体組成の測定(1)	実習	井藤
14	9)	形態・身体組成の測定(2)	実習	井藤
15	10)	測定結果の活用法	演習	井藤

教科書: 新体力テスト 有意義な活用のために(文部科学省)ぎょうせい【4-324-06135-1】
* 体力学において使用したものです。

参考書: 健康運動指導士養成講習会テキスト(健康体力づくり事業財団)
健康運動実践指導者養成用テキスト(健康体力づくり事業財団)
公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目Ⅰ・Ⅱ(日本体育協会)
公認スポーツプログラマー専門科目テキスト(日本体育協会)

科目名: **体力学演習**

担当者: 井藤 英俊(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 「体力」の測定方法、その結果の評価・活用方法について、体力学の講義で学んだことを基に演習を行うことによって、より理解を深めていく。新体力テストおよび運動適性テストといった特殊な測定機器を使用せずに実施できるフィールドテストを実際に体験していきながら、その実施方法を体得していく。また、これらのテストによって得られたデータをどのように活用するのかについて、基礎的な統計処理法を学ぶことによって、体力測定結果の分析・評価方法を修得する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 新体力テストの実実施計画と運営方法について理解し、説明できる。
- 2) 新体力テスト(20-64歳対象)の各テスト項目の実施方法を理解し、実施できる。
- 3) テスト結果の分析・評価法について理解し、実施できる。
- 4) 新体力テスト(65-79歳対象)の各テスト項目の実施方法を理解し、実施できる。
- 5) 介護予防に関する体力テストの各テスト項目の実施方法を理解し、実施できる。
- 6) 上記項目において実施していないその他の調整力テストの各テスト項目の実施方法を理解し、実施できる。
- 7) 運動適性テストの実実施計画と運営方法について理解し、説明できる。
- 8) 運動適性テストの各テスト項目の実施方法を理解し、実施できる。
- 9) 形態・身体組成を測定するための各測定の実施方法を理解し、実施できる。
- 10) 各種体力テストの分析・評価結果の活用方法について理解し、活用できる。

評価方法: レポート(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 教科書を必ず購入・持参すること。なお、この教科書は体力学で使用したものである。授業中に理解度を確認するために学生への質問を適宜行う。緊張感を持って参加すること。各種体力テストを円滑に進めるため、予習をして授業に臨むこと。また、最後にレポートとしてまとめるので、体力テストで得られたデータの整理、授業の復習を怠らないこと。予習復習は1コマ当たり4時間を目安とする。日常生活の中でも身体を動かすことを意識し、健康管理に努めること。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日 12:30～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	新体力テストの実実施計画と運営	講義	井藤
2	2)	新体力テストの実実施(20-64歳対象)(1)	実習	井藤
3	2)	新体力テストの実実施(20-64歳対象)(2)	実習	井藤
4	3)	テスト結果の分析・評価法(1)	演習	井藤
5	3)	テスト結果の分析・評価法(2)	演習	井藤
6	4)	新体力テストの実実施(65-79歳対象)(1)	実習	井藤
7	4)	新体力テストの実実施(65-79歳対象)(2)	実習	井藤
8	5)	介護予防に関する体力測定(1)	実習	井藤
9	5)	介護予防に関する体力測定(2)	実習	井藤
10	6)	その他の調整力テストの実実施	実習	井藤
11	7)	運動適性テストとは	講義	井藤
12	8)	運動適性テストの実実施	実習	井藤
13	9)	形態・身体組成の測定(1)	実習	井藤
14	9)	形態・身体組成の測定(2)	実習	井藤
15	10)	測定結果の活用法	演習	井藤

教科書: 新体力テスト 有意義な活用のために(文部科学省)ぎょうせい【4-324-06135-1】
* 体力学において使用したものです。

参考書: 健康運動指導士養成講習会テキスト(健康体力づくり事業財団)
健康運動実践指導者養成用テキスト(健康体力づくり事業財団)
公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目Ⅰ・Ⅱ(日本体育協会)
公認スポーツプログラマー専門科目テキスト(日本体育協会)

科目名: **学校保健**

担当者: 玉江 和義(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 学校保健の構造と内容を十分に理解していくことを第一とし、とりわけ、主たる学校保健対象者である園児・児童・生徒・学生に対して学校全体で取り組むべき保健教育と保健管理の内容と方法について述べる。また、わが国における学校保健の歴史的経緯を説明し、今後のわが国における学校保健が、学校教育ならびに公衆衛生活動として、どのように実践されるべきであるのかについて講じる。

到達目標: (SBOs) 1)学校保健の構造について説明できる。
2)我が国における児童・生徒の心身の実情について講じることができる。
3)ヘルスプロモーションについて説明できる。
4)性教育の歴史的経緯と実情について説明できる。
5)感染症について概説できる。
6)学校保健の現状・課題・方向性について説明できる。

評価方法: 平常点と課題(テストやレポート)による。

準備学習・履修上の注意等: 寝不足や朝食不摂取などがないように体調に留意をして、遅刻や欠席がないように臨んでいただきたいとします。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【1.学校保健の構造】 学校保健の全体的な構造を解説し、その成立要因などについて講じる。	講義	玉江
2	1)	【2.学校保健の歴史】 学校保健の歴史と成り立ちについて、ドイツ、イギリス、アメリカ、そして日本の流れで講じる。	講義	玉江
3	1)	【3.健康概念の具体的な捉え方】 健康概念の曖昧さを捉えながら、健康概念・定義を講じる。	講義	玉江
4	2)	【4.わが国の児童・生徒の実情1(身体的健康について)】 現代の児童・生徒における身体的健康状態について講じる。	講義	玉江
5	2)	【5.わが国の児童・生徒の実情1(精神心理的健康について)】 現代の児童・生徒における精神心理的健康状態について講じる。	講義	玉江
6	2)	【6.わが国の児童・生徒の実情1(反社会的健康について)】 現代の児童・生徒における反社会的行動と健康状態について講じる。	講義	玉江
7	2)	【7.わが国の児童・生徒の実情1(非社会的健康について)】 現代の児童・生徒における非社会的行動と健康状態について講じる。	講義	玉江
8	3)	【8.学校保健の理念としてのヘルスプロモーション(1)】 ヘルスプロモーションやヘルスプロモースングスクールについて講じる。	講義	玉江
9	3)	【9.学校保健の理念としてのヘルスプロモーション(2)】 学校保健の具体的実践としてのプライマリヘルスケア。	講義	玉江
10	4)	【10.性教育1(性の捉え方)】 性(Human Sexuality)について講じる。	講義	玉江
11	4)5)	【11.性教育2(AIDSとSTD)】 性行為感染症について講じる。	講義	玉江
12	4)	【12.性教育3(生命の教育から)】 性教育を生教育として講じる。	講義	玉江
13	4)5)	【13.安全教育】 救急救命法を含む、種々の安全教育について講じる。	講義	玉江
14	6)	【14.学校保健実践の現実を考える】 現在の学校保健の問題点と改善法について講じる。	講義	玉江
15	1)~6)	【総括】	講義	玉江

教科書： 資料を配布する。

参考書： 中学校学習指導要領解説 保健体育編（文部科学省）東山書房【978-4-8278-1196-2】
高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編（文部科学省）東山書房【978-4-8278-1202-0】

科目名: **生活習慣病予防学**

担当者: 佐藤 圭創(葉・葉)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 日本人の死因の1~4位である悪性新生物、虚血性心疾患、肺炎、脳血管疾患の発症誘因に、生活習慣の歪みが関与しており、その発症は、生活習慣の是正により予防可能であることが多い(病気の第1次予防)。本科目「生活習慣病予防学」では、代表的な生活習慣病である高血圧症、脂質異常症、高尿酸血症、糖尿病、虚血性心疾患、肥満症、メタボリック症候群、骨粗鬆症、関節リウマチ、変形性関節症の病態・治療法・予防法を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)生活習慣病の概念、意義を病気の第1次予防と関連付けて説明できる。
 - 2)本態性高血圧症、2次性高血圧症の病態・治療法・予防法を説明できる。
 - 3)脂質代謝、血中脂質異常症の病態・治療法・予防法を説明できる。
 - 4)プリン代謝、高尿酸血症の病態・治療法・予防法を説明できる。
 - 5)糖尿病の糖代謝異常、脂質代謝異常、蛋白質代謝異常を説明できる。
 - 6)1型糖尿病と2型糖尿病の病態・治療法の共通点、相違点を説明できる。
 - 7)労作性狭心症、安静時狭心症、急性冠症候群の病態・治療法・予防法を説明できる。
 - 8)内臓脂肪と皮下脂肪の医学的相違点、肥満症の病態・治療法・予防法を説明できる。
 - 9)メタボリック症候群の概念・病態・治療法・予防法を説明できる。
 - 10)骨粗鬆症の病態・治療法・予防法を説明できる。
 - 11)関節リウマチなどの膠原病の病態・治療法・予防法を説明できる。
 - 12)変形性関節症の病態・治療法・予防法を説明できる。

評価方法: 学年末の筆記試験により、医学的知識を評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1年生・後期で開講の「医学概論」を受講していることが望ましい。生活習慣病予防学の授業内容を、第三者に解説できる程度、十分に復習し、理解することが必要である。毎回の授業の前後、週末および長期休暇期間を使って、計21時間の予習復習を行うこと。

オフィスアワー: 毎週月曜～金曜日9:00～17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)9)	高血圧症の病気としての概念の歴史的変遷、本態性高血圧症・2次性高血圧症の診断、臓器障害などの合併症、予後などを理解し、生活習慣病としての高血圧症を説明できる。	講義	佐藤
2	1)2)9)	高脂血症の治療方針、生活習慣の改善を理解し、脂質異常症の第1次予防を説明できる。	講義	佐藤
3	1)3)8)9)	高尿酸血症の成因と痛風の発症機序、治療法方針を理解し、生活習慣病として痛風を説明できる。	講義	佐藤
4	1)3)8)9)	糖尿病の定義と分類、タイプ2型糖尿病の成因と病態、自然歴と合併症を理解し、生活習慣病としての糖尿病を説明できる。	講義	佐藤
5	1)4)	虚血性心疾患の定義と分類、病態生理、動脈硬化、狭心症、急性冠症候群、心筋梗塞を理解し、生活習慣病としての虚血性心疾患を説明できる。	講義	佐藤
6	1)5)6)	肥満症の定義、内臓脂肪肥満、皮下脂肪肥満、脂肪細胞の生理的・病態的役割、運動療法について理解し、肥満症の生活習慣病としての位置、第1次予防が説明できる。	講義	佐藤
7	1)5)6)	新しい概念であるメタボリック症候群の概念出現の背景について理解し、本概念を説明できる。	講義	佐藤
8	1)7)	骨粗鬆症の成因・病態・骨折などの合併症・治療法を理解し、超高齢社会での骨粗鬆症の重要性を説明できる。	講義	佐藤
9	1)7)	関節リウマチと変形性関節症の成因・病態・骨折などの合併症・治療法を理解し、超高齢社会での関節疾患の重要性を説明できる。	講義	佐藤
10	1)~12)	生活習慣病の模擬検診を通して、生活習慣病について説明できる。	SGD	佐藤
11	1)~12)	生活習慣病の模擬検診を通して、生活習慣病について説明できる。	SGD	佐藤
12	1)~12)	生活習慣病の模擬検診を通して、生活習慣病について説明できる。	SGD	佐藤
13	1)~12)	生活習慣病の模擬検診を通して、生活習慣病について説明できる。	SGD	佐藤
14	1)~12)	生活習慣病の模擬検診を通して、生活習慣病について説明できる。	SGD	佐藤

教科書： 健康運動指導士養成講習会テキスト(財団法人)健康・体力づくり事業財団(分厚い書籍で、購入の必要性はない)
パワーポイントで作製した講義資料を、毎授業時間に配布するので、この資料を重視して学習に励んで頂きたい。

参考書： 使用しない。

科目名: **健康スポーツ実習 I**

担当者: 正野 知基(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択※ 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 超高齢社会、健康志向が叫ばれる現在、身体活動に対する関心は大きくなってきている。身体活動のうち体をほぐし、体力を高めることを計画的・意図的に行う動きを「運動」と呼び、生涯にわたって健康な日常生活を送るためには大切な要素のひとつである。本授業では、子どもから高齢者まで生涯にわたって健康の維持・増進し、体力の向上のために行う運動の理論と実際を、講義と実習を通して理解し、修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)健康運動・スポーツの意義について理解し、説明できる。
 - 2)健康運動・スポーツ指導者とその役割について理解し、説明できる。
 - 3)トレーニングの原理・原則/ウォームアップとクールダウンの基礎理論について理解し、説明できる。
 - 4)トレーニングの形態別・体力要素別分類と方法の基礎理論について理解し、説明できる。
 - 5)健康・安全へ配慮し、体調チェックの意義と方法について理解し、説明できる。
 - 6)体ほぐしの運動・体の柔らかさを高める運動(ストレッチング)の理論と実践方法を説明・実施できる。
 - 7)アイソメトリックトレーニングの理論と実践方法を説明・実施できる。
 - 8)自重を使ったレジスタンストレーニングの理論と実践方法を説明・実施できる。
 - 9)身体各部位別のフリーウエイトトレーニングの理論と実践方法を説明・実施できる。ベンチプレスによる最大筋力測定(最大下法)の理論と実践方法を説明・実施できる。
 - 10)力強い動きと持久力を高める動きを組み合わせたサーキットトレーニングの理論と実践方法を説明・実施できる。
 - 11)マシントレーニングの理論について理解し、説明できる。
 - 12)マシントレーニングの実践方法を説明・実施できる。
 - 13)発育発達期にある子どもの健康運動・スポーツプログラムの理論と実際について理解し、説明できる。
 - 14)巧みな動きを高める運動と力強く・素早い動きを高める運動の理論と実践方法を説明・実施できる。
 - 15)女性の健康運動・スポーツプログラムの理論と実際について理解し、説明できる。
 - 16)身近な用具(ダンベル・チューブ・縄跳びなど)を用いた体力を高める運動の理論と実践方法を説明・実施できる。
 - 17)介護予防のための運動の理論と実践方法を説明・実施できる。
 - 18)肥満症予防・改善を目的とした運動プログラムの理論と実践方法を説明・実施できる。
 - 19)消費エネルギーを高め、持久力を高める運動:歩行運動の理論と実践方法を説明・実施できる。
 - 20)高血圧・糖尿病・虚血性心疾患の運動プログラムの理論と実践方法を説明・実施できる。
 - 21)消費エネルギーを高め、持久力を高める運動:ジョギングの運動プログラムの理論と実践方法を説明・実施できる。
 - 22)変形性関節症・腰痛症の運動プログラムの理論と実践方法を説明・実施できる。
 - 23)体幹トレーニングの基礎理論と実践方法を説明・実施できる。
 - 24)運動負荷に対する身体応答(心拍数・酸素摂取量・無酸素性作業閾値)の測定の意義が説明できる。
 - 25)運動負荷に対する身体応答(心拍数・酸素摂取量・無酸素性作業閾値)測定を体験、理解する。
 - 26)グループ単位で体づくり運動のプログラムを作成・実施し、自己評価・相互評価を行うことができる。

評価方法: 指導実習におけるプログラム・実技(指導法)とそのレポート(80%)、授業に対する取り組み状況(20%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業中に理解度を確認するために学生への質問を適宜行うので、授業内容にかかわるキーワードを事前に調べておくこと、復習を行うこと。また、ウエイト類を扱うため事故防止を徹底し、ルール・マナーを守り緊張感を持って参加すること。日常生活の中でも身体を動かすことを意識し、健康管理に努めること。
※2012カリキュラム以前の学生は必修

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日 12:30～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	健康運動・スポーツの意義	講義	正野
2	2)	健康運動・スポーツ指導者とその役割	講義	正野
3	3)	健康運動・スポーツの基礎理論(トレーニングの原理・原則/ウォームアップとクールダウン)	講義	正野
4	4)	健康運動・スポーツの基礎理論(トレーニングの形態別・体力要素別分類と方法)	講義	正野
5	5)	体調チェックの意義と方法(健康・安全への配慮)	講義	正野
6	6)	体ほぐしの運動・体の柔らかさを高める運動(ストレッチング)の理論と実際	実習	正野

7	7)	レジスタンストレーニングの理論と実際(アイソメトリックトレーニング)	実習	正野
8	8)	レジスタンストレーニングの理論と実際(自重を使ったレジスタンストレーニング)	実習	正野
9	9)	レジスタンストレーニングの理論と実際(身体各部位別のレジスタンストレーニング)	実習	正野
10	10)	レジスタンストレーニングの理論と実際(力強い動きと持久力を高める動きを組み合わせさせたサーキットトレーニング)	実習	正野
11	11)		講義	正野
12	12)	マシーントレーニングの理論	実習	正野
13	13)	マシーントレーニングの実際	講義	正野
14	14)	発育発達期にある子どもの健康運動・スポーツプログラムの理論と実際	実習	正野
15	15)	巧みな動きを高める運動と力強く・素早い動きを高める運動	講義	正野
16	16)	女性の健康運動・スポーツプログラムの理論と実際	実習	正野
17	17)	身近な用具(ダンベル・チューブ・縄跳びなど)を用いた体力を高める運動	実習	正野
18	17)	介護予防と運動(理論)	実習	正野
19	18)	介護予防と運動(実際)	実習	正野
20	19)	生活習慣病に対する適切な運動療法(肥満とその運動療法)	実習	正野
21	20)	生活習慣病に対する適切な運動療法(消費エネルギーを高め、持久力を高める運動:歩行運動)	実習	正野
22	21)	生活習慣病に対する適切な運動療法(高血圧・糖尿病・虚血性心疾患とその運動療法)	実習	正野
23	22)	生活習慣病に対する適切な運動療法(消費エネルギーを高め、持久力を高める運動:ジョギング)	実習	正野
24	23)		実習	正野
25	24)	生活習慣病に対する適切な運動療法(変形性膝関節症・腰痛症)	実習	正野
26	25)	生活習慣病に対する適切な運動療法(体幹トレーニングの基礎理論と実際)	実習	正野
27	26)	最大酸素摂取量(健康運動・スポーツの強度指標)の意義とその測定法(理論)	実習	正野
28	26)	最大酸素摂取量(健康運動・スポーツの強度指標)の意義とその測定法(実際)	実習	正野
29	26)	健康運動指導実習(運動プログラムを作成し、運動指導を行う)	実習	正野
30	26)	健康運動指導実習(運動プログラムを作成し、運動指導を行う)	実習	正野
		健康運動指導実習(運動プログラムを作成し、運動指導を行う)		
		健康運動指導実習(運動プログラムを作成し、運動指導を行う)		

教科書： 使用しない。

参考書： 中学校学習指導要領解説 保健体育編(文部科学省)東山書房
高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編(文部科学省)東山書房
健康運動指導士養成講習会テキスト(健康体づくり事業財団)
健康運動実践指導者養成用テキスト(健康体づくり事業財団)
公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目Ⅰ・Ⅱ(日本体育協会)
公認スポーツプログラマー専門科目テキスト(日本体育協会)

科目名: **健康スポーツ実習Ⅱ**

担当者: 長野 葉子(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択|※2012年度以 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 実習・講義

授業概要: 運動の効果、実施上の注意点、安全面への考え方を学び、運動指導の基礎知識、技術の習得を目指す。

到達目標: (SBOs) 1)エアロビックダンス、レジスタンストレーニングの実演指導を適正な姿勢・テンポで明確に行うことができる。
2)何のためにどんな運動を行うのか、どのようにからだをうごかすのかについて説明ができる。
3)声の大きさや話し方、話すスピードなどが適切で、見やすい位置に立ち、身振り・手振りを使って表現豊かに指導ができる。
4)動きはじめや動きの変わり目の指示をタイミングよく行い、動きの速さや回数・呼吸の指示、効果や安全性に配慮した姿勢や動作への注意ができる。
5)対象者をよく観察し、動きの修正や動機づけができる。

評価方法: 実技発表、授業への取り組みなどを総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 講義では教科書を毎回持参すること。実技では運動できる服装、シューズ、タオル、飲み物の持参。予習は必要ないが、前回の講義内容の復習をしてもらうこと。実技内容も自信がなければ復習すること。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	2)	エアロビックダンスとは	講義	長野
2	1)	エアロビックダンスのモデルレッスン	実習	長野
3	2)	エアロビックダンスの背景	講義	長野
4	1)	エアロビックダンスの基本ステップ(ローインパクト)	実習	長野
5	2)	エアロビックダンスの指導に関する基礎理論	講義	長野
6	1)	エアロビックダンスの基本ステップ(ハイインパクト)	実習	長野
7	1)2)	エアロビックダンスの基本の基本の動き	講義	長野
8	1)	エアロビックダンスの基本ステップ(ローインパクト&ハイインパクト)	実習	長野
9	1)2)	エアロビックダンスの動きの構成	講義	長野
10	1)	規定ルーティーン(習得)	実習	長野
11	2)	エアロビックダンスのプログラムづくりⅠ	講義	長野
12	1)3)4)5)	規定ルーティーン(キューイング習得)	実習	長野
13	2)	エアロビックダンスのプログラムづくりⅡ	講義	長野
14	1)2)3)4)5)	規定ルーティーン(実演指導)	実習	長野
15	5)	エアロビックダンスの指導の実際	講義	長野
16	1)2)3)4)5)	規定ルーティーン(実演指導)	実習	長野
17	2)	ウォーキングの理論と実際	講義	長野
18	1)3)5)	いろいろな歩き方の実習、ロードを4キロウォーキング	実習	長野
19	2)	ジョギングの理論と実際	講義	長野
20	1)3)5)	いろいろな走り方の実習、ロードを4キロジョギング	実習	長野
21	1)2)3)4)5)	レジスタンストレーニングの指導	実習	長野
22	1)2)3)4)5)	規定ルーティーン(実演指導)	実習	長野
23	1)2)3)4)5)	レジスタンストレーニングの指導	実習	長野
24	1)2)	グループでエアロビックダンスのプログラムづくりおよび練習	実習	長野

25	1)2)3)4)5)	レジスタンストレーニングの指導	実習	長野
26	1)2)	グループでエアロビッダンスのプログラムづくりおよび練習	実習	長野
27	1)2)3)4)5)	エアロビッダンス規定ルーティーン実演指導練習・レジスタンストレーニング実演指導練習・プログラムグループ練習	実習	長野
28	1)2)3)4)5)	エアロビッダンス規定ルーティーン実演指導発表・レジスタンストレーニング実演指導発表・プログラムグループ発表	実習	長野
29	1)2)3)4)5)	エアロビッダンス規定ルーティーン実演指導練習・レジスタンストレーニング実演指導練習・プログラムグループ練習	実習	長野
30	1)2)3)4)5)	エアロビッダンス規定ルーティーン実演指導発表・レジスタンストレーニング実演指導発表・プログラムグループ発表	実習	長野

教科書： 新・エアロビックダンスエクササイズの実技指導（沢井 史穂 他）日本フィットネス協会
 ※1回目から使用するので必ず購入すること。

参考書： 使用しない。

科目名: **健康スポーツ現場実習**

担当者: 正野 知基(福・ス)、松田 智香子(福・ス)、山本 順之(福・ス)、井藤 英俊(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 健康運動の指導者養成には専門的な知識等の教授だけでなく、様々なケースに対応できる実践指導能力を身につけるための実習が重要である。受講者に対し実際の運動指導現場に触れることで、大学での授業目的・内容の一層の理解に役立たせるとともに、実務能力を身につけることにより健康運動指導者としての活動現場における役割等を体験・理解する。

到達目標: (SBOs) 1)実習を行うにあたって、社会人としての基本的態度・礼儀、その他必要事項について理解し、実践できる。
2)健康状態の把握、体力測定、運動プログラムの作成・提供、運動の記録・情報管理について理解し、説明できる。
3)健康運動教室受講者に対する基本的な応対を体験・理解し、実践できる。
4)施設管理に関わる基本的な業務を体験・理解し、実践できる。
5)施設で行われている一連の健康運動指導(健康状態の把握、体力測定、運動プログラムの作成・提供、運動の記録・情報の保管、生活指導等)の基本を体験・理解し、実践できる。

評価方法: 実習施設担当者による評価(80%)、実習ノート(20%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 健康運動実践指導者および健康運動指導士の受験を希望する者で、健康運動実践指導者受験資格関連科目のすべてを取得済みもしくは履修中であること。社会人としての基本的態度・礼儀を身につけていること(時間の厳守、あいさつ、言葉使い等)。

オフィスアワー: 各教員のオフィスアワーに準ずる。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション(1)	講義	正野
2	2)	オリエンテーション(2)	講義	正野
3	3)4)5)	健康スポーツ施設における現場実習を60時間行う。	実習	全員

教科書: 使用しない。

参考書: 健康運動指導士養成講習会テキスト(健康体力づくり事業財団)

科目名: 高齢者・障害者スポーツ実習

担当者: 松田 智香子(スポーツ健康福祉学科)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 高齢者や障がいがある人も含めた、幅広い年齢層の人々が手軽に行えるスポーツについて具体的に学ぶ。その中でも、スポーツを行う際の指導上の留意点をはじめ、安全の確保や健康の保持増進のための方法を学び、将来、福祉現場や障がい者スポーツ分野で実践的に活かせる知識を修得することを目的とする。

到達目標: (SBOs) 1) 高齢者や障がい者の身体状況を理解した上で、各スポーツを安全に行う為の留意点について説明できる。
2) 高齢者の体力水準の違いに応じたスポーツを理解し、適切な運動支援について説明できる。
3) 障がいの状態(身体障害・内的障害等)を理解し、それぞれに応じたスポーツを実施することができる。
4) 障がい者の障害特性に配慮した説明や指導ができる。
5) 地域社会における高齢者・障がい者スポーツの実際や役割を学び、スポーツ支援ができる。

評価方法: 授業態度(50%), 課題提出(50%)

準備学習・履修上の注意等: 提示する各種スポーツの成り立ちや特徴について事前に調べた上で受講する。
毎授業後には必ず資料を確認し、ルールや留意点などを確実に修得すること。
実習授業であることから積極的な受講態度に加え、緊張感を持って参加することを望む。
運動着、シューズの着用。

オフィスアワー: 時間割が確定後に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	高齢者・障がい者の身体状況の理解	講義・実習	松田
2	2)	ミニバレー, 風船バレーボール	実習	松田
3	1)	シッティングバレーボール	実習	松田
4	1)2)	ペタンク, グランドゴルフ	実習	松田
5	1)2)	ディスク競技	実習	松田
6	3)4)	ローリングバレーボール	実習	松田
7	1)	車椅子ベースボール, テーブルテニス	実習	松田
8	3)4)	アルティメット	実習	松田
9	1)2)	スポーツ吹矢, 公式ワナゲ	実習	松田
10	1)4)	フロアバレーボール	実習	松田
11	1)4)	ブラインドバレーボール	実習	松田
12	1)	柔軟体操・ストレッチング	実習	松田
13	1)	ウォーミングアップとクールングダウン	実習	松田
14	1)4)5)	地域社会における高齢者・障がい者の実際	実習	松田
15	1)4)5)	障がい者スポーツ活動への参加と交流	実習	松田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **スポーツ実習 I (器械体操)**

担当者: 三輪 佳見(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 学習指導要領に示されている器械運動(マット運動・跳び箱運動・鉄棒運動等)の技の習得をととして、器械運動の特性、技の指導體系・技術・指導方法について学習する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 器械運動の特性を理解し説明できる。
 - 2) マット運動の基本的な技を演示できる。
 - 3) 跳び箱運動の基本的な技を演示できる。
 - 4) 鉄棒運動の基本的な技を演示できる。
 - 5) マット運動の指導體系・技術・指導方法を説明できる。
 - 6) 跳び箱運動の指導體系・技術・指導方法を説明できる。
 - 7) 鉄棒運動の指導體系・技術・指導方法を説明できる。
 - 8) 技の組合せの運動構造について説明できる。
 - 9) マット運動の技の組合せを演示できる。
 - 10) 鉄棒運動の技の組合せを演示できる。
 - 11) 発表会の意義を理解し説明できる。

評価方法: 受講態度、課題提出、実技試験による総合評価。

準備学習・履修上の注意等: ジャージ着用。受講に当たって、緊張感を持って参加すること。
器具の取り扱い方、安全に注意する。器具準備等協力すること。

オフィスアワー: 授業の前後

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
			実習	三輪
1	1)5)	器械運動の特性についての解説、マット運動の前転グループ及び倒立の基礎技能から変形技の実習。	実習	三輪
2	5)6)	マット運動の前転グループの発展技と跳び箱運動の基礎技能の実習。	実習	三輪
3	5)6)	マット運動の後転グループの基礎技能から変形技と跳び箱運動の反転系の技(開脚とび)の実習。	実習	三輪
4	2)5)6)	マット運動の後転グループの発展技と跳び箱運動の反転系の技(かかえ込みとび)の実習。	実習	三輪
5	2)3)7)	マット運動の側方倒立回転、跳び箱運動の反転系の技(屈身とび)、鉄棒運動の支持回転技の基礎技能の実習。	実習	三輪
6	2)7)	マット運動のはねおきグループの予備技、鉄棒運動の後転グループ(逆上がり)と前方支持回転技の実習。	実習	三輪
7	4)5)6)	マット運動のはねおきグループの予備技、跳び箱運動の回転系の技(頭はねとび)、鉄棒運動の後転グループ(逆上りの発展)の実習。	実習	三輪
8	2)3)4)	マット運動の頭はねおきと倒立回転とびグループの予備技、跳び箱運動の回転系の技(頭はねとびの発展)、鉄棒運動の後転グループ(後方支持回転)の実習。	実習	三輪
9	4)5)6)	マット運動と跳び箱運動の前方倒立回転とび、鉄棒運動の前転グループ(前方支持回転)の実習。	実習	三輪
10	2)3)10)	マット運動と跳び箱運動の前方倒立回転とび、鉄棒運動の棒下振出しおりの実習。	実習	三輪
11	8)9)	マット運動と跳び箱運動の前方倒立回転とび、鉄棒運動の技の組合せの実習。	実習	三輪
12	9)10)	マット運動の技の組合せの実習。	実習	三輪
13	9)11)	演技発表(マット運動)の実習。	実習	三輪
14	10)11)	演技発表(跳び箱運動、鉄棒運動)の実習。	実習	三輪
15	10)11)			

教科書: 使用しない。

参考書: 中学校学習指導要領解説 保健体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1196-2】
高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1202-0】

科目名: **スポーツ実習Ⅱ(屋外球技)**

担当者: 山本 順之(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: ゴール型、及びベースボール型の屋外競技(サッカー ソフトボール)に関する知識とそれらの基礎技術・戦術について理解する。投げる、捕る、打つ、パス、コントロール、シュート等の基礎技術スキルを修得し、こうしたスキルをゲーム戦術に発展させる。また、こうした基礎技術スキルや各種戦術の指導方法について理解し、実践する能力を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)ゴール型、ベースボール型の競技、ゲームとしての特性を説明できる。
2)ソフトボールのルールと技術的、戦術的特性を説明できる。
3)サッカーのルールと技術的、戦術的特性を説明できる。
4)ソフトボールの基礎的技術を理解、実践し、習得する。
5)サッカーの基礎技術を理解、実践し、習得する。
6)ソフトボールの個人・グループ(連携)・チーム戦術を理解、実践できる。
7)サッカーの個人・グループ(連携)・チーム戦術を理解、実践できる。

評価方法: 基礎技術スキルの習得、及び各種戦術理解(50%)指導方法の実践(30%)実習における積極的態度、姿勢等(20%)

準備学習・履修上の注意等: 運動できる服装、シューズを用意する。

オフィスアワー: 時間割発表後に研究室ドアに掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	【ソフトボールのゲーム】 ソフトボールのゲームを実践し、競技、ゲームの特性とルールを理解する。	実習	山本
2	1)2)4)	【ソフトボールの基礎技術の理解、習得(投げる 捕る)】 ソフトボールにおける投げる、捕るといった基礎技術について理解、実践する。	実習	山本
3	1)2)4)	【ソフトボールの基礎技術の理解、習得(打つ)】 ソフトボールにおける打つといった基礎技術について理解、実践する。	実習	山本
4	1)2)4)6)	【ソフトボールの個人・グループ(連携)戦術の理解、習得】 さまざまな状況に応じた守備戦術(ダブルプレイ、外野フライの処理等)について理解、実践し、習得する。	実習	山本
5	1)2)4)6)	【ソフトボールの個人・グループ(連携)戦術の理解、習得】 さまざまな状況に応じた攻撃戦術(バント、走塁外等)について理解、実践し、習得する。	実習	山本
6	1)2)4)6)	【ソフトボールの個人・グループ(連携)・チーム戦術の理解、実践】 ゲームを通して個人・グループ(連携)・チーム戦術を理解し実践する。	実習	山本
7	1)2)4)6)	【ソフトボールの個人・グループ(連携)・チーム戦術の理解、実践】 ゲームを通して個人・グループ(連携)・チーム戦術を理解し実践する。	実習	山本
8	1)3)5)	【サッカーのボールフィーリングとボールコントロールの技術】 ボールとからだのコーディネート能力、およびサッカーにおけるボールコントロールの技術(止める、蹴る、運ぶ等)について理解、実践する。	実習	山本
9	1)3)5)	【サッカーのパスとシュートの技術】 さまざまなキックの種類やヘディングを使用して、パスとシュートの技術について理解、実践する。	実習	山本
10	1)3)5)7)	【サッカーの個人戦術(1対1の攻防)】 サッカーにおける対人の基本として1対1における攻防について理解、実践する。	実習	山本
11	1)3)5)7)	【サッカーの個人戦術(2対1、3対2におけるフリーランニングの必要性、1対2、2対3等、守備における数的優位のつくり方)】 自チームがボールを保持しているときのフリーランニングの必要性と相手チームがボールを保持しているときの守備における数的優位のつくり方について理解、実践する。	実習	山本
12	1)3)5)7)	【スモールゲームの活用 (ボールポゼッショントレーニング パス&サポート)】	実習	山本

4対4または6対6、8対8でのスモールゲームを活用し、ボールポゼッション(ボールを保持している状態)するためのパス&サポートについて理解、実践する。

- | | | | | |
|----|----------|--|----|----|
| 13 | 1)3)5)7) | 【スモールゲームの活用
(トランジッション 攻から守、守から攻への切り替え)】
4対2または6対3でのスモールゲームを活用し、トランジッション
(攻から守、守から攻への切り替え)について理解、実践する。 | 実習 | 山本 |
| 14 | 1)3)5)7) | 【サッカーのチーム戦術】
ゲーム実践において、チームにおけるシステムと主たる戦術について
理解し、戦術の徹底のための各種トレーニング方法を理解、実践する。 | 実習 | 山本 |
| 15 | 1)3)5)7) | 【サッカーのチーム戦術】
ゲーム実践において、チーム戦術徹底のためのトレーニング方法と
第14回において実践したゲームの改善トレーニングを理解、実践する。 | 実習 | 山本 |

教科書: 使用しない。

参考書: 中学校学習指導要領解説 保健体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1196-2】
高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1202-0】

科目名: **スポーツ実習Ⅲ(屋内球技)**

担当者: 長野 葉子(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 屋内球技の技術の習得はもちろん、指導法や練習法などの習得を目指す。また、実践することで屋内球技の楽しさを体感し、興味、理解を深める。

到達目標: (SBOs) 1)屋内球技の基礎知識を習得する。(知識・理解)
2)屋内球技の基礎技能の習得方法および指導法について思考を深める。(思考・判断)
3)体育教材としての屋内球技についての関心を深める。(関心・意欲)
4)コミュニケーションを通して基礎技能の習得および指導を行う。(態度)
5)屋内球技の基礎技能およびその指導法を身につける。(技能・表現)

評価方法: 授業の取り組み、および個人技術テストで評価する。

準備学習・履修上の注意等: 服装・運動靴は必ず準備する。

オフィスアワー: 講義前後の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	3)	【オリエンテーション】 チーム編成・学習内容の確認	実習	長野
2	1)2)5)	【バスケットボールのパス】 パスの種類、練習方法および技術習得	実習	長野
3	1)2)5)	【バスケットボールのシュート】 シュートの種類、練習方法および技術の習得	実習	長野
4	1)2)5)	【バスケットボールのドリブル】 ドリブルの練習方法および技術の習得	実習	長野
5	4)5)	【バスケットボールの2:1の攻撃方法】 コートバランスの大切さを知る。アウトナンバーをつくる。	実習	長野
6	4)5)	【バスケットボールの3:2の攻撃方法】 コートバランスからの弱点の攻撃方法を知る。3:2の中で2:1をつくる。	実習	長野
7	4)5)	【バスケットボールのマンツーマンディフェンスのポジション】 4:4でボールマン、二人目、三人目のポジションを理解、習得	実習	長野
8	3)	【バスケットボールのオフense】 5:5での攻撃のパターンを理解し、実践	実習	長野
9	3)	【バスケットボールの各ポジション】 各ポジションの役割について理解	実習	長野
10	3)4)	【バスケットボールのまとめ】 リーグ戦を実践、運営	実習	長野
11	1)2)5)	【バレーボールのパス】 パスの種類と方法の理解、習得	実習	長野
12	1)2)5)	【バレーボールのサーブ】 サーブの種類と方法の理解、習得	実習	長野
13	1)2)5)	【バレーボールスパイク】 スパイクの助走コースと助走ステップの理解、習得	実習	長野
14	3)4)5)	【ミニバレーボール】 実践、運営	実習	長野
15	3)4)5)	【バレーボールのまとめ】 リーグ戦の実践、運営	実習	長野

教科書: 使用しない。

参考書: 中学校学習指導要領解説 保健体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1196-2】
高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1202-0】

科目名: **スポーツ実習Ⅳ(陸上)**

担当者: 井藤 英俊(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 陸上競技は、「走る」「跳ぶ」「投げる」などの運動で構成され、記録に挑戦したり、相手と競争したりする楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。中学校新学習指導要領保健体育編では、「陸上競技に求められる基本的な動きや効率の良い動きを発展させて、各種目特有の技能を身につけることができるようにすること」が求められている。本講義(実習)においては、「短距離・リレー走」「ハードル走」「走り幅跳び」「長距離走」を取り上げ、各種目の技能習得をめざし、なおかつ、保健体育教師としての(技能)指導能力の獲得を目的とする。

到達目標: 1)中学校および高等学校の保健体育授業における「陸上競技」の授業法について理解する。
(SBOs) 2)中学生および高校生の「やる気」を引き出す授業の在り方について理解し、実践できる能力を習得する。

評価方法: 受講態度及びレポート課題、期末試験(実技含む)により総合的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 本講義は受講学生の身体能力を評価するものではなく、将来の指導活動への熱意を高めることに目的が置かれている。技能習得および指導活動に対する意欲を持って受講してもらいたい。実技実施時は、陸上競技活動に見合ったシューズ、ウェアの着用を基本とする。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日 12:30～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	【オリエンテーション】(大学内講義室) 15回にわたる陸上競技実技の内容を理解し、やる気を高める。	講義	井藤
2	1)2)	【100m走時のスピード曲線測定】(西階) 短距離走の技術-“誰しも後半局面には減速が伴うこと”を理解し、自身のスピード曲線をみつめなおす。	実習	井藤
3	1)2)	【効率的なスプリント動作の理解と修得】(西階) いわゆる“速く走るコツ”の一端を理解し、中学校および高等学校での体育授業への応用方法についての知識を深める。	実習	井藤
4	1)2)	【リレー走の科学-バトンパスの技能習得】(西階) リレー走の充実に伴い、個々の走能力の向上が図られることを理解し、効果的な指導法の確立をめざす。	実習	井藤
5	1)2)	【ハードル走の技能理解と修得Ⅰ】(西階) まずは自らのハードル技術の欠点を発見し、その解決方法について理解を深める。	実習	井藤
6	1)2)	【ハードル走の技能理解と修得Ⅱ】(西階) 効果的なハードル走の技術を理解するとともに、学校体育授業における指導法の確立をめざす。	実習	井藤
7	1)2)	【第2回100m走スピード曲線測定】(西階) 4回の走運動授業を通して、自身の走運動-スピード曲線にいかなる変化が生じているのかを理解する。また、その変化の内容をもとにした体育授業の指導法についても検討する。	実習	井藤
8	1)2)	【走動作に関する科学的理解】(大学内講義室) 講義の中で、特に走運動の指導法について理解を深める。	講義	井藤
9	1)2)	【走り幅跳びの技能理解と修得Ⅰ】(西階) 助走のスピードとジャンプ力の関連性について理解する。	実習	井藤
10	1)2)	【走り幅跳びの技能理解と修得Ⅱ】(西階) はさみ跳びの技術を理解し、習得をめざす。	実習	井藤
11	1)2)	【長距離走の科学?LTという指標とは?】(西階) 体育授業における長距離・持久走をより楽しいものとするための方法について理解する。	実習	井藤
12	1)2)	【血中乳酸値測定によるトレーニング強度の理解Ⅰ】(西階) 長距離走・持久走の科学的理解に不可欠な血中乳酸値を測定し、体育授業の楽しさ向上の方法について考える。	実習	井藤
13	1)2)	【血中乳酸値測定によるトレーニング強度の理解Ⅱ】(西階) 長距離走・持久走の科学的理解に不可欠な血中乳酸値を測定し、体育授業の楽し	実習	井藤

さ向上の方法について考える。その2

- | | | | | |
|----|------|---|----|----|
| 14 | 1)2) | 【技能習得評価(走運動、ハードル走、走幅跳)】(西階)
短距離走におけるスピード曲線、疾走フォーム、ハードル技術、跳躍技術の習得を
評価するとともに、自身の習熟度を理解する。 | 実習 | 井藤 |
| 15 | 1)2) | 【学校教育における陸上競技指導の方法】(大学内講義室)
総合的な陸上競技指導法および体育授業の指導法についてのまとめを行い、自
身の問題として捉えられるようにする。 | 講義 | 井藤 |

教科書： 使用しない。

参考書： 中学校学習指導要領解説 保健体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1196-2】
高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1202-0】

科目名: **スポーツ実習V(水泳)**

担当者: 正野 知基(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 本授業では、水泳・水中運動を取り上げ、水中で運動を行う場合に必要となる基本的な知識・技術の修得および運動プログラムを作成し、幅広い年齢層に対して指導できる力を養成する。講義と実技を併用して授業を進める。講義では、水中で運動を行い、さらに指導する場合に必要な知識について学習し、実技では学生同士で指導し合う場面を多く使い、指導する立場と指導を受ける立場の両方を体験しながら指導力を身につける。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)水泳・水中運動の歴史を理解し、現在行われている水を利用した活動について説明できる。
 - 2)水慣れの方法について理解し、実践できる。
 - 3)水泳・水中運動の力学的特徴について理解し、説明できる。
 - 4)クロール指導の基本を理解し、実践できる。
 - 5)水泳・水中運動の生理学的特徴について理解し、説明できる。
 - 6)各自の体力にあったプログラムの作成方法について理解し、説明できる。
 - 7)背泳ぎ指導の基本を理解し、実践できる。
 - 8)平泳ぎ指導の基本を理解し、実践できる。
 - 9)水泳・水中運動時の安全対策について理解し、説明できる。
 - 10)バタフライ指導の基本を理解し、実践できる。
 - 11)4泳法を連続して泳ぐ個人メドレー指導の基本を理解し、実践できる。
 - 12)水中運動指導の基本を理解し、実践できる。
 - 13)グループ単位で運動プログラムを作成し、指導できる。
 - 14)個人で運動プログラムを作成し、指導できる。

評価方法: 指導実習における運動プログラム・実技(指導法)とそのレポート(80%)、授業に対する取り組み状況(20%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 指導者としてふさわしい服装(水着・帽子・ゴーグル)で受講すること。プールへの入水に際して不適應疾患等を有する者は必ず事前に担当教員まで申し出ること。日常生活の中でも身体を動かすことを意識し、健康管理に努めること。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日 12:30～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	水と人間、そして健康 / 水慣れ	講義/実習	正野
2	3)4)	水泳・水中運動の力学的特徴 / クロール(1)	講義/実習	正野
3	4)5)	水泳・水中運動の生理学的特徴 / クロール(2)	講義/実習	正野
4	6)7)	水泳・水中運動の実際とその効果(1) / 背泳ぎ(1)	講義/実習	正野
5	6)7)	水泳・水中運動の実際とその効果(2) / 背泳ぎ(2)	講義/実習	正野
6	6)8)	水泳・水中運動の実際とその効果(3) / 平泳ぎ(1)	講義/実習	正野
7	6)8)	水泳・水中運動の実際とその効果(4) / 平泳ぎ(2)	講義/実習	正野
8	9)10)	水泳・水中運動時の安全対策 / バタフライ(1)	講義/実習	正野
9	10)11)	バタフライ(2)・個人メドレー	実習	正野
10	12)	水中運動(1)	実習	正野
11	12)	水中運動(2)	実習	正野
12	13)	指導実習(1)	実習	正野
13	13)	指導実習(2)	実習	正野
14	14)	指導実習(3)	実習	正野
15	14)	指導実習(4)	実習	正野

教科書: 使用しない。

参考書: 中学校学習指導要領解説 保健体育編(文部科学省) 東山書房【978-4-8278-1196-2】
高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編(文部科学省) 東山書房【978-4-8278-1202-0】
健康運動指導士養成講習会テキスト(健康体力づくり事業財団)

科目名: **スポーツ実習VI(ダンス)**

担当者: 松田 智香子(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 心身を解き放しリズムやイメージの世界に没入する喜びと解放感や、自らのからだのあり様について体感する方法を会得する。また構成の手法や振り付けの技法を学び、保健体育実技におけるダンス分野を教授する専門的知識及び技能を修得することを目標とする。

到達目標: (SBOs) 1)学習指導要領のダンスの位置づけを理解し、身体表現について説明できる。
2)身体の使い方の基本を理解し、説明できる。
3)各種ステップを理解し、説明できる。
4)身体の解放、内面の表現を行うことができる。
5)他者理解(表現の違いの認識)を実践できる。
6)即興による動きのデッサンができる。
7)テーマから作品化への手法を説明できる。
8)作品鑑賞と相互評価が行える。
9)地域ごとの踊りの特性について説明できる。

評価方法: 積極的な授業態度(40%)、記録ノート(10%)、個人の表現スキル(20%)、グループワーク(20%)、グループ作品発表(10%)

準備学習・履修上の注意等: 緊張感を持ち他者理解に努めた受講態度、積極的な身体表現を望む。
修得したステップの復習。
作品の創作等の事前準備(個人、グループ)を行う。
運動着の着用。

オフィスアワー: 時間割が確定後に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	ダンス教育の意義との在り方	講義	松田
2	1)2)	ダンスに必要な体づくり	実習	松田
3	2)3)4)5)	創作ダンスの動きとイメージ表現の基礎①(動と静、空間表現)	実習	松田
4	2)3)4)5)	創作ダンスの動きとイメージ表現の基礎②(時間的、力的表現)	実習	松田
5	4)5)6)	動きとイメージ① 個人表現	実習	松田
6	4)5)6)	動きとイメージ② グループ表現	実習	松田
7	7)	グループワークによる作品づくり① テーマの探究と作成	実習	松田
8	7)8)	グループワークによる作品づくり② 作品発表と鑑賞	実習	松田
9	9)	世界の民謡フォークダンス①(オクラホマミクサー、コロブチカ等)	実習	松田
10	9)	世界の民謡フォークダンス②(マイムマイム、ジェンカ等)	実習	松田
11	9)	日本の民謡 地域に根づいた踊り(ばんば等)	実習	松田
12	3)6)	現代なおどり(ヒップホップ)のリズムと各種ステップ、創作法	実習	松田
13	7)	グループワークによる作品づくり① 選曲、構成、振り付け	実習	松田
14	7)	グループワークによる作品づくり② 振り付け	実習	松田
15	7)8)	グループワークによる作品づくり② 作品発表と鑑賞	実習	松田

教科書: 使用しない。

参考書: 中学校学習指導要領解説 保健体育編 (文部科学省) 東山書房【978-4-8278-1196-2】
高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 (文部科学省) 東山書房【978-4-8278-1202-0】

科目名: **スポーツ実習Ⅶ(柔道)**

担当者: 甲斐 浩二(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 柔道の技の学習には意外に多くの時間を要するものであるが、いかなる技も基本動作の組み合わせから成り立っていることを修得し実施できる。柔道の技を学ぶ目的や楽しみは、相手からきれいに「一本」を取る得意技を身につけることができる。本実習では、試合で「一本」が多く決まる技を中心に学習し、技術上達の過程となる「投の形」と柔道の楽しさを修得する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 柔道の本質・目的について説明できる。補助運動・補強運動を実施できる。
- 2) 基本の受身-前受身・後受身・横受身・前回り受身を修得し実施できる。固技-袈裟固めを修得し実施できる。
- 3) 組み方・作りと掛け・崩し・移動・体捌を修得し実施できる。
- 4) 投技-膝車・支釣込足・出足払い、固技-肩固・横四方固を修得し実施できる。
- 5) 投技-体落・背負投・一本背負、固技-上四方固・崩上四方固を修得し実施できる。
- 6) 投技-大腰・払腰・巴投を修得し実施できる。
- 7) 投技-小内刈・大内刈・大外刈を修得し実施できる。
- 8) 投技・固技-各技の移動体さばき、掛け方及び約束練習を実施できる。
- 9) 投技-各技の連絡変化(前技から後技へ、後技から前技へ)を実施できる。
- 10) 国際柔道連盟(IJF)ルール解説及び審判ジェスチャーを説明し実施できる。
- 11) 「投の形」(礼法～手技～腰技)を実施できる。
- 12) 「投の形」(足技)及び形の総合練習を実施できる。
- 13) 「投の形」の総合練習を実施できる。
- 14) 「投の形」の総合練習及び演武を実施できる。
- 15) 簡易試合-自分が得意とする技を多く出し、切れのある技がかかるように工夫することを修得し実施できる。試合の審判(主審・副審)を実施できる。

評価方法: 受講態度(自己の技能に関心を持ち、仲間と協力・助言しあいながら積極的に取り組む)60%、技能テスト30%、小テスト10%
定期試験は行わない。

準備学習・履修上の注意等: 本実習は、昇段(初段)及び卒業後の指導活動への基本技のマスターに重点をおいている。激しい動きもあるので安全には十分に配慮するが、学生も意欲と緊張感をもって実習に臨むこと。柔道着は各自で準備し持参すること。

オフィスアワー: 授業前後の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	柔道の歴史・心構え及び安全面の指導 柔道着の正しい着用法、柔道の基本理念・礼法 柔道の補助・補強運動	実習	甲斐
2	2)	基本の受身: 前受身・後受身・横受身・前回り受身 固技: 袈裟固の掛け方及び逃れ方	実習	甲斐
3	3)	組み方・作りと掛け・崩し・移動・体捌 受身の復習	実習	甲斐
4	4)	投技: 膝車・支釣込足・出足払いの体さばき、掛け方及び打ち込み、約束練習 固技: 肩固・横四方固の掛け方及び逃れ方	実習	甲斐
5	5)	投技: 体落・背負投・一本背負の体さばき、掛け方及び打ち込み、約束練習 固技: 上四方固・崩上四方固の掛け方及び逃れ方	実習	甲斐
6	6)	投技: 大腰・払腰・巴投の体さばき、掛け方及び打ち込み、約束練習 固技による乱取	実習	甲斐
7	7)	投技: 小内刈・大内刈・大外刈の体さばき、掛け方及び打ち込み、約束練習 固技による乱取	実習	甲斐
8	8)	投技の復習、打込み・約束練習・乱取 固技の復習及び乱取	実習	甲斐
9	9)	投技の復習、打込み・約束練習・乱取 投技の連続技及び連絡技の約束練習	実習	甲斐
10	10)	国際柔道連盟(IJF)ルール及び審判ジェスチャーの解説 4人一組になり約束試合練習(2人)及び審判(1名)・時計(1名)の実施	実習	甲斐
11	11)	固技の復習及び乱取	実習	甲斐

投技の復習、打込み・約束練習・乱取
「投の形」(礼法～手技～腰技)の説明・練習

12	12)	投技・固技の復習、打込み・約束練習 「投の形」(足技)及び形の総合練習	実習	甲斐
13	13)	投技・固技の復習、打込み・約束練習 「投の形」の総合練習	実習	甲斐
14	14)	「投の形」の総合練習及び演武(4組同時に行う)	実習	甲斐
15	15)	簡易試合(立・寝技):主審1名	実習	甲斐

教科書: 使用しない。

参考書: 中学校学習指導要領解説 保健体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1196-2】
高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1202-0】

科目名: **スポーツ実習Ⅷ(野外スポーツ実習)**

担当者: 山本 順之(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: キャンプにおける知識や技術を理解し、身につける。具体的には、テントの設営、撤収法、キャンプサイトの整備、野外調理法、キャンプファイヤーの企画、運営、野外における安全管理、健康法について理解する。また、野外活動として、自然を利用したアウトドア・レクリエーションやクラフト、ネイチャーゲーム等についても理解する。本授業の進行方法としては、キャンプや野外活動における基礎的知識を理解したうえで、学生自らが野外活動の実施計画書を作成し、その実践を通して上記のような知識や技術を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 野外活動の意義、そのプログラムについて説明できる。
2) 野外活動、キャンプにおける装備内容と、それらの使用方法を説明できる。
3) 野外活動、キャンプにおける安全管理が説明、実践できる。
4) 野外活動、キャンプの実践計画を立案することが出来る。
5) 野外教育、キャンプにおけるプログラム実践能力を身につける。

評価方法: キャンプ・野外活動の知識、技術の理解、及び実習における総合的姿勢(100%)

準備学習・履修上の注意等: 学外実習となるため最低限の装備の準備等、実費が必要である。集中講義での開催となる予定

オフィスアワー: 時間割発表後に研究室ドアに掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【野外活動における概要 環境教育】 野外活動の種類、野外調理法、クラフト等の野外活動全般について理解する。	実習	山本
2	1)~3)	【キャンプ・野外活動における基本】 キャンプ・野外活動における個人装備とそれぞれの活動における行動基準、安全対策について理解する。	実習	山本
3	2)5)	【キャンプにおける技術】 テント設営、撤収法 ロープワーク、キャンプサイトの整備について理解する。	実習	山本
4	4)	【キャンプ・野外活動の実施計画書の作成】 キャンプ、野外活動における活動内容を理解し、その実施計画書を作成する。	実習	山本
5	4)	【キャンプ・野外活動の実施計画書の作成】 キャンプ、野外活動における活動内容を理解し、その実施計画書を作成する。	実習	山本
6	3)5)	【キャンプ及び野外活動の実践】 学外のキャンプ場においてキャンプ野外活動を実践し、野外活動、キャンプの知識、技術を理解、習得する。	実習	山本
7	3)5)	【キャンプ及び野外活動の実践】 学外のキャンプ場においてキャンプ野外活動を実践し、野外活動、キャンプの知識、技術を理解、習得する。	実習	山本
8	3)5)	【キャンプ及び野外活動の実践】 学外のキャンプ場においてキャンプ野外活動を実践し、野外活動、キャンプの知識、技術を理解、習得する。	実習	山本
9	3)5)	【キャンプ及び野外活動の実践】 学外のキャンプ場においてキャンプ野外活動を実践し、野外活動、キャンプの知識、技術を理解、習得する。	実習	山本
10	3)5)	【キャンプ及び野外活動の実践】 学外のキャンプ場においてキャンプ野外活動を実践し、野外活動、キャンプの知識、技術を理解、習得する。	実習	山本
11	3)5)	【キャンプ及び野外活動の実践】 学外のキャンプ場においてキャンプ野外活動を実践し、野外活動、キャンプの知識、技術を理解、習得する。	実習	山本
12	3)5)	【キャンプ及び野外活動の実践】 学外のキャンプ場においてキャンプ野外活動を実践し、野外活動、キャンプ	実習	山本

		の知識、技術を理解、習得する。		
13	3)5)	【キャンプ及び野外活動の実践】 学外のキャンプ場においてキャンプ野外活動を実践し、野外活動、キャンプの知識、技術を理解、習得する。	実習	山本
14	3)5)	【キャンプ及び野外活動の実践】 学外のキャンプ場においてキャンプ野外活動を実践し、野外活動、キャンプの知識、技術を理解、習得する。	実習	山本
15	3)5)	【キャンプ及び野外活動の実践】 学外のキャンプ場においてキャンプ野外活動を実践し、野外活動、キャンプの知識、技術を理解、習得する。	実習	山本

教科書： 使用しない。

参考書： 中学校学習指導要領解説 保健体育編（文部科学省）東山書房【978-4-8278-1196-2】
高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編（文部科学省）東山書房【978-4-8278-1202-0】

科目名: レクリエーション論

担当者: 谷口 勇一(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・臨床福祉専攻・臨床心理専攻(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 生涯学習、生涯スポーツの振興、また地域コミュニティ再編の有効な手立てとして期待されつつあるレクリエーション活動に着目し、その可能性について検討を行うとともに、レクリエーション支援活動を展開していく際の心得と留意点等について理解を深める。

到達目標: 1)現代社会におけるレクリエーションの意味と有用性について理解する。
(SBOs) 2)自らの生活の中に存在しているレクリエーション活動とは何なのかを理解する。
3)レクリエーション支援活動の基礎を理解する。

評価方法: 受講態度及びレポート課題、期末試験により総合的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 予習・復習を行い授業に臨むこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	【現代社会におけるレクリエーションの意義と必要性】 現代社会における我々の生活状況について理解する。その中でレクリエーションが果たす役割について理解を深める。	講義	谷口
2	1)2)3)	【レクリエーション運動の歴史とその背景】 社会運動としてのレクリエーション展開の歴史を理解する。	講義	谷口
3	1)2)3)	【レクリエーション支援の考え方】 現代人にとってのレクリエーションの意味とそれを支援することの大切さを理解する。	講義	谷口
4	1)2)3)	【ライフステージに応じたレクリエーション支援】 人々のライフステージに応じたレクリエーション支援の考え方について理解する。	講義	谷口
5	1)2)3)	【高齢社会の課題とレクリエーション支援】 現代社会の一課題である高齢社会に着目し、レクリエーション支援の意味について理解する。	講義	谷口
6	1)2)3)	【子どもの体力向上とレクリエーション】 今日的な社会課題と言われている子どもの体力向上問題に着目し、レクリエーション支援が果たしうる可能性について理解する。	講義	谷口
7	1)2)3)	【地域におけるレクリエーション展開の意味】 レクリエーションによる地域再編の可能性について理解する。	講義	谷口
8	1)2)3)	【レクリエーション事業展開のあり方】 レクリエーション・イベントを中心とした各種事業展開の方法と意味について理解する。	講義	谷口
9	1)2)3)	【ホスピタリティとレクリエーション】 レクリエーション支援時の心得の一つである“おもてなし”の心について理解する。	講義	谷口
10	1)2)3)	【コミュニケーションワークの理解】 レクリエーションの構成要素の一つであるコミュニケーションの意味を理解し、実践できるようにする。	講義	谷口
11	1)2)3)	【レクリエーションとスポーツ】 レクリエーションと緊密な関係に位置するスポーツの意味を理解する。	講義	谷口
12	1)2)3)	【レクリエーション組織経営論Ⅰ】 レクリエーションを支援するための団体・組織を運営していく方法と意味について理解する。	講義	谷口
13	1)2)3)	【レクリエーション組織経営論Ⅱ】 レクリエーション団体・組織の経営論について理解する。	講義	谷口
14	1)2)3)	【GWT(グループワークトレーニング)の理解】 レクリエーションスキルアップの訓練であるGWTの内容を理解し、実践する力を養う。	講義	谷口

15 1)2)3) 【再考 レクリエーションってなに？】
レクリエーションの意味、今日的役割について理解を深める。

講義

谷口

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **レクリエーション実技**

担当者: 松田 智香子(福・ス)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 実技

授業概要: レクリエーションは、生活の快やQOLの向上に貢献し、人々の生を豊かにするものである。そして、それぞれのライフステージやライフスタイルに応じて生涯にわたって実践される活動のひとつである。本授業においては、さまざまなレクリエーション実技の実践を通じて、コミュニケーションスキルやレクリエーションに関する知識、技術とともに、さまざまな対象者に応じた対人援助(指導)方法を修得する。

到達目標: (SBOs) ①コミュニケーションスキル(姿勢、態度、行動等)を身につける。
②レクリエーションに必要なアイスブレイキングの技術を身につける。
③対象者に応じたレク内容、各種ニュースポーツやレクダンス等の実技を通じてその実践方法を修得する。
④支援者(指導者)として、レクリエーション支援(指導)の実践方法を修得する。

評価方法: レクリエーション実技への積極的な参加態度(40%)、
レクリエーション実技の支援(指導)に関する援助(指導)実践(30%)
課題(個人・グループ課題)(30%)

準備学習・履修上の注意等: 原則として、レクリエーション論を受講していること。
緊張感、積極的な受講態度を望む。
事前準備(個人、グループ)を行うこと。
実技に必要な運動着、シューズの着用。

オフィスアワー: 月曜日9:00～金曜日17:00|(講義、出張等で研究室を不在にしていることもある)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション コミュニケーションワーク①	実技	松田
2	1)	コミュニケーションワーク②	実技	松田
3	1)2)	コミュニケーションワーク③(ホスピタリティトレーニング)	実技	松田
4	1)2)	コミュニケーショントレーニング①(対象者に応じたアイスブレイキングの技法)	実技	松田
5	1)3)	コミュニケーショントレーニング②(対象者に応じたアイスブレイキングの技法)	実技	松田
6	1)3)	レクリエーション実践①	実技	松田
7	1)3)	レクリエーション実践②	実技	松田
8	1)3)	レクリエーション実践③(ニュースポーツ)	実技	松田
9	1)3)	レクリエーション実践④(レクダンス・リハビリ体操)	実技	松田
10	1)3)	レクリエーション実践⑤(クラフト)	実技	松田
11	1)3)	レクリエーション実践⑥(クラフト)	実技	松田
12	1)3)4)	レクリエーション支援実習(オリエンテーション・グループ分け・計画策定)	実技	松田
13	1)3)4)	レクリエーション支援実習(計画策定)	実技	松田
14	1)3)4)	レクリエーション支援実習(発表・実施)	実技	松田
15	1)3)4)	レクリエーション支援実習(発表・実施)	実技	松田

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: **レクリエーション実技**

担当者: 松田 智香子(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 実技

授業概要: レクリエーションは、生活の快やQOLの向上に貢献し、人々の生を豊かにするものである。そして、それぞれのライフステージやライフスタイルに応じて生涯にわたって実践される活動のひとつである。本授業においては、さまざまなレクリエーション実技の実践を通じて、コミュニケーションスキルやレクリエーションに関する知識、技術とともに、さまざまな対象者に応じた対人援助(指導)方法を修得する。

到達目標: (SBOs) ①コミュニケーションスキル(姿勢、態度、行動等)を身につける。
②レクリエーションに必要なアイスブレイキングの技術を身につける。
③対象者に応じたレク内容、各種ニュースポーツやレクダンス等の実技を通じてその実践方法を修得する。
④支援者(指導者)として、レクリエーション支援(指導)の実践方法を修得する。

評価方法: レクリエーション実技への積極的な参加態度(40%)、
レクリエーション実技の支援(指導)に関する援助(指導)実践(30%)
課題(個人・グループ課題)(30%)

準備学習・履修上の注意等: 原則として、レクリエーション論を受講していること。
緊張感、積極的な受講態度を望む。
事前準備(個人、グループ)を行うこと。
実技に必要な運動着、シューズの着用。

オフィスアワー: 月曜日9:00～金曜日17:00|(講義、出張等で研究室を不在にしていることもある)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション コミュニケーションワーク①	実技	松田
2	1)	コミュニケーションワーク②	実技	松田
3	1)2)	コミュニケーションワーク③(ホスピタリティトレーニング)	実技	松田
4	1)2)	コミュニケーショントレーニング①(対象者に応じたアイスブレイキングの技法)	実技	松田
5	1)3)	コミュニケーショントレーニング②(対象者に応じたアイスブレイキングの技法)	実技	松田
6	1)3)	レクリエーション実践①	実技	松田
7	1)3)	レクリエーション実践②	実技	松田
8	1)3)	レクリエーション実践③(ニュースポーツ)	実技	松田
9	1)3)	レクリエーション実践④(レクダンス・リハビリ体操)	実技	松田
10	1)3)	レクリエーション実践⑤(クラフト)	実技	松田
11	1)3)	レクリエーション実践⑥(クラフト)	実技	松田
12	1)3)4)	レクリエーション支援実習(オリエンテーション・グループ分け・計画策定)	実技	松田
13	1)3)4)	レクリエーション支援実習(計画策定)	実技	松田
14	1)3)4)	レクリエーション支援実習(発表・実施)	実技	松田
15	1)3)4)	レクリエーション支援実習(発表・実施)	実技	松田

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: **健康運動指導論 I**

担当者: 正野知基(福・ス)・小川芳徳(福・ス)・松田智香子(福・ス)・山本順之(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年生)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 少子・超高齢社会を健康で活力あるものとしていくために、健康を増進し、発病を予防する「一次予防」が重視されている。スポーツ・運動は、その一つ的手段として有用である。健康運動指導論 I では、3年生前期までに学習したスポーツ・運動関連の科目を基盤として、科学的根拠に基づき安全で効果的な健康づくりのための運動指導を実践するのに必要な知識を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)健康運動指導者の役割と健康運動にかかわる社会・心理・環境的要因について説明できる。
2)健康運動にかかわる身体の生理学的な働きについて説明できる。
3)健康運動にかかわる筋・骨およびその機能と基本的な力学について説明できる。
4)健康づくりのための身体活動・運動量増加と体力向上の指導法について説明できる。
5)健康づくりのための栄養摂取と運動によるエネルギー消費について説明できる。
6)健康づくりのための運動実践の方法について説明できる。
7)健康づくりのための施策について概説できる。
8)健康づくりのための体力の測定評価の方法について説明できる。
9)健康づくり運動実践時に考えられる運動障害と予防・応急処置について説明できる。

評価方法: 毎回、授業の最後に授業内容の理解度確認のための小テストを行う。
定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 3年生前期までに受講した健康運動関連の科目の復習を十分に行うこと。毎回の授業後に次回授業内容を示すので、必ず予習を行って授業に臨むこと。また、毎回の小テストの復習を必ず行うこと。予習・復習は1コマあたり4時間を目安とする。

オフィスアワー: 授業前後の可能な時間および各担当教員のオフィスアワーの時間。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	健康運動指導者の役割&健康づくりのための運動指導の心理学的・社会学的基礎	講義	正野
2	2)	健康づくりのための運動生理学	講義	小川
3	3)	健康づくりのための機能解剖とバイオメカニクス	講義	小川
4	4)	健康づくりのための身体活動・運動量増加と体力向上の指導法	講義	小川
5	5)	健康づくりのための栄養摂取と運動	講義	松田
6	6)	健康づくり運動の実際:エアロビックダンス	講義	松田
7	6)	健康づくり運動の実際:ストレッチング	講義	松田
8	7)	健康づくり施策概論	講義	山本
9	6)	健康づくり運動の実際:ウォーキング	講義	山本
10	6)	健康づくり運動の実際:ジョギング	講義	山本
11	6)	健康づくり運動の実際:水泳・水中運動	講義	正野
12	6)	健康づくり運動の実際:レジスタンス運動	講義	正野
13	6)	健康づくり運動の実際:ウォーミングアップとクーリングダウン	講義	正野
14	8)	健康づくりのための体力の測定評価	講義	正野
15	9)	運動障害と予防・応急処置	講義	正野

教科書: 使用しない

参考書: 健康運動実践指導者 養成用テキスト 公益財団法人 健康・体力づくり事業財団

科目名: 健康運動指導論Ⅱ

担当者: 正野知基(福・ス)・小川芳徳(福・ス)・松田智香子(福・ス)・山本順之(福・ス)**配当学科:** スポーツ健康福祉学科(4年生)**必修・選択:** 選択 **単位数:** 2 **時間数:** 30 **開講期:** 前期 **授業形態:** 講義**授業概要:** 少子・超高齢社会を健康で活力あるものとしていくために、健康を増進し、発病を予防する「一次予防」が重視されている。スポーツ・運動は、その一つ的手段として有用である。健康運動指導論Ⅱでは、3年生後期までのスポーツ・運動関連の科目および健康運動指導論Ⅰで学修した内容を基盤として、科学的根拠に基づき安全で効果的な健康づくりのための運動指導を実践するのに必要なより高度な知識を修得する。

- 到達目標:**
- (SBOs)
-
- 1)健康づくりのための運動実践の方法について説明できる。
-
- 2)健康づくりのための栄養摂取と運動によるエネルギー消費について説明できる。
-
- 3)健康運動にかかわる身体の生理学的な働きについて説明できる。
-
- 4)健康づくりのための体力の測定と評価の方法について説明できる。
-
- 5)健康づくりのための運動の理論について概説できる。

評価方法: 毎回、授業の最後に授業内容の理解度確認のための小テストを行う。
定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。**準備学習・履修上の注意等:** 健康運動実践指導者および健康運動指導士を受験する者であること。3年生後期までに受講した健康運動関連の科目の復習を十分に行うこと。毎回の授業後に次回授業内容を示すので、必ず予習を行って授業に臨むこと。また、毎回の小テストの復習を必ず行うこと。予習・復習は1コマあたり4時間を目安とする。**オフィスアワー:** 授業前後の可能な時間および各担当教員のオフィスアワーの時間。**授業計画**

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	健康づくり運動の実際:レジスタンス運動&介護予防運動	講義	正野
2	1)	健康づくり運動の実際:水泳・水中運動&健康産業施設等現場実習	講義	正野
3	1)	健康づくり運動の実際:ウォームアップとクールダウン	講義	山本
4	1)	健康づくり運動の実際:ウォーキングとジョギング	講義	山本
5	1)	健康づくり運動の実際:ストレッチングと柔軟体操	講義	松田
6	1)	健康づくり運動の実際:エアロビックダンス	講義	松田
7	2)	健康づくりのための栄養摂取と運動(1)	講義	松田
8	2)	健康づくりのための栄養摂取と運動(2)	講義	松田
9	3)	健康づくりのための運動生理学(1)	講義	小川
10	3)	健康づくりのための運動生理学(2)	講義	小川
11	3)	健康づくりのための運動生理学(3)	講義	小川
12	4)	健康づくりのための体力測定と評価	講義	正野
13	5)	健康づくり運動の理論(1)	講義	正野
14	5)	健康づくり運動の理論(2)	講義	正野
15	5)	健康づくり運動の理論(3)	講義	正野

教科書: 使用しない**参考書:** 健康運動指導士 養成講習会テキスト 上・下巻 公益財団法人 健康・体力づくり事業財団

科目名: **健康運動指導論Ⅲ**

担当者: 正野知基(福・ス)・小川芳徳(福・ス)・松田智香子(福・ス)・山本順之(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年生)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 少子・超高齢社会を健康で活力あるものとしていくために、健康を増進し、発病を予防する「一次予防」が重視されている。スポーツ・運動は、その一つ的手段として有用である。健康運動指導論Ⅲでは、4年生前期までのスポーツ・運動関連の科目および健康運動指導論Ⅰで学修した内容を基盤として、科学的根拠に基づき安全で効果的な健康づくりのための運動指導を実践するのに必要なより高度な知識を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)健康づくりにかかわる運動行動変容の理論と実際について説明できる。
 - 2)メンタルヘルスの維持・改善に果たす運動の役割について説明できる。
 - 3)健康管理と身体活動・運動のかかわりについて説明できる。
 - 4)生活習慣病の病態と、その予防・改善における運動の意義、運動処方の内容について説明できる。
 - 5)健康づくりのための施策について概説できる。
 - 6)健康運動にかかわる筋・骨およびその機能と基本的な力学について説明できる。
 - 7)健康づくり運動実践時に考えられる運動障害とその予防について説明できる。
 - 8)健康づくり運動実践時に考えられる救急処置について説明できる。
 - 9)健康づくりのための運動プログラムの実際について説明できる。
 - 10)健康づくり運動のための運動負荷試験の内容・方法・評価について説明できる。

評価方法: 毎回、授業の最後に授業内容の理解度確認のための小テストを行う。
定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 健康運動実践指導者および健康運動指導士を受験する者であること。3年生後期までに受講した健康運動関連の科目の復習を十分に行うこと。毎回の授業後に次回授業内容を示すので、必ず予習を行って授業に臨むこと。また、毎回の小テストの復習を必ず行うこと。予習・復習は1コマあたり4時間を目安とする。

オフィスアワー: 授業前後の可能な時間および各担当教員のオフィスアワーの時間。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	健康づくりのための運動行動変容の理論と実際	講義	正野
2	2)	健康づくりのための運動とこころの健康増進	講義	正野
3	3)	健康管理概論	講義	松田
4	4)	健康づくりのための生活習慣病概論(1)	講義	松田
5	4)	健康づくりのための生活習慣病概論(2)	講義	松田
6	4)	健康づくりのための生活習慣病概論(3)	講義	松田
7	5)	健康づくり施策概論(1)	講義	山本
8	5)	健康づくり施策概論(2)	講義	山本
9	6)	健康づくりのための機能解剖とバイオメカニクス(1)	講義	小川
10	6)	健康づくりのための機能解剖とバイオメカニクス(2)	講義	小川
11	7)	健康づくり運動における運動障害と予防	講義	小川
12	8)	健康づくり運動における救急処置	講義	小川
13	9)	健康づくりのための運動プログラムの実際(1)	講義	正野
14	9)	健康づくりのための運動プログラムの実際(2)	講義	正野
15	10)	健康づくり運動のための運動負荷試験 □	講義	正野

教科書: 使用しない

参考書: 健康運動指導士 養成講習会テキスト 上・下巻 公益財団法人 健康・体力づくり事業財団

科目名: **教育原論**

担当者: 橋迫 和幸(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 人間形成と教育をめぐる基本的概念, 世界と日本の教育の歴史, 教育課程と教育評価, 現代教育をめぐる諸問題について学び, 教育の本質についての基礎的な理解および現代教育の諸課題について考える視座を身につける。

到達目標: (SBOs)
1)人間の成長と発達の特質についての知見を有し, 教育の本質を理解している。
2)教育の歴史について概略を理解している。
3)学校教育の任務と教師の役割について理解している。
4)教育課程, 指導法および教育評価について概要を理解している。
5)現代教育をめぐる問題と課題について理解している。

評価方法: 成績評価は複数回のレポートの成績および出席点をもとに行う。

準備学習・履修上の注意等: (1)1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。
(2)授業はテキストに即して進め, 次回授業で扱うテキストの該当箇所を予め指定するので, 必ず予習しておくこと。
(3)授業ではテキストを用いるほか, レジュメや資料を配布するので, これらをもとに復習すること。

オフィスアワー: 時間割が確定後, 研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)		講義	橋迫
2	1)	【教育の本質(1)】 人間とは何か, 教育とは何かについて学び, 教えることと学ぶことの意味について考える。	講義	橋迫
3	1)	【教育の本質(2)】 成長と発達に及ぼす遺伝と環境の影響について学び, 教育の意義と可能性について理解する。	講義	橋迫
4	2)	【教育の本質(3)】 教育は子育てや教化とどう異なるかについて学び, 教育の本質についての理解を深める。	講義	橋迫
5	2)	【世界の教育の歴史(1)】 教育の歴史を学ぶ意義について理解し, 西洋における学校の登場と発展の歴史を学ぶ。	講義	橋迫
6	2)	【世界の教育の歴史(2)】 西洋において近代公教育制度がどのような歴史的背景のもとで発展してきたかを学ぶ。	講義	橋迫
7	2)	【日本の教育の歴史(1)】 日本における近代公教育制度の歴史について, 戦前の教育制度を中心に学ぶ。	講義	橋迫
8	3)	【日本の教育の歴史(2)】 戦後教育改革のなかで公教育はどのように構想され, どのように発展してきたかを学ぶ。	講義	橋迫
9	3)	【学力と道徳性の形成(1)】 学力とは何か, 学力形成をめぐる今のような問題があるかについて学ぶ。	講義	橋迫
10	4)	【学力と道徳性の形成(2)】 道徳性の発達と教育について理解し, 道徳教育をめぐる諸問題について考える。	講義	橋迫
11	4)	【教育課程と教育評価(1)】 教育計画と教育課程の意義, よび学習指導要領と教科書の役割について学ぶ。	講義	橋迫
12	3)	【教育課程と教育評価(2)】 教育評価の意義とねらいについて理解し, 学校教育における教育評価の課題と方法について考える。	講義	橋迫
		【教師の仕事】		

13	5)	教師に求められる資質能力や教師の仕事の内容について学び、教師の社会的使命について理解する。	講義	橋迫
14	5)	【現代社会と教育の課題(1) 青年期と教育】 青年期の特質について理解し、青年期教育の課題と教師の任務について考える。	講義	橋迫
15	5)	【現代社会と教育の課題(2) 「子どもの権利条約」と教育】 「子どもの権利条約」について理解を深め、条約の視点から今日の学校の課題について考える。	講義	橋迫
		【現代社会と教育の課題(3) 社会教育と生涯学習】 社会教育および生涯学習について理解し、生涯学習時代における学校の役割について考える。		

教科書： やさしい教育原理 第3版（田嶋 一・中野 新之祐・福田 須美子・狩野 浩二）有斐閣 【ISBN-10:4641220816】

参考書： 使用しない。

科目名: **教育心理学**

担当者: 田中 陽子(福・福)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 教育心理学は、教育をより効果的なものにするために心理学の分野で明らかにされた事実を教育の分野に応用したり、また教育に関するさまざまな問題や諸現象について心理的な視点から解明したりすることで、教育の心理学的側面からの理論的な体系化や教育実践の方法を開発する分野である。本講義では、教育現場において生じる問題とその背景を理解した上で、教育現場の心理社会的課題を明らかにし、必要な支援について習得することを目的とする。

到達目標: (SBOs) 1)子どもの発達の代表的な理論を踏まえ、教育における発達理解の意義を理解している。
2)子どもの発達(運動・言語・認知・社会性)の具体的な内容について理解している。
3)学習に関する心理学の基礎を理解している。
4)個人と集団の心理について生徒の心身の発達を踏まえて理解している。
5)学校不適応の問題について発達を関連づけて理解し、指導に活用できる。
6)代表的な教授法と学習評価について理解している。

評価方法: 授業中のワークやレポート等10%および学期末の単位認定試験90%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: ・心理学の基本的な知識を習得しておくこと。
・1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。特に、新聞・テレビニュースなどを通して現代の教育の動きに関心を持つこと。

オフィスアワー: 研究室前に掲示。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)5)	教育心理学とは	講義	田中
2	1)	【子どもの発達と学習①】:人間の心とからだはどのように変化していくのだろうか?	講義	田中
3	2)	【子どもの発達と学習②】:子どもの行動はどうやって身につく?	講義	田中
4	2)	【子どもの発達と学習③】:知識をしっかりと身につけるには?	講義	田中
5	2)	【子どもの発達と学習④】:「考える」とはどういうことだろうか?	講義	田中
6	2)	【子どもの発達と学習⑤】:意欲を高めるためにどうすればよい?	講義	田中
7	3)	【子どもの自己、人間関係、集団①】:自分らしさってなんだろう?	講義	田中
8	1)2)3)	【子どもの自己、人間関係、集団②】:子どもは人間関係の中でどのように成長する?	講義	田中
9	2)3)	【子どもの自己、人間関係、集団③】:学級における教師と子どもとの関係	講義	田中
10	1)3)	【子どもの自己、人間関係、集団④】:学級における仲間関係	講義	田中
11	1)3)4)	【個人差の理解と指導①】:子どもの不適応をどう理解し、対応すればよい?	講義	田中
12	1)2)3)4)	【個人差の理解と指導②特別支援教育を踏まえて】:発達のつまずきってなんだろう?	講義	田中
13	1)2)3)4)	【個人差の理解と指導③特別支援教育を踏まえて】:発達障害のある子どもへのアプローチ	講義	田中
14	1)2)3)4)5)	【個人差の理解と指導④】:どのように学習を指導すればよい?	講義	田中
15	1)2)3)4)5)	【個人差の理解と指導⑤】:教育評価は何のために行うのか?	講義	田中

教科書: 『実践につながる教育心理学』(櫻井茂男監修)北樹出版【978-4-7793-0325-8C3011】

参考書: 心理学のポイントシリーズ教育心理学(三宮真智子 編著)学文社【978-4-7620-1886-2】
教育学のポイントシリーズ教育心理学(柴田義松・宮坂 瑠子 編)学文社【978-4-7620-1399-7】

科目名: **教育相談**

担当者: 田中 陽子(福・福)

配当学科: 子ども保育福祉学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 教育相談では、まず子どもたちの発達や心理学的な支援の技法を学び、学校や幼稚園で起こるさまざまな問題について、幼稚園という場で児童をどう支援していくか、具体的なアプローチや問題のとらえ方を学ぶことを目的とする。また、児童福祉分野での「児童」は18歳までである。児童福祉施設の児童指導員になったときなどに学校と連携できるような基本的知識を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)学校における教育相談の意義と課題を理解している。
2)子どもの心身の発達など教育相談のための心理学の基礎的な理論、概念を理解している。
3)学校生活の中での子どもの問題を把握する方法と支援方法について理解している。
4)学校教育におけるカウンセリングマインドの必要性を理解している。
5)カウンセリングの基礎的な姿勢や技法を理解している。
6)校内組織による役割を踏まえ、生徒や保護者への必要な対応を理解している。
7)学校での問題行動に対して、発達を踏まえた教育相談の進め方を理解している。
8)教育相談に必要な校内体制の整備など組織的な取り組みの必要性を理解している。
9)学校内外の相談体制と連携の意義や必要性を理解している。□

評価方法: 授業中のワークやレポート等10%および学期末の単位認定試験90%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: ・教職課程を取ることをまじめに考えているか、あるいは児童福祉分野に関心があること。
・1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。特に、新聞・テレビニュースなどを通して現代の教育や子育て支援の動きに関心を持つこと。

オフィスアワー: 研究室前に掲示。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	教育相談とは何か	講義	田中
2	2)3)	【子どもの発達の問題とその支援①】 子どもの発達の特徴:乳幼児期・児童期・青年期	講義	田中
3	2)3)6)	【子どもの発達の問題とその支援②】 子どもの発達の特徴をとらえるためのアセスメント : 観察法・面接法・心理検査法	講義	田中
4	2)3)4)6)	【子どもの発達の問題とその支援③】 子どもの発達の問題 : 広汎性発達障害・注意欠陥/多動性障害・学習障害など	講義	田中
5	1)2)3)4)5)	【子どもの発達の問題とその支援④】 特別支援教育とは	講義	田中
6	2)3)4)5)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応①】 不登校の問題とその支援	講義	田中
7	2)3)4)5)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応②】 子どもの問題行動とその支援Ⅰ : 非行など	講義	田中
8	2)4)5)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応③】 子どもの問題行動とその支援Ⅱ : いじめ	講義	田中
9	2)3)4)5)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応④】 子どもの社会性の問題とその支援	講義	田中
10	2)3)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応⑤】 教育相談に関わる精神医学	講義	田中
11	1)3)5)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応⑥】 学内外の相談体制・連携のあり方	講義	田中
12	1)3)5)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応⑦】 教育相談に関わる危機介入	講義	田中
13	2)3)4)5)	【家族への支援】 子育てと家族の問題とその支援	講義	田中
14	3)4)6)	【発達相談・教育相談のための心理療法の基礎①】 遊戯療法・表現療法・行動療法・認知行動療法等	講義	田中

教科書: 子どもの成長を支える発達教育相談 (鎌倉 利光・藤本 昌樹 編著) 北樹出版 【978-4-7793-0275-6】

参考書: 生徒理解・指導と教育相談 (牟田 悦子編) 学文社 【978-4-7620-1688-2】

科目名: **教育相談**

担当者: 田中 陽子(福・福)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 教育相談は、生徒が自己理解を深め、好ましい人間関係を築きながら、学校・学級集団に適應する力を育み、さらに個性を伸ばし、人格の成長を支援する教育活動である。本講義では、子どもたちの発達や心理学的な支援の技法を学び、学校で起こるさまざまな問題について、学校という場で生徒をどう支援していくか、具体的なアプローチや問題のとらえ方を学ぶことを目的とする。生徒の発達の状況や心理的特質を把握し、教育的課題を解決するよう支援するために必要な基礎的知識(カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む)を身に付ける。□

到達目標: (SBOs) 1)学校における教育相談の意義と課題を理解している。
2)子どもの心身の発達など教育相談のための心理学の基礎的な理論、概念を理解している。
3)学校生活の中での子どもの問題を把握する方法と支援方法について理解している。
4)学校教育におけるカウンセリングマインドの必要性を理解している。
5)カウンセリングの基礎的な姿勢や技法を理解している。
6)校内組織による役割を踏まえ、生徒や保護者への必要な対応を理解している。
7)学校での問題行動に対して、発達を踏まえた教育相談の進め方を理解している。
8)教育相談に必要な校内体制の整備など組織的な取り組みの必要性を理解している。
9)学校内外の相談体制と連携の意義や必要性を理解している。□

評価方法: 授業中のワークの参加状況と課されたレポート等10%および学期末の単位認定試験90%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: ・教職課程を取ることをまじめに考えているか、あるいは児童福祉分野やスクールカウンセラー等に関心があること。
・1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。特に、新聞・テレビニュースなどを通して現代の教育や親子関係などに関心を持つこと。

オフィスアワー: 研究室前に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	教育相談とは何か	講義	田中
2	2)3)	【子どもの発達の問題とその支援①】 子どもの発達の特徴:乳幼児期・児童期・青年期	講義	田中
3	2)3)6)	【子どもの発達の問題とその支援②】 子どもの発達の特徴をとらえるためのアセスメント : 観察法・面接法・心理検査法	講義	田中
4	2)3)4)6)	【子どもの発達の問題とその支援③】 子どもの発達の問題 : 広汎性発達障害・注意欠陥/多動性障害・学習障害など	講義	田中
5	1)2)3)4)5)	【子どもの発達の問題とその支援④】 特別支援教育とは	講義	田中
6	2)3)4)5)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応①】 不登校の問題とその支援	講義	田中
7	2)3)4)5)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応②】 子どもの問題行動とその支援Ⅰ : 非行など	講義	田中
8	2)4)5)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応③】 子どもの問題行動とその支援Ⅱ : いじめ	講義	田中
9	2)3)4)5)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応④】 子どもの社会性の問題とその支援	講義	田中
10	2)3)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応⑤】 教育相談に関わる精神医学	講義	田中
11	1)3)5)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応⑥】 学内外の相談体制・連携のあり方	講義	田中
12	1)3)5)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応⑦】 教育相談に関わる危機介入	講義	田中
13	2)3)4)5)	【家族への支援】 子育てと家族の問題とその支援	講義	田中

14	3)4)6)	【発達相談・教育相談のための心理療法の基礎①】 遊戯療法・表現療法・行動療法・認知行動療法等	講義	田中
15	3)4)6)	【発達相談・教育相談のための心理療法の基礎②】 ブリーフセラピー・構成的グループエンカウンター・来談者中心療法・TFT・EMDR	講義	田中

教科書： 子どもの成長を支える発達教育相談 第3版（鎌倉 利光・藤本 昌樹 編著）北樹出版 【978-4-7793-0466-8C3011】

参考書： 生徒理解・指導と教育相談（牟田 悦子編）学文社 【978-4-7620-1688-2】

科目名: **医学概論**

担当者: 貫 優美子(福・福) 稲田 弘子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 「福祉」は「人」を対象としています。将来、福祉の専門職として心身に障害がある人を支援するため、さらには、医療専門職等と連携ができる福祉専門職になるために必要な医学的基礎知識を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)人の成長・発達と老化について説明できる。
2)人体の各器官の構造と機能について説明できる。
3)疾病の概要について説明できる。
4)障害の概要について説明できる。
5)リハビリテーションの概要について説明できる。
6)国際機能分類の基本的考え方と概要について説明できる。
7)健康の捉え方について説明できる。

評価方法: 筆記試験により評価する。出席・授業態度等は成績評価の参考にとどめる。
筆記試験は、中間試験(8回目)が60点、終了試験(16回目)が40点とする。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士を目指す学生は必修である。
プリント配布は最小限であり、必要時(解剖図等)は、パワーポイントで表示し説明する。マイノート作成もしくは、テキストに書き込むこと。
テキストを主に使用するので必ず購入しておくこと。

オフィスアワー: 時間割確定後に研究室前に掲示します。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション 人の成長・発達と老化	講義	稲田
2	2)	身体構造と心身の機能①	講義	貫
3	2)	身体構造と心身の機能②	講義	貫
4	3)	疾病の概要① 生活習慣病、悪性腫瘍、脳血管疾患、心疾患、高血圧	講義	貫
5	3)	疾病の概要② 糖尿病と内分泌疾患、呼吸器疾患、消化器疾患	講義	貫
6	3)	疾病の概要③ 血液疾患と膠原病、腎臓疾患、泌尿器疾患、骨・関節疾患	講義	貫
7	3)	疾病の概要④ 目・耳の疾患、感染症、神経疾患と難病、先天性疾患他	講義	貫
8	3)	中間試験と前半の総括	講義	貫
9	4)	障害の概要① 視覚障害、聴覚障害	講義	稲田
10	4)	障害の概要② 平衡感覚障害 肢体不自由 内部障害	講義	稲田
11	4)	障害の概要③ 認知症	講義	稲田
12	4)	障害の概要④ 知的障害、発達障害	講義	稲田
13	4)	障害の概要⑤ 高次脳機能障害、精神障害	講義	稲田
14	5)6)	リハビリテーションの概要 ICFの基本的考え方と概要	講義	稲田
15	7)	健康の捉え方	講義	稲田

教科書: 人体の構造と機能及び疾病 (編集 社会福祉士養成講座編集委員会) 中央法規

参考書: 必要時プリントを配布する。

科目名: **医学概論**

担当者: 平田 浩二(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 本講義は、医療の歴史、倫理および法律という3つの視点から医療の全体像を学習する。将来、医療の一翼を担うはり師、きゆう師が医療の歴史的事実を学習(過去と対話)することにより、現代医療への冷静な評価と、よりよい医療の発展について考察する。また現代医療の重要なテーマの一つである医療倫理における諸問題を学習することで、医療に対する深い洞察力を修得する。さらにははり師きゆう師に関係する法律を学ぶことで、社会における医療人としての役割について学習する。

到達目標: (SBOs) 1)健康と疾病の概念について理解し、説明できる。
2)医学史について説明できる。
3)医療制度について説明できる。
4)医療倫理について理解し、説明できる。
5)医療関連法規について概要を説明できる。
6)国家資格を得るための制度について説明できる。
7)罰則規定について説明できる。
8)医療関係者に関する法律について説明できる。

評価方法: 単位認定試験結果で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 医療人となるための最も基本概念を学ぶため、真摯な態度で学習することが望まれる。なお1コマあたり2時間を目安に予習復習を行うことが必要である。そのためには講義前後だけではなく週末あるいは長期休暇も用いることとする。

オフィスアワー: 講義の前後時間とする。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	医療とは 健康と疾病	講義	平田
2	2)	医学・医療の歴史1	講義	平田
3	2)	医学・医療の歴史2	講義	平田
4	3)	現代医療の制度	講義	平田
5	4)	医療の多様性	講義	平田
6	4)	現代医療の課題	講義	平田
7	4)	医療倫理	講義	平田
8	5)	法制度の沿革・目的	講義	平田
9	6)	免許と試験・業務・学校、養成施設	講義	平田
10	6)	指定試験(登録)機関、審査会と委員	講義	平田
11	6)	罰則・法と実定法	講義	平田
12	7)	医事法規と医療制度、医療法、医師法	講義	平田
13	8)	その他の医療従事者に対する法律	講義	平田
14	8)	薬事法、衛生関係法規	講義	平田
15	1)	臨床医学総論まとめ	講義	平田

教科書: 中川米造監修. 社団法人東洋療法学校協会編 『医療概論』 医歯薬出版株式会社 ISBN978-4-263-24100-4 C3347
前田和彦著. 社団法人東洋療法学校協会編 『関係法規』 医歯薬出版株式会社 ISBN978-4-263-24170-7 C3347

参考書: 使用しない

科目名: **解剖学 I**

担当者: 川野 純一(保・視)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 解剖学は、人体を構成する部分ごとに分類し分析することにより、正常な人体の仕組みや成り立ちについて理解する学問である。解剖学 I では、解剖学総論と運動器系について学ぶ。解剖学総論では、解剖学の基本的な考え方と一般的な解剖学用語を修得し、細胞や組織の構造と人体の発生の概要を理解する。運動器系では、全身の骨格系と筋系の仕組みについて修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 一般的な解剖学用語を使うことができる。
2) 細胞や組織の概要を説明でき、主な組織の分類ができる。
3) 人体の発生の概要を説明でき、3胚葉の分類ができる。
4) 骨格系の各部の構造を説明できる。
5) 主な骨格筋の起始・停止、作用、神経支配を説明できる。

評価方法: 単位認定試験(得点が50-59点で、且つ毎回行う小テストの得点率が60%以上の場合は、60点とする。)

準備学習・履修上の注意等: 約60時間の予習復習が求められる。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	細胞	講義	川野
2	1)2)	組織	講義	川野
3	1)2)	皮膚	講義	川野
4	1-3)	人体の発生	講義	川野
5	1)2)	運動器総論	講義	川野
6	4)	脊柱の骨	講義	川野
7	4)	胸郭と上肢の骨	講義	川野
8	4)	下肢の骨	講義	川野
9	4)	頭蓋骨	講義	川野
10	5)	頭頸部の筋	講義	川野
11	5)	体幹の筋	講義	川野
12	5)	上肢の筋1	講義	川野
13	5)	上肢の筋2	講義	川野
14	5)	下肢の筋1	講義	川野
15	5)	下肢の筋2	講義	川野

教科書: 解剖学 第2版 東洋療法学校協会編 【978-4-263-24207-0】

参考書: 使用しない

科目名: **解剖学Ⅱ**

担当者: 川野 純一(保・視)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 解剖学は、人体を構成する部分ごとに分類し分析することにより、正常な人体の仕組みや成り立ちについて理解する学問である。本科目は、人体についての他の専門科目学習の基礎作りと鍼灸国家試験合格に必要な知識を修得することを目的とする。解剖学Ⅱでは、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿生殖器系について学ぶ。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 脈管系の構造について概要を説明できる。
 - 2) 心臓の構造について説明できる。
 - 3) 主な動脈の走行と関連する組織について説明できる。
 - 4) 主な静脈の走行と関連する組織について説明できる。
 - 5) 主なリンパ管の走行について説明できる。
 - 6) リンパ組織の構造について説明できる。
 - 7) 呼吸器の構造について説明できる。
 - 8) 消化管の各部の構造について説明できる。
 - 9) 肝胆膵の各部の構造について説明できる。
 - 10) 泌尿器の構造について説明できる。
 - 11) 生殖器の構造について説明できる。

評価方法: 単位認定試験(得点が50-59点で、且つ毎回行う小テストの得点率が60%以上の場合は、60点とする。)

準備学習・履修上の注意等: 毎回、実施する小テストに備えて、十分な復習(授業時間の2倍程度)をすることが必要である。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1) 2)	循環器1	講義	川野
2	3)	循環器2	講義	川野
3	3)	循環器3	講義	川野
4	4)	循環器4	講義	川野
5	4)	循環器5	講義	川野
6	5) 6)	循環器6	講義	川野
7	7)	呼吸器1	講義	川野
8	7)	呼吸器2	講義	川野
9	8)	消化器1	講義	川野
10	8)	消化器2	講義	川野
11	9)	消化器3	講義	川野
12	10)	泌尿生殖器1	講義	川野
13	10) 11)	泌尿生殖器2	講義	川野
14	11)	泌尿生殖器3	講義	川野
15	11)	泌尿生殖器4	講義	川野

教科書: 解剖学 第2版 東洋療法学校協会編【978-4-263-24207-0】

参考書: 使用しない

科目名: **解剖学Ⅲ**

担当者: 川野 純一(保・視)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 解剖学は、人体を構成する部分ごとに分類し分析することにより、正常な人体の仕組みや成り立ちについて理解する学問である。本科目は、人体についての他の専門科目学習の基礎作りと鍼灸国家試験合格に必要な知識を修得することを目的とする。解剖学Ⅲでは、内分泌器、神経系、各部の局所解剖を学習する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 内分泌器の構造と分泌されるホルモンについて説明できる。
- 2) 神経系各部の構造と機能について説明できる。
- 3) 感覚器の構造について説明できる。
- 4) 肉眼解剖学的に重要な部位の構造について説明できる。
- 5) 主な血管の走行について肉眼解剖学的に説明できる。
- 6) 主な神経の走行について肉眼解剖学的に説明できる。

評価方法: 単位認定試験(得点が50-59点で、且つ毎回行う小テストの得点率が60%以上の場合は、60点とする。)

準備学習・履修上の注意等: 毎回、実施する小テストに備えて、十分な復習(授業時間の2倍程度)をすることが必要である。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	内分泌器1	講義	川野
2	1)	内分泌器2	講義	川野
3	2)	神経系1	講義	川野
4	2)	神経系2	講義	川野
5	2)	神経系3	講義	川野
6	2)	神経系4	講義	川野
7	3)	感覚器1	講義	川野
8	3)	感覚器2	講義	川野
9	4) 5) 6)	体幹の局所解剖1	講義	川野
10	4) 5) 6)	体幹の局所解剖2	講義	川野
11	4) 5) 6)	上肢の局所解剖1	講義	川野
12	4) 5) 6)	上肢の局所解剖2	講義	川野
13	4) 5) 6)	下肢の局所解剖1	講義	川野
14	4) 5) 6)	下肢の局所解剖2	講義	川野
15	4) 5) 6)	頭頸部の局所解剖	講義	川野

教科書: 解剖学 第2版 東洋療法学校協会編【978-4-263-24207-0】

参考書: 使用しない

科目名: **身体の働き I**

担当者: 小川芳徳(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科2年

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 生体は特有な生命現象を示します。生理学は、その生命現象の機序を研究する自然科学です。生体は、外界からの刺激に対して反応・応答します。この科目では、刺激に対して応答するメカニズム、そして生体を保持する仕組みを理解し、基本的な知識を修得することを目的にします。

到達目標: (SBOs)

- 1) 身体の構成を説明できる
- 2) 外部情報の獲得について説明できる
- 3) 精神機能について説明できる
- 4) 随意運動にかかわる機能について説明できる
- 5) 生命を継ぐことを
- 6) 血液循環の機能
- 7) 栄養の摂取と利用の仕方を
- 8) 内部環境の維持について
- 9) 生体を防御するしくみ

評価方法: 授業ごとの確認テストにより形成的評価(授業の指導方法の確認・修正のための評価)を行う。学習への取り組み姿勢(授業態度、課題の提出)の評価を20%及び学期末の単位認定試験80%とし、総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき4時間の予習・復習を行うこと(土、日、祝日、長期休暇を用いて)。授業プリントの次回授業部分(事前に配布する)を読んでおくこと。

オフィスアワー: 12:30~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)8)	体温調節	講義	小川
2	1)8)	体熱の産生と放散、発汗とその調節、体温調節の障害	講義	小川
3	1)8)	腎臓の働き、腎循環	講義	小川
4	1)8)	尿生成	講義	小川
5	1)8)	腎臓と体液の調節、糞尿と排尿	講義	小川
6	1)8)	ホルモンの特徴	講義	小川
7	1)8)	ホルモンの種類とその働き1	講義	小川
8	1)8)	ホルモンの種類とその働き2	講義	小川
9	1)8)	ホルモンの種類とその働き3	講義	小川
10	5)	生殖、妊娠と出産	講義	小川
11	5)	成長と老化	講義	小川
12	1)2)3)4)	ニューロンの構造とはたらき、神経線維の興奮伝導、シナプス伝達	講義	小川
13	1)2)3)4)	中枢神経系の分類と機能、反射、脊髄	講義	小川
14	1)2)3)4)	脳幹、小脳、視床、視床下部	講義	小川
15	1)2)3)4)	大脳、脳脊髄液、末梢神経系、自律神経系	講義	小川

教科書: 生理学(東洋療法学校協会編)医歯薬出版株式会社【978-4-263-24166-0 C3347】

参考書: 特に指定しない。

科目名: **身体の働きⅡ**

担当者: 小川芳徳(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科2年

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 生体は特有な生命現象を示します。生理学は、その生命現象の機序を研究する自然科学です。生体は、外界からの刺激に対して反応・応答します。この科目では、刺激に対して応答するメカニズム、そして生体を保持する仕組みを理解し、基本的な知識を修得することを目的にします。

到達目標: (SBOs)

- 1) 身体の構成を説明できる
- 2) 外部情報の獲得について説明できる
- 3) 精神機能について説明できる
- 4) 随意運動にかかわる機能について説明できる
- 5) 生命を継ぐことを
- 6) 血液循環の機能
- 7) 栄養の摂取と利用の仕方を
- 8) 内部環境の維持について
- 9) 生体を防御するしくみ

評価方法: 授業ごとの確認テストにより形成的評価(授業の指導方法の確認・修正のための評価)を行う。学習への取り組み姿勢(授業態度、課題の提出)の評価を20%及び学期末の単位認定試験80%とし、総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき4時間の予習・復習を行うこと(土、日、祝日、長期休暇を用いて)。授業プリントの次回授業部分(事前に配布する)を読んでおくこと。

オフィスアワー: 12:30~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)4)	骨格筋の構造とはたらき、筋の収縮のしくみ	講義	小川
2	1)4)	筋のエネルギー供給のしくみ	講義	小川
3	1)4)	心筋と平滑筋	講義	小川
4	4)	骨格筋の神経支配	講義	小川
5	4)	運動の調節	講義	小川
6	4)	錐体路系と錐体外路系、発生と言語	講義	小川
7	1)2)	感覚の分類と一般的性質、体性感覚、内臓感覚、痛覚	講義	小川
8	1)2)	味覚と嗅覚	講義	小川
9	1)2)	聴覚と平衡感覚	講義	小川
10	1)2)	視覚	講義	小川
11	8)9)	生体の防御機構	講義	小川
12	8)9)	免疫反応	講義	小川
13	9)	生体の適応	講義	小川
14	9)	恒常性維持	講義	小川
15	9)	バイオリズム	講義	小川

教科書: 生理学(東洋療法学校協会編)医歯薬出版株式会社【978-4-263-24166-0 C3347】

参考書: 特に指定しない。

科目名: リハビリテーション

担当者: 平田 浩二(非常勤講師)・瀧本真由美(スポーツ健康福祉学科)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(3年)

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 人間らしく生きる権利の復活が目的であると言われているリハビリテーション医学の概略、障害の評価(診断)を理解し、治療法として理学、作業、言語療法の各療法及び装具を用いた療法について学習する。また、各疾患別の具体的リハビリテーションの方法について修得する。

到達目標: 1) 医学的リハビリテーションの概要について説明できる。
(SBOs) 2) 各種疾患別のリハビリテーションについて説明できる。
3) 正常歩行と異常歩行について説明できる。

評価方法: 受講態度、レポート、単位認定試験などを総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 講義終了後は、1コマあたり2時間を目安に予習復習を行うこと。その際、学習した内容を振り返り、疑問点を整理しておくこと。なお予習復習は講義前後のみならず、週末や長期休暇を用いることとする。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	リハビリテーションの概要	講義	平田
2	1)	医学的リハビリテーションの概要	講義	平田
3	1)	医学的リハビリテーションの実際1	講義	平田
4	1)	医学的リハビリテーションの実際2	講義	平田
5	2)	脳血管障害のリハビリテーション1	講義	平田
6	2)	脳血管障害のリハビリテーション2	講義	平田
7	2)	脳性(小児)麻痺のリハビリテーション	講義	平田
8	2)	パーキンソン病のリハビリテーション	講義	平田
9	2)	脊髄損傷のリハビリテーション	講義	平田
10	2)	整形外科疾患のリハビリテーション1	講義	平田
11	2)	整形外科疾患のリハビリテーション2	講義	平田
12	2)	切断のリハビリテーション	講義	平田
13	2)	呼吸器疾患のリハビリテーション	講義	平田
14	2)	関節リウマチのリハビリテーション	講義	平田
15	3)	正常歩行と歩行の異常	講義	瀧本

教科書: 東洋療法学校協会 編/土肥信之・出江紳一ほか著. リハビリテーション医学 第4版. 医歯薬出版. ISBN978-4-263-24173-8

参考書: 使用しない

科目名: **病理学概論**

担当者: 平田 浩二(非常勤)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 病理学とは、病的状態における人体の形態的变化を理解する、すなわち病気の原因を探り、治療法を確立するための基本的な概念を学ぶ領域である。臨床の場面では病理学的所見によって得られた知見を基に医療の方針が決定される。このように基礎医学と臨床医学を結びつける領域でもあるため、病態生理を学ぶことによって臨床医学を科学的に理解できる能力を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 疾病に関する基本的な考え方が説明できる。
2) 病因の中で、特に「内因」が説明できる。
3) 病因の中で、特に「外因」が説明できる。
4) 生命活動に不可欠な物質代謝である「循環」の病理的状态について説明できる。
5) 消極的な代謝障害である「退行性病変」について説明できる。
6) 積極的な代謝活動が背景にある「進行性病変」について説明できる。
7) 「炎症」の特徴および発生機序が説明できる。
8) 細胞の自律的増殖である「腫瘍」細胞の特色、分類、発達治癒過程等が説明できる。

評価方法: 単位認定試験結果で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 本講義は講義中に講師が話す内容のポイントを教科書に書き込む、あるいはノートをこまめにとることが要求される。また講義終了後には1コマあたり2時間を目安に予習復習を行うこと。なおそのための時間確保は講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇も用いることとする。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間とする。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	疾病の一般1(疾病の概念と分類、症候・経過・予後・転帰)	講義	平田
2	2)	内因1(素因・体質・奇形)	講義	平田
3	2)	内因2(遺伝と染色体異常)	講義	平田
4	2)	内因3(内分泌障害・心因性疾患)	講義	平田
5	2)	内因4(免疫異常)	講義	平田
6	3)	外因1(栄養素の供給障害)	講義	平田
7	3)	外因2(物理的病因作用)	講義	平田
8	3)	外因3(化学的病因作用)	講義	平田
9	3)	外因4(生物学的病因作用)	講義	平田
10	4)	循環障害1(充血・鬱血・局所貧血、血栓症・塞栓症・梗塞)	講義	平田
11	4)	循環障害2(出血・側副循環)	講義	平田
12	5)	退行性病変	講義	平田
13	6)	進行性病変	講義	平田
14	7)	炎症	講義	平田
15	8)	腫瘍	講義	平田

教科書: 病理学概論 滝澤登一郎、畠山茂著, 社団法人東洋療法学校協会編. 医歯薬出版株式会社. ISBN978-4-263-24167-7 C3347

参考書: 使用しない。

科目名: 衛生学 I

担当者: 平田 浩二(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(3年)

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 公衆衛生学は、集団を対象として、健康障害を引き起こす要因を明らかにし、予防対策を確立し、実施することを目的とした社会医学である。本講では健康を左右する要因を明らかにする方法、健康障害を防止するために行われている行政対策についての知識を学習し、社会の変化に対応できる予防医学の基礎知識を修得する。

到達目標: (SBOs)
1)衛生学とはどのような学問かについて説明できる。
2)食品の意義と栄養について説明できる。
3)運動の意義と健康保持・増進について説明できる。
4)日常生活環境と人間の相互作用について説明できる。
5)成人・高齢者保健の意義と保健福祉対策について説明できる。

評価方法: 受講態度、レポート、単位認定試験などを総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 講義終了後は、1コマあたり2時間を目安に予習復習を行うこと。その際、学習した内容を振り返り、疑問点を整理しておくこと。なお予習復習は講義前後のみならず、週末や長期休暇を用いることとする。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	衛生学・公衆衛生学とは	講義	平田
2	2)	食品と栄養	講義	平田
3	2)	食品と栄養	講義	平田
4	3)	運動と健康	講義	平田
5	4)	環境とは	講義	平田
6	4)	日常生活環境について 物理的環境要因	講義	平田
7	4)	日常生活環境について 科学的環境要因	講義	平田
8	4)	日常生活環境について 生物学的環境要因	講義	平田
9	4)	環境問題 公害	講義	平田
10	4)	環境問題 地球規模の環境問題(1)	講義	平田
11	4)	環境問題 地球規模の環境問題(2)	講義	平田
12	4)	環境問題	講義	平田
13	5)	成人・高齢者保健	講義	平田
14	5)	生活習慣病の特徴と対策	講義	平田
15	5)	高齢者の保健福祉対策	講義	平田

教科書: 東洋療法学校協会 編/鈴木庄亮・高坂宏一 ほか著
衛生学・公衆衛生学 第2版
ISBN978-4-263-24169-1

参考書: 使用しない。

科目名: 衛生学Ⅱ

担当者: 秋葉 敏夫(福・福)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(鍼灸 3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 公衆衛生学は、疾病予防と健康の保持・増進のための科学である。鍼灸師は診療活動だけではなく、これらに関する知識や保健福祉の法制・倫理などにも精通している必要がある。この授業を受講すれば予防医学、疫学、保健医療行政の分野の理解が深まる。

到達目標: (SBOs)
1) 公衆衛生の概念を把握できる。
2) 公衆衛生と疾病の関係について説明できる。
3) 公衆衛生と様々な法制度との関係を述べるができる。
4) 公衆衛生にかかわるデータを理解することができる。

評価方法: 授業後の小テスト(30%)、学期末の筆記試験(60%)、課題の提出状況・授業態度(10%)を考慮して評価をする。

準備学習・履修上の注意等: 学習範囲が広範に及ぶので、教科書を用いた十分な復習(1時間以上)が必要である。

オフィスアワー: 火・水・木曜日 12:15~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	健康に関する概念はいくつある?	講義	秋葉
2	1)2)3)	健康管理を行うシステム、法律にどんなものがあるのか	講義	秋葉
3	1)2)3)	産業保健の意義とは?	講義	秋葉
4	1)2)3)	精神保健がなぜ重要なのか?	講義	秋葉
5	1)2)3)	母子保健活動の果たす役割とは?	講義	秋葉
6	1)2)3)	感染症を起こす病原体にどんなものがあるのか	講義	秋葉
7	1)2)3)	代表的な感染症にどんなものがあるのか	講義	秋葉
8	1)2)3)	代表的な感染症にどんなものがあるのか	講義	秋葉
9	1)2)3)	予防するにはどうすればよいのか	講義	秋葉
10	1)2)3)	消毒原理はいくつある?	講義	秋葉
11	1)2)3)	消毒の実際どうするのか、医療廃棄物の扱いは?	講義	秋葉
12	1)2)3)4)	疫学とは?	講義	秋葉
13	1)2)3)4)	疫学的手法にどんなものがあるのか?	講義	秋葉
14	1)2)3)4)	保健統計をどう読むのか?	講義	秋葉
15	1)2)3)4)	保健統計を使ってどんなことが出来るのか?	講義	秋葉

教科書: 「衛生学・公衆衛生学」 東洋療法学校協会編 (医歯薬出版会社 ISBN978-4-263-24169-1)

参考書: 使用しない

科目名: **臨床医学総論 I**

担当者: 佐藤 正次(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(2年)

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 東洋医学に根ざした臨床に携わる鍼灸師が、チーム医療を中心とする医療界において、現代医学的な診察法を学ぶことは、個々の専門性を持つ医療スタッフと連携し、患者に適切な医療を提供する上できわめて重要である。そこで臨床医学総論 I では、正しい病態把握を基に深く患者を理解し鍼灸治療はもとより現代医学的治療も視野に、患者にとって最適な医療を選択し、且つ全人的医療が提供できるよう、診察法の基礎知識を学ぶ。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 診察法の種類を列挙し、その概要を説明できる。
 - 2) 臨床における医療面接の重要性を説明できる。
 - 3) 視診における全身のおよび局所的な主要症候を説明できる。
 - 4) 運動器を中心とした身体各部の病的触診事項が説明できる。
 - 5) 胸腹部における病的打診事項が説明できる。
 - 6) 呼吸器・循環器を中心とした病的聴診事項が説明できる。
 - 7) 病的な生命徴候(バイタルサイン)について説明できる。
 - 8) 神経機能の病的状態を把握するため各種検査が実施できる。
 - 9) デルマトームが説明できる。

評価方法: 毎回の講義に対する確認試験を実施し、必要に応じて復習時間を確保し課題を課す。学習への取り組み(出席状況、課題の提出状況、授業態度)を20%、期末試験を80%として評価し、単位認定を行う。

準備学習・履修上の注意等: 臨床医学総論 I では、解剖学や生理学で学習した神経系の知識が不十分だと理解できない内容が多いので解剖学・生理学の神経系について復習しておくこと。1回の授業につき60分を目安に予習・復習を行い、その予習・復習時間の確保は授業の前後だけでなく、週末や長期休暇も利用すること。また、毎回の授業の最後に次回授業の内容についてポイントを示すので、必ず事前準備の予習をして授業に臨むこと。

オフィスアワー: 毎回の講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	診察法の意義を考える(1) 医療面接	講義	佐藤
2	1)	診察法の意義を考える(2) 視診・聴診・打診、その他の診察法	講義	佐藤
3	7)	生命徴候(バイタルサイン)の診察	講義	佐藤
4	3)4)	正しい病態把握のための診察法(1) 全身的症候を学ぶ①	講義	佐藤
5	3)4)	正しい病態把握のための診察法(2) 全身的症候を学ぶ②	講義	佐藤
6	3)4)	正しい病態把握のための診察法(3) 全身的症候を学ぶ③	講義	佐藤
7	3)5)6)	正しい病態把握のための診察法(4) 局所的症候を学ぶ①	講義	佐藤
8	3)5)6)	正しい病態把握のための診察法(5) 局所的症候を学ぶ②	講義	佐藤
9	3)5)6)	正しい病態把握のための診察法(6) 局所的症候を学ぶ③	講義	佐藤
10	8)9)	正しい病態把握のための検査法(1) 神経系の検査を学ぶ①	講義	佐藤
11	8)9)	正しい病態把握のための検査法(2) 神経系の検査を学ぶ②	講義	佐藤
12	8)9)	正しい病態把握のための検査法(3) 神経系の検査を学ぶ③	講義	佐藤
13	8)	正しい病態把握のための検査法(4) 神経系の検査を学ぶ④	講義	佐藤
14	8)	正しい病態把握のための検査法(5) 神経系の検査を学ぶ⑤	講義	佐藤
15	8)	正しい病態把握のための検査法まとめ	講義	佐藤

教科書: 臨床医学総論 (財団法人 東洋療法学校協会 編 奈良信雄 著) 医歯薬出版株式会社【ISBN 978-4-263-24171-4】

参考書: 使用しません

科目名: **臨床医学総論Ⅱ**

担当者: 佐藤 正次(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(2年)

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 東洋医学に根ざした臨床に携わる鍼灸師が、チーム医療を中心とする医療界において、現代医学的な診察法を学ぶことは、個々の専門性を持つ医療スタッフと連携し、患者に適切な医療を提供する上できわめて重要である。そこで臨床医学総論Ⅱでは、臨床医学総論Ⅰで正しい病態把握のために学習した診察法の基礎知識を踏まえ、患者にとって最適な医療を選択し、且つ全人的医療が提供できるよう、鍼灸師が臨床で遭遇する機会の多い症状に対する診察力を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 徒手による整形外科的テスト法が実施できる。
 - 2) 各種臨床検査および治療法の種類を列挙し概説できる。
 - 3) 各種反射所見の病的意義が説明できる。
 - 4) ROM・MMTの概要について説明できる。
 - 5) 脳神経を列挙しその作用を説明できる。
 - 6) 神経痛の特徴を説明できる。
 - 7) 運動麻痺や不随意運動を原因疾患を含めて説明できる。
 - 8) 運動失調の原因および検査について説明できる。

評価方法: 毎回の講義に対する確認試験を実施し、必要に応じて復習時間を確保し課題を課す。学習への取り組み(出席状況、課題の提出状況、授業態度)を20%、期末試験を80%として評価し、単位認定を行う。

準備学習・履修上の注意等: 臨床医学総論Ⅱは、臨床医学総論Ⅰで学習した内容が基礎になるので、臨床医学総論Ⅰの復習をしっかりとしておくこと。また、毎回の授業の終わりに、次回授業のポイントについて示すので、必ずその内容について予習を行うこと。毎回の授業につき、60分を目安に予習・復習をすること。その予習・復習時間は週末や長期休暇も利用すること。

オフィスアワー: 毎回の講義前後の可能な時間とする。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	3)	正しい病態把握のための基礎知識(1) 反射検査1	講義	佐藤
2	3)	正しい病態把握のための基礎知識(2) 反射検査2	講義	佐藤
3	3)	正しい病態把握のための基礎知識(3) 反射検査3	講義	佐藤
4	5)	正しい病態把握のための基礎知識(4) 脳神経系の診かた	講義	佐藤
5	7)	正しい病態把握のための基礎知識(5) 運動麻痺	講義	佐藤
6	7)	正しい病態把握のための基礎知識(6) 不随意運動	講義	佐藤
7	8)	正しい病態把握のための基礎知識(7) 協調運動	講義	佐藤
8	1)	正しい病態把握のための基礎知識(8) 頸肩腕痛の徒手検査	講義	佐藤
9	1)	正しい病態把握のための基礎知識(9) 腰下肢痛の徒手検査	講義	佐藤
10	1)	正しい病態把握のための基礎知識(10) その他の症状に対する徒手検査	講義	佐藤
11	4)	運動機能検査法(1) 関節可動域検査	講義	佐藤
12	4)	運動機能検査法(2) 徒手筋力テスト	講義	佐藤
13	6)	主要症状の原因疾患とその特徴 神経痛	講義	佐藤
14	2)	現代医学的検査法・治療法の概要	講義	佐藤
15	1)~8)	診察まとめ	講義	佐藤

教科書: 臨床医学総論 (財団法人 東洋療法学校協会 編 奈良信雄 著) 医歯薬出版株式会社【ISBN 978-4-263-24171-4】

参考書: 使用しません

科目名: **臨床医学各論 I**

担当者: 佐藤 正次(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(2年)

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 鍼灸は東洋医学的色彩の濃い医療であり、その臨床では様々な病気の患者を対象とする。臨床医学各論 I では鍼灸臨床で遭遇する機会の多い整形外科的疾患と、誤った鍼灸の治療行為により感染の拡大等が懸念される感染症について学ぶ。そしてこれらの学習を深めることで現代医学を中心とする社会に身を置く患者に対し、安全で的確な鍼灸治療を行うことができる能力を身につける。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 主要な変形性関節症を列挙し特徴を説明できる。
 - 2) 五十肩の種類と特徴を説明できる。
 - 3) 骨粗鬆症と骨軟化症の病態の違いと症状を説明できる。
 - 4) 骨腫瘍を大別し症状を説明できる。
 - 5) 主要な筋疾患を列挙し特徴を説明できる。
 - 6) 主要な形体異常を呈する疾患を列挙し特徴を説明できる。
 - 7) 腰痛の整形外科的疾患(特異的腰痛)を列挙し特徴を説明できる。
 - 8) 主要なスポーツ障害・外傷を列挙し特徴を説明できる。
 - 9) 胸郭出口症候群のタイプを列挙し、その病体を説明できる。
 - 10) 頸椎症のタイプを列挙し、症状の特徴を説明できる。
 - 11) 主要な細菌感染症を列挙し、特徴を説明できる。
 - 12) 主要なウイルス感染症を列挙し、特徴を説明できる。
 - 13) 主要な性感染症を列挙し、特徴を説明できる。

評価方法: 毎回の講義に対する確認試験を実施し、必要に応じて復習時間を確保し課題を課す。学習への取り組み(出席状況、課題の提出状況、授業態度)を20%、期末試験を80%として評価し、単位認定を行う。

準備学習・履修上の注意等: 臨床医学各論 I では、解剖学で学習した筋骨格系の知識が必要となるので十分に復習をしておくこと。また、衛生学で学習する感染症対策との関連が深いので、併せて学習すると効率的である。1回の授業につき60分を目安に予習・復習を行うこととし、その時間の確保には、週末や長期休暇も利用すること。毎回の授業の最後に次回授業の内容について示すので、必ず事前準備の予習をして授業に臨むこと。

オフィスアワー: 毎回の授業前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	11)	感染症を学ぶ(1) 細菌感染症を中心に	講義	佐藤
2	12)	感染症を学ぶ(2) ウイルス性感染症を中心に	講義	佐藤
3	13)	感染症を学ぶ(3) 性感染症を中心に	講義	佐藤
4	11)~13)	感染症まとめ	講義	佐藤
5	1)2)	骨・関節疾患を学ぶ(1) 五十肩・変形性関節症を中心に	講義	佐藤
6	3)	骨・関節疾患を学ぶ(2) 骨粗鬆症・骨軟化症を中心に	講義	佐藤
7	4)	骨・関節疾患を学ぶ(3) 骨腫瘍を中心に	講義	佐藤
8	5)	筋・腱疾患を学ぶ	講義	佐藤
9	6)	形体異常を学ぶ	講義	佐藤
10	7)	脊椎疾患を学ぶ(1) 特異性腰痛を中心に	講義	佐藤
11	7)	脊椎疾患を学ぶ(2) その他の疾患を中心に	講義	佐藤
12	8)	外傷性疾患を学ぶ	講義	佐藤
13	9)	その他の整形外科疾患を学ぶ(1) 胸郭出口症候群を中心に	講義	佐藤
14	10)	その他の整形外科疾患を学ぶ(2) 頸椎症・絞扼神経障害を中心に	講義	佐藤
15	1)~10)	整形外科的疾患まとめ	講義	佐藤

教科書: 臨床医学各論 (公益社団法人 東洋療法学校協会 編 奈良信雄・佐藤千史・三宅修司・西元慶治・山口武兼・三高千恵子 著) 医歯薬出版株式会社 【ISBN 978-4-263-24168-4】

参考書: 使用しません

科目名: **臨床医学各論Ⅱ**

担当者: 中野 祐也(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(3年)

必修・選択: 選択※鍼灸必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 本科目では、主要な内科疾患の病態、診断、治療法について、基礎的な理解を深める。特に鍼灸臨床と関連の疾患については重点的に学習する。診断学・症候学を理解し、医療の現場で応用できるようにする。

到達目標: (SBOs) 1) 消化器疾患: 病態、診断、治療法について基礎的理解を深め、特徴を説明できる。
2) 肝胆膵疾患: 病態、診断、治療法について基礎的理解を深め、特徴を説明できる。
3) 腎尿疾患: 病態、診断、治療法について基礎的理解を深め、特徴を説明できる。
4) 血液造血疾患: 病態、診断、治療法について基礎的理解を深め、特徴を説明できる。
5) リウマチ膠原病: 病態、診断、治療法について基礎的理解を深め、特徴を説明できる。

評価方法: 実施講義回数数の5分の3以上が必要を満たした者について試験を実施する。評価は小テスト・筆記試験の結果を総合して行う。

準備学習・履修上の注意等: 臨床医学各論Ⅱでは、多くの疾患を学び理解が必要であり、予習および特に復習が必要である。各講義毎に、生理・解剖の復習を行っておくこと。学習すべき量が多いため、効率よく理解すべく必ずノートに板書・スライド内容を記載すること。1回の授業につき60分を目安に予習・復習を行うこととし、その時間の確保には、週末や長期休暇も利用すること。毎回の授業の最後に次回授業の内容について示すので、必ず事前準備の予習をして授業に臨むこと。

オフィスアワー: 毎週水曜日 12:30~13:30 (時間割の都合上、変更あり)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	食道、胃、腸疾患の概念・症状・検査所見・診断・治療法を学ぶ①	講義	中野
2	1)	食道、胃、腸疾患の概念・症状・検査所見・診断・治療法を学ぶ②	講義	中野
3	1)	食道、胃、腸疾患の概念・症状・検査所見・診断・治療法を学ぶ③	講義	中野
4	1)	食道、胃、腸疾患の概念・症状・検査所見・診断・治療法を学ぶ④	講義	中野
5	2)	肝、胆、膵疾患の概念・症状・検査所見・診断・治療法を学ぶ①	講義	中野
6	2)	肝、胆、膵疾患の概念・症状・検査所見・診断・治療法を学ぶ②	講義	中野
7	2)	肝、胆、膵疾患の概念・症状・検査所見・診断・治療法を学ぶ③	講義	中野
8	3)	腎、尿疾患の概念・症状・検査所見・診断・治療法を学ぶ①	講義	中野
9	3)	腎、尿疾患の概念・症状・検査所見・診断・治療法を学ぶ②	講義	中野
10	3)	腎、尿疾患の概念・症状・検査所見・診断・治療法を学ぶ③	講義	中野
11	4)	血液疾患の概念・症状・検査所見・診断・治療法を学ぶ①	講義	中野
12	4)	血液疾患の概念・症状・検査所見・診断・治療法を学ぶ②	講義	中野
13	4)	血液疾患の概念・症状・検査所見・診断・治療法を学ぶ③	講義	中野
14	5)	リウマチ、膠原病の概念・症状・検査所見・診断・治療法を学ぶ①	講義	中野
15	5)	リウマチ、膠原病の概念・症状・検査所見・診断・治療法を学ぶ②	講義	中野

教科書: 臨床医学各論 (財団法人 東洋療法学校協会 編/奈良信雄・佐藤千史・三宅修司・西本慶治・山口武兼・三高千恵子 著) 医歯薬出版株式会社【ISBN 4-263-24168-1】
ビジュアルノート(医療情報科学研究所 編著) メディックメディア【ISBN 978-4-89632-426-6】

参考書: STEP内科2 感染症・血液 (三浦 修・平山謙二 監修/高橋茂樹 著) (海馬書房)【ISBN 978-4-907704-76-6 C3047】
STEP内科4 腎・呼吸器 (吉澤靖之・小林正貴 監修/高橋茂樹 著) (海馬書房)【ISBN 978-4-907704-85-8 C3047】
STEP内科6 消化器・膠原病 (溝上裕士・成島勝彦 監修/高橋茂樹 著) (海馬書房)【ISBN 978-4-907704-41-4 C3047】
カラー版 内科学(門脇孝・永井良三 総編集/赤林朗・大内尉義・黒川峰夫・小池和彦・辻省次・長瀬隆英・藤田敏郎・森屋恭爾・山本一彦 編集委員) (西村書店)【ISBN 978-4-89013-423-6】
病気がみえる vol.1 消化器(医療情報科学研究所 編集) (メディックメディア)【ISBN 978-4-89632-324-5】
病気がみえる vol.5 血液(医療情報科学研究所 編集) (メディックメディア)【ISBN 978-4-89632-253-8】
病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症(医療情報科学研究所 編集) (メディックメディア)【ISBN 978-4-89632-309-2】
病気がみえる vol.8 腎・泌尿器(医療情報科学研究所 編集) (メディックメディア)【ISBN 978-4-89632-544-7】□

科目名: **臨床医学各論Ⅲ**

担当者: 木村 美保(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(鍼灸健康福祉コース)3年

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 鍼灸は東洋医学的色彩の濃い医療であり、臨床では様々な病気の患者を対象とする。臨床医学各論Ⅲでは循環器疾患、神経疾患について学習し、安全で安心な鍼灸治療を行うことができる知識を身につける。

到達目標: 1. 主要な循環器疾患の特徴、症状を説明できる (SBOs) 2. 主要な神経疾患の特徴、症状を説明できる

評価方法: 期末試験の結果90%、小テスト・課題等10%とし、総合的に評価する予定。

準備学習・履修上の注意等: 臨床医学各論は解剖学、生理学、病理学の知識が必要であるので、充分復習しておくこと。1回の講義に付き1時間を目安に予習復習を行うこと。予習復習の時間確保は講義前後だけでなく、週末・長期休暇も利用すること。前回講義の内容を小テストで確認することもあるので、講義終了後は重要事項を確認しておくこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	循環器疾患1(心臓疾患)	講義	木村
2	1)	循環器疾患2(心臓疾患)	講義	木村
3	1)	循環器疾患3(心臓疾患)	講義	木村
4	1)	循環器疾患4(冠動脈疾患)	講義	木村
5	1)	循環器疾患5(動脈疾患)	講義	木村
6	1)	循環器疾患6(動脈疾患)	講義	木村
7	1)	循環器疾患7(血圧異常)	講義	木村
8	2)	神経疾患1(脳血管疾患・感染性疾患)	講義	木村
9	2)	神経疾患2(脳血管疾患・感染性疾患)	講義	木村
10	2)	神経疾患3(脳脊髄腫瘍)	講義	木村
11	2)	神経疾患4(基底核変性疾患・その他変性疾患)	講義	木村
12	2)	神経疾患5(認知症性疾患・筋疾患)	講義	木村
13	2)	神経疾患6(運動ニューロン疾患・末梢神経性疾患)	講義	木村
14	2)	神経疾患7(神経痛・機能的疾患)	講義	木村
15	1,2)	まとめ	講義	木村

教科書: 臨床医学各論: 社団法人東洋療法学校協会編 医歯薬出版社 ISBN978-4-263-24168-4

参考書: 特に使用しない

科目名: **臨床医学各論IV**

担当者: 佐藤正次(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30| 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 鍼灸は東洋医学に根ざした診察・治療を基本とする医療であり、様々な病気の患者を対象とする。臨床医学各論IVでは、呼吸器疾患をはじめ一般外科疾患、耳鼻科疾患、眼科疾患、内分泌疾患、代謝疾患などの幅広い領域の現代医学を学習することにより、患者の正しい病態把握ができる知識を身につける。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 感染性呼吸器疾患の具体例をあげ、その特徴について説明できる。
 - 2) 閉塞性呼吸器疾患と拘束性呼吸器疾患の具体例をあげ、その違いを説明でき。
 - 3) 気胸、肺癌、気管支拡張症の主要症状が説明できる。
 - 4) ショックを原因より分類しその特徴を説明できる。
 - 5) 下垂体の機能亢進と機能低下により発症する疾患名をあげ、その特徴を説明できる。
 - 6) 甲状腺の機能亢進と機能低下により発症する疾患名をあげ、その特徴を説明できる。
 - 7) 副腎の機能亢進と機能低下により発症する疾患名をあげ、その特徴を説明できる。
 - 8) 糖尿病、高脂血症、痛風の原因と診断基準、合併症が説明できる。
 - 9) 各ビタミンの欠乏症を説明できる。
 - 10) 皮膚科、眼科、耳鼻科の主要な疾患をあげその特徴を説明できる。

評価方法: 毎回の講義に対する確認試験を実施し、必要に応じて復習時間を確保し課題を課す。学習への取り組み(出席状況、課題の提出状況、授業態度)を20%、期末試験を80%として評価し、単位認定を行う。

準備学習・履修上の注意等: 臨床医学各論IVでは、呼吸器および内分泌、感覚器についての解剖学・生理学の知識を必要とする。週末や長期休暇を利用し復習しておくこと。また、講義毎に次回講義の要点について資料を配付するので60分を目安に必ず予習し講義に臨むこと。

オフィスアワー: 毎回の講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	呼吸器疾患を学ぶ1 感染性呼吸器疾患	講義	佐藤
2	2)	呼吸器疾患を学ぶ2 閉塞性呼吸器疾患	講義	佐藤
3	2)	呼吸器疾患を学ぶ3 拘束性呼吸器疾患	講義	佐藤
4	3)	呼吸器疾患を学ぶ4 その他の呼吸器疾患1	講義	佐藤
5	3)	呼吸器疾患を学ぶ5 その他の呼吸器疾患2	講義	佐藤
6	4)	一般外科疾患を学ぶ1 総論	講義	佐藤
7	4)	一般外科疾患を学ぶ2 各論	講義	佐藤
8	10)	皮膚科疾患を学ぶ	講義	佐藤
9	10)	眼科疾患を学ぶ	講義	佐藤
10	10)	耳鼻科疾患を学ぶ	講義	佐藤
11	5)6)	内分泌疾患1 下垂体疾患・甲状腺疾患	講義	佐藤
12	7)	内分泌疾患2 副腎疾患	講義	佐藤
13	8)	代謝疾患1 糖代謝異常	講義	佐藤
14	8)	代謝疾患2 脂質代謝異常 尿酸代謝異常	講義	佐藤
15	9)	代謝疾患3 その他の代謝異常	講義	佐藤

教科書: 臨床医学各論 (公益社団法人 東洋療法学校協会 編 奈良信雄 佐藤千史 三宅修司 西元慶治 山口武兼 三高千恵子 著) 医歯薬出版株式会社 【ISBN 978-4-263-24168-4】

参考書: 使用しません。

科目名: 鍼灸理論

担当者: 木村 美保(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(鍼灸健康福祉コース3年)

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 中国における鍼麻酔の発表以来、鍼灸治療の科学的根拠を探る研究がおこなわれるようになり、治効メカニズムに関する基礎的基盤が形成されつつある。鍼灸治療がどのような作用機序で効果を発するのか、過去の研究成果を学習し論理的思考の展開ができるようにする。
また鍼灸治療の適応性、禁忌、治療上の注意事項など、治療に関わる事項について学習する。

到達目標: (SBOs) 1. 鍼灸施術について説明できる
2. 鍼灸の適応症、禁忌、治療上の注意事項について説明できる
3. 鍼灸施術の作用機序を説明できる

評価方法: 期末試験の結果90%、小テスト・課題等10%とし、総合的に評価する予定。

準備学習・履修上の注意等: はりきゅう理論ははり実技・きゅう実技の知識、経絡経穴学、生理学の知識が必要であるので、充分復習しておくこと。1回の講義について1時間を目安に予習復習を行うこと。予習復習の時間確保は講義前後だけでなく、週末・長期休暇も利用すること。前回講義の内容を小テストで確認することもあるので、講義終了後は重要事項を確認しておくこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	はりきゅう理論の概説・総論	講義	木村
2	1)	鍼の基礎知識	講義	木村
3	1)	刺鍼の方式と術式	講義	木村
4	1)	特殊鍼法	講義	木村
5	1)	灸の基礎知識	講義	木村
6	1)	灸術の種類	講義	木村
7	2)	鍼灸の臨床応用	講義	木村
8	2)	リスク管理	講義	木村
9	3)	鍼灸治効の基礎1	講義	木村
10	3)	鍼灸治効の基礎2	講義	木村
11	3)	鍼灸治療の一般治効理論1	講義	木村
12	3)	鍼灸治療の一般治効理論2	講義	木村
13	3)	鍼灸治療の一般治効理論3	講義	木村
14	3)	関連学説1	講義	木村
15	3)	関連学説2	講義	木村

教科書: はりきゅう理論: 社団法人東洋療法学校協会編 教科書執筆小委員会著 医道の日本社 ISBN978-4-7529-5059-2

参考書: 特に使用しない

科目名: 東洋医学概論 I

担当者: 渡邊 一平(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(1年)

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 東洋医学概論は鍼灸医学の基幹となる学問である。東洋医学概論 I では東洋哲学に基づく生命論を基軸に、鍼灸治療の根幹をなす陰陽論、五行説をはじめ、気血津液、五臓六腑の生理と病理など、東洋医学の自然観および整体観について学ぶ。

到達目標: (SBOs)

- 1) 東洋医学の起源と発展について説明できる。
- 2) 東洋医療思想の基幹である陰陽・五行論について説明できる。
- 3) 気・血・津液の概念と生理作用、および病理について説明できる。
- 4) 五臓六腑の生理作用について説明できる。
- 5) 五臓六腑の病理について説明できる。

評価方法: 講義終了後に講義理解度を確認するためのレポートを行う。
レポート30%、単位認定試験を70%として、総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 本講義は、鍼灸健康福祉コースを選択した学生は必須科目である。講義形態ではあるが、講義に積極的な参加を求めるため、質疑応答を頻繁に行う。各自が自らの力で考え、発言する姿勢が求められる。講義終了後には1コマあたり4時間を目安に予習復習を行うこと。その際、学習した箇所の配布資料を読み返し、講義の要点と疑問点を整理・記載しておくこと。なお予習復習時間の確保は講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。

オフィスアワー: 月曜から木曜の12時30分から1時00分までとする。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	東洋医学の沿革、人体の見方	講義	渡邊
2	2)	陰陽学説	講義	渡邊
3	2)	五行学説の概念	講義	渡邊
4	3)	五行学説の臨床応用	講義	渡邊
5	3)	気血津液の生理	講義	渡邊
6	3)	気血津液の病理	講義	渡邊
7	4,5)	東洋医学における精神と五臓六腑	講義	渡邊
8	4,5)	肝・胆の生理と病理1	講義	渡邊
9	4,5)	肝・胆の生理と病理2	講義	渡邊
10	4,5)	心・小腸の生理と病理1	講義	渡邊
11	4,5)	心・小腸の生理と病理2	講義	渡邊
12	4,5)	脾・胃の生理と病理1	講義	渡邊
13	4,5)	脾・胃の生理と病理2	講義	渡邊
14	4,5)	肺・大腸の生理と病理1	講義	渡邊
15	4,5)	肺・大腸の生理と病理2	講義	渡邊

教科書: 東洋医学概論. 教科書執筆小委員会編. 医道の日本社. 978-4-7529-5173-5 C3047

参考書: 使用しない

科目名: 東洋医学概論Ⅱ

担当者: 渡邊 一平(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(1年)

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 1 時間数: 15 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 東洋医学概論は東洋医学各論、経絡経穴学、東洋医学臨床論など、鍼灸医学の基幹となる学問である。東洋医学概論Ⅱでは東洋医学概論Ⅰで学習した内容を基盤とし、東洋医学の疾病観、東洋医学診断法、さらには鍼灸治療を中心とした東洋医学的治療方法について学習する。

到達目標: (SBOs)
1) 東洋医学の疾病観について説明できる。
2) 五感を駆使した東洋医学的診断法について説明できる。
3) 鍼灸治療法を中心とした東洋医学的治療法について説明できる。

評価方法: 毎回の講義終了後、講義理解度を確認するためのレポートを行う。
レポート30%、単位認定試験70%として、総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 講義に積極的な参加を求めるため、質疑応答を頻繁に行う。各自が自らの力で考え、発言する姿勢が求められる。
講義終了後には1コマあたり2時間を目安に予習復習を行うこと。その際、学習した箇所の配布資料を読み返し、講義の要点と疑問点を整理・記載しておくこと。なお予習復習時間の確保は講義前後だけでなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。

オフィスアワー: 月曜から木曜の12時30分から1時00分までとする。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	病理と病証(六腑・経絡の病証)	講義	渡邊
2	2)	診断論(望診と聞診)	講義	渡邊
3	2)	診断論(問診)	講義	渡邊
4	2)	診断論(切診)	講義	渡邊
5	2)	証の立て方	講義	渡邊
6	3)	治療方法総論	講義	渡邊
7	3)	古代の鍼灸治療法	講義	渡邊
8	3)	他の東洋医学療法	講義	渡邊

教科書: 東洋医学概論. 教科書執筆小委員会著. 医道の日本社. 978-4-7529-5173-5 C3047(東洋医学概論Ⅰと同一教科書を使用)

参考書: 使用しない。

科目名: **東洋医学概論Ⅱ**

担当者: 渡邊 一平(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(1年)

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 東洋医学概論Ⅱでは東洋医学概論Ⅰで学習した内容を基盤とし、五臓六腑の関係性、東洋医学の疾病観、東洋医学診断法、さらには鍼灸治療を中心とした東洋医学的治療方法について学習する。

到達目標: (SBOs) 1) 五臓六腑の生理作用について説明できる。
2) 五臓六腑の病理について説明できる。
3) 東洋医学の疾病観について説明できる。
4) 五感を駆使した東洋医学的診断法について説明できる。
5) 鍼灸治療法を中心とした東洋医学的治療法について説明できる。

評価方法: 毎回の講義終了後、講義理解度を確認するためのレポートを行う。
レポート30%、単位認定試験70%として、総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 講義に積極的な参加を求めため、質疑応答を頻繁に行う。各自が自らの力で考え、発言する姿勢が求められる。
講義終了後には1コマあたり2時間を目安に予習復習を行うこと。その際、学習した箇所の配布資料を読み返し、講義の要点と疑問点を整理・記載しておくこと。なお予習復習時間の確保は講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。

オフィスアワー: 月曜から木曜の12時30分から1時00分までとする。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1,2)	腎・膀胱の生理と病理1	講義	渡邊
2	1,2)	腎・膀胱の生理と病理2	講義	渡邊
3	1,2)	三焦の働き	講義	渡邊
4	1,2)	五臓の相互関係	講義	渡邊
5	1,2)	経絡経穴の概念	講義	渡邊
6	3)	病因・病機	講義	渡邊
7	4)	望診	講義	渡邊
8	4)	聞診	講義	渡邊
9	4)	問診1	講義	渡邊
10	4)	問診2	講義	渡邊
11	4)	問診3	講義	渡邊
12	4)	切診	講義	渡邊
13	5)	弁証1	講義	渡邊
14	5)	弁証2	講義	渡邊
15	5)	論治	講義	渡邊

教科書: 東洋医学概論. 教科書執筆小委員会著. 医道の日本社. 978-4-7529-5173-5 C3047(東洋医学概論Ⅰと同一教科書を使用)

参考書: 使用しない。

科目名: 経絡経穴学 I

担当者: 豊島 紫乃(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(1年)

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 経絡経穴は体表の状態と疾病の関係を体験と緻密な観察を積み重ねた中で構成されたものであり、この部位へ鍼灸治療を行うことで、生体のバランスが調整される。すなわち経穴とは身体内部の状況を投影する反応点・診断点であるとともに、鍼灸を行う重要な治療点でもある。本講義では気血の循環経路である経絡の流れと、経穴の名称・取穴法、字義、解剖的位置、そして体表での位置の学習を通して、経絡経穴についての基礎的知識を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 経絡経穴学とはどのような概念か説明できる。
2) 各経絡の流れと経絡上の経穴の取穴ができる。
3) 各経穴の字義、解剖学的位置について説明できる。

評価方法: 単位認定試験により総合的に判断する。

準備学習・履修上の注意等: 鍼灸健康福祉コースを選択した学生は、必須科目となる。経穴では解剖学の知識や東洋医学概論の知識が要求されることもあるため、教材の持参を求めることがある。
講義終了後には1コマあたり2時間を目安に予習復習を行うこと。
予習内容としては、次回の講義で修得する経穴の名称を確認しておくことを中心とし、復習内容としては、学習した箇所の教科書や配布資料を読み返し、経絡経穴の名称や部位を再確認するとともに、体表での部位確認を行うこととする。
なお、予習復習時間の確保は講義前後だけでなく、週末あるいは長期休暇も用いることとする。

オフィスアワー: 講義開始、終了前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	経絡経穴学総論1	演習	豊島
2	1)	経絡経穴学総論2	演習	豊島
3	1)	経絡経穴学総論3	演習	豊島
4	2)3)	督脈1	演習	豊島
5	2)3)	督脈2	演習	豊島
6	2)3)	督脈3	演習	豊島
7	2)3)	督脈4	演習	豊島
8	2)3)	任脈1	演習	豊島
9	2)3)	任脈2	演習	豊島
10	2)3)	任脈3	演習	豊島
11	2)3)	手の太陰肺経1	演習	豊島
12	2)3)	手の太陰肺経2	演習	豊島
13	2)3)	手の陽明大腸経1	演習	豊島
14	2)3)	手の陽明大腸経2	演習	豊島
15	2)3)	手の陽明大腸経3	演習	豊島

教科書: 教科書執筆小委員会著・社団法人東洋療法学校協会編、「経絡経穴概論」.医道の日本社.ISBN4-7529-5016-1
2 C3047

参考書: 使用しない

科目名: 経絡経穴学Ⅱ

担当者: 豊島 紫乃(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(1年)

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 経絡経穴学Ⅰに引き続き、経穴の名称・取穴法、字義、解剖的位置、そして体表での位置の学習を通して、経絡経穴についての基礎的知識を修得する。

到達目標: 1) 各経絡の流れと経絡上の経穴の取穴ができる。
(SBOs) 2) 各経穴の字義、解剖学的位置について説明できる。

評価方法: 単位認定試験により総合的に判断する。

準備学習・履修上の注意等: 鍼灸健康福祉コースを選択した学生は必須科目となる。経穴では解剖学の知識や東洋医学概論の知識が要求されることもあるため、教材の持参を求めることがある。
講義終了後には1コマあたり2時間を目安に予習復習を行うこと。
予習内容としては、次回の講義で修得する経穴の名称を確認しておくことを中心とし、復習内容としては、学習した箇所の教科書や配布資料を読み返し、経絡経穴の名称や部位を再確認するとともに、体表での部位確認を行うこととする。また、前期で学習した内容も各自で整理しておく必要がある。
なお、予習復習時間の確保は講義前後だけでなく、週末あるいは長期休暇も用いることとする。

オフィスアワー: 講義開始前後の可能な時間。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	足の陽明胃経1	演習	豊島
2	1)2)	足の陽明胃経2	演習	豊島
3	1)2)	足の陽明胃経3	演習	豊島
4	1)2)	足の陽明胃経4	演習	豊島
5	1)2)	足の太陰脾経1	演習	豊島
6	1)2)	足の太陰脾経2	演習	豊島
7	1)2)	足の太陰脾経3	演習	豊島
8	1)2)	手の少陰心経1	演習	豊島
9	1)2)	手の太陽小腸経1	演習	豊島
10	1)2)	手の太陽小腸経2	演習	豊島
11	1)2)	手の太陽小腸経3	演習	豊島
12	1)2)	足の太陽膀胱経1	演習	豊島
13	1)2)	足の太陽膀胱経2	演習	豊島
14	1)2)	足の太陽膀胱経3	演習	豊島
15	1)2)	足の太陽膀胱経4	演習	豊島

教科書: 教科書執筆小委員会・社団法人東洋療法学校協会編、「経絡経穴概論」.医道の日本社.ICBN4-7529-5016-2 C3047

参考書: 使用しない

科目名: 経絡経穴学Ⅲ

担当者: 豊島 紫乃(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(2年)

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 経絡経穴学Ⅰ・Ⅱに引き続き、経穴の名称・取穴法、字義、解剖的位置、そして体表での位置の学習を通して、経絡経穴についての基礎的知識を修得する。
さらに要穴の意味を学習し、それぞれ該当する経穴を修得する。

到達目標: 1)各経絡の流れと経絡上の経穴の取穴ができる。
(SBOs) 2)各経穴の字義、解剖学的位置について説明できる。
3)要穴の意味と該当する経穴を説明できる。

評価方法: 単位認定試験により総合的に判断する。

準備学習・履修上の注意等: 鍼灸健康福祉コースを選択した学生は必須科目となる。経穴では解剖学の知識や東洋医学概論の知識が要求されることもあるため、教材の持参を求めていることがある。
講義終了後には1コマあたり2時間を目安に予習復習を行うこと。
予習内容としては、次回の講義で修得する経穴の名称を確認しておくことを中心とし、復習内容としては、学習した箇所の教科書や配布資料を読み返し、経絡経穴の名称や部位を再確認するとともに、体表での部位確認を行うこととする。また、一年次に学習した内容も各自で整理しておく必要がある。
なお、予習復習時間の確保は講義前後だけでなく、週末あるいは長期休暇も用いることとする。

オフィスアワー: 講義開始前後の可能な時間。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	足の太陽膀胱経5・足の少陰腎経1	演習	豊島
2	1)2)	足の少陰腎経2	演習	豊島
3	1)2)	足の少陰腎経3	演習	豊島
4	1)2)	手の厥陰心包経1	演習	豊島
5	1)2)	手の厥陰心包経2	演習	豊島
6	1)2)	手の少陽三焦経1	演習	豊島
7	1)2)	手の少陽三焦経2	演習	豊島
8	1)2)	手の少陽三焦経3	演習	豊島
9	1)2)	足の少陽胆経1	演習	豊島
10	1)2)	足の少陽胆経2	演習	豊島
11	1)2)	足の少陽胆経3	演習	豊島
12	1)2)	足の少陽胆経4	演習	豊島
13	1)2)	足の厥陰肝経1	演習	豊島
14	1)2)	足の厥陰肝経2	演習	豊島
15	3)	要穴1	演習	豊島

教科書: 教科書執筆小委員会・社団法人東洋療法学校協会編、「経絡経穴概論」.医道の日本社.ICBN4-7529-5016-2 C3047

参考書: 使用しない

科目名: 東洋医学臨床論 I

担当者: 木村 美保(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(鍼灸健康福祉コース2年)

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 鍼灸師は現代医学的・東洋医学的両方の視点から疾患を把握し鍼灸治療を行う。東洋医学臨床論では患者に適した鍼灸治療を提供するために、疾患を東洋医学的に解釈し治療方針を定めることを学ぶ。東洋医学臨床論 I では、頭部の疾患について現代医学的な考えかた、東洋医学的な考えかた・治療方針について学ぶ。

到達目標: (SBOs)
1. 疾患について現代医学的な説明ができる。
2. 疾患について東洋医学的な説明ができる。
3. 疾患について東洋医学的な治療方針・処方が説明できる。

評価方法: 期末試験の結果90%、小テスト・課題等10%とし、総合的に評価する予定。

準備学習・履修上の注意等: 東洋医学臨床論は西洋医学的な疾患の知識、東洋医学概論で学んだ治療論、経絡経穴学の知識が必要であるので、充分復習しておくこと。1回の講義につき1時間を目安に予習復習を行うこと。予習復習の時間確保は講義前後だけでなく、週末・長期休暇も利用すること。前回講義の内容を小テストで確認することもあるので、講義終了後は重要事項を確認しておくこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	頭痛1	講義	木村
2	2)3)	頭痛2	講義	木村
3	1)	顔面痛1	講義	木村
4	2)3)	顔面痛2	講義	木村
5	1)	顔面麻痺1	講義	木村
6	2)3)	顔面麻痺2	講義	木村
7	1)2)3)	歯痛	講義	木村
8	1)	眼精疲労1	講義	木村
9	2)3)	眼精疲労2	講義	木村
10	12)3)	鼻閉・鼻汁	講義	木村
11	1)2)3)	脱毛症	講義	木村
12	1)	めまい1	講義	木村
13	2)3)	めまい2	講義	木村
14	1)2)3)	耳鳴りと難聴	講義	木村
15	1)2)3)	まとめ	講義	木村

教科書: 社団法人東洋療法学校協会編 東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉教科書執筆小委員会著 医道の日本社 ISBN978-4-7529-5036-3 C3047

参考書: 特に使用しない

科目名: 東洋医学臨床論Ⅱ

担当者: 富田 賢一(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科 鍼灸コース 3年

必修・選択: 選択※鍼灸必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 東洋医学臨床論は、診察の結果をもとに、治療の適不適を判断し、適切な鍼灸治療が行えるよう、その方法、考え方を学習する科目である。
特に本科目、東洋医学臨床論Ⅱでは、鍼灸治療の臨床で遭遇しやすい、運動器疾患を中心に現代医学的・東洋医学的両面から鍼灸臨床に必要な知識を習得することを目標とする。

到達目標: (SBOs) 1)解剖学的な知識を基盤に現代医学的な病態を把握することができる。
2)解剖学的な知識を基盤に経絡および経穴を決めることができる。
3)東洋医学概論で学んだ知識を基盤に東洋医学的な病態を把握することができる。
4)東洋医学概論、経絡経穴概論の知識を基盤に東洋医学的な施術部位を決めることができる。

評価方法: 筆記試験の得点

準備学習・履修上の注意等: これまで学習した解剖学・経絡経穴学・臨床医学総論などの復習を行っておくこと。事前に東洋医学臨床論の教科書を予習し、講義後は復習をすることが望ましい。一時間程度の自宅学習をして予習復習を行う事。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1,2,3,4)	肩こり1	講義	富田
2	1,2,3,4)	肩こり2	講義	富田
3	1,2,3,4)	頸肩腕痛1	講義	富田
4	1,2,3,4)	頸肩腕痛2	講義	富田
5	1,2,3,4)	肩関節痛1	講義	富田
6	1,2,3,4)	肩関節痛2	講義	富田
7	1,2,3,4)	上肢痛1	講義	富田
8	1,2,3,4)	上肢痛2	講義	富田
9	1,2,3,4)	腰下肢痛1	講義	富田
10	1,2,3,4)	腰下肢痛2	講義	富田
11	1,2,3,4)	腰下肢痛3	講義	富田
12	1,2,3,4)	膝痛1	講義	富田
13	1,2,3,4)	膝痛2	講義	富田
14	1,2,3,4)	運動麻痺1	講義	富田
15	1,2,3,4)	運動麻痺2	講義	富田

教科書: 東洋医学臨床論(はりきゅう編) 社団法人東洋療法学校協会編 医道の日本社 ISBN4-7529-5036-7 C3047
経絡経穴概論 社団法人東洋療法学校協会編 医道の日本社 ISBN978-4-7529-5125-4 C3047

参考書: 使用しない

科目名: 東洋医学臨床論Ⅲ

担当者: 豊島 紫乃(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(3年)

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 鍼灸臨床場面で遭遇することの多い消化器疾患、泌尿器疾患、生殖器疾患、呼吸器疾患、婦人科疾患に対する東洋医学的な見解を学習し、「証」に基づいた治療法の構築について修得する。さらに西洋医学領域において必要な知識と東洋医学的な捉え方について学ぶことで、鍼灸治療の適不適を判断し、適切な治療方法について修得する。患者への的確なアドバイスと治療を行える能力を培い、医療人としての心構えや態度も修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 腹痛について、西洋医学的病態の説明、東洋医学的病証の説明ができる。
2) 悪心・嘔吐について、西洋医学的病態の説明、東洋医学的病証の説明ができる。
3) 便秘・下痢について、西洋医学的病態の説明、東洋医学的病証の説明ができる。
4) 排尿障害について、西洋医学的病態の説明、東洋医学的病証の説明ができる。
5) インポテンツについて、西洋医学的病態の説明、東洋医学的病証の説明ができる。
6) 咳嗽について、西洋医学的病態の説明、東洋医学的病証の説明ができる。
7) 喘息について、西洋医学的病態の説明、東洋医学的病証の説明ができる。
8) 胸痛について、西洋医学的病態の説明、東洋医学的病証の説明ができる。
9) 月経異常について、西洋医学的病態の説明、東洋医学的病証の説明ができる。

評価方法: 単位認定試験により総合的に判断する。

準備学習・履修上の注意等: 鍼灸健康福祉コースを選択した学生は、必須科目となる。授業では、東洋医学概論や経絡経穴学、臨床医学総論の知識が要求されることもあるため、教材の持参を求めることがある。講義終了後には1コマあたり2時間を目安に予習復習を行うこと。予習内容としては、次回の講義内容に出てくる、それぞれの臓腑の生理機能の確認や経穴の確認を中心とし、復習内容としては、学習した箇所の教科書や配布資料を読み返し、症候の現代医学的概念や東洋医学的弁証の内容を再確認する。なお、予習復習時間の確保は講義前後だけでなく、週末あるいは長期休暇も用いることとする。

オフィスアワー: 講義開始、終了前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	腹痛の西洋医学的病態、東洋医学的病証を学ぶ①	講義	豊島
2	1)	腹痛の西洋医学的病態、東洋医学的病証を学ぶ②	講義	豊島
3	2)	悪心・嘔吐の西洋医学的病態、東洋医学的病証を学ぶ	講義	豊島
4	3)	便秘・下痢の西洋医学的病態、東洋医学的病証を学ぶ①	講義	豊島
5	3)	便秘・下痢の西洋医学的病態、東洋医学的病証を学ぶ②	講義	豊島
6	4)	排尿障害の西洋医学的病態、東洋医学的病証を学ぶ①	講義	豊島
7	4)	排尿障害の西洋医学的病態、東洋医学的病証を学ぶ②	講義	豊島
8	5)	インポテンツの西洋医学的病態、東洋医学的病証を学ぶ①	講義	豊島
9	5)	インポテンツの西洋医学的病態、東洋医学的病証を学ぶ②	講義	豊島
10	6)	咳嗽の西洋医学的病態、東洋医学的病証を学ぶ①	講義	豊島
11	6)	咳嗽の西洋医学的病態、東洋医学的病証を学ぶ②	講義	豊島
12	7)	喘息の西洋医学的病態、東洋医学的病証を学ぶ	講義	豊島
13	8)	胸痛の西洋医学的病態、東洋医学的病証を学ぶ	講義	豊島
14	9)	月経異常の西洋医学的病態、東洋医学的病証を学ぶ①	講義	豊島
15	9)	月経異常の西洋医学的病態、東洋医学的病証を学ぶ②	講義	豊島

教科書: 東洋医学臨床論(はりきゅう編) (教科書執筆小委員会) 医道の日本社 ISBN978-4-7529-5036-3 C3047

参考書: 使用しない

科目名: 東洋医学臨床論Ⅳ

担当者: 木村 美保(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(鍼灸健康福祉コース)4年

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 鍼灸師は現代医学的・東洋医学的両方の視点から疾患を把握し、鍼灸治療を行う。東洋医学臨床論では患者に適した鍼灸治療を提供するために、疾患を東洋医学的に解釈し資料鋒鍼を定めることを学ぶ。東洋医学臨床論Ⅳでは、消化器、血圧、代謝異常、不定愁訴、小児の疾患について現代医学的・東洋医学的な考え方と治療方針について学ぶ。

到達目標: (SBOs)
1. 疾患について現代医学的な説明ができる
2. 疾患について東洋医学的な説明ができる
3. 疾患について東洋医学的な治療方針・処方が説明できる

評価方法: 期末試験の結果90%、小テスト・課題等10%とし、総合的に評価する予定。

準備学習・履修上の注意等: 東洋医学臨床論は西洋医学的な疾患の知識、東洋医学概論で学んだ治療論、経絡経穴学の知識が必要であるので、充分復習しておくこと。1回の講義につき1時間を目安に予習復習を行うこと。予習復習の時間確保は講義前後だけでなく、週末・長期休暇も利用すること。前回講義の内容を小テストで確認することもあるので、講義終了後は重要事項を確認しておくこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	高血圧症	講義	木村
2	1)2)3)	低血圧症	講義	木村
3	1)2)3)	食欲不振	講義	木村
4	1)	肥満1	講義	木村
5	2)3)	肥満2	講義	木村
6	1)	のぼせと冷え1	講義	木村
7	2)3)	のぼせと冷え2	講義	木村
8	1)	不眠1	講義	木村
9	2)3)	不眠2	講義	木村
10	1)	疲労と倦怠1	講義	木村
11	2)3)	疲労と倦怠2	講義	木村
12	2)3)	発疹	講義	木村
13	1)	小児の症状1	講義	木村
14	2)3)	小児の症状2	講義	木村
15	1)2)3)	まとめ	講義	木村

教科書: 社団法人東洋療法学校協会編 東洋医学臨床論(はりきゅう編)教科書執筆小委員会著 医道の日本社 ISBN978-4-7529-5036-3 C3047

参考書: 特に使用しない

科目名: **物理療法学**

担当者: 渡邊 一平(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(3年)

必修・選択: 必修(鍼灸コース) 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 物理療法学は、物理エネルギーを治療に応用する方法であり、広義には鍼灸治療もその一つととらえることも可能である。本講義では、鍼灸臨床で治療補助器具として多用される、物理療法機器を安全かつ有効に活用するために、初歩的な原理について学習するとともに、各種機器の特性を理解し、疾患に対して適切な機器選択判断と有効な治療ができるよう学習する。

到達目標: (SBOs) 1) 電気 の特性と、電気を使用した治療機器の使用 方法・治療効果について説明できる。
2) 光 の特性と、光を使用した治療機器の使用 方法・治療効果について説明できる。
3) 熱 の特性と、熱を使用した治療機器の使用 方法・治療効果について説明できる。
4) 水 の特性と、水を使用した治療機器の使用 方法・治療効果について説明できる。
5) 物理療法は生体に適度なストレスを与えること で自然治癒力を高めることが説明できる。
6) 触刺激の特性と、その治療機序ならびに効果 について説明できる。
7) 嗅覚刺激の特性と、その治療機序ならびに効果 について説明できる。

評価方法: 学期末の単位認定試験を70%、講義態度、必要に応じて実施する形成的評価のための小テストと合わせて総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 本講義では、講義への積極的な参加が求められるため、質疑応答を頻繁に行う。質問に対し、自らの力で考え、発言する姿勢が求められる。
講義終了前後で1コマあたり4時間を目安に予習復習を行うこと。またこれらの時間確保のため、週末あるいは長期休暇を用いることとする。

オフィスアワー: 月曜から木曜の12時30分から1時00分までとする。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	電気療法 TENSについて	講義	渡邊
2	1)	電気療法 TEASおよびSSPについて	講義	渡邊
3	1)	電気療法 皮膚感覚と周波数特性について	講義	渡邊
4	2)	光線療法 低出力レーザーについて	講義	渡邊
5	3)	温熱療法 近赤外線、遠赤外線について	講義	渡邊
6	3)	温熱療法 パラフィンパック、ホットパックについて	講義	渡邊
7	3)	温熱療法 温熱刺激と生体反応(フレアー)について	講義	渡邊
8	4)	水治療法 温泉療法について	講義	渡邊
9	5)	ストレスと生体反応	講義	渡邊
10	5)	水治療法 足浴とストレスについて	講義	渡邊
11	6)	触刺激 触れることによる生体反応について	講義	渡邊
12	6)	徒手療法(1) あん摩指圧について	講義	渡邊
13	6)	徒手療法(2) マッサージについて	講義	渡邊
14	7)	五感と生体反応(1)	講義	渡邊
15	7)	五感と生体反応(2)	講義	渡邊

教科書: 配布資料を使用する。

参考書: 使用しない。

科目名: **社会鍼灸学**

担当者: 渡邊 一平(福・ス)、特別講師(学外)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 鍼灸に携わる者がどのような社会的貢献が得られるのかについて東洋医学的思考を基に考えることが医療人として重要な視点となる。そこで本講義では、医学史や福祉論を基盤として医療人にとって必要な物の見方、考え方を学ぶ。さらに鍼灸治療は多彩な領域とのコラボレーションが可能であることから、他職種との連携について学ぶ。

到達目標: (SBOs)

- 1) 西洋、東洋の医学史について概説ができる。
- 2) 痛みの概念、西洋の麻酔法、鍼麻酔について説明できる。
- 3) 医療人としての衛生概念および、患者との面接法について理解できる。
- 4) 社会福祉と東洋医学の共通性について説明できる。
- 5) 心の疾患および心と体の相互作用について説明できる。
- 6) 女性や小児、高齢者の心身的特徴と鍼灸治療について説明できる。
- 7) 鍼灸師として社会への貢献方法について説明できる。

評価方法: 講義内で実施するレポート(50%)、講義受講態度(20%)、試験(30%)等により総合的に判断する。

準備学習・履修上の注意等: 本講義は、鍼灸健康福祉コースを選択した学生は必須科目である。講義形態ではあるが、講義に積極的な参加を求めるため、質疑応答を頻繁に行う。各自が自らの力で考え、発言する姿勢が求められる。講義終了後には1コマあたり4時間を目安に予習復習を行うこと。その際、学習した箇所の配布資料を読み返し、講義の要点と疑問点を整理・記載しておくこと。なお予習復習時間の確保は講義前後だけでなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。

オフィスアワー: 月曜から木曜の12時30分から1時00分までとする。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)		講義	渡邊
2	2)	医学史と鍼灸1	講義	渡邊
3	2)	医学史と鍼灸2	講義	渡邊
4	3)	痛みと鍼灸1 痛みとは何か	講義	渡邊
5	3)	痛みと鍼灸2 鎮痛方法について	講義	渡邊
6	4)	医療面接について	講義	渡邊
7	4)	衛生概念と医療過誤	講義	渡邊
8	6)	社会福祉と鍼灸1	講義	渡邊
9	5)	社会福祉と鍼灸2	講義	渡邊
10	1)	高齢者と鍼灸	講義	渡邊
11	5)	こころと鍼灸	講義	渡邊
12	6)	医療人の眼差し	講義	渡邊
13	6)	小児・女性と鍼灸	講義	渡邊・特別講師
14	7)	美容と鍼灸の関わり	講義	渡邊・特別講師
15	1-7)	美容鍼灸実践	講義	渡邊
		社会鍼灸学総括		

教科書: 臨床医学各論(社団法人東洋療法学校協会編 医歯薬出版社 ISBN978-4-263-24168-4;臨床医学各論の教科書と同一)、東洋医学臨床論(社団法人東洋療法学校協会編 教科書執筆小委員会著 医道の日本社 ISBN978-4-7529-5036-3 C3047 ;東洋医学臨床論の教科書と同一)のテキストならびに配布サブノートを用いる。

参考書: 使用しない。

科目名: **基礎鍼灸実習**

担当者: 富田賢一・中野祐也(スポーツ健康福祉学科)

配当学科: スポーツ健康福祉学科 鍼灸C 1年生

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 本科目では、鍼技術・灸技術の実習を行う上で必要な基礎的な知識や技術について理解し習得することを目的とする。特に道具としての知識や手指消毒法、最も基礎となる鍼・灸の取り扱い技術など、鍼灸師に必要な最も基礎分野の学習を行う。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)衛生的な施術の手順を理解し実践できる。
 - 2)鍼灸施術上の注意点、過誤や副作用の予防法や処置について説明できる。
 - 3)鍼灸治療で使用する道具の種類や特徴について理解し説明できる。
 - 4)鍼灸施術における基本手技の種類や特徴について理解し実践できる。
 - 5)安全な鍼灸施術を行うための注意点を理解し実践できる。

評価方法: 実習を4/5以上出席した者を成績評価対象者とする。
評価は毎回の実習内評価に加え、筆記試験および課題提出の状況を総合し決定する。

準備学習・履修上の注意等: 本科目は実技科目であるため、繰り返し学習することが必要となる。配布されたテキスト等を活用して、実技の内容・意味を各自で予習・復習することが必要である。1回の授業につき60分を目安に予習・復習を行うこと。本科目は鍼灸の根幹をなすものであることを認識する。出席は重視する。始業時間には、授業に必要な準備を済ませておく。実習における身なりを整える。特に白衣・名札の着用、頭髪、爪など。実習の際、手足・体幹が出せる準備をしておく。実習内容によっては課題を課すことがあるので、その際は参考書を元に調べ、調べた内容をまとめ提出すること。調べたい内容について指定した参考書の内容では足りない場合、オフィスパワーを活用して質問すること。

オフィスパワー: 毎週水曜日 12:30~13:30 (会議等により時間変更あり)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	ガイダンス・オリエンテーション	実習	富田・中野
2	3)4)	鍼施術・鍼器具の起源と変換 鍼施術の起源および古代九鍼の種類や用途等について学ぶ。□	実習	中野
3	3)4)	灸の起源と歴史 灸術の発祥と日本への伝来、日本でどのように発展したかを学ぶ。□	実習	富田
4	3)4)	現代の鍼と刺鍼手技 現代の鍼の形状、材質および各部の名称と鍼尖端の形状等について学ぶ。さらに、 現行刺鍼手順を学び実践する。	実習	中野
5	3)	灸の基礎知識 艾の作り方 灸の材料である艾の生成法と成分について学ぶ。	実習	富田
6	1)2)	衛生的な鍼施術の手順 手洗いを含めた衛生的な鍼施術を学び、実践する。	実習	中野
7	3)	艾の作成1 艾を手作りして、生成法を深く学ぶ。	実習	富田
8	1)2)	鍼施術の過誤と副作用 鍼施術上の注意点、過誤、副作用の予防と処置を学び、実践する。	実習	中野
9	3)	艾の作成2 艾を手作りして、生成法を深く学ぶ。	実習	富田
10	1)~5)	基本的な刺鍼技術① 基本手技の刺鍼手順および注意点を学び、安全な刺鍼を刺鍼練習台を用いて実践する。	実習	中野
11	3)4)	灸術の種類① 有痕灸について学び、どのような灸術であるか理解する。	実習	富田
12	1)~5)	基本的な刺鍼技術② 刺鍼練習台を用い、単鍼術による送り込み刺法と旋撚刺法について学び、実践する。	実習	中野
13	3)4)	灸術の種類② 無痕灸について学び、どのような灸術であるか理解する。	実習	富田

- | | | | | |
|----|-------|---|----|----|
| 14 | 1)~5) | 基本的な刺鍼技術③
刺鍼練習台を用い、一定の刺入角度、深度での刺鍼を学び、実践する。 | 実習 | 中野 |
| 15 | 3)~5) | 基本的な施灸技術
艾?作成の手順と指の使い方を習得する。板上に艾?を立てることができる。 | 実習 | 富田 |

教科書: はりきゅう理論(東洋療法学校協会編 教科書執筆小委員会著) 医道の日本【ISBN978-4-7529-5059-2 C3047】
はりきゅう実技(東洋療法学校協会編 教科書執筆小委員会著) 医道の日本【ISBN4-7529-5020-0 C3047】
図解鍼灸臨床手技マニュアル(尾崎昭弘) 医歯薬出版【ISBN978-4-263-24277-3 C3047】

参考書: 特に無し

科目名: **臨床鍼実技 I**

担当者: 中野祐也(福・スポ)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(2年)

必修・選択: 選択※鍼灸必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 鍼の基本技術から応用技術までの習得をはかり、臨床へつなげるべき知識と技術を習得することを目的とする。刺鍼練習台での刺入の練習や、自身への刺鍼練習を行い、最終的には他者への安全な刺鍼を目標とする。また、日常臨床で使用する基本的な刺鍼手技を習得する。

到達目標: (SBOs)
1)鍼による基本実技を理解することがきる。
2)衛生概念および鍼の安全性を理解することがきる。
3)正確かつ安全な刺鍼を体得することができる。
4)各種鍼法の基本を理解し体得することができる。
5)安全に自身・他人の体への刺鍼がきる。
6)特定経穴への刺鍼ができる。

評価方法: 実施講義回数5分の4以上を満たした者について試験を実施する。
筆記試験・実技試験(一連の基本刺鍼操作、各種鍼法の刺鍼操作、片手挿管の連続操作)の結果・課題の提出・授業態度を総合して行う。

準備学習・履修上の注意等: この授業は実技科目であるため、繰り返し学習することが必要となる。そのため、テキストや配布資料等を活用して、基本手技の内容や意味を各自で予習・復習することが必要となる。1回の授業につき60分を目安に予習・復習を行うこと。授業毎に課題を出すので、次回までに提出すること。本実習は鍼灸の根幹をなすものであることを認識する。始業時には、授業に必要な準備を済ませておく。実習における身なりを整える。特に白衣・名札の着用、頭髪、爪など。実習の際、手足・体幹が出せる準備をしておく。

オフィスアワー: 毎週水曜日 12:30~13:30 (時間割の都合上、変更あり)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	ガイダンス。鍼の基本手技・刺鍼における注意点を学ぶ。手洗い・消毒などの衛生概念や鍼の安全性を学び、鍼の過誤事例からその危険性を認識する。	実習	中野
2	1)~3)	手洗い・消毒などの衛生概念や鍼の安全性、過誤事例について理解する。片手挿管法の概要、基本練習について学ぶ。	実習	中野
3	1)~3)	刺鍼練習台を用い、基本的な刺鍼技術を学ぶ。(単刺術による直刺刺入練習)	実習	中野
4	1)~3)	刺鍼練習台を用い、基本的な刺鍼技術を学ぶ。(一定の刺入深度および角度での刺鍼練習・前回の復習)	実習	中野
5	1)~3)	刺鍼練習台を用い、基本的な刺鍼技術を学ぶ。(捻鍼法と送り込み法による直刺刺入・単刺術による斜刺刺入・前回の復習)	実習	中野
6	1)~5)	自分の身体に対しての刺鍼練習を行う。(消毒・清潔操作の再確認・一定の刺入深度、角度での練習)	実習	中野
7	1)~5)	鍼の十七術について学び、刺鍼練習台および自分の身体に対しての刺鍼練習を行う。(雀啄術、間欠術、屋漏術、随鍼術、振せん術、置鍼術、旋捻術、回旋術)	実習	中野
8	1)~5)	鍼の十七術について学び、刺鍼練習台および自分の身体に対しての刺鍼練習を行う。(乱鍼術、副刺激術、示指打法、随鍼術、内調術、細指術、管散術、刺鍼転向法、刺鍼転移法)	実習	中野
9	1)~5)	鍼の十七術のまとめと、刺鍼練習台および自身または他者の身体に対しての刺鍼練習を行う。	実習	中野
10	1)~5)	実技まとめ	実習	中野
11	1)~6)	上肢および下肢の経穴取穴を行い、目的の経穴に対し刺鍼を行う。	実習	中野
12	1)~6)	後頸部の経穴取穴を行い、目的の経穴に対し刺鍼を行う。	実習	中野
13	1)~6)	背部および腰部の経穴取穴を行い、目的の経穴に対し刺鍼を行う。	実習	中野
14	1)~6)	上腹部および下腹部の経穴取穴を行を行い、目的の経穴に対し刺鍼を行う。	実習	中野

教科書: 図解鍼灸臨床マニュアル (尾崎昭弘 著) 医歯薬出版株式会社【978-4-263-24192-9】
はりきゅう実技〈基礎編〉(教科書執筆小委員会 著) 医道の日本社【978-4-7529-5020-2】

参考書: 鍼灸医療安全ガイドライン (尾崎昭弘・坂本歩・鍼灸安全性委員会 編) 医歯薬出版株式会社【978-4-263-24211-7】
新版 経絡経穴概論 (教科書執筆小委員会 著) 医道の日本社【978-4-7526-5160-5】
鍼灸基礎実習ノート (森英俊・佐々木和郎 編) 医歯薬出版株式会社【978-4-263-24238-4】

科目名: **臨床鍼実技Ⅱ**

担当者: 中野祐也(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(2年)

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 身体各部への刺鍼に際しての注意点(刺入深度、角度など)や、鍼による過誤や副作用について理解する。その上で、臨床針実習Ⅰで習得した基本的鍼技術を応用し、身体各部への安全かつ衛生的な鍼施術を行える技術を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)鍼による基本実技を実践できる。
 - 2)衛生概念および鍼の安全性を理解し実践できる。
 - 3)目的の深度および角度で正確かつ安全に刺鍼ができる。
 - 4)各種鍼法の基本を理解し実践できる。
 - 5)自身・他人の体に対し、安全な刺鍼ができる。
 - 6)体表解剖を理解し、正確な刺鍼ができる。

評価方法: 実施講義回数の5分の4以上を満たした者について試験を実施する。
実技試験(一連の基本刺鍼操作、各種鍼法の刺鍼操作、人体刺鍼)の結果・課題の提出・授業態度および診療マナーを総合して行う。

準備学習・履修上の注意等: この授業は実技科目であるため、繰り返し学習することが必要となる。そのため、テキストや配布資料等を活用して、検査の内容や意味を各自で予習・復習することが必要となる。1回の授業につき60分を目安に予習・復習を行うこと。授業毎に課題を出すので、次回までに提出すること。本実習は鍼灸の根幹をなすものであることを認識する。始業時には、授業に必要な準備を済ませておく。実習における身なりを整える。特に白衣・名札の着用、頭髪、爪など。実習の際、手足・体幹が出せる準備をしておく。

オフィスアワー: 毎週水曜日 12:30~13:30 (時間割の都合上、変更あり)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~5)	ガイダンス。刺鍼における注意点を理解し、安全かつ衛生的な手技を行う。	実習	中野
2	1)~5)	上肢および下肢の常用穴に対し刺鍼を行い、刺入感覚を意識して把握する。被検者の感覚に対応した刺入感覚を把握する。直刺、斜刺、雀啄、回旋、捻捻などの各種刺激手技を理解する。	実習	中野
3	1)~6)	上肢・下肢の触診を行い、上肢・下肢の常用穴に対し、目的の深度と角度で刺入を行う。	実習	中野
4	1)~6)	後頸部の触診を行い、後頸部の常用穴に対し、目的の深度と角度で刺入を行う。	実習	中野
5	1)~6)	腰部の触診を行い、腰部の常用穴に対し、目的の深度と角度で刺入を行う。	実習	中野
6	1)~6)	腹部の触診を行い、腹部の常用穴に対し、目的の深度と角度で刺入を行う。	実習	中野
7	1)~6)	肩背部の常用穴に対し、目的の深度と角度で刺入を行う。	実習	中野
8	1)~6)	肩背部の常用穴に対し、目的の深度と角度で刺入を行う。	実習	中野
9	1)~6)	頭部の常用穴に対し、目的の深度と角度で刺入を行う。	実習	中野
10	1)~6)	頭部の常用穴に対し、目的の深度と角度で刺入を行う。	実習	中野
11	1)~6)	所定時間内に身体各部の常用穴に対し刺鍼を行なう(仰臥位)。	実習	中野
12	1)~6)	所定時間内に身体各部の常用穴に対し刺鍼を行なう(腹臥位)。	実習	中野
13	1)~6)	実技まとめ	実習	中野
14	1)~6)	身体各部への刺鍼の総復習を行う。	実習	中野

教科書: 図解鍼灸臨床マニュアル (尾崎昭弘 著) 医歯薬出版株式会社【978-4-263-24192-9】
はりきゅう実技〈基礎編〉(教科書執筆小委員会 著) 医道の日本社【978-4-7529-5020-2】

参考書: 鍼灸医療安全ガイドライン (尾崎昭弘・坂本歩・鍼灸安全性委員会 編) 医歯薬出版株式会社【978-4-263-24211-7】
鍼灸基礎実習ノート (森英俊・佐々木和郎 編) 医歯薬出版株式会社【978-4-263-24238-4】
新版 経絡経穴概論 (教科書執筆小委員会 著) 医道の日本社【978-4-7526-5160-5】
[改訂版]ボディ・ナビゲーション 触ってわかる身体解剖 (阪本桂造 監訳) 医道の日本社【978-4-7529-3095-2】

科目名: 臨床鍼実技Ⅲ

担当者: 中野祐也(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(3年)

必修・選択: 選択※鍼灸必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 々な特殊鍼法を中心に学ぶ。臨床針実習Ⅱで学んだ身体各部位への刺鍼技術を復習する。刺鍼に際しての注意点(刺入深度、角度など)や、鍼による過誤や副作用について理解した上で、特殊鍼法と安全・衛生的な施鍼技術の修得を目標とする。

到達目標: (SBOs)
1)鍼による基本実技を理解することができる。
2)衛生概念および鍼の安全性を理解することができる。
3)正確かつ安全な刺鍼を体得することができる。
4)自身・他人の体への刺鍼を体得することができる。
5)各種鍼法の基本を理解し体得することができる。

評価方法: 実施講義回数数の5分の4以上が必要を満たした者について試験を実施する。評価は筆記試験・実技試験の結果および課題の提出状況、授業態度を総合して行う。

準備学習・履修上の注意等: この授業は実技科目であるため、繰り返し学習が必要となる。そのため、テキストや配布資料等を活用して、特殊手技の内容や意味を各自で予習・復習することが必要となる。1回の授業につき60分を目安に予習・復習を行うこと。授業毎に課題を出すので、次回までに提出すること。本実習は鍼灸の根幹をなすものであることを認識する。始業時間には、授業に必要な準備を済ませておく。実習における身なりを整える。特に白衣・名札の着用、頭髪、爪など。実習の際、手足・体幹が出せる準備をしておく。

オフィスアワー: 毎週水曜日 12:30~13:30 (会議等により、変更あり)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~5)	ガイダンスおよび身体刺鍼を行なう。ガイダンスを通して当科目の趣旨を理解する。自身の下肢前面および外側への刺鍼における注意点を理解し、安全かつ衛生的な手技によって刺入できる。	実習	中野
2	1)~5)	クリーンニードル・テクニックを学ぶ。無菌的な清潔操作による刺鍼技術として、クリーンニードル・テクニックの必要性を理解し習得する。鍼体を直接に触れずに行う刺鍼技術を習得する。	実習	中野
3	1)~5)	鍼通電を学ぶ。低周波鍼通電刺激の手順と安全管理、および通電器の使用方法を理解する。その上で、四肢や腰背への鍼通電の技術を習得する。	実習	中野
4	1)~5)	皮内鍼と円皮鍼を学ぶ。皮内鍼および円皮鍼の歴史、方法、種類などの基本を理解する。皮内鍼による圧痛部への施術方法を習得する。	実習	中野
5	1)~5)	皮内鍼と赤羽式知熱感度測定を学ぶ。赤羽式知熱感度測定法の理論と手法を理解する。またここから導き出される皮内鍼の治療方法を習得する。	実習	中野
6	1)~5)	一般刺鍼の復習。特殊鍼法を学んできたため、一般刺鍼の復習を行なう。他者への刺鍼練習を行い、安全な刺鍼技術を修得する。	実習	中野
7	1)~5)	小児鍼を学ぶ。小児鍼の理論と手法を理解する。小児鍼の手技として接触鍼法と摩擦鍼法の手順を理解し習得する。	実習	中野
8	1)~5)	耳鍼療法を学ぶ。耳鍼療法の理論と手法を理解する。耳鍼療法を実際に行い、その手順を理解し習得する。	実習	中野
9	1)~5)	管鍼法を学ぶ。日本において江戸時代より用いられている管鍼法の理論と手法を理解する。銀鍼および金属製の鍼管を用いての管鍼法を実際に行い、その手順を理解し習得する。	実習	中野
10	1)~5)	灸頭鍼を学ぶ。灸頭鍼の理論と手法を理解する。灸頭鍼を実際に行い、その手順を理解し習得する。	実習	中野
11	1)~5)	灸頭鍼を学ぶ。灸頭鍼の理論と手法を理解する。灸頭鍼を実際に行い、その手順を理解し習得する。	実習	中野
12	1)~5)	まとめ。特殊鍼法実技の総復習を行い、その手順を理解し習得する。	実習	中野
13	1)~5)	まとめ。身体各部への刺鍼の総復習を行い、その手順を理解し習得する。	実習	中野
14	1)~5)	所定時間内に身体各部の常用穴に対し刺鍼を行なう(仰臥位)。	実習	中野
15	1)~5)	所定時間内に身体各部の常用穴に対し刺鍼を行なう(腹臥位)。	実習	中野

教科書： 使用しない。

参考書： 図解鍼灸臨床マニュアル（尾崎昭弘 著）医歯薬出版株式会社【978-4-263-24192-9】
はりきゅう実技〈基礎編〉（教科書執筆小委員会 著）医道の日本社【978-4-7529-5020-2】
鍼灸基礎実習ノート（森英俊・佐々木和郎 編）医歯薬出版株式会社【978-4-263-24238-4】
新版 経絡経穴概論（教科書執筆小委員会 著）医道の日本社【978-4-7526-5160-5】
[改訂版]ボディ・ナビゲーション 触ってわかる身体解剖（阪本桂造 監訳）医道の日本社【978-4-7529-3095-2】

科目名: **臨床鍼実技IV**

担当者: 中野祐也(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(3年)

必修・選択: 選択※鍼灸必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 伝統鍼灸学における四診(望診・聞診・問診・切診)の意義や診察方法を理解し、四診の基本を説明できるようになる。また、四診と基本的な病証との関連を理解し、鍼灸臨床における東洋医学的病態把握するための診察法を学習する。あわせて、鍼灸医学における身体観や生命観などの理解を深めるとともに、医療人としての基本的な態度を養うことも目的とする。

到達目標: (SBOs) 1)衛生概念および灸の安全性を理解することができる。
2)正確かつ安全に身体へ刺鍼することができるよう知識・技能を習得することができる。
3)身体各部の構造的特徴と注意点を理解し、お互いに刺鍼できる。
4)望診の概要を理解でき、舌診の意義・舌色・舌態・舌形・苔の色や性状の概要、正常な舌所見が説明できる。
5)切診の概要を理解でき、正しい触診技術(脈診・切経等)を習得することができる。
6)聞診・問診の意義や方法が理解でき、特徴的な症状を挙げることができる。
7)四診(望聞問切)から主な病証を推測できる。また症例より治療方針と配穴を考えられる。

評価方法: 実施講義回数(5分)の4以上が必要を満たした者について試験を実施する。評価は筆記試験・実技試験の結果、課題提出、授業態度を総合して行う。

準備学習・履修上の注意等: この授業は実技科目であるため、繰り返し学習することが必要となる。そのため、テキストや配布資料等を活用して、四診・触診法等の内容や意味を各自で予習・復習することが必要となる。1回の授業につき60分を目安に予習・復習を行うこと。授業毎に課題を出すので、次回までに提出すること。本実習は鍼灸の根幹をなすものであることを認識する。始業時には、授業に必要な準備を済ませておく。実習における身なりを整える。特に白衣・名札の着用、頭髪、爪など。実習の際、手足・体幹が出せる準備をしておく。実施講義回数(5分)の4以上を満たした者について試験を実施する。

オフィスアワー: 毎週水曜日 12:30~13:30 (会議等により、変更あり)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~4)	本実習の概要を理解する。また、刺鍼における注意点を理解し、安全かつ衛生的な手技を行う。	実習	中野
2	1)~4)	伝統医学における四診と望診の概要を理解できる。また、舌診の意義・舌色・舌態・舌形・苔の色や性状の概要、正常な舌所見が説明できる。	実習	中野
3	1)~5)	前腕部の触診法を学ぶ。前腕部の構造的長を把握し、刺鍼方法の注意点を理解し刺鍼を行う。	実習	中野
4	1)~5)	前腕部の触診法を学ぶ。前腕部の構造的長を把握し、刺鍼方法の注意点を理解し刺鍼を行う。	実習	中野
5	1)~5)	下肢の触診法を学ぶ。下肢の構造的長を把握し、刺鍼方法の注意点を理解し刺鍼を行う。	実習	中野
6	1)~5)	下肢の触診法を学ぶ。下肢の構造的長を把握し、刺鍼方法の注意点を理解し刺鍼を行う。	実習	中野
7	1)~5)	東洋医学的な診察法を学ぶ。腹診について理解し、触診法を習得する。	実習	中野
8	1)~5)	背部・腰部に対する刺鍼を学ぶ。切経について理解し、疾患別に刺鍼を行う。	実習	中野
9	1)~5)	背部・腰部に対する刺鍼を学ぶ。切経について理解し、疾患別に刺鍼を行う。	実習	中野
10	1)~5)	背部・腰部に対する刺鍼を学ぶ。切経について理解し、疾患別に刺鍼を行う。	実習	中野
11	1)~5)	脈診について学ぶ。	実習	中野
12	1)~5)	脈診について学ぶ。	実習	中野
13	1)~6)	聞診・問診について学ぶ。	実習	中野
14	1)~6)	聞診・問診について学ぶ。	実習	中野
15	1)~7)	まとめ	実習	中野

教科書: 使用しない。

参考書: 図解鍼灸臨床マニュアル(尾崎昭弘 著) 医歯薬出版株式会社【978-4-263-24192-9】
鍼灸医療安全ガイドライン(尾崎昭弘・坂本歩・鍼灸安全性委員会 編) 医歯薬出版株式会社【978-4-263-24211-7】
新版 経絡経穴概論(教科書執筆小委員会 著) 医道の日本社【978-4-7526-5160-5】
中医臨床のための舌診と脈診(神戸中医学研究会 編著) 医歯薬出版株式会社【978-4-263-73705-7】
針灸学[基礎篇](中医学研究部 編・訳) 東洋学術出版社【978-4-924-95492-2】



科目名: **臨床灸実技 I**

担当者: 富田賢一(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科 鍼灸健康福祉コース(2年)

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 鍼灸師として必要な灸の基礎知識を学習する。
灸術の基礎である透熱灸の基本的技術を習得する。特に、敏速な施灸、灸の大きさの調整、温度調整ができるようになる。

到達目標: 1)灸術の基礎知識について説明できる。
(SBOs) 2)透熱灸の基本的な手技を身につける。

評価方法: 筆記試験(50%)・実技試験(50%)にて評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり1時間を目安に予習復習を行うこと。技術習得の練習を日常的に行うこと。
本科目は実技科目であるため、講義数の5分の4以上の出席が必要となる。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	灸術の定義 鍼灸治療の特徴 艾を扱うための手のトレーニング	演習	富田賢一
2	1)2)	灸の基礎知識(1) 艾を扱うための手のトレーニング	演習	富田賢一
3	1)2)	灸の基礎知識(2) 線香 艾を扱うための手のトレーニング	演習	富田賢一
4	1)2)	灸術の種類(有痕灸) 艾を使った艾?の作成(1)	演習	富田賢一
5	1)2)	灸術の種類(無痕灸) 艾を使った艾?の作成(2)	演習	富田賢一
6	1)2)	鍼灸の臨床応用(1) 艾を使った艾?の作成(3)板上に施灸 線香の使い方	演習	富田賢一
7	1)2)	鍼灸療法の禁忌 艾を使った艾?の作成(4)板上施灸	演習	富田賢一
8	1)2)	灸療法の過誤と副作用(1) 艾を使った艾?の作成(5)板上施灸	演習	富田賢一
9	1)2)	灸療法の過誤と副作用(2) 艾を使った艾?の作成(6)紙上施灸	演習	富田賢一
10	1)2)	講義内容の演習 艾を使った艾?の作成(7)紙上施灸	演習	富田賢一
11	2)	艾を使った艾?作成(8)紙上施灸+温度センサー	演習	富田賢一
12	2)	艾を使った艾?作成(9)紙上施灸+温度センサー	演習	富田賢一
13	2)	艾を使った艾?作成(9)紙上施灸+温度センサー	演習	富田賢一
14	2)	艾を使った艾?作成(10)紙上施灸+温度センサー	演習	富田賢一
15	2)	艾を使った艾?作成(11)紙上施灸+温度センサー	演習	富田賢一

教科書: はりきゅう理論(東洋療法学校協会編 教科書執筆小委員会著) 医道の日本【ISBN978-4-7529-5059-2 C3047】
はりきゅう実技(東洋療法学校協会編 教科書執筆小委員会著) 医道の日本【ISBN4-7529-5020-0 C3047】
図解鍼灸臨床手技マニュアル(尾崎昭弘) 医歯薬出版【ISBN978-4-263-24277-3 C3047】

参考書: 使用しない

科目名: **臨床灸実技Ⅱ**

担当者: 富田賢一(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科 鍼灸健康福祉コース(2年)

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 臨床灸実技Ⅰで学習した施灸技術を利用し、人体への施灸を安全・正確に行うための技術・技法を演習を通して習得する。本演習を通して代表的な四肢の経穴、腰背部の経穴を使って取穴の基礎を学ぶ。

到達目標: (SBOs) 1)人体に施灸が安全に行える。
2)様々な灸法を実際に行える。
3)代表的な経穴の取穴ができる。
4)取穴に必要な経絡経穴および解剖学的な知識を身につける。

評価方法: 筆記試験(50%)・実技試験(50%)で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり1時間を目安に予習復習を行うこと。技術習得の練習を日常的に行うこと。また、授業で出された課題は必ず、次の時間までに自宅学習を行い、理解を深めておくこと。
本科目は実技科目であるため、講義数の5分の4以上の出席が必要となる。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1,2,3,4)	人体に対する施灸(1) 透熱灸: 自身・・・失眠、裏内庭、湧泉等	演習	富田賢一
2	1,2,3,4)	人体に対する施灸(2) 透熱灸(紫雲膏灸): 自身・・・足三里、曲池、手三里等	演習	富田賢一
3	1,2,3,4)	人体に対する施灸(3) 透熱灸(紫雲膏灸): 自身・・・三陰交、太谿等	演習	富田賢一
4	1,2,3,4)	人体に対する施灸(4) 知熱灸: 自身・・・基礎練習と施灸	演習	富田賢一
5	1,2,3,4)	人体に対する施灸(5) 透熱灸: 他者・・・失眠、裏内庭、湧泉等	演習	富田賢一
6	1,2,3,4)	人体に対する施灸(6) 透熱灸・知熱灸: 他者・・・足三里、曲池、手三里等	演習	富田賢一
7	1,2,3,4)	人体に対する施灸(7) 透熱灸・知熱灸: 他者・・・三陰交、太谿等	演習	富田賢一
8	1,2,3,4)	人体に対する施灸(8) 透熱灸・知熱灸: 他者・・・大椎、風門等	演習	富田賢一
9	1,2,3,4)	人体に対する施灸(9) 透熱灸・知熱灸: 他者・・・肩胛間部の経穴	演習	富田賢一
10	1,2,3,4)	人体に対する施灸(10) 透熱灸・知熱灸: 他者・・・肩胛間部の経穴	演習	富田賢一
11	1,2,3,4)	人体に対する施灸(11) 透熱灸・知熱灸: 他者・・・腰部の経穴	演習	富田賢一
12	1,2,3,4)	人体に対する施灸(12) 透熱灸・知熱灸: 他者・・・腰部の経穴	演習	富田賢一
13	1,2,3,4)	人体に対する施灸(13) 透熱灸・知熱灸: 他者・・・背部の経穴	演習	富田賢一
14	1,2,3,4)	人体に対する施灸(14) 透熱灸・知熱灸: 他者・・・背部の経穴	演習	富田賢一
15	1,2,3,4)	総括・復習 実習で学んだ知識、内容について評価	演習	富田賢一

教科書: はりきゅう理論(東洋療法学校協会編 教科書執筆小委員会著) 医道の日本【ISBN978-4-7529-5059-2 C3047】
はりきゅう実技(東洋療法学校協会編 教科書執筆小委員会著) 医道の日本【ISBN4-7529-5020-0 C3047】
図解鍼灸臨床手技マニュアル(尾崎昭弘) 医歯薬出版【ISBN978-4-263-24277-3 C3047】

科目名: **臨床灸実技Ⅲ**

担当者: 富田賢一(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科 鍼灸コース 3年

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 多数ある灸術を実際に行い、それぞれの特性を理解し、安全に施術できること。
施灸する機会の多い、背部・肩・腰部・臀部の解剖・経穴の理解を深める。
臨床灸実技Ⅰ・Ⅱで得た技術を向上させる。

到達目標: (SBOs) 1)安全な施灸ができる。
2)経穴を取るために必要な知識を学ぶ。
3)取穴ができる。
4)スムーズな施灸ができる。
5)鍼灸師に必要な診察法を身につける。

評価方法: 実技試験と筆記試験で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 自宅での施灸練習を行い、灸技術の維持・向上を目指し、使用した経穴、灸術について自宅で復習しておくこと。(1時間程度の自宅学習)
本科目は実技科目であるため、講義数の5分の4以上の出席が必要となる。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1,2,3,4)	透熱灸と知熱灸(1)	演習	富田
2	1,2,3,4)	透熱灸と知熱灸(2)	演習	富田
3	1,2,3,4)	隔物灸(1)和紙灸・灸点紙灸	演習	富田
4	5)	隔物灸(2)生姜灸・大蒜灸	演習	富田
5	5)	隔物灸(3)塩灸	演習	富田
6	5)	隔物灸(4)押灸・MT温灸	演習	富田
7	5)	肩関節の触診 骨格・筋の理解	演習	富田
8	5)	肩関節への施灸 肩周囲の経穴の理解 施灸技術	演習	富田
9	1,2,3,4)	腰臀部の触診 骨格・筋の理解	演習	富田
10	1,2,3,4)	腰臀部への施灸 腰臀部周囲の経穴の理解 施灸技術	演習	富田
11	1,2,3,4)	鍼灸師に必要な診察 医療面接1	演習	富田
12	1,2,3,4)	鍼灸師に必要な診察 医療面接2	演習	富田
13	1,2,3,4)	鍼灸師に必要な診察 深部腱反射・表在反射・病的反射	演習	富田
14	1,2,3,4)	鍼灸師に必要な診察 血圧測定と動脈触診1	演習	富田
15	1,2,3,4)	鍼灸師に必要な診察 血圧測定と動脈触診2	演習	富田

教科書: はりきゅう理論(東洋療法学校協会編 教科書執筆小委員会著) 医道の日本【ISBN978-4-7529-5059-2 C3047】
はりきゅう実技(東洋療法学校協会編 教科書執筆小委員会著) 医道の日本【ISBN4-7529-5020-0 C3047】
図解鍼灸臨床手技マニュアル(尾崎昭弘) 医歯薬出版【ISBN978-4-263-24277-3 C3047】

参考書: 使用しない

科目名: **臨床灸実技Ⅳ**

担当者: 富田賢一(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科 鍼灸コース 3年

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 診察技術に必要な神経学的、解剖学的な知識を身につけながら、検査方法を身につける。特に頸部～上肢にかけた症状に対する検査・病態把握・鍼灸治療を学ぶ。

到達目標: (SBOs) 1)解剖学を理解し、必要な徒手検査を理解するとともに、患者に説明する能力を身につける。
2)実際に徒手検査を行うことができる。
3)検査によって得られた情報から病態を推測する。
4)治療に必要な経絡経穴を取穴し説明できる。
5)病態に対する鍼灸治療の考え方と技術を身につける

評価方法: 筆記試験と実技試験で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 自宅での施灸練習を行い、灸技術の維持・向上を目指し、使用した経穴、灸術について自宅で復習しておくこと。また、授業で出された課題も含め、徒手検査に必要な解剖学、疾患について学習しておくこと。(1時間程度の自宅学習)
本科目は実技科目であるため、講義数の5分の4以上の出席が必要となる。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1.2.3	診察方法(1) 反射所見	演習	富田賢一
2	1.2.3	診察方法(2) 筋力検査、施灸技術	演習	富田賢一
3	1.2.3	診察方法(3) 感覚検査	演習	富田賢一
4	4.5	施灸技術(1) 要穴について	演習	富田賢一
5	1.2.3	頸部の診察と鍼灸(1)徒手検査	演習	富田賢一
6	1.2.3	頸部の診察と鍼灸(2)徒手検査	演習	富田賢一
7	4.5	頸部の診察と鍼灸(3)肩凝りに対する鍼灸治療	演習	富田賢一
8	4.5	頸部の診察と鍼灸(4)頸部痛に対する鍼灸治療	演習	富田賢一
9	1.2.3	上肢の診察と鍼灸(1)胸郭出口症候群に対する徒手検査	演習	富田賢一
10	4.5	上肢の診察と鍼灸(2)胸郭出口症候群に対する鍼灸	演習	富田賢一
11	1.2.3	上肢の診察と鍼灸(3)肩関節の徒手検査	演習	富田賢一
12	4.5	上肢の診察と鍼灸(4)肩関節に対する鍼灸	演習	富田賢一
13	1.2.3	上肢の診察と鍼灸(5)肘・手首の診察と末梢神経障害の診察	演習	富田賢一
14	4.5	上肢の診察と鍼灸(6)肘・手首の鍼灸治療	演習	富田賢一
15	4.5	上肢の診察と鍼灸(7)末梢神経障害に対する鍼灸治療	演習	富田賢一

教科書: 使用しない。

参考書: 診察と手技が見えるvol.① 編)田邊雅裕 メディックメディア ISBN4-89632-132-4
はりきゅう検査・治療学 編)有馬義貴 南江堂 ISBN978-4-524-24759-2
新版経絡経穴概論(教科書執筆小委員会編)医道の日本社 ISBN978-4-7529-5125-4 C3047

科目名: **臨床灸実技V**

担当者: 富田賢一 スポーツ健康福祉学科

配当学科: スポーツ健康福祉学科 4年 健康鍼灸C

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 診察技術に必要な神経学的、解剖学的な知識を身につけながら、検査方法を身につける。特に腰背部～下肢にかけた症状に対する検査・病態把握・鍼灸治療を学ぶ。

到達目標: (SBOs) 1)解剖学を理解し、必要な徒手検査を理解する。
2)実際に徒手検査を行うことができる。
3)検査によって得られた情報から病態を推測する。
4)治療に必要な経絡経穴を理解する。
5)病態に対する鍼灸治療の考え方と技術を身につける

評価方法: 筆記試験と実技試験で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 自宅での施灸練習を行い、灸技術の維持・向上を目指し、使用した経穴、灸術について自宅で復習しておくこと。また、徒手検査に必要な解剖学、疾患について学習しておくこと。(1時間程度の自宅学習)
本科目は実技科目であるため、講義数の5分の4以上の出席が必要となる。

オフィスアワー: 後日連絡する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1.2.3	腰部の診察と鍼灸(1)徒手検査	演習	富田
2	1.2.3	腰部の診察と鍼灸(2)徒手検査	演習	富田
3	4.5	腰部の診察と鍼灸(3)腰臀部痛に対する鍼灸治療	演習	富田
4	4.5	腰部の診察と鍼灸(4)腰臀部痛に対する鍼灸治療	演習	富田
5	1.2.3	骨盤周囲の診察と鍼灸(1)股関節・仙腸関節の徒手検査	演習	富田
6	4.5	骨盤周囲の診察と鍼灸(2)股関節・仙腸関節に対する鍼灸治療	演習	富田
7	1.2.3	下肢の診察と鍼灸(1)膝関節の徒手検査	演習	富田
8	4.5	下肢の診察と鍼灸(2)膝関節・大腿部に対する鍼灸	演習	富田
9	1.2.3	下肢の診察と鍼灸(3)下腿・足関節の徒手検査	演習	富田
10	4.5	下肢の診察と鍼灸(4)下腿・足関節に対する鍼灸治療	演習	富田
11	1.2.3	循環器の診察(1)動脈の触知	演習	富田
12	4.5	循環器の診察(2)胸痛に対する鍼灸治療	演習	富田
13	1.2.3	循環器の診察(3)血圧測定	演習	富田
14	4.5	循環器の診察(4)血圧異常に対する鍼灸治療	演習	富田
15	1.2.3.4.5	まとめ	演習	富田

教科書: 特になし

参考書: 診察と手技が見えるvol.① 編)田邊雅裕 メディックメディア ISBN4-89632-132-4
はりきゅう検査・治療学 編)有馬義貴 南江堂 ISBN978-4-524-24759-2
新版経絡経穴概論(教科書執筆小委員会編)医道の日本社 ISBN978-4-7529-5125-4 C3047

科目名: **臨床灸実技VI**

担当者: 富田賢一(スポーツ健康福祉学科)

配当学科: スポーツ健康福祉学科 4年生(健康鍼灸C)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 内科系(呼吸器、循環器、神経系)の診察技術を学び、各症状に対する鍼灸治療を演習する。また東洋医学的な症状の捉え方など、総合的に診察技術、症候に対する知識を深める。

到達目標: (SBOs) 1)診察と症状について病態を考え理解できる
2)病態に対する診察技術を身につけ、行うことができる。
3)病態に対する鍼灸治療の考え方と技術を身につけ、施術することができる。

評価方法: 筆記試験と実技試験で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 自宅での施灸練習を行い、灸技術の維持・向上を目指し、使用した経穴、灸術について自宅で復習しておくこと。また、徒手検査に必要な解剖学、疾患について学習しておくこと。(1時間程度の自宅学習)
授業で出された課題も試験範囲に含まれるため、自己学習を要する。
本科目は実技科目であるため、講義数の5分の4以上の出席が必要となる。

オフィスアワー: 講義前後の対応可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1.2	呼吸器疾患(1) 胸部の診察 視診	演習	富田
2	3	呼吸器疾患(2) 咳嗽に対する鍼灸治療	演習	富田
3	1.2	呼吸器疾患(3) 胸部の診察 触診・打診	演習	富田
4	3	呼吸器疾患(4) 呼吸器疾患に対する鍼灸治療	演習	富田
5	1.2	呼吸器疾患(5) 聴診	演習	富田
6	1.2	循環器疾患(1) 聴診-1	演習	富田
7	3	循環器疾患(2) 血圧異常に対する鍼灸治療	演習	富田
8	1.2	循環器疾患(3) 聴診-2	演習	富田
9	3	神経系疾患(4) 胸痛に対する鍼灸治療	演習	富田
10	1.2	神経系疾患(1) 脳血管疾患に対する診察	演習	富田
11	3	神経系疾患(2) 脳血管疾患に対する鍼灸治療	演習	富田
12	1.2	神経系疾患(3) 小脳、脳神経系の診察	演習	富田
13	3	神経系疾患(4) 顔面神経麻痺の鍼灸治療	演習	富田
14	3	神経系疾患(5) 顔面神経麻痺の鍼灸治療	演習	富田
15	3	神経系疾患(6) 顔面痛の鍼灸治療	演習	富田

教科書: 特になし プリント・板書を中心に演習を進める。

参考書: 診察と手技が見える メディックメディア

科目名: 臨床鍼灸実習 I (治療所)

担当者: 渡邊 一平(福・ス)、中野 裕也(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(3年)

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 2 時間数: 90 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 鍼灸師として実社会へ、その能力を還元するための総仕上げの科目である。そのため、1、2年次に学習した内容および、現在(3年次)、学習している内容すべてを基盤として、外来に訪れる実際の患者に対し、患者誘導、受付、問診など、鍼灸臨床に関わる基礎的業務が的確かつスムーズにできるように学習する。

到達目標: (SBOs) 1)臨床を行うための基本的知識、操作について理解し、実行できる。
2)患者の立場にたった対応ができる。
3)患者の身体状態のみならず、心理状態を理解するための努力ができる。
4)患者に対する問診を的確かつスピーディーに行うことができる。
5)カルテ記載に必要な内容を把握することができる。

評価方法: 外来で鍼灸臨床に取り組む姿勢、態度、服装、言動を基本として、知識の正確性や行動のスムーズさなどから総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 外部の患者と関わる実習であるため、服装や言動、守秘義務をはじめとする職業的倫理観には十二分な注意と配慮が求められる。また実習で得た知識は必ず臨床ノート等に記載し、実習終了後にそれらの内容について参考図書などの知識を加え、確実に自己のものにする姿勢が求められる。

オフィスアワー: 月曜から木曜の12時30分から13時までの時間。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	治療所実習の基本事項(1)	実習	渡邊・中野
2	1)	治療所実習の基本事項(2)	実習	渡邊・中野
3	1)	衛生操作の確認	実習	渡邊・中野
4	1)~3)	患者対応 ~誘導・受付~	実習	渡邊・中野
5	1)~3)	患者対応 ~誘導・受付~	実習	渡邊・中野
6	1)~3)	患者対応 ~誘導・受付~	実習	渡邊・中野
7	1)~3)	患者対応 ~誘導・受付~	実習	渡邊・中野
8	1)~3)	患者対応 ~誘導・受付~	実習	渡邊・中野
9	1)~3)	患者対応 ~誘導・受付~	実習	渡邊・中野
10	1)~3)	患者対応 ~誘導・受付~	実習	渡邊・中野
11	1)~4)	患者対応 ~誘導・受付・問診・諸検査~	実習	渡邊・中野
12	1)~4)	患者対応 ~誘導・受付・問診・諸検査~	実習	渡邊・中野
13	1)~4)	患者対応 ~誘導・受付・問診・諸検査~	実習	渡邊・中野
14	1)~4)	患者対応 ~誘導・受付・問診・諸検査~	実習	渡邊・中野
15	1)~4)	患者対応 ~誘導・受付・問診・諸検査~	実習	渡邊・中野
16	1)~4)	患者対応 ~誘導・受付・問診・諸検査~	実習	渡邊・中野
17	1)~4)	患者対応 ~誘導・受付・問診・諸検査~	実習	渡邊・中野
18	1)~4)	患者対応 ~誘導・受付・問診・諸検査~	実習	渡邊・中野
19	1)~4)	患者対応 ~誘導・受付・問診・諸検査~	実習	渡邊・中野
20	1)~4)	患者対応 ~誘導・受付・問診・諸検査~	実習	渡邊・中野
21	1)~4)	患者対応 ~誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案~	実習	渡邊・中野
22	1)~4)	患者対応 ~誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案~	実習	渡邊・中野
23	1)~4)	患者対応 ~誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案~	実習	渡邊・中野

24	1)～4)	患者対応	～誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案～	実習	渡邊・中野
25	1)～4)	患者対応	～誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案～	実習	渡邊・中野
26	1)～4)	患者対応	～誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案～	実習	渡邊・中野
27	1)～4)	患者対応	～誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案～	実習	渡邊・中野
28	1)～4)	患者対応	～誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案～	実習	渡邊・中野
29	1)～4)	患者対応	～誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案～	実習	渡邊・中野
30	1)～4)	患者対応	～誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案～	実習	渡邊・中野
31	1)～5)	患者対応	～誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案・カルテ記載～	実習	渡邊・中野
32	1)～5)	患者対応	～誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案・カルテ記載～	実習	渡邊・中野
33	1)～5)	患者対応	～誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案・カルテ記載～	実習	渡邊・中野
34	1)～5)	患者対応	～誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案・カルテ記載～	実習	渡邊・中野
35	1)～5)	患者対応	～誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案・カルテ記載～	実習	渡邊・中野
36	1)～5)	患者対応	～誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案・カルテ記載～	実習	渡邊・中野
37	1)～5)	患者対応	～誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案・カルテ記載～	実習	渡邊・中野
38	1)～5)	患者対応	～誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案・カルテ記載～	実習	渡邊・中野
39	1)～5)	患者対応	～誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案・カルテ記載～	実習	渡邊・中野
40	1)～5)	患者対応	～誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案・カルテ記載～	実習	渡邊・中野
41	1)～5)	患者対応	～誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案・カルテ記載～	実習	渡邊・中野
42	1)～5)	患者対応	～誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案・カルテ記載～	実習	渡邊・中野
43	1)～5)	患者対応	～誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案・カルテ記載～	実習	渡邊・中野
45	1)～5)	患者対応	～誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案・カルテ記載～	実習	渡邊・中野
45	1)～5)	患者対応	～誘導・問診・諸検査・治療方針・計画立案・カルテ記載～	実習	渡邊・中野

教科書： ※講義時に配布する資料を使用する。

参考書： 使用しない。

科目名: 臨床鍼灸実習Ⅱ(治療所)

担当者: 富田賢一 中野祐也 (スポーツ健康福祉学科)

配当学科: スポーツ健康福祉学科 4年(健康鍼灸C)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 90時間 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 3年次までに修得した知識、技能を基盤とし、実際の患者に対し問診・診察・施術補助を行い、患者の状態を東西医学の観点から理解することができることを目指す。また、学生自身で治療方針が立てられるよう、実習を通して学ぶ。患者の立ち場になって、行動ができるより臨床的な鍼灸師となることをめざす。

到達目標: (SBOs) 1)臨床を行うための基本的知識、操作についてより深く理解する。
2)患者の立場にたち、患者の身体状態のみならず、心理状態を理解して対応ができる。
3)診察から得た情報を基に、鍼灸師に必要な東洋・西洋医学的な病態推察ができる。
4)患者に対する診療補助を的確かつスピーディーに行うことができる。
5)カルテ記載に必要な内容を把握することができる。
6)鍼灸施術の治療方針、使用経穴を自ら考えることができる。

評価方法: 前期終了時点、後期終了時点で試験を実施し、評価を行う。出席は4/5以上の出席を必要とする。

準備学習・履修上の注意等: 外部の患者と関わる実習であるため、服装や言動、守秘義務をはじめとする職業的倫理観には十二分な注意と配慮が求められる。また実習で得た知識は必ず臨床ノート等に記載し、実習終了後にそれらの内容について参考図書などの知識を加え、確実に自己のものにする姿勢が求められる。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間(確定次第連絡する)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1/2/5	臨床実習(誘導・患者対応・聞き取り・カルテ記載)	演習	富田・中野
2	1/2/5	臨床実習(誘導・患者対応・聞き取り・カルテ記載)	演習	富田・中野
3	1/2/5	臨床実習(誘導・患者対応・聞き取り・カルテ記載)	演習	富田・中野
4	1/2/5	臨床実習(誘導・患者対応・聞き取り・カルテ記載)	演習	富田・中野
5	1/2/5	臨床実習(誘導・患者対応・聞き取り・カルテ記載)	演習	富田・中野
6	1/2/5	臨床実習(誘導・患者対応・聞き取り・診察・カルテ記載)	演習	富田・中野
7	1/2/5	臨床実習(誘導・患者対応・聞き取り・診察・カルテ記載)	演習	富田・中野
8	1/2/4/5	臨床実習(誘導・患者対応・聞き取り・診察・カルテ記載)	演習	富田・中野
9	1/2/4/5	臨床実習(誘導・患者対応・聞き取り・診察・カルテ記載)	演習	富田・中野
10	1/2/4/5	臨床実習(誘導・患者対応・聞き取り・診察・カルテ記載)	演習	富田・中野
11	1/2/4/5	臨床実習(誘導・患者対応・聞き取り・診察カルテ記載)	演習	富田・中野
12	1/2/4/5	臨床実習(誘導・患者対応・聞き取り・診察・カルテ記載)	演習	富田・中野
13	1/2/4/5	臨床実習(誘導・患者対応・聞き取り・診察・治療方針・カルテ記載)	演習	富田・中野
14	1/2/4/5	臨床実習(誘導・患者対応・聞き取り・診察・治療方針・カルテ記載)	演習	富田・中野
15	1/2/3/4/5	臨床実習(誘導・患者対応・聞き取り・診察・治療方針・カルテ記載)	演習	富田・中野
16	1/2/3/4/5	臨床実習(誘導・患者対応・聞き取り・診察・治療方針・カルテ記載)	演習	富田・中野
17	1/2/3/4/5	臨床実習(誘導・患者対応・聞き取り・診察・治療方針・カルテ記載)	演習	富田・中野
18	1/2/3/4/5	臨床実習(誘導・患者対応・聞き取り・診察・治療方針・カルテ記載)	演習	富田・中野
19	1/2/3/4/5	臨床実習(誘導・患者対応・聞き取り・診察・治療方針・カルテ記載)	演習	富田・中野
20	1/2/3/4/5	臨床実習(誘導・患者対応・聞き取り・診察・治療方針・カルテ記載)	演習	富田・中野
21	1/2/3/4/5	臨床実習(誘導・患者対応・聞き取り・診察・治療方針・施術補助・カルテ記載)	演習	富田・中野
22	1/2/3/4/5	臨床実習(誘導・患者対応・聞き取り・診察・治療方針・施術補助・カルテ記載)	演習	富田・中野
23	1/2/3/4/5	臨床実習(誘導・患者対応・聞き取り・診察・治療方針・施術補助・カルテ記載)	演習	富田・中野

科目名: **スポーツ健康鍼灸学**

担当者: 渡邊 一平(福・ス)、富田 賢一(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(3年)

必修・選択: 必修(鍼灸コース) 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: スポーツは、その目的によって分類すると、1)成績や記録を競うことを主目的とするもの(アスリート等)、2)健康の維持・増進を主目的とするもの(一般市民、福祉関連)、3)教育の一環として行うもの等がある。
本講義では、スポーツを行っている人の目的に合わせた日常生活アドバイス、スポーツ障害の予防、治療に関する知識の習得を目指す。そのため、鍼灸スポーツ医科学に関する現在までの知見を、解剖生理学、病理学、臨床医学、東洋医学、心理学など、学際的な視野で学習するとともに、それらの関係性について理解を深めることで、臨床家として総合的な対処法について学ぶ。

到達目標: (SBOs) 1)スポーツと鍼灸治療・鍼灸師との関わりについて説明できる。
2)鍼灸師に係ることの多いスポーツ障害について、その病理及び予防法・鍼灸治療法を説明できる。
3)さまざまな鍼灸治療手技によるスポーツ障害に対する効果の違いを説明できる。
4)感性領域と東洋医学の気との関係性を説明できる。
5)生体機能に対する運動の効果と、その実践方法について説明できる。
6)高齢者に特徴的な運動障害とその予防法、鍼灸治療法を説明できる。

評価方法: 学期末の単位認定試験を70%、講義態度、毎回の講義終了時に実施する形成的評価のための小テストと合わせて総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 本講義では、講義への積極的な参加が求められるため、質疑応答を頻繁に行う。質問に対し、自らの力で考え、発言する姿勢が求められる。
講義終了前後で1コマあたり4時間を目安に予習復習を行うこと。またこれらの時間確保のため、週末あるいは長期休暇を用いることとする。

オフィスアワー: 月曜から木曜の12時30分から1時00分までとする。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	スポーツ鍼灸の現状	講義	渡邊
2	1)	鍼灸師のスポーツトレーナーとしての活動	講義	渡邊
3	2)	スポーツ障害(1) 野球肩・テニス肘	講義	富田
4	2)	スポーツ障害(2) 野球肩・テニス肘	講義	富田
5	2)	スポーツ障害(3) 腰痛・ひざ痛・下肢痛	講義	富田
6	2)	スポーツ障害(4) 腰痛・ひざ痛・下肢痛	講義	富田
7	2)	スポーツ障害(5) 腰痛・ひざ痛・下肢痛	講義	富田
8	2)	鍼通電・置鍼・円皮鍼のスポーツ障害への効果(1)	講義	渡邊
9	3)	鍼通電・置鍼・円皮鍼のスポーツ障害への効果(2)	講義	渡邊
10	3)	ZONEと気(1)	講義	渡邊
11	4)	ZONEと気(2)	講義	渡邊
12	4)	健康運動への取り組み	講義	渡邊
13	5)	スポーツと免疫	講義	渡邊
14	6)	高齢者と運動と鍼灸治療	講義	渡邊
15	1-6)	スポーツと健康と鍼灸総括	講義	渡邊

教科書: 東洋医学臨床論(はりきゅう編).教科書執筆小委員会.医道の日本社.ISBN:978-4-7529-5036-3(東洋医学臨床論と同じ教科書を使用)

参考書: 使用しない。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習 I**

担当者: 小川芳徳(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科3年

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: ヒトの“からだ”を取り上げ、健康づくり、体力づくりの重要性を理解することを目指します。“からだ”の力を測定する方法、その結果の解釈、そして対応策を導き出します。

到達目標: (SBOs) 1) 演習の目的、進め方、取り組み方について説明できる。
2) 研究テーマを提示できる。
3) 文献についての基本的な構成を理解し説明できる。
4) 文献を探索し、読み、まとめることができる。
5) 研究テーマに則した先行研究を調べ、整理し発表できる。
6) 体力の測定法を知り、測定ができる。
7) 測定結果をまとめ、その意味が理解できる。
8) 先行研究の結果と比較し、討議することができる。

評価方法: 学習への取り組み姿勢(授業態度、課題の実施、課題の提出)の総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき1時間の予習・復習を行うこと(土、日、祝日、長期休暇を用いて)。次回授業についての課題は必ず提出すること。

オフィスアワー: 12:30~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	演習 I の目的、進め方、取組について	演習	小川
2	2)	研究テーマの発表	演習	小川
3	3)	文献研究① 文献検索の仕方、読み方	演習	小川
4	3)4)5)	文献研究② 研究テーマに沿った文献のまとめ方	演習	小川
5	3)4)5)	文献研究③ 興味ある文献を検索し発表する	演習	小川
6	3)4)5)	文献研究④ 興味ある文献を検索し発表する	演習	小川
7	3)4)5)	文献研究⑤ 興味ある文献を検索し発表する	演習	小川
8	6)	呼気ガス分析① 歩行運動と走運動、至適速度の測定	演習	小川
9	6)	呼気ガス分析② 歩行運動と走運動、至適速度の測定	演習	小川
10	6)7)	呼気ガス分析③ データ整理と解釈	演習	小川
11	6)	歩行速度と体力① 歩行速度の測定	演習	小川
12	7)	歩行速度と体力② データの解析	演習	小川
13	4)8)	文献研究⑥ 実験結果を理解するための抄読	演習	小川
14	4)8)	文献研究⑦ 実験結果を理解するための抄読	演習	小川
15	3)4)5)7)8)	これまでの調査・実験から得た内容を吟味し、課題の抽出・討議を行う。	演習	小川

教科書: 指定しない

参考書: 指定しない。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習 I**

担当者: 正野 知基(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習・SGD

授業概要: 人と運動・スポーツ・レクリエーションのかかわりを「健康」、「体力」そして「福祉」という視点から考察しながら、卒業論文作成のための基礎的能力の養成を目指す。まず、研究を行うに当たって基本となる知識を整理した後、各自の興味ある課題を設定・調査し、レジュメとしてまとめ発表・討論を行う。この活動を通して、卒業研究のテーマを探し、論文の書き方の基礎を学び、さらに調査・発表・討論の方法を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 研究を行うに当たって基本となる知識を理解し、説明できる。
2) 課題を設定して調査を行い、調査した結果をレジュメとしてまとめ発表・討論することができる。
3) メンバーの発表を聞き、疑問点を質問・討論することができる。

評価方法: 発表資料(50%)および討論への参加・取り組み状況(50%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: SGDへの積極的な参加を求める。発表者の話をしっかりと聞き、疑問点は積極的に質問する態度が求められる。また、教員からもさまざまな課題が与えられるため、真摯に対応すること。発表の準備をしっかりと行うことはもちろんであるが、討論で生じた疑問点の解決のためや次の発表につなげるため、復習を怠らないこと。予習復習は1コマ当たり4時間を目安とする。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日 12:30～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション	講義	正野
2	1)	基本となる知識の整理(1)	演習	正野
3	1)	基本となる知識の整理(2)	演習	正野
4	1)	基本となる知識の整理(3)	演習	正野
5	1)	基本となる知識の整理(4)	演習	正野
6	3)	卒業研究中間発表会聴講	SGD	正野
7	2)3)	調査・発表・討論(1)	SGD	正野
8	2)3)	調査・発表・討論(2)	SGD	正野
9	2)3)	調査・発表・討論(3)	SGD	正野
10	2)3)	調査・発表・討論(4)	SGD	正野
11	2)3)	調査・発表・討論(5)	SGD	正野
12	2)3)	調査・発表・討論(6)	SGD	正野
13	2)3)	調査・発表・討論(7)	SGD	正野
14	2)3)	調査・発表・討論(8)	SGD	正野
15	2)3)	調査・発表・討論(9)	SGD	正野

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習 I**

担当者: 松田 智香子(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 「健康」な生活を送るために単に生活習慣病の予防としてではなく、ADLやQOLの向上の意味も踏まえて身体活動の役割や重要性について総合的に学ぶ。また身体活動や生体機能と生活習慣の関係についての基本的な事柄について具体的に学習する。学生はそれらの内容から生じた疑問点等について討論を行うとともに、先行研究を検討し問題の焦点化を図るなど卒業論文につなげる。

到達目標: (SBOs) 1) 指導教員の指示や講座の定められたルール等を順守する。
2) 関心のあるテーマを設定し、先行研究等の文献収集の方法や資料管理方法について理解し活用することができる。
3) 調べた内容や原著論文に書かれた内容を他の人に正しく説明することができる。
4) 資料を総合的に分析し、自分の意見を他者とディスカッションすることができる。
5) 論文作成のための方法の基礎を理解できる。

評価方法: 研究経過(50%)・プレゼンテーション(20%)ディスカッション態度(20%)・レポート(10%)

準備学習・履修上の注意等: 毎時、研究テーマについて調べたことの発表を行い、その内容についてディスカッションをする。ディスカッションにおいて指摘を受けた内容や、研究内容の発展について次時までには準備を行う必要があるため、1コマあたり1時間を目安に事前準備を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】	演習	松田
2	1)2)	【関心分野の発表】	演習	松田
3	1)2)	【文献研究①】	演習	松田
4	1)2)3)	【文献研究②】	演習	松田
5	1)2)3)	【文献研究③】	演習	松田
6	1)2)3)4)	【文献研究④】	演習	松田
7	1)2)3)4)	【文献研究⑤】	演習	松田
8	1)2)3)4)	【テーマに沿った調査法を習得①】	演習	松田
9	1)2)3)4)	【テーマに沿った調査法を習得②】	演習	松田
10	1)2)3)4)	【テーマに沿った調査法を習得③】	演習	松田
11	1)2)3)4)	【テーマに沿った調査法を習得④】	演習	松田
12	1)2)3)4)	【演習・実験・調査等に沿った課題の整理①】	演習	松田
13	1)2)3)4)5)	【演習・実験・調査等に沿った課題の整理②】	演習	松田
14	1)2)3)4)5)	【演習・実験・調査等に沿った課題の整理③】	演習	松田
15	1)2)3)4)5)	【研究テーマのまとめ】	演習	松田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習 I**

担当者: 川崎 順子(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 社会福祉に携わる援助者としてのあり方を探求するために、実践現場の実際を学び、卒業研究に向けた知識と技術を習得する。社会情勢を理解するために、現代社会の生活課題を取り上げ、議論していきながら自己表現力、発表力を習得する。
演習時間外に社会活動やボランティア活動に参加することにより、実践現場の理解と実践活動の展開方法を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)演習 I の目的を理解し、相互学習に主体的に参加できる。
2)グループ討議において、自分の意見を持ち、発言することができる。
3)行事等の企画・立案ができる。
4)資料収集・調査などによりまとめることができる。
5)実践現場における基本的態度・援助者としてのあり方について説明できる。
6)関心のある研究領域を探索し、率先して研究に取り組むことができる。

評価方法: 課題・レポート30%・取り組み姿勢70%として総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり2時間の予習・復習を行うこと。社会情勢に関する新聞や文献などを熟読し、レポートにまとめる。授業時に課題提起し、議論できる準備を行う。関心のある領域に関する社会活動への参加を行い、その意義についてレポートをまとめる。

オフィスアワー: 時間割確定後研究室に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 演習 I の目的、進め方、取り組み方を理解する	演習	川崎
2	1)2)	【関心分野の発表】 関心のあるテーマ・分野の発表を行う	演習	川崎
3	1)2)	【文献研究①】 文献探索の仕方、読み方を知る	演習	川崎
4	1)2)	【文献研究②】 文献内容の把握・まとめ方を知る	演習	川崎
5	1)2)4)	【文献研究③】 関心のあるテーマ・分野の先行研究を収集する	演習	川崎
6	1)2)4)	【文献研究④】 関心のあるテーマ・分野の先行研究のまとめを行い、発表の準備をする	演習	川崎
7	1)2)4)	【発表】 関心のあるテーマ・分野の発表をふまえての討議する	演習	川崎
8	1)2)3)	【演習①】 施設見学等の計画・立案を考える	演習	川崎
9	1)2)3)	【演習②】 施設見学等の計画・立案をまとめる	演習	川崎
10	1)4)	【演習③】 施設見学先の事前学習を行い、レポートにまとめる	演習	川崎
11	5)	【演習④】 施設見学を実施する	演習	川崎
12	5)	【演習⑤】 施設見学を実施する	演習	川崎
13	1)2)4)	【演習⑥】 施設見学による実態についてのレポートを作成し、発表の準備をする	演習	川崎
14	1)2)4)	【演習⑦】 施設見学による実態についてのレポートを発表する	演習	川崎
15	1)2)6)	【まとめ】 これまで得た先行研究・施設見学等から得た課題、研究領域・テーマの検討を行う	演習	川崎

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習 I**

担当者: 富田賢一(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科 鍼灸コース 3年

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 卒業論文作成に向けた準備を行う。
卒業研究として取り組むべきテーマを検討すると同時に、鍼灸および関連する分野の論文を実際に読み解くことで、読解力、理解力を高めながら鍼灸治療の効果について知識を深めていく。また、文献検索の具体的方法や論文の構造や書き方など基本的な知識も修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 得た知識を深く学ぶ。
2) 鍼灸治療の作用・効果について学ぶ。
3) 内容を理解し、他者に伝えることができる。
4) 文章で内容を表現できる。
5) 論文を読むことに慣れる。

評価方法: 学習態度、ゼミでの発表内容などから総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 履修上の注意等 各自の研究に必要な資料はファイル等で整理し、必要な情報を取り出せるようにしておくこと。また講義で得た知識は必ず研究ノート等に記載し、記録する姿勢が求められる。1コマあたり1時間の予習復習時間を行うこと。予習復習では適宜配布された資料あるいは各自が収集した資料を読み返し、要点をまとめておくこと。なお予習復習時間の確保は講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション	演習	富田
2	1)	基礎学習1 テーマについて	演習	富田
3	1)	基礎学習2 文献検索について	演習	富田
4	1)	基礎学習3 論文とは	演習	富田
5	1)	基礎学習4 レポートと論文の違い	演習	富田
6	2)	鍼灸の基礎1 鍼灸系論文抄読	演習	富田
7	2)	鍼灸の基礎2 鍼灸系論文抄読	演習	富田
8	2)	鍼灸の基礎3 鍼灸系論文抄読	演習	富田
9	2)	鍼灸の基礎4 鍼灸系論文抄読	演習	富田
10	2)	鍼灸の基礎5 鍼灸系論文抄読	演習	富田
11	2-5)	論文を読む1 興味のある論文を探して読もう!	演習	富田
12	2-5)	論文を読む2 興味のある論文を探して読もう!	演習	富田
13	2-5)	論文を読む3 読んだ論文をみんなで共有・レジュメの作成!	演習	富田
14	2-5)	論文を読む4 読んだ論文をみんなで共有・プレゼンテーション!	演習	富田
15	2-5)	論文を読む5 読んだ論文をみんなで共有・問題点の洗い出し!	演習	富田

教科書: 使用しない

参考書: プリント・レジュメを配布する。
また必要な教科書は演習前に指定する。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習 I**

担当者: 渡邊 一平(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸コース(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 論文作成の手順を通して、その特性や論文テーマの設定方法、情報収集方法、調査方法などを修得する。また、課題に関する客観的資料収集(文献検索)を行い、客観的事実に基づいたプレゼンテーション方法を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)論文の特徴・特性について説明することができる。
2)周囲の事象を認識し、疑問を持つことができる。
3)事象を比較することができる。
4)伝えたい内容を要約することができる。
5)必要な情報を効率よく収集することができる。

評価方法: 学習態度、ゼミでの発表内容などから総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 各自の研究に必要な資料はファイル等で整理し、必要な情報を取り出せるようにしておくこと。また講義で得た知識は必ず研究ノート等に記載し、記録する姿勢が求められる。1コマあたり1時間の予習復習時間を行うこと。予習復習では適宜配布された資料あるいは各自が収集した資料を読み返し、要点をまとめておくこと。なお予習復習時間の確保は講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。

オフィスアワー: 月曜から木曜の12時30分から1時00分までとする。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	論文の特徴とは何か? -レポート、あるいは感想文等との相違より-	演習	渡邊
2	1)	論文作成の注意事項	演習	渡邊
3	1)	小論文の作成1 -テーマに対して600字程度の小論文を作成する-	演習	渡邊
4	1)	小論文の批評と修正1	演習	渡邊
5	1)	小論文の作成2 -テーマに対して600字程度の小論文を作成する-	演習	渡邊
6	1)	小論文の批評と修正2	演習	渡邊
7	2)	疑問を持つ力をつける1 -身近な関心事から疑問を持つコツをつかむ-	演習	渡邊
8	2)	疑問を持つ力をつける2 -身近な関心事から疑問を持つコツをつかむ-	演習	渡邊
9	3)	比べる力をつける1 -イメージマップの作成方法-	演習	渡邊
10	3)	比べる力をつける2 -イメージマップの作成方法-	演習	渡邊
11	4)	要約する力をつける1 -短い文章を要点のみに要約する-	演習	渡邊
12	4)	要約する力をつける2 -短い文章を要点のみに要約する-	演習	渡邊
13	5)	調べる力をつける1 -インターネットを活用した情報収集方法-	演習	渡邊
14	5)	調べる力をつける2 -図書館を利用した情報収集方法-	演習	渡邊
15	1)2)3)4)5)	1)~14)のまとめ	演習	渡邊

教科書: 講義時に配布する資料を使用する。

参考書: 各自の研究テーマにより、適宜指示する。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習 I**

担当者: 山本 順之(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習・SGD

授業概要: 人と運動・スポーツ・レクリエーションのかかわりを「健康」、「体力」そして「福祉」という視点から考察しながら、卒業論文作成のための基礎的能力の養成を目指す。まず、研究を行うに当たって基本となる知識を整理した後、各自の興味ある課題を設定・調査し、レジュメとしてまとめ発表・討論を行う。この活動を通して、卒業研究のテーマを探し、論文の書き方の基礎を学び、さらに調査・発表・討論の方法を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 研究を行うに当たって基本となる知識を理解し、説明できる。
2) 課題を設定して調査を行い、調査した結果をレジュメとしてまとめ発表・討論することができる。
3) メンバーの発表を聞き、疑問点を質問・討論することができる。

評価方法: 発表資料(50%)および討論への参加・取り組み状況(50%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: SGDへの積極的な参加を求める。発表者の話をしっかりと聞き、疑問点は積極的に質問する態度が求められる。また、教員からもさまざまな課題が与えられるため、真摯に対応すること。発表の準備をしっかりと行うことはもちろんであるが、討論で生じた疑問点の解決のためや次の発表につなげるため、復習を怠らないこと。予習復習は1コマ当たり4時間を目安とする。

オフィスアワー: 時間割発表後に研究室ドアに掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション	講義	山本
2	1)	基本となる知識の整理(1)	演習	山本
3	1)	基本となる知識の整理(2)	演習	山本
4	1)	基本となる知識の整理(3)	演習	山本
5	1)	基本となる知識の整理(4)	演習	山本
6	3)	卒業研究中間発表会聴講	SGD	山本
7	2)3)	調査・発表・討論(1)	SGD	山本
8	2)3)	調査・発表・討論(2)	SGD	山本
9	2)3)	調査・発表・討論(3)	SGD	山本
10	2)3)	調査・発表・討論(4)	SGD	山本
11	2)3)	調査・発表・討論(5)	SGD	山本
12	2)3)	調査・発表・討論(6)	SGD	山本
13	2)3)	調査・発表・討論(7)	SGD	山本
14	2)3)	調査・発表・討論(8)	SGD	山本
15	2)3)	調査・発表・討論(9)	SGD	山本

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習Ⅱ**

担当者: 小川芳徳(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科3年

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: ヒトの“からだ”を取り上げ、健康づくり、体力づくりの重要性を理解することを目指します。“からだ”の力を測定する方法、その結果の解釈、そして対応策を導き出します。

到達目標: (SBOs) 1) 演習の目的、進め方、取り組み方について説明できる。
2) 研究テーマを提示できる。
3) 文献についての基本的な構成を理解し説明できる。
4) 文献を探索し、読み、まとめることができる。
5) 研究テーマに則した先行研究を調べ、整理し発表できる。
6) 体力の測定法を知り、測定ができる。
7) 測定結果をまとめ、その意味が理解できる。
8) 先行研究の結果と比較し、討議することができる。

評価方法: 学習への取り組み姿勢(授業態度、課題の実施、課題の提出)の総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき1時間の予習・復習を行うこと(土、日、祝日、長期休暇を用いて)。次回授業についての課題は必ず提出すること。

オフィスアワー: 12:30~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~8)	卒業研究の理解	演習	小川
2	3)	論文作成の基本①	演習	小川
3	3)	論文作成の基本②	演習	小川
4	3)~4)	研究テーマの確認	演習	小川
5	6)	研究の方法と実際①	演習	小川
6	6)	研究の方法と実際②	演習	小川
7	6)	研究の方法と実際③	演習	小川
8	7)	「調査・実験・測定」結果のまとめ方、整理の仕方①	演習	小川
9	7)	「調査・実験・測定」結果のまとめ方、整理の仕方②	演習	小川
10	7)	「調査・実験・測定」結果のまとめ方、整理の仕方③	演習	小川
11	7)	「調査・実験・測定」結果のまとめ方、整理の仕方④	演習	小川
12	1)	卒業研究の進め方①	演習	小川
13	1)	卒業研究の進め方②	演習	小川
14	8)	卒業研究発表会への参加	演習	小川
15	1)~8)	「卒業研究」の確認	演習	小川

教科書: 特に指定しない。

参考書: 特に指定しない。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習Ⅱ**

担当者: 正野 知基(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: SGD

授業概要: 人と運動・スポーツ・レクリエーションのかかわりを「健康」、「体力」そして「福祉」という視点から考察しながら、卒業論文作成のための基礎的能力の養成を目指す。スポーツ健康福祉学演習Ⅰから引き続き、各自の興味ある課題を設定・調査し、レジュメとしてまとめ発表・討論を行う。この活動を通して、卒業研究のテーマを探し、論文の書き方の基礎を学び、さらに調査・発表・討論の方法を修得する。

到達目標: 1) 課題を設定して調査を行い、調査した結果をレジュメとしてまとめ発表・討論することができる。
(SBOs) 2) メンバーの発表を聞き、疑問点を質問・討論することができる。

評価方法: 発表資料(50%)および討論への参加・取り組み状況(50%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: SGDへの積極的な参加を求める。発表者の話をしっかりと聞き、疑問点は積極的に質問する態度が求められる。また、教員からもさまざまな課題が与えられるため、真摯に対応すること。発表の準備をしっかりと行うことはもちろんであるが、討論で生じた疑問点の解決のためや次の発表につなげるため、復習を怠らないこと。予習復習は1コマ当たり4時間を目安とする。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日 12:30～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	調査・発表・討論(1)	SGD	正野
2	1)2)	調査・発表・討論(2)	SGD	正野
3	1)2)	調査・発表・討論(3)	SGD	正野
4	1)2)	調査・発表・討論(4)	SGD	正野
5	1)2)	調査・発表・討論(5)	SGD	正野
6	1)2)	調査・発表・討論(6)	SGD	正野
7	1)2)	調査・発表・討論(7)	SGD	正野
8	1)2)	調査・発表・討論(8)	SGD	正野
9	1)2)	調査・発表・討論(9)	SGD	正野
10	2)	卒業研究発表会聴講	SGD	正野
11	1)2)	調査・発表・討論(10)	SGD	正野
12	1)2)	調査・発表・討論(11)	SGD	正野
13	1)2)	調査・発表・討論(12)	SGD	正野
14	1)2)	調査・発表・討論(13)	SGD	正野
15	1)2)	調査・発表・討論(14)	SGD	正野

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習Ⅱ**

担当者: 松田 智香子(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 演習Ⅰで明確化されてきた疑問点や問題点について幅広い観点からの検討を加えていく。その中から各自、調査テーマを絞り込み、予備実験あるいは予備調査の実施を目標に作業を進めるなど、論文作成のための一連の流れを修得する。

到達目標: (SBOs)
1) 指導教員の指示や講座のルール等を順守することができる。
2) 関心のあるテーマについて先行研究等の文献を活用し調べることができる。
3) 管理している資料を総合的に分析し、自らの意見を他者とディスカッションができる。
4) 論文作成のための方法の基礎を理解できる。
5) 調べた内容を文章化し、それをを用いて自らの考えを他者に伝えることができる。

評価方法: 研究経過(60%)・プレゼンテーション(20%)・ディスカッション態度(20%)

準備学習・履修上の注意等: 毎時、研究テーマについて調べたことの発表を行い、その内容について受講生全員でディスカッションをする。ディスカッションにおいて指摘を受けた内容や、研究内容の発展について次時までには準備を行う必要があるため、1コマあたり1時間を目安に事前準備を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)5)	【研究テーマの検討】	演習	松田
2	1)2)3)4)5)	【論文作成の基本①】	演習	松田
3	1)2)3)4)5)	【論文作成の基本②】	演習	松田
4	1)2)3)4)5)	【研究テーマの再確認①】	演習	松田
5	1)2)3)4)5)	【研究テーマの再確認②】	演習	松田
6	1)2)3)4)5)	【研究の具体化①】	演習	松田
7	1)2)3)4)5)	【研究の具体化②】	演習	松田
8	1)2)3)4)5)	【研究の具体化③】	演習	松田
9	1)2)3)4)5)	【演習・実験・調査のまとめ方①】	演習	松田
10	1)2)3)4)5)	【演習・実験・調査のまとめ方②】	演習	松田
11	1)2)3)4)5)	【演習・実験・調査のまとめ方③】	演習	松田
12	1)2)3)4)5)	【卒業研究の進め方①】	演習	松田
13	1)2)3)4)5)	【卒業研究の進め方②】	演習	松田
14	1)2)3)4)5)	【卒業研究の進め方③】	演習	松田
15	1)2)3)4)5)	【まとめ】	演習	松田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習Ⅱ**

担当者: 川崎 順子(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 社会福祉に携わる援助者としてのあり方を探求しながら、実践現場の実際を学び、卒業研究に向けた知識と技術を習得する。多岐にわたる社会情勢の話題を基に、議論していきながら自己表現力、発表力を習得する。演習時間外に社会活動やボランティア活動に参加することにより、実践現場の理解と実践活動の展開方法を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)演習Ⅱの目的を理解し、相互学習に主体的に参加できる。
2)グループ討議において、自分の意見を持ち、発言することができる。
3)行事等の企画・立案ができる。
4)資料収集・調査などによりまとめることができる。
5)実践現場における基本的態度・援助者としてのあり方について説明できる。
6)関心のある研究領域を探索し、率先して研究に取り組むことができる。

評価方法: 課題・レポート30%・取り組み姿勢70%として総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり2時間の予習・復習を行うこと。社会情勢に関する新聞や文献などを熟読し、レポートにまとめる。授業時に課題提起し、議論できる準備を行う。関心のある領域に関する社会活動への参加を行い、その意義についてレポートをまとめる。

オフィスアワー: 時間割確定後研究室に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	6)	【卒業研究の理解】 卒業研究の意義を理解する	演習	川崎
2	1)6)	【論文作成の基本】 論文作成における基本事項を知る	演習	川崎
3	4)6)	【研究テーマの検討①】 研究領域・研究テーマの発表を行う	演習	川崎
4	4)6)	【研究テーマの検討②】 研究領域・研究テーマの再確認する	演習	川崎
5	6)	【研究の具体化①】 研究計画書を作成する	演習	川崎
6	6)	【研究の具体化②】 研究計画書を作成する	演習	川崎
7	6)	【研究の具体化③】 研究テーマに基づく文献学習・研究を行う	演習	川崎
8	6)	【研究の具体化④】 研究テーマに基づく文献学習・研究を行う	演習	川崎
9	6)	【研究の具体化⑤】 研究テーマに基づく文献学習・研究を行う	演習	川崎
10	1)2)6)	【研究の具体化⑥】 研究進捗状況を発表し討議する	演習	川崎
11	1)2)6)	【研究の具体化⑦】 研究の進捗状況を発表し討議する	演習	川崎
12	6)	【卒業研究の進め方①】 卒業研究の進め方・調査研究等の内容を検討する	演習	川崎
13	6)	【卒業研究の進め方②】 卒業研究の進め方・調査研究等の内容を検討する	演習	川崎
14	1)2)6)	【卒業研究発表会への参加】 4年生の卒業研究発表会へ参加する	演習	川崎
15	1)6)	【まとめ】 要点の整理を確認する	演習	川崎

教科書: 使用しない。

参考書: 必要時に提示する。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習Ⅱ**

担当者: 富田賢一 (福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科 鍼灸コース 3年

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 論文作成の構造を学び、書き方を理解する。
卒業研究のテーマを絞り、必要な文献の検索・収集を行いながら、自身の意見・考えをまとめる。実験研究を予定する者は、プロトコルの作成と実施可能な実験方法を検討・準備する。
演習を通して、事象をまとめる能力を身につける。

到達目標: (SBOs) 1)論文の特徴・特性について理解できる。
2)事象を比較することができる。
3)伝えたい内容を要約することができる。
4)必要な情報を効率よく収集することができる。
5)復習により、知識の定着させる。

評価方法: 筆記試験を実施する。

準備学習・履修上の注意等: 履修上の注意等 各自の研究に必要な資料はファイル等で整理し、必要な情報を取り出せるようにしておくこと。また講義で得た知識は必ず研究ノート等に記載し、記録する姿勢が求められる。1コマあたり1時間の予習復習時間を行うこと。予習復習では適宜配布された資料あるいは各自が収集した資料を読み返し、要点をまとめておくこと。なお予習復習時間の確保は講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1.5)	論文の特徴とは何か? /学習内容の復習と定着	演習	富田
2	1.5)	論文作成の注意事項 /学習内容の復習と定着	演習	富田
3	1.5)	論文の書き方1 /学習内容の復習と定着	演習	富田
4	1.5)	論文の書き方2 /学習内容の復習と定着	演習	富田
5	1.5)	論文の書き方3 /学習内容の復習と定着	演習	富田
6	2,3,5)	資料を探す /学習内容の復習と定着	演習	富田
7	2,3,5)	演習【測定してみる1】 /学習内容の復習と定着	演習	富田
8	2,3,5)	演習【測定してみる2】 /学習内容の復習と定着	演習	富田
9	2,3,5)	演習【データをまとめてみる1】 /学習内容の復習と定着	演習	富田
10	2,3,4,5)	演習【データをまとめてみる2】 /学習内容の復習と定着	演習	富田
11	2,3,4,5)	演習【まとめたデータを参考に考察する1】 /学習内容の復習と定着	演習	富田
12	2,3,4,5)	演習【まとめたデータを参考に考察する2】 /学習内容の復習と定着	演習	富田
13	2,3,4,5)	演習【まとめたデータを参考に考察する3】 /学習内容の復習と定着	演習	富田
14	2,3,4,5)	演習【まとめ】 /プロトコルの作成	演習	富田
15	2,3,4,5)	演習【まとめ】 /プロトコルの作成	演習	富田

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: **スポーツ健康福祉学演習Ⅱ**

担当者: 渡邊 一平(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸コース(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 論文作成の手順のうち、スポーツ健康福祉学演習Ⅰで学習した内容を基礎知識として、主に相手に的確に情報を伝える記述(プレゼンテーション技法)について修得する。

到達目標: (SBOs) 1)伝えたい内容を言語的に要約することができる。
2)伝えたい内容を図表で表現することができる。
3)プレゼンテーションソフトを駆使して、伝えたい内容を的確に表示できる。
4)聞き手の反応によって説明を付け加えたり、より分かりやすく話すことができる。

評価方法: 学習態度、ゼミでの発表内容などから総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 各自の研究に必要な資料はファイル等で整理し、必要な情報を取り出せるようにしておくこと。また講義で得た知識は必ず研究ノート等に記載し、記録する姿勢が求められる。1コマあたり1時間の予習復習時間を行うこと。予習復習では適宜配布された資料あるいは各自が収集した資料を読み返し、要点をまとめておくこと。なお予習復習時間の確保は講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。

オフィスアワー: 月曜から木曜の12時30分から1時00分までとする。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	短文を要約する。	演習	渡邊
2	1)	長文を要約する。	演習	渡邊
3	1)	解説文を要約する。	演習	渡邊
4	1)	論文を要約する。	演習	渡邊
5	1)	図表を作成する ー主に表の作成ー	演習	渡邊
6	1)	図表を作成する ー主にグラフの作成ー	演習	渡邊
7	2)	図表を作成する ー関係性の図の作成ー	演習	渡邊
8	2)	パワーポイントの使い方(1)	演習	渡邊
9	3)	パワーポイントの使い方(2)	演習	渡邊
10	3)	パワーポイントの使い方(3)	演習	渡邊
11	4)	パワーポイントの使い方(4)	演習	渡邊
12	4)	パワーポイントの使い方(5)	演習	渡邊
13	5)	プレゼンテーションの実際(1)	演習	渡邊
14	5)	プレゼンテーションの実際(2)	演習	渡邊
15	1)2)3)4)5)	プレゼンテーションの実際(3)	演習	渡邊

教科書: 講義時に配布する資料を使用する。

参考書: 各自の研究テーマにより、適宜指示する。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習Ⅱ**

担当者: 山本 順之(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: SGD

授業概要: 人と運動・スポーツ・レクリエーションのかかわりを「健康」、「体力」そして「福祉」という視点から考察しながら、卒業論文作成のための基礎的能力の養成を目指す。スポーツ健康福祉学演習Ⅰから引き続き、各自の興味ある課題を設定・調査し、レジュメとしてまとめ発表・討論を行う。この活動を通して、卒業研究のテーマを探し、論文の書き方の基礎を学び、さらに調査・発表・討論の方法を修得する。

到達目標: 1) 課題を設定して調査を行い、調査した結果をレジュメとしてまとめ発表・討論することができる。
(SBOs) 2) メンバーの発表を聞き、疑問点を質問・討論することができる。

評価方法: 発表資料(50%)および討論への参加・取り組み状況(50%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: SGDへの積極的な参加を求める。発表者の話をしっかりと聞き、疑問点は積極的に質問する態度が求められる。また、教員からもさまざまな課題が与えられるため、真摯に対応すること。発表の準備をしっかりと行うことはもちろんであるが、討論で生じた疑問点の解決のためや次の発表につなげるため、復習を怠らないこと。予習復習は1コマ当たり4時間を目安とする。

オフィスアワー: 時間割発表後に研究室ドアに掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	調査・発表・討論(1)	SGD	山本
2	1)2)	調査・発表・討論(2)	SGD	山本
3	1)2)	調査・発表・討論(3)	SGD	山本
4	1)2)	調査・発表・討論(4)	SGD	山本
5	1)2)	調査・発表・討論(5)	SGD	山本
6	1)2)	調査・発表・討論(6)	SGD	山本
7	1)2)	調査・発表・討論(7)	SGD	山本
8	1)2)	調査・発表・討論(8)	SGD	山本
9	1)2)	調査・発表・討論(9)	SGD	山本
10	2)	卒業研究発表会聴講	SGD	山本
11	1)2)	調査・発表・討論(10)	SGD	山本
12	1)2)	調査・発表・討論(11)	SGD	山本
13	1)2)	調査・発表・討論(12)	SGD	山本
14	1)2)	調査・発表・討論(13)	SGD	山本
15	1)2)	調査・発表・討論(14)	SGD	山本

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習Ⅲ**

担当者: 小川 芳徳 (福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科4年

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: ヒトの“からだ”を取り上げ、健康づくり、体力づくりの重要性を理解することを目指します。“からだ”の力を測定する方法、その結果の解釈、そして対応策を導き出します。

到達目標 (SBOs):
1)演習の目的、進め方、取り組み方について説明できる。
2)研究テーマを提示できる。
3)研究テーマに沿った情報の収集ができる。
4)研究テーマに則した方法を選び実行できる。
5)測定結果をまとめ、その意味が理解できる。
6)先行研究の結果と比較し、討議することができる。
7)論文を作成し、推敲し、発表することができる。

評価方法: 学習への取り組み姿勢(授業態度、課題の実施、課題の提出)の総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき1時間の予習・復習を行うこと(土、日、祝日、長期休暇を用いて)。次回授業についての課題は必ず提出すること。

オフィスアワー: 12:30~13:00(会議などを除く)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション	演習	小川
2	1)	研究の進め方①	演習	小川
3	1)2)	研究の進め方②	演習	小川
4	2)	研究テーマに沿った情報収集の実施①	演習	小川
5	2)3)	研究テーマに沿った情報収集の実施②	演習	小川
6	2)3)	研究テーマに沿った情報収集の実施③	演習	小川
7	3)4)	研究テーマに沿った情報収集の実施④	演習	小川
8	4)	測定・実験・調査の実施①	演習	小川
9	4)	測定・実験・調査の実施②	演習	小川
10	4)	測定・実験・調査の実施③	演習	小川
11	4)	測定・実験・調査の実施④	演習	小川
12	5)	測定・実験・調査の結果をまとめる①	演習	小川
13	5)	測定・実験・調査の結果をまとめる②	演習	小川
14	5)	測定・実験・調査の結果をまとめる③	演習	小川
15	5)	測定・実験・調査の結果をまとめる④	演習	小川

教科書: 指定しない。その都度紹介する。

参考書: 指定しない。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習Ⅲ**

担当者: 正野 知基(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: SGD

授業概要: スポーツ健康福祉学演習Ⅰ・Ⅱを踏まえ、各自の研究テーマを絞り込み、卒業研究と関連した各自の課題研究の発表・討論を行う。この発表・討論を通して、各自の研究を深化させていく。卒業研究執筆時には、卒業研究Ⅰの時間と連動させ、執筆した章毎にそれぞれが発表し、ゼミ生全員で内容の確認、誤字脱字の修正などを行い、情報を共有しながら卒業論文の完成を目指す。

到達目標: (SBOs) 1) 卒業研究・論文とは何かを理解し、説明できる。
2) 研究目的を明確にし、研究計画を立てることができる。
3) 設定した課題について研究計画に基づき調査を行い、調査した結果を文章にまとめ、発表・討論することができる。
4) メンバーの発表を聞き、疑問点を質問・討論することができる。

評価方法: 発表資料(50%)および討論への参加・取り組み状況(50%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: SGDへの積極的な参加を求める。発表者の話をしっかりと聞き、疑問点は積極的に質問する態度が求められる。また、教員からもさまざまな課題が与えられるため、真摯に対応すること。発表の準備をしっかりと行うことはもちろんであるが、討論で生じた疑問点の解決のためや次の発表につなげるため、復習を怠らないこと。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日 12:30～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション	講義	正野
2	2)4)	卒業研究 目的(緒言)・方法・目次(1)	SGD	正野
3	2)4)	卒業研究 目的(緒言)・方法・目次(2)	SGD	正野
4	2)4)	卒業研究 目的(緒言)・方法・目次(3)	SGD	正野
5	2)4)	卒業研究 目的(緒言)・方法・目次(4)	SGD	正野
6	3)4)	卒業研究中間発表会	SGD	正野
7	2)4)	卒業研究中間発表見直し	SGD	正野
8	3)4)	卒業研究発表・討論(1)	SGD	正野
9	3)4)	卒業研究発表・討論(2)	SGD	正野
10	3)4)	卒業研究発表・討論(3)	SGD	正野
11	3)4)	卒業研究発表・討論(4)	SGD	正野
12	3)4)	卒業研究発表・討論(5)	SGD	正野
13	3)4)	卒業研究発表・討論(6)	SGD	正野
14	3)4)	卒業研究発表・討論(7)	SGD	正野
15	3)4)	卒業研究発表・討論(8)	SGD	正野

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習Ⅲ**

担当者: 松田 智香子(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 演習Ⅰ、Ⅱで明確化されてきた疑問点や問題点について幅広い観点からの検討を加えていく。その中から調査テーマを絞り込み、予備実験あるいは予備調査の実施を目標に作業を進めるなど、論文作成のための一連の流れを修得する。

到達目標: (SBOs)
1) 関心のあるテーマについて先行研究等の文献を活用し調べることができる。
2) 管理している資料を総合的に分析し、客観的に他者とディスカッションができる。
3) 論文作成のための方法の基礎を理解し、理論的な文章にまとめることができる。
4) 調べた内容を文章化し、それをを用いて自らの考えを他者に伝えることができる。
5) 研究の実施にあたり、法令や倫理規定など配慮すべき事項を説明できる。

評価方法: 研究経過(60%)・プレゼンテーション(20%)・ディスカッション態度(20%)

準備学習・履修上の注意等: 毎時、研究テーマについて調べたことの発表を行い、その内容についてディスカッションをする。ディスカッションにおいて指摘を受けた項目や、研究内容の発展について次時までには準備を行う必要があるため、1コマあたり1時間を目安に事前準備を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)5)	【オリエンテーション】	講義・演習	松田
2	1)2)3)4)5)	【演習Ⅰで行った成果を発展させ、研究テーマの再確認①】	演習	松田
3	1)2)3)4)5)	【演習Ⅰで行った成果を発展させ、研究テーマの再確認①】	演習	松田
4	1)2)3)4)5)	【研究テーマを確定とそれに沿った演習・実験・調査・情報収集の実施①】	演習	松田
5	1)2)3)4)5)	【研究テーマを確定とそれに沿った演習・実験・調査・情報収集の実施②】	演習	松田
6	1)2)3)4)5)	【研究テーマを確定とそれに沿った演習・実験・調査・情報収集の実施③】	演習	松田
7	1)2)3)4)5)	【演習・実験・調査・情報収集の方法とその計画①】	演習	松田
8	1)2)3)4)5)	【演習・実験・調査・情報収集の方法とその計画②】	演習	松田
9	1)2)3)4)5)	【演習・実験・調査・情報収集の方法とその計画③】	演習	松田
10	1)2)3)4)5)	【演習・実験・調査・情報収集の実施①】	演習	松田
11	1)2)3)4)5)	【演習・実験・調査・情報収集の実施②】	演習	松田
12	1)2)3)4)5)	【演習・実験・調査・情報収集の実施③】	演習	松田
13	1)2)3)4)5)	【演習・実験・調査・情報収集のまとめ①】	演習	松田
14	1)2)3)4)5)	【演習・実験・調査・情報収集のまとめ②】	演習	松田
15	1)2)3)4)5)	【演習・実験・調査・情報収集のまとめ③】	演習	松田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習Ⅲ**

担当者: 川崎 順子(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: スポーツ健康福祉学演習Ⅲでは、演習Ⅰ・Ⅱを基礎としながら、各自で研究するテーマに基づく、研究の調査・分析方法を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)演習Ⅲの目的を理解し、相互学習に主体的に参加できる。
2)関心のある研究領域を探索し、率先して研究に取り組むことができる。
3)グループ討議において、自分の意見を持ち、発言することができる。
4)調査・文献研究等の情報収集が適切にできる。
5)資料収集・調査などをまとめ、分析することができる。
6)調査・研究で取り組んだ内容をまとめ、発表することができる。

評価方法: 課題・レポート50%・取り組み姿勢50%などにより総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり1時間の予習・復習を行う。具体的には、研究テーマに沿った現地調査の準備や調査実施、調査結果集計などのデータ整理・分析等に取り組む。また、関連する社会活動へ参加し、レポートを作成する。さらに、添削指導に基づき、計画的に執筆作業を進める。

オフィスアワー: 担当教員に確認のこと。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 演習Ⅲの目的・進め方・取り組み方を理解する	演習	川崎
2	1)2)	【研究の進め方①】 演習Ⅱにおける研究テーマの再確認を行う	演習	川崎
3	1)2)3)6)	【研究の進め方②】 研究テーマの発表を行う	演習	川崎
4	2)	【研究テーマに沿った演習・実験・調査・情報収集の実施①】 研究テーマを確定する	演習	川崎
5	2)4)	【研究テーマに沿った演習・実験・調査・情報収集の実施②】 研究テーマに関する先行研究の収集・整理・まとめを行う	演習	川崎
6	2)3)4)	【研究テーマに沿った演習・実験・調査・情報収集の実施③】 研究テーマに関する先行研究の収集・整理・まとめ・討議を行う	演習	川崎
7	4)	【演習・調査・情報収集の方法とその計画①】 研究テーマに沿った演習・調査の方法を知る	演習	川崎
8	4)	【演習・調査・情報収集の方法とその計画②】 研究テーマに沿った演習・調査の準備をする	演習	川崎
9	6)	【中間発表】 演習・調査・情報収集等についての計画発表を行う	演習	川崎
10	4)	【演習・調査・情報収集の実施①】 演習・調査を実施する	演習	川崎
11	4)	【演習・実験・調査・情報収集の実施②】 演習・調査を実施する	演習	川崎
12	4)	【演習・実験・調査・情報収集の実施③】 演習・調査を実施する	演習	川崎
13	4)5)	【演習・実験・調査・情報収集のまとめ①】 演習・調査・文献収集結果のまとめを行う	演習	川崎
14	4)5)	【演習・実験・調査・情報収集のまとめ②】 演習・調査・文献収集結果のまとめを行う	演習	川崎
15	2)6)	【研究の進捗状況の確認】 研究テーマ、目的、方法、結果の進捗状況を確認する	演習	川崎

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習Ⅲ**

担当者: 富田賢一(スポーツ健康福祉学科)

配当学科: スポーツ健康福祉学科4年(健康鍼灸C)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: これまで学習した基礎科目の復習を行い、鍼灸師に必要な知識の定着を図る。特に、1年生から3年生までに修得した科目について再度学習し、鍼灸臨床に耐えうる理解力の根幹となる基礎知識を身につけることを目的とする。

到達目標: (SBOs) 1)鍼灸師として基本的な医学の考え方ができる
2)鍼灸師に必要な解剖・生理の知識を身につける。
3)鍼灸師に必要な東洋医学の知識を身につける。
4)基礎知識を臨床医学系の知識とむすびつけることができる。

評価方法: 定期試験(筆記)を中心に、提出物、授業態度を加味して総合的に判断する。

準備学習・履修上の注意等: これまで学習した内容について自宅学習を行い、知識の定着をはかることが求められる。現在の自分の課題をみつけ、積極的に解決する姿勢が重要となる。特に基礎知識については国家試験問題を学習することが必須となる。

オフィスアワー: 後日連絡する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1,2,3,4	オリエンテーション	演習	富田
2	1,2,3,4	鍼灸師になるために(1) 基礎科目 解剖・生理	演習	富田
3	1,2,3,4	鍼灸師になるために(2) 基礎科目 解剖・生理	演習	富田
4	1,2,3,4	鍼灸師になるために(3) 基礎科目 解剖・生理	演習	富田
5	1,2,3,4	鍼灸師になるために(4) 基礎科目 解剖・生理	演習	富田
6	1,2,3,4	鍼灸師になるために(5) 東洋基礎科目 東洋医学概論・経穴概論	演習	富田
7	1,2,3,4	鍼灸師になるために(6) 東洋基礎科目 東洋医学概論・経穴概論	演習	富田
8	1,2,3,4	鍼灸師になるために(7) 東洋基礎科目 東洋医学概論・経穴概論	演習	富田
9	1,2,3,4	鍼灸師になるために(8) 東洋基礎科目 東洋医学概論・経穴概論	演習	富田
10	1,2,3,4	鍼灸師になるために(9) 東洋基礎科目 東洋医学概論・経穴概論	演習	富田
11	1,2,3,4	鍼灸師になるために(10) 東洋基礎科目 東洋医学概論・経穴概論	演習	富田
12	1,2,3,4	鍼灸師になるために(11) 臨床科目 臨床医学各論・総論・病理学	演習	富田
13	1,2,3,4	鍼灸師になるために(12) 臨床科目 臨床医学各論・総論・病理学	演習	富田
14	1,2,3,4	鍼灸師になるために(13) 臨床科目 臨床医学各論・総論・病理学	演習	富田
15	1,2,3,4	鍼灸師になるために(14) 臨床科目 臨床医学各論・総論・病理学	演習	富田

教科書: 特になし

参考書: 特になし

科目名: **スポーツ健康福祉学演習Ⅲ**

担当者: 渡邊 一平(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 本科目は、1～3年生で学んだ基礎医学、臨床医学に関する具体的な問題を解くことを繰り返し行う。このことにより、基礎医学と臨床医学(東洋医学を含む)の知識の整理、再確認を行い、双方の関連性について理解する。最終的には、総合鍼灸臨床における基礎固めを行うことが目標である。

到達目標: 1)鍼灸師に必要な基礎医学の内容が説明できる。
(SBOs) 2)鍼灸師に必要な臨床医学の内容が説明できる。
3)総合的な鍼灸臨床を展開するための基礎知識の再確認、再構築ができる。

評価方法: 受講態度10%、試験90%として総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 本講義は、鍼灸健康福祉コースを選択した学生は必須科目である。講義に積極的な参加を求めため、予習および復習は必須である。講義終了後には1コマあたり4時間を目安に予習復習を行うこと。その際、学習した箇所の配布資料を読み返し、講義の要点と疑問点を整理・記載しておくこと。なお予習復習時間の確保は講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。

オフィスアワー: 月曜から木曜の12時30分から1時00分。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1、3)	鍼灸治療に必要な基礎医学1	演習	渡邊
2	1、3)	鍼灸治療に必要な基礎医学2	演習	渡邊
3	1、3)	鍼灸治療に必要な基礎医学3	演習	渡邊
4	1、3)	鍼灸治療に必要な基礎医学4	演習	渡邊
5	1、3)	鍼灸治療に必要な基礎医学5	演習	渡邊
6	1、3)	鍼灸治療に必要な基礎医学6	演習	渡邊
7	1、3)	鍼灸治療に必要な基礎医学7	演習	渡邊
8	1、3)	鍼灸治療に必要な基礎医学8	演習	渡邊
9	2、3)	鍼灸治療に必要な臨床医学1	演習	渡邊
10	2、3)	鍼灸治療に必要な臨床医学2	演習	渡邊
11	2、3)	鍼灸治療に必要な臨床医学3	演習	渡邊
12	2、3)	鍼灸治療に必要な臨床医学4	演習	渡邊
13	2、3)	鍼灸領域に必要な臨床医学5	演習	渡邊
14	2、3)	鍼灸領域に必要な臨床医学6	演習	渡邊
15	2、3)	鍼灸領域に必要な臨床医学7	演習	渡邊

教科書: 指定しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習Ⅲ**

担当者: 山本 順之(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 社会福祉、スポーツに関する専門知識及び技術を習得し豊かな人間性を滋養するため、対人援助技術、健康、体力、スポーツ、レクリエーション、社会福祉などをキーワードにした研究の実際を学び修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 専門的な文章読解、および文章構成ができる。
2) ロジカル、論理的な思考ができる。
3) テーマに基づいた関連情報の蒐集ができる。
4) 自らの興味、関心に基づいた知識を得ることができる。
5) 自らの興味、関心に基づいた知識、論理的に説明することができる。

評価方法: 各演習におけるレポート、及びプレゼンテーション(100%)

準備学習・履修上の注意等: 数名の少人数で行う。1コマあたり4時間を目安に予習・復習する。設定された各テーマ関連する課題を提出する。

オフィスアワー: 時間割発表後に研究室ドアに掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	【専門的知識とその文章①】 専門領域における文献、資料を読み、その要約を行なう。	演習	山本
2	1)2)	【専門的知識とその文章②】 専門領域における文献、資料を読み、その要約を行なう。	演習	山本
3	1)2)	【専門的知識とその文章③】 専門領域における文献、資料を読み、その要約を行なう。	演習	山本
4	2)	【研究の進め方①】 演習Ⅰで行った成果を発展させ、研究テーマの再確認をする。	演習	山本
5	2)	【研究の進め方②】 研究テーマを発表する。	演習	山本
6	1)2)3)4)5)	【研究の具体化①】 演習Ⅰで学んだ「文献、調査研究」等の研究手法を用いて、研究を実践する。	演習	山本
7	1)2)3)4)5)	【研究の具体化②】 演習Ⅰで学んだ「文献、調査研究」等の研究手法を用いて、研究を実践する。	演習	山本
8	1)2)3)4)5)	【研究の具体化③】 演習Ⅰで学んだ「文献、調査研究」等の研究手法を用いて、研究を実践する。	演習	山本
9	1)2)3)4)5)	【研究の具体化④】 演習Ⅰで学んだ「文献、調査研究」等の研究手法を用いて、研究を実践する。	演習	山本
10	1)2)3)4)5)	【中間発表】 これまで得た調査・課題・知識等から研究テーマの再確認をする。	演習	山本
11	1)2)3)4)5)	【調査・文献研究のまとめ方①】 調査・文献、資料等で得た結果をまとめる。	演習	山本
12	1)2)3)4)5)	【調査・文献研究のまとめ方②】 調査・文献、資料等で得た結果をまとめる。	演習	山本
13	1)2)3)4)5)	【調査・文献研究のまとめ方③】 調査・文献、資料等で得た結果をまとめ、考察を行なう。	演習	山本
14	1)2)3)4)5)	【調査・文献研究のまとめ方④】 調査・文献、資料等で得た結果をまとめ、考察を行なう。	演習	山本
15	1)2)3)4)5)	【調査・文献研究のまとめ方⑤】 調査・文献、資料等で得た結果をまとめ、考察を行なう。	演習	山本

教科書: 使用しない。

参考書： 必要に応じて資料を配布する。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習Ⅳ**

担当者: 小川 芳徳 (福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科4年

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: ヒトの“からだ”を取り上げ、健康づくり、体力づくりの重要性を理解することを目指します。“からだ”の力を測定する方法、その結果の解釈、そして対応策を導き出します。

到達目標 (SBOs):

- 1)演習の目的、進め方、取り組み方について説明できる。
- 2)研究テーマを提示できる。
- 3)研究テーマに沿った情報の収集ができる。
- 4)研究テーマに則した方法を選び実行できる。
- 5)測定結果をまとめ、その意味が理解できる。
- 6)先行研究の結果と比較し、討議することができる。
- 7)論文を作成し、推敲し、発表することができる。

評価方法: 学習への取り組み姿勢(授業態度、課題の実施、課題の提出)の総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき1時間の予習・復習を行うこと(土、日、祝日、長期休暇を用いて)。次回授業についての課題は必ず提出すること。

オフィスアワー: 12:30~13:00(会議などを除く)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	研究の進捗状況の確認	演習	小川
2	5)	研究テーマの発表①	演習	小川
3	6)	研究テーマの発表②	演習	小川
4	6)	研究テーマの発表③	演習	小川
5	7)	研究論文の作成①	演習	小川
6	7)	研究論文の作成②	演習	小川
7	7)	研究論文の作成③	演習	小川
8	7)	研究論文の作成④	演習	小川
9	7)	研究論文の作成⑤	演習	小川
10	7)	研究論文の推敲①	演習	小川
11	7)	研究論文の推敲②	演習	小川
12	7)	研究論文の推敲③	演習	小川
13	6)	研究発表①	演習	小川
14	6)	研究発表②	演習	小川
15	1)~7)	まとめ	演習	小川

教科書: 指定しない。

参考書: 指定しない。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習Ⅳ**

担当者: 正野 知基(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: SGD

授業概要: スポーツ健康福祉学演習Ⅲ・卒業研究Ⅰを踏まえ、各自の研究課題についての発表・討論を行う。この発表・討論を通して、各自の研究を深化させていく。卒業研究Ⅱの時間と連動させ、執筆した章毎にそれぞれが発表し、ゼミ生全員で内容の確認、誤字脱字の修正などを行い、情報を共有しながら卒業論文の完成を目指す。

到達目標: (SBOs) 1) 設定した課題について研究計画に基づき調査を行い、調査した結果を文章にまとめ、発表・討論することができる。
2) メンバーの発表を聞き、疑問点を質問・討論することができる。
3) パワーポイントを使用してのプレゼンテーションが行える。
4) 研究した内容を要約し、抄録にまとめることができる。

評価方法: 発表資料(50%)および討論への参加・取り組み状況(50%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: SGDへの積極的な参加を求める。発表者の話をしっかりと聞き、疑問点は積極的に質問する態度が求められる。また、教員からもさまざまな課題が与えられるため、真摯に対応すること。発表の準備をしっかりと行うことはもちろんであるが、討論で生じた疑問点の解決のためや次の発表につなげるため、復習を怠らないこと。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日 12:30～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	卒業研究発表・討論(1)	講義	正野
2	1)2)	卒業研究発表・討論(2)	SGD	正野
3	1)2)	卒業研究発表・討論(3)	SGD	正野
4	1)2)	卒業研究発表・討論(4)	SGD	正野
5	1)2)	卒業研究発表・討論(5)	SGD	正野
6	1)2)	卒業研究発表・討論(6)	SGD	正野
7	1)2)	卒業研究発表・討論(7)	SGD	正野
8	1)2)	卒業研究発表・討論(8)	SGD	正野
9	1)2)	卒業研究発表・討論(9)	SGD	正野
10	1)2)3)	卒業研究発表会	SGD	正野
11	2)4)	卒業研究抄録発表・討論(1)	SGD	正野
12	2)4)	卒業研究抄録発表・討論(2)	SGD	正野
13	2)4)	卒業研究抄録発表・討論(3)	SGD	正野
14	2)4)	卒業研究抄録発表・討論(4)	SGD	正野
15	2)	卒業研究総括	SGD	正野

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習Ⅳ**

担当者: 松田 智香子(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 演習Ⅲで明確化されてきた疑問点や問題点について幅広い観点からの検討を加えていく。その中から各自、調査テーマを絞り込み、予備実験あるいは予備調査の実施を目標に作業を進めるなど、論文作成のための一連の流れを修得する。

到達目標: (SBOs)
1) 関心のあるテーマについて先行研究等の文献を活用し調べることができる。
2) 研究の実施にあたり、法令や倫理規定など配慮すべき事項を説明できる。
3) 管理している資料を総合的に分析し、客観的に他者とディスカッションができる。
4) 論文作成のための基礎的方法を理解できる。
5) 調べた内容を文章化し、それをを用いて自らの考えを他者に伝えることができる。

評価方法: 研究経過(60%)・プレゼンテーション(20%)・ディスカッション態度(20%)

準備学習・履修上の注意等: 毎時、研究テーマについて調べたことの発表を行い、その内容についてディスカッションをする。ディスカッションにおいて指摘を受けた内容や、研究内容の発展について次時までには準備を行う必要があるため、1コマあたり1時間を目安に事前準備を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)5)	【研究の進捗状況の確認】	演習	松田
2	1)2)3)4)5)	【各自の研究について発表し、考察を含めた討論①】	演習	松田
3	1)2)3)4)5)	【各自の研究について発表し、考察を含めた討論②】	演習	松田
4	1)2)3)4)5)	【各自の研究について発表し、考察を含めた討論③】	演習	松田
5	1)2)3)4)5)	【各自の研究について発表し、考察を含めた討論④】	演習	松田
6	1)2)3)4)5)	【各自の研究について発表し、考察を含めた討論⑤】	演習	松田
7	1)2)3)4)5)	【各自の研究について発表し、考察を含めた討論⑥】	演習	松田
8	1)2)3)4)5)	【各自の研究について発表し、考察を含めた討論⑦】	演習	松田
9	1)2)3)4)5)	【各自の研究について発表し、考察を含めた討論⑧】	演習	松田
10	1)2)3)4)5)	【研究論文の推敲①】	演習	松田
11	1)2)3)4)5)	【研究論文の推敲②】	演習	松田
12	1)2)3)4)5)	【研究論文の推敲③】	演習	松田
13	1)2)3)4)5)	【研究論文の推敲④】	演習	松田
14	1)2)3)4)5)	【研究論文の推敲⑤】	演習	松田
15	1)2)3)4)5)	【研究論文の推敲⑥】	演習	松田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習Ⅳ**

担当者: 川崎 順子(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: スポーツ健康福祉学演習Ⅳでは、演習Ⅲを基礎としながら、各自で研究するテーマに基づく、研究の調査・分析方法を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)演習Ⅳの目的を理解し、相互学習に主体的に参加できる。
2)関心のある研究領域を探索し、率先して研究に取り組むことができる。
3)グループ討議において、自分の意見を持ち、発言することができる。
4)調査・文献研究等の情報収集が適切にできる。
5)資料収集・調査などをまとめ、分析することができる。
6)調査・研究で取り組んだ内容をまとめ、発表することができる。

評価方法: 課題・レポート50%・取り組み姿勢50%などにより総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり1時間の予習・復習を行う。具体的には、研究テーマに沿った現地調査の準備や調査実施、調査結果集計などのデータ整理・分析等に取り組む。また、関連する社会活動へ参加し、レポートを作成する。さらに、添削指導に基づき、計画的に執筆作業を進める。

オフィスアワー: 担当教員に確認のこと。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)6)	【オリエンテーション】 演習Ⅳの目的・進め方・取り組み方を理解する	演習	川崎
2	3)6)	【研究の進捗状況の確認】 研究テーマ、目的、方法、結果の進捗状況を確認する	演習	川崎
3	1)2)3)6)	【各自の研究テーマの発表と課題①】 各自の研究の発表と討論を行う	演習	川崎
4	1)2)3)6)	【各自の研究テーマの発表と課題②】 各自の研究の発表と討論を行う	演習	川崎
5	4)5)	【各自の研究テーマの発表と課題③】 各自の研究の発表と討論を行う	演習	川崎
6	4)5)	【研究論文の作成①】 論文の執筆を開始する	演習	川崎
7	4)5)	【研究論文の作成②】 論文作成を行う	演習	川崎
8	4)5)	【研究論文の作成③】 論文作成を行う	演習	川崎
9	3)5)	【研究論文の作成④】 論文作成を行う	演習	川崎
10	3)5)	【研究論文の作成⑤】 論文作成を行う	演習	川崎
11	3)5)	【研究論文の推敲①】 論文の推敲、指導教員の指導を受ける	演習	川崎
12	3)5)	【研究論文の推敲②】 論文の推敲、指導教員の指導を受ける	演習	川崎
13	6)	【研究論文の推敲③】 論文の推敲、指導教員の指導を受ける	演習	川崎
14	6)	【研究発表の仕方①】 研究発表の準備を行う	演習	川崎
15	5)6)	【研究発表の仕方②】 研究発表の準備を行う	演習	川崎
		【まとめ】 要点の整理を確認する		

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習Ⅳ**

担当者: 富田賢一(スポーツ健康福祉学科)

配当学科: スポーツ健康福祉学科 4年(健康鍼灸C)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 鍼灸師になるために必要な知識を総合的に習得する。これまで大学で学んだ鍼灸分野の知識について、国家試験を参考に学習し、応用力や理解力を深める。特に国家試験受験に向けた苦手科目の克服を目標に繰り返し演習を行いながら、学生の要望に柔軟に対応していく。

到達目標: (SBOs) 1)学習の基礎となる読解力を身に着ける。
2)これまでに得た知識を深める事ができる。
3)鍼灸師として臨床に役立つ知識を定着させる。

評価方法: 定期試験を中心に、授業態度を加味する。

準備学習・履修上の注意等: これまで学習した内容について自宅学習を行い、知識の定着をはかることが求められる。現在の自分の課題をみつけ、積極的に解決する姿勢が重要となる。

オフィスアワー: 後日連絡する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1,2,3	鍼灸師に必要な情報の理解(1) 基礎科目	演習	富田
2	1,2,3	鍼灸師に必要な情報の理解(2) 基礎科目	演習	富田
3	1,2,3	鍼灸師に必要な情報の理解(3) 基礎科目	演習	富田
4	1,2,3	鍼灸師に必要な情報の理解(4) 臨床科目	演習	富田
5	1,2,3	鍼灸師に必要な情報の理解(5) 臨床科目	演習	富田
6	1,2,3	鍼灸師に必要な情報の理解(6) 臨床科目	演習	富田
7	1,2,3	鍼灸師に必要な情報の理解(7) 臨床科目	演習	富田
8	1,2,3	鍼灸師に必要な情報の理解(8) 臨床科目	演習	富田
9	1,2,3	知識定着と実践(1) 東洋医学系科目	演習	富田
10	1,2,3	知識定着と実践(2) 東洋医学系科目	演習	富田
11	1,2,3	知識定着と実践(3) 東洋医学系科目	演習	富田
12	1,2,3	知識定着と実践(4) 東洋医学系科目	演習	富田
13	1,2,3	総合演習(1)	演習	富田
14	1,2,3	総合演習(2)	演習	富田
15	1,2,3	理解度の確認	演習	富田

教科書: 特になし

参考書: 特になし

科目名: **スポーツ健康福祉学演習Ⅳ**

担当者: 渡邊 一平(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(鍼灸健康福祉コース4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 本科目は、1～3年生で学んだ基礎医学、臨床医学に関する具体的な問題を解くことを繰り返し行う。このことにより、基礎医学と臨床医学(東洋医学を含む)の知識の整理、再確認を行い、双方の関連性について理解する。最終的には、総合鍼灸臨床における基礎固めを行うことが目標である。

到達目標: 1)鍼灸師に必要な東洋医学の内容が説明できる。
(SBOs) 2)基礎医学、臨床医学、東洋医学の関連性について総合的に説明できる。

評価方法: 受講態度10%、試験90%とし、総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 本講義は、鍼灸健康福祉コースを選択した学生は必須科目である。講義に積極的な参加を求めるため、質疑応答を頻繁に行う。各自が自らの力で考え、発言する姿勢が求められる。講義終了後には1コマあたり4時間を目安に予習復習を行うこと。その際、学習した箇所の配布資料を読み返し、講義の要点と疑問点を整理・記載しておくこと。なお予習復習時間の確保は講義前後だけでなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。

オフィスアワー: 月曜から木曜の12時30分から13時00分。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1、2)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学1	演習	渡邊
2	1、2)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学2	演習	渡邊
3	1、2)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学3	演習	渡邊
4	1、2)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学4	演習	渡邊
5	1、2)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学5	演習	渡邊
6	1、2)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学6	演習	渡邊
7	2、2)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学7	演習	渡邊
8	1、2)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学8	演習	渡邊
9	1、2)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学9	演習	渡邊
10	1、2)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学10	演習	渡邊
11	1、2)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学11	演習	渡邊
12	1、2)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学12	演習	渡邊
13	1、2)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学13	演習	渡邊
14	1、2)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学14	演習	渡邊
15	1、2)	鍼灸治療の基礎を成す基礎医学、臨床医学、東洋医学15	演習	渡邊

教科書: 特に指定はしない。

参考書: 使用しない。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習Ⅳ**

担当者: 山本 順之(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 社会福祉、スポーツに関する専門知識及び技術を習得し豊かな人間性を滋養するため、対人援助技術、健康、体力、スポーツ、レクリエーション、社会福祉などをキーワードにした研究の実際を学び修得する。

到達目標: 1) 専門的な文章読解、および文章構成ができる。
(SBOs) 2) ロジカル、論理的な思考ができる。
3) テーマに基づいた関連情報の蒐集ができる。
4) 自らの興味、関心に基づいた知識を得ることができる。
5) 自らの興味、関心に基づいた知識、論理的に説明することができる。

評価方法: 各演習におけるレポート、及びプレゼンテーション(100%)

準備学習・履修上の注意等: 数名の少人数で行う。1コマあたり4時間を目安に予習・復習する。設定された各テーマ関連する課題を提出する。

オフィスアワー: 時間割発表後に研究室ドアに掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)5)	【研究の進捗状況の確認】 前期にて行なった研究テーマ、目的、方法、結果、考察についての進捗を確認する。	演習	山本
2	1)2)3)4)5)	【各自の研究テーマの発表と課題①】 各自の研究について発表し、考察を含めた討論を行う。	演習	山本
3	1)2)3)4)5)	【各自の研究テーマの発表と課題②】 各自の研究について発表し、考察を含めた討論を行う。	演習	山本
4	1)2)3)4)5)	【各自の研究テーマの発表と課題③】 各自の研究について発表し、考察を含めた討論を行う。	演習	山本
5	1)2)3)4)5)	【研究論文の作成①】 論文の書き方を理解し、執筆を開始する。	演習	山本
6	1)2)3)4)5)	【研究論文の作成②】 論文を作成する。	演習	山本
7	1)2)3)4)5)	【研究論文の作成③】 論文を作成する。	演習	山本
8	1)2)3)4)5)	【研究論文の作成④】 論文を作成する。	演習	山本
9	1)2)3)4)5)	【研究論文の作成⑤】 論文を作成する。	演習	山本
10	1)2)3)4)5)	【研究論文の推敲①】 論文の推敲を行う。指導教員の指導を受ける。	演習	山本
11	1)2)3)4)5)	【研究論文の推敲②】 論文の推敲を行う。指導教員の指導を受ける。	演習	山本
12	1)2)3)4)5)	【研究論文の推敲③】 論文の推敲を行う。指導教員の指導を受ける。	演習	山本
13	1)2)3)4)5)	【研究発表の仕方①】 研究発表の手順を学ぶ。	演習	山本
14	1)2)3)4)5)	【研究発表の仕方②】 研究発表の手順を学ぶ。	演習	山本
15	1)2)3)4)5)	【まとめ】 要点の整理と確認を行う。	演習	山本

教科書: 使用しない。

参考書： 必要に応じて資料を配布する。

科目名: **スポーツ健康福祉学演習Ⅳ**

担当者: 正野 知基(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: SGD

授業概要: スポーツ健康福祉学演習Ⅲ・卒業研究Ⅰを踏まえ、各自の研究課題についての発表・討論を行う。この発表・討論を通して、各自の研究を深化させていく。卒業研究Ⅱの時間と連動させ、執筆した章毎にそれぞれが発表し、ゼミ生全員で内容の確認、誤字脱字の修正などを行い、情報を共有しながら卒業論文の完成を目指す。

到達目標: (SBOs) 1) 設定した課題について研究計画に基づき調査を行い、調査した結果を文章にまとめ、発表・討論することができる。
2) メンバーの発表を聞き、疑問点を質問・討論することができる。
3) パワーポイントを使用してのプレゼンテーションが行える。
4) 研究した内容を要約し、抄録にまとめることができる。

評価方法: 発表資料(50%)および討論への参加・取り組み状況(50%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: SGDへの積極的な参加を求める。発表者の話をしっかりと聞き、疑問点は積極的に質問する態度が求められる。また、教員からもさまざまな課題が与えられるため、真摯に対応すること。発表の準備をしっかりと行うことはもちろんであるが、討論で生じた疑問点の解決のためや次の発表につなげるため、復習を怠らないこと。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日 12:30～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	卒業研究発表・討論(1)	講義	正野
2	1)2)	卒業研究発表・討論(2)	SGD	正野
3	1)2)	卒業研究発表・討論(3)	SGD	正野
4	1)2)	卒業研究発表・討論(4)	SGD	正野
5	1)2)	卒業研究発表・討論(5)	SGD	正野
6	1)2)	卒業研究発表・討論(6)	SGD	正野
7	1)2)	卒業研究発表・討論(7)	SGD	正野
8	1)2)	卒業研究発表・討論(8)	SGD	正野
9	1)2)	卒業研究発表・討論(9)	SGD	正野
10	1)2)3)	卒業研究発表会	SGD	正野
11	2)4)	卒業研究抄録発表・討論(1)	SGD	正野
12	2)4)	卒業研究抄録発表・討論(2)	SGD	正野
13	2)4)	卒業研究抄録発表・討論(3)	SGD	正野
14	2)4)	卒業研究抄録発表・討論(4)	SGD	正野
15	2)	卒業研究総括	SGD	正野

教科書: 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: **卒業研究 I**

担当者: 小川 芳徳 (福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: スポーツ、健康・体力、福祉社会、教育の視座から課題を探索し、課題の解決を目指す。その手順を身につけ論文作成の技能を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)卒業研究の目的、進め方、取り組み方について説明し、研究テーマを提示できる。
2)研究テーマのデザインを設定し実行できる。
3)研究テーマの目的に沿った方法(実験・測定・調査)を実行できる。
4)方法(実験・測定・調査)から得た結果を整理し、まとめることができる。
5)結果を考察し、討議できる。
6)研究を発表することができる。
7)研究論文を書き、推敲することができる。
8)研究発表ができる。

評価方法: 学習への取り組み姿勢(授業態度、課題の実施、課題の提出)の総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき1時間の予習・復習を行うこと(土、日、祝日、長期休暇を用いて)。次回授業についての課題は必ず提出すること。

オフィスアワー: 12:30~13:00(会議などを除く)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション	講義・演習	小川
2	2)	卒業研究のデザイン①	講義・演習	小川
3	2)3)	卒業研究のデザイン②	講義・演習	小川
4	1)~5)	論文の書き方①	講義・演習	小川
5	1)~5)	論文の書き方②	講義・演習	小川
6	3)	実験・測定・調査の実際①	講義・演習	小川
7	3)	実験・測定・調査の実際②	講義・演習	小川
8	3)	実験・測定・調査の実際③	講義・演習	小川
9	3)	実験・測定・調査の実際④	講義・演習	小川
10	3)	実験・測定・調査の実際⑤	講義・演習	小川
11	4)	実験・測定・調査結果の整理①	講義・演習	小川
12	4)	実験・測定・調査結果の整理②	講義・演習	小川
13	4)5)	実験・測定・調査結果の整理③	講義・演習	小川
14	4)5)	実験・測定・調査結果の整理④	講義・演習	小川
15	6)	中間発表	講義・演習	小川

教科書: 指定しない。その都度紹介する。

参考書: 指定しない。その都度紹介する。

科目名: 卒業研究 I

担当者: 正野 知基(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: SGD

授業概要: スポーツ健康福祉学演習 I・IIを踏まえ、各自の研究テーマを絞り込み、卒業研究のテーマを決定する。研究を遂行するために研究目的を明確にし、研究計画を立てて調査・研究を行い、論文としてまとめていく。スポーツ健康福祉学演習 IIIと連動させて実施し、執筆した章毎にそれぞれが発表し、ゼミ生全員で内容の確認、誤字脱字の修正などを行い、情報を共有しながら卒業論文の完成を目指す。

到達目標: (SBOs) 1) 卒業研究のテーマ設定を行い、その内容を説明できる。
2) 研究目的を明確にし、研究計画を立てることができる。
3) 設定した課題について研究計画に基づき調査を行い、調査した結果を文章にまとめ、発表・討論することができる。
4) メンバーの発表を聞き、疑問点を質問・討論することができる。

評価方法: 発表内容(80%)および討論への参加・取り組み状況(20%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: SGDへの積極的な参加を求める。発表者の話をしっかりと聞き、疑問点は積極的に質問する態度が求められる。また、教員からもさまざまな課題が与えられるため、真摯に対応すること。発表の準備をしっかりと行うことはもちろんであるが、討論で生じた疑問点の解決のためや次の発表につなげるため、復習を怠らないこと(予習復習の目安は1コマ当たり4時間)。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日 12:30～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)4)	卒業研究のテーマ発表	SGD	正野
2	2)4)	卒業研究 目的(緒言)・方法・目次(1)	SGD	正野
3	2)4)	卒業研究 目的(緒言)・方法・目次(2)	SGD	正野
4	2)4)	卒業研究 目的(緒言)・方法・目次(3)	SGD	正野
5	2)4)	卒業研究 目的(緒言)・方法・目次(4)	SGD	正野
6	3)4)	卒業研究中間発表会	SGD	正野
7	2)4)	卒業研究中間発表見直し	SGD	正野
8	3)4)	卒業研究発表・討論(1)	SGD	正野
9	3)4)	卒業研究発表・討論(2)	SGD	正野
10	3)4)	卒業研究発表・討論(3)	SGD	正野
11	3)4)	卒業研究発表・討論(4)	SGD	正野
12	3)4)	卒業研究発表・討論(5)	SGD	正野
13	3)4)	卒業研究発表・討論(6)	SGD	正野
14	3)4)	卒業研究発表・討論(7)	SGD	正野
15	3)4)	卒業研究発表・討論(8)	SGD	正野

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **卒業研究 I**

担当者: 松田 智香子(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 演習 I、II で積み上げられた内容を踏まえて関心がある研究テーマを決定する。研究テーマについて適切な研究計画を立て、実験あるいは調査を踏まえた論文の作成を行うことによって、体系的な論文作成の方法を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 関心のあるテーマについて先行研究等の文献収集の方法や資料管理方法を理解し活用することができる。
2) 管理している資料を総合的に分析し、それに基づいた意見を客観的に他者に説明することができる。
3) 自らの意見を他者とディスカッションできる。
4) 論文作成のための方法の基礎を理解できる。
5) 調査した内容を論理的にまとめ、論文として仕上げるすることができる。

評価方法: 卒業論文・要旨作成(100%)

準備学習・履修上の注意等: 卒業論文、要旨を完成させるために、適宜論文の推敲を受ける。
指摘を受けた内容や研究内容の発展について次時まで準備を行う必要があるため、1コマあたり4時間を目安に事前準備を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【卒業研究の意義、進め方、提出日等の基本事項の理解】	演習	松田
2	4)	【卒業研究のデザイン①】	演習	松田
3	4)	【卒業研究のデザイン②】	演習	松田
4	4)	【論文の書き方①】	演習	松田
5	4)	【論文の書き方②】	演習	松田
6	1)2)3)	【論文の書き方③】	演習	松田
7	1)2)3)	【研究結果のまとめ方①】	演習	松田
8	1)2)3)	【研究結果のまとめ方②】	演習	松田
9	1)2)3)	【研究結果のまとめ方③】	演習	松田
10	1)2)3)	【研究結果のまとめ方④】	演習	松田
11	1)2)3)	【研究結果のまとめ方⑤】	演習	松田
12	1)2)3)	【研究の考察について①】	演習	松田
13	1)2)3)	【研究の考察について②】	演習	松田
14	1)2)3)	【研究の考察について③】	演習	松田
15		【内容の確認】	演習	松田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **卒業研究 I**

担当者: 川崎 順子(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: スポーツ健康福祉学演習 I、II で習得した社会福祉に関する専門知識及び技術を基本に、研究テーマに沿った研究をまとめ表現する力(発表、論文作成)を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)研究計画を立てることができる。
2)計画に基づいて論文作成に取り組むことができる。
3)論文の構成・表現が適切にできる。
4)論文のまとめを行い、研究成果を発表することができる。
5)他者の研究について議論をすることができる。

評価方法: 課題・レポート30%・取り組み姿勢20%・卒論50%などにより総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。具体的には、研究テーマに関連する領域の先行研究や文献検索を行う。先行研究や文献を通読し、レポートにまとめる。研究計画に基づいて、論文の執筆作業を行い、授業時に提出する。研究進捗状況に応じて、計画的に研究をすすめる。また、研究に関連した社会活動に参加し、その成果をレポートにまとめ、発表する。社会情勢に関心を示し、問題認識を持ちながら、議論できる準備を行うこと。

オフィスアワー: 担当教員に確認のこと

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 卒業研究の意義、進め方、提出日等の基本事項の確認する	演習	川崎
2	1)2)	【卒業研究のデザイン①】 卒業研究のデザインの設定方法を知る	演習	川崎
3	1)2)	【卒業研究のデザイン②】 卒業研究のデザインの設定を試みる	演習	川崎
4	1)2)	【論文の書き方①】 論文の書き方を理解する	演習	川崎
5	1)2)	【論文の書き方②】 論文の書き方を理解する	演習	川崎
6	1)2)	【論文の書き方③】 論文の書き方を理解する	演習	川崎
7	2)3)	【研究結果のまとめ方①】 演習・調査・文献整理等の結果のまとめ方を考える	演習	川崎
8	2)3)	【研究結果のまとめ方②】 演習・調査・文献整理等の結果をまとめる	演習	川崎
9	3)4)5)	【中間発表会】 卒業研究の進捗状況を発表する	演習	川崎
10	2)3)	【研究結果のまとめ方③】 演習・調査・文献整理等の結果のまとめを行う	演習	川崎
11	2)3)	【研究結果のまとめ方④】 演習・調査・文献整理等の結果のまとめを行う	演習	川崎
12	2)3)	【研究の考察について①】 演習・調査・文献整理等の結果を考察する	演習	川崎
13	2)3)	【研究の考察について②】 演習・調査・文献整理等の結果を考察する	演習	川崎
14	2)3)	【研究の考察について③】 演習・調査・文献整理等の結果を考察する	演習	川崎
15	3)4)5)	【学期末発表会】	演習	川崎

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **卒業研究 I**

担当者: 山本 順之(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 演習 I、II で積み上げられた内容を踏まえて関心がある研究テーマを決定する。研究テーマについて適切な研究計画を立て、実験あるいは調査を踏まえた論文の作成を行うことによって、体系的な論文作成の方法を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)関心のあるテーマを設定し、先行研究等の文献収集の方法や資料管理方法について理解し活用することができる。
2)管理している資料を総合的に分析し、それに基づいて客観的に他者に説明することができる。
3)自らが調べた内容について他者とディスカッションできる。

評価方法: 卒業論文・要旨作成(100%)

準備学習・履修上の注意等: 研究資料・関係資料を良く読み理解すること。
他の研究との比較もすること。

オフィスアワー: 時間割発表後に研究室ドアに掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【卒業研究の意義、進め方、提出日等の基本事項の理解】	講義・演習	山本
2	4)	【卒業研究のデザイン①】	講義・演習	山本
3	4)	【卒業研究のデザイン②】	講義・演習	山本
4	4)	【論文の書き方①】	講義・演習	山本
5	4)	【論文の書き方②】	講義・演習	山本
6	1)2)3)	【論文の書き方③】	講義・演習	山本
7	1)2)3)	【研究結果のまとめ方①】	講義・演習	山本
8	1)2)3)	【研究結果のまとめ方②】	講義・演習	山本
9	1)2)3)	【研究結果のまとめ方③】	講義・演習	山本
10	1)2)3)	【研究結果のまとめ方④】	講義・演習	山本
11	1)2)3)	【研究結果のまとめ方⑤】	講義・演習	山本
12	1)2)3)	【研究の考察について①】	講義・演習	山本
13	1)2)3)	【研究の考察について②】	講義・演習	山本
14	1)2)3)	【研究の考察について③】	講義・演習	山本
15	1)2)3)	【内容の確認】	講義・演習	山本

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **卒業研究 I**

担当者: 横山 裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 臨床福祉学演習1・2で得られた知識、技術をもとに、卒業論文を完成することができる。

到達目標: 1)伝えたい情報を口頭でわかりやすく説明できる。
(SBOs) 2)伝えたい情報を文章で性格に記述できる。
3)卒業論文を完成させることができる。

評価方法: 卒業研究の内容、構成、調査方法の妥当性、データ解析の正確さなどから総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 卒業研究に関するについては教員の指導・指示に従うこと

オフィスアワー: 毎週月?金 16:00?17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	3)	卒業論文作成のプロセスが理解できる。	演習	横山
2	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
3	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
4	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
5	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
6	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
7	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
8	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
9	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
10	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
11	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
12	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
13	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
14	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
15	1)	中間報告を行うことができる。	演習	横山

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 卒業研究 I

担当者: 前田直樹(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(4年生)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 演習

授業概要: 演習 I、II で学習したことを踏まえて、各自興味のある研究テーマをより具体的に絞り込む。絞り込んだテーマに関連する文献を集めて文献研究を行う。臨床心理学の研究法は様々なものがあり、自分のテーマに合う研究法を学習し、どのような手順で研究を進めていくのか具体的な計画を立てる。この演習はできるだけ多くの文献や研究法にふれて学習を進めていく。

到達目標: 1) 文献研究ができるようになる。
(SBOs) 2) 臨床心理学の各種研究法を使用することができる。
3) 研究論文の作成ができるようになる。

評価方法: レポート、卒業研究

準備学習・履修上の注意等: 自主的に調査研究する姿勢。行動理論、行動療法、英語に興味のある学生。

オフィスアワー: (月)18:00-18:30

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1) 2) 3)	オリエンテーション	演習	前田
2	1) 2) 3)	卒業論文の作成を行う	演習	前田
3	1) 2) 3)	卒業論文の作成を行う	演習	前田
4	1) 2) 3)	卒業論文の作成を行う	演習	前田
5	1) 2) 3)	卒業論文の作成を行う	演習	前田
6	1) 2) 3)	卒業論文の作成を行う	演習	前田
7	1) 2) 3)	卒業論文の作成を行う	演習	前田
8	1) 2) 3)	卒業論文の作成を行う	演習	前田
9	1) 2) 3)	卒業論文の作成を行う	演習	前田
10	1) 2) 3)	卒業論文の作成を行う	演習	前田
11	1) 2) 3)	卒業論文の作成を行う	演習	前田
12	1) 2) 3)	卒業論文の作成を行う	演習	前田
13	1) 2) 3)	卒業論文の作成を行う	演習	前田
14	1) 2) 3)	卒業論文の作成を行う	演習	前田
15	1) 2) 3)	卒業論文の作成を行う	演習	前田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **卒業研究 I**

担当者: 田中 陽子(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 臨床福祉学演習 I・II で得られた知識、技術をもとに、卒業研究を完成することができる。

到達目標: (SBOs) 1)卒業研究に相応しいテーマ(研究目的)の設定ができる。
2)設定したテーマに相応しい仮説を立て、研究方法が選択できる。
3)仮説を立証するための適切な資料を収集できる。
4)自分の卒業研究について発表ができる。
5)テーマに合わせて討論できる。

評価方法: 学習態度50%および研究内容50%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: ・研究テーマの内容については特に限定をしないが、心理学的視点から研究を深めるものとする。
・時間割上の時間だけでなく、卒業論文の完成に必要な多大な研究時間を費やすこと。

オフィスアワー: 研究室前に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	今後の卒業研究の計画①	演習	田中
2	1)	卒業研究個別指導①	演習	田中
3	1)	卒業研究個別指導②	演習	田中
4	1)	卒業研究個別指導③	演習	田中
5	1)4)5)	卒業研究発表①	演習	田中
6	1)	卒業研究個別指導④	演習	田中
7	1)	卒業研究個別指導⑤	演習	田中
8	1)	卒業研究個別指導⑥	演習	田中
9	1)	卒業研究個別指導⑦	演習	田中
10	1)4)5)	卒業研究発表②	演習	田中
11	1)	卒業研究個別指導⑧	演習	田中
12	1)4)5)	卒業研究発表③	演習	田中
13	1)	卒業研究個別指導⑨	演習	田中
14	1)	卒業研究個別指導⑩	演習	田中
15	1)4)5)	卒業研究発表④	演習	田中

教科書: 特に指定なし。

参考書: 授業内にて紹介

科目名: **卒業研究 I**

担当者: 加藤 謙介(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 本学科・専攻でのこれまでの学びを総合し、専門職としての知識・関心を「研究」としてまとめ上げ、「卒業研究論文」を完成することができる。

到達目標: 1) 自分の研究テーマをもとに、「研究」「学術論文」の枠組みを説明できる。
(SBOs) 2) 卒業研究の計画を遂行できる。
3) 研究結果を元に、卒業論文が執筆できる。

評価方法: 『面白い』卒業論文を提出することをもって評価する。

準備学習・履修上の注意等: 指導教員との密接な連絡を前提に、提出期限までのスケジュールについて、厳密に自己管理を行い、段階を踏んで課題を完成させていくこと。
自主的・意欲的に諸文献を講読すること。

オフィスアワー: 時間割が確定した後に研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	イントロダクション	演習	加藤
2	2)	卒業論文調査指導(1)	演習	加藤
3	2)	卒業論文調査指導(2)	演習	加藤
4	2)	卒業論文調査指導(3)	演習	加藤
5	2)	卒業論文調査指導(4)	演習	加藤
6	2)	卒業論文調査指導(5)	演習	加藤
7	2)	卒業論文調査指導(6)	演習	加藤
8	2)	卒業論文調査指導(7)	演習	加藤
9	2)	卒業論文調査指導(8)	演習	加藤
10	2)	卒業論文調査指導(9)	演習	加藤
11	2)	卒業論文調査指導(10)	演習	加藤
12	2)	卒業論文調査指導(11)	演習	加藤
13	2)	卒業論文調査指導(12)	演習	加藤
14	2)	卒業論文調査指導(13)	演習	加藤
15	1)2)	中間総括	演習	加藤

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 卒業研究 I

担当者: 秋葉 敏夫(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 臨床福祉学演習 I、II で学んだ知識、技術をもとに、自分で研究テーマを設定し、それにかかわる調査を行い、結果を分析して卒業論文を完成することができる。

到達目標: 1)研究テーマを設定し、適切な方法を用いて調査ができる。
(SBOs) 2)調査結果を分析し、考察ができる。
3)形式に従って論文が書ける。
4)論文の抄録が作成できる。
5)その成果を発表できる。

評価方法: 出席と提出物、プレゼンのやり方などで30%。卒業論文の内容(テーマ設定、研究方法、考察)で70%の割合で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 研究テーマは自分に関心のあるものを設定できるので、自主的に学習し、まとめ上げていくことが期待される。

オフィスアワー: 火・水・木曜日12:15~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
2	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
3	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
4	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
5	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
6	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
7	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
8	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
9	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
10	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
11	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
12	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
13	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
14	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
15	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **卒業研究 I**

担当者: 山崎 きよ子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年次)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 演習 I で学習したことを踏まえて、各自の興味のある研究テーマをより具体的に絞り込む。テーマを絞り込んだらそれに関連する文献を集めて文献研究を行なう。自分のテーマに合う研究法を学習し、どのような手順で研究を進めていくのか具体的な計画を立てる。この演習はできるだけ多くの文献にふれ調査を行ない学習を進めていく。

到達目標: 1)文献研究ができるようになる。
(SBOs) 2)調査し、まとめることができる。

評価方法: 出席、レポート、卒業論文

準備学習・履修上の注意等: 自主的に調査研究する姿勢。
授業前後に4時間の予習復習を実施すること

オフィスアワー: 毎週12:30~13:30(水曜日除く)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	オリエンテーション	演習	山崎
2	1)2)	卒業論文作成のプロセスが理解できる。	演習	山崎
3	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
4	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
5	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
6	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
7	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
8	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
9	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
10	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
11	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
12	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
13	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
14	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
15	1)2)	プレゼンテーション	演習	山崎

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **卒業研究 I**

担当者: 西田 美香(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年次)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 臨床福祉学演習で学んだことを通して、各自の研究テーマを具体的に絞り込む。そして、関連する文献を収集し情報の整理を行い、これまで明らかになっていることと明らかになっていないことを明らかにする。更に、本研究で明らかにしたい事柄の明確化を図り、研究計画を立て研究を進める。
この一連のプロセスを経ることにより、論文作成の手法を理解するとともに、研究に対する姿勢を学ぶ。

到達目標: 1)本研究を通して、何を明らかにしたいのかを確定することができる。
(SBOs) 2)適切な調査方法を選択できる。
3)調査に必要な手続きをふみ、倫理規定を守りながら調査を進めることができる。

評価方法: 出席状況30%、取組み姿勢30%、卒業論文の結果40%で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 探求心をもって、積極的に調査研究に臨んでいただきたい。

オフィスアワー: 後日連絡する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	オリエンテーション	演習	西田
2	1)2)3)	卒業論文作成指導	演習	西田
3	1)2)3)	卒業論文作成指導	演習	西田
4	1)2)3)	卒業論文作成指導	演習	西田
5	1)2)3)	卒業論文作成指導	演習	西田
6	1)2)3)	卒業論文作成指導	演習	西田
7	1)2)3)	卒業論文作成指導	演習	西田
8	1)2)3)	卒業論文作成指導	演習	西田
9	1)2)3)	卒業論文作成指導	演習	西田
10	1)2)3)	卒業論文作成指導	演習	西田
11	1)2)3)	卒業論文作成指導	演習	西田
12	1)2)3)	卒業論文作成指導	演習	西田
13	1)2)3)	卒業論文作成指導	演習	西田
14	1)2)3)	卒業論文作成指導	演習	西田
15	1)2)3)	中間報告会	演習	西田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **卒業研究 I**

担当者: 稲田 弘子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 演習

授業概要: 大学は「学問」をするところです。「学問」とは「学」んで「問」うことです。社会福祉分野の専門的知識を単に「学」ぶだけではなく、自分でさまざまなことに「問」いを発していくことで新たな解決法や対処法を身につけていくことができます。社会はこのような人材を求めています。「卒業研究」では、臨床福祉学演習 I、II で得られた知識をもとに、卒業論文としてまとめる知識・スキルを修得する。

到達目標: 1) 卒業論文を作成、完成することができる。
(SBOs)

評価方法: 演習態度、演習内容にて評価する。

準備学習・履修上の注意等: 社会福祉分野に関心のある学生
授業時間以外でも、自主的に論文作成をすること。
4年次夏休みまでに、卒業論文を完成させること。

オフィスアワー: 時間割確定後に研究室前に提示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
2	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
3	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
4	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
5	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
6	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
7	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
8	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
9	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
10	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
11	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
12	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
13	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
14	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
15	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田

教科書: 使用しない。(必要時に配布するプリントを使用する)

参考書: 使用しない。

科目名: **卒業研究 I**

担当者: 渡邊 一平(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(鍼灸健康福祉コース(4年))

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: スポーツ健康福祉学演習 I、II で得られた知識、技術をもとに、論理的思考過程を修得すると同時に、卒業論文を完成する能力を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)論文作成スケジュールを立案、実行できる。
2)論文のテーマに沿った方法論を検討し、実施できる。

評価方法: 卒業論文へつなげるための基礎的能力、主に基礎的な資料収集能力や問題提起能力などを総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 各自、必要な資料をファイルなどで整理・管理し、必要な情報を取り出せるようにしておくこと。また講義や資料から得た知識は必ず研究ノートに記録する姿勢が求められる。1コマあたり1時間の予習復習時間を設定すること。予習復習時間の確保は、講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。

オフィスアワー: 月曜から木曜の12時30分から1時00分までとする。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1,2)	論文作成のためのスケジュール作成と検討1	演習	渡邊
2	1,2)	論文作成のためのスケジュール作成と検討1	演習	渡邊
3	1,2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(1)	演習	渡邊
4	1,2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(2)	演習	渡邊
5	1,2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(3)	演習	渡邊
6	1,2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(4)	演習	渡邊
7	1,2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(5)	演習	渡邊
8	1,2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(6)	演習	渡邊
9	1,2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(1)	演習	渡邊
10	1,2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(2)	演習	渡邊
11	1,2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(3)	演習	渡邊
12	1,2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(4)	演習	渡邊
13	1,2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(5)	演習	渡邊
14	1,2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(6)	演習	渡邊
15	1,2)	中間発表	演習	渡邊

教科書: 講義時に配布する資料を使用する。

参考書: 卒業研究テーマにより適宜紹介する。

科目名: **卒業研究 I**

担当者: 貫 優美子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 臨床福祉学演習 I、II で得られた知識をもとに、卒業論文としてまとめる知識・スキルを修得する。

到達目標: 1) 卒業論文を作成することができる。
(SBOs)

評価方法: 演習態度、演習内容にて評価する。

準備学習・履修上の注意等: 研究テーマの事前学習として、4時間は必ず行うこと。
授業時間以外でも、自主的に論文作成をすること。
4年次夏休みまでに、卒業論文を完成させること。

オフィスアワー: 時間割確定後に研究室前に提示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
2	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
3	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
4	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
5	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
6	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
7	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
8	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
9	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
10	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
11	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
12	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
13	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
14	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
15	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫

教科書: 使用しない。(必要時に配布するプリントを使用する)

参考書: 使用しない。

科目名: 卒業研究 I

担当者: 清水 径子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 【授業の概要】
臨床福祉学演習 I・II で学んだことを基に、各自の研究テーマに併せた調査・研究についての卒業論文を作成する。
【一般目標】
論文作成の方法を理解し、研究に対する姿勢を学ぶ。各自の研究テーマに併せて、地域社会や支援対象者に対して、課題の発見から解決策などを調べることができる。

到達目標: (SBOs) 1) テーマに沿って何を明らかにしたいのかを明確にする。
2) 卒業論文を作成するためのルールを理解し、実践できる。
3) 倫理規定を理解し、適切な調査・研究をすすめることができる。

評価方法: 個別指導の状況40%、学習態度30%、中間発表の内容30%を目安に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習時間外での調査準備や研究活動を学生が主体的に実施していく必要がある。
1コマにつき4時間を目安に調査準備、調査内容のまとめ、文献のまとめ等を行うこと。

オフィスアワー: 研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	オリエンテーション	演習	清水
2	1)2)3)	卒業論文作成指導	演習	清水
3	1)2)3)	個別指導	演習	清水
4	1)2)3)	個別指導	演習	清水
5	1)2)3)	個別指導	演習	清水
6	1)2)3)	個別指導	演習	清水
7	1)2)3)	個別指導	演習	清水
8	1)2)3)	個別指導	演習	清水
9	1)2)3)	個別指導	演習	清水
10	1)2)3)	個別指導	演習	清水
11	1)2)3)	個別指導	演習	清水
12	1)2)3)	個別指導	演習	清水
13	1)2)3)	個別指導	演習	清水
14	1)2)3)	個別指導	演習	清水
15	1)2)3)	中間発表・意見交換	演習	清水

教科書: 個別に指示する。

参考書: 使用しない。

科目名: **卒業研究 I**

担当者: 富田 賢一(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: スポーツ健康福祉学演習 I、II で得られた知識、技術をもとに、論理的思考過程を修得すると同時に、卒業論文を完成する能力を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)論文作成スケジュールを立案、実行できる。
2)論文のテーマに沿った方法論を検討し、実施できる。

評価方法: 卒業論文へとつなげるための基礎的能力、主に基礎的な資料収集能力や問題提起能力などを総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 各自、必要な資料をファイルなどで整理・管理し、必要な情報を取り出せるようにしておくこと。また講義や資料から得た知識は必ず研究ノートに記録する姿勢が求められる。1コマあたり1時間の予習復習時間を設定すること。予習復習時間の確保は、講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。

オフィスアワー: 月曜から木曜の12時30分から1時00分までとする。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	論文作成のためのスケジュール作成と検討1	演習	富田
2	1)2)	論文作成のためのスケジュール作成と検討1	演習	富田
3	1)2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(1)	演習	富田
4	1)2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(2)	演習	富田
5	1)2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(3)	演習	富田
6	1)2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(4)	演習	富田
7	1)2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(5)	演習	富田
8	1)2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 方法論(6)	演習	富田
9	1)2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(1)	演習	富田
10	1)2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(2)	演習	富田
11	1)2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(3)	演習	富田
12	1)2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(4)	演習	富田
13	1)2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(5)	演習	富田
14	1)2)	個別指導を受けながら論文作成を行う 調査研究(6)	演習	富田
15	1)2)	中間発表	演習	富田

教科書: 講義時に配布する資料を使用する。

参考書: 使用しない。

科目名: 卒業研究 I

担当者: 三宮 基裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義・演習

授業概要: 【授業の概要】

研究活動および学術論文執筆の基礎を学ぶとともに、研究成果のプレゼンテーション力を習得する。

【一般目標(GIO)】

学術論文執筆の基礎を習得する。

研究成果のプレゼンテーション力を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)結論に向けて論理的な構成が立てられる。
2)論文にふさわしい文章が書ける。
3)研究資料の分析結果考察したことを適切な表現で文章化できる。
4)分かりやすい図表等を作成し、論拠の肉付けができる。
5)他者に分かりやすい発表資料が作成できる。

評価方法: 取り組む姿勢および論文の完成度などにより総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 研究室の卒業論文集を作成するので、卒業論文の作成を義務付ける。
卒業研究発表会を実施する。

オフィスアワー: 在室時は随時対応する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	論文構成の検討	講義・SGD	三宮
2	1)	論文構成の検討	講義・SGD	三宮
3	1)	論文構成の検討	講義・SGD	三宮
4	2)3)	研究資料の分析・考察	講義・SGD	三宮
5	2)3)	研究資料の分析・考察	講義・SGD	三宮
6	2)3)	研究資料の分析・考察	講義・SGD	三宮
7	2)3)	研究資料の分析・考察	講義・SGD	三宮
8	2)3)4)	卒業論文の執筆	講義・演習	三宮
9	2)3)4)	卒業論文の執筆	講義・演習	三宮
10	2)3)4)	卒業論文の執筆	講義・演習	三宮
11	2)3)4)	卒業論文の執筆	講義・演習	三宮
12	4)5)	発表資料の作成	講義・SGD	三宮
13	4)5)	発表資料の作成	講義・SGD	三宮
14	4)5)	発表資料の作成	講義・SGD	三宮
15	4)5)	発表資料の作成	講義・SGD	三宮

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **卒業研究Ⅱ**

担当者: 小川 芳徳 (福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 講義・演習

授業概要: スポーツ、健康・体力、福祉社会、教育の視座から課題を探索し、課題の解決を目指す。その手順を身につけ論文作成の技能を修得し、発表する。

到達目標: (SBOs) 1)卒業研究の目的、進め方、取り組み方について説明し、研究テーマを提示できる。
2)研究テーマのデザインを設定し実行できる。
3)研究テーマの目的に沿った方法(実験・測定・調査)を実行できる。
4)方法(実験・測定・調査)から得た結果を整理し、まとめることができる。
5)結果を考察し、討議できる。
6)研究を発表することができる。
7)研究論文を書き、推敲することができる。
8)研究発表ができる。

評価方法: 学習への取り組み姿勢(授業態度、課題の実施、課題の提出)の総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき1時間の予習・復習を行うこと(土、日、祝日、長期休暇を用いて)。次回授業についての課題は必ず提出すること。

オフィスアワー: 12:30~13:00(会議などを除く)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	7)	卒業論文の作成①	講義・演習	小川
2	7)	卒業論文の作成②	講義・演習	小川
3	7)	卒業論文の作成③	講義・演習	小川
4	7)	卒業論文の作成④	講義・演習	小川
5	7)	卒業論文の作成⑤	講義・演習	小川
6	8)	卒業論文の推敲①	講義・演習	小川
7	8)	卒業論文の推敲②	講義・演習	小川
8	8)	卒業論文の推敲③	講義・演習	小川
9	8)	卒業論文の推敲④	講義・演習	小川
10	8)	卒業論文の推敲⑤	講義・演習	小川
11	9)	卒業研究の発表①	講義・演習	小川
12	9)	卒業研究の発表②	講義・演習	小川
13	9)	卒業研究の発表③	講義・演習	小川
14	9)	卒業研究の発表④	講義・演習	小川
15	7)	「要旨」の作成	講義・演習	小川

教科書: 指定しない。その都度紹介する。

参考書: 指定しない。その都度紹介する。

科目名: 卒業研究Ⅱ

担当者: 正野 知基(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: SGD

授業概要: 卒業研究Ⅰからの継続で、各自の研究テーマに沿って研究を遂行し、論文としてまとめていく。スポーツ健康福祉学演習Ⅳと連動させて実施し、執筆した章毎にそれぞれが発表し、ゼミ生全員で内容の確認、誤字脱字の修正などを行い、情報を共有しながら卒業論文の完成を目指す。

到達目標: (SBOs) 1) 設定した課題について研究計画に基づき調査を行い、調査した結果を文章にまとめ、発表・討論することができる。
2) メンバーの発表を聞き、疑問点を質問・討論することができる。
3) パワーポイントを使用してのプレゼンテーションが行える。
4) 研究した内容を要約し、抄録にまとめることができる。

評価方法: 卒業論文・抄録(80%)および討論への参加・取り組み状況(20%)を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: SGDへの積極的な参加を求める。発表者の話をしっかりと聞き、疑問点は積極的に質問する態度が求められる。また、教員からもさまざまな課題が与えられるため、真摯に対応すること。発表の準備をしっかりと行うことはもちろんであるが、討論で生じた疑問点の解決のためや次の発表につなげるため、復習を怠らないこと(予習復習の目安は1コマ当たり4時間)。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日 12:30～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	卒業研究発表・討論(1)	SGD	正野
2	1)2)	卒業研究発表・討論(2)	SGD	正野
3	1)2)	卒業研究発表・討論(3)	SGD	正野
4	1)2)	卒業研究発表・討論(4)	SGD	正野
5	1)2)	卒業研究発表・討論(5)	SGD	正野
6	1)2)	卒業研究発表・討論(6)	SGD	正野
7	1)2)	卒業研究発表・討論(7)	SGD	正野
8	1)2)	卒業研究発表・討論(8)	SGD	正野
9	1)2)	卒業研究発表・討論(9)	SGD	正野
10	1)2)3)	卒業研究発表会	SGD	正野
11	2)4)	卒業研究抄録発表・討論(1)	SGD	正野
12	2)4)	卒業研究抄録発表・討論(2)	SGD	正野
13	2)4)	卒業研究抄録発表・討論(3)	SGD	正野
14	2)4)	卒業研究抄録発表・討論(4)	SGD	正野
15	6)	卒業研究総括	SGD	正野

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **卒業研究Ⅱ**

担当者: 松田 智香子(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 演習Ⅰ,Ⅱで積み上げられた内容を踏まえて関心がある研究テーマを決定する。研究テーマについて適切な研究計画を立て、実験あるいは調査を踏まえた論文の作成を行うことによって、体系的な論文作成の方法を習得する。

到達目標: (SBOs) 1) 関心のあるテーマについて先行研究等の文献収集の方法や資料管理方法を理解し活用することができる。
2) 管理している資料を総合的に分析し、それに基づいて客観的に他者に説明することができる。
3) 自らが調べた内容について他者とディスカッションできる。
4) 論文作成のための方法の基礎を理解できる。
5) 調査した内容を論理的にまとめ、論文として仕上げることができる。

評価方法: 卒業論文・要旨作成(100%)

準備学習・履修上の注意等: 卒業論文, 要旨を完成させるために, 毎時, 論文の推敲を受ける。指摘を受けた内容や, 研究内容の発展について次時までには準備を行う必要があるため, 1コマあたり4時間を目安に事前準備を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)5)	【研究論文の作成①】	演習	松田
2	1)2)3)4)5)	【研究論文の作成②】	演習	松田
3	1)2)3)4)5)	【卒業論文の作成③】	演習	松田
4	1)2)3)4)5)	【卒業論文の作成④】	演習	松田
5	1)2)3)4)5)	【卒業論文の作成⑤】	演習	松田
6	1)2)3)4)5)	【卒業論文の作成⑥】	演習	松田
7	1)2)3)4)5)	【卒業論文の作成⑦】	演習	松田
8	1)2)3)4)5)	【卒業論文の推敲を受ける①】	演習	松田
9	1)2)3)4)5)	【卒業論文の推敲を受ける②】	演習	松田
10	1)2)3)4)5)	【卒業論文の推敲を受ける③】	演習	松田
11	1)2)3)4)5)	【卒業論文の推敲を受ける④】	演習	松田
12	1)2)3)4)5)	【卒業論文の推敲を受ける⑤】	演習	松田
13	1)2)3)4)5)	【要点の整理と確認と「要旨」の作成①】	演習	松田
14	1)2)3)4)5)	【要点の整理と確認と「要旨」の作成②】	演習	松田
15	1)2)3)4)5)	【要点の整理と確認と「要旨」作成③】	演習	松田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **卒業研究Ⅱ**

担当者: 川崎 順子(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: スポーツ健康福祉学演習Ⅰ、Ⅱで習得した社会福祉に関する専門知識及び技術を基本に、研究テーマに沿った研究をまとめ表現する力(発表、論文作成)を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)研究計画を立てることができる。
2)計画に基づいて論文作成に取り組むことができる。
3)論文の構成・表現が適切にできる。
4)論文のまとめを行い、研究成果を発表することができる。
5)他者の研究について議論をすることができる。

評価方法: 課題・レポート30%・取り組み姿勢20%・卒論50%などにより総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。具体的には、研究テーマに関連する領域の先行研究や文献検索を行う。先行研究や文献を通読し、レポートにまとめる。研究計画に基づいて、論文の執筆作業を行い、授業時に提出する。研究進捗状況に応じて、計画的に研究をすすめる。また、研究に関連した社会活動に参加し、その成果をレポートにまとめ、発表する。社会情勢に関心を示し、問題認識を持ちながら、議論できる準備を行うこと。

オフィスアワー: 担当教員に確認のこと

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】卒業研究の進め方、提出日等の基本事項を確認する	演習	川崎
2	2)3)	【卒業論文の作成①】卒業論文の作成を行う	演習	川崎
3	2)3)	【卒業論文の作成②】卒業論文の作成を行う	演習	川崎
4	2)3)	【卒業論文の作成③】卒業論文の作成を行う	演習	川崎
5	2)3)	【卒業論文の作成④】卒業論文の作成を行う	演習	川崎
6	2)3)	【卒業論文の推敲を受ける①】卒業論文の推敲、指導教員からの添削を受ける	演習	川崎
7	2)3)	【卒業論文の推敲を受ける②】卒業論文の推敲、指導教員からの添削を受ける	演習	川崎
8	2)3)	【卒業論文の推敲を受ける③】卒業論文の推敲、指導教員からの添削を受ける	演習	川崎
9	2)3)	【卒業論文の推敲を受ける④】卒業論文の推敲、指導教員からの添削を受ける	演習	川崎
10	2)3)	【卒業論文の推敲を受ける⑤】卒業論文の推敲、指導教員からの添削を受ける	演習	川崎
11	4)	【卒業研究の発表①】卒業研究の発表に向けた準備を行う	演習	川崎
12	4)	【卒業研究の発表②】卒業研究の発表を練習する	演習	川崎
13	4)	【卒業研究の発表③】卒業研究の発表を練習する	演習	川崎
14	4)5)	【卒業研究発表会】研究成果の発表を行う	演習	川崎
15	4)5)	【まとめ】要点の整理と確認、「要旨」の作成を行う	演習	川崎

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **卒業研究Ⅱ**

担当者: 山本 順之(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 演習Ⅰ,Ⅱで積み上げられた内容を踏まえて関心がある研究テーマを決定する。研究テーマについて適切な研究計画を立て、実験あるいは調査を踏まえた論文の作成を行うことによって、体系的な論文作成の方法を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)関心のあるテーマを設定し、先行研究等の文献収集の方法や資料管理方法について理解し活用することができる。
2)管理している資料を総合的に分析し、それに基づいて客観的に他者に説明することができる。
3)自らが調べた内容について他者とディスカッションできる。
4)論文作成のための方法の基礎を理解できる。
5)調査した内容を論理的にまとめ、論文として仕上げる事ができる。

評価方法: 卒業論文・要旨作成(100%)

準備学習・履修上の注意等: 研究資料・関係資料を良く読み理解すること。
他の研究との比較もすること。

オフィスアワー: 時間割発表後に研究室ドアに掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)5)	【研究論文の作成①】	講義・演習	山本
2	1)2)3)4)5)	【研究論文の作成②】	講義・演習	山本
3	1)2)3)4)5)	【卒業論文の作成③】	講義・演習	山本
4	1)2)3)4)5)	【卒業論文の作成④】	講義・演習	山本
5	1)2)3)4)5)	【卒業論文の作成⑤】	講義・演習	山本
6	1)2)3)4)5)	【卒業論文の作成⑥】	講義・演習	山本
7	1)2)3)4)5)	【卒業論文の作成⑦】	講義・演習	山本
8	1)2)3)4)5)	【卒業論文の推敲を受ける①】	講義・演習	山本
9	1)2)3)4)5)	【卒業論文の推敲を受ける②】	講義・演習	山本
10	1)2)3)4)5)	【卒業論文の推敲を受ける③】	講義・演習	山本
11	1)2)3)4)5)	【卒業論文の推敲を受ける④】	講義・演習	山本
12	1)2)3)4)5)	【卒業論文の推敲を受ける⑤】	講義・演習	山本
13	1)2)3)4)5)	【要点の整理と確認と「要旨」の作成①】	講義・演習	山本
14	1)2)3)4)5)	【要点の整理と確認と「要旨」の作成②】	講義・演習	山本
15	1)2)3)4)5)	【要点の整理と確認と「要旨」作成③】	講義・演習	山本

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **卒業研究Ⅱ**

担当者: 横山 裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 臨床福祉学演習で得られた知識、技術をもとに、卒業論文を完成することができる。

到達目標: 1) 伝えたい情報を口頭でわかりやすく説明できる。
(SBOs) 2) 伝えたい情報を文章で性格に記述できる。
3) 卒業論文を完成させることができる。

評価方法: 卒業研究の内容、構成、調査方法の妥当性、データ解析の正確さなどから総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 卒業研究に関するについては教員の指導・指示に従うこと

オフィスアワー: 毎週月?金 16:00?17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
2	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
3	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
4	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
5	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
6	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
7	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
8	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
9	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
10	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
11	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
12	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
13	1)2)3)	設定したテーマに応じて研究を行うことができる。	演習	横山
14	2)3)	卒業論文を完成させることができる。	演習	横山
15	1)	卒業論文を発表することができる。	演習	横山

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 卒業研究Ⅱ

担当者: 前田 直樹(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(4年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 演習

授業概要: 演習Ⅰで学習したことを踏まえて、各自の興味のある研究テーマをより具体的に絞り込む。テーマを絞り込んだらそれに関連する文献を集めて文献研究を行う。臨床心理学の研究法は様々なものがあり、自分のテーマに合う研究法を学習し、どのような手順で研究を進めていくのか具体的な計画を立てる。この演習はできるだけ多くの文献や研究法に触れて学習を進めていく。

到達目標: 1)文献研究ができるようになる。
(SBOs) 2)臨床心理学の各種研究法を使用することができる。
3)研究論文の作成ができるようになる。

評価方法: レポート、卒業論文

準備学習・履修上の注意等: 自主的に調査研究する姿勢。行動理論、行動療法、英語に興味を持っている学生。

オフィスアワー: (月)18:00-18:30

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	オリエンテーション	演習	前田
2	1)2)3)	卒業研究中間発表を行う	演習	前田
3	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
4	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
5	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
6	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
7	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
8	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
9	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
10	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
11	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
12	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
13	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
14	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
15	1)2)3)	卒業研究最終発表を行う	演習	前田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 卒業研究Ⅱ

担当者: 田中 陽子(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(4年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 演習

授業概要: 卒業研究Ⅰで得られた知識、技術をもとに、卒業研究を完成することができる。

到達目標: (SBOs) 1)収集した資料を用いて論理的に仮説が立証できる。
2)分析結果に基づいて、目的に即した結論づけができる。
3)卒業研究の要旨が作成できる。
4)自分の卒業研究について発表ができる。
5)テーマに合わせて討論できる。

評価方法: 学習態度50%および研究内容50%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: ・研究テーマの内容については特に限定をしないが、心理学的視点から研究を深めるものとする。
・時間割上の時間だけでなく、卒業論文の完成に必要な多大な研究時間を費やすこと。

オフィスアワー: 研究室前に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	今後の卒業研究の計画	演習	田中
2	1)	卒業研究個別指導①	演習	田中
3	1)	卒業研究個別指導②	演習	田中
4	1)	卒業研究個別指導③	演習	田中
5	1)4)5)	卒業研究発表①	演習	田中
6	1)	卒業研究個別指導④	演習	田中
7	1)	卒業研究個別指導⑤	演習	田中
8	1)	卒業研究個別指導⑥	演習	田中
9	1)4)5)	卒業研究個別指導⑦	演習	田中
10	1)	卒業研究個別指導⑧	演習	田中
11	1)	卒業研究個別指導⑨	演習	田中
12	1)	卒業研究個別指導⑩	演習	田中
13	1)	卒業研究発表②	演習	田中
14	2)	卒業研究の要旨作成①	演習	田中
15	3)	卒業研究の要旨作成②	演習	田中

教科書: 特に指定なし。

参考書: 講義内にて紹介

科目名: **卒業研究Ⅱ**

担当者: 加藤 謙介(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 本学科・専攻でのこれまでの学びを総合し、専門職としての知識・関心を「研究」としてまとめ上げ、「卒業研究論文」を完成することができる。

到達目標: 1)自分の研究テーマをもとに、「研究」「学術論文」の枠組みを説明できる。
(SBOs) 2)卒業研究の計画を遂行できる。
3)研究結果を元に、卒業論文が執筆できる。

評価方法: 『面白い』卒業論文を提出することをもって評価する。

準備学習・履修上の注意等: 指導教員との密接な連絡を前提に、提出期限までのスケジュールについて、厳密に自己管理を行い、段階を踏んで課題を完成させていくこと。
自主的・意欲的に諸文献を講読すること。

オフィスアワー: 時間割が確定した後に研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	イントロダクション	演習	加藤
2	3)	卒業論文執筆指導(1)	演習	加藤
3	3)	卒業論文執筆指導(2)	演習	加藤
4	3)	卒業論文執筆指導(3)	演習	加藤
5	3)	卒業論文執筆指導(4)	演習	加藤
6	3)	卒業論文執筆指導(5)	演習	加藤
7	3)	卒業論文執筆指導(6)	演習	加藤
8	3)	卒業論文執筆指導(7)	演習	加藤
9	3)	卒業論文執筆指導(8)	演習	加藤
10	3)	卒業論文執筆指導(9)	演習	加藤
11	3)	卒業論文執筆指導(10)	演習	加藤
12	3)	卒業論文執筆指導(11)	演習	加藤
13	3)	卒業論文執筆指導(12)	演習	加藤
14	3)	卒業論文執筆指導(13)	演習	加藤
15	1)2)3)	総括	演習	加藤

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 卒業研究Ⅱ

担当者: 秋葉 敏夫(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 臨床福祉学演習Ⅰ、Ⅱで学んだ知識、技術をもとに、自分で研究テーマを設定し、それにかかわる調査を行い、結果を分析して卒業論文を完成することができる。

到達目標: 1)研究テーマを設定し、適切な方法を用いて調査ができる。
(SBOs) 2)調査結果を分析し、考察ができる。
3)形式に従って論文が書ける。
4)論文の抄録が作成できる。
5)その成果を発表できる。

評価方法: 出席と提出物、プレゼンのやり方などで30%。卒業論文の内容(テーマ設定、研究方法、考察)で70%の割合で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 研究テーマは自分に関心のあるものを設定できるので、自主的に学習し、まとめ上げていくことが期待される。

オフィスアワー: 火・水・木曜日12:15～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
2	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
3	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
4	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
5	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
6	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
7	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
8	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
9	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
10	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
11	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
12	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
13	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
14	1)2)3)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に卒論作成を行う。	演習	秋葉
15	1)2)3)	卒業論文の発表を行う。	演習	秋葉

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **卒業研究Ⅱ**

担当者: 山崎 きよ子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年次)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 演習Ⅰで学習したことを踏まえて、各自の興味のある研究テーマをより具体的に絞り込む。テーマを絞り込んだらそれに関連する文献を集めて文献研究を行なう。自分のテーマに合う研究法を学習し、どのような手順で研究を進めていくのか具体的な計画を立てる。この演習はできるだけ多くの文献にふれ調査を行ない学習を進めていく。

到達目標: 1)文献研究ができるようになる。
(SBOs) 2)調査し、まとめることができる。

評価方法: 出席、レポート、卒業論文

準備学習・履修上の注意等: 自主的に調査研究する姿勢。
授業前後に4時間の予習復習を実施すること

オフィスアワー: 毎週12:30～13:30(水曜日除く)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	オリエンテーション	演習	山崎
2	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
3	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
4	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
5	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
6	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
7	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
8	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
9	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
10	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
11	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
12	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
13	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
14	1)2)	卒業論文作成指導	演習	山崎
15	1)2)	卒業論文報告会	演習	山崎

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **卒業研究Ⅱ**

担当者: 西田 美香(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年次)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 各自の研究テーマにそって調査を行い、新たな知見を見出す作業を行う。その際、論文作成上のルールを理解し、そのルールに則って作業を行う。
この一連のプロセスを経ることにより、論文作成の手法を理解するとともに、研究に対する姿勢を学ぶ。

到達目標: 1)本研究を通して、新たな知見を得る。
(SBOs) 2)論文作成時のルールを理解し実践する。

評価方法: 出席状況30%、取組み姿勢30%、卒業論文の結果40%で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 探求心をもって、積極的に調査研究に臨んでいただきたい。

オフィスアワー: 後日連絡する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	オリエンテーション	演習	西田
2	1)2)	卒業論文作成指導	演習	西田
3	1)2)	卒業論文作成指導	演習	西田
4	1)2)	卒業論文作成指導	演習	西田
5	1)2)	卒業論文作成指導	演習	西田
6	1)2)	卒業論文作成指導	演習	西田
7	1)2)	卒業論文作成指導	演習	西田
8	1)2)	卒業論文作成指導	演習	西田
9	1)2)	卒業論文作成指導	演習	西田
10	1)2)	卒業論文作成指導	演習	西田
11	1)2)	卒業論文作成指導	演習	西田
12	1)2)	卒業論文作成指導	演習	西田
13	1)2)	卒業論文作成指導	演習	西田
14	1)2)	卒業論文作成指導	演習	西田
15	1)2)	卒業研究報告会	演習	西田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **卒業研究Ⅱ**

担当者: 稲田 弘子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 演習

授業概要: 大学は「学問」をするところです。「学問」とは「学」んで「問」うことです。社会福祉分野の専門的知識を単に「学」ぶだけではなく、自分でさまざまなことに「問」いを発していくことで新たな解決法や対処法を身につけていくことができます。社会はこのような人材を求めています。「卒業研究」では、臨床福祉学演習Ⅰ、Ⅱで得られた知識をもとに、卒業論文としてまとめる知識・スキルを修得する。

到達目標: 1) 卒業論文を作成、完成することができる。
(SBOs)

評価方法: 演習態度、演習内容にて評価する。

準備学習・履修上の注意等: 社会福祉分野に関心のある学生
授業時間以外でも、自主的に論文作成をすること。
4年次夏休みまでに、卒業論文を完成させること。

オフィスアワー: 時間割確定後に研究室前に提示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
2	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
3	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
4	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
5	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
6	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
7	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
8	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
9	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
10	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
11	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
12	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
13	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
14	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田
15	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	稲田

教科書: 使用しない。(必要時に配布するプリントを使用する)

参考書: 使用しない。

科目名: **卒業研究Ⅱ**

担当者: 渡邊 一平(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: スポーツ健康福祉学演習Ⅰ、Ⅱで得られた知識、技術をもとに、論理的思考過程を修得すると同時に、卒業論文を完成する能力を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)各自が立てた研究方法を実践できる。
2)客観的事実をもとに、論文作成ができる。
3)研究成果をわかりやすくプレゼンテーションできる。

評価方法: 卒論の内容、構成、調査方法の妥当性、データ解析の正確さ、プレゼンテーション技術などから総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 各自の研究に必要な資料はファイル等で整理し、必要な情報を取り出せるようにしておくこと。また講義で得た知識は必ず研究ノート等に記載し、記録する姿勢が求められる。1コマあたり1時間の予習復習時間を行うこと。予習復習では適宜配布された資料あるいは各自が収集した資料を読み返し、要点をまとめておくこと。なお予習復習時間の確保は講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。

オフィスアワー: 月曜から木曜の12時30分から1時00分までとする。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	論文作成のスケジュールの作成と検討	演習	渡邊
2	1)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー方法論(1)ー	演習	渡邊
3	2)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー方法論(2)ー	演習	渡邊
4	2)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー方法論(3)ー	演習	渡邊
5	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー調査・研究(1)ー	演習	渡邊
6	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー調査・研究(2)ー	演習	渡邊
7	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー調査・研究(3)ー	演習	渡邊
8	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー調査・研究(4)ー	演習	渡邊
9	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー調査・研究(5)ー	演習	渡邊
10	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー調査・研究(6)ー	演習	渡邊
11	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー論文作成(1)ー	演習	渡邊
12	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー論文作成(2)ー	演習	渡邊
13	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー論文作成(3)ー	演習	渡邊
14	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う ー論文作成(4)ー	演習	渡邊
15	2)3)	卒業論文発表	演習	渡邊

教科書: ※講義時に配布する資料を使用する。

参考書: 研究テーマに合わせて適宜紹介する。

科目名: **卒業研究Ⅱ**

担当者: 貫 優美子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 臨床福祉学演習Ⅰ、Ⅱで得られた知識をもとに、卒業論文としてまとめる知識・スキルを修得する。

到達目標: 1)卒業論文を作成することができる。
(SBOs)

評価方法: 演習態度、演習内容にて評価する。

準備学習・履修上の注意等: 社会福祉分野に関心のある学生
授業時間以外でも、自主的に論文作成をすること。
1回の授業につき、最低4時間の準備学習が必要である。

オフィスアワー: 時間割確定後に研究室前に提示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
2	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
3	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
4	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
5	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
6	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
7	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
8	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
9	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
10	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
11	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
12	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
13	1)	各ゼミ生の卒業研究のテーマに沿って研究をすすめる。	演習	貫
14	1)	卒業研究発表	演習	貫
15	1)	卒業研究発表	演習	貫
		卒業研究の総括		

教科書: 使用しない。(必要時に配布するプリントを使用する)

参考書: 使用しない。

科目名: 卒業研究Ⅱ

担当者: 清水 径子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 【授業の概要】
各自の研究テーマに併せた調査・研究を進め、卒業論文を完成させる。
【一般目標】
論文作成の方法を理解し、研究に対する姿勢を学ぶ。

到達目標: 1)卒業論文を作成し、完成することができる。
(SBOs) 2)論文を簡潔にまとめることができる。

評価方法: 学習態度30%、報告内容30%、卒業論文の結果40%を目安に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習時間外での研究活動や論文作成を学生が主体的に実施していく必要がある。

オフィスアワー: 研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	卒業論文作成指導(個別指導)	演習	清水
2	1)	卒業論文作成指導(個別指導)	演習	清水
3	1)	卒業論文作成指導(個別指導)	演習	清水
4	1)	卒業論文作成指導(個別指導)	演習	清水
5	1)	卒業論文作成指導(個別指導)	演習	清水
6	1)	卒業論文作成指導(個別指導)	演習	清水
7	1)	卒業論文作成指導(個別指導)	演習	清水
8	1)	卒業論文作成指導(個別指導)	演習	清水
9	1)	卒業論文作成指導(個別指導)	演習	清水
10	1)	卒業論文作成指導(個別指導)	演習	清水
11	1)	卒業論文作成指導(個別指導)	演習	清水
12	1)2)	卒業論文要旨集作成	演習	清水
13	1)2)	卒業論文要旨集作成	演習	清水
14	1)2)	卒業論文要旨集作成	演習	清水
15	1)2)	まとめ	演習	清水

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **卒業研究Ⅱ**

担当者: 富田 賢一(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: スポーツ健康福祉学演習Ⅰ、Ⅱで得られた知識、技術をもとに、論理的思考過程を修得すると同時に、卒業論文を完成する能力を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)各自が立てた研究方法を実践できる。
2)客観的事実をもとに、論文作成ができる。
3)研究成果をわかりやすくプレゼンテーションできる。

評価方法: 卒論の内容、構成、調査方法の妥当性、データ解析の正確さなどから総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 各自の研究に必要な資料はファイル等で整理し、必要な情報を取り出せるようにしておくこと。また講義で得た知識は必ず研究ノート等に記載し、記録する姿勢が求められる。1コマあたり1時間の予習復習時間を行うこと。予習復習では適宜配布された資料あるいは各自が収集した資料を読み返し、要点をまとめておくこと。なお予習復習時間の確保は講義前後だけではなく、週末あるいは長期休暇を用いることとする。

オフィスアワー: 月曜から木曜の12時30分から1時00分までとする。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	論文作成のスケジュールの作成と検討	演習	富田
2	1)	個別指導を受けながら論文作成を行う —方法論(1)—	演習	富田
3	2)	個別指導を受けながら論文作成を行う —方法論(2)—	演習	富田
4	2)	個別指導を受けながら論文作成を行う —方法論(3)—	演習	富田
5	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う —調査・研究(1)—	演習	富田
6	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う —調査・研究(2)—	演習	富田
7	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う —調査・研究(3)—	演習	富田
8	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う —調査・研究(4)—	演習	富田
9	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う —調査・研究(5)—	演習	富田
10	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う —調査・研究(6)—	演習	富田
11	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う —論文作成(1)—	演習	富田
12	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う —論文作成(2)—	演習	富田
13	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う —論文作成(3)—	演習	富田
14	2)3)	個別指導を受けながら論文作成を行う —論文作成(4)—	演習	富田
15	2)3)	卒業論文発表	演習	富田

教科書: ※講義時に配布する資料を使用する。

参考書: 使用しない。

科目名: **卒業研究Ⅱ**

担当者: 三宮 基裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 講義・演習

授業概要: 【授業の概要】

研究活動および学術論文執筆の基礎を学ぶとともに、研究成果のプレゼンテーション力を習得する。

【一般目標(GIO)】

学術論文執筆の基礎を習得する。

研究成果のプレゼンテーション力を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)結論に向けて論理的な構成が立てられる。
2)論文にふさわしい文章が書ける。
3)研究資料の分析結果考察したことを適切な表現で文章化できる。
4)分かりやすい図表等を作成し、論拠の肉付けができる。
5)他者に分かりやすい発表資料が作成できる。

評価方法: 取り組む姿勢および論文の完成度などにより総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 研究室の卒業論文集を作成するので、卒業論文の作成を義務付ける。
卒業研究発表会を実施する。

オフィスアワー: 在室時は随時対応する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	2)3)	研究資料の再考察	講義・SGD	三宮
2	2)3)	研究資料の再考察	講義・SGD	三宮
3	2)3)	研究資料の再考察	講義・SGD	三宮
4	2)3)	研究資料の再考察	講義・SGD	三宮
5	2)3)	研究資料の再考察	講義・SGD	三宮
6	2)3)4)	卒業論文の執筆	講義・演習	三宮
7	2)3)4)	卒業論文の執筆	講義・演習	三宮
8	2)3)4)	卒業論文の執筆	講義・演習	三宮
9	2)3)4)	卒業論文の執筆	講義・演習	三宮
10	2)3)4)	卒業論文の執筆	講義・演習	三宮
11	2)3)4)	卒業論文の執筆	講義・演習	三宮
12	4)5)	発表資料の作成	講義・SGD	三宮
13	4)5)	発表資料の作成	講義・SGD	三宮
14	4)5)	発表資料の作成	講義・SGD	三宮
15	4)5)	発表資料の作成	講義・SGD	三宮

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **アスレティックトレーナー概論**

担当者: 神田潤一(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 自由 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義|

授業概要: アスレティックトレーナーの歴史的背景を踏まえた上で、アスレティックトレーナーが担うべき任務とその役割を理解するために具体的な業務の内容を示す。さらに、具体的な活動をする上で大切となる、選手を取り巻くコーチやスポーツドクター、その他の医科学スタッフなどのサポートスタッフの構成とそれぞれの役割を理解するとともに、これらサポートスタッフといかに連携、協力して選手およびチームをサポートするのか、その重要性和方法を理解することを目的とする。

到達目標: (SBOs) 1)日本体育協会公認アスレティックトレーナーの定義および日本体育協会公認スポーツ指導者制度について理解し、説明できる。
2)我が国のアスレティックトレーナーの歴史についておよび諸外国のトレーナー状況について理解し、説明できる。
3)アスレティックトレーナーの任務と役割について理解し、説明できる。
4)アスレティックトレーナーの業務について理解し、説明できる。
5)コーチ・スポーツドクターとの連携について理解し、説明できる。
6)組織の運営と管理について理解し、説明できる。
7)医療関係法規について理解し、説明できる。
8)アスレティックトレーナーの法的諸問題について理解し、説明できる。
9)スポーツドクターから見たアスレティックトレーナーについて理解し、説明できる。
10)監督から見たアスレティックトレーナーについて理解し、説明できる。
11)選手から見たアスレティックトレーナーについて理解し、説明できる。
12)設定した課題について調査・発表し、討論できる。
13)アスレティックトレーナー取得のための今後の展開について理解し、説明できる。

評価方法: 課題レポート(20点)、課題発表(30点)、定期試験(50点)

準備学習・履修上の 予習・復習を必ず行うこと。
注意等:

オフィスアワー: 講義時間以外の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	日本体育協会公認アスレティックトレーナーの定義・日本体育協会公認スポーツ指導者制度について	講義	神田
2	2)	我が国のアスレティックトレーナーの歴史について・諸外国のトレーナー状況	講義	神田
3	3)	アスレティックトレーナーの任務と役割	講義	神田
4	4)	アスレティックトレーナーの業務(スポーツ障害予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション、コンディショニング)	講義	神田
5	4)	アスレティックトレーナーの業務(測定評価、健康管理と組織運営、教育的指導)	講義	神田
6	5)	コーチ・スポーツドクターとの連携(メディカルスタッフの構成と役割)	講義	神田
7	5)	組織の運営と管理	講義	神田
8	6)	医療関係法規	講義	神田
9	7)	アスレティックトレーナーの法的諸問題	講義	神田
10	8)	スポーツドクターから見たアスレティックトレーナー	講義	神田
11	9)	監督から見たアスレティックトレーナー	講義	神田
12	10)	選手から見たアスレティックトレーナー	講義	神田
13	11)	課題発表	講義	神田
14	12)	アスレティックトレーナー取得のための今後の展開	講義	神田
15	13)		講義	神田

教科書: 1回目の講義にて説明。

参考書: 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①アスレティックトレーナー役割(日本体育協会)

科目名: **スポーツ外傷・障害の基礎知識 I**

担当者: 帖佐悦男 (非常勤 スポーツドクター)|瀧本真由美(ス・福)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 本講義では、アスレティックトレーナーが活動を行う上で必要なスポーツ外傷・障害の基礎的知識について理解する。そのために、体幹・上肢・下肢の主なるスポーツ障害の病態、評価方法及び、重篤な外傷、その他の外傷、年齢・性別によるスポーツ外傷の特徴を習得することをねらいとする。

到達目標: (SBOs)
(1)体幹のスポーツ外傷・障害についての病態、発生機転、診断方法、画像診断、徒手的検査、治療について理解取得することができるようになる。
(2)上肢のスポーツ外傷・障害についての病態、発生機転、診断方法、画像診断、徒手的検査、治療について理解取得することができるようになる。
(3)下肢のスポーツ外傷・障害についての病態、発生機転、診断方法、画像診断、徒手的検査、治療について理解取得することができるようになる。
(4)年齢、性別によるスポーツ外傷・障害の特徴を学ぶ。

評価方法: 定期試験

準備学習・履修上の注意等: 運動器の解剖と機能 I の知識がベースとなります。ワークブックを使用して、講義の関連部位の基礎解剖と運動の知識を整理して授業を受けてください。
復習では、ワークブックを使用して、知識の整理を各外傷・障害ごとに行ってください。
「女性のスポーツ外傷と障害」「高齢者のスポーツ外傷と障害の」授業では、「健康管理とスポーツ医学」のテキストも持参すること。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
	(4)	スポーツ外傷・障害総論・骨折	講義	瀧本
1		体幹のスポーツ外傷・障害 頸部:頸椎捻挫、バーナー症候群	講義	帖佐
2	(1)	体幹のスポーツ外傷・障害 頸部:頸椎椎間板ヘルニア、頸部のその他の外傷・障害	講義	帖佐
3	(1)	上肢のスポーツ外傷・障害 肩部:肩関節前方脱臼、肩鎖関節脱臼、肩鎖関節症	講義	帖佐
4	(2)	上肢のスポーツ外傷・障害 肩部:肩腱板損傷、投球障害肩、肩関節唇損傷	講義	帖佐
5	(2)	上肢のスポーツ外傷・障害 肘関節:MCL損傷、上腕骨外側・内側上顆炎、滑膜ひだ障害	講義	帖佐
6			講義	
7	(2)	上肢のスポーツ外傷・障害 肘関節:離断性骨軟骨炎、変形性肘関節症、尺骨神経障害	講義	帖佐
8	(2)	上肢のスポーツ外傷・障害 手・指:手関節捻挫、TFCC損傷	講義	帖佐
9	(2)	上肢のスポーツ外傷・障害 手・指:手・指捻挫、その他の外傷・障害	講義	帖佐
10	(3)	下肢のスポーツ外傷・障害 大腿部:大腿四頭筋・ハムストリング肉離れ	講義	帖佐
11	(3)	下肢のスポーツ外傷・障害 大腿部:大腿部打撲、その他の外傷・障害	講義	帖佐
12	(3)	下肢のスポーツ外傷・障害 膝関節:膝の靭帯損傷	講義	帖佐
13	(3)	下肢のスポーツ外傷・障害 膝関節:膝半月板損傷、膝軟骨損傷	講義	帖佐
14	(4)	年齢、性別による特徴・女性に特徴的なスポーツ外傷・障害	講義	瀧本
15	(4)	その他の外傷	講義	瀧本

教科書: 日本体育協会 公認 アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック スポーツ外傷・障害の基礎知識 文光堂

参考書: インターネットから注文書を印刷し、FAXで注文する。
日本体育協会ホームページ>広報・出版・ビデオ>指導者用テキスト・書籍
養成講習会テキストから

日本体育協会 公認 アスレティックトレーナー専門科目テキスト ③
スポーツ外傷・障害の基礎知識
を必ず購入すること。

標準整形外科学 中村利孝・松野丈夫監修 医学書院
スポーツ外傷・障害の理学診断・理学療法ガイド 臨床スポーツ医学編集委員会編 文光堂

科目名: **スポーツ外傷・障害の基礎知識Ⅱ**

担当者: 帖佐悦男、樋口潤一、押川紘一郎(非常勤・スポーツドクター)|近藤剛史(非常勤、スポーツ歯科認定医)|瀧本真由美(ス・福)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 自由 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: アスレティックトレーナーが活動を行う上で必要なスポーツ外傷・障害の基礎的知識について理解する。そのために、体幹・上肢・下肢の主なるスポーツ障害の病態、評価方法及び、重篤な外傷、その他の外傷、年齢・性別によるスポーツ外傷の特徴を習得することをねらいとする。

到達目標 (SBOs): (1)体幹のスポーツ外傷・障害についての病態、発生機転、診断方法、画像診断、徒手検査、治療について理解取得することができるようになる。
(2)下肢のスポーツ外傷・障害についての病態、発生機転、診断方法、画像診断、徒手検査、治療について理解取得することができるようになる。
(3)年齢、性別によるスポーツ外傷・障害の特徴(高齢者・発育期)を知ることができるようになる。
(4)その他の外傷(顔面、目、鼻、耳、歯)について理解することができるようになる。

評価方法: 定期試験(筆記)

準備学習・履修上の注意等: 運動器の解剖と機能Ⅰの知識がベースとなります。ワークブックを使用して、講義の関連部位の基礎解剖と運動の知識を整理して授業を受けてください。
復習では、ワークブックを使用して、知識の整理を各外傷・障害ごとに行ってください。
押川先生、樋口先生の講義では「健康管理とスポーツ医学」のテキストも持参して授業を受講すること。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	(2)	下肢のスポーツ外傷・障害 膝関節: anterior knee pain	講義	帖佐
2	(2)	下肢のスポーツ外傷・障害: 下腿部 腓腹筋肉離れ アキレス腱断裂	講義	帖佐
3	(2)	下肢のスポーツ外傷・障害: 下腿部 脛骨過労性骨障害 下腿疲労骨折 コンパートメント症候群	講義	帖佐
4	(2)	下肢のスポーツ外傷・障害: 足・足関節 足関節・足部捻挫	講義	帖佐
5	(2)	下肢のスポーツ外傷・障害: 足・足関節 扁平足障害、疲労骨折	講義	帖佐
6	(2)	下肢のスポーツ外傷・障害: 足・足関節 過剰骨・種子骨障害、衝突性外骨腫	講義	帖佐
7	(1)	体幹のスポーツ外傷・障害 腰・背部・骨盤: 腰椎椎間板ヘルニア、腰椎分離症、筋・筋膜性腰痛症	講義	帖佐
8	(1)	体幹のスポーツ外傷・障害 腰・背部: 鼠径部痛症候群	講義	帖佐
9	(3)	年齢・性別による特徴: 成長期のスポーツ医学	講義	樋口
10	(3)	年齢・性別による特徴: 成長期のスポーツ医学	講義	樋口
11	(3)	年齢・性別による特徴: 高齢者のスポーツ医学	講義	押川
12	(3)	年齢・性別による特徴: 高齢者のスポーツ医学	講義	押川
13	(4)	年齢・性別による特徴: 高齢者のスポーツ医学	講義	近藤、瀧本
14	(4)	年齢・性別による特徴: 高齢者のスポーツ医学	講義	近藤、瀧本
15	(4)	年齢・性別による特徴: 高齢者のスポーツ医学	講義	瀧本

教科書: 日本体育協会 公認 アスレティックトレーナー専門科目テキスト + ワークブック スポーツ外傷・障害の基礎知識 文光堂

参考書: 日本体育協会 公認 アスレティックトレーナー専門科目テキスト ③ スポーツ外傷・障害の基礎知識を、スポーツ外傷・障害の基礎知識Ⅰに引き続いて使用

科目名: **健康管理とスポーツ医学**

担当者: 甲斐史朗(非常勤:医師)、樋口潤一(非常勤:医師)、加藤晴康(非常勤:医師)、神田潤一(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 感染症や特殊環境を含む内科疾患を学び、年齢性別による特徴、およびドーピングについて理解する。スポーツ選手の内科的な諸問題について理解し、それらの対応策を習得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)循環器系疾患について理解し、説明できる。
 - 2)呼吸器系疾患について理解し、説明できる。
 - 3)消化器系疾患について理解し、説明できる。
 - 4)血液疾患について理解し、説明できる。
 - 5)腎・泌尿器系疾患について理解し、説明できる。
 - 6)代謝性疾患について理解し、説明できる。
 - 7)皮膚疾患について理解し、説明できる。
 - 8)感染症について理解し、説明できる。
 - 9)オーバートレーニング・突然死について理解し、説明できる。
 - 10)女性のスポーツ医学について理解し、説明できる。
 - 11)特殊環境における内科疾患について理解し、説明できる。
 - 12)成長期と高齢者のスポーツ医学について理解し、説明できる。
 - 13)ドーピングについて理解し、説明できる。

評価方法: 定期試験

準備学習・履修上の注意等: 学ぶ器官の解剖学、生理学の知識を学習して授業に臨むこと。授業後、ワークブックを利用して、学習したことを整理する。これらを各講義ごと必ず行う。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	循環器疾患	講義	甲斐
2	2)	呼吸器疾患	講義	甲斐
3	3)	消化器疾患	講義	甲斐
4	4)	血液疾患	講義	甲斐
5	5)	腎・泌尿器疾患	講義	甲斐
6	6)	代謝性疾患	講義	甲斐
7	7)	皮膚疾患	講義	甲斐
8	8)	感染症	講義	樋口
9	9)	オーバートレーニング・突然死	講義	樋口
10	10)	女性のスポーツ医学: 過換気症候群・摂食障害・減量	講義	神田
11	11)	特殊環境: 高所・高圧	講義	加藤
12	11)	特殊環境: 暑熱・低温	講義	加藤
13	11)	特殊環境: 時差と海外遠征、感染症	講義	加藤
14	12)	成長期と高齢者のスポーツ医学	講義	加藤
15	13)	ドーピング	講義	加藤

教科書: 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト④健康管理とスポーツ医学(日本体育協会)

参考書: 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト④健康管理とスポーツ医学 ワークブック(日本体育協会)

科目名: **検査・測定と評価 I**

担当者: 神田 潤一(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 自由 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 様々な体力要素について理解し、その体力要素の測定方法を学ぶ。さらに、測定結果を評価・分析することで体力測定の意義を理解する。「体力測定」を専門的に理解し、一般的な測定項目を実際に行うことができるようになる。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 体力測定の意義について理解し、説明できる。
 - 2) 形態の測定方法について理解し、実施できる。
 - 3) 柔軟性の測定方法について理解し、実施できる。
 - 4) 筋タイトネスの測定方法について理解し、実施できる。
 - 5) 筋力の測定方法・徒手筋力測定について理解し、説明できる。
 - 6) 筋力の測定方法・徒手筋力測定について理解し、実施できる。
 - 7) 筋持久力の測定方法について理解し、実施できる。
 - 8) 全身持久力の測定方法について理解し、説明できる。
 - 9) 全身持久力の測定方法について理解し、実施できる。
 - 10) 敏捷性と協調性の測定方法について理解し、説明できる。
 - 11) 敏捷性と協調性の測定方法について理解し、実施できる。
 - 12) 姿勢・アライメントの測定方法について理解し、説明できる。
 - 13) 姿勢・アライメントの測定方法について理解し、実施できる。
 - 14) 身体組成の測定方法について理解し、実施できる。
 - 15) 体力測定のマネジメントと測定のフィードバックについて理解し、説明できる。

評価方法: 測定された各項目の評価データとその考察レポートにより評価する。

準備学習・履修上の注意等: バイオメカニクス、運動生理学を合格した者が受講可能。
予習・復習を必ず行うこと。

オフィスアワー: 講義時間以外の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	体力測定の意義	講義	神田
2	2)	形態の測定方法	演習	神田
3	3)	柔軟性の測定方法	演習	神田
4	4)	筋タイトネスの測定方法	演習	神田
5	5)	筋力の測定方法・徒手筋力測定	講義	神田
6	6)	実技	演習	神田
7	7)	筋持久力の測定方法	演習	神田
8	8)	全身持久力の測定方法	講義	神田
9	9)	実技	演習	神田
10	10)	敏捷性と協調性の測定方法	講義	神田
11	11)	実技	演習	神田
12	12)	姿勢・アライメントの測定方法	講義	神田
13	13)	実技	演習	神田
14	14)	身体組成の測定方法	演習	神田
15	15)	体力測定のマネジメントと測定のフィードバック	講義	神田

教科書: 1回目の講義にて説明。

参考書: 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑤検査・測定と評価(日本体育協会)

科目名: **検査・測定と評価Ⅱ**

担当者: 神田 潤一(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 身体の動きを観察し、理解するための知識としてバイオメカニクスの基礎を学び、運動力学の法則を用いて、スポーツの基本動作を理解する。さらに、動作分析からどのような動きの改善によりパフォーマンスの向上や障害の予防に役立っているかを学ぶ。正常なスポーツの基本動作を動作解析を基に理解し、異常を解析できる能力を身につける。

到達目標: (SBOs)

- 1) 運動の基本動作について理解し、説明できる。
- 2) 動作解析について理解し、説明できる。
- 3) 歩行動作および測定方法について理解し、説明、実施できる。
- 4) 床反力および測定方法について理解し、説明、実施できる。
- 5) 走動作および測定方法について理解し、説明、実施できる。
- 6) ストップ、方向転換および測定方法について理解し、説明、実施できる。
- 7) 跳動作および測定方法について理解し、説明、実施できる。
- 8) 投球動作および測定方法について理解し、説明、実施できる。
- 9) 異常歩行動作およびその観察・分析方法について理解し、説明、実施できる。
- 10) 外傷・障害となる走動作およびその観察・分析方法について理解し、説明、実施できる
- 11) 外傷・障害となるストップ・方向転換およびその観察・分析方法について理解し、説明、実施できる
- 12) 外傷・障害となる跳動作およびその観察・分析方法について理解し、説明、実施できる
- 13) 外傷・障害となる投球動作およびその観察・分析方法について理解し、説明、実施できる

評価方法: 筆記試験(50%)・実技試験(50%)

準備学習・履修上の注意等: 検査・測定と評価Ⅰを合格した者が受講可。
予習・復習を必ず行うこと。

オフィスアワー: 講義時間以外の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	運動の基本動作	講義	神田
2	2)	バイオメカニクス・動作解析について(測定方法含む)	講義	神田
3	3)	歩行	演習	神田
4	4)	床反力	演習	神田
5	5)	走動作	演習	神田
6	6)	ストップ・方向転換	演習	神田
7	7)	跳動作	演習	神田
8	8)	投球動作	演習	神田
9	1)~8)	まとめ	講義	神田
10	9)	異常歩行	演習	神田
11	10)	外傷・障害となる走動作	演習	神田
12	11)	外傷・障害となるストップ・方向転換動作	演習	神田
13	12)	外傷・障害となる跳動作	演習	神田
14	13)	外傷・障害となる投球動作	演習	神田
15	9)~13)	まとめ	講義	神田

教科書: 1回目の講義にて説明。

参考書: 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑤検査・測定と評価(日本体育協会)

科目名: 予防とコンディショニング I

担当者: 神田 潤一(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: AT必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 試合前のコンディショニングとして、試合においてベストパフォーマンスを発揮させるために、練習によって蓄積された疲労の除去、局所的な可動域の制限、痛みの緩和を目的とした手技を学ぶ。また、練習や試合後のコンディショニングとして、運動後に疲労して硬くなった筋をほぐしたり伸ばしたりすることで、関節の可動域制限防止や疲労からの早期回復などを目的とした方法を学ぶ。スポーツの前後に、身体のコンディショニングができるようになることを目指す。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)コンディショニングについて理解し、説明できる。
 - 2)ウォーミングアップとクーリングダウンについて理解し、説明できる。
 - 3)ストレッチングの方法について理解し、説明できる。
 - 4)柔軟性テストについて理解し、実施できる。
 - 5)ストレッチングの実際について理解し、実施できる。
 - 6)テーピングについて理解し、説明できる。
 - 7)足部のテーピングについて理解し、実施できる。
 - 8)足関節のテーピングについて理解し、実施できる。
 - 9)アキレス腱・シンスプリントに対するテーピングについて理解し、実施できる。
 - 10)肉離れに対するテーピングについて理解し、実施できる。
 - 11)膝関節のテーピングについて理解し、実施できる。
 - 12)股関節・腰部のテーピングについて理解し、実施できる。
 - 13)肩関節のテーピングについて理解し、実施できる。
 - 14)肘関節のテーピングについて理解し、実施できる。
 - 15)手関節・指のテーピングについて理解し、実施できる。

評価方法: 定期試験

準備学習・履修上の注意等: 運動器の解剖と機能 I・II、スポーツ外傷の基礎知識 I・II、健康管理とスポーツ医学を合格した者が受講可。
予習・復習を必ず行うこと。

オフィスアワー: 講義時間以外の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	コンディショニングとは	講義	神田
2	2)	ウォーミングアップとクーリングダウン	講義	神田
3	3)	ストレッチングの方法	講義	神田
4	4)	柔軟性テスト	演習	神田
5	5)	ストレッチングの実際	演習	神田
6	6)	テーピング 総論	講義	神田
7	7)	足部のテーピング	演習	神田
8	8)	足関節のテーピング	演習	神田
9	9)	アキレス腱・シンスプリントに対するテーピング	演習	神田
10	10)	肉離れのテーピング	演習	神田
11	11)	膝関節のテーピング	演習	神田
12	12)	股関節・腰部のテーピング	演習	神田
13	13)	肩関節のテーピング	演習	神田
14	14)	肘関節のテーピング	演習	神田
15	15)	手関節・指のテーピング	演習	神田

教科書: 1回目の講義にて説明。

参考書: 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑥予防とコンディショニング(日本体育協会)

科目名: 予防とコンディショニングⅡ

担当者: 神田 潤一(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: AT必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: コンディショニングの原理・原則、評価方法、具体的なトレーニング種目やプログラミングの方法について学ぶ。コンディショニングを意識したトレーニング計画の立案・実施、アドバイスができるようになることを目指す。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) コンディショニングの評価・トレーニング計画について理解し、説明できる。
 - 2) 基礎体力のコンディショニングについて理解し、説明できる。
 - 3) 筋力のコンディショニングについて理解し、説明できる。
 - 4) 筋持久力のコンディショニングについて理解し、説明できる。
 - 5) 筋パワーのコンディショニングについて理解し、説明できる。
 - 6) 全身持久力のコンディショニングについて理解し、説明できる。
 - 7) アジリティのコンディショニングについて理解し、説明できる。
 - 8) 身体組成のコンディショニングについて理解し、説明できる。
 - 9) コンディショニングトレーニングについて理解し、実施できる。
 - 10) 代謝系トレーニングについて理解し、実施できる。
 - 11) 筋カトレーニングについて理解し、実施できる。
 - 12) アジリティトレーニングについて理解し、実施できる。
 - 13) スプリント・エンデュランストレーニングについて理解し、実施できる。
 - 14) サーキットトレーニングについて理解し、説明できる。

評価方法: 定期試験

準備学習・履修上の注意等: 予防とコンディショニングⅠを合格した者が受講可。
予習・復習を必ず行うこと。

オフィスアワー: 講義時間以外の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	コンディショニングの評価・トレーニング計画	講義	神田
2	2)	基礎体力のコンディショニング	講義	神田
3	3)	筋力のコンディショニング	講義	神田
4	4)	筋持久力のコンディショニング	講義	神田
5	5)	筋パワーのコンディショニング	講義	神田
6	6)	全身持久力のコンディショニング	講義	神田
7	7)	アジリティのコンディショニング	講義	神田
8	8)	身体組成のコンディショニング	講義	神田
9	9)	コンディショニングトレーニング	演習	神田
10	10)	代謝系トレーニング	演習	神田
11	11)	筋カトレーニング	演習	神田
12	12)	アジリティトレーニング	演習	神田
13	13)	スプリント・エンデュランストレーニング	演習	神田
14	14)	サーキットトレーニング	演習	神田
15	1~14)	まとめ	講義	神田

教科書: 1回目の講義にて説明。

参考書: 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑥予防とコンディショニング(日本体育協会)

科目名: 予防とコンディショニングⅢ

担当者: 神田 潤一(福・ス)、河野 徳良(非常勤講師)、尾崎 勝博(非常勤講師)、三原 成人(非常勤講師)、常盤 直孝(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 競技別の調整とスポーツの要求に対応するために、安全に身体健康と体力を向上させる方法を学ぶ。競技種目の特性や専門性に応じたコンディショニングサポートができるようになることを目指す。

到達目標: 1)コンディショニングの要素について理解し、説明できる。
(SBOs) 2)心理的なコンディショニングについて理解し、説明できる。
3)装具・サポーターについて理解し、説明できる。
4)競技種目別のコンディショニングについて理解し、説明できる。

評価方法: 定期試験

準備学習・履修上の注意等: アスレティックリハビリテーションⅠ、予防とコンディショニングⅡを合格した者が受講可。
予習・復習を必ず行うこと。

オフィスアワー: 講義時間以外の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	コンディショニングの要素	講義	宮崎
2	2)	心理的なコンディショニング	講義	常盤
3	3)	装具・サポーター	講義	河野
4	4)	陸上競技	講義	河野
5	4)	水泳	講義	河野
6	4)	サッカー	講義	河野
7	4)	バレーボール	講義	河野
8	4)	ハンドボール・バスケットボール	講義	尾崎
9	4)	野球・ソフトボール	講義	河野
10	4)	ラグビー	講義	河野
11	4)	柔道・レスリング	講義	河野
12	4)	体操	講義	河野
13	4)	スキー	講義	三原
14	4)	スケート	講義	河野
15	1)~4)	まとめ	講義	河野

教科書: 1回目の講義にて説明。

参考書: 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑥予防とコンディショニング(日本体育協会)

科目名: **アスレティックリハビリテーション I**

担当者: 瀧本 真由美(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義|実習

授業概要: アスレチックリハビリテーションの意味を知り、その実践にあたって必要となる基礎知識の習得をねらいとする。

到達目標: (SBOs)

1. リハビリテーションの概念と定義を知る。
2. アスレティックリハビリテーションの定義を知る。
3. 我が国のアスレティックリハビリテーションの歴史を知る。
4. アスレティックリハビリテーションの概要(目標、過程、関係職種と役割、考慮すべき事項、等)について理解する。
5. アスレティックリハビリテーションの現場におけるアスレチックトレーナーの活動内容を知る。
6. 機能評価の概要について理解する。
7. アスレティックリハビリテーションで用いる基本的手法の概要について理解する。
8. 進行上のリスク管理の概要を理解する。

評価方法: 筆記試験

準備学習・履修上の注意等: 検査、測定など評価に基づき、何らかの疾病、傷害などによって起こる機能・形態障害に対し、運動療法・物理療法を実施し改善を図るエクササイズを選択するためには、知識の統合が必要となります。「検査・測定と評価」を関連の講義に合わせて、知識の再確認のために予習を行っておいください。この講義では、個々のエクササイズの「アスレチックリハビリテーションの基礎知識」を学びます。そして、これは、四年生の「アスレチックリハビリテーション II」につながっていきます。「アスレチックリハビリテーション II」では、「アスレチックリハビリテーション I」で学んだ個々のエクソサイズを疾患ごとにその内容を応用していくことが必要になります。そのため、今まで、学んだことを定着させ、知識を積み重ねいけるよう自己学習をおこたらないようにしてください。

オフィスアワー: 水曜日

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	(1)~(6)	アスレティックリハビリテーションの考え方	講義	瀧本
2	(7)(8)	運動療法の基礎知識: 関節可動域回復、拡大エクササイズ	講義	瀧本
3	(7)(8)	運動療法の基礎知識: 筋力回復、筋力増強エクソサイズ	講義	瀧本
4	(7)(8)	運動療法の基礎知識: 神経筋協調性回復、向上エクソサイズ	講義	瀧本
5	(7)(8)	運動療法の基礎知識: 全身持久力回復、向上エクソサイズ	講義	瀧本
6	(7)(8)	運動療法の基礎知識: 身体組成管理に用いるエクソサイズ	講義	瀧本
7	(7)(8)	運動療法の基礎知識: 再発予防・外傷予防のためのスポーツ動作エクソサイズ	講義	瀧本
8	(7)(8)	物理療法の基礎知識: 物理療法概論	講義	瀧本
9	(7)(8)	物理療法の基礎知識: 温熱療法	講義	瀧本
10	(7)(8)	物理療法の基礎知識: 寒冷療法	講義	瀧本
11	(7)(8)	物理療法の基礎知識: 電気刺激療法	講義	瀧本
12	(7)(8)	物理療法の基礎知識: 超音波療法	講義	瀧本
13	(7)(8)	物理療法の基礎知識: 実習	実習	瀧本
14	(7)(8)	補装具使用に関する基礎知識: 補装具の使用目的、体幹装具	講義	瀧本
15	(7)(8)	補装具使用に関する基礎知識: 上肢・下肢装具、足底挿板 杖	講義 実習	瀧本

教科書: アスレチックトレーナー専門科目テキストワークブック
アスレチックリハビリテーション 文光堂

参考書: インターネットから注文書を印刷し、FAXで注文する。
日本体育協会ホームページ> 広報・出版・ビデオ> 指導者用テキスト・書籍
養成講習会テキストから
アスレチックトレーナー専門科目テキスト⑦

アスレチックリハビリテーション
を必ず購入すること。

科目名: **アスレティックリハビリテーションⅡ**

担当者: 神田潤一(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義|実習

授業概要: 外傷に必要な情報収集、評価測定的项目を挙げ、スポーツ復帰と再発予防に向けたメディカルリハビリテーションからアスレティックリハビリテーションのプログラム立案について学ぶ。外傷に応じた評価、訓練プログラムの立案、リスク管理を行える考え方・方法について学ぶ。

到達目標: 1)アスレティックリハビリテーションの考え方について理解し、説明できる。
(SBOs)

2)各疾患の病態を理解し、説明できる。各疾患のアスレティックリハビリテーションの過程と内容を理解し、必要な情報収集、機能評価、プログラミングができるようになる。スポーツ復帰の目安を明確にして、対象者に説明することができるようになる。

評価方法: 定期試験

準備学習・履修上の注意等: アスレティックリハビリテーションⅠを合格した者が受講可。
予習・復習を必ず行うこと。

オフィスアワー: 講義時間以外の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	アスレティックリハビリテーションの考え方	講義・実技	神田
2	2)	頸椎捻挫	講義・実技	神田
3	2)	腰部疾患	講義・実技	神田
4	2)	肩関節前方脱臼	講義・実技	神田
5	2)	投球障害肩	講義・実技	神田
6	2)	肘MCL損傷	講義・実技	神田
7	2)	肘内側・外側上顆炎、手関節捻挫	講義・実技	神田
8	2)	足関節捻挫	講義・実技	神田
9	2)	膝MCL損傷	講義・実技	神田
10	2)	膝ACL損傷	講義・実技	神田
11	2)	大腿肉離れ	講義・実技	神田
12	2)	扁平足障害	講義・実技	神田
13	2)	脛骨疲労骨折	講義・実技	神田
14	2)	鰻足炎	講義・実技	神田
15	2)	膝蓋大腿関節障害	講義・実技	神田

教科書: 1回目の講義にて説明。

参考書: 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑦予防とアスレティックリハビリテーション(日本体育協会)

科目名: **アスレティックリハビリテーションⅢ**

担当者: 尾崎勝博(JASA-AT) 常盤 直孝 (JASA-AT)三原 成人(JASA-AT)宮崎 茂明(JASA-AT)瀧本真由美(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: アスレティックリハビリテーションの施行にあたって不可欠な「競技種目特性」について学ぶ。」競技種目特性に応じたアスレティックリハビリテーション指導を理解し、有効な指導ができるようにすることをねらいとする。

到達目標: (SBOs) (1)アスレティックリハビリテーションの進行に必要な競技種目特性の捉え方を理解する。
(2)各競技種目で要する運動特性を理解する。
(3)動作の遂行に要する機能的な要素について理解する。
(4)各競技種目で要する体力的な特性を理解する。
(5)各競技種目の復帰の目標達成に要するアスレティックリハビリテーションの内容を理解する。
(6)具体的なアスレティックリハビリテーションのプログラミングの過程と方法を理解する。

評価方法: 選定競技から1種目を選んでレポート提出

準備学習・履修上の注意等: 選定競技種目に関しては「予防とコンディショニング」の授業と並行して行う。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	(1)	競技種目特性:動作	講義	瀧本
2	(1)	競技種目特性:体力	講義	瀧本
3	(1)~(6)	選定競技種目:陸上競技	講義	尾崎
4	(1)~(6)	選定競技種目:水泳	講義	三原
5	(1)~(6)	選定競技種目:サッカー	講義	常盤
6	(1)~(6)	選定競技種目:バスケットボール	講義	宮崎
7	(1)~(6)	選定競技種目:ハンドボール	講義	瀧本
8	(1)~(6)	選定競技種目:野球	講義	瀧本
9	(1)~(6)	選定競技種目:ラグビー	講義	瀧本
10	(1)~(6)	選定競技種目:剣道	講義	瀧本
11	(1)~(6)	選定競技種目:体操	講義	瀧本
12	(1)~(6)	選定競技種目:冬競技	講義	瀧本
13	(1)~(6)	学生担当種目	発表	瀧本
14	(1)~(6)	学生担当種目	発表	瀧本
15	(1)~(6)	まとめ	講義	瀧本

教科書: アスレチックトレーナー専門科目テキストワークブック
アスレチックリハビリテーション 文光堂

参考書: アスレチックトレーナー専門科目テキスト⑦
アスレチックリハビリテーション

科目名: **アスレティックトレーナー実習 I**

担当者: 瀧本真由美(福・ス)神田潤一(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 日本体育協会公認アスレティックトレーナー受験資格を得るためには、180時間(実時間)の実習を行わなくてはならない。日本体育協会が指定している実習の内容は①見学実習(30時間)、②検査・測定と評価実習、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習(30時間)、③スポーツ現場実習:ストレッチング、テーピング、応急処置等(30時間)、④アスレティックリハビリテーション実習:プログラム作成、実施等(30時間)、⑤総合実習(60時間)である。本実習は①見学実習(30時間)にあたる。見学実習によって、スポーツ現場の理解およびアスレティックトレーナーの必要性を確認する。

到達目標: (SBOs) 1)実習の目的や心構えを理解し、説明できる。
2)学生トレーナーとして実習を行い、アスレティックトレーナーに対する理解を深め、スポーツ現場で活躍できる実践力を身につける。見学実習を行うことによって、競技特性や、想定されるスポーツ外傷をまとめることができる。スポーツ現場およびアスレティックトレーナーの必要性について理解し、説明できる。

評価方法: レポートにより評価する。

準備学習・履修上の注意等: アスレティックトレーナー概論、運動器の解剖と機能 I・II、スポーツ外傷の基礎知識 I・II、健康管理とスポーツ医学、検査・測定と評価 I を合格した者が受講可。

解剖学、運動生理学、外傷と障害、健康管理、測定と評価の知識を部位別に関連づけて、ノート整理を見学前に行っておく。
その上で、見学を行うごとに、具体的に実施する際の、知識として足りない部分を確認し、自己学習を行う。次の実践に結び付く知識とするために、復習を怠らないこと。
自分の勉強とは別に、実習ノートを作り、毎回実習後提出する。
見学は一日2時間から3時間。
衣服は見学場所によって異なるため、そのつど確認すること。
実習時間30時間は必ず必要なため、欠席は難しい授業となるため、健康管理やその他の実習などが重ならないよう配慮が必要となるため、留意すること。

オフィスアワー: 見学実習前後

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	実習前ガイダンス	講義	瀧本・神田
2~14	1)2)	見学実習(30時間)	実習	瀧本・神田
15	1)2)	実習後のまとめ	講義	瀧本・神田

教科書: 特になし

参考書: アスレティックトレーナー専門科目テキスト①~⑨

科目名: **アスレティックトレーナー実習Ⅱ**

担当者: 瀧本真由美(福・ス)神田潤一(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 日本体育協会公認アスレティックトレーナー受験資格を得るためには、180時間(実時間)の実習を行わなくてはならない。日本体育協会が指定している実習の内容は①見学実習(30時間)、②検査・測定と評価実習、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習(30時間)、③スポーツ現場実習:ストレッチング、テーピング、応急処置等(30時間)、④アスレティックリハビリテーション実習:プログラム作成、実施等(30時間)、⑤総合実習(60時間)である。本実習は②検査・測定と評価実習、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習(30時間)にあたる。本実習によりスポーツ障害の検査・測定および評価を行い、アスレティックリハビリテーションプログラム作成ができるようになる。

到達目標: (SBOs) 1)実習の目的や心構えを理解し、説明できる。
2)学生トレーナーとして実習を行い、アスレティックトレーナーに対する理解を深め、スポーツ現場で活躍できる実践力を身につける。スポーツ障害の検査・測定および評価を行い、アスレティックリハビリテーションプログラム作成ができるようになる。

評価方法: 試験:50点、実技試験:50点(整形外科的テスト 20点、部位別総合評価 30点)

準備学習・履修上の注意等: アスレティックトレーナー概論、運動器の解剖と機能Ⅰ・Ⅱ、スポーツ外傷の基礎知識Ⅰ・Ⅱ、健康管理とスポーツ医学、検査・測定と評価Ⅰを合格した者が受講可。

解剖学、運動生理学、外傷と障害、健康管理、測定と評価の知識を部位別に関連づけて、授業を受ける。授業の他に、現場実習を450分以上を行う。それらを合わせて30時間は必ず必要なため、欠席は難しい授業となるため、健康管理やその他の実習などが重ならないよう配慮が必要となるため、留意すること。

オフィスアワー: 水曜

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	実習前ガイダンス	講義	瀧本・神田
2~14	1)2)	検査・測定と評価実習、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習(30時間)	実習	瀧本・神田
15	1)2)	実習後のまとめ	講義	瀧本・神田

教科書: 特になし

参考書: アスレチックトレーナー専門科目テキスト①②③④⑤

科目名: **アスレティックトレーナー実習Ⅲ**

担当者: 神田潤一(福・ス)、瀧本真由美(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 34 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 日本体育協会公認アスレティックトレーナー受験資格を得るためには、180時間(実時間)の実習を行わなくてはならない。日本体育協会が指定している実習の内容は①見学実習(30時間)、②検査・測定と評価実習、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習(30時間)、③スポーツ現場実習:ストレッチング、テーピング、応急処置等(30時間)、④アスレティックリハビリテーション実習:プログラム作成、実施等(30時間)、⑤総合実習(60時間)である。本実習は③スポーツ現場実習:ストレッチング、テーピング、応急処置等(30時間)にあたる。
本実習によりスポーツ現場において適切なストレッチング、テーピング、応急処置等ができるようになる。

到達目標: (SBOs) 1)実習の目的や心構えを理解し、説明できる。
2)学生トレーナーとして実習を行い、アスレティックトレーナーに対する理解を深め、スポーツ現場で活躍できる実践力を身につける。スポーツ現場において適切なストレッチング、テーピング、応急処置等ができるようになる。

評価方法: レポートにより評価する。

準備学習・履修上の注意等: アスレティックトレーナー実習Ⅰ・Ⅱを合格した者が受講可。

オフィスアワー: 講義時間以外の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	実習前ガイダンス	講義	神田
2 ~ 14	2)	スポーツ現場実習:ストレッチング、テーピング、応急処置等(30時間)	実習	神田・瀧本
15	2)	実習後のまとめ	講義	神田

教科書: 特になし

参考書: 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①~⑨(日本体育協会)

科目名: **アスレティックトレーナー実習Ⅳ**

担当者: 瀧本真由美(福・ス), 神田潤一(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 日本体育協会公認アスレティックトレーナー受験資格を得るためには、180時間(実時間)の実習を行わなくてはならない。日本体育協会が指定している実習の内容は①見学実習(30時間)、②検査・測定と評価実習、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習(30時間)、③スポーツ現場実習:ストレッチング、テーピング、応急処置等(30時間)、④アスレティックリハビリテーション実習:プログラム作成、実施等(30時間)、⑤総合実習(60時間)である。本実習は④アスレティックリハビリテーション実習:プログラム作成、実施等(30時間)にあたる。本実習によりスポーツ現場において適切なアスレティックリハビリテーションプログラム作成、実施ができるようになる。

到達目標: (SBOs) 1)実習の目的や心構えを理解し、説明できる。
2)学生トレーナーとして実習を行い、アスレティックトレーナーに対する理解を深め、スポーツ現場で活躍できる実践力を身につける。スポーツ現場において適切なアスレティックリハビリテーションプログラム作成、実施ができるようになる。

評価方法: 実習先の間接評価、最終評価(80点)、実習報告書(20点)

準備学習・履修上の注意等: アスレティックトレーナー実習Ⅰ・Ⅱを合格した者が受講可。

実習場所はかい外科整形外科 スポーツ・リハビリテーションクリニック(宮崎県日向市財光寺160)のスポーツ外来水曜日または金曜日の5時50分から8時30分の時間となる。
3名から4名のグループ作り、グループごとに、アスレティックトレーニングの実際を、甲斐史朗公認スポーツドクターと理学療法士の指導のもとで学習する。
クリニック外来の実習となるため、その時に来た患者が対象となる。
毎回実習報告書を次の週の水曜日10時までに提出(瀧本研究室ポスト)を厳守すること。
実習時間30時間は必ず必要のため、欠席は難しい授業となるため、健康管理やその他の実習などが重ならないよう配慮が必要となるため、留意すること。

オフィスアワー: 水曜

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	実習前ガイダンス	講義	瀧本・神田
2~14	1)2)	アスレティックリハビリテーション実習:プログラム作成、実施等(30時間)	実習	瀧本・神田
15	1)2)	実習後のまとめ	講義	瀧本・神田

教科書: 特になし

参考書: アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑥⑦

科目名: **アスレティックトレーナー実習V**

担当者: 神田 潤一(福・ス)、瀧本真由美(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 34 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 日本体育協会公認アスレティックトレーナー受験資格を得るためには、180時間(実時間)の実習を行わなくてはならない。日本体育協会が指定している実習の内容は①見学実習(30時間)、②検査・測定と評価実習、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習(30時間)、③スポーツ現場実習:ストレッチング、テーピング、応急処置等(30時間)、④アスレティックリハビリテーション実習:プログラム作成、実施等(30時間)、⑤総合実習(60時間)である。本実習は⑤総合実習(60時間)の前半にあたる。本実習によりスポーツ現場において主要なスポーツ障害に対して適切な評価を行い、アスレティックリハビリテーションを処方し、障害発生から競技復帰に至るすべてを指導することができるようになる。

到達目標: 1)実習の目的や心構えを理解し、説明できる。
(SBOs) 2)学生トレーナーとして実習を行い、アスレティックトレーナーに対する理解を深め、スポーツ現場で活躍できる実践力を身につける。スポーツ現場において主要なスポーツ障害に対して適切な評価を行い、アスレティックリハビリテーションを処方し、障害発生から競技復帰に至るすべてを指導することができるようになる。

評価方法: レポートにより評価する。

準備学習・履修上の注意等: アスレティックトレーナー実習Ⅲ・Ⅳを合格した者が受講可。

オフィスアワー: 講義時間以外の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	実習前ガイダンス	講義	神田
2	2)	総合実習:前半(30時間)	実習	神田・瀧本
3			実習	神田・瀧本
4			実習	神田・瀧本
5			実習	神田・瀧本
6			実習	神田・瀧本
7			実習	神田・瀧本
8			実習	神田・瀧本
9			実習	神田・瀧本
10			実習	神田・瀧本
11			実習	神田・瀧本
12			実習	神田・瀧本
13			実習	神田・瀧本
14			実習	神田・瀧本
15	2)	実習後のまとめ	講義	神田

教科書: 特になし

参考書: 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①~⑨(日本体育協会)

科目名: **アスレティックトレーナー実習VI**

担当者: 神田 潤一(福・ス)、瀧本真由美(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 34 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 日本体育協会公認アスレティックトレーナー受験資格を得るためには、180時間(実時間)の実習を行わなくてはならない。日本体育協会が指定している実習の内容は①見学実習(30時間)、②検査・測定と評価実習、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習(30時間)、③スポーツ現場実習:ストレッチング、テーピング、応急処置等(30時間)、④アスレティックリハビリテーション実習:プログラム作成、実施等(30時間)、⑤総合実習(60時間)である。本実習は⑤総合実習(60時間)の後半にあたる。本実習によりスポーツ現場において主要なスポーツ障害に対して適切な評価を行い、アスレティックリハビリテーションを処方し、障害発生から競技復帰に至るすべてを指導することができるようになる。

到達目標: 1)実習の目的や心構えを理解し、説明できる。
(SBOs) 2)学生トレーナーとして実習を行い、アスレティックトレーナーに対する理解を深め、スポーツ現場で活躍できる実践力を身につける。スポーツ現場において主要なスポーツ障害に対して適切な評価を行い、アスレティックリハビリテーションを処方し、障害発生から競技復帰に至るすべてを指導することができるようになる。

評価方法: レポートにより評価する。

準備学習・履修上の注意等: アスレティックトレーナー実習Vを合格した者が受講可。

オフィスアワー: 講義時間以外の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	実習前ガイダンス	講義	神田
2 ~ 14	2)	総合実習:後期(30時間)	実習	神田・瀧本
15	2)	実習後のまとめ	講義	神田

教科書: 特になし

参考書: 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①~⑨(日本体育協会)

科目名: 福祉関係法規

担当者: 山崎 知佳(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 福祉制度や福祉計画も法の支配のもとにあり、福祉に携わる以上、法律は切っても切り離せない。法律を学ぶということは、法律を知る・覚えるだけでなく、なぜこの規定があるのか、どのようなときに責任が生じるのかを法律の基本的な仕組み、用語の意味を理解し、実際の事件を紐解くことである。これからの福祉社会に主体的に向き合うために、これまでの講義で触れた社会保障関係の法律の基礎を知り、法律を理解し、つかう力を築く。そして、体系的理解を得、試験にも社会でも活用できる力の土台をつくる必要がある。また、保健医療も働き方も2035年を見据え、時代に応じ制度も変化していく。加えて、個人では網羅しがたいその他の法改正についても、変更に伴い何の違が生じたのかについての知識の習得を図る。

到達目標: (SBOs) 1)法の体系上の位置づけを説明できる。
2)法の趣旨を理解し、趣旨と条文とを結び付けて判断することができる。
3)当法の当事者を説明できる。
4)法の条件を説明できる。
5)法の当事者、関係者の対抗手段が説明できる。
6)法を解釈し、事例への当てはめができる。
7)法定義の内容が説明できる。
8)法改正の変更点について整理し、なぜ変更され、結果としてどう違いが出るかを説明できる。

評価方法: 授業中の小テストにより形成的評価を行う。毎回の学習態度(講義の出席・態度・小テスト等)を総合的に勘案し(50%)、学期末の単位認定レポート(50%)と共に、総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 授業の範囲の部分についての法律条文、各自がもつ社会福祉士参考書の該当箇所を復習しておくこと。授業の際には、該当法律が参照できるように手元に用意しておくこと。1回の授業につき、60分以上の予習・復習を行うこと。自主学習の際に、法律がでてきたときには、必ず原典の条文にあたり、読むこと。返却された小テストは、復習をし、同じ問題がでてきたときには回答ができるようにしておくこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~7)	法の体系、憲法原理	講義	山崎
2	2)~7)	民法(1)契約は誰がいつどこでどのようにするか? 消費者保護まで	講義	山崎
3	2)~7)	民法(2)権利擁護関連	講義	山崎
4	2)~7)	行政法(1)行政組織、行政行為、行財政の現状	講義	山崎
5	2)~7)	行政法(2)行政手続法、行政事件訴訟法	講義	山崎
6	2)~8)	行政法(3)行政不服審査法	講義	山崎
7	2)~8)	社会保障制度と近年の法の動き	講義	山崎
8	2)~8)	介護保険法改正	講義	山崎
9	2)~8)	高齢者福祉関係法の改正点と現状	講義	山崎
10	2)~8)	障害者福祉関係法の改正点と現状(1)	講義	山崎
11	2)~8)	障害者福祉関係法の改正点と現状(2)	講義	山崎
12	2)~8)	労働関係法規	講義	山崎
13	2)~8)	公的扶助関係法の改正点と現状(1)	講義	山崎
14	2)~8)	公的扶助関係法の改正点と現状(2)	講義	山崎
15	2)~8)	その他の改正点、予備	講義	山崎

教科書: 特になし

参考書: 新・社会福祉士養成講座1~21(中央法規)の参照部分

科目名: **発育発達と老化**

担当者: 松田 智香子(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: ヒトは誕生からその体形を大きく変容させ成熟に至り、加齢に伴い更に変化していく。これらの過程における身体の構造の変化や機能の変化の特徴を理解し、発達段階に応じたスポーツ支援や福祉の提供をおこなうための知識の修得を目指す。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)発育発達と老化について理解し、その概念が説明できる。
 - 2)身体発達の外観と一般経過について理解し、特徴を列挙できる。
 - 3)形態発育の経過について理解し、その特徴を列挙できる。
 - 4)身体組成の変化について理解し、特徴を説明できる。
 - 5)機能発達の外観について理解し、機能の発達の経過の特徴について列挙できる。
 - 6)身体の発育発達の評価方法を理解し、発育発達の予測について説明できる。
 - 7)発育発達段階からみた身体的特徴と心理的特徴が説明できる。
 - 8)発達に影響する要因について説明できる。
 - 9)発育発達段階からみた疾病と怪我についての留意点が説明できる。
 - 10)発育発達段階に応じたスポーツとプログラムの重要性について説明できる。
 - 11)老化の概念と一般経過が説明でき、老化による身体的変化の特徴が列挙できる。

評価方法: 期末試験(90%)、授業態度・課題への取り組み(10%)
原則、再試験は行わない。
なお、再試験を行う場合は、本試験で基準点以上の者のみ再試験を受験できる。
(基準点は授業時に説明する)

準備学習・履修上の注意等: 毎授業後に内容の整理を行うこと。また毎授業後に次回授業内容を提示するので事前準備を行うなど1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割が決定次第、掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	発育発達の概念	講義	松田
2	2)	身体発達の外観	講義	松田
3	3)	形態発育の一般的経過	講義	松田
4	3)	形態発育の特徴	講義	松田
5	4)	身体組成の変化	講義	松田
6	5)	機能発達の外観	講義	松田
7	5)	機能発達の経過	講義	松田
8	6)	身体の発育発達の評価方法	講義	松田
9	7)	発育発達の予測法	講義	松田
10	6)7)	身体的特徴と心理的特徴	講義	松田
11	8)	発達に影響する要因	講義	松田
12	9)	発育発達段階からみた疾病と怪我	講義	松田
13	10)	発育発達段階に応じたスポーツとプログラム	講義	松田
14	11)	老化の概念と一般経過	講義	松田
15	11)	老化の身体的変化	講義	松田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **社会福祉概論 I**

担当者: 横山 裕(福・福)

配当学科: スポーツ健康福祉学科 子ども保育福祉学科 臨床福祉学科臨床福祉専攻以外の専攻

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 社会変動に伴う生活問題や福祉ニーズの多様化・複雑化・高度化に対応して、社会福祉の守備範囲も拡大傾向にあり、また、保健・医療・更生保護・就労支援・住宅などの関連する社会サービスとの連携や調整が社会福祉士には求められているため、現代社会の変化を踏まえつつ、「社会福祉」「福祉政策」「社会政策」のそれぞれについて体系的に整理し、またその相互関係について基本的な考え方を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)社会福祉の視点と枠組みについて説明できる
2)社会の変化と福祉について説明できる
3)福祉と福祉政策について説明できる
4)社会政策と福祉政策について説明できる。
5)福祉の思想と哲学について説明できる。
6)福祉政策の発展過程について説明できる。
7)少子高齢化時代の福祉政策について説明できる。
8)福祉政策における必要と資源について説明できる

評価方法: 授業後におけるレポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学習への取り組み姿勢(レポートの提出状況、授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を7割として、包括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業ごとに、4時間の予習、復習の学習を行うこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計60時間の予習復習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割が確定後研究室に掲示する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	これから学んでいく各章における考察と記述の基準となる視点、枠組み、そして使用していく基本的な用語の意味を知る。	講義	横山
2	2)	福祉国家がどのような歴史的な背景の中で生まれ、どのような形をとるようになったかを考える。	講義・SGD	横山
3	2)	現在の日本の福祉を考えるうえで重要な社会変化について、「人口の変化」、「労働の変化」「家族の変化」という3つの観点から現代社会と福祉の相関性について考える。	講義	横山
4	3)	社会福祉を基軸に、福祉と福祉政策の意味と内容、隣接する施策の内容やそれらに通底する理念、価値を考える。	講義	横山
5	3)	福祉政策の意義や性格、社会福祉士に期待される役割と機能を知る。	講義	横山
6	4)	福祉は資源に対する再配分のあり方やその根拠に関して、市場とは異なる思想を持っている。市場の論理との対比で福祉の思想を理解する必要がある。市場の論理の特性を解明し、市場の論理を適用する際の限界性を考える。	講義・SGD	横山
7	4)	市場の論理と福祉の思想が調和的に実現する可能性とともに現代正義論のパイオニアである政治哲学者ロールズと潜在能力理論の経済哲学者のセンの考え方のもとに福祉思想の基盤とその実現方法に関する哲学的考え方を知る。	講義	横山
8	5)	社会福祉政策以外の社会政策の中で社会福祉士の仕事と関係してくる部分の福祉政策の内容を考える。	講義	横山
9	5)	社会政策の中の社会福祉政策の体系と、福祉政策の体系を知る。	講義	横山
10	6)	慈善事業から感化救済事業を経て、社会事業の形成に至るまでの歴史の認識と、人権や生活の考え方を知る。	講義	横山
11	6)	第二次世界大戦から1970年代初頭での福祉政策、すなわち戦後の改革と高度経済成長期の福祉政策の発展過程を知る。	講義	横山
12	7)	1970年代から1980年代は高度経済成長が終焉する中で少子高齢化への対応が課題とされた時期の「福祉システム」の調整がどのように行われたかを見る。	講義	横山
13	7)	1990年代と2000年代以降の福祉政策の「調整」・「改革」がどのように行われたかを見る。	講義	横山

14	8)	「必要」とは何か、さらに「必要」と「需要」の関係性の中での福祉政策のあり方を考える。	講義	横山
15	8)	「必要」が誰によってどのように判断・判定されるのか、また福祉政策の中で「必要」を充足する「資源」とは何かを考える。	講義	横山

教科書： 新・社会福祉士養成講座4「現代社会と福祉」第4版（社会福祉士養成講座編集委員会）中央法規出版株式会社【978-4-8058-3931-7】

参考書： 使用しない。

科目名: **社会福祉概論 I**

担当者: 横山 裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科臨床福祉専攻

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 社会変動に伴う生活問題や福祉ニーズの多様化・複雑化・高度化に対応して、社会福祉の守備範囲も拡大傾向にあり、また、保健・医療・更生保護・就労支援・住宅などの関連する社会サービスとの連携や調整が社会福祉士には求められているため、現代社会の変化を踏まえつつ、「社会福祉」「福祉政策」「社会政策」のそれぞれについて体系的に整理し、またその相互関係について基本的な考え方を習得する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 社会福祉の視点と枠組みについて説明できる
- 2) 社会の変化と福祉について説明できる
- 3) 福祉と福祉政策について説明できる
- 4) 社会政策と福祉政策について説明できる。
- 5) 福祉の思想と哲学について説明できる。
- 6) 福祉政策の発展過程について説明できる。
- 7) 少子高齢化時代の福祉政策について説明できる。
- 8) 福祉政策における必要と資源について説明できる

評価方法: 授業後におけるレポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学習への取り組み姿勢(レポートの提出状況、授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を7割として、包括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業ごとに、4時間の予習、復習の学習を行うこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計60時間の予習復習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割が確定後研究室に掲示する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	これから学んでいく各章における考察と記述の基準となる視点、枠組み、そして使用していく基本的な用語の意味を知る。	講義	横山
2	2)	福祉国家がどのような歴史的な背景の中で生まれ、どのような形をとるようになったかを考える。	講義・SGD	横山
3	2)	現在の日本の福祉を考えるうえで重要な社会変化について、「人口の変化」、「労働の変化」「家族の変化」という3つの観点から現代社会と福祉の相関性について考える。	講義	横山
4	3)	社会福祉を基軸に、福祉と福祉政策の意味と内容、隣接する施策の内容やそれらに通底する理念、価値を考える。	講義	横山
5	3)	福祉政策の意義や性格、社会福祉士に期待される役割と機能を知る。	講義	横山
6	4)	福祉は資源に対する再配分のあり方やその根拠に関して、市場とは異なる思想を持っている。市場の論理との対比で福祉の思想を理解する必要がある。市場の論理の特性を解明し、市場の論理を適用する際の限界性を考える。	講義・SGD	横山
7	4)	市場の論理と福祉の思想が調和的に実現する可能性とともに現代正義論のパイオニアである政治哲学者ロールズと潜在能力理論の経済哲学者のセンの考え方のもとに福祉思想の基盤とその実現方法に関する哲学的考え方を知る。	講義	横山
8	5)	社会福祉政策以外の社会政策の中で社会福祉士の仕事と関係してくる部分の福祉政策の内容を考える。	講義	横山
9	5)	社会政策の中の社会福祉政策の体系と、福祉政策の体系を知る。	講義	横山
10	6)	慈善事業から感化救済事業を経て、社会事業の形成に至るまでの歴史の認識と、人権や生活の考え方を知る。	講義	横山
11	6)	第二次世界大戦から1970年代初頭での福祉政策、すなわち戦後の改革と高度経済成長期の福祉政策の発展過程を知る。	講義	横山
12	7)	1970年代から1980年代は高度経済成長が終焉する中で少子高齢化への対応が課題とされた時期の「福祉システム」の調整がどのように行われたかを見る。	講義	横山
13	7)	1990年代と2000年代以降の福祉政策の「調整」・「改革」がどのように行われたかを見る。	講義	横山

14	8)	「必要」とは何か、さらに「必要」と「需要」の関係性の中での福祉政策のあり方を考える。	講義	横山
15	8)	「必要」が誰によってどのように判断・判定されるのか、また福祉政策の中で「必要」を充足する「資源」とは何かを考える。	講義	横山

教科書： 新・社会福祉士養成講座4「現代社会と福祉」第4版（社会福祉士養成講座編集委員会）中央法規出版株式会社【978-4-8058-3931-7】

参考書： 使用しない。

科目名: **社会福祉概論Ⅱ**

担当者: 横山 裕(福・福)

配当学科: スポーツ健康福祉学科 子ども保育福祉学科 臨床福祉学科臨床福祉専攻以外の専攻

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 社会変動に伴う生活問題や福祉ニーズの多様化・複雑化・高度化に対応して、社会福祉の守備範囲も拡大傾向にあり、また、保健・医療・更生保護・就労支援・住宅などの関連する社会サービスとの連携や調整が社会福祉士には求められているため、現代社会の変化を踏まえつつ、「社会福祉」「福祉政策」「社会政策」のそれぞれについて体系的に整理し、またその相互関係について基本的な考え方を習得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)福祉政策の理念・主体・手法の説明ができる
 - 2)福祉政策の関連領域の説明ができる
 - 3)社会福祉制度を体系的に整理し説明できる
 - 4)福祉サービスの提供について説明できる
 - 5)福祉サービスと援助活動についての技術・知識の基本を説明できる
 - 6)福祉政策の国際比較について事象を使って説明できる
 - 7)福祉政策の課題と展望について意見を述べる事ができる

評価方法: 授業後におけるレポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学修への取り組み姿勢(レポートの提出状況、授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を7割として、包括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 前期の社会福祉概論Ⅰを復習して授業に望むこと。ⅠとⅡは密接に関連するものであり独立したものではないことに留意すること。1回の授業ごとに、4時間の予習、復習の学習を行うこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計60時間の予習復習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割が確定後研究室に掲示する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	社会福祉の制度的な枠組みに根拠を与え、方向付けている政策についての理念や福祉政策資源の配分システムを知る。	講義	横山
2	1)	社会福祉の制度的な枠組みに根拠を与え方向付けている政策について、誰によって、どのように策定されるのか、その手法と政策決定過程・評価を考える。	講義・SGD	横山
3	2)	福祉政策の関連領域としての「人権擁護政策」「保健医療政策」「所得政策」と、福祉政策との連携の在り方を知る。	講義	横山
4	2)	福祉政策の関連領域としての「雇用政策」「教育政策」「住宅政策」「震災」と福祉政策との連携のあり方を知る。	講義	横山
5	3)	社会福祉のあり方を現実的に規程する社会福祉制度の構造を知る。	講義	横山
6	3)	社会福祉構造改革と社会福祉制度と福祉サービスの提供の方法を知る。	講義	横山
7	4)	社会福祉供給の仕組みと供給の過程・利用過程を見る。	講義	横山
8	4)	福祉サービスの提供過程と利用過程の修正などの福祉サービス提供における運営管理の機能を理解する。	講義	横山
9	5)	相談援助における基本的な原則・視点・考え方と方法を考える。	講義・SGD	横山
10	5)	社会福祉士が利用者本人あるいは家族への援助をおこなう際に地域の働きかけが必要になったときの働きかけ方を考える。	講義・SGD	横山
11	6)	欧米の福祉政策—スウェーデン、アメリカの高齢者福祉・介護について知る。	講義	横山
12	6)	欧米の福祉政策—ドイツ、イギリスの高齢者介護と日本の違いを知る。	講義	横山
13	6)	東アジア諸国の福祉政策—韓国、中国、台湾の福祉政策と東アジア福祉モデルの構築を考える。	講義・SGD	横山
14	7)	社会不安と福祉政策の課題の把握を踏まえた地域福祉の政策と計画の必要性、地域ケアシステムの構築を考える。	講義・SGD	横山

教科書: 新・社会福祉士養成講座4「現代社会と福祉」第4版(社会福祉士養成講座編集委員会)中央法規出版株式会社
【978-4-8058-3931-7】

参考書: 使用しない。

科目名: **社会福祉概論Ⅱ**

担当者: 横山 裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科臨床福祉専攻

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 社会変動に伴う生活問題や福祉ニーズの多様化・複雑化・高度化に対応して、社会福祉の守備範囲も拡大傾向にあり、また、保健・医療・更生保護・就労支援・住宅などの関連する社会サービスとの連携や調整が社会福祉士には求められているため、現代社会の変化を踏まえつつ、「社会福祉」「福祉政策」「社会政策」のそれぞれについて体系的に整理し、またその相互関係について基本的な考え方を習得する。

到達目標: (SBOs)
1)福祉政策の理念・主体・手法の説明ができる
2)福祉政策の関連領域の説明ができる
3)社会福祉制度を体系的に整理し説明できる
4)福祉サービスの提供について説明できる
5)福祉サービスと援助活動についての技術・知識の基本を説明できる
6)福祉政策の国際比較について事象を使って説明できる
7)福祉政策の課題と展望について意見を述べる事ができる

評価方法: 授業後におけるレポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学修への取り組み姿勢(レポートの提出状況、授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を7割として、包括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 前期の社会福祉概論Ⅰを復習して授業に望むこと。ⅠとⅡは密接に関連するものであり独立したものではないことに留意すること。1回の授業ごとに、4時間の予習、復習の学習を行うこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計60時間の予習復習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割が確定後研究室に掲示する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	社会福祉の制度的な枠組みに根拠を与え、方向付けている政策についての理念や福祉政策資源の配分システムを知る。	講義	横山
2	1)	社会福祉の制度的な枠組みに根拠を与え方向付けている政策について、誰によって、どのように策定されるのか、その手法と政策決定過程・評価を考える。	講義・SGD	横山
3	2)	福祉政策の関連領域としての「人権擁護政策」「保健医療政策」「所得政策」と、福祉政策との連携の在り方を知る。	講義	横山
4	2)	福祉政策の関連領域としての「雇用政策」「教育政策」「住宅政策」「震災」と福祉政策との連携のあり方を知る。	講義	横山
5	3)	社会福祉のあり方を現実的に規程する社会福祉制度の構造を知る。	講義	横山
6	3)	社会福祉構造改革と社会福祉制度と福祉サービスの提供の方法を知る。	講義	横山
7	4)	社会福祉供給の仕組みと供給の過程・利用過程を見る。	講義	横山
8	4)	福祉サービスの提供過程と利用過程の修正などの福祉サービス提供における運営管理の機能を理解する。	講義	横山
9	5)	相談援助における基本的な原則・視点・考え方と方法を考える。	講義・SGD	横山
10	5)	社会福祉士が利用者本人あるいは家族への援助をおこなう際に地域の働きかけが必要になったときの働きかけ方を考える。	講義・SGD	横山
11	6)	欧米の福祉政策―スウェーデン、アメリカの高齢者福祉・介護について知る。	講義	横山
12	6)	欧米の福祉政策―ドイツ、イギリスの高齢者介護と日本の違いを知る。	講義	横山
13	6)	東アジア諸国の福祉政策―韓国、中国、台湾の福祉政策と東アジア福祉モデルの構築を考える。	講義・SGD	横山
14	7)	社会不安と福祉政策の課題の把握を踏まえた地域福祉の政策と計画の必要性、地域ケアシステムの構築を考える。	講義・SGD	横山

教科書: 新・社会福祉士養成講座4「現代社会と福祉」第4版(社会福祉士養成講座編集委員会)中央法規出版株式会社
【978-4-8058-3931-7】

参考書: 使用しない。

科目名: **社会福祉援助技術総論 I**

担当者: 川崎 順子(福・ス)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 社会福祉援助技術総論 I では、社会福祉士と精神保健福祉士の役割と意義、相談援助の基本概念について理解することにより、相談援助職の基盤をつくることとなる。この基盤をつくるために、相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理を学び、社会福祉士に求められる基本的な知識を習得する。

到達目標: (SBOs)

- 1)社会福祉士の役割と意義を説明できる。
- 2)精神保健福祉士の役割と意義について説明できる。
- 3)相談援助の概念と範囲について概説できる。
- 4)社会福祉士及び介護福祉士法に基づく定義や義務が説明できる。
- 5)ソーシャルワークに係る各種国際定義の内容が概説できる。
- 6)相談援助の形成過程におけるソーシャルワークの源流から基礎確立期について概説できる。
- 7)相談援助の形成過程におけるソーシャルワークの発展期から統合化を概説できる。
- 8)相談援助の価値の重要性について説明できる。
- 9)相談援助の判断指針となる理念について概説できる。

評価方法: 毎時間後のレポートと適宜小テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を30%及び前期末試験70%として総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。具体的に、授業前の予習では、次回シラバスの授業内容について、テキストを読み、まとめておくこと。復習では、授業時に配布された資料・レジュメをファイリングし、再度テキストと照らし合わせ再確認を行うこと。適宜の小テストに備え、重要事項をノートにまとめておくこと。提示された課題に取り組むことなどである。

オフィスアワー: 時間割確定後研究室に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	現代社会に起きている地域での生活状況と相談援助の必要性を理解する	講義	川崎
2	1)2)	社会福祉士と精神保健福祉士の位置づけと相談援助の専門職に求められる専門性を理解する	講義	川崎
3	3)4)5)	ソーシャルワークの定義とソーシャルワークの目的、実践活動の状況を知る	講義	川崎
4	3)4)5)	ソーシャルワークを構成する要素としてのクライアントシステム、ニーズ、ソーシャルワーカー、社会資源・サービス等を知る	講義	川崎
5	6)	ソーシャルワークの歴史的展開におけるCOS活動やセツルメント活動状況を理解する	講義	川崎
6	6)7)	ソーシャルワークの基礎確立期におけるケースワーク~グループワークの発展過程を知る	講義	川崎
7	6)7)	ソーシャルワークの発展期における診断主義派や機能主義派の内容を知る	講義	川崎
8	6)7)	ソーシャルワークの展開期におけるソーシャルワークのモデルやアプローチ等の理論や実践モデルを理解する	講義	川崎
9	6)7)	ソーシャルワークの展開期におけるソーシャルワークのモデルやアプローチ等の理論や実践モデルを理解する	講義	川崎
10	8)	ソーシャルワークの統合化の動向、ジェネラリストアプローチの成立からジェネラリストソーシャルワークへの流れを理解する	講義	川崎
11	8)	ソーシャルワーク実践と価値を考える	講義	川崎
12	8)9)	ソーシャルワークの実践における権利擁護の視点と支援のあり方を考える	講義	川崎
13	8)9)	ソーシャルワーク実践の理念「クライアントの自己決定」「自立支援」を理解する	講義	川崎
14	8)9)	ソーシャルワーク実践の理念「エンパワメント」「ストレングス視点」を理解する	講義	川崎
15	8)9)	ソーシャルワーク実践の理念「地域生活支援」「ノーマライゼーション」を理解する	講義	川崎
		ソーシャルワーク実践の理念「ソーシャルインクルージョン」を理解する		

教科書: 新・社会福祉士養成講座6 相談援助の基盤と専門職 第3版 (社会福祉士養成講座編集委員会 編集) 中央法規【978-4-8058-5102-9】

参考書： 使用しない。

科目名: **社会福祉援助技術総論Ⅱ**

担当者: 川崎 順子(福・ス)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 社会福祉援助技術総論Ⅱでは、相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理を学ぶとともに、総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能を理解し、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる基本的な知識を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)相談援助に係る専門職の概念と範囲について概説できる。
2)専門職倫理の必要性和倫理的ジレンマにおける判断について説明できる。
3)総合的かつ包括的な相談援助のあり方について概説できる。
4)総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能について説明できる。
5)総合的かつ包括的な援助と他職種連携の意義と内容を説明できる。

評価方法: 毎時間後のレポートと適宜小テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を30%及び前期末試験70%として総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。具体的には、授業前の予習では、次回シラバスの授業内容について、テキストを読み、まとめておくこと。復習では、授業時に配布された資料・レジュメをファイリングし、再度テキストと照らし合わせ再確認を行うこと。適宜の小テストに備え、重要事項をノートにまとめておくこと。提示された課題に取り組むことなどである。

オフィスアワー: 時間割確定後研究室に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	相談援助にかかる専門職としての成立条件と専門職能団体の活動状況を知る	講義	川崎
2	1)	相談援助にかかる社会福祉関係分野(福祉行政)における専門職の職種と職場、多様な分野で活躍するソーシャルワーカーの実際を理解する	講義	川崎
3	1)	相談援助にかかる社会福祉関係分野(民間施設・組織)における専門職の職種と職場、相談援助の業務範囲を知る	講義	川崎
4	1)	諸外国(イギリス・アメリカ・スウェーデン)におけるソーシャルワーカーの位置づけと日本におけるソーシャルワーカーとの相違を理解する	講義	川崎
5	2)	ソーシャルワーカーに求められる専門職倫理の必要性を考える	講義	川崎
6	2)	倫理綱領の意義、全米ソーシャルワーカー協会の倫理綱領並びに日本社会福祉士会の倫理綱領・行動規範を知る	講義	川崎
7	2)	ソーシャルワーク実践における倫理的ジレンマの内容を考える	講義・SGD	川崎
8	2)	ソーシャルワーク実践における倫理的ジレンマの事例による倫理的判断の過程と倫理的判断を考える	講義	川崎
9	3)	ソーシャルワークを実践における援助の方向性として求められている「総合的かつ包括的な相談援助」の動向と背景を知る	講義	川崎
10	3)	地域を基盤としたソーシャルワークの基本的視座と生活の場で援助を展開していく実践のあり方考える	講義	川崎
11	3)	地域を基盤としたソーシャルワークの基本的な内容、生活の場で援助を展開していく実践のあり方考える	講義	川崎
12	3)4)5)	地域を基盤としたソーシャルワークを展開していくためのジェネラリストの視点とチームアプローチの意義と内容を理解する	講義	川崎
13	3)4)5)	地域を基盤としたソーシャルワークを展開していくための専門的機能(予防機能・新しいニーズへの対応機能)を理解する	講義	川崎
14	3)4)5)	地域を基盤としたソーシャルワークを展開していくための専門的機能(総合的支援機能・権利擁護機能・社会資源開発機能)を理解する	講義	川崎
15	1)2)3)4)5)	ソーシャルワーク実践における専門職の役割と会福祉士・精神保健福祉士に求められる専門性を考える	講義	川崎

教科書: 新・社会福祉士養成講座6 相談援助の基盤と専門職 第3版 (編集 社会福祉士養成講座編集委員会) 中央法規【978-4-8058-5102-9】

参考書： 使用しない。

科目名: **社会保障論 I**

担当者: 山崎 知佳(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 社会保障制度は、私たちの安心と生活の安定を守るセーフティネットであるといわれる。少子高齢化、血縁・地縁が希薄化する中残った職縁も雇用関係の変化により確固たるものではなくなった現在において、社会保障制度の在り方が問われている。即ち、日本はどのような社会を目指すのか、日本が目指す社会の中で社会保障にどのような機能を担わせるのかを国民一人ひとりが自身の問題として考えるために必要がある。また、福祉の仕事を円滑かつ適切に遂行するためにも、知識を正確に身につけ、使いこなす必要がある。バックグラウンドの異なる人をどう支えるか、総合的・包括的に個別化したサービス提供を行うためにも、そして、保健・医療・福祉等の関係者との連絡・調整を行うためにも、社会保障制度の習得を図る。

到達目標: (SBOs) 1) 社会保障の理念と機能を説明できる。
2) 社会保障発達の歴史、及びそこに伏流する思想・哲学についても理解し、その経緯を説明できる。
3) 社会保障制度の体系、仕組みを把握し、その構造について説明できる。
4) 社会保障費用に関する統計を読み、費用規模、部分別内訳、財源確保状況等について、また社会保障制度の経済における関係、影響について説明できる。
5) 日本における公的年金制度について、体系・各制度の給付、負担の概要について説明できる。
6) 日本における医療保険制度の沿革、各保険の目的・対象・保険者・給付・費用負担について説明できる。

評価方法: 授業中の小テストにより形成的評価を行う。毎回の学習態度(講義の出席・態度・小テスト等)を総合的に勘案し、学期末の単位認定試験と共に、総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 授業該当箇所の教科書を読み、予習しておくこと。
授業の範囲の部分についての法律条文、各自がもつ教科書、社会福祉士参考書の該当箇所を復習しておくこと。1回の授業につき、60分以上の予習・復習を行うこと。返却された小テストは、復習をし、同じ問題がでたときには回答ができるようにしておくこと
社会情勢と密接な社会保障制度であるため、新聞・時事ニュース等を読読しておくこと

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	社会保障のイントロダクション、私たちの生活と社会保障	講義	山崎
2	1)	社会保障の理念と機能(憲法との関係、定義と目的)	講義	山崎
3	2)	欧米における社会保障の歴史的展開(社会保障の源流から発展)	講義	山崎
4	2)	日本における社会保障の歴史的展開	講義	山崎
5	3)	社会保障の制度体系	講義	山崎
6	3)	社会保障制度(社会保険・社会扶助)の構造	講義	山崎
7	4)	社会保障給付費の推移、内訳、比較	講義	山崎
8	4)	社会保障の財源、経済との関係	講義	山崎
9	5)	年金保険制度の概要、沿革	講義	山崎
10	5)	国民年金の適用、種類、費用負担等、厚生年金との比較	講義	山崎
11	5)	共済年金、年金保険制度をめぐる動向	講義	山崎
12	6)	医療保険制度の沿革と概要	講義	山崎
13	6)	健康保険と共済保険、国民健康保険制度(1)	講義	山崎
14	6)	国民健康保険制度(2)	講義	山崎
15	6)	後期高齢者医療制度、国民医療費、医療をめぐる動向	講義	山崎

教科書: 新・社会福祉士養成講座 社会保障[第5版](社会福祉士養成講座編集委員会)中央法規出版株式会社【978-4805853009】

参考書: 特に指定しない。

科目名: **社会保障論Ⅱ**

担当者: 山崎 知佳 (非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 社会保障制度は、私たちの安心と生活の安定を守るセーフティネットであるといわれる。少子高齢化、血縁・地縁が希薄化する中残った職縁も雇用関係の変化により確固たるものではなくなった現在において、社会保障制度の在り方が問われている。即ち、日本はどのような社会を目指すのか、日本が目指す社会の中で社会保障にどのような機能を担わせるのかを国民一人ひとりが自身の問題として考えるために必要がある。また、福祉の仕事を円滑かつ適切に遂行するためにも、知識を正確に身につけ、使いこなす必要がある。バックグラウンドの異なる人をどう支えるか、総合的・包括的に個別化したサービス提供を行うためにも、そして、保健・医療・福祉等の関係者との連絡・調整を行うためにも、社会保障制度の習得を図る。

到達目標: (SBOs) 1)介護保険制度の沿革と制度の概要等が説明できる。
2)労働保険の沿革と目的・対象・保険給付等が説明できる。
3)社会福祉制度の各制度の概要と現状・ニーズについて説明できる。
4)社会保険と民間保険との違い、役割・機能・特徴について説明できる。
5)諸外国における社会保障制度について説明できる。
6)社会経済の変化の中における社会保障の課題、背景、多様化する福祉ニーズについて説明できる。

評価方法: 授業中の小テストにより形成的評価を行う。毎回の学習態度(講義の出席・態度・小テスト等)を総合的に勘案し、学期末の単位認定試験と共に、総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 授業該当箇所の教科書を読み、予習しておくこと。
授業の範囲の部分についての法律条文、各自がもつ教科書、社会福祉士参考書の該当箇所を復習しておくこと。1回の授業につき、60分以上の予習・復習を行うこと。返却された小テストは、復習をし、同じ問題がでたときには回答ができるようにしておくこと
社会情勢と密接な社会保障制度であるため、新聞・時事ニュース等を閲読しておくこと

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	高齢化社会における介護保険創設の経緯	講義	山崎
2	1)	介護保険制度の概要、動向	講義	山崎
3	2)	労働保険制度の沿革と概要	講義	山崎
4	2)	労働者災害補償保険の目的、対象、保険給付、財源構成、課題	講義	山崎
5	2)	雇用保険の目的、対象、保険給付、財源構成、課題	講義	山崎
6	3)	社会福祉制度の沿革と概要(体系、財政、基本法)	講義	山崎
7	3)	公的扶助、生活保護制度、障害者福祉	講義	山崎
8	3)	児童福祉、母子・父子・寡婦福祉	講義	山崎
9	3)	高齢者福祉(介護保険との関係、その他の高齢者福祉)、社会手当制度	講義	山崎
10	4)	社会保険と民間保険の関係、原理原則	講義	山崎
11	4)	民間保険の概要、企業年金等	講義	山崎
12	5)	諸外国における社会保障制度(1)	講義	山崎
13	5)	諸外国における社会保障制度(2)	講義	山崎
14	6)	日本の現状:少子高齢化	講義	山崎
15	6)	労働市場の変化と社会保障	講義	山崎

教科書: 新・社会福祉士養成講座 社会保障[第5版](社会福祉士養成講座編集委員会)中央法規出版株式会社【978-4805853009】

参考書: 特に指定しない。

科目名: **高齢者福祉と介護 I**

担当者: 山崎 きよ子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 日本社会においては20世紀から21世紀末にかけて、「高齢者」は時代のキーワードとなり、現在では高齢者にかかる制度改革が進行中である。そこで本講義においては、第1に高齢者の支援が高齢者理解の下に行うことができるように高齢者の特性ならびに高齢者福祉の歴史的展開を理解できること。第2に現代の高齢者問題について、その制度、政策と実践の動向を概観し、それらを通して望まれる高齢者福祉について理解を深める。

到達目標: (SBOs)

- 1)高齢者における生活の変化と適応・家族と社会関係・社会参加と生きがい・高齢者の安全と差別の側面から説明できる。
- 2)加齢に伴う身体機能の変化・加齢に伴う基礎的運動能力の変化の側面から説明できる。
- 3)高齢者へのイメージ・高齢者の心理的特徴ー精神機能の老化・老年期の心の病気の側面から説明できる。
- 4)生涯発達の意味・高齢者の人生と社会変動ーライフサイクルとライフコース・死とスピリチュアリティの側面から説明できる。
- 5)少子高齢社会の到来・少子高齢化の要因・人口高齢化の地域間格差・高齢者を取り巻く家族の状況の側面から説明できる。
- 6)高齢者の健康問題・高齢者の介護問題・高齢者の経済的問題・高齢者の生活意義の諸問題の側面から説明できる。
- 7)古代から近代までの高齢者福祉を説明できる。
- 8)第二次世界大戦後平成の高齢者保健福祉を学び、高齢者保健福祉施策の理念の変化を説明できる。
- 9)高齢者社会対策基本法の概要・高齢者社会対策大綱の概要を説明できる。
- 10)老人福祉法成立の経緯・老人福祉法の構成・総則の主な内容・福祉の措置・老人福祉計画・有料老人ホーム・その他の規定を説明できる。
- 11)成立の経緯・成立の背景・主な内容・「高齢者の医療の確保に関する法律」の今、そして、これからの課題を説明できる。
- 12)高齢者虐待防止法成立の背景・高齢者虐待防止法の枠組みと特徴・高齢者虐待防止法と虐待対応の実際を説明できる。
- 13)バリアフリー新法・高齢者の居住の安定確保に関する法律・権利擁護と成年後見制度・社会参加と障害学習を説明できる。
- 14)介護保険制度の全体像を説明できる。
- 15)介護保険制度の目的と理念を説明できる。

評価方法: 授業時間内に行う小テスト、受講態度、及び期末に行なう試験を総合的に勘案する。

準備学習・履修上の注意等: 授業前後に 関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。

オフィスアワー: 毎週12:30～13:30(水曜日除く)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【高齢者を社会的に理解する】 高齢者における生活の変化と適応・家族と社会関係・社会参加と生きがい・高齢者の安全と差別の側面から理解する。	講義	山崎
2	2)	【高齢者を身体的に理解する】 加齢に伴う身体機能の変化・加齢に伴う基礎的運動能力の変化の側面から理解する。	講義	山崎
3	3)	【高齢者を精神的に理解する】 高齢者へのイメージ・高齢者の心理的特徴ー精神機能の老化・老年期の心の病気の側面から理解する。	講義	山崎
4	4)	【高齢者を総合的に理解する】 生涯発達の意味・高齢者の人生と社会変動ーライフサイクルとライフコース・死とスピリチュアリティの側面から理解する。	講義	山崎
5	5)	【少子高齢社会と社会的問題を理解する】 少子高齢社会の到来・少子高齢化の要因・人口高齢化の地域間格差・高齢者を取り巻く家族の状況の側面から理解する。	講義	山崎
6	6)	【高齢者を取り巻く諸問題を学ぶ】 高齢者の健康問題・高齢者の介護問題・高齢者の経済的問題・高齢者の生活意義の諸問題の側面から理解する。	講義	山崎
7	7)	【高齢者福祉の起源と生成を学ぶ】 古代から近代までの高齢者福祉を学ぶ。	講義	山崎
8	8)	【高齢者保健福祉制度の発展を学ぶ】	講義	山崎

第二次世界大戦後平成の高齢者保健福祉を学び、高齢者保健福祉施策の理念の変化を学ぶ。

9	9)	【高齢者保健福祉制度・施策の体系を学ぶ】 高齢者社会対策基本法の概要・高齢者社会対策大綱の概要を学ぶ。	講義	山崎
10	10)	【老人福祉法を学ぶ】 老人福祉法成立の経緯・老人福祉法の構成・総則の主な内容・福祉の措置・老人福祉計画・有料老人ホーム・その他の規定を学ぶ。	講義	山崎
11	11)	【高齢者の医療の確保に関する法律を学ぶ】 成立の経緯・成立の背景・主な内容・「高齢者の医療の確保に関する法律」の今、そして、これからの課題を学ぶ。	講義	山崎
12	12)	【高齢者虐待防止法を学ぶ】 高齢者虐待防止法成立の背景・高齢者虐待防止法の枠組みと特徴・高齢者虐待防止法と虐待対応の実際を学ぶ。	講義	山崎
13	13)	【その他の関係法規を学ぶ】 バリアフリー新法・高齢者の居住の安定確保に関する法律・権利擁護と成年後見制度・社会参加と障害学習を学ぶ。	講義	山崎
14	14)	【介護保健制度の基本的枠組み・仕組みを学ぶ①】 介護保険制度の全体像を学ぶ。	講義	山崎
15	15)	【介護保健制度の基本的枠組み・仕組みを学ぶ②】 介護保険制度の目的と理念を学ぶ。	講義	山崎

教科書： 高齢者に対する支援と介護保険制度（社会福祉士養成講座編集委員会 編）中央法規【978-4-8058-5301-6】

参考書： 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: 高齢者福祉と介護Ⅱ

担当者: 山崎 きよ子(福・福)、稲田 弘子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(1年次)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 2000年に介護保険法が導入され、大幅な改革が行われた。さらに2006年より改定介護保険法が施行されている。この介護保険について制度・組織・役割を高齢者を支援する視点から学ぶ。さらに介護について社会福祉士の立場から理解しておくべきことを学ぶ。

到達目標: (SBOs)

- 1)介護支援専門員・訪問介護員・介護職員・その他の専門職を説明できる。
- 2)居住サービス・住宅改修サービス・居宅介護支援を説明できる。
- 3)施設サービスを説明できる。
- 4)介護予防の考え方・介護予防事業・介護予防サービスを説明できる。
- 5)国の役割・都道府県の役割・市町村の役割を説明できる。
- 6)指定サービス事業者の役割・国民健康保険団体連合会の説明できる。
- 7)地域包括支援センターの目的および設置主体・市町村の責務・地域包括支援センターの活動の実際を説明できる。
- 8)高齢者福祉への取り組みのあゆみ・高齢者福祉事業への社会福祉協議会の取り組みを説明できる。
- 9)高齢者理解の方法・個人、家族に対する相談援助・地域を活用した相談援助・ケアマネジメントを説明できる。
- 10)介護保険法における連携と実際を説明できる。
- 11)専門職の役割と実際を説明できる。
- 12)専門職による協働・専門職の倫理を説明できる。
- 13)介護の概念・理念・対象と介護予防の概念を説明できる。
- 14)介護過程の概要、展開技法を説明できる。
- 15)自立に向けた介護、自立支援、認知症ケアを説明できる。

評価方法: 前期、後期二回に定期試験及び出席時に毎回提出するレポート及び授業中随時行うミニテストを考慮して行う

準備学習・履修上の注意等: 授業前後に4時間の予習復習に時間を設けること

オフィスアワー: 毎週12:30～13:30(水曜日除く)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【介護保険サービスの体系①】 介護支援専門員・訪問介護員・介護職員・その他の専門職を学ぶ。	講義	山崎
2	2)	【介護保険サービスの体系②】 居住サービス・住宅改修サービス・居宅介護支援を学ぶ。	講義	山崎
3	3)	【介護保険サービスの体系③】 施設サービスを学ぶ。	講義	山崎
4	4)	【介護保険サービスの体系④】 介護予防の考え方・介護予防事業・介護予防サービスを学ぶ。	講義	山崎
5	5)	【高齢者を支援する組織と役割①】 国の役割・都道府県の役割・市町村の役割を学ぶ。	講義	山崎
6	6)	【高齢者を支援する組織と役割②】 指定サービス事業者の役割・国民健康保険団体連合会の役割。	講義	山崎
7	7)	【高齢者を支援する組織と役割③】 地域包括支援センターの目的および設置主体・市町村の責務・地域包括支援センターの活動の実際を学ぶ。	講義	山崎
8	8)	【高齢者を支援する組織と役割④】 高齢者福祉への取り組みのあゆみ・高齢者福祉事業への社会福祉協議会の取り組みを学ぶ。	講義	山崎
9	9)	【高齢者支援の方法と実際①】 高齢者理解の方法・個人、家族に対する相談援助・地域を活用した相談援助・ケアマネジメントを学ぶ。	講義	稲田
10	10)	【高齢者支援の方法と実際②】 介護保険法における連携と実際を学ぶ。	講義	稲田
11	11)	【高齢者を支援する専門職の役割と実際①】 専門職の役割と実際を学ぶ。	講義	稲田
12	12)	【高齢者を支援する専門職の役割と実際②】	講義	稲田

専門職による協働・専門職の倫理を学ぶ。

13	13)	【介護の概念や対象】 介護の概念・理念・対象と介護予防の概念を学ぶ。	講義	稲田
14	14)	【介護の過程】 介護過程の概要、展開技法を学ぶ。	講義	稲田
15	15)	【介護各論】 自立に向けた介護、自立支援、認知症ケアを学ぶ。	講義	稲田

教科書： 高齢者に対する支援と介護保険制度（社会福祉士養成講座編集委員会 編）中央法規【978-4-8058-5301-6】

参考書： 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: **障害児・者福祉論**

担当者: 鹿嶋 隆志(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 旧措置制度から契約制度の移行にともない、障害者福祉サービスの利用の仕組みは大きく変わり、サービス内容と質の充実が求められるようになった。障害者施策の対象者は高齢化に伴い増加しあらゆる年齢層にわたり障害の種類も多様化している。このような背景から、講義では障害者への支援の歴史を概観しながら、今日求められている障害者福祉の障害者総合支援法や各制度を理解する。そして、ソーシャルワーカーとして、制度を活用できることを目標とする。

到達目標: (SBOs) 1)障害者福祉制度の発展の歴史を理解する。
2)障害者福祉の理念を理解する。
3)国際的な障害の捉え方を知っている。
4)障害者の生活実態を理解する。
5)障害者自立支援法の仕組みと課題が説明できる。
6)障害者支援のためのソーシャルワーカーの専門性について理解する。
7)広義の障害者への支援制度、雇用、教育、保健・医療、居住環境や移動、社会参加、所得保障など生活者として必要とされる施策について理解する。
8)本講義を通じて、福祉課題を建設的に分析する態度を身につける。

評価方法: 期末試験の成績により評価する。途中確認テストはします。

準備学習・履修上の注意等: 予習・復習を行うこと。
講義中の飲食・私語は禁ずる。社会福祉士指定科目であるため、テキストを使用する(必携)。用語が想起できるようにとどまらず、国家試験に対応できるよう理念と施策の関連を理解してほしい。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)8)	【オリエンテーション:障害者福祉論で学ぶ事】 1.我が国の施策体系の中の障害者福祉の位置づけを知る。 2.障害をもつ人の生活を支える施策や方法の必要性について考える。 そして、障害者福祉と人権の関連について説明できる。	講義	鹿嶋
2	1)2)	【障害者福祉の歴史的変遷1】 ノーマライゼーションの取り組みについて学び、障害者福祉の基本的理念を理解する。 1.ノーマライゼーションの理念について説明できる。 2.施設処遇と在宅・地域福祉サービスを比較し、課題を例示できる。	講義	鹿嶋
3	1)2)	【障害者福祉の歴史的変遷2】 リハビリテーションの取り組みについて学び、障害者福祉の基本的理念を理解する。 1.リハビリテーションの理念について説明できる。 2.全人的な復権として、ADLの自立とQOLの向上について説明できる。 3.自立と自己決定権について説明できる。	講義	鹿嶋
4	3)	【国際的な障害の捉え方】 我が国の障害者施策の発展に影響を与えた国際障害年と国際障害概念について理解する。さらに国際生活機能分類について理解する。	講義	鹿嶋
5	1)4)	【我が国の障害者福祉制度の歴史1】 1.貧困施策から障害者施策が芽生えた経緯が説明できる。 2.制度の狭間の課題として重症心身障害児者問題、発達障害者問題について説明できる。 3.心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律について障害との関連から説明できる。	講義	鹿嶋
6	1)4)5)	【我が国の障害者福祉制度の歴史2】 1.障害者自立支援法の成立の経緯が説明できる。法の目的と児童福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律等との関係について説明できる。 2.制度の利用・認定の仕組み、費用負担の位置づけが説明できる。 3.権利擁護の事業(成年後見制度と日常生活自立支援事業)が説明できる。	講義	鹿嶋
7	4)	【我が国の障害者を取り巻く社会情勢と実態】 障害者の生活実態を理解する。 1.障害種別ごとの障害の特性や人数の推移が説明できる。 2.障害種別に応じた生活の実情とニーズが説明できる。	講義	鹿嶋

8	5)	【障害者自立支援法の制度1】 障害者自立支援法の制度、とくに自立支援給付としての介護給付と訓練等給付の事業に焦点をあて、1.サービス体系が説明できる。日中活動と夜間等の居住支援事業の関連が説明できる。2.自立支援医療、補装具について説明できる。3.市町村・都道府県・国・指定サービス事業者の役割が説明できる。	講義	鹿嶋
9	5)	【障害者自立支援法の制度2】 障害者自立支援法の制度、とくに地域生活支援事業に焦点をあて、1.地域生活支援事業における市町村と都道府県の役割を説明できる。2.事業内容が説明できる。3.障害者福祉サービスの利用を進める上でのサービス提供機関の役割とアドボガシーのための取り組みについて説明できる。	講義	鹿嶋
10	5)	【障害者自立支援法の制度3】 障害者自立支援法の制度利用を進める上での専門職の役割と関係機関の連携について、1.サービス管理責任者やサービス提供事業者と各事業サービスの関連を説明できる。2.相談支援事業と相談支援体制、サービス利用計画、地域自立支援協議会について説明できる。	講義	鹿嶋
11	6)	【障害者総合福祉法に向けての動向】 1.障害者自立支援法の課題が分かる。 2.障がい者制度改革推進会議の取り組みが分かる。	講義	鹿嶋
12	7)	【関連施策】障害児の教育制度の発展の歴史を理解する。 1.特別支援教育体制について説明できる。 2.インクルージョンの考え方が説明できる。	講義	鹿嶋
13	7)	【関連施策】障害児者、高齢者の移動・情報保障、社会参加の促進に関する施策を理解する。 1.バリアフリーの考え方について説明できる。 2.ユニバーサルデザインの考え方が説明できる。	講義	鹿嶋
14	7)	【関連施策】障害者の雇用に関する施策を理解する。 1.雇用義務制度について説明できる。 2.職業リハビリテーションの方法が説明できる。	講義	鹿嶋
15	1)-8)	【障害児者支援のための相談の方法】障害児者がサービスの利用を行う際の支援のプロセスや方法を実践できる。 1.エンパワーメントの視点を事例から説明できる。 2.ケアマネジメントの手順やアセスメントやモニタリングの際の着眼点を説明できる。	講義	鹿嶋

教科書： 障害者に対する支援と障害者自立支援制度第5版、中央法規【978-4-8058-5107-4】

参考書： 使用しない。

科目名: **児童・家庭福祉論**

担当者: 赤木 保吉(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 子ども家庭福祉の意義と理念を理解し、児童福祉法をはじめとした関係法規による子どもと家庭の福祉の保障の仕組みを理解することによって子ども家庭福祉の分野における福祉サービスの担い手としての資質と能力を獲得する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 子ども家庭福祉の理念とニーズを説明できる
- 2) 子どもと家庭の歴史と権利を理解できる
- 3) 子ども家庭福祉の現状とその概要を説明できる
- 4) 児童福祉法に規定する子ども家庭福祉対策を説明できる
- 5) ひとり親家庭対策を説明できる
- 6) 子ども貧困の防止の現状と対策を理解する
- 7) 障害のある子どもと家族への支援と制度を説明できる
- 8) 母子保健対策を説明できる
- 9) 保育対策の現状と課題を理解する
- 10) 児童虐待の防止対策を説明できる

評価方法: 出席率と授業への取組み姿勢、学期末テストで総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 教科書は必ず熟読し、復習すること。また新聞にもしっかり目を通して関係する記事を読み現実的な思考力や検討ができるようになること。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	子ども家庭福祉の理念とその原理	講義	赤木
2	2)	子ども家庭の権利保障とその発展	講義	赤木
3	1)3)	子ども・家庭の現状とそのニーズ	講義	赤木
4	2)4)	子ども家庭福祉の進展と子ども・子育て支援制度の創設	講義	赤木
5	4)	子ども家庭福祉の法体系	講義	赤木
6	3)4)	子ども家庭福祉の実施体制と財政	講義	赤木
7	2)4)	子ども家庭福祉の専門職	講義	赤木
8	2)4)	子ども家庭福祉と権利擁護	講義	赤木
9	6)8)	子どもの貧困の防止と母子保健	講義	赤木
10	7)8)	障害・難病のある子どもと家族への支援と児童健全育成	講義	赤木
11	9)	保育と地域子育て支援	講義	赤木
12	5)6)	ひとり親家庭の福祉	講義	赤木
13	1)7)	社会的養護と非行・情緒障害児への支援	講義	赤木
14	10)	児童虐待対策と子どもと家庭にかかわる女性福祉	講義	赤木
15	1)3)10)	子ども家庭福祉援助活動	講義	赤木

教科書: 社会福祉士養成講座編集委員会 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度(第6版) 中央法規出版【978-4-8058-5302-3】

参考書: 授業で参考文献を提示する。

科目名: **生活保護制度**

担当者: 日田 剛(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(2年)・スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 公的扶助分野は、現代社会が生み出す貧困・低所得問題に対処するための一連の制度的な取組を指し、市民生活を守る社会保障・社会福祉制度の最後のセーフティーネットとして位置づけられている。公的扶助の概念と範囲、意義と役割についての理解、「貧困」「低所得」などの問題の理解、公的扶助制度の主要制度である生活保護制度の仕組み、動向、福祉事務所を中心とした実施体制などの理解、相談活動実践事例など、自立支援プログラムの在り方などの理解を通じて、専門家としての知識の修得を図る。

到達目標: (SBOs) 1)公的扶助の概念、範囲、役割、機能について説明できる。
2)公的扶助の対象となる貧困・低所得とは何なのかなどを説明できる。
3)公的扶助の制度的沿革、わが国の貧困・低所得対策などが説明できる。
4)生活保護制度の仕組み(目的・原理・原則など)、不服審査制度など説明できる。
5)最低生活保障水準の考え方、生活扶助基準の算定方法など説明できる。
6)生活保護の受給人員、世帯の動向、各種扶助別人員数などの説明ができる。
7)低所得者対策としての生活福祉資金制度の内容を説明できる。
8)生活保護運営実施体制と関係機関、団体の役割などについて説明できる。
9)貧困・低所得者に対する相談援助活動(関連専門職・専門機関との連携など)を説明できる。
10)生活保護における自立支援プログラムについて説明ができる。

評価方法: ミニテスト、単位認定試験、授業態度などを総合的に判断して評価。

準備学習・履修上の注意等: 予習・復習を行うこと。
授業中にミニテストを実施する。社会福祉士国家資格試験の過去問を使用して実施する。生活保護は社会情勢との関連があるので、新聞などを読むこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	公的扶助の概念・制度概念としての公的扶助と社会保険・公的扶助の範囲・わが国における公的扶助のとらえ方・公的扶助の意義と役割・セーフティーネット機能・ナショナル・ミニマム	講義	日田
2	2)	貧困・低所得とは何か、貧困と社会的排除(絶対的貧困・相対的貧困、社会的排除としての貧困、わが国における貧困の研究、貧困・低所得者問題の現代的課題	講義	日田
3	3)	公的扶助制度の歴史: 海外の歴史、日本の歴史、貧困・低所得者対策の近年の動向	講義	日田
4	4)	生活保護法の目的・基本原理・原則、保護の種類と内容および方法、保護施設	講義	日田
5	4)	被保護者の権利および義務、不服申立と訴訟、生活保護の財源・予算	講義	日田
6	5)	最低生活保障水準の考え方、生活保護基準の考え方	講義	日田
7	5)	生活保護基準の実際、最低生活保障水準の実際	講義	日田
8	6)	生活保護の動向: 被保護人員・世帯数、保護の開始・廃止	講義	日田
9	6)	生活保護の動向: 医療扶助の動向。介護扶助の動向	講義	日田
10	7)	低所得者の概要: 生活福祉資金貸付制度	講義	日田
11	7)	低所得者の概要: 社会手当制度、ホームレス対策、その他の低所得者対策	講義	日田
12	8)	生活保護の運営実施体制と関係機関・団体: 国・都道府県・市町村の役割、福祉事務所の役割、福祉事務所専門職員の役割	講義	日田
13	9)	貧困・低所得者に対する相談援助活動: 生活保護制度における相談援助活動	講義	日田

14	9)	貧困・低所得者に対する相談援助活動:他機関・他職種との連携・協働	講義	日田
15	10)	生活保護における自立支援:自立とは何か	講義	外部講師

教科書: 新・社会福祉士養成講座 低所得者に対する支援と生活保護制度[第4版] (社会福祉士養成講座編集委員会) 中央法規出版株式会社【978-4-8058-5303-0】

歴史との対話—現代福祉の源流を探る—(西尾祐吾 塚口伍喜夫) 大学教育出版

参考書: 使用しない。

科目名: **保健医療サービス論**

担当者: 稲田 弘子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科3年生

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 日本の保健医療サービスは、「いつでもどこでも誰でも」が安心して医療を受けられる国民皆保険の医療保険制度によって成り立っている。
近年、疾病構造が変化し、また超高齢社会になり、ますます保健・医療・福祉の連携が重要になってきている。国の政策として、「地域包括ケアシステム」「チーム医療」が一つの柱となっている。保健・医療分野と連携できる社会福祉士となるために、医療保険制度の概要や基本的な知識、それに基づいた実践事例が理解できるための知識を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 保健医療制度の概要について説明することができる。
2) ステークホルダーの相互関係とそれぞれの構成要素について説明することができる。
3) 医療提供施設で働く専門職の役割や連携、基本姿勢について説明することができる。
4) 医療保険制度を取り巻く制度や新・改正について説明することができる。
5) 医療と福祉との連携と実践について説明することができる。

評価方法: 学期末の単位認定試験95%と学習への取り組み姿勢(授業態度、出欠遅刻状況等)5%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 社会福祉士国家試験受験希望者は必修。
毎授業ごとにテキストや配布するプリントをよみかえし、1回の授業につき120分をめぐりに自分で復習し、まとめること。また、返却された小テストを復習しておくこと。
定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。

オフィスアワー: 時間割が確定後、研究室前に提示します。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)4)	保健医療サービスの構成要素とステークホルダー、「サザエさん病気になる」の巻	講義	稲田
	2)	(医療保険の種類と対象、後期高齢者医療制度等)□		
2	4)	「サザエさん病気になる」の巻(保険料、診療報酬制度、一部負担金等)□	講義	稲田
3		「サザエさん病気になる」の巻(病院等の定義と種類、特定機能病院、地域医療支援	講義	稲田
	3)4)	病院、助産所等)□		
4	4)	「カツオ君家が大変だ」の巻(医療従事者、入院診療計画書)□	講義	稲田
5	4)	「カツオ君家が大変だ」の巻(入院時食事療養費、現金給付)□	講義	稲田
6	4)	「穴子さんガンになる」の巻(高額療養費)□	講義	稲田
7	4)	「穴子さんガンになる」の巻(保険外併用療養費、がん対策)□	講義	稲田
8	4)	「穴子さんガンになる」の巻(緩和ケア病棟、高額医療・高額介護合算療養費)□	講義	稲田
9		「波平の双子の兄 海平 脳梗塞で倒れる」の巻(救急医療体制、回復期リハビリ	講義	稲田
	3)	テーション病棟)□		
10		「波平の双子の兄 海平 脳梗塞で倒れる」の巻(医療ソーシャルワーカーの役割と業	講義	稲田
	5)	務内容)□		
11		「波平の双子の兄 海平 脳梗塞で倒れる」の巻(地域連携、多職種連携について)□	講義	稲田
	3)	「波平の双子の兄 海平 脳梗塞で倒れる」の巻(保健医療サービス専門職の基本		
12		的姿勢)□	講義	稲田
	4)	国民医療費について□		
13	4)	医療法と医師法について□	講義	稲田
14	1)-5)	医療保険制度と介護保険制度について、総括□	講義	稲田
15			講義	稲田

教科書: 「保健医療サービス」第5版(社会福祉士養成講座編集委員会 編)中央法規【978-4-8058-5432-7】

参考書: 使用しない。(必要時プリントを配布する)

科目名: **社会調査法**

担当者: 三宮 基裕(臨・臨)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・子ども保育福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: この教科では、社会調査の基礎を学ぶ。学期終了時には、量的研究と質的研究という二つの研究方法の概要、実際の手続き、それぞれの長所と短所を修得する。もう一歩進んで、知識としての社会調査を超えて、実際に簡単な調査を実施できるようになることが目的である。

到達目標: (SBOs)

- 1)量的研究と質的研究の違いを説明でき、また日本の統計制度(法)の概要を整理できる。
- 2)標本抽出と母集団との関係について理解し、無作為抽出法の利点を説明できる。
- 3)質問紙作成上の留意点について学び、既存のアンケート項目の問題点を指摘できる。
- 4)データ収集の様々な方法の長所と短所を列挙できる。
- 5)記述統計を理解し、単純集計・クロス集計ができる。
- 6)相関係数など2変数の関係について学び、現実の調査データに応用できる。
- 7)質的調査と量的調査の認識論について比較・説明できる。
- 8)質的調査の調査手法について学び、それぞれの特徴を説明できる。
- 9)逐語記録からコーディングへのプロセスを学び、質的調査のデータ化の手順を簡単な実例に基づいて実際にできる。
- 10)個人情報取り扱い方法、研究倫理について学び、それを説明できる。

評価方法: 受講態度と期末試験の成績を最終評価とします。

準備学習・履修上の注意等: 統計学が解っていないと内容の理解が厳しいです。基礎統計学レベルの知識は最低限必要です。基礎統計学や心理学研究法を履修積みの学生は、これらの科目内容と結び付けて学習すること。統計学未修了者は同時履修をすること。授業妨害(私語)をする学生は即刻退室を命じます。一回の授業で最低1時間は復習して下さい。

オフィスアワー: 研究室在室時は随時対応

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション、テキスト第1章 社会調査と社会福祉	講義	三宮
2	1)	社会調査の概要 テキスト第2章 意義、目的、対象、方法、統計法	講義	三宮
3	2)	量的調査1 テキスト第3章第1節 量的調査の特徴と種類	講義	三宮
4	3)	量的調査2 テキスト第3章第2節 調査票の作成と留意点 ワーディング、信頼性と妥当性	講義	三宮
5	3)4)	量的調査4 第3章第3節 調査票の配布と回収	講義	三宮
6	5)	量的調査5 第3章第4節 量的データの分析 尺度水準、集計、データの視覚化	講義	三宮
7	5)	量的調査6 第3章第4節 量的データの分析 1変量の記述統計	講義	三宮
8	5)	量的調査6 第3章第4節 量的データの分析 1変量の記述統計	講義	三宮
9	6)	量的調査7 第3章第4節 量的データの分析 相関係数など2変数の関係#1	講義	三宮
10	6)	量的調査8 第3章第4節 量的データの分析 相関係数など2変数の関係#2	講義	三宮
11	7)	質的調査1 第4章第1～3節 質的調査の特徴	講義	三宮
12	8)	質的調査2 第4章第4節 面接法(自由面接、構造化面接等)	講義	三宮
13	8)	質的調査3 第4章第5節 質的調査の実施、記録方法と注意事項	講義	三宮
14	9)	質的調査5 第4章第6節 質的データの整理と分析、逐語記録からコーディングへのプロセス、データ化の手順	講義	三宮
15	10)	質的調査6 第5章 社会調査の倫理(個人情報の扱い等)	講義	三宮

教科書: 新・社会福祉士養成講座5 社会調査の基礎 第3版 (社会福祉士養成講座編集委員会=編集) 中央法規出版【978-4-8058-3760-3】

参考書： 社会福祉士国家試験受験ワークブック(専門科目編)(社会福祉士国家試験受験ワークブック編集委員会＝編集)
中央法規出版※最新のもの

科目名: **社会福祉援助技術論 I**

担当者: 山崎 きよ子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 社会福祉士及び介護福祉士法の改正により、相談援助の内容が大きく変更した。法の第2条で「身体上若しくは精神上的の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障があるものの福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供するもの又は医師その他の保健医療サービスを提供するものその他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うこと」を「相談援助」と位置づけられたことにより相談援助の理論と方法について深く学ぶことを目的とする。

到達目標: (SBOs) 1)ソーシャルワーカーの具体的な事例、仕事からとらえたソーシャルワークの定義と枠組みを説明できる。
2)ソーシャルワークを構成する要素・職場・組織を説明できる。
3)ソーシャルワークの構造・ニーズを説明できる。
4)ソーシャルワークの機能を説明できる。
5)実践における人と環境・人にとっての環境の意味を説明できる。
6)人と環境の全体性、ソーシャルワーク論を説明できる。
7)援助関係の意義、形成プロセスに影響する要因を説明できる。
8)援助構造と援助関係、援助関係の質の自己覚知を説明できる。
9)相談援助の展開過程の流れ、ケース発見、受理面接を説明できる。
10)問題把握からニーズ確定まで、ニーズ確定から事前評価まで、事前評価から支援目標・目標設定までを説明できる。
11)経過観察、再アセスメントと支援の強化を説明できる。
12)支援の終結と効果測定・評価・アフターケア、予防的対応とサービス開発を説明できる。
13)アウトリーチの意義と目的を説明できる。
14)アウトリーチの方法と留意点を説明できる。

評価方法: 前期、後期二回に定期試験及び出席時に毎回提出するレポート及び授業中随時行うミニテストを考慮して行う。

準備学習・履修上の注意等: 授業前後に、関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。

オフィスアワー: 毎週12:30~13:30(水曜日除く)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1		【相談援助の理論と方法講義のオリエンテーション】	講義	山崎
2	1)	【相談援助とは①】 ソーシャルワーカーの具体的な事例、仕事からとらえたソーシャルワークの定義と枠組みを学ぶ。	講義	山崎
3	2)	【相談援助とは②】 ソーシャルワークを構成する要素・職場・組織を学ぶ。	講義	山崎
4	3)	【相談援助の構造と機能①】 ソーシャルワークの構造・ニーズを学ぶ。	講義	山崎
5	4)	【相談援助の構造と機能②】 ソーシャルワークの機能を学ぶ。	講義	山崎
6	5)	【人と環境の相互作用①】 実践における人と環境・人にとっての環境の意味を学ぶ。	講義	山崎
7	6)	【人と環境の相互作用②】 人と環境の全体性、ソーシャルワーク論を学ぶ。	講義	山崎
8	7)	【相談援助における援助関係①】 援助関係の意義、形成プロセスに影響する要因を学ぶ。	講義	山崎
9	8)	【相談援助における援助関係②】 援助構造と援助関係、援助関係の質の自己覚知を学ぶ。	講義	山崎
10	9)	【相談援助の展開過程 I ①】 相談援助の展開過程の流れ、ケース発見、受理面接を学ぶ。	講義	山崎
11	10)	【相談援助の展開過程 I ②】 問題把握からニーズ確定まで、ニーズ確定から事前評価まで、事前評価から支援目標・目標設定までを学ぶ。	講義	山崎

12	11)	【相談援助の展開過程Ⅱ①】 経過観察、再アセスメントと支援の強化を学ぶ。	講義	山崎
13	12)	【相談援助の展開過程Ⅱ②】 支援の終結と効果測定・評価・アフターケア、予防的対応とサービス開発を学ぶ。	講義	山崎
14	13)	【援助のためのアウトリーチの技術①】 アウトリーチの意義と目的を学ぶ。	講義	山崎
15	14)	【援助のためのアウトリーチの技術②】 アウトリーチの方法と留意点を学ぶ。	講義	山崎

教科書： 相談援助の理論と方法Ⅰ 第3版（社会福祉養成講座編集委員会）中央法規【978-4-8058-5103-6】

参考書： 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: **社会福祉援助技術論Ⅱ**

担当者: 山崎 きよ子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科、子ども保育福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 社会福祉士及び介護福祉士法の改正により、相談援助の内容が大きく変更した。法の第2条で「身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障があるものの福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供するもの又は医師その他の保健医療サービスを提供するものその他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うこと」を「相談援助」と位置づけられたことにより相談援助の理論と方法について深く学ぶことを目的とする。

到達目標: (SBOs)

- 1) 契約の意義と目的を説明できる。
- 2) 契約の方法と留意点を説明できる。
- 3) ソーシャルワークにおけるアセスメントの特定、援助的關係、面接を説明できる。
- 4) アセスメントで得るべき情報、面接で得た情報の使い方を説明できる。
- 5) 介入の意義と目的を説明できる。
- 6) 介入の方法と留意点を説明できる。
- 7) 経過観察、再アセスメントを説明できる。
- 8) 効果測定、評価とサービス開発を説明できる。
- 9) 相談援助における面接の目的、展開を説明できる。
- 10) 面接において用いる技術とコミュニケーション、面接の形態を説明できる。
- 11) 記録の意義とその活用目的、種類と活用を説明できる。
- 12) 記録の方法とIT化、技術の実際例と今後の説明できる。
- 13) 交渉の意義と目的、方法と留意点を説明できる。
- 14) プレゼンテーションの技術を説明できる。

評価方法: 前期、後期二回に定期試験及び出席時に毎回提出するレポート及び授業中随時行うミニテストを考慮して行う。

準備学習・履修上の注意等: 学生は授業前後に4時間の予習復習時間をもつこと

オフィスアワー: 毎週12:30～13:30(水曜日除く)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1		【相談援助の理論と方法講義のオリエンテーション】	講義	山崎
2	1)	【相談援助のための契約技術①】 契約の意義と目的を学ぶ。	講義	山崎
3	2)	【相談援助のための契約技術②】 契約の方法と留意点を学ぶ。	講義	山崎
4	3)	【相談援助のためのアセスメント技術①】 ソーシャルワークにおけるアセスメントの特定、援助的關係、面接を学ぶ。	講義	山崎
5	4)	【相談援助のためのアセスメント技術②】 アセスメントで得るべき情報、面接で得た情報の使い方を学ぶ。	講義	山崎
6	5)	【相談援助のための介入の技術①】 介入の意義と目的を学ぶ。	講義	山崎
7	6)	【相談援助のための介入の技術②】 介入の方法と留意点を学ぶ。	講義	山崎
8	7)	【相談援助のための経過観察(モニタリング)、再アセスメント、効果測定、評価の技術①】 経過観察、再アセスメントを学ぶ。	講義	山崎
9	8)	【相談援助のための経過観察(モニタリング)、再アセスメント、効果測定、評価の技術②】 効果測定、評価とサービス開発を学ぶ。	講義	山崎
10	9)	【相談援助のための面接の技術①】 相談援助における面接の目的、展開を学ぶ。	講義	山崎
11	10)	【相談援助のための面接の技術②】 面接において用いる技術とコミュニケーション、面接の形態を学ぶ。	講義	山崎
12	11)	【相談援助のための記録の技術①】 記録の意義とその活用目的、種類と活用を学ぶ。	講義	山崎

13	12)	【相談援助のための記録の技術②】 記録の方法とIT化、技術の実際例と今後の課題。	講義	山崎
14	13)	【相談援助のための交渉の技術①】 交渉の意義と目的、方法と留意点を学ぶ。	講義	山崎
15	14)	【相談援助のための交渉の技術②】 プレゼンテーションの技術を学ぶ。	講義	山崎

教科書： 相談援助の理論と方法 I 第3版（社会福祉養成講座編集委員会）中央法規【978-4-8058-5103-6】

参考書： 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: **社会福祉援助技術論Ⅲ**

担当者: 鹿嶋 隆志(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科 (3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 相談援助の過程を理解し、個人、家族、小集団・組織、地域社会といったクライアント・シスエムに対して、社会福祉士がソーシャルワーカーとしていかに対応していくかの実践力を有する力を身につけるために、福祉課題を抱えた者からの相談への対応や、これを受けて総合的かつ包括的にサービスを提供することの必要性及びその具体的方法にかかわる知識・技術を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 相談援助における対象について説明できる。
2) ケースマネジメントの方法について説明できる。
3) グループを活用した相談援助の方法について説明できる。
4) コーディネーションとネットワーキングの方法について説明できる。
5) 相談援助における社会資源の活用・調整・開発の方法について説明できる。
6) 相談援助における個人情報保護について説明できる。
7) 相談援助におけるICTの活用について説明できる。

評価方法: 授業後におけるレポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学習への取り組み姿勢(レポートの提出状況、授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を7割として、包括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 社会福祉援助技術Ⅰ・Ⅱを十分復習して授業に臨むこと。
1回の授業ごとに、4時間の予習、復習の学習を行うこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計60時間の予習復習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割が確定後研究室に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	社会福祉援助活動の概念と定義を理解する。	講義	鹿嶋
2	1)	相談援助の対象領域である個人、家族、集団、地域をどう捉えるかを考える。	講義・SGD	鹿嶋
3	2)	ケースマネジメントの基本とケースマネジメントの展開過程を見る。	講義	鹿嶋
4	2)	ケースマネジメントにおけるアセスメントの特徴とその方法を理解する。	講義	鹿嶋
5	2)	ケアプランの作成・実施の特徴を知る。	講義・SGD	鹿嶋
6	2)	ケースマネジメントとソーシャルワークの関係を考える。	講義・SGD	鹿嶋
7	3)	グループワークの意義やグループを活用した相談援助の展開過程を知る。	講義	鹿嶋
8	3)	自助グループを活用した相談援助のあり方を考える。	講義・SGD	鹿嶋
9	4)	コーディネーションの目的、意義、方法、技術を理解する。	講義	鹿嶋
10	4)	コーディネーションが有効に機能するための連携や協働の基盤となる結びつき方であるネットワーキングの意義、目的、方法を理解する。	講義・SGD	鹿嶋
11	4)	地域福祉推進のための総合的なネットワークの形成とシステム化を考える。	講義・SGD	鹿嶋
12	5)	社会資源の活用、調整、開発の意義や目的、方法を知る。	講義・SGD	鹿嶋
13	5)	クライアントの権利を擁護していくソーシャルアクションの方法を知る。	講義	鹿嶋
14	6)	相談援助における個人情報の保護の基礎的知識を理解する。	講義	鹿嶋
15	7)	相談援助における情報通信技術(ICT)の活用を知る。	講義	鹿嶋

教科書: 新・社会福祉士養成講座「相談援助の理論と方法Ⅱ」第3版(社会福祉士養成講座編集委員会)中央法規出版株式会社【978-4-8058-5104-3】

参考書: 使用しない。

科目名: **社会福祉援助技術論Ⅳ**

担当者: 鹿嶋 隆志(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 社会福祉援助技術論Ⅰ・Ⅱを踏まえ、相談援助の過程を理解し、個人、家族、小集団・組織、地域社会といったクライアント・システムに対して、社会福祉士がソーシャルワーカーとしていかに対応していくかの実践力を有する力を身につける。具体的には、福祉課題を抱えた者からの相談への対応や、これを受けて総合的かつ包括的にサービスを提供することの必要性及びその具体的方法にかかわる知識の習得に重点を置いて進める。

到達目標: (SBOs) 1)「実践モデル」と「アプローチ」をそれぞれ「課題認識への類型」と「課題解決への方法」として峻別理解する。
2)「心理社会的」「機能的」「問題解決」「課題中心」「危機介入」「行動変容」の6つのアプローチについて理解し、特性と限界を学ぶ。
3)「エンパワメント」「ナラティブ」「実存主義」「フェミニスト」「解決志向」の5つのアプローチについて理解し、特性と限界を学ぶ。
4)スーパービジョンとコンサルテーションの重要性について理解し、相談援助過程生じる様々な困難を克服し、専門職としてより高いレベルで実践できるようにする。
5)ケースカンファレンスの技法及び価値を通じて、クライアントの生活を豊かにするとともに専門職として成長できることを学ぶ。
6)相談援助における個人情報保護の基礎的な理解を図る。
7)相談援助におけるICT(情報通信技術)の活用に対する理解を深める。
8)事例研究・事例分析に対する理解を深める。

評価方法: 筆記試験70%、課題の提出状況及び授業態度30%として総合的に判断して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 各講義毎に事例を用いるので事前に予習を行い講義に臨み、復習も行うこと。緊張感を持って、積極的に講義に参加すること。

オフィスアワー: 講義時間前後の空時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【相談援助総論(イントロダクション)】 ソーシャルワークにおけるソーシャルワーカーのミッションとパッションについて理解する。 ～ケアマネジメント・グループワーク・ネットワーキング～	講義	鹿嶋
2	1)2)	【ジネラリスト・ソーシャルワーカーとスペシャリスト・ソーシャルワーカーでの実践モデルとアプローチ】 ～治療モデル・生活モデル・ストレスモデルの特徴を理解する～	講義・SGD	鹿嶋
3	1)2)	【事例を通じて展開する(否定・認知・受容の段階別におけるインテーク～終結まで)】 ～治療モデル・生活モデル・ストレスモデル～	SGD	鹿嶋
4	1)2)4)	【さまざまな実践モデルとアプローチ①(心理職と福祉職の相違)】 ～必ずしも治療を目的とはしない日本のソーシャルワーカーその経緯～	講義	鹿嶋
5	1)2)3)	【さまざまな実践モデルとアプローチ②(要支援者の持っている本来の力を引き出すアプローチ)】 ～エンパワメントアプローチ・ナラティブアプローチ・その他のポストモダンアプローチ～	講義	鹿嶋
6	1)2)3)	【さまざまな実践モデルとアプローチ③(模擬相談)】 ～余命宣告された不安を語ることで焦点化し、どんな支援が必要かを考える～	SGD	鹿嶋
7	1)2)3)	【さまざまな実践モデルとアプローチ④(自己のふりかえり)】 ～「山で最後を迎えたい(ビデオ)」を鑑賞し、自分にあつたアプローチを考察し、言語化する～	SGD	鹿嶋
8	4)	【スーパービジョンとコンサルテーション(違いと必要性)】 ～実習・新人・中堅・ベテランでスーパービジョンとコンサルテーションの重要性について～	講義	鹿嶋
9	5)	【ケースカンファレンス①(その意義と目的)】 ～事例提供、ケース会議の重要性～	講義	鹿嶋
10	5)	【ケースカンファレンス②(模擬カンファレンス)】 ～それぞれの立場でよりよいカンファレンスのあり方について感じてみる～	ロールプレイ	鹿嶋
11	6)7)	【個人情報の取り扱いについて】 ～相談援助における個人情報保護の課題～ 【相談援助における情報通信技術(ICT)の活用】 ～相談援助における情報通信技術(ICT)活用の留意点～	講義	鹿嶋
12	8)	【事例研究・事例分析(事例研究及び事例分析の目的と意義)】	講義	鹿嶋

～実践の科学科の必要性について～

- | | | | |
|----|---|-----|----|
| 13 | 1)2)3)5)8) 【援助の実際①(一人暮らしの認知症のある事例)】
～地域包括支援センターとして～ | SGD | 鹿嶋 |
| 14 | 1)2)3)4)5)7)8) 【援助の実際②(触法障害者の地域移行について)】
～事例を読み込む～ | 講義 | 鹿嶋 |
| 15 | 1)2)3)5)8) 【援助の実際③(当事者の声を聴く)】
～ゲストスピーカーを招いて実際の生活暦を語ってもらい、当事者側が
求める支援とは何かについて考察する～ | SGD | 鹿嶋 |

教科書: 新・社会福祉士養成講座「相談援助の理論と方法Ⅱ」第3版(社会福祉士養成講座編集委員会)中央法規出版株式会社【978-4-8058-5104-3】

参考書: 使用しない。

科目名: **社会福祉経営論**

担当者: 山崎 睦男(福・子)

配当学科: 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 新たな時代における福祉サービスの提供組織とその新たな経営モデルの必要性が叫ばれる中で、社会福祉士は、従来からの相談援助を中心とした職務から、幅広く福祉サービス全体の運営管理にかかわっていくことが期待され、そのために、福祉サービスの組織と経営のあり方を理解し、新たな社会福祉実践の視点の獲得と関連する知識・技術を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)福祉サービスにおける組織と経営について説明できる。
2)福祉サービスにかかわる組織や団体について説明できる。
3)福祉サービスの組織と経営の基礎理論について説明できる。
4)福祉サービスの管理運営の方法—サービス管理について説明できる。
5)福祉サービスの管理運営の方法—人事管理と労務管理について説明できる。
6)福祉サービスの管理運営の方法—会計管理と財務管理について説明できる。
7)福祉サービスの管理運営の方法—情報管理について説明できる。

評価方法: 授業後におけるレポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学習への取り組み姿勢(レポートの提出状況、授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を7割として、包括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業ごとに、4時間の予習、復習の学習を行うこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計60時間の予習復習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割が確定後研究室に掲示する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	福祉サービスにおける組織と経営を知る。	講義	山崎
2	2)	社会福祉に関連する法人を理解する。	講義	山崎
3	2)	社会福祉法人、特定非営利活動法人の役割や現状を考える。	講義・SGD	山崎
4	2)	医療法人、営利法人、市民団体、協同組合、自治会の役割を知る。	講義	山崎
5	3)	経営戦略の策定プロセス、事業計画の策定から実行、評価を見る。	講義	山崎
6	3)	組織と管理運営の基礎理論を理解する。	講義	山崎
7	3)	集団の力学(グループダイナミックス)に関する基礎理論、リーダーシップに関する基礎理論を知る。	講義	山崎
8	4)	サービスマネジメントの基礎的事項を知る。	講義・SGD	山崎
9	4)	サービスの質の評価の考え方と実際を知る。	講義	山崎
10	4)	苦情対応とリスクマネジメントの方法を考える。	講義・SGD	山崎
11	4)	今後の福祉サービスのあり方を考える。	講義・SGD	山崎
12	5)	福祉サービスの人事労務管理はどうあるべきか、そのあり方と手法を知る。	講義・SGD	山崎
13	5)	人材育成をどのように進めていくべきか、そのあり方と手法を知る。	講義	山崎
14	6)	社会福祉法人の財務管理の考え方と財務諸表を見る。	講義	山崎
15	7)	事業経営における情報の活用、利用者への情報開示、個人情報の保護、サービス評価などを理解する。	講義・SGD	山崎

教科書: 新・社会福祉士養成講座11「福祉サービスの組織と経営」第5版(社会福祉士養成講座編集委員会)中央法規出版株式会社【9 78-4-8058-5431-0】

参考書: 使用しない。

科目名: 就労支援サービス論

担当者: 佐島 良一(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 15 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: これまで就労支援は、障害者雇用や生活保護など限られた対象者への課題とされて来た。しかし現代の生きにくさは若年層におけるニートやフリーター、ホームレスなど不就労、ワーキングプアといわれる不安定就労等へのセーフティネットとしての機能が強調されるようになってきました。現在の社会、経済が激動している中で、それに対応して支援の対象者は急速に拡大してきています。この教科では、相談援助活動を展開する上で必要とされる労働関係の制度について学習します。

到達目標: (SBOs) 1)働くことの意味を経済的側面と社会参加の側面から理解する。
2)現在の労働環境と支援の対象者を理解する。
3)就労についての法制度・行政機関・専門職員の役割を理解する。
4)福祉施策としての就労支援の強化施策を理解する。

評価方法: 定期試験により評価する。

準備学習・履修上の注意等: 「職に就くこと」や「働くこと」についての理解を確かなものにするため、積極的な参加を望みます。予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 授業前後の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	働くことの意味を個人と社会の関係から理解する。	講義	佐島
2	1)2)	現代の労働を取り巻く状況を理解する。労働人口、産業別就業者の構成割合、雇用形態の変化からワークライフバランスについて考える。	講義	佐島
3	3)4)	わが国の労働に関する法律や制度について理解する。国連や諸外国の労働問題の捉え方を知る。	講義	佐島
4	3)	障害者の雇用の促進に関する法律について理解する。雇用施策からの障害者への就労支援を理解する。	講義	佐島
5	4)	障害者への福祉施策としての就労支援について理解する。「福祉から雇用へ」を掲げる福祉事務所とハローワークの役割を理解する。低所得者への就労支援施策を理解する。自立支援プログラムについて理解する。	講義	佐島
6	2)3)4)	就労支援サービスを展開していく専門機関のネットワークのあり方について理解する。	講義	佐島
7	1)2)3)4)	社会福祉援助の視点から、生きにくい現代社会におけるセーフティネットの機能をもつ就労支援サービスの担い手の役割を考える。	講義	佐島
8	1)2)3)4)	社会福祉援助の視点から、就労支援サービスの役割を考える。	講義	佐島

教科書: 新・社会福祉士養成講座 18就労支援サービス第4版 中央法規【ISBN:978-4-8058-5304-7】

参考書: 使用しない。

科目名: **社会福祉援助技術演習 I**

担当者: 山崎 きよ子(福・福)、谷口 衛(非常勤講師)、川崎 順子(福・ス)、西田 美香(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 相談援助実践の価値・知識・技術を具体的な演習課題を通して修得する。
相談援助における基本技術を学び相談援助演習の基礎を理解する。
自己理解と他者理解、基本的な面接技術コミュニケーションを修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を説明できる。
 - 2)“人”を説明できる。
 - 3)専門家による「原因の理解(診断)」、人(クライアント)を理解するための面接を説明できる。
 - 4)他者の“こころ”を説明できる。
 - 5)自己の“こころ”を説明できる。
 - 6)他者の“気持ち”を説明できる。
 - 7)自己の“気持ち”を説明できる。
 - 8)他者の“行動”を説明できる。
 - 9)自己の“行動”を説明できる。
 - 10)相談援助における面接の目的と特性を説明できる。
 - 11)面接の基盤、インテーク面接の場面を説明できる。
 - 12)面接における基本的応答技法を説明できる。
 - 13)面接の展開を説明できる。
 - 14)非言語コミュニケーションを説明できる。

評価方法: 授業中における演習実施中の態度、及び毎回提出するレポートなどを統合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習は授業参加が基本であるため、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。
授業前後に 関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。

オフィスアワー: 各教員のオフィスアワーに准ずる。講義前後の可能な時間(非常勤講師)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を理解する。	演習	全員
2	2)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」①】 “人”を理解する。	演習	全員
3	3)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」②】 専門家による「原因の理解(診断)」、人(クライアント)を理解するための面接を理解する。	演習	全員
4	4)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」③】 他者の“こころ”を理解する。	演習	全員
5	5)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」④】 自己の“こころ”を理解する。	演習	全員
6	6)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」⑤】 他者の“気持ち”を理解する。	演習	全員
7	7)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」⑥】 自己の“気持ち”を理解する。	演習	全員
8	8)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」⑦】 他者の“行動”を理解する。	演習	全員
9	9)	【相談援助における基本技術—人を理解する「他者理解」と「自己理解」⑧】 自己の“行動”を理解する。	演習	全員
10	10)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術①】 相談援助における面接の目的と特性を理解する。	演習	全員
11	11)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術②】 面接の基盤、インテーク面接の場面を理解する。	演習	全員
12	12)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術③】 面接における基本的応答技法を理解する。	演習	全員

13	13)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術④】 面接の展開を理解する。	演習	全員
14	14)	【相談援助における基本技術—相談援助における面接の技術⑤】 非言語コミュニケーションを理解する。	演習	全員
15	1)~14)	【授業のまとめと振り返り】 グループを評価し、前期演習を振り返る。	演習	全員

教科書： 講義時に配布するプリントなどを使用する。

参考書： 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: **社会福祉援助技術演習Ⅱ**

担当者: 山崎 きよ子(福・福)、川崎 順子(福・ス)、西田 美香(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・動物療法専攻・福祉ビジネス専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 相談援助実践の価値・知識・技術を具体的な演習課題を通して修得する。
さまざまな事例を活用した相談援助について演習を通して修得する。
相談演習ビネット(事例)を通して、各相談援助演習の課題を説明することができる。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を説明できる。
 - 2)地域福祉計画の策定に関する相談援助演習を説明できる。
 - 3)地域におけるサービス提供に関する相談援助演習を説明できる。
 - 4)地域におけるネットワークキングに関する相談援助演習を説明できる。
 - 5)地域における権利擁護活動に関する相談援助演習を説明できる。
 - 6)社会資源の把握、活用、調整、開発に関する相談援助演習を説明できる。
 - 7)住民参加と組織化活動に関する相談援助演習を説明できる。
 - 8)治療・環境・生活・ストレングスモデルに関する相談援助演習を説明できる。
 - 9)心理社会的・機能的アプローチに関する相談援助演習を説明できる。
 - 10)問題解決・危機介入・行動変容アプローチに関する相談援助演習を説明できる。
 - 11)エンパワメントアプローチに関する相談援助演習を説明できる。
 - 12)家族システム論に関する相談援助演習を説明できる。
 - 13)ケースマネジメントに関する相談援助演習を説明できる。
 - 14)ケアプラン・グループワークに関する相談援助演習を説明できる。

評価方法: 授業中における演習実施中の態度、及び毎回提出するレポートなどを統合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習は授業参加が基本であるため、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。
授業前後の4時間の予習復習時間を設けること

オフィスアワー: 各教員のオフィスアワーに准ずる。講義前後の可能な時間(非常勤講師)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を理解する。	演習	全員
2	2)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —地域を基盤とした相談援助演習①】 地域福祉計画の策定に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
3	3)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —地域を基盤とした相談援助演習②】 地域におけるサービス提供に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
4	4)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —地域を基盤とした相談援助演習③】 地域におけるネットワークキングに関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
5	5)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —地域を基盤とした相談援助演習④】 地域における権利擁護活動に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
6	6)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —地域を基盤とした相談援助演習⑤】 社会資源の把握、活用、調整、開発に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
7	7)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —地域を基盤とした相談援助演習⑥】 住民参加と組織化活動に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
8	8)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —実践モデルやアプローチに関する相談援助演習①】 治療・環境・生活・ストレングスモデルに関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
9	9)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —実践モデルやアプローチに関する相談援助演習②】 心理社会的・機能的アプローチに関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
10	10)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習	演習	全員

		—実践モデルやアプローチに関する相談援助演習③】 問題解決・危機介入・行動変容アプローチに関する相談援助演習を理解する。		
11	11)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —実践モデルやアプローチに関する相談援助演習④】 エンパワメントアプローチに関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
12	12)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —実践モデルやアプローチに関する相談援助演習⑤】 家族システム論に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
13	13)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —実践モデルやアプローチに関する相談援助演習⑥】 ケースマネジメントに関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
14	14)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —実践モデルやアプローチに関する相談援助演習⑦】 ケアプラン・グループワークに関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
15	1)~14)	【授業のまとめと振り返り】 グループを評価し後期演習を振り返る。	演習	全員

教科書： 講義時に配布するプリントなどを使用する。

参考書： 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: **社会福祉援助技術演習Ⅲ**

担当者: 山崎 きよ子(福・福)、川崎 順子(福・ス)、谷口 衛(非常勤講師)、西田 美香(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科・子ども保育福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 相談援助実践の価値・知識・技術を具体的な演習課題を通して修得する。
さまざまな事例を活用した相談援助について演習を通して修得する。
相談演習ビネット(事例)を通して、各相談援助演習の課題を説明することができる。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を説明できる。
 - 2)社会的排除に関する相談援助演習を説明できる①
 - 3)社会的排除に関する相談援助演習を説明できる②
 - 4)ミクロからマクロ・レベル実践に焦点を当てた相談援助演習を説明できる①
 - 5)ミクロからマクロ・レベル実践に焦点を当てた相談援助演習を説明できる②
 - 6)サービス評価に関する相談援助演習を説明できる①
 - 7)サービス評価に関する相談援助演習を説明できる②
 - 8)就労支援(障害者)に関する相談援助演習を説明できる。
 - 9)就労支援(母子)に関する相談援助演習を説明できる。
 - 10)病院から退院に関する相談援助演習を説明できる。
 - 11)家庭内暴力(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談援助演習を説明できる。
 - 12)虐待(高齢者)への相談援助演習を説明できる。
 - 13)虐待(児童)への相談援助演習を説明できる。
 - 14)学校でのいじめ問題に関する相談援助演習を説明できる。

評価方法: 授業中における演習実施中の態度、及び毎回提出するレポートなどを統合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習は授業参加が基本であるため、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。
授業前後に 関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。

オフィスアワー: 各教員のオフィスアワーに準ずる。講義前後の可能な時間(非常勤講師)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を理解する。	演習	全員
2	2)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習①】 社会的排除に関する相談援助演習を理解する①	演習	全員
3	3)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習②】 社会的排除に関する相談援助演習を理解する②	演習	全員
4	4)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習③】 ミクロからマクロ・レベル実践に焦点を当てた相談援助演習を理解する①	演習	全員
5	5)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習④】 ミクロからマクロ・レベル実践に焦点を当てた相談援助演習を理解する②	演習	全員
6	6)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑤】 サービス評価に関する相談援助演習を理解する①	演習	全員
7	7)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑥】 サービス評価に関する相談援助演習を理解する②	演習	全員
8	8)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑦】 就労支援(障害者)に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
9	9)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑧】 就労支援(母子)に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
10	10)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習	演習	全員

		—社会問題を基盤とした相談援助演習⑨】 病院から退院に関する相談援助演習を理解する。		
11	11)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑩】 家庭内暴力(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
12	12)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑪】 虐待(高齢者)への相談援助演習を理解する。	演習	全員
13	13)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑫】 虐待(児童)への相談援助演習を理解する。	演習	全員
14	14)	【さまざまな事例を活用した相談援助演習 —社会問題を基盤とした相談援助演習⑬】 学校でのいじめ問題に関する相談援助演習を理解する。	演習	全員
15	1)~14)	【授業のまとめと振り返り】 グループを評価し前期演習を振り返る。	演習	全員

教科書: 講義時に配布するプリントなどを使用する。

参考書: 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: **社会福祉援助技術演習Ⅳ**

担当者: 山崎 きよ子(福・福)、川崎 順子(福・ス)、貫 優美子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科・

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 地域福祉に関する相談援助実践の価値・知識・技術を災害という具体的な演習課題を通して修得する。地震、津波、洪水などの発生を想定した相談援助について演習を通して修得する。災害時にフィールドソーシャルワーカーとして支援行動をすることができる。

到達目標: (SBOs) 1)演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を説明できる。
2)防災のあり方、支援のあり方を学び、説明できる。
3)防災・災害ボランティアの実際を学び説明できる。
4)防災・災害に関する調査用紙を作成することができる。
5)地域における防災・災害対策について調査を行いまとめることができる。
6)総括として、調査結果をまとめ説明できる。

評価方法: 授業中における演習実施中の態度、及び毎回提出するレポートなどを統合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習は授業参加が基本であるため、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。
授業前後に4時間の予習復習時間を持つこと

オフィスアワー: 各教員のオフィスアワーに準ずる。講義前後の可能な時間(非常勤講師)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	・オリエンテーション 授業目的 ・昨年度学生調査結果の報告 避難場所の調査方法についての説明	演習	全員・外部講師
2	2)	行政の災害対応の取り組みを知る (延岡市危機管理室からの講話)	演習	全員・外部講師
3	3)	防災ボランティア講座1・グループ作業 (延岡市社会福祉協議会、延岡市危機管理室との合同指導)	演習	全員・外部講師
4	3)	防災ボランティア講座2・グループ作業 (延岡市社会福祉協議会、延岡市危機管理室との合同指導)	演習	全員・外部講師
5	3)	防災ボランティア講座3・グループ作業 (延岡市社会福祉協議会、延岡市危機管理室との合同指導)	演習	全員・外部講師
6	3)	災害ボランティアセンター設置運営訓練1 机上・グループ作業 (延岡市社会福祉協議会、延岡市危機管理室との合同指導)	演習	全員・外部講師
7	3)	災害ボランティアセンター設置運営訓練1 実践 (延岡市社会福祉協議会、延岡市危機管理室との合同指導)	演習	全員・外部講師
8	3)	災害ボランティアセンター設置運営訓練2 実践 (延岡市社会福祉協議会、延岡市危機管理室との合同指導)	演習	全員・外部講師
9	4)	地域の実態調査方法の検討 調査項目作成・確認・調査準備1	演習	全員
10	4)	調査項目作成・確認・調査準備2	演習	全員
11	5)	調査の実施	演習	全員
12	5)	調査報告書の作成1	演習	全員
13	5)	調査報告書の作成2	演習	全員
14	6)	調査内容発表・評価1	演習	全員
15	6)	調査内容発表・評価2	演習	全員

教科書: 講義時に配布するプリントなどを使用する。

参考書: 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: 社会福祉援助技術演習 V

担当者: 山崎 きよ子(福・福)、川崎 順子(福・ス)、谷口 衛(非常勤講師)、鹿嶋 隆志(非常勤講師)**配当学科:** 臨床福祉専攻、スポーツ健康福祉学科、子ども保育福祉学科(4年)**必修・選択:** 選択 **単位数:** 1 **時間数:** 30 **開講期:** 後期 **授業形態:** 演習**授業概要:** 演習 I ~ 演習 IV 並びに社会福祉援助技術現場実習を通して得た社会福祉援助技術をさらに深める。特に社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術についての実践能力を高め、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる。**到達目標:** 1.レジデンシャル・ソーシャルワークを実践できる。
(SBOs) 2.フィールド・ソーシャルワークの展開について実践**評価方法:** 演習理解度を評価するために試験を行う。
演習参加の自発性、積極性を評価基準に加味する。**準備学習・履修上の注意等:** 授業前後に 関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。**オフィスアワー:** 各教員のオフィスアワーに準ずる。講義前後の可能な時間(非常勤講師)**授業計画**

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	ソーシャルワークの基本的機能	演習	全員
2	1)	レジデンシャル・ソーシャルワークの特徴と機能	演習	全員
3	2)	フィールド・ソーシャルワークの特徴と機能	演習	全員
4	1)	レジデンシャル・ソーシャルワークの具体的実践内容1	演習	全員
5	1)	レジデンシャル・ソーシャルワークの具体的実践内容2	演習	全員
6	1)	レジデンシャル・ソーシャルワークの具体的実践内容3	演習	全員
7	1)	レジデンシャル・ソーシャルワークの具体的実践内容4	演習	全員
8	1)	レジデンシャル・ソーシャルワークの具体的実践内容5	演習	全員
9	2)	フィールド・ソーシャルワークの具体的実践内容1	演習	全員
10	2)	フィールド・ソーシャルワークの具体的実践内容2	演習	全員
11	2)	フィールド・ソーシャルワークの具体的実践内容3	演習	全員
12	2)	フィールド・ソーシャルワークの具体的実践内容4	演習	全員
13	2)	フィールド・ソーシャルワークの具体的実践内容5	演習	全員
14	1)2)	まとめ	演習	全員
15	1)2)	まとめ	演習	全員

教科書: 講義時に配布するプリントなどを使用する。**参考書:** 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: **社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ**

担当者: 秋葉 敏夫(福・福)、山崎 きよ子(福・福)、山崎睦男(福・子)、川崎 順子(福・ス)|三宮基裕(福・福)、貫 優美子(福・福)、清水 径子(福・福) 日田剛(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱでは、社会福祉援助技術現場実習の意義を明確にし、集団・個別指導を通じた分野別指導により実習先の業務内容や相談援助の場面を具体的に理解し、実習課題を設定するとともに、実習先で求められる相談援助の知識や技術を習得し、実習の事前準備ができる。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)実習の事前準備に必要な心構えができる。
 - 2)実習先の概要や法的根拠・役割・機能が説明できる。
 - 3)実習先の業務内容や利用者の特性が説明できる。
 - 4)専門職に必要なとされる知識・技術について説明できる。
 - 5)実習目標・課題を明確に設定することができる。

評価方法: 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰで配布した実習ファイルに掲載している評価表に基づいて評価する。

準備学習・履修上の注意等: 実習に必要な法的根拠、用語を家庭で学習をしっかりと学習すること。履修に関する関連科目の修得等の条件を満たしておくこと。実習に向けての基本的態度を備え、実習手続きに必要な書類の提出期限を厳守すること。

オフィスアワー: 実習センター 9:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 年間授業スケジュールに基づく実習の事前準備の必要性の理解と実習に向けての心構え	演習	全員
2	1)2)	【分野別専門援助技術の理解1】 実習先の法的根拠、実習先の役割や機能	演習	全員
3	1)2)3)	【分野別専門援助技術の理解2】 実習先の事業内容や専門職の業務内容の理解、実習課題設定の準備。 分野によっては、実習先指導者から具体的な業務内容などについての講義。	演習	全員
4	1)2)3)	【分野別専門援助技術の理解3】 実習先の施設や機関の現状の理解、援助に必要な知識・技術の必要性。 分野によっては、実習先指導者から実習先の現状についての講義。	演習	全員
5	1)2)3)	【分野別専門援助技術の理解4】 実習先の利用者の特性や状況について。分野によっては、実習指導者・当事者からの講話。	演習	全員(外部講師含)
6	3)	【分野別専門援助技術の理解5】 実習先の利用者の特性や状況について。分野によっては、実習指導者・当事者からの講話。	演習	全員(外部講師含む)
7	3)4)	【分野別専門援助技術の理解6】 実習先の利用者とのコミュニケーション方法や支援計画作成方法	演習	全員
8	3)4)	【分野別専門援助技術の理解7】 実習先における相談援助の展開過程における人間理解や援助関係の形成方法	演習	全員
9	4)5)	【分野別専門援助技術の理解8】 実習先における実習目標や具体的課題の3段階設定	演習	全員(外部講師含む)
10	1)4)	【感染症の理解と対応方法】 実習に伴うリスクマネジメントの一つとしての感染対策の具体的方法	演習	全員
11	4)5)	【分野別専門援助技術の理解9】 実習先における実習目標や実習課題の設定、実習課題達成のための事前学習	演習	全員
12	4)5)	【実習分野別における専門援助技術の理解10】 実習日誌の記録方法や実習ファイルの活用方法	演習	全員
13	1)4)5)	【実習分野別における専門援助技術の理解11】 個別面談の実施。実習課題を達成するための具体的な実習内容・プロ	演習	全員

グラムの確認

14	1)4)5)	【実習分野別における専門援助技術の理解12】 個別面談の実施。実習課題を達成するための具体的な実習内容・プロ グラムの確認	演習	全員
15	1)4)5)	【実習直前オリエンテーション】 本実習に向けての最終確認	演習	全員

教科書： 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ**担当者:** 秋葉 敏夫(福・福)、山崎 きよ子(福・福)、三宮基裕(福・福)川崎 順子(福・ス)、貫 優美子(福・福)、|日田剛(福・福)清水 径子(福・福)山崎 睦夫(福・子)**配当学科:** 臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科**必修・選択:** 選択 **単位数:** 1 **時間数:** 30 **開講期:** 後期 **授業形態:** 演習**授業概要:** 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲでは、社会福祉援助技術現場実習における具体的な援助活動や体験を振り返り、事前に設定した実習課題の達成状況や個別指導による評価を行うことにより、自己課題を見出ししていく。具体的には、社会福祉士として求められるコミュニケーションや円滑な人間関係の形成、さらに利用者やその関係者への権利擁護や支援のあり方、多職種との連携、社会資源の活用など必要な専門知識・技術及び関連知識の理解を深めていき、総合的に対応できる能力を習得する。**到達目標:** (SBOs) 1)実習の振り返りを行い、実習課題の達成状況を整理することができる。
2)援助関係の形成状況を振り返り、自己課題が明確に説明できる。
3)実習を踏まえて、専門的知識・技術を体系化して説明できる。
4)実習の総括を行い、報告書にまとめることができる。
5)実習状況の相互発表、指導者からの評価を受け、自己評価できる。**評価方法:** 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰで配布した実習ファイルに掲載している評価表に基づいて評価する。**準備学習・履修上の注意等:** 1回の授業につき、最低1時間の準備学習が必要である。
履修に関する関連科目の修得等の条件を満たしておくこと。課題・レポートの提出期限を厳守すること。**オフィスアワー:** 実習センター 9:00~17:00**授業計画**

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 授業スケジュールに基づく実習事後の振り返りの必要性の理解、実習のまとめに向けての心構え	演習	全員
2	1)2)	【分野別実習事後振り返り1】 実習の総体的な振り返り、SGDや成果発表などによる実習課題の達成状況の確認	演習	全員
3	1)2)	【分野別実習事後振り返り2】 実習の総体的な振り返り、SGDや成果発表などによる実習課題の達成状況の確認	演習	全員
4	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り3】 実習における具体的な援助関係の形成状況の振り返り、SGDや成果発表による自己課題の明確化	演習	全員
5	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り4】 実習における具体的な援助関係の形成状況の振り返り、SGDや成果発表による自己課題の明確化。	演習	全員
6	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り5】 実習における専門的知識や技術の活用状況の振り返り、SGDや成果発表などによる自己課題の明確化	演習	全員 外部講師
7	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り6】 実習における専門的知識や技術の活用状況の振り返り、SGDや成果発表などによる自己課題の明確化	演習	全員
8	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り7】 実習における専門的知識や技術の活用状況の振り返り、SGDや成果発表などによる自己課題の明確化	演習	全員
9	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り8】 実習における専門的知識や技術の活用状況の振り返り、SGDや成果発表などによる自己課題の明確化	演習	全員 外部講師
10	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り9】 実習先からの実習評価表を踏まえ指導教員との個別面談の実施。実習の自己課題や到達状況の整理。	演習	全員
11	1)2)3)	【分野別実習事後振り返り10】 実習先からの実習評価表を踏まえ指導教員との個別面談の実施。実習の自己課題や到達状況の整理。	演習	全員

12	4)	【分野別実習事後振り返り11】 実習の総体的なまとめ、実習報告書の作成	演習	全員
13	4)	【分野別実習事後振り返り12】 実習の総体的なまとめ、実習報告書の作成	演習	全員
14	5)	【実習報告全体会1】 実習報告書によるまとめ、他分野の実習状況について代表学生から実習報告発表。実習指導者・教員からの講評	演習	全員
15	5)	【実習報告全体会2】 実習報告書によるまとめ、他分野の実習状況について代表学生から実習報告発表。実習指導者・教員からの講評。実習の総括	演習	全員

教科書： 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: **社会福祉援助技術現場実習**

担当者: 秋葉 敏夫(福・福)、山崎 きよ子(福・福)、山崎睦男(福・子)、川崎 順子(福・ス)|三宮基裕(福・福)、貫 優美子(福・福)、清水 径子(福・福)、日田剛(福・福)|

配当学科: t臨床福祉学科臨床福祉専攻・臨床心理専攻・スポーツ健康福祉学科

必修・選択: 選択 単位数: 4 時間数: 180 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 社会福祉援助技術現場実習では、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際的に理解し、実践的な技術などを体得する。社会福祉士として求められる資質、技術、倫理、自己に求められる課題を明確にしなが、総合的に対応できる能力を習得する。利用者や関係者の権利擁護や支援のあり方、多職種との連携、社会資源の活用など必要な専門知識・技術及び関連知識の理解を深めていき、具体的内容を実践的に理解する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)社会人としての基本的態度を習得する。
 - 2)実習課題を意識しながら、積極的・主体的に実習を行うことができる。
 - 3)実習記録等提出物は、期限内に的確に提出できる。
 - 4)職場実習段階における実習先の概要を説明できる。
 - 5)職種実習として実習先に所属する多様な職種の業務内容を説明できる。
 - 6)ソーシャルワーク実習として、多様な専門知識・技術のあり方について説明し、実践することができる。

評価方法: 社会福祉援助技術実習指導 I で配布した実習ファイルに掲載している評価表に基づいて評価

準備学習・履修上の注意等: 履修に関する関連科目の修得等の条件を満たしておくこと。実習事前学習に積極的に取り組み、実習課題を明確に設定しておくこと。実習期間は実習に専念すること。

オフィスアワー: 実習センター 9:00~18:30

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3) 4)5)6)	【実習の実施】 本学が指定した実習先において、23日間かつ180時間以上の実習を行う。 実習期間は、本学の指定した期間を原則とするが、実習先との協議により変更して行うこともある。 実習期間には、毎日実習記録を行い、実習先に提出する。	実習	全員
2	1)2)3) 4)5)6)	具体的な実習プログラムは、自己の実習課題を踏まえ、実習先指導者との調整により決定する。 日常的に実習指導者からの指導を受けるとともに、大学の実習担当教員から、基本的に1週間に1回の指導を受ける。実習担当教員からの指導は、実習先における巡回指導と帰校日設定による指導の2通りで行う。	実習	全員
3	4)5)6)	実習では、次に掲げる事項が実施できるように目標を掲げ実習に取り組む。 [I 実習態度・取組姿勢] 1. 社会人としての態度・マナー(挨拶・礼儀等)が身についている。 2. 出勤時間や注意事項等の業務遂行の規則を守ることができる。	実習	全員
4	4)5)6)	3. 実習指導者の指導・助言を積極的に求め、主体的に学習を進めることができる。 4. 実習に関わった職員や関係者と強調することができる。 5. 実習記録やその他の書類等を的確に作成し、期限までに提出することができる。	実習	全員
5	4)5)6)	[II ソーシャルワーク実習] 1. 実習機関・施設のある地域の特性(人口動態・文化・生活状況等)を理解している。 2. 実習機関・施設が地域に果たしている機能や役割を理解している。 3. 実習機関・視悦の法的根拠や運営理念、業務内容を理解している。	実習	全員
6	4)5)6)	4. 実習機関・施設における他職種の役割と業務内容を理解している。 5. 社会福祉士の役割と業務内容を理解している。 6. 専門職としての価値・倫理を理解している。 7. チームアプローチのあり方、関係機関との連携のあり方を理解している。	実習	全員
7	4)5)6)	8. 利用者や家族、関係者と関わることができる。(人間関係の形成・コミュニケーション能力) 9. 利用者の実態、ニーズの把握方法を理解している。 10. アセスメントの方法を理解している。(情報収集・面接技術・課題整理等) 11. 支援計画の作成ができ、支援プロセスを理解している。	実習	全員
8	4)5)6)	12. 支援に必要な社会資源(フォーマル・インフォーマル)について理解している。 13. ケア会議や各種会議の運営方法(企画・調整・実施)を理解している。 14. 行事や事業計画・調査等の企画・立案・実施ができる。	実習	全員

15. 地域への働きかけや組織化の方法を理解している。

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 公衆衛生学 I

担当者: 秋葉 敏夫(福・福)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 人々の健康の維持・増進は「福祉社会」の構築にとって基本的な要素となっている。公衆衛生学は「みんなの健康をみんなで守り、向上させるための組織的な営み」といえるので、社会福祉を学ぶ学生には大切な講義である。また、保健の教員を目指す学生にとっても、生徒の保健教育上、欠かせない情報が学ぶことができる。本講義を受講すれば、公衆衛生学の知識に基づいて、より良い福祉サービスが提供できるような視点を持てるようになる。特に、予防医学(特に感染症対策、母子保健、生活習慣病対策、老人保健、環境保健)、国際保健、保健行政の分野での理解が深まる。

到達目標: (SBOs) 1)公衆衛生の概念を理解できる。
2)公衆衛生と疾病の関係について説明ができる。
3)公衆衛生と様々な制度との関係を述べるができる。
4)世界の保健と公衆衛生活動の関係を説明できる。

評価方法: 授業後の小テスト(30%)、学期末の筆記試験(60%)、課題の提出状況・授業態度(10%)を考慮して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 講義中に学生の意見を求めることがある。緊張感を持って講義に臨んでほしい。
学習の範囲が広範囲に及ぶので、教科書を用いた十分な復習(1時間以上)が必要である。

オフィスアワー: 火・水・木曜日12:15~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)	公衆衛生では何を学ぶのか?	講義	秋葉
2		健康の定義とは?	講義	秋葉
3		健康と環境はどのように関連しているのか?	講義	秋葉
4		公衆衛生学で用いられる疫学的手法にどんなものがあるのか?	講義	秋葉
5		健康に関する指標がなぜ大事なのか?	講義	秋葉
6		公衆衛生上重要な感染症にどんなものがあるのか?	講義	秋葉
7		公衆衛生上重要な感染症にどんなものがあるのか?	講義	秋葉
8		栄養と健康はどんな関係になっているのか?	講義	秋葉
9		生活環境の保全てなんなの?	講義	秋葉
10		日本の医療制度はどうなっているのか?	講義	秋葉
11		地域保健活動ってなに?	講義	秋葉
12		母子保健はなぜ大事なのか?	講義	秋葉
13		学校保健はどんな内容なの?	講義	秋葉
14		生活習慣病、難病はどんなインパクトを社会に与えているのか?	講義	秋葉
15		ヘルスプロモーションてなんなの?	講義	秋葉

教科書: わかりやすい公衆衛生学(清水 忠彦・佐藤 拓代)ニューヴェルヒロカワ【978-86174-030-5】

参考書: 使用しない。

科目名: **公衆衛生学 I**

担当者: 平田 浩二(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(3年)

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 公衆衛生学は、集団を対象として、健康障害を引き起こす要因を明らかにし、予防対策を確立し、実施することを目的とした社会医学である。本講では健康を左右する要因を明らかにする方法、健康障害を防止するために行われている行政対策についての知識を学習し、社会の変化に対応できる予防医学の基礎知識を修得する。

到達目標: (SBOs)
1)衛生学とはどのような学問かについて説明できる。
2)食品の意義と栄養について説明できる。
3)運動の意義と健康保持・増進について説明できる。
4)日常生活環境と人間の相互作用について説明できる。
5)成人・高齢者保健の意義と保健福祉対策について説明できる。

評価方法: 受講態度、レポート、単位認定試験などを総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 講義終了後は、1コマあたり2時間を目安に予習復習を行うこと。その際、学習した内容を振り返り、疑問点を整理しておくこと。なお予習復習は講義前後のみならず、週末や長期休暇を用いることとする。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	衛生学・公衆衛生学とは	講義	平田
2	2)	食品と栄養	講義	平田
3	2)	食品と栄養	講義	平田
4	3)	運動と健康	講義	平田
5	4)	環境とは	講義	平田
6	4)	日常生活環境について 物理的環境要因	講義	平田
7	4)	日常生活環境について 科学的環境要因	講義	平田
8	4)	日常生活環境について 生物学的環境要因	講義	平田
9	4)	環境問題 公害	講義	平田
10	4)	環境問題 地球規模の環境問題(1)	講義	平田
11	4)	環境問題 地球規模の環境問題(2)	講義	平田
12	4)	環境問題	講義	平田
13	5)	成人・高齢者保健	講義	平田
14	5)	生活習慣病の特徴と対策	講義	平田
15	5)	高齢者の保健福祉対策	講義	平田

教科書: 東洋療法学校協会 編/鈴木庄亮・高坂宏一 ほか著
衛生学・公衆衛生学 第2版
ISBN978-4-263-24169-1

参考書: 使用しない。

科目名: **公衆衛生学Ⅱ**

担当者: 秋葉 敏夫(福・福)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(鍼灸 3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 公衆衛生学は、疾病予防と健康の保持・増進のための科学である。鍼灸師は診療活動だけではなく、これらに関する知識や保健福祉の法制・倫理などにも精通している必要がある。この授業を受講すれば予防医学、疫学、保健医療行政の分野などへの理解を深めることができるようになる。

到達目標: (SBOs)
1) 公衆衛生の概念を把握できる。
2) 公衆衛生と疾病の関係について説明できる。
3) 公衆衛生と様々な法制度との関係を述べるができる。
4) 公衆衛生にかかわるデータを理解することができる。

評価方法: 授業後の小テスト(30%)、学期末の筆記試験(60%)、課題の提出状況・授業態度(10%)を考慮して評価をする。

準備学習・履修上の注意等: 学習範囲が広範に及ぶので、教科書を用いた十分な復習(1時間以上)が必要である。

オフィスアワー: 火・水・木曜日 12:15~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	健康に関する概念はいくつある?	講義	秋葉
2	1)2)3)	健康管理を行うシステム、法律にどんなものがあるのか	講義	秋葉
3	1)2)3)	産業保健の意義とは?	講義	秋葉
4	1)2)3)	精神保健がなぜ重要なのか?	講義	秋葉
5	1)2)3)	母子保健活動の果たす役割とは?	講義	秋葉
6	1)2)3)	感染症を起こす病原体にどんなものがあるのか	講義	秋葉
7	1)2)3)	代表的な感染症にどんなものがあるのか	講義	秋葉
8	1)2)3)	代表的な感染症にどんなものがあるのか	講義	秋葉
9	1)2)3)	予防するにはどうすればよいのか	講義	秋葉
10	1)2)3)	消毒原理はいくつある?	講義	秋葉
11	1)2)3)	消毒の実際どうするのか、医療廃棄物の扱いは?	講義	秋葉
12	1)2)3)4)	疫学とは?	講義	秋葉
13	1)2)3)4)	疫学的手法にどんなものがあるのか?	講義	秋葉
14	1)2)3)4)	保健統計をどう読むのか?	講義	秋葉
15	1)2)3)4)	保健統計を使ってどんなことが出来るのか?	講義	秋葉

教科書: 「衛生学・公衆衛生学」 東洋療法学校協会編 (医歯薬出版会社 ISBN978-4-263-24169-1)

参考書: 使用しない

科目名: **臨床針実技 I**

担当者: 中野祐也(福・スポ)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(2年)

必修・選択: 選択※鍼灸必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 鍼の基本技術から応用技術までの習得をはかり、臨床へつなげるべき知識と技術を習得することを目的とする。刺鍼練習台での刺入の練習や、自身への刺鍼練習を行い、最終的には他者への安全な刺鍼を目標とする。また、日常臨床で使用する基本的な刺鍼手技を習得する。

到達目標: (SBOs)
1)鍼による基本実技を理解することがきる。
2)衛生概念および鍼の安全性を理解することがきる。
3)正確かつ安全な刺鍼を体得することができる。
4)各種鍼法の基本を理解し体得することができる。
5)安全に自身・他人の体への刺鍼がきる。
6)特定経穴への刺鍼ができる。

評価方法: 実施講義回数の5分の4以上を満たした者について試験を実施する。
筆記試験および実技試験(一連の基本刺鍼操作、各種鍼法の刺鍼操作、片手挿管の連続操作)の結果、課題の提出、授業態度を総合して行う。

準備学習・履修上の注意等: この授業は実技科目であるため、繰り返し学習することが必要となる。そのため、テキストや配布資料等を活用して、実技の内容や意味を各自で予習・復習することが必要となる。1回の授業につき60分を目安に予習・復習を行うこと。授業時に出された課題は、次回までに提出すること。本実習は鍼灸の根幹をなすものであることを認識する。始業時間には、授業に必要な準備を済ませておく。実習における身なりを整える。特に白衣・名札の着用、頭髪、爪など。実習の際、手足・体幹が出せる準備をしておく。

オフィスアワー: 毎週水曜日 12:30~13:30 (時間割の都合上、変更あり)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	ガイダンス。鍼の基本手技・刺鍼における注意点を学ぶ。手洗い・消毒などの衛生概念や鍼の安全性を学び、鍼の過誤事例からその危険性を認識する。	実習	中野
2	1)~3)	手洗い・消毒などの衛生概念や鍼の安全性、過誤事例について理解する。片手挿管法の概要、基本練習について学ぶ。	実習	中野
3	1)~3)	刺鍼練習台を用い、基本的な刺鍼技術を学ぶ。 (単刺術による直刺刺入練習)	実習	中野
4	1)~3)	刺鍼練習台を用い、基本的な刺鍼技術を学ぶ。 (一定の刺入深度および角度での刺鍼練習・前回の復習)	実習	中野
5	1)~3)	刺鍼練習台を用い、基本的な刺鍼技術を学ぶ。 (擦鍼法と送り込み法による直刺刺入・単刺術による斜刺刺入・前回の復習)	実習	中野
6	1)~5)	自分の身体に対しての刺鍼練習を行う。 (消毒・清潔操作の再確認・一定の刺入深度、角度での練習)	実習	中野
7	1)~5)	鍼の十七術について学び、刺鍼練習台および自分の身体に対しての刺鍼練習を行う。(雀啄術、間欠術、屋漏術、随鍼術、振せん術、置鍼術、旋擦術、回旋術)	実習	中野
8	1)~5)	鍼の十七術について学び、刺鍼練習台および自分の身体に対しての刺鍼練習を行う。(乱鍼術、副刺激術、示指打法、随鍼術、内調術、細指術、管散術、刺鍼転向法、刺鍼転移法)	実習	中野
9	1)~5)	鍼の十七術のまとめと、刺鍼練習台および自身または他者の身体に対しての刺鍼練習を行う。	実習	中野
10	1)~5)	実技まとめ	実習	中野
11	1)~6)	上肢および下肢の経穴取穴を行い、目的の経穴に対し刺鍼を行う。	実習	中野
12	1)~6)	後頸部の経穴取穴を行い、目的の経穴に対し刺鍼を行う。	実習	中野
13	1)~6)	背部および腰部の経穴取穴を行い、目的の経穴に対し刺鍼を行う。	実習	中野
14	1)~6)	上腹部および下腹部の経穴取穴を行を行い、目的の経穴に対し刺鍼を行う。	実習	中野

教科書: 図解鍼灸臨床マニュアル (尾崎昭弘 著) 医歯薬出版株式会社 【978-4-263-24192-9】
はりきゅう実技(基礎編) (教科書執筆小委員会 著) 医道の日本社 【978-4-7529-5020-2】

参考書: 鍼灸医療安全ガイドライン (尾崎昭弘・坂本歩・鍼灸安全性委員会 編) 医歯薬出版株式会社 【978-4-263-24211-7】
新版 経絡経穴概論 (教科書執筆小委員会 著) 医道の日本社 【978-4-7526-5160-5】
鍼灸基礎実習ノート (森英俊・佐々木和郎 編) 医歯薬出版株式会社 【978-4-263-24238-4】

科目名: **臨床針実技Ⅱ**

担当者: 中野祐也(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(2年)

必修・選択: 選択(鍼灸必修) 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 身体各部への刺鍼に際しての注意点(刺入深度、角度など)や、鍼による過誤や副作用について理解する。その上で、臨床針実習Ⅰで習得した基本的鍼技術を応用し、身体各部への安全かつ衛生的な鍼施術を行える技術を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)鍼による基本実技を実践できる。
 - 2)衛生概念および鍼の安全性を理解し実践できる。
 - 3)目的の深度および角度で正確かつ安全に刺鍼ができる。
 - 4)各種鍼法の基本を理解し実践できる。
 - 5)自身・他人の体に対し、安全な刺鍼ができる。
 - 6)体表解剖を理解し、正確な刺鍼ができる。

評価方法: 実施講義回数の5分の4以上を満たした者について試験を実施する。
筆記試験・実技試験(一連の基本刺鍼操作、各種鍼法の刺鍼操作、人体刺鍼)の結果・課題の提出・授業態度および診療マナーを総合して行う。

準備学習・履修上の注意等: この授業は実技科目であるため、繰り返し学習することが必要となる。そのため、テキストや配布資料等を活用して、検査の内容や意味を各自で予習・復習することが必要となる。1回の授業につき60分を目安に予習・復習を行うこと。授業毎に課題を出すので、次回までに提出すること。本実習は鍼灸の根幹をなすものであることを認識する。始業時には、授業に必要な準備を済ませておく。実習における身なりを整える。特に白衣・名札の着用、頭髪、爪など。実習の際、手足・体幹が出せる準備をしておく。

オフィスアワー: 毎週水曜日 12:30~13:30 (時間割の都合上、変更あり)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~5)	ガイダンス。刺鍼における注意点を理解し、安全かつ衛生的な手技を行う。	実習	中野
2	1)~5)	上肢および下肢の常用穴に対し刺鍼を行い、刺入感覚を意識して把握する。被検者の感覚に対応した刺入感覚を把握する。直刺、斜刺、雀啄、回旋、旋捻などの各種刺激手技を理解する。	実習	中野
3	1)~6)	上肢・下肢の触診を行い、上肢・下肢の常用穴に対し、目的の深度と角度で刺入を行う。	実習	中野
4	1)~6)	後頸部の触診を行い、後頸部の常用穴に対し、目的の深度と角度で刺入を行う。	実習	中野
5	1)~6)	腰部の触診を行い、腰部の常用穴に対し、目的の深度と角度で刺入を行う。	実習	中野
6	1)~6)	腹部の触診を行い、腹部の常用穴に対し、目的の深度と角度で刺入を行う。	実習	中野
7	1)~6)	肩背部の常用穴に対し、目的の深度と角度で刺入を行う。	実習	中野
8	1)~6)	肩背部の常用穴に対し、目的の深度と角度で刺入を行う。	実習	中野
9	1)~6)	頭部の常用穴に対し、目的の深度と角度で刺入を行う。	実習	中野
10	1)~6)	頭部の常用穴に対し、目的の深度と角度で刺入を行う。	実習	中野
11	1)~6)	所定時間内に身体各部の常用穴に対し刺鍼を行なう(仰臥位)。	実習	中野
12	1)~6)	所定時間内に身体各部の常用穴に対し刺鍼を行なう(腹臥位)。	実習	中野
13	1)~6)	実技まとめ	実習	中野
14	1)~6)	身体各部への刺鍼の総復習を行う。	実習	中野

教科書: 図解鍼灸臨床マニュアル (尾崎昭弘 著) 医歯薬出版株式会社 【978-4-263-24192-9】
はりきゅう実技(基礎編) (教科書執筆小委員会 著) 医道の日本社 【978-4-7529-5020-2】

参考書: 鍼灸医療安全ガイドライン (尾崎昭弘・坂本歩・鍼灸安全性委員会 編) 医歯薬出版株式会社 【978-4-263-24211-7】
鍼灸基礎実習ノート (森英俊・佐々木和郎 編) 医歯薬出版株式会社 【978-4-263-24238-4】
新版 経絡経穴概論 (教科書執筆小委員会 著) 医道の日本社 【978-4-7526-5160-5】
[改訂版]ボディ・ナビゲーション 触ってわかる身体解剖 (阪本桂造 監訳) 医道の日本社 【978-4-7529-3095-2】

科目名: 臨床針実技Ⅲ

担当者: 中野祐也(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(3年)

必修・選択: 選択※鍼灸必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 様々な特殊鍼法を中心に学ぶ。臨床針実習Ⅱで学んだ身体各部位への刺鍼技術を復習する。刺鍼に際しての注意点(刺入深度、角度など)や、鍼による過誤や副作用について理解した上で、特殊鍼法と安全・衛生的な施鍼技術の修得を目標とする。

到達目標: (SBOs)
1)鍼による基本実技を理解することができる。
2)衛生概念および鍼の安全性を理解することができる。
3)正確かつ安全な刺鍼を体得することができる。
4)自身・他人の体への刺鍼を体得することができる。
5)各種鍼法の基本を理解し体得することができる。

評価方法: 実施講義回数5分の4以上が必要を満たした者について試験を実施する。評価は筆記試験・実技試験の結果および課題の提出状況、授業態度を総合して行う。

準備学習・履修上の注意等: この授業は実技科目であるため、繰り返し学習することが必要となる。そのため、テキストや配布資料等を活用して、特殊手技の内容や意味を各自で予習・復習することが必要となる。1回の授業につき60分を目安に予習・復習を行うこと。授業毎に課題を出すので、次回までに提出すること。本実習は鍼灸の根幹をなすものであることを認識する。始業時には、授業に必要な準備を済ませておく。実習における身なりを整える。特に白衣・名札の着用、頭髪、爪など。実習の際、手足・体幹が出せる準備をしておく。

オフィスアワー: 毎週水曜日 12:30~13:30 (時間割の都合上、変更あり)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~5)	ガイダンスおよび身体刺鍼を行なう。ガイダンスを通して当科目の趣旨を理解する。自身の下肢前面および外側への刺鍼における注意点を理解し、安全かつ衛生的な手技によって刺入できる。	実習	中野
2	1)~5)	クリーンニードル・テクニックを学ぶ。無菌的な清潔操作による刺鍼技術として、クリーンニードル・テクニックの必要性を理解し習得する。鍼体を直接に触れずに行う刺鍼技術を習得する。	実習	中野
3	1)~5)	鍼通電を学ぶ。低周波鍼通電刺激の手順と安全管理、および通電器の使用方法を理解する。その上で、四肢や腰背への鍼通電の技術を習得する。	実習	中野
4	1)~5)	皮内鍼と円皮鍼を学ぶ。皮内鍼および円皮鍼の歴史、方法、種類などの基本を理解する。皮内鍼による圧痛部への施術方法を習得する。	実習	中野
5	1)~5)	皮内鍼と赤羽式知熱感度測定を学ぶ。赤羽式知熱感度測定法の理論と手法を理解する。またここから導き出される皮内鍼の治療方法を習得する。	実習	中野
6	1)~5)	一般刺鍼の復習。特殊鍼法を学んできたため、一般刺鍼の復習を行なう。他者への刺鍼練習を行い、安全な刺鍼技術を修得する。	実習	中野
7	1)~5)	小児鍼を学ぶ。小児鍼の理論と手法を理解する。小児鍼の手技として接触鍼法と摩擦鍼法の手順を理解し習得する。	実習	中野
8	1)~5)	耳鍼療法を学ぶ。耳鍼療法の理論と手法を理解する。耳鍼療法を実際に行い、その手順を理解し習得する。	実習	中野
9	1)~5)	管鍼法を学ぶ。日本において江戸時代より用いられている管鍼法の理論と手法を理解する。銀鍼および金属製の鍼管を用いての管鍼法を実際に行い、その手順を理解し習得する。	実習	中野
10	1)~5)	灸頭鍼を学ぶ。灸頭鍼の理論と手法を理解する。灸頭鍼を実際に行い、その手順を理解し習得する。	実習	中野
11	1)~5)	灸頭鍼を学ぶ。灸頭鍼の理論と手法を理解する。灸頭鍼を実際に行い、その手順を理解し習得する。	実習	中野
12	1)~5)	まとめ。特殊鍼法実技の総復習を行い、その手順を理解し習得する。	実習	中野
13	1)~5)	まとめ。身体各部への刺鍼の総復習を行い、その手順を理解し習得する。	実習	中野
14	1)~5)	所定時間内に身体各部の常用穴に対し刺鍼を行なう(仰臥位)。	実習	中野
15	1)~5)	所定時間内に身体各部の常用穴に対し刺鍼を行なう(腹臥位)。	実習	中野

教科書： 使用しない

参考書： 図解鍼灸臨床マニュアル（尾崎昭弘 著）医歯薬出版株式会社【978-4-263-24192-9】
はりきゅう実技〈基礎編〉（教科書執筆小委員会 著）医道の日本社【978-4-7529-5020-2】
鍼灸基礎実習ノート（森英俊・佐々木和郎 編）医歯薬出版株式会社【978-4-263-24238-4】
新版 経絡経穴概論（教科書執筆小委員会 著）医道の日本社【978-4-7526-5160-5】
[改訂版]ボディ・ナビゲーション 触ってわかる身体解剖（阪本桂造 監訳）医道の日本社【978-4-7529-3095-2】

科目名: 臨床針実技Ⅳ

担当者: 中野祐也(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・鍼灸健康福祉コース(3年)

必修・選択: 選択※鍼灸必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 伝統鍼灸学における四診(望診・聞診・問診・切診)の意義や診察方法を理解し、四診の基本を説明できるようになる。また、四診と基本的な病証との関連を理解し、鍼灸臨床における東洋医学的病態把握するための診察法を学習する。あわせて、鍼灸医学における身体観や生命観などの理解を深めるとともに、医療人としての基本的な態度を養うことも目的とする。

到達目標: (SBOs) 1)衛生概念および灸の安全性を理解することができる。
2)正確かつ安全に身体へ刺鍼することができるよう知識・技能を習得することができる。
3)身体各部の構造的特徴と注意点を理解し、お互いに刺鍼できる。
4)望診の概要を理解でき、舌診の意義・舌色・舌態・舌形・苔の色や性状の概要、正常な舌所見が説明できる。
5)切診の概要を理解でき、正しい触診技術(脈診・切経等)を習得することができる。
6)聞診・問診の意義や方法が理解でき、特徴的な症状を挙げることができる。
7)四診(望聞問切)から主な病証を推測できる。また症例より治療方針と配穴を考えられる。

評価方法: 実施講義回数5分の4以上が必要を満たした者について試験を実施する。評価は筆記試験・実技試験の結果、課題提出、授業態度を総合して行う。

準備学習・履修上の注意等: この授業は実技科目であるため、繰り返し学習することが必要となる。そのため、テキストや配布資料等を活用して、四診・触診法等の内容や意味を各自で予習・復習することが必要となる。1回の授業につき60分を目安に予習・復習を行うこと。授業毎に課題を出すので、次回までに提出すること。本実習は鍼灸の根幹をなすものであることを認識する。始業時には、授業に必要な準備を済ませておく。実習における身なりを整える。特に白衣・名札の着用、頭髪、爪など。実習の際、手足・体幹が出せる準備をしておく。実施講義回数5分の4以上を満たした者について試験を実施する。

オフィスアワー: 毎週水曜日 12:30~13:30 (時間割の都合上、変更あり)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~4)	本実習の概要を理解する。また、刺鍼における注意点を理解し、安全かつ衛生的な手技を行う。□	実習	中野
2	1)~4)	伝統医学における四診と望診の概要を理解できる。また、舌診の意義・舌色・舌態・舌形・苔の色や性状の概要、正常な舌所見が説明できる。	実習	中野
3	1)~5)	前腕部の触診法を学ぶ。前腕部の構造的長を把握し、刺鍼方法の注意点を理解し刺鍼を行う。	実習	中野
4	1)~5)	前腕部の触診法を学ぶ。前腕部の構造的長を把握し、刺鍼方法の注意点を理解し刺鍼を行う。	実習	中野
5	1)~5)	下肢の触診法を学ぶ。下肢の構造的長を把握し、刺鍼方法の注意点を理解し刺鍼を行う。	実習	中野
6	1)~5)	下肢の触診法を学ぶ。下肢の構造的長を把握し、刺鍼方法の注意点を理解し刺鍼を行う。	実習	中野
7	1)~5)	東洋医学的な診察法を学ぶ。腹診について理解し、触診法を習得する。	実習	中野
8	1)~5)	背部・腰部に対する刺鍼を学ぶ。切経について理解し、疾患別に刺鍼を行う。	実習	中野
9	1)~5)	背部・腰部に対する刺鍼を学ぶ。切経について理解し、疾患別に刺鍼を行う。	実習	中野
10	1)~5)	背部・腰部に対する刺鍼を学ぶ。切経について理解し、疾患別に刺鍼を行う。	実習	中野
11	1)~5)	脈診について学ぶ。	実習	中野
12	1)~5)	脈診について学ぶ。	実習	中野
13	1)~6)	聞診・問診について学ぶ。	実習	中野
14	1)~6)	聞診・問診について学ぶ。	実習	中野
15	1)~7)	まとめ	実習	中野

教科書: 教科書なし

参考書: 図解鍼灸臨床マニュアル(尾崎昭弘 著) 医歯薬出版株式会社【978-4-263-24192-9】
鍼灸医療安全ガイドライン(尾崎昭弘・坂本歩・鍼灸安全性委員会 編) 医歯薬出版株式会社【978-4-263-24211-7】
新版 経絡経穴概論(教科書執筆小委員会 著) 医道の日本社【978-4-7526-5160-5】
中医臨床のための舌診と脈診(神戸中医学研究会 編著) 医歯薬出版株式会社【978-4-263-73705-7】
針灸学[基礎篇](中医学研究部 編・訳) 東洋学術出版社【978-4-924-95492-2】

科目名: **臨床針実技V**

担当者: 中野祐也(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年生)

必修・選択: 必須 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 本科目は、東洋医学と西洋医学の特色を充分理解し、現代医学と鍼灸医学の両面から患者を把握し、適切で有効な鍼灸治療が行える能力と態度を養う事を目的としている。前半では臨床鍼灸実技IVに引き続き、四診と病証との関連を理解するために、東洋医学的診察法を学習する。後半からは、主に鍼灸臨床で遭遇しやすい疾患の主要症状を中心に、診察及び鍼灸治療の方法について実習し、技術を習得する。実習においては、学生同士によるシミュレーションを行い、具体的な鍼灸治療を体験する。

到達目標: (SBOs) 1)医療者としての自覚と責任ある行動ができる。
2)問診の意義や方法が理解でき、特徴的な症状を挙げることができる。
3)四診(望聞問切)から主な病証を推測できる。また症例より治療方針と配穴を考えられる。
4)鍼灸臨床で遭遇しやすい症候に対して、基本的な診察、鑑別診断ができる。
5)鍼灸臨床で遭遇しやすい症候に対して基本的な施術ができる。
6)適切な診療録が記入できる。

評価方法: 実施講義回数数の5分の4以上が必要を満たした者について試験を実施する。評価は筆記試験・実技試験の結果および課題提出、授業態度を総合して行う。

準備学習・履修上の注意等: この授業は実技科目であるため、繰り返し学習することが必要となる。そのため、テキストや配布資料等を活用して、四診・触察法等の内容や意味を各自で予習・復習することが必要となる。1回の授業につき60分を目安に予習・復習を行うこと。授業毎に課題を出すので、次回までに提出すること。本実習は鍼灸の根幹をなすものであることを認識する。始業時には、授業に必要な準備を済ませておく。実習における身なりを整える。特に白衣・名札の着用、頭髪、爪など。実習の際、手足・体幹が出せる準備をしておく。

オフィスアワー: 毎週水曜日 12:30~13:30 (時間割の都合上、変更あり)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~3)	“オリエンテーション 身体各部における鍼灸施術の復習”	実習	中野
2	1)~3)	“伝統医学における四診の概要を理解する。 問診について学ぶ。”	実習	中野
3	1)~3)	四診より病態を推察し、治療方針を立てる。 “腹部の診察と鍼灸治療	実習	中野
4	1)~6)	腹部の診察法を習得した上で病態に応じた鍼灸施術を行う。”	実習	中野
5	1)~6)	“便秘・下痢の診察と鍼灸治療(便秘・下痢) 便秘・下痢の診察法を習得した上で病態に応じた鍼灸施術を行う。”	実習	中野
6	1)~6)	“食欲不振の診察と鍼灸治療 食欲不振の診察法を習得した上で病態に応じた鍼灸施術を行う。”	実習	中野
7	1)~6)	“悪心・嘔吐・腹痛の診察と鍼灸治療 悪心・嘔吐・腹痛の診察法を習得した上で病態に応じた鍼灸施術を行う。”	実習	中野
8	1)~6)	“肥満の診察と鍼灸治療 肥満の診察法を習得した上で病態に応じた鍼灸施術を行う。”	実習	中野
9	1)~6)	“糖尿病の診察と鍼灸治療 糖尿病の診察法を習得した上で病態に応じた鍼灸施術を行う。”	実習	中野
10	1)~6)	“眼科疾患に対する診察と鍼灸治療1 屈折異常、眼精疲労に対する鍼灸治療を行う。”	実習	中野
11	1)~6)	“眼科疾患に対する診察と鍼灸治療2 白内障や緑内障に対する鍼灸治療を行う。”	実習	中野
12	1)~6)	“口腔・顎関節疾患に対する診察と鍼灸治療 顎関節症に対する鍼灸治療を行う。”	実習	中野
13	1)~6)	“鼻疾患 アレルギー性鼻炎や副鼻腔炎に対する鍼灸治療を行う。基本的な東洋医学的 治療方針を立てる。”	実習	中野
14	1)~6)	“皮膚疾患	実習	中野

接触性皮膚炎、アトピー性皮膚炎などの皮膚の症状について鍼灸治療を行う。”

15 1)~6) “まとめ・復習
各種診察と身体各部の鍼灸施術”

実習

中野

教科書: 使用しない

参考書: 図解鍼灸臨床マニュアル (尾崎昭弘 著) 医歯薬出版株式会社【978-4-263-24192-9】
はりきゅう実技〈基礎編〉(教科書執筆小委員会 著) 医道の日本社【978-4-7529-5020-2】
鍼灸基礎実習ノート (森英俊・佐々木和郎 編) 医歯薬出版株式会社【978-4-263-24238-4】
新版 経絡経穴概論 (教科書執筆小委員会 著) 医道の日本社【978-4-7526-5160-5】
[改訂版]ボディ・ナビゲーション 触ってわかる身体解剖 (阪本桂造 監訳) 医道の日本社【978-4-7529-3095-2】

科目名: **臨床針実技VI**

担当者: 中野祐也(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年生)

必修・選択: 必須 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 本科目は、鍼灸臨床で遭遇しやすい疾患の主要症状を中心に、診察及び鍼灸治療の方法について実習し、技術を習得する。また、同時に局所のおよび東洋医学的な考えに基づいた治療方針をたてることができ、正確かつ安全な鍼灸治療の技術を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)医療者としての自覚と責任ある行動ができる。
 - 2)鍼灸臨床で遭遇しやすい症候に対して、基本的な診察、鑑別診断ができる。
 - 3)鍼灸臨床で遭遇しやすい症候に対して基本的な施術ができる。
 - 4)適切な診療録が記入できる。

評価方法: 実施講義回数数の5分の4以上が必要を満たした者について試験を実施する。評価は筆記試験・実技試験の結果、課題提出、授業態度を総合して行う。

準備学習・履修上の注意等: この授業は実技科目であるため、繰り返し学習することが必要となる。そのため、テキストや配布資料等を活用して、四診・触察法等の内容や意味を各自で予習・復習することが必要となる。1回の授業につき60分を目安に予習・復習を行うこと。授業毎に課題を出すので、次回までに提出すること。本実習は鍼灸の根幹をなすものであることを認識する。始業時間には、授業に必要な準備を済ませておく。実習における身なりを整える。特に白衣・名札の着用、頭髪、爪など。実習の際、手足・体幹が出せる準備をしておく。

オフィスアワー: 毎週水曜日 12:30~13:30 (時間割の都合上、変更あり)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~4)	耳疾患1 平衡機能検査法や音叉による聴力検査法を理解し、耳鳴・難聴・眩暈に対する鍼灸治療を行う。基本的な東洋医学的治療方針を立てる。	実習	中野
2	1)~4)	耳疾患2 平衡機能検査法や音叉による聴力検査法を理解し、耳鳴・難聴・眩暈に対する鍼灸治療を行う。基本的な東洋医学的治療方針を立てる。	実習	中野
3	1)~4)	耳疾患3 平衡機能検査法や音叉による聴力検査法を理解し、耳鳴・難聴・眩暈に対する鍼灸治療を行う。基本的な東洋医学的治療方針を立てる。	実習	中野
4	1)~4)	頭痛1 頭痛の診察手法と治療技法について理解し修得する。また、東洋医学的な理解に基づく基本的な治療技術を修得する。頭痛に関連する軟部組織への適切な刺鍼技術を修得する。	実習	中野
5	1)~4)	頭痛2 頭痛の診察手法と治療技法について理解し修得する。また、東洋医学的な理解に基づく基本的な治療技術を修得する。頭痛に関連する軟部組織への適切な刺鍼技術を修得する。	実習	中野
6	1)~4)	月経痛に対する鍼灸臨床1 月経痛の東洋医学的診断(弁病から弁証)による病態が解釈できる。弁証に従った治療計画が立案でき、適切な治療を行う。	実習	中野
7	1)~4)	月経痛に対する鍼灸臨床2 月経痛の東洋医学的診断(弁病から弁証)による病態が解釈できる。弁証に従った治療計画が立案でき、適切な治療を行う。	実習	中野
8	1)~4)	更年期障害に対する鍼灸臨床 更年期障害の東洋医学的診断(弁病から弁証)による病態が解釈できる。弁証に従った治療計画が立案でき、適切な治療を行う。	実習	中野
9	1)~4)	妊娠嘔吐・骨盤位に対する鍼灸臨床1 妊娠嘔吐、骨盤位の東洋医学的診断(弁病から弁証)による病態を理解し、基本的な鍼灸治療を行う。	実習	中野
10	1)~4)	妊娠嘔吐・骨盤位に対する鍼灸臨床2 妊娠嘔吐、骨盤位の東洋医学的診断(弁病から弁証)による病態を理解し、基本的な鍼灸治療を行う。	実習	中野
10		尿路結石症に対する鍼灸臨床 尿路結石症に対する身体診察について実施する。	実習	

	尿路結石症に対する基本的な鍼灸治療の方法、技能を実施する。		中野
11	1)~4) 排尿障害に対する鍼灸臨床1 頻尿・尿失禁・夜尿症に対する基本的な鍼灸治療の方法、技能を実施する。	実習	
12	1)~4) 排尿障害に対する鍼灸臨床2 頻尿・尿失禁・夜尿症に対する基本的な鍼灸治療の方法、技能を実施する。	実習	中野
13	1)~4) 慢性骨盤痛症候群・間質性膀胱炎・性機能障害に対する鍼灸臨床 慢性骨盤痛症候群・間質性膀胱炎・性機能障害に対する基本的な鍼灸治療の方法、技能を実施する。	実習	中野
14	1)~4) 小児の症状に対する鍼灸治療 小児神経症や小児夜尿症、小児喘息、扁桃炎に対する鍼灸治療の方法、 小児鍼が実施する。小児おける鍼灸治療の注意点について理解する。	実習	中野
15	1)~4)	実習	中野
	1)~4)	実習	中野

教科書： 使用しない

参考書： 図解鍼灸臨床マニュアル（尾崎昭弘 著）医歯薬出版株式会社【978-4-263-24192-9】
鍼灸医療安全ガイドライン（尾崎昭弘・坂本歩・鍼灸安全性委員会 編）医歯薬出版株式会社【978-4-263-24211-7】
はりきゅう実技〈基礎編〉（教科書執筆小委員会 著）医道の日本社【978-4-7529-5020-2】
新版 経絡経穴概論（教科書執筆小委員会 著）医道の日本社【978-4-7526-5160-5】

科目名: **スポーツ栄養学**

担当者: 松田 智香子(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2012年度入学生2年・2011年度以前入学生3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: ヒトにとっての栄養素の役割, 消化吸収の機序やその必要量, 体内での活用方法についての基礎的知識を学ぶ。その上で食物摂取のアンバランスにより生じる生体への影響についての知識を深める。特に摂取エネルギーと消費エネルギーのバランスから体重コントロールの方法を理解し, スポーツ時に効果的な栄養摂取の方法など, 将来, 健康, 福祉, スポーツ分野で実践的に活かせる知識の習得を目指す。

到達目標: (SBOs)

- 1)身体と栄養・食事について理解する。
- 2)日本人の栄養摂取状況の変化について知り, 食生活と生活習慣病の関係について具体的に理解する。
- 3)食品の分類と栄養学的特徴について列挙でき, 食事摂取基準について具体的に説明できる。
- 4)日本人の食生活指針, 食事バランスガイドについて理解し, 特定保健食品と栄養補助食品の摂取について説明できる。
- 5)三大栄養素の役割について理解し, 説明できる。
- 6)ビタミンとミネラル, 水の特徴と役割について理解し, 説明できる。
- 7)消化器系の構造と栄養素の消化の機構について具体的に理解する。
- 8)三大栄養素の代謝について理解し, 体内のエネルギー代謝と酸素消費量について説明でき。
- 9)安静時代謝と生活活動代謝について理解し, 1日の総エネルギー消費と推定エネルギー必要量について説明できる。
- 10)1日のエネルギー代謝率とMETSについて理解した上で, 身体活動量測定(生活時間調査)を行い問題点を列挙できる。
- 11)様々な世代における栄養・食事アセスメントを行い, 問題点に対して改善案を提示できる。
- 12)低栄養を含む栄養・食事ケアについて理解する。
- 13)スポーツ活動に応じた栄養摂取の方法について説明できる。
- 14)アスリートの活動量に適切な食生活について説明できる。

評価方法: 期末試験(90%)、授業態度・課題への取り組み(10%)
原則、再試験は行わない。
なお、再試験を行う場合は、本試験で基準点以上の者のみ再試験を受験できる。
(基準点は授業時に説明する)

準備学習・履修上の注意等: 授業時に配布した資料やノートをまとめ事後学習を行う。また毎授業後に次回授業内容を提示するので事前準備を行うなど1コマ当り4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割が確定次第掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	身体と栄養・食事	講義	松田
2	2)	日本人の栄養摂取状況の変化と生活習慣病	講義	松田
3	3)	食品の分類と栄養学的特徴	講義	松田
4	4)	食生活指針と食事バランスガイド	講義	松田
5	5)	炭水化物の役割	講義	松田
6	5)	たんぱく質の役割	講義	松田
7	5)	脂質の役割	講義	松田
8	6)	ビタミンとミネラル, 水の特徴と役割	講義	松田
9	7)	消化器系の構造と栄養素の消化機構	講義	松田
10	7)13)	栄養素の吸収機構	講義	松田
11	8)9)13)	3大栄養素の代謝, 体内のエネルギー代謝と酸素消費量	講義	松田
12	9)10)13)	安静時代謝と生活活動代謝, スポーツと栄養	講義	松田
13	11)	身体活動量測定(生活時間調査)	実習	松田
14	12)	栄養・食事アセスメント	実習	松田
15	14)	アスリートの栄養・食事ケア	講義	松田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **スポーツ医学**

担当者: 加藤 晴康(非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・実習

授業概要: 高齢化社会進む現在、スポーツは健康維持するために大変注目されている。しかし、成人病などを抱えている人たちが、安全にスポーツを行うためには、サポートする人たちが最低の医学的知識を有することが必要とされている。学生は、心電図の基本的知識を修得し、正常心電図と異常心電図を見分けること、スポーツ外傷の簡単な処置、負荷心電図の方法を理解することを目的とする。

到達目標: (SBOs) 1)スポーツ医学的な知識が必要な状況および必要となる具体的な知識を列挙することができる。
2)運動負荷試験の目的、必要性および具体的な方法について説明および実施することができる。
3)運動負荷試験の絶対的禁忌および相対的禁忌を列挙し、説明することができる。
4)心電図を測定することができ、正常心電図を説明することができる。
5)不整脈や虚血性心疾患の心電図を判断し、それを説明できる。
6)スポーツで生じる代表的な外傷・障害を列挙し、説明できる。
7)スポーツ外傷の応急処置、治療や予防ができる。
8)内科的疾患および救急疾患(熱中症・心肺停止)に対して、適切な処置ができる。

評価方法: 毎時間における小テストや発言などによる授業への取り組み、最終テストより総合的に判断する。

準備学習・履修上の注意等: 実習の時に、床に座ったり、横になつたりすることがある。実習の時は、対応できる服装が望ましい。1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【スポーツ医学について】 スポーツ現場でおきるアクシデントを探る	講義	加藤
2	2)	【運動負荷試験とは】 運動負荷試験について考えよう。	講義	加藤
3	3)	【運動負荷試験の禁忌1】 絶対に運動してはいけない病気とは。	講義	加藤
4	3)	【運動負荷試験の禁忌2】 とても注意しないと運動することができない病気とは。	講義	加藤
5	1)	【運動負荷試験】 運動負荷試験はどのように行うのか。	実習	加藤
6	4)	【運動負荷試験・心電図1】 正常心電図とは何?	講義	加藤
7	5)	【運動負荷試験・心電図2】 異常な心電図を見つけよう-不整脈・心筋梗塞	実習	加藤
8	6)	【スポーツ医学(外科系)】 スポーツのケガには、どのようなものがあるか。	講義	加藤
9	7)	【スポーツ医学(外科系)】 けが人が出た! そのときあなたは、どうする?	実習	加藤
10	7)	【スポーツ医学(外科系)】 スポーツ障害や変形性関節症などの疾患に運動プログラム、予防プログラムを作ってみよう。	実習	加藤
11	8)	【スポーツ医学(内科系)】 スポーツの現場で死者を出してはならない。	講義	加藤
12	8)	【スポーツ医学(内科系)】 突然死や熱中症の選手に対し、あなたはどのように対応しますか。	実習	加藤
13	6)7)	【スポーツ医学(頭部打撲)】 脳震盪の運動休止をしなければならない理由とその休止期間について説明できる。	講義	加藤
14	1)8)	【スポーツ医学(育成期スポーツ障害とドーピング)】 トップアスリートを育てるためには、どのような医学的サポートが必要か。	講義	加藤

15 1) 【トップアスリートサポート】
トップアスリートについて語ろう！

講義

加藤

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **救急処置**

担当者: 神田潤一(福・ス)、山田強一(非常勤:医師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・実習

授業概要: 重篤な傷害や疾患についての知識を身につけたうえで、心肺蘇生法やAEDなどの第一発見者が行うべき救急処置法や、スポーツ現場で頻発する怪我に対する応急処置を実践を通じて学ぶ。また、スポーツ現場に必要な救急体制の整備についての知識も習得していく。

到達目標: (SBOs)

- 1) 救急処置とは・救急時の行動と救急処置の実際について理解し、説明できる。
- 2) 整形外科的障害(骨・関節および筋の損傷～RICE・固定法)の救急処置について理解し、説明できる。
- 3) 整形外科的障害(骨・関節および筋の損傷～RICE・固定法)の救急処置について理解し、実施できる。
- 4) 外科的救急処置(創傷と出血)の救急処置について理解し、説明できる。
- 5) 外科的救急処置(創傷と出血)の救急処置について理解し、実施できる。
- 6) 心肺蘇生法について理解し、説明できる。
- 7) 心肺蘇生法について理解し、実施できる。
- 8) 頭部外傷の救急処置について理解し、説明できる。
- 9) 頭部外傷の救急処置について理解し、実施できる。
- 10) ショックの救急処置について理解し、説明できる。
- 11) ショックの救急処置について理解し、実施できる。
- 12) 高温と低温による障害の救急処置について理解し、説明できる。
- 13) 高温と低温による障害の救急処置について理解し、実施できる。
- 14) 救急体制について理解し、説明できる。

評価方法: 定期試験により評価する。

準備学習・履修上の 予習・復習を必ず行うこと。
注意等:

オフィスアワー: 講義時間以外の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	救急処置とは・救急時の行動と救急処置の実際	講義	神田
2	2)	整形外科的障害(骨・関節および筋の損傷～RICE・固定法)	講義	山田
3	3)	整形外科的障害(骨・関節および筋の損傷～RICE・固定法) 実習	実習	山田
4	4)	外科的救急処置(創傷と出血)	講義	神田
5	5)	外科的救急処置(創傷と出血) 実習	実習	神田
6	6)	心肺蘇生法口	講義	山田
7	7)	心肺蘇生法 実習1	実習	山田
8	7)	心肺蘇生法 実習2	実習	神田
9	8)	頭部外傷	講義	神田
10	9)	頭部外傷 実習	実習	神田
11	10)	ショック	講義	神田
12	11)	ショック 実習	実習	神田
13	12)	高温と低温による障害	講義	神田
14	13)	高温と低温による障害 実習	実習	神田
15	14)	救急体制	講義	神田

教科書: 1回目の講義にて説明。

参考書: 健康運動指導士養成講習会テキスト(健康・体力づくり事業財団)、健康運動実践指導者養成用テキスト(健康・体力づくり事業財団)、公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑧救急処置(日本体育協会)

科目名: **精神保健福祉相談援助の基盤(専門)**

担当者: 浅岡 悦子(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 精神保健福祉分野における専門職の概念と範囲及び専門職の倫理を学び、さらに、総合的・包括的な相談援助における専門的機能を理解し、精神保健福祉士としての基本的な知識を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)精神障がい者を理解し、精神保健福祉士制度の経緯及びその専門性について説明できる。
2)相談援助の定義と理念及び形成過程を説明できる。
3)精神障がい者の相談援助における権利擁護について説明できる。
4)精神保健福祉分野における相談援助の体系が説明できる。
5)精神保健福祉分野における専門職の概念と範囲を説明できる。
6)精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な相談援助のあり方を説明できる。
7)精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な援助の機能と概要を説明できる。
8)精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と概要を説明できる。

評価方法: 後期の筆記試験の結果とレポートの提出状況と内容及び授業態度等を総合的に判断して評価する

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	精神障がい者の今、現状について	講義	浅岡
2	1)	精神保健福祉士制度化の歩みとその専門性	講義	浅岡
3	1)2)	精神保健福祉士の必要性和専門職能団体の活動状況	講義	浅岡
4	1)2)	相談援助における権利擁護の概念と範囲	講義演習	浅岡
5	2)3)	精神障がい者の権利擁護と精神保健福祉士の役割	講義	浅岡
6	2)3)	精神保健福祉士に求められる専門職倫理の必要性和倫理的ジレンマ	講義	浅岡
7	1)~3)	1回~6回のまとめ及び振り返りテスト	講義	浅岡
8	4)	精神保健福祉分野における相談援助活動の対象並びにその目的と意義	講義	浅岡
9	4)5)	精神保健福祉分野における援助活動の現状と今後の展開	講義	浅岡
10	4)5)	精神保健福祉分野における専門職の概念・業務	講義	浅岡
11	4)~6)	精神保健福祉活動における総合的・包括的な援助を支える理論	講義	浅岡
12	4)5)7)	精神保健福祉活動における総合的・包括的な援助の機能と概要	講義	浅岡
13	4)5)8)	精神保健福祉活動における総合的・包括的な援助の多職種連携の意義と概要多職種連携における精神保健福祉士の役割	講義	浅岡
14	4)~8)	8回~13回のまとめ	講義・演習	浅岡
15	1)~8)	精神保健福祉士に求められる専門性、全体のまとめ及び振り返りテスト	講義	浅岡

教科書: 新精神保健福祉士養成講座3~精神保健福祉相談援助の基盤(基礎・専門)~ (日本精神保健福祉士養成校協会 編集) 中央法規出版【978-4-8058-3576-0】

参考書: 使用しない。

科目名: **精神保健福祉援助演習 I**

担当者: 西田 美香(福・福)、日田 剛(福・福)、外部講師

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 本講義は精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。精神保健福祉士は、精神障害者の相談に応じ、助言、指導、訓練等を行うことを主な役割としている。専門的援助技術を身につけ、社会から要請される精神保健福祉士となるため、精神保健福祉援助演習では、精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、相談援助に係る知識と技術について実践的に習得する。また、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。

到達目標: (SBOs) 1)精神保健福祉援助演習の意義や位置づけについて説明できる。
2)自己覚知、コミュニケーション技術、面接技法、情報収集・整理・伝達、課題発見・分析・解決、記録の技術について習得し実践できる。
3)多様な精神保健福祉援助の事例を活用し、精神保健福祉課題を理解するとともに、その解決に向けた総合的かつ包括的な援助について考え説明できる。
4)インテークから終結・アフターケアまでの援助技法を習得し実践できる。
5)社会資源の活用・調整・開発、アウトリーチ、ケアマネジメント等の援助技法を習得し、具体的な支援方法を考え説明できる。

評価方法: 学習への取り組み姿勢(授業態度等)の評価を50%、レポート課題の内容、提出状況等を50%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき60分を目安に予習、復習を行うこと。
特に演習では体験を通して知識、技術を体得することが主な学習方法となるので、講義では積極的に発言、行動し主体的に学ぶという姿勢で臨むこと。

オフィスアワー: 後日、掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	精神保健福祉援助演習に関するオリエンテーション	演習	西田・日田
2	2)	利用者理解と基本対応 自己理解と他者理解①	演習	西田・日田
3	2)	利用者理解と基本対応 自己理解と他者理解②	演習	西田・日田
4	2)	利用者理解と基本対応 専門職の価値と倫理①	演習	西田・日田
5	2)	利用者理解と基本対応 専門職の価値と倫理②	演習	西田・日田
6	2)3)4)	利用者理解と基本対応 利用者理解の実技①	演習	西田・日田
7	2)3)4)	利用者理解と基本対応 利用者理解の実技②	演習	西田・日田
8	2)3)4)	援助技術の習得 面接技法①	演習	西田・日田
9	2)3)4)	援助技術の習得 面接技法②	演習	西田・日田
10	5)	地域福祉の基盤整備にかかわる技術 社会資源を調べてみよう①	演習	西田・日田
11	5)	地域福祉の基盤整備にかかわる技術 社会資源を調べてみよう②	演習	西田・日田
12	2)3)4)	援助技術の習得 記録の技術①	演習	西田・日田
13	2)3)4)	援助技術の習得 記録の技術②	演習	西田・日田
14	2)3)4)	専門職を育てる援助技術	演習	西田・日田

教科書: 新・精神保健福祉士養成講座8 精神保健福祉援助演習(基礎・専門)第2版 (日本精神保健福祉士養成校協会)
中央法規出版株式会社 【978-4-8058-5313-9】

参考書: 使用しない

科目名: **精神保健福祉援助演習Ⅱ**

担当者: 西田 美香(福・福)、日田 剛(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 本講義は精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。精神保健福祉士は、精神障害者の相談に応じ、助言、指導、訓練等を行うことを主な役割としている。専門的援助技術を身につけ、社会から要請される精神保健福祉士となるため、精神保健福祉援助演習では、精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、相談援助に係る知識と技術について実践的に習得する。また、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。特に本講義では、実習での個別的な体験を一般化し、実践的な知識と技術として習得することを目指す。

到達目標: (SBOs) 1)自己覚知、コミュニケーション技術、面接技法、情報収集・整理・伝達、課題発見・分析・解決、記録の技術について習得し実践できる。
2)多様な精神保健福祉援助の事例を活用し、精神保健福祉課題を理解するとともに、その解決に向けた総合的かつ包括的な援助について考え説明できる。
3)インテークから終結・アフターケアまでの援助技法を習得し実践できる。
4)社会資源の活用・調整・開発、アウトリーチ、ケアマネジメント等の援助技法を習得し、具体的な支援方法を考え説明できる。
5)現場実習における個別的な体験を一般化し、実践的な知識と技術として説明できる。

評価方法: 学習への取り組み姿勢(授業態度等)の評価を50%、レポート課題の内容、提出状況等を50%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき60分を目安に予習、復習を行うこと。
特に演習では体験を通して知識、技術を体得することが主な学習方法となるので、講義では積極的に発言、行動し主体的に学ぶという姿勢で臨むこと。

オフィスアワー: 後日、掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)5)	現場実習終了後の精神保健福祉援助演習に関するオリエンテーション	演習	西田・日田
2	1)2)3)4)5)	事例検討①	演習	西田・日田
3	1)2)3)4)5)	事例検討②	演習	西田・日田
4	1)2)3)4)5)	事例検討③	演習	西田・日田
5	1)2)3)4)5)	事例検討④	演習	西田・日田
6	1)2)3)4)5)	事例検討⑤	演習	西田・日田
7	1)2)3)4)5)	事例検討⑥	演習	西田・日田
8	1)2)3)4)5)	事例検討⑦	演習	西田・日田
9	1)2)3)4)5)	事例検討⑧	演習	西田・日田
10	1)2)3)4)5)	事例検討⑨	演習	西田・日田
11	1)2)3)4)5)	事例検討⑩	演習	西田・日田
12	1)2)3)4)5)	地域福祉の基盤整備にかかわる技術 社会資源報告①	演習	西田・日田
13	1)2)3)4)5)	地域福祉の基盤整備にかかわる技術 社会資源報告②	演習	西田・日田

14	1)2)3)4)5) 専門職を考える 専門職業的自己と私的自己	演習	西田・日田
15	1)2)3)4)5) 精神保健福祉援助演習のまとめ	演習	西田・日田

教科書： 新・精神保健福祉士養成講座8 精神保健福祉援助演習(基礎・専門) (日本精神保健福祉士養成校協会) 中央法規出版株式会社【978-4-8058-3581-4】

参考書： 使用しない。

科目名: **精神保健福祉援助実習指導 I**

担当者: 西田 美香(福・福)、日田 剛(福・福)、外部講師

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義|演習|実習

授業概要: 本講義は精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。精神保健福祉士は精神障害者の相談に応じ、助言、指導、訓練等を行うことを主な役割としているため、現場実習を通して臨床現場を理解し、より実践的な知識、技術、そして、専門職としての倫理を学習することが求められる。
精神保健福祉援助実習は、実習事前指導、現場実習、実習事後指導で構成される。
本講義は実習事前指導に位置づけられている。特に障害福祉サービス事業所における実習に向けて、精神保健福祉援助実習の意義について理解するとともに、精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活実態や生活上の困難について理解する。また、精神保健福祉援助にかかる知識と技術について具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術等を体得するとともに、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 精神保健福祉援助実習指導と精神保健福祉援助実習の意義について説明できる。
 - 2) 精神保健医療福祉の現状(利用者理解も含む)について説明できる。
 - 3) 実習を行う施設、機関、事業者、団体、地域社会等について説明できる。
 - 4) 現場体験学習及び見学実習の意義について説明できる。
 - 5) 実習先で必要とされる精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術について説明できる。
 - 6) 精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務について説明できる。
 - 7) 実習における個人のプライバシー保護と守秘義務について説明できる。
 - 8) 「実習記録ノート」への記録内容及び記録方法について説明できる。
 - 9) 実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえ実習計画書を作成する。

評価方法: 学習への取り組み姿勢(授業態度等)の評価を40%、レポート課題の内容、提出状況等を30%、実習施設による評価を30%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1回の講義につき60分を目安に予習、復習を行うこと。
特に現場実習では、実習体験を通して精神保健福祉士としての知識、技術、倫理を学ぶため、積極性、観察力、洞察力等が求められる。講義および現場実習において積極的に取り組み、主体的に学ぶという姿勢で臨むこと。

オフィスアワー: 後日、掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	精神保健福祉援助実習事前指導および現場実習の目的と方法	講義・演習	西田・日田
2	1)	精神保健福祉援助実習への動機の吟味 グループワーク	講義・演習	西田・日田
3	2)3)5)	精神保健医療福祉の現状の理解 障害福祉サービス事業所について	講義・演習	西田・日田
4	9)	実習関係書類の作成 実習課題・自己紹介書の書き方①	講義・演習	西田・日田
5	2)3)5)	精神障害者の理解 精神障害当事者の講話	講義	外部講師・ 西田・日田
6	2)3)5)	障害福祉サービス事業所における精神保健福祉士の役割 地域活動支援センターで働く精神保健福祉士の講話	講義	外部講師・ 西田・日田
7	2)3)5)	行政機関における精神保健福祉士の役割 延岡市役所 健康福祉部障がい福祉課における精神保健福祉業務について	講義	外部講師・ 西田・日田
8	9)	実習関係書類の作成 実習課題・自己紹介書の書き方②	講義・演習	西田・日田
9	3)4)5)8)	実習日誌の書き方	講義・演習	西田・日田
10	2)3)4)5)	精神障害者の生活支援	講義・演習	西田・日田
11	5)6)7)	精神保健福祉士の職業倫理と法的責任の理解	講義・演習	西田・日田
12	2)3)5)	精神保健福祉援助実習に必要な専門知識	試験	西田・日田

筆記試験

13	2)3)5)	精神保健福祉援助実習に必要な専門知識 制度、社会保障等に関する講義	講義	西田・日田
14	9)	実習におけるスーパービジョンについて	講義・演習	西田・日田
15	9)	実習直前指導(実習に向けての心構え、アクシデントへの対応等) 実習巡回指導教員によるスーパービジョン	個別面接	西田・日田

教科書: 新・精神保健福祉士養成講座9 精神保健福祉援助実習指導・実習 第2版(日本精神保健福祉士養成校協会) 中央法規出版株式会社【978-4-8058-5120-3】

参考書: 使用しない

科目名: **精神保健福祉援助実習指導Ⅱ**

担当者: 西田 美香(福・福)、日田 剛(福・福)、外部講師

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義|演習|実習

授業概要: 本講義は精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。精神保健福祉士は精神障害者の相談に応じ、助言、指導、訓練等を行うことを主な役割としているため、現場実習を通して臨床現場を理解し、より実践的な知識、技術、そして、専門職としての倫理を学習することが求められる。
精神保健福祉援助実習は、実習事前指導、現場実習、実習事後指導で構成される。
本講義では施設実習事後指導と病院実習事前指導を行う。施設実習事後指導では障害福祉サービス事業所における実習の振り返りを行い、具体的な体験や援助活動を、専門的知識および技術として概念化し理論化し体系立てていく能力を涵養する。
病院実習事前指導では、病院実習の意義を理解するとともに、精神障害者やその家族のおかれている現状を理解し、社会復帰支援について理解する。また、精神保健福祉援助にかかる知識と技術について具体的かつ実践的に理解し、実践的な技術等を体得するとともに、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 精神保健福祉援助実習指導と精神保健福祉援助実習の意義について説明できる。
 - 2) 精神保健医療福祉の現状(利用者理解も含む)について説明できる。
 - 3) 実習を行う施設、機関、事業者、団体、地域社会等について説明できる。
 - 4) 現場体験学習及び見学実習の意義について説明できる。
 - 5) 実習先で必要とされる精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術について説明できる。
 - 6) 精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務について説明できる。
 - 7) 実習における個人のプライバシー保護と守秘義務について説明できる。
 - 8) 「実習記録ノート」への記録内容及び記録方法について説明できる。
 - 9) 実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえ実習計画書を作成する。
 - 10) 実習記録や実習体験を踏まえた課題の整理と実習報告書を作成する。
 - 11) 実習報告会で報告を行い、実習の総括を行う。

評価方法: 学習への取り組み姿勢(授業態度等)の評価を40%、レポート課題の内容、提出状況等を30%、実習施設による評価を30%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1回の講義につき60分を目安に予習、復習を行うこと。
特に現場実習では、実習体験を通して精神保健福祉士としての知識、技術、倫理を学ぶため、積極性、観察力、洞察力等が求められる。講義および現場実習において積極的に取り組み、主体的に学ぶという姿勢で臨むこと。

オフィスアワー: 後日、掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	精神保健福祉援助実習指導Ⅱの目的と方法 施設実習報告の意義と方法	講義・演習	西田・日田
2	10)11)	施設実習における学習成果の共有	講義・演習	西田・日田
3	2)3)5)6)	精神科病院における精神保健福祉士の役割 精神科病院見学オリエンテーション	講義・演習	西田・日田
4	2)3)	精神保健医療福祉の現状の理解 精神科病院見学①	実習	西田・日田
5	2)3)	精神保健医療福祉の現状の理解 精神科病院見学②	実習	西田・日田
6	2)3)	精神保健医療福祉の現状の理解 精神科病院見学報告会	講義・演習	西田・日田
7	2)3)	精神障害者の理解 ミニバレー交流会オリエンテーション	講義・演習	西田・日田
8	2)3)	精神障害者の理解 精神障害者とのミニバレー交流会	実習	西田・日田
9	9)	実習関係書類の作成 実習課題・自己紹介書の書き方	講義・演習	西田・日田
10	2)3)	精神科医療機関における精神保健福祉士の役割 卒業生の講話	講義	西田・日田・ 外部講師

11	4)9)	実習プログラム等に関する事前打ち合わせ 実習事前訪問・実習指導者会議に関するオリエンテーション	講義・演習	西田・日田
12	2)3)	精神障害者家族の理解 精神障害者家族の講話	講義	西田・日田・ 外部講師
13	8)	実習日誌の書き方	講義・演習	西田・日田
14	5)	精神保健福祉援助実習に必要な専門知識 筆記試験	試験・講義	西田・日田
15	7)	実習直前指導 実習に向けての心構え、アクシデントへの対応等	講義・演習	西田・日田

教科書： 新・精神保健福祉士養成講座9 精神保健福祉援助実習指導・実習 第2版（日本精神保健福祉士養成校協会）中央法規出版株式会社【978-4-8058-5120-3】

参考書： 使用しない。

科目名: **精神保健福祉援助実習指導Ⅲ**

担当者: 西田 美香(福・福)、日田 剛(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義 | 演習

授業概要: 本講義は精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。精神保健福祉士は精神障害者の相談に応じ、助言、指導、訓練等を行うことを主な役割としているため、現場実習を通して臨床現場を理解し、より実践的な知識、技術、そして、専門職としての倫理を学習することが求められる。
精神保健福祉援助実習は、実習事前指導、現場実習、実習事後指導で構成される。
本講義は実習事後指導に位置づけられ、実習における具体的な体験や援助活動を、専門的知識および技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養することを目的としている。

到達目標: (SBOs)

- 1) 精神保健医療福祉の現状(利用者理解も含む)について説明できる。
- 2) 実習を行う施設、機関、事業者、団体、地域社会等について説明できる。
- 3) 現場体験学習及び見学実習の意義について説明できる。
- 4) 実習先で必要とされる精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術について説明できる。
- 5) 精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務について説明できる。
- 6) 実習における個人のプライバシー保護と守秘義務について説明できる。
- 7) 実習記録や実習体験を踏まえた課題の整理と実習報告書を作成する。
- 8) 実習報告会で報告を行い、実習の総括を行う。

評価方法: 学習への取り組み姿勢(授業態度等)の評価を40%、実習報告書の内容を30%、実習報告会の状況を30%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1回の講義につき60分を目安に予習、復習を行うこと。
特に実習事後指導では、実習体験を通して精神保健福祉士としての知識、技術、倫理を学ぶため、積極性、観察力、洞察力等が求められる。講義および現場実習において積極的に取り組み、主体的に学ぶという姿勢で臨むこと。

オフィスアワー: 後日、掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)7)8)	精神保健福祉援助実習事後指導の目的と方法 実習報告の意義と方法	講義・演習	西田・日田
2	2)3)4)5)6)	実習における学習成果の共有①	講義・演習	西田・日田
3	2)3)4)5)6)	実習における学習成果の共有②	講義・演習	西田・日田
4	3)5)6)7)8)	実習報告会①	講義・演習	西田・日田
5	3)5)6)7)8)	実習報告会②	講義・演習	西田・日田
6	3)5)6)7)8)	実習報告会③	講義・演習	西田・日田
7	3)5)6)7)8)	実習報告会④	講義・演習	西田・日田
8	3)5)6)7)8)	実習報告会⑤	講義・演習	西田・日田
9	3)5)6)7)8)	実習報告会⑥	講義・演習	西田・日田
10	3)5)6)7)8)	実習報告会⑦	講義・演習	西田・日田
11	1)2)3)	精神保健福祉センター見学研修	実習	西田・日田
12	3)5)6)7)8)	実習報告書作成	講義・演習	西田・日田
13	3)5)6)7)8)	実習報告会⑧	講義・演習	西田・日田

14 3)5)6)7)8) 実習報告会⑨

試験・講義 西田・日田

15 3)5)6)7)8) 実習の評価(個別面談)

講義・演習 西田・日田

教科書: 新・精神保健福祉士養成講座9 精神保健福祉援助実習指導・実習第2版 (日本精神保健福祉士養成校協会) 中央法規出版株式会社【978-4-8058-5120-3】

参考書: 使用しない。

科目名: **精神保健福祉援助実習**

担当者: 西田 美香(福・福)、日田 剛(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 4 時間数: 210 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 本科目は精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。精神保健福祉士は精神障害者の相談に応じ、助言、指導、訓練等を行うことを主な役割としているため、現場実習を通して臨床現場を理解し、より実践的な知識、技術、そして、専門職としての倫理を学習することが求められる。
精神保健福祉士養成に係る実習は、実習事前指導、現場実習、実習事後指導で構成される。本科目は現場実習に位置づけられ、実習を通して精神保健福祉援助ならびに障害者等の相談援助にかかる専門的知識と技術について具体的かつ実践的に理解し実践的な技術等を体得する。また、障害者のおかれている現状を理解し、その生活実態や生活上の課題について把握するとともに、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。さらに、総合的かつ包括的な地域生活支援と関連分野の専門職との連携のあり方およびその具体的内容を実践的に修得する。

到達目標: (SBOs) 1)精神保健福祉援助実習の意義について説明できる。
2)精神保健医療福祉の現状(利用者理解も含む)について説明できる。
3)実習を行う施設、機関、事業者、団体、地域社会等について説明できる。
4)実習先で必要とされる精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術について説明できる。
5)精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務について説明できる。
6)実習における個人のプライバシー保護と守秘義務について説明できる。
7)「実習記録ノート」への記録内容及び記録方法について説明できる。
8)実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえ実習計画書を作成する。

評価方法: 実習への取り組み姿勢40%、実習巡回時の状況30%、実習指導者による評価を30%として総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 実習に係る申し合わせ事項を確認し、履修に関する条件を満たしておくこと。
実習事前指導に積極的に取り組み、実習課題を明確に設定しておくこと。
実習に積極的に取り組み、主体的に学ぶという姿勢で臨むこと。

オフィスアワー: 実習センター9:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)5)6)7)	【実習の実施】 障害福祉サービス事業所において、7日間かつ56時間以上の実習を行う。また、精神科病院において、20日間かつ160時間以上の実習を行う。 実習期間は本学の指定した期間を原則とするが、実習先との協議により変更して行うこともある。 実習期間には、毎日実習記録を行い、実習施設に提出する。	実習	西田・日田
2	2)3)4)5)6)7)8)	具体的な実習プログラムは、自己の実習課題を踏まえ、実習指導者との調整により決定する。 実習中は実習指導者からの指導を受けるとともに、大学の実習担当教員による巡回指導及び帰校日指導を受ける。	実習	西田・日田
3	2)3)4)5)6)8)	実習では次に掲げる事項の達成を目標とする。 1.基本的な姿勢・態度 (1)実習生の立場・位置、責任範囲 ・実習指導者が提示した実習の枠組みを遵守している。 ・実習生という立場を自覚して利用者や職員に接している。 ・報告、連絡、相談を必要な時に適切に行っている。 (2)実習中の責任遂行 ・実習中の体調管理は十分できている。 ・出退勤時間や規則を遵守している。 ・記録、課題などの提出物は期限を守っている。 (3)実習指導者から学ぶ態度 ・指導を謙虚に受けている。 ・実習を客観的に振り返ることができる。 (4)実習の姿勢・目標の達成 ・課題や目標に対して積極的である。 ・事前の学習、関係法規を理解している。 ・実習目標を達成できている。	実習	西田・日田
4	2)3)4)5)6)	2.援助対象者の理解と関係性 (1)利用者の理解 ・病気の特性について理解している。 ・利用者が抱えている病気や障害及び課題やニーズについて理解している。 (2)利用者とのコミュニケーション ・利用者に積極的に関わっている。 ・利用者に傾聴し、共感的に理解している。	実習	西田・日田

- (3)利用者との良好な関係を築く
 - ・治療の場、生活の場へ入り込むことへの礼節と配慮がある。
 - ・個人を尊重し、生活者としてかかわっている。

5 2)3)4)5)6)7 3.社会福祉実践の能力

実習

西田・日田

)

- (1)実習施設の目的・機構・機能の理解
 - ・機関の目的などについて理解している。
 - ・機関の社会的意義やこの分野の課題について理解している。
- (2)医療チームや地域との関係
 - ・他職種について理解し、良好な関係を築いている。
 - ・関係機関や地域について理解している。
- (3)援助の方法、社会資源の理解と活用
 - ・精神保健福祉士の具体的な業務について理解している。
 - ・アセスメント、プランニング等、ケアマネジメント技法を理解している。
 - ・社会資源を理解し活用している。
 - ・面接、訪問などの同行によるケースワーク技法を理解している。
- (4)専門職としての倫理
 - ・人権尊重意識が身についている。
 - ・利用者のプライバシーを守っている。
 - ・守秘義務を遵守している。
- (5)各種記録、実習日誌の作成
 - ・記録や日誌を適切に作成し、整理、保管し活用している。
 - ・表現や内容をわかりやすく、客観的に書いている。
- (6)自己覚知
 - ・自分の性格、行動傾向について自覚している。
 - ・自分の姿勢や態度、価値観について気づいている。

教科書： 新・精神保健福祉士養成講座9 精神保健福祉援助実習指導・実習第2版（日本精神保健福祉士養成校協会）中央法規出版株式会社【978-4-8058-5120-3】

参考書： 使用しない。

科目名: **介護の基本 I**

担当者: 貫 優美子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義|演習

授業概要: 介護福祉士として、利用者の「尊厳の保持」「自立支援」という新しい介護の考え方を理解するとともに「介護を必要とする人」を生活の観点から捉えることができるようになる。また介護サービスを提供する対象、場によらず、あらゆる介護場面に汎用できる基本的な介護の知識・技術を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 介護福祉全般の専門用語について調べ、説明できる。
2) 生活とはなにか、自分たちの生活や家族の生活を深くみつめ、様々な生活の違いがあることを理解する。
3) 高齢者や障害をもった人たちの暮らしについて理解できる。
4) 高齢者の生きてきた時代背景を調べ、説明できる。
5) 利用者の生活環境を整えるためには何が必要かで、どのような制度が関わっているのかを理解する。
6) 日常生活習慣から生活が障害されるという観点から生活障害を捉え説明ができる。

評価方法: 学年末の定期試験80%、課題提出状況、授業態度20%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。
1回の授業につき、最低4時間の準備学習が必要である。

オフィスアワー: 16時30分～17時30分。ただし木、実習期間中は除く。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	介護の意味について理解する(1)	講義	貫
2	1)	介護の成り立ちについて理解する。(2)	講義・SGD	貫
3	1)	日本の介護問題の背景を理解することができる(3)	講義・SGD	貫
4	2)	生活とは何か、一人ひとりの生活の違いについて理解する(1)	講義	貫
5	2)	生活とは何か、一人ひとりの生活の違いについて理解する(2)	講義	貫
6	2)3)	障がいのある人の生活の理解(1)	講義	貫
7	2)3)	障がいのある人の生活の理解(2)	講義	貫
8	2)3)	高齢者の暮らしを支える介護(1)	講義	貫
9	2)3)	高齢者の暮らしを支える介護(2)	講義	貫
10	4)	そのひとらしさの理解	SGD	貫
11	4)	高齢者が生きてきた時代や文化の理解	講義	貫
12	2)3)4)5)	事業所・施設を見学し、福祉・介護について理解する。(事業所・施設見学)	施設見学	貫
13	2)3)4)5)	利用者の生活環境について(施設見学)	施設見学	貫
14	5)6)	生活習慣と生活障害について	講義	貫
15	5)6)	生活のニーズとは何か	講義	貫

教科書: 最新介護福祉全書 3 介護の基本 メヂカルフレンド社

参考書: 使用しない。

科目名: 介護の基本Ⅱ

担当者: 貫 優美子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(1年)

必修・選択: 選択

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 講義

授業概要: 利用者の「尊厳の保持」「自立支援」という新しい介護の考え方を理解するとともに「介護を必要とする人」を生活の観点から捉えることができるようになる。また介護サービスを提供する対象、場によらず、あらゆる介護場面に汎用できる基本的な介護の知識・技術を修得する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 介護福祉士の成り立ちや歴史的背景を説明できる。
- 2) QOL、ノーマライゼーションについて説明できる。
- 3) 人間の尊厳とは何か、また介護現場での尊厳を守るための介護について説明できる。
- 4) 高齢者や障がいのある人の生活を支援するための方策を説明できる。
- 5) 福祉用具・用品について、名前や使用方法を理解し、それを指導・伝達できる。
- 6) ICFについて説明ができる。
- 7) 生活を支援する専門職としての介護福祉士の役割や業務の内容を理解し説明できる。

評価方法: 定期試験、課題提出状況により評価する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。
1回の授業につき、4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 16時30分～17時30分まで。ただし木曜日、実習巡回の期間は除く。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	介護を必要とする人を理解する(1)	講義	貫
2	1)	介護を必要とする人を理解する(2)	講義	貫
3	2)	「その人らしさ」と「生活ニーズ」を理解する。	講義	貫
4	3)	生活障害の理解(1)	講義	貫
5	4)	生活障害の理解(2)	講義	貫
6	4)	生活環境の重要性(1)	施設見学	貫
7	4)	生活環境の重要性(2)	施設見学	貫
8	4)5)	福祉用具・用品について(1)	講義・SGD	貫
9	4)5)	福祉用具・用品について(2)	講義・SGD	貫
10	4)5)	福祉用具・用品について(3)	講義・SGD	貫
11	4)	尊厳を支える介護(1)	講義	貫
12	4)	尊厳を支える介護(2)	講義	貫
13	6)	ICFの考え方、ICFの視点に基づいた支援の在り方を理解する。	講義	貫
14	7)	介護実践における多職種連携の意義を学ぶ。	講義	貫
15	7)	介護実践で求められる倫理、個人情報保護法について学ぶ。	講義	貫

教科書: 最新介護福祉全書 3 介護の基本 メヂカルフレンド社

参考書: 使用しない。

科目名: 介護の基本Ⅲ

担当者: 日田 剛(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 介護の基本Ⅲでは、介護福祉士の社会的役割を理解し、自立に向けた介護のあり方を学び、介護従事者としての職業倫理を習得する。また、介護サービスの法的位置づけ、基準、特性等を理解し、利用者主体のサービスのあり方が探求できるようになる。

到達目標: (SBOs) 1)介護福祉士を取り巻く状況を踏まえ、介護福祉士の役割や位置づけが説明できる。
2)介護福祉士の職業倫理と倫理判断の視点について説明できる。
3)介護サービスの歴史的変遷から介護サービスの特性について説明できる。
4)介護サービスの種類や提供の場の特性について説明できる。

評価方法: 毎時間後のレポート・提出物・小テストの評価を30%及び前期末試験と後期末試験の点数70%として総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。事前にテキストを熟読し予習してくる。1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。SGDでは、積極的に議論をすること。配布資料はファイルすること。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	介護福祉士の取り巻く状況 専門職としての誕生の経緯	講義	日田
2	1)	社会福祉士法及び介護福祉士法の概要と介護福祉士の役割や位置づけ	講義	日田
3	1)	社会福祉士法及び介護福祉士法に基づく介護福祉士が守るべき義務規定	講義・SGD	日田
4	1)	専門職能団体の意義と目的、実際の専門職能団体の活動	講義	日田
5	1)	専門職能団体における生涯研修体系と介護福祉士の将来像	講義・SGD	日田
6	2)	介護福祉士の職業倫理と倫理判断の視点	講義	日田
7	2)	介護現場で生じる問題に対する倫理判断の視点	SGD	日田
8	3)	介護サービスの歴史的変遷と時代背景から現在の介護サービスに求められていること	講義	日田
9	3)4)	福祉制度との関係による介護サービスの特性と介護福祉士の役割	講義	日田
10	3)4)	介護保険制度における介護サービスの種類と提供の場	講義	日田
11	3)4)	障害者自立支援法における介護サービスの種類と提供の場	講義	日田
12	3)4)	入所系サービスにおける介護サービスの内容と特性	講義・SGD	日田
13	3)4)	居宅系サービスにおける介護サービスの内容と特性	講義・SGD	日田
14	4)	ケアマネジメントの意味と介護サービス計画の必要性	講義	日田
15	4)	介護サービス計画に基づく支援のあり方とケアマネジメントのプロセス	講義	日田

教科書: 最新 介護福祉全書3 介護の基本 メヂカルフレンド社

参考書: 使用しない。

科目名: **介護の基本IV**

担当者: 日田 剛(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 介護の基本IVでは、介護実践場面における連携の必要性を理解し、他職種連携によるチームケアのあり方を学び、連携力をもった介護福祉士として実践できるようになる。また、利用者の権利擁護の視点によるリスクマネジメントの具体的方法や自らの健康管理のあり方を学ぶことにより、実践現場で汎用できる知識・技術が習得できる。

到達目標: (SBOs)
1)介護実践における連携のあり方について説明できる。
2)介護における安全の確保とリスクマネジメントについて説明できる。
3)介護に携わる人の健康管理のあり方について説明できる。
4)介護福祉士を取り巻く状況を踏まえ、介護福祉士の役割や位置づけが説明できる。

評価方法: 毎時間後のレポート・提出物・小テストの評価を30%及び前期末試験と後期末試験の点数70%として総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。事前にテキストを熟読し予習してくる。1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。SGDでは、積極的に議論をすること。配布資料はファイルすること。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	介護職と多職種連携の意義と目的、連携の必要性	講義	日田
2	1)	他の専門職の役割・機能、連携のあり方	講義・SGD	日田
3	1)	介護職員間の連携によるチームケアと連携方法	講義・SGD	日田
4	1)	多職種連携による利用者支援のあり方と連携方法	講義・SGD	日田
5	1)	地域連携の意義と目的、地域連携にかかわる機関や社会資源	講義・SGD	日田
6	1)	地域連携による社会資源の活用のあり方、連携方法	講義・SGD	日田
7	1)	サービス担当者会議の開き方と介護福祉士としての役割	講義・SGD	日田
8	2)	リスクマネジメントの必要性和介護における安全の確保の重要性	講義	日田
9	2)	リスクマネジメント具体的取り組み方法と介護における安全の確保の視点	講義	日田
10	2)	事故防止、安全対策の具体的方法	SGD	日田
11	2)	事故発生時の対応方法と解決方法	SGD	日田
12	3)	介護者に起こりやすいストレスの背景と健康管理のあり方	講義	日田
13	3)	安心して働きやすい介護職場の環境づくりのあり方	講義	日田
14	4)	介護福祉士の社会的役割の重要性	SGD	日田
15	4)	介護福祉士に求められる基本的知識と技術、介護福祉士としての目標	講義・SGD	日田

教科書: 最新 介護福祉全書3 介護の基本 メヂカルフレンド社

参考書: 使用しない。

科目名: **介護福祉学 I**

担当者: 稲田 弘子(福・福) 立石 修康(保・作)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年生)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 介護サービスを提供する対象者のみならず、あらゆる介護場面に汎用できる介護福祉士になるために、450時間の介護実習で学んだことをふまえ、介護福祉の集大成としての総括となる知識・技術を取得する。

到達目標: 1)「介護」とは何かを自分で考え尊厳をささえる介護について説明・実践できる。
(SBOs) 2)認知症のケアのあり方について説明できる。
3)リハビリについて基礎的なことを説明・実践できる。

評価方法: 単位認定テスト80%と学習への取り組み姿勢(授業態度、課題内容、出欠遅刻状況等)20%として、総括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格修得を希望する場合は必修。
課題のレポートを期日内に提出すること。
授業1回につき60分をめぐりに復習をすること。また、定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。

オフィスアワー: 時間割が確定後に研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【事例1】を通して介護について考える①	講義・演習	稲田
2	1)	【事例1】を通して介護について考える②	講義・演習	稲田
3	1)	【事例2】を通して介護について考える①	講義・演習	稲田
4	1)	【事例2】を通して介護について考える②	講義・演習	稲田
5	2)	認知症介護について考える(軽度認知障害について)	講義	稲田
6	2)	認知症介護について考える(認知症の予防について)	講義	稲田
7	2)	認知症介護について考える(若年性認知症について)	講義	稲田
8	2)	認知症介護について考える(認知症初期集中支援チームについて)	講義	稲田
9	1)	これからの介護について	講義	稲田
10	3)	リハビリテーションについて	講義・演習	立石
11	3)	リハビリテーションについて	講義・演習	立石
12	3)	リハビリテーションについて	講義・演習	立石
13	3)	リハビリテーションについて	講義・演習	立石
14	3)	リハビリテーションについて	講義・演習	立石
15	3)	リハビリテーションについて	講義・演習	立石

教科書: 使用しない。(講義時プリントを配布するのできちんとファイリングすること)

参考書: 使用しない。

科目名: **介護福祉学Ⅱ**

担当者: 稲田 弘子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年生)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 介護サービスを提供する対象者のみならず、あらゆる介護場面に汎用できる介護福祉士になるために、450時間の介護実習で学んだことをふまえ、介護福祉の集大成としての総括となる知識・技術を取得する。

到達目標: 1) 自立支援の観点から介護実践できる能力を養い他者に説明できる。
(SBOs) 2) 認知症の介護のあり方について説明できる。

評価方法: 単位認定テスト80%と学習への取り組み姿勢(授業態度、課題内容、出欠遅刻状況等)20%として、総括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格修得を希望する場合は必修。
課題のレポートや模試の回答を期日内に提出すること。
定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。

オフィスアワー: 時間割が確定後に研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	自立支援を考えた介護について(教案作成)	講義・演習	稲田
2	1)	自立支援を考えた介護について(教案作成)	講義・演習	稲田
3	1)	自立支援を考えた介護について(教案作成)	講義・演習	稲田
4	1)	自立支援を考えた介護について(教案作成)	講義・演習	稲田
5	1)	自立支援を考えた介護について(教案作成)	講義・演習	稲田
6	1)	自立支援を考えた介護について(教案作成)	講義・演習	稲田
7	1)	自立支援を考えた介護について(教案作成)	講義・演習	稲田
8	1)	自立支援を考えた介護について(教案作成・模擬授業)	講義・演習	稲田
9	1)	自立支援を考えた介護について(授業の実施)	講義・演習	稲田
10	1)	自立支援を考えた介護について(授業の実施)	講義・演習	稲田
11	2)	認知症介護について考える(情報収集のあり方・倫理)	講義・演習	稲田
12	2)	認知症介護について考える(社会的支援・新オレンジプラン)	講義・演習	稲田
13	2)	認知症介護について考える(社会的支援・認知症初期集中支援チーム)	講義・演習	稲田
14	2)	総括1	講義・演習	稲田
15	2)	総括2	講義・演習	稲田

教科書: 使用しない。(講義時プリントを配布するのできちんとファイリングすること)

参考書: 使用しない。

科目名: コミュニケーション技術 I

担当者: 原 修一(保・言)、小出 真治(非常勤講師)、清水 径子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 介護福祉士資格取得のためには、基礎的知識・技術・態度を身につける必要がある。本講義により、受講者は基礎的知識として介護を必要とする者の理解や援助的関係、援助的コミュニケーションについて理解することができる。また、技術・態度として利用者や利用者家族、あるいは他職種協働におけるコミュニケーション能力を実践できる。

到達目標: (SBOs) 1)事例(介護技術)をふまえてのコミュニケーションのあり方について理解し、実践することができる。
2)構音障害の方とのコミュニケーションのあり方について理解できる。
3)失語症の方とのコミュニケーションのあり方について理解できる。
4)利用者の状態について要約し、発表できる。
5)視覚障害の方とのコミュニケーションについて理解し、実践することができる。
6)点字の実際を理解し、実践できる。
7)聴覚障害の方とのコミュニケーションのあり方について理解し、実践することができる。(手話実技演習)

評価方法: 定期試験と演習態度で総合的に判断し、評価します。

準備学習・履修上の注意等: 毎授業後に必ず1時間は復習する時間を設け、レジュメを読み返すこと。
長期休暇中に課題は、指定期日までに取り組むこと。

オフィスアワー: 時間割が確定後、提示する。非常勤講師へは授業時間の前後を利用してください。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの技法の実際(1)	講義	清水
2	1)	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの技法の実際(2)	演習	清水
3	1)	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの技法の実際(3)	演習	清水
4	2)	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの技法の実際(4)	講義	原
5	3)	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの技法の実際(5)	演習	原
6	1)	介護におけるチームのコミュニケーション(1) 利用者の状態について要約する	演習	清水
7	1)4)	介護におけるチームのコミュニケーション(2)	演習	清水
8	1)4)	介護におけるチームのコミュニケーション(3) 利用者の状態について要約し、発表する	演習	清水
9	5)	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの技法の実際(6) 視覚障害	演習	清水
10	5)6)	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの技法の実際(7) 視覚障害	演習	小出
11	5)6)	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの技法の実際(8) 視覚障害	演習	小出
12	5)6)	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの技法の実際(9) 視覚障害	演習	清水
13	5)6)	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの技法の実際(10) 視覚障害	演習	小出
14	7)	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの技法の実際(11) 聴覚障害	演習	外部講師
15	7)	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの技法の実際(12) 聴覚障害	演習	外部講師

教科書: 視覚障害者介護技術シリーズ1 初めての点訳 (全国視覚障害者情報提供施設協会) 全国視覚障害者情報提供施設協会【4-925053-14-0】
介護福祉士養成テキストブック5 コミュニケーション技術 ミネルヴァ書房

参考書: 特になし。

科目名: コミュニケーション技術Ⅱ

担当者: 清水 径子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 介護福祉士資格取得のためには、基礎的知識・技術・態度を身につける必要がある。本講義により、受講者は基礎的知識として介護を必要とする者の理解や援助的関係、援助的コミュニケーションについて理解することができる。また、技術・態度として利用者や利用者家族、あるいは他職種協働におけるコミュニケーション能力を実践できる。

到達目標: 1)介護におけるコミュニケーションの意義・目的・役割について理解できる。
(SBOs) 2)介護場面におけるコミュニケーションを理解できる。
3)接遇について理解し、実践できる。

評価方法: 定期試験と演習態度で総合的に判断し、評価します。

準備学習・履修上の注意等: 毎授業後に必ず1時間は復習する時間を設け、レジュメを読み返すこと。
演習等で必要な場合は、介護実習室を使用し技術の確認を行うこと。
また、出題された課題は指定期日までに提出すること。

オフィスアワー: 時間割が確定後、提示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	介護におけるコミュニケーションの基本(1) コミュニケーションの意義・目的・役割について	演習	清水
2	2)	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション(2)	演習	清水
3	2)	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション(3)	演習	清水
4	2)	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション(4)	演習	清水
5	2)	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション(5)	演習	清水
6	2)	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション(6)	演習	清水
7	2)	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション(7)	演習	清水
8	2)	利用者や職員との人間関係とコミュニケーション	演習	清水
9	2)	要約の技法	演習	清水
10	2)	記録の技法(1) 介護記録の種類と記録の方法について	演習	清水
11	2)	記録の技法(2) 介護記録の種類と記録の方法について	演習	清水
12	2)	報告の技法	演習	清水
13	2)	会議の技法	演習	清水
14	2)3)	利用者や職員との人間関係とコミュニケーション(1)	演習	清水
15	2)3)	利用者や職員との人間関係とコミュニケーション(2)	演習	清水

教科書: 介護福祉士養成テキストブック5 コミュニケーション技術 ミネルヴァ書房

参考書: なし

科目名: **生活支援技術演習(基本Ⅰ)**

担当者: 清水 径子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 介護福祉士資格取得のためには、基礎的知識・技術・態度を身につける必要がある。本講義により、受講者は他者に共感し、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけることができ、高齢者・障がい者の疑似体験を通して、利用者の視点を理解が可能になる。また、あらゆる介護場面に共通する基礎的な介護の知識・技術を習得し、尊厳の保持の観点から、その人の自立・自律を尊重し、残存能力を引き出し、安全に利用者の生活を支援できる基礎的な知識や技術について理解し、実践力が養える。

到達目標: (SBOs) 1)生活を支援する介護福祉士の役割を説明できる。
2)高齢者・障がい者の生活について疑似体験を体験し説明できる。
3)腰痛予防や介護技術の基本となるボディメカニクスについて説明できる。
4)利用者の生活における基礎知識を説明できる。
5)ベッドメイキングが実施できる。
6)移動に関する福祉用具を調べ、説明できる。
7)利用者が安全・安楽、安心に生活することができる介助の基本技術を実践できる。
8)ICFの捉え方、生活機能と各因子の相互作用が理解できる。

評価方法: 定期試験(筆記試験・実技試験)(80%)、授業態度・レポート提出状況(20%)を総合的に判断して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 毎授業後に授業レポートを指定期日までに提出すること。
毎授業後に必ずレジュメを読み返すこと。
また、空き時間を利用し、介護実習室にて実技試験に向けた生活支援技術の練習を行うこと。
介護福祉士の受験資格取得を希望する場合は必修。
演習授業時は、上履き(白)、ポロシャツ、ジャージ等を準備すること。

オフィスアワー: 時間割が確定後、掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	生活支援とは 介護福祉士について	講義	清水
2	1)4)	聴覚障害について	講義	清水
3	1)2)4)	視覚障害について	講義・演習	清水
4	1)4)	高齢者について 老化とは	講義	清水
5	1)2)4)	高齢者疑似体験	講義・演習	清水
6	8)	ICFの視点	講義・演習	清水
7	1)3)4)	ボディメカニクス	講義・演習	清水
8	1)4)	自立に向けた睡眠の介護(1)	講義	清水
9	1)3)5)	自立に向けた睡眠の介護(2)	講義・演習	清水
10	1)5)7)	自立に向けた睡眠の介護(3)	講義・演習	清水
11	1)4)	自立に向けた移動の介護(1)	講義	清水
12	1)4)	自立に向けた移動の介護(2)	講義	清水
13	1)4)6)	自立に向けた移動の介護(3)	演習	清水
14	6)7)	自立に向けた移動の介護(4)	演習	清水
15	3)5)7)	自立に向けた介護実践	演習	清水

教科書: 新介護福祉士養成講座6 生活支援技術Ⅰ (介護福祉士養成講座編集委員会) 中央法規【978-4-8058-3940-9】
新介護福祉士養成講座7 生活支援技術Ⅱ (介護福祉士養成講座編集委員会) 中央法規【978-4-8058-3941-6】
※他の教科「生活支援技術演習(家事Ⅰ)・生活支援技術演習(基本Ⅱ)・生活支援技術演習(応用Ⅰ)」においても同様に使用します。

参考書: 使用しない。

科目名: **生活支援技術演習(基本Ⅱ)**

担当者: 清水 径子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 介護福祉士資格取得のためには、基礎的知識・技術・態度を身につける必要がある。本講義により、受講者は他者に共感し、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけることができ、介護する側、介護される側の体験を通して、利用者の視点を理解が可能になる。また、あらゆる介護場面に共通する基礎的な介護の知識・技術を習得し、尊厳の保持の観点から、その人の自立・自律を尊重し、残存能力を引き出し、安全に利用者の生活を支援できる基礎的な知識や技術について理解し、実践力が養える。

到達目標: (SBOs) 1)移動に関する基本的な技術を説明できる。
2)ICFの視点を取り入れた生活支援の方法を理解できる。
3)利用者が安全・安楽、安心に生活することができる介助の基本技術を実践できる。
4)利用者本人の力を活用し、的確な介護を提供するための技術を実践できる。
5)介助の目的とその根拠が説明できる。
6)利用者の視点に立ち、事例に基づいた介護が実践できる。

評価方法: 定期試験(筆記試験、実技試験)(80%)、授業態度(10%)、レポート提出状況(10%)を総合的に判断して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 毎授業後に授業レポートを作成し、指定期日までに提出すること。
毎授業後に必ずレジュメを読み返すこと。
また、空き時間に介護実習室にて生活支援技術の練習を随時行うこと。
介護福祉士の受験資格取得を希望する場合は必修。
演習授業時は、上履き(白)、ポロシャツ、ジャージ等を準備すること。

オフィスアワー: 時間割が確定後、掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	自立に向けた移動の介護(生活支援技術演習(基本Ⅰ)の振り返り)	講義	清水
2	2)3)4)5)	自立に向けた移動の介護(1)	演習	清水
3	2)3)4)5)	自立に向けた移動の介護(2)	演習	清水
4	1)2)5)	自立に向けた身じたくの介護(1)	講義	清水
5	3)4)5)6)	自立に向けた身じたくの介護(2)	演習	清水
6	3)4)5)6)	自立に向けた身じたくの介護(3)	演習	清水
7	2)5)	自立に向けた食事の介護(1)	講義	清水
8	3)4)5)	自立に向けた食事の介護(2)	演習	清水
9	3)4)5)	自立に向けた食事の介護(3)	演習	清水
10	3)4)5)6)	自立に向けた食事の介護(4)	演習	清水
11	2)5)	自立に向けた排泄の介護(1)	講義	清水
12	2)5)	自立に向けた排泄の介護(2)	講義	清水
13	3)4)5)6)	自立に向けた排泄の介護(3)	演習	清水
14	3)4)5)6)	自立に向けた排泄の介護(4)	演習	清水
15	3)4)5)6)	自立に向けた介護実践	演習	清水

教科書: 新介護福祉士養成講座7 生活支援技術Ⅱ (介護福祉士養成講座編集委員会) 中央法規【978-4-8058-3269-1】

参考書: 使用しない。

科目名: **生活支援技術演習(応用 I)**

担当者: 貫 優美子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 将来、介護福祉士を目指すものとして、「心身の状態に応じた介護」を根底に据えて、利用者のその状態に応じた介護が細やかに実践できるということを目的とする。利用者一人ひとりの能力、潜在能力を見極めながら利用者にとって適切な対応に繋がる支援の方法を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)介護福祉士の行う介護支援について説明できる。
2)ICFに基づいたアセスメントの方法を理解し説明できる。
3)心身機能に応じた介護技術が展開できる。

評価方法: 学年末の定期試験80%、課題提出状況、授業態度20%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。
1回の授業につき、60分を目安に予習・復習を行うこと。
また夏季休暇中は指示のあった課題に取り組み、後期授業開始時提出する。

オフィスアワー: 16時半から17時半まで。ただし木、介護福祉実習の期間は除く。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	利用者の状態・状況に応じた生活支援技術とは何を考える。	講義	貫
2	2)	ICFの視点に基づいたアセスメントの方法を理解できる。	講義	貫
3	1)2)3)	安楽な姿勢、体位変換の方法と留意点を学ぶ。	演習	貫
4	2)3)	移動の方法や留意点を学ぶ。①	演習	貫
5	2)3)	移動の方法や留意点を学ぶ。(車いすへの移乗の)②	演習	貫
6	2)3)	移動の方法や留意点を学び体得する(ポータブルトイレへの移乗の)③	演習	貫
7	2)3)	身支度の意義や安全・安楽な着脱の方法や留意点を学ぶ。①	演習	貫
8	2)3)	何らかの障がいがある人の着脱の方法や留意点を学び演習で実際にできる。②	演習	貫
9	2)3)	寝たきりの人の着脱の方法や留意点を学び演習で実際にできる。③	演習	貫
10	2)3)	整容の目的について学び、利用者の安全・安楽を考えた整容の方法を学ぶ。①	演習	貫
11	2)3)	利用者の安全・安楽を考えた整容の方法を学び体験する(口腔ケア)②	演習	貫
12	2)3)	入浴の意義、目的を理解し、安全・安楽な支援の方法を学ぶ。	演習	貫
13	2)3)	入浴を体験し安全・安楽な支援の方法を学び自分で体験する。	演習	貫
14	2)3)	事例に基づいた介護技術の展開①	演習	貫
15	2)3)	事例に基づいた介護技術の展開②	演習	貫

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない。

科目名: 生活支援技術演習(応用Ⅱ)

担当者: 貫 優美子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 介護福祉士として「心身の状態に応じた介護」を根底に据えて、利用者のその状態に応じた介護が細やかに実践できるということを目的とする。利用者一人ひとりの能力、潜在能力を見極めながら利用者にとって適切な対応に繋がる支援の方法を取得する。

到達目標: (SBOs)
1) 介護福祉士の行う介護支援について説明できる。
2) ICFに基づいたアセスメントの方法を理解し説明できる。
3) 心身機能に応じた介護技術が展開できる。
4) 自立支援にむけた介護の在り方を説明・実践できる。
5) 利用者の状況・状態に応じた介護技術を展開できる。

評価方法: 定期試験(80%)、授業態度(10%)、課題提出状況(10%)を総合的に判断して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。
1回の授業につき、60分を目安に予習・復習を行うこと。
授業毎に実施する復習小テストを解き、完全に答えられるようにする。

オフィスアワー: 16時30分～17時30分。ただし木、実習期間中は除く。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	介護実習を通して利用者支援の方法について報告・検討する。	演習	貫
2	1)	介護実習後、施設の現状と課題について議論し、改善策についてまとめる。	SGD	貫
3	1)	介護実習後、GWで議論した内容を発表し共有する。	SGD	貫
4	2)	視覚障害者に応じた介護の方法を理解し、支援ができる。	演習	貫
5	2)	聴覚・言語障害者に応じた介護の方法を理解し、支援ができる。	演習	貫
6	2)	重複障害者に応じた介護の方法を理解し、支援ができる。	演習	貫
7	2)	運動機能障害者に応じた介護の方法を理解し、支援ができる。	演習	貫
8	2)	心臓機能障害者に応じた介護の方法を理解し、支援ができる。	演習	貫
9	2)	腎臓機能障害者に応じた介護の方法を理解し、支援ができる。	演習	貫
10	2)	呼吸器機能障害者に応じた介護の方法を理解し、支援ができる。	演習	貫
11	2)	膀胱・直腸機能障害者に応じた介護の方法を理解し、支援ができる。	講義	貫
12	2)	肝機能障害者に応じた介護の方法を理解し、支援ができる。	演習	貫
13	2)	知的・精神障害者に応じた介護の方法を理解し、支援ができる。	講義	貫
14	2)	高次機能・発達障害者に応じた介護の方法を理解し、支援ができる。	講義	貫
15	2)	重症心身障害者に応じた介護の方法を理解し、支援ができる。	講義	貫

教科書: 新・介護福祉士養成講座8 生活支援技術演習Ⅲ 中央法規

参考書: 使用しない。

科目名: **生活支援技術演習(終末期)**

担当者: 貫 優美子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻介護コース

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 人にとって「死」は避けられない事象である。近年、福祉サービス施設、特に高齢者施設においては「看取り」や「死」の問題に直面する。この避けられない「死」に対して正面から向き合い、人が幸福に「死」を迎えるということについて個々が考え、その人らしく最期まで生き抜く支援の方法や必要な知識を修得する。

到達目標: (SBOs)

- 1)「死」を捉える前段として「生」について個々が考え、多様な「生」について説明ができる。
- 2)現在問題となっている孤独死、自死、事故死について現状と課題を理解し、その対策を提案できる
- 3)事例をとおして、様々な人の「死」の迎え方があることを理解し、安楽な終末期支援の方法を導き出すことができる。
- 4)終末期を迎える利用者の気持ちや家族の気持ちを理解し寄り添った介護について説明ができる。
- 5)尊厳死について考え、その支援方法を説明できる。
- 6)高齢者の生と死について学び、なぜ今、看取りが必要なのかを説明することができる。
- 7)介護実践の場における見取りの現状と課題について学んだことを基に議論し、具体的な方策を提案できる
- 8)死が間近に迫っている利用者の身体的変化の観察とケアについて理解し説明できる。
- 9)臨終後のケアの方法を演習で実施できる。
- 10)グリーフケアについて説明できる。

評価方法: 課題の提出状況とその内容、定期試験の結果を考慮し、評価する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。
1回の授業につき、4時間を目安に予習・復習を行うこと。
授業毎に実施する復習小テストを解き、完全に答えられるようにする。

オフィスアワー: 16時30分から17時30分まで。ただし木曜日、実習の期間は除く。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	生と死について①	講義	貫
2	1)	生と死について②多様な「死」の捉え方について理解する。	講義	貫
3	1)2)4	さまざまな死について現状を知る。	講義	貫
4	2)3)4)	死に対するひところの理解①	講義	貫
5	2)3)4)	死に対するこころの理解②	講義	貫
6	3)4)5)	終末期のこころの理解①	講義	貫
7	3)4)5)	終末期のこころの理解②	講義	貫
8	3)4)5)	終末期のこころの理解③	講義	貫
9	6)7)8)	看取りにおける介護福祉士の役割について	講義	貫
10	6)7)8)	在宅での看取り	講義	貫
11	7)8)	介護福祉施設での看取り①	講義	貫
12	7)8)	介護福祉施設での看取り②	講義	貫
13	7)8)	介護福祉施設での看取り③	講義	貫
14	7)8)	臨死期ケアの実際①	講義	貫
15	9)10)	臨死期ケアの実際②臨終後のケアの方法とグリーフケアについて理解する	演習	貫

教科書: 使用せず

参考書: 使用せず

科目名: **生活支援技術演習(家事 I)**

担当者: 澤 里子(非常勤講師) 清水 径子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 介護福祉士としての業務に必要な基礎的知識・技能・態度を身につけるために、高齢者や障がいをもっている人の「食生活」を支援するうえで必要な知識・技術を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)調理における基本的な知識について説明できる。
2)調理における具体的な方法を身につける。
3)治療食において理解し、調理することができる。

評価方法: 演習態度で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。
授業終了後、各自1時間程度の復習を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション。1日に必要な栄養・カロリーについて	講義	澤
2	1)	調理方法について	講義	澤
3	1)	食中毒とその予防について	講義	澤
4	2)	一般的な成人の食事について(調理実習)	演習	澤 清水
5	2)	一般的な成人の食事について(調理実習)	演習	澤 清水
6	2)	一般的な成人の食事について(調理実習)	演習	澤 清水
7	2)	一般的な成人の食事について(調理実習)	演習	澤 清水
8	3)	治療食について(調理実習)	演習	澤 清水
9	3)	治療食について(調理実習)	演習	澤 清水
10	3)	治療食について(調理実習)	演習	澤 清水
11	3)	治療食について(調理実習)	演習	澤 清水
12	3)	治療食について(調理実習)	演習	澤 清水
13	3)	治療食について(調理実習)	演習	澤 清水
14	3)	治療食について(調理実習)	演習	澤 清水
15	3)	治療食について(調理実習)	演習	澤 清水

教科書: 新・介護福祉士養成講座6 生活支援技術 I 第4版
※生活支援技術演習(基本 I)と同様のテキストを使用します。

参考書: 使用しない。

科目名: **生活支援技術演習(家事Ⅱ)**

担当者: 稲田 弘子(福・福)、貫 優美子(福・福)、清水 径子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 介護福祉士は「生活」を支援することを業としている。介護福祉士としての業務に必要な基礎的知識・技能・態度を身につけるために、高齢者や障がいをもっている人の「衣・食・住生活」を支援するうえに必要な知識・技術を修得する。

到達目標: (SBOs)
1)日本の伝統文化について説明できる。
2)金銭管理について説明・実践できる。
3)衣類の管理について説明・実践できる。
4)居室の衛生管理方法について説明できる。
5)献立作成から、買い物、調理、片付け等の一連の流れを理解し、実施できる。

評価方法: 演習態度で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。
授業終了後、各自1時間程度の復習を行うこと。
日程については、オリエンテーション時に発表する。

オフィスアワー: 各教員のオフィスアワーに準ずる。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	2)	家庭経営、家計の管理について①	講義	稲田
2	2)	家庭経営、家計の管理について①	講義	稲田
3	1)	日本の伝統文化について①	講義	稲田
4	1)	日本の伝統文化について②	演習	稲田
5	3)	衣服の管理について①	演習	清水
6	3)	衣服の管理について②	演習	清水
7	3)	衣服の管理について③	演習	清水
8	3)	衣服の管理について④	演習	清水
9	3)	衣服の管理について⑤	演習	清水
10	3)	衣服の管理について⑥	演習	清水
11	4)	住居の管理について①	演習	貫
12	4)	住居の管理について②	演習	貫
13	5)	調理実習、あとかたづけ(高齢者ソフト食、郷土食)	演習	全員
14	5)	調理実習、あとかたづけ、衛生管理	演習	全員
15	2)3)4)	家事総括①	演習	清水

教科書: 使用しない。必要時プリントを配布する。

参考書: 使用しない。

科目名: **生活支援技術演習(環境 I)**

担当者: 三宮 基裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 【授業の概要】

生活の基盤である住宅および生活施設について、住宅改修の具体的な改修方法、高齢者に関わる住宅政策や居住施設の概要などについて学ぶ。

【一般目標(GIO)】

高齢者に対するこれからの環境整備のあり方を理解し、介護福祉士として必要となる生活環境整備の基本的知識を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)住宅の役割と緒室の構成が説明できる。
 - 2)住居に関連する法制度が理解でき、説明できる。
 - 3)環境整備の具体的な方法が説明できる。
 - 4)高齢者のための生活施設の特徴が説明できる。
 - 5)建築図面が読み取れ簡単な作図ができる。
 - 6)高齢者に配慮した環境整備の方法が提案できる。

評価方法: 毎時間の受講態度と期末試験の点数(60%程度)および作品の提案(40%程度)で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 図面の作図の際は各自で必要となる文具を準備すること。
積極的な受講態度で臨むこと。
1回の授業につき4時間を目安に予習・復習をおこなうこと。

オフィスアワー: 研究室在室時は、原則、常時対応

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	生活支援と建築空間	講義	三宮
2	2)	住宅の問題と住環境整備の意義	講義	三宮
3	2)	ノーマライゼーションとリハビリテーション	講義	三宮
4	2)	バリアフリーとユニバーサルデザイン	講義	三宮
5	2)	住環境整備のプロセス	講義	三宮
6	3)	介護保険制度と住環境整備	講義	三宮
7	6)	住宅図面の読み取りと作図法	講義・演習	三宮
8	1)3)4)	移動空間の整備①	講義	三宮
9	1)3)4)	移動空間の整備②	講義	三宮
10	1)3)4)	トイレ空間の整備①	講義	三宮
11	1)3)4)	トイレ空間の整備②	講義	三宮
12	1)3)4)	浴室空間の整備①	講義	三宮
13	1)3)4)	浴室空間の整備②	講義	三宮
14	1)4)6)7)	住環境整備の提案①	講義・演習	三宮
15	1)4)6)7)	住環境整備の提案②	講義・演習	三宮

教科書: 使用しない。

参考書: 改訂4版 福祉住環境コーディネーター3級公式テキスト(東京商工会議所編)東京商工会議所【978-4924547599】
新・介護福祉士養成講座 6 生活支援技術 I 第3版(介護福祉士養成講座編集委員会=編集)【978-4-8058-3940-9】

科目名: **生活支援技術演習(環境Ⅱ)**

担当者: 三宮 基裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 【授業の概要】

生活の基盤である住宅および生活施設について、住宅改修の具体的な改修方法、高齢者に関わる住宅政策や居住施設の概要などについて学ぶ。

【一般目標(GIO)】

高齢者に対するこれからの環境整備のあり方を理解し、介護福祉士として必要となる生活環境整備の基本的知識を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)住宅の役割と緒室の構成が説明できる。
 - 2)住居に関連する法制度が理解でき、説明できる。
 - 3)環境整備の具体的な方法が説明できる。
 - 4)高齢者のための生活施設の特徴が説明できる。
 - 5)建築図面が読み取れ簡単な作図ができる。
 - 6)高齢者に配慮した環境整備の方法が提案できる。

評価方法: 毎時間の受講態度と期末試験の点数(60%程度)および作品の提案(40%程度)で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 図面の作図の際は各自で必要となる文具を準備すること。
積極的な受講態度で臨むこと。
1回の授業につき4時間を目安に予習・復習をおこなうこと。

オフィスアワー: 研究室在室時は、原則、常時対応

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	2)5)	高齢者のための住宅政策	講義	三宮
2	2)5)	高齢者施設の種類	講義	三宮
3	2)5)	高齢者の生活環境①(グループホーム)	講義	三宮
4	2)5)	高齢者の生活環境②(ユニットケア)	講義	三宮
5	2)5)	高齢者の生活環境③(小規模多機能)	講義	三宮
6	1)4)6)7)	住宅改修の提案①(課題説明)	講義・演習	三宮
7	1)4)6)7)	住宅改修の提案②(対象者の設定)	講義・演習	三宮
8	1)4)6)7)	住宅改修の提案③(理由書の作成)	講義・演習	三宮
9	1)4)6)7)	住宅改修の提案④(住宅図面の作図)	講義・演習	三宮
10	1)4)6)7)	住宅改修の提案⑤(問題点の抽出)	講義・演習	三宮
11	1)4)6)7)	住宅改修の提案⑥(改善策の検討)	講義・演習	三宮
12	1)4)6)7)	住宅改修の提案⑦(提案図面の制作)	講義・演習	三宮
13	1)4)6)7)	住宅改修の提案⑧(提案図面の制作)	講義・演習	三宮
14	1)4)6)7)	住宅改修の提案⑨(提案図面の制作)	講義・演習	三宮
15	1)4)6)7)	住宅改修の提案⑩(発表)	講義・演習	三宮

教科書: 使用しない。

参考書: 新・介護福祉士養成講座 6 生活支援技術Ⅰ 第3版(介護福祉士養成講座編集委員会=編集)【978-4-8058-3940-9】
住宅改修アセスメントのすべて 介護保険「理由書」の書き方・使い方マニュアル(加島守/著)三和書籍【978-4-86251-064-8】

科目名: **生活支援技術演習(総括)**

担当者: 稲田 弘子(福・福) 清水 径子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 第3段階実習が終了し、介護福祉実習の総括である。、社会に有意義なそして指導者となるような介護福祉士となるため、利用者の状態に応じた声掛けや介護技術が実践できるようになる。また、「できる」だけでなく指導できるようになるために、介護技術のチェックリストを作成し、客観的に評価できるようになる。

到達目標: 1)利用者に応じた介護技術を考えながら実践することができる。
(SBOs) 2)介護技術を客観的に評価することができる。

評価方法: 単位認定テスト80%と学習への取り組み姿勢(授業態度、課題内容、出欠遅刻状況等)20%として、総括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。
毎授業1回の授業につき60分をめぐりに復習し、また、グループワークにも積極的に参加すること。

オフィスアワー: 時間割が確定後に研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	自立支援介護について(排泄)	講義	稲田・清水
2	1)	自立支援介護について(水分)	講義	稲田・清水
3	1)	自立支援介護について(認知症)	講義	稲田・清水
4	1)	自立支援介護について(運動)	講義	稲田・清水
5	1)	認知症予防のレクリエーションを考える	演習	稲田・清水
6	1)	認知症予防のレクリエーションを発表する	演習	稲田・清水
7	1)	腰痛指針について	講義	稲田・清水
8	1)	スライディングボード等の活用について	演習	稲田・清水
9	2)	チェックリスト作成	演習	稲田・清水
10	2)	チェックリスト作成	演習	稲田・清水
11	2)	チェックリスト作成	演習	稲田・清水
12	2)	チェックリスト作成(他の課題の演習)	演習	稲田・清水
13	2)	チェックリスト作成・発表・講評	演習	稲田・清水
14	2)	チェックリスト作成・発表・講評	演習	稲田・清水
15	32	チェックリスト作成・発表・講評	演習	稲田・清水

教科書: 使用しない(講義時に配布するプリントを使用する)

参考書: 使用しない。

科目名: **介護過程 I**

担当者: 稲田 弘子(福・福) 清水 径子(福 福)

配当学科: 臨床福祉専攻(介護福祉コース2年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 介護過程とは、介護の専門職として介護実践の過程を根拠をもって論理的に考え、過程の道筋を明文化し実践することである。利用者の状態を理解し、アセスメントし利用者のニーズに合った介護サービスの提供ができる介護福祉士となるため、アセスメントに必要な知識・技術とそれを応用した介護実践の方法論を修得する。介護過程 I では、第1段階実習で実施した情報収集をさらに深め、情報収集の方法論と介護過程の概要を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)介護過程の意義について説明できる。
2)情報収集について説明できる。
3)介護過程の概要について説明できる。
4)アセスメント(情報分析)について理解できる。

評価方法: 学年末の単位認定テスト90%と学習への取り組み姿勢(授業態度、課題内容、出欠遅刻状況等)10%として、総括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。
毎授業ごとに配布するプリントをよみかえし、1回の授業につき60分をめぐりに自分で復習し、まとめること。
定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。

オフィスアワー: 時間割が確定後に研究室前に提示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	2)	第1段階実習の情報収集をまとめる	講義	清水
2	2)	受け持ち利用者の情報収集をまとめ発表する	演習	清水・稲田
3	2)	受け持ち利用者の情報収集をまとめ発表する	演習	清水・稲田
4	2)	情報収集の方法について	演習	清水
5	2)	情報収集の方法について(演習)	演習	清水
6	2)	生活歴について	講義	清水
7	2)	当大学で使用しているアセスメントシート(情報収集①②)について	講義	清水
8	2)	当大学で使用しているアセスメントシート(情報収集①②)について	講義	清水
9	2)	第1段階の情報収集をアセスメントシート(情報収集①②)に記入する	演習	清水
10	2)	第1段階の情報収集をアセスメントシート(情報収集①②)に記入する	演習	清水
11	1)3)4)	介護過程の概要について(事例を通して)	講義	稲田
12	1)3)4)	介護過程の概要について(事例を通して) グループワーク	演習	稲田
13	2)	第2段階に向けての情報収集(事例 ビデオ「こんにちは老人ホームです」)	演習	稲田
14	2)	第2段階に向けての情報収集(事例 ビデオ「こんにちは老人ホームです」)	演習	稲田
15	2)	第2段階に向けての情報収集 総括	講義	稲田

教科書: 使用しない。(講義時にプリントを配布使用するので、きちんとファイリングすること)

参考書: 使用しない。

科目名: **介護過程Ⅱ**

担当者: 稲田 弘子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科・臨床福祉専攻(介護福祉コース3年生)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 介護過程とは、介護の専門職として介護実践の過程を根拠をもって論理的に考え、過程の道筋を明文化し実践することである。利用者の状態を理解し、アセスメントし利用者のニーズに合った介護サービスの提供ができる介護福祉士となるために、アセスメントをするために必要な知識・技術とそれを応用した介護実践の方法論を修得する。介護過程Ⅱでは、アセスメントの概略を理解したうえで、第2段階実習で情報収集した利用者の食事介護のアセスメント(情報の分析)を実施し、介護計画を立案するのに必要な基礎的知識の修得と実践について学ぶ。

到達目標: (SBOs) 1)情報収集の意義について理解し、情報収集シート①②に記入することができる。
2)アセスメントについて概説できる。
3)食事介護に関する知識を活用し、受け持ち利用者の食事の「アセスメント(情報の分析)」を作成することができる。

評価方法: 学年末の単位認定テスト90%と課題・学習への取り組み姿勢(授業態度、課題内容)10%として、総合的に的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。
プリント類はきちんとファイリングすること
毎授業ごとに配布するプリントをよみかえし、1回の授業につき60分をめぐりに自分で復習し、まとめること。
介護過程の課題を期日内に提出すること。
定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。
国試対策の夏課題を行うこと。

オフィスアワー: 授業の時間割が確定した段階で、掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	第2段階実習の課題である受け持ち利用者の「情報収集シート①②」をまとめる。	演習	稲田
2	1)	第2段階実習の課題である受け持ち利用者の「情報収集シート①②」をまとめる。 介護過程の概要についての復習①	演習	稲田
3	2)	介護過程の概要についての復習②	講義	稲田
4	2)	食事介護に関する基礎知識①	講義	稲田
5	2)3)	食事介護に関する基礎知識②	講義	稲田
6	2)3)	食事介護に関する基礎知識③	講義	稲田
7	2)3)	食事介護に関する基礎知識④	講義	稲田
8	2)3)	【食事】の事例を通して「ニーズ」の意味について考える	講義	稲田
9	2)3)	【食事】の事例を通して食事介護のあり方について考える①	演習	稲田
10	2)3)	【食事】の事例を通して食事介護のあり方について考える②	演習	稲田
11	2)3)	【食事】受け持ち利用者のアセスメント(情報の分析)作成	演習	稲田
12	2)3)	【食事】学生が作成したアセスメント(情報の分析)のグループワーク検討①	演習	稲田
13	2)3)	【食事】学生が作成したアセスメント(情報の分析)のグループワーク検討②	演習	稲田
14	2)3)	【食事】学生、教員の意見をもとに(情報の分析)を再度作成する	演習	稲田
15	2)3)		演習	稲田

教科書: 使用しない(プリントを配布するので、きちんとファイリングすること)

参考書: 使用しない。

科目名: **介護過程Ⅲ**

担当者: 稲田 弘子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科・臨床福祉専攻(介護福祉コース3年生)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 介護過程とは、介護の専門職として介護実践の過程を根拠をもって論理的に考え、過程の道筋を明文化し実践することである。利用者の状態を理解し、アセスメントし利用者のニーズに合った介護サービスの提供ができる介護福祉士となるために、アセスメントをするために必要な知識・技術とそれを応用した介護実践の方法論を修得する。介護過程Ⅲでは、主に排泄・清潔介護、活動等のアセスメント、介護計画を立案するのに必要な基礎的知識の修得と実践について学ぶ。

到達目標: (SBOs) 1)排泄介護に関する知識を活用し、排泄のアセスメント(情報の分析)法が説明できる。
2)清潔介護に関する知識を活用し、食事のアセスメント(情報の分析)法が説明できる。
3)経済等に関する知識を活用し、排泄のアセスメント(情報の分析)法が説明できる。
4)事例を基に、介護過程を展開し実践することができる。
5)第3段階実習における「介護過程」の取り組みについて説明できる。

評価方法: 学年末の単位認定テスト80%と介護過程の課題の取り組み状況と内容を10%として、総括的に評価する。
また、介護過程の4課題(排泄、保清、生きがい、排泄の事例)と、介護過程一式のファイリングに合格すること。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。
毎授業ごとに配布するプリントをよみかえし、1回の授業につき60分をめぐりに自分で復習し、まとめること。
介護過程の課題を期日内に提出すること。
定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。
国試対策の夏課題を行うこと。

オフィスアワー: 時間割が確定後、研究室前に表示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	排泄介護に関する基礎知識①②	講義	稲田
2	1)	排泄介護に関する基礎知識③④	演習	稲田
3	1)	【排泄】受け持ち利用者と事例のアセスメント(情報の分析)作成	講義	稲田
4	1)	【排泄】受け持ち利用者のアセスメント(情報の分析)グループワーク①②	演習	稲田
5	1)	【排泄】受け持ち利用者のアセスメント(情報の分析)グループワーク③④	演習	稲田
6	2)	清潔介護に関する基礎知識①②	演習	稲田
7	2)	【清潔】受け持ち利用者のアセスメント(情報の分析)作成①②	演習	稲田
8	2)	【清潔】受け持ち利用者のアセスメント(情報の分析)グループワーク①②	演習	稲田
9	3)	【経済他】に関する基礎知識	演習	稲田
10	4)5)	介護目標・介護計画の作成①②	演習	稲田
11	4)5)	事例検討Ⅰ…アセスメント(情報の分析)から介護計画立案①②	演習	稲田
12	4)5)	事例検討Ⅰ…アセスメント(情報の分析)から介護計画立案①②(実技の発表準備)	演習	稲田
13	4)5)	事例検討Ⅰ…アセスメント(情報の分析)から介護計画立案①②(実技の発表・総評)	演習	稲田
14	4)5)	事例検討Ⅱ…他校のアセスメントシートを使用して、情報の分析をする①②	演習	稲田
15	4)5)	第3段階実習での介護過程の取り組み方について①②	講義	稲田

教科書: 使用しない(プリントを配布するので、きちんとファイリングすること)

参考書: 使用しない

科目名: **介護過程Ⅳ**

担当者: 稲田 弘子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年)

必修・選択: 選択

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義・演習

授業概要: 介護過程とは、介護の専門職として介護実践の過程を根柢を持って理論的に考え、過程の道筋を明文化し実践することである。利用者の状態を把握し、アセスメントし、利用者のニーズに合った介護サービスの提供ができる介護福祉士となるために、アセスメントに必要な知識・技術とそれを応用した介護実践の方法論を修得する。介護過程Ⅲでは、第3段階実習で展開した介護過程をもとに、介護過程の流れを理解するとともに、施設だけでなく在宅で生活する利用者に対する介護過程を展開する。

到達目標: 1)第3段階実習で実践した介護過程を通して、介護過程を説明することができる。
(SBOs) 2)在宅で生活する利用者に対する介護過程を展開することができる。

評価方法: 単位認定テスト80%と学習への取り組み姿勢(授業態度、課題内容、出欠遅刻状況等)20%として、総括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。
介護過程の個別指導のやり直し、発表のためのパワーポイント作成等は各自実施し、期日内に提出すること。

オフィスアワー: 時間割が確定後、掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	第3段階実習報告会	講義・演習	稲田
2	1)	介護過程GW①	講義・演習	稲田
3	1)	介護過程GW②	講義・演習	稲田
4	1)	介護過程GW③	講義・演習	稲田
5	1)	介護過程GW④	講義・演習	稲田
6	1)	介護過程GW⑤	講義・演習	稲田
7	1)	介護過程GW⑥	講義・演習	稲田
8	1)	介護過程実習総括	講義・演習	稲田
9	1)	実習報告会発表準備①	講義・演習	稲田
10	1)	実習報告会発表準備②	講義・演習	稲田
11	1)	実習報告会発表準備③	講義・演習	稲田
12	1)	実習報告会発表準備④	講義・演習	稲田
13	2)	在宅でのケアプランを作成する①	講義・演習	稲田
14	2)	在宅でのケアプランを作成する②	講義・演習	稲田
15	2)	在宅でのケアプランを作成する③	講義・演習	稲田

教科書: 使用しない。(講義中にプリントを配布するのできちんとファイリングすること)

参考書: 使用しない。

科目名: 介護総合演習 I

担当者: 貫 優美子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻 介護コース

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 介護の知識を実践の場で統合できるように介護技術の確認を行い、個々の利用者にあった介護が展開できる。また実習オリエンテーション、実習中における実習指導、実習後の報告会等で自己を振り返りを次の段階に繋げることができる。

到達目標: (SBOs) 1)介護実習が始まるまでの流れと事前学習の内容が理解できる。
2)実習における介護実習の意義と目的を理解する。また介護実習の流れと、学習のポイントが理解できる。
3)各施設におけるサービス内容や利用者像などが理解できる。
4)介護を提供するためのアセスメント(情報収集)の必要性を理解しその手法を学ぶ。
5)自分自身の言動を振り返り、言動のもとになった介護者自身の思考・感情を言語化し、他者にとってどのような意味をもっているのか理解できる。
6)事後学習の意義と目的が理解できる。実習報告を行い、実習で学んだことを振り返る。

評価方法: 学期末の単位試験(80%)と授業・演習態度・課題提出状況(20%)で総合的に評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉コースのみ必修。
1回の授業につき、60分を目安に予習・復習を行うこと。
上記以外の実習前・実習中・実習後についても疑問点等についてはその都度、自己学習し明確にしておくこと。

オフィスアワー: 16時30分～17時30分まで。ただし木、実習巡回期間を除く。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	授業オリエンテーション	講義	貫
2	2)3)	施設について(1) 実習先のサービス内容・利用者象を理解する	講義	貫
3	2)3)	施設について(2) 介護老人福祉施設・介護老人保健施設・障害者支援施設	講義・SGD	貫
4	2)3)	施設について(3) 認知症対応型共同生活介護・小規模多機能ホーム	講義	貫
5	2)3)	施設について(4) 施設見学	施設見学	貫
6	2)3)	施設について(5) 施設見学	施設見学	貫
7	5)	プロセスレコードについて(1)	講義	貫
8	5)	プロセスレコードについて(2)	講義	貫
9	4)	情報収集について(1)	講義	貫
10	4)	情報収集について(2)	演習	貫
11	2)3)4)	第1段階実習事前指導(1)	講義	貫
12	2)3)4)	第1段階実習事前指導(2)	演習	貫
13	2)3)4)	第1段階実習事前指導(3)	講義	貫
14	6)	第1段階実習報告会(1)	講義SGD	貫
15	6)	第1段階実習報告会(2)	講義・SGD	貫

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **介護総合演習Ⅱ**

担当者: 貫 優美子(福・福)、清水 径子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 介護福祉士取得のためには、介護福祉現場のニーズに対応できる知識・技術・態度を身につける必要がある。本講義では、実習の教育効果を上げるため、4つの項目について個別の学習到達状況に応じた総合的な学習とする。
①介護実習前の介護技術の確認、②施設等のオリエンテーションの実施、③実習後の事例報告会または実習期間中に学生が養成施設等において学習する日を計画的に設ける、④実習に必要な知識や技術を修得することである。
本授業については、介護実習Ⅰ及び介護実習Ⅱと組み合わせての学習となる。

到達目標: 1)介護福祉実習Ⅰ(第1段階)の振り返りができる。
(SBOs) 2)利用者の暮らしや住まい等の日常生活の理解や多様な介護サービスの理解ができる。
3)コミュニケーションのあり方を考えることができる。
4)他職種協働の視点を学ぶことができる。
5)介護福祉に関する記録の書き方を学び、適切な記録を書くことができる。
6)介護福祉実習Ⅱ(第2段階)の目的について学び、目標を明確にすることができる。

評価方法: 定期試験と演習態度で総合的に判断する。

準備学習・履修上の注意等: 授業で出題される課題は、指定期日までに提出すること。
毎授業後、必ず1時間は復習を行うこと。

オフィスアワー: 研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	第1段階実習事後指導	演習	貫
2	1)2)	第1段階実習事後指導	演習	貫
3	1)2)	第1段階実習事後指導	演習	貫
4	3)	プロセスレコード	講義・演習	貫
5	3)	プロセスレコード	講義・演習	貫
6	1)2)4)	高齢者の施設について	講義・演習	清水
7	1)2)4)	高齢者の施設について	講義・演習	清水
8	1)2)4)	障害者の施設について	演習	清水
9	1)2)4)	障害者の施設について	演習	清水
10	5)	記録の書き方	演習	清水
11	5)	記録の書き方	演習	清水
12	5)	記録の書き方	演習	清水
13	6)	第2段階実習事前指導	講義	清水
14	6)	第2段階実習事前指導	講義	清水
15	6)	第2段階実習事前指導	講義	清水

教科書: 使用しない。(介護総合演習Ⅰで使用した「介護福祉実習の手引き」を使用する。)

参考書: 使用しない。

科目名: 介護総合演習Ⅲ

担当者: 清水 径子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 介護実習中に必要な知識や技術、介護過程の展開等について適切な介護サービスが展開できる能力を養う。また、介護実習Ⅰ・Ⅱを振り返り、報告会で実習での学びを報告できる。介護総合演習Ⅲでは、すべての科目を介護実習を通じて意識的につなぎ、介護福祉の知識、技術を駆使し、介護技術等を検証し、実習先での介護の方法を柔軟に受入、なぜそうするのかの根拠を学び、説明できる能力を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 第2段階実習を振り返り実習中、不十分な知識、技術の再確認できる。
2) 実習で学んだ施設の概要やサービスについて説明できる。
3) 介護実習中の日誌の意義と目的を再確認し、結果や考察を盛り込んだ報告書を書き、発表できる。
4) 事例に基づいた介護技術が展開できる。
5) 利用者とのコミュニケーションや生活状況を理解し、生活課題を把握できる。

評価方法: 定期試験(80%)、小テスト及び課題提出状況(20%)により総合的に評価をする。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。
1回の授業につき、60分を目安に予習・復習を行うこと。
授業毎に実施する復習小テストを解き、完全に答えられるようにする。
また夏季休暇中は指示のあった課題に取り組み、後期授業開始時提出する。

オフィスアワー: オフィスアワーについては授業開始日に知らせる。また、研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	第2段階介護実習事後指導1	講義・SGD	清水
2	1)2)	第2段階介護実習事後指導2	講義・SGD	清水
3	1)2)	第2段階介護実習事後指導3	講義・SGD	清水
4	1)2)	第2段階介護実習事後指導4	講義・演習	清水
5	1)2)	第2段階介護実習事後指導5	講義・演習	清水
6	1)2)3)5)	第2段階介護実習事後指導6	講義・演習	清水
7	1)2)3)5)	第2段階介護実習事後指導7	講義・演習	清水
8	1)2)3)5)	実習報告会	演習	清水
9	4)5)	利用者の状況・状態に応じた介護技術1	講義・演習	清水
10	4)5)	利用者の状況・状態に応じた介護技術2	講義・演習	清水
11	4)5)	利用者の状況・状態に応じた介護技術3	演習	清水
12	4)5)	利用者の状況・状態に応じた介護技術4	演習	清水
13	4)5)	利用者の状況・状態に応じた介護技術5	演習	清水
14	4)5)	利用者の状況・状態に応じた介護技術6	演習	清水
15	4)5)	利用者の状況・状態に応じた介護技術7	演習	清水

教科書: 介護福祉実習の手引き

参考書: 介護福祉士関係科目で使用したテキスト

科目名: 介護総合演習Ⅳ

担当者: 稲田 弘子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 第3段階実習が終了し、介護福祉実習の総括である。、社会に有意義な介護福祉士となるため、実習報告会や介護実習の報告集の作成や介護過程のまとめを通して、介護福祉実習で得た知識、技術、態度を振り返り、学生自身が自分で不足している知識、技術、態度が自己覚知し実践できるようになる。

到達目標: (SBOs)
1)実習をふりかえり、学んだことを説明できる。
2)利用者の安全の確保とリスクマネジメントについて説明できる。
3)実習で得た知識や技術を具体的に実施することができる。

評価方法: 単位認定テスト80%と学習への取り組み姿勢(授業態度、課題内容、出欠遅刻状況等)20%として、総括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。
毎授業1回の授業につき60分をめぐりに報告書をまとめたり、復習すること。また、グループワークにも積極的に参加すること。

オフィスアワー: 時間割が確定後に研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	実習報告書作成①	演習	稲田
2	1)	実習報告書作成②	演習	稲田
3	1)	実習報告書作成③	演習	稲田
4	1)	実習報告書作成④	演習	稲田
5	2)	リスクマネジメントについて①	講義	稲田
6	2)	リスクマネジメントについて②	講義	稲田
7	2)	リスクマネジメントについて③	講義	稲田
8	2)	リスクマネジメントについて④	講義	稲田
9	2)	リスクマネジメントについて⑤	講義	稲田
10	2)	リスクマネジメントについて⑥	講義	稲田
11	3)	学力評価模試	演習	稲田
12	3)	学力評価模試	演習	稲田
13	3)	介護技術の総括(食事の介護)	演習	稲田
14	3)	介護技術の総括(排泄の介護)	演習	稲田
15	3)	介護技術の総括(清潔の介護)	演習	稲田

教科書: 使用しない(講義時に配布するプリントを使用する)

参考書: 使用しない。

科目名: **介護実習 I**

担当者: 稲田 弘子(福・福)、貫 優美子(福・福)、清水 径子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻介護コース

必修・選択: 選択 単位数: 3 時間数: 135 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 個々の生活リズムや個性を理解するという観点から様々な生活の場において個別ケアを理解する。また利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働や関係機関との連携を通じてチームの一員としての介護福祉士の役割について学ぶ。

到達目標: 1)施設の概要を説明することができる。
(SBOs) 2)介護福祉士の役割について説明することができる。
3)利用者を支援するための基本的技術を実施できるようになる。

評価方法: 実習評価表(施設側)と巡回教員による評価をもとに、総合的に判断する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。
実習中は、120分を目安に予習・復習を行い、実習中の課題、疑問点など翌日の実習前までにはレポートにまとめ提出する。

オフィスアワー: 実習期間中は18時～19時。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	1.利用者のさまざまな暮らしの場を理解する。	実習	全員
2	3)	2.利用者との関わりの中で、よりよい人間関係を築くためのコミュニケーションのあり方を学ぶ。	実習	全員
3	2)3)	3.利用者との関わりの中で、利用者の思いや願いにふれる。	実習	全員
4	3)	4.利用者の生活を支援するための基本的な介護を学ぶ。	実習	全員
5	2)	5.介護福祉士の役割について学ぶ。	実習	全員

上記内容で135時間以上の実習を行う。

教科書: 使用しない。(講義時に配布する「実習の手引き」を使用する)

参考書: 使用しない。

科目名: **介護実習Ⅱ**

担当者: 稲田 弘子(福・福)、貫 優美子(福・福)、清水 径子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 3 時間数: 135 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 介護福祉士として個別ケアを行うためには、個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にする必要がある。本実習により、受講者は利用者を一人受け持ち、情報収集を実施することにより、個別性に応じた生活支援技術が展開できるようになる。

到達目標: (SBOs)
1)施設の概要を理解し、介護福祉士専門職の役割を説明できる。
2)利用者の個別性や障害に応じた実施できる。
3)利用者の個別ニーズを説明する。

評価方法: 実習評価表(施設側)と巡回教員による評価をもとに、総合的に判断する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。
オリエンテーション時に説明する。

オフィスアワー: 時間割が確定後に研究室に提示する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	1.施設の概要を理解し、地域との関わりについて学ぶ。	実習	全員
2	2)	2.利用者の生活を支援するために、必要な情報を得る手段としてのコミュニケーションのあり方を学ぶ。	実習	全員
3	2)	3.利用者との関わりの中で、個別にニーズを理解する。	実習	全員
4	3)	4.利用者の個別性や障害に応じた個別ケアの意義を学ぶ。	実習	全員
5	1)	5.施設内における、他職種との連携のあり方や、社会資源や関係領域との連携を学ぶ。	実習	全員

上記内容で135時間の実習を行う。

教科書: 使用しない。(講義時に配布する「実習の手引き」を使用する)

参考書: 使用しない。

科目名: **介護実習Ⅲ**

担当者: 稲田 弘子(福・福)、貫 優美子(福・福)、清水 径子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 4 時間数: 180 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 個別ケアを行うために個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするための利用者ごとの介護計画の作成、実施、評価やこれを踏まえた計画の修正といった介護計画を展開し、他教目で学習した知識や技術を総合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を修得することができる。

到達目標: 1)介護過程を展開し、利用者の個性を尊重した援助方法を実施することができる。
(SBOs) 2)介護福祉士としての職業倫理と社会的役割について説明することができる。
3)地域・施設での継続ケアの意義を説明できる。

評価方法: 実習評価表(施設側)と巡回教員による評価をもとに、総合的に判断する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。
オリエンテーション時に説明する。

オフィスアワー: 時間割が確定後に研究室に提示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	3)	1.法的根拠をもとに施設の概要を理解し、地域との関わりについて学ぶ。	実習	全員
2	1)	2.利用者を理解するためのコミュニケーションのあり方を学ぶ。	実習	全員
3	1)	3.利用者との関わりの中で、個別にニーズを理解し、そのニーズが達成できるよう支援する。	実習	全員
4	1)	4.利用者の個性や障害に応じた個別ケアのを立案し実践する。	実習	全員
5	2)	5.施設職員と協調して、チームの一員としての援助方法について学び、介護福祉士としての倫理、役割を考える。	実習	全員

上記内容にて180時間の実習を行う。

教科書: 使用しない。(講義時に配布する「実習の手びき」を使用する)

参考書: 使用しない。

科目名: **介護実習Ⅲ**

担当者: 稲田 弘子(福・福)、貫 優美子(福・福)、清水 径子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 4 時間数: 180 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 個別ケアを行うために個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするための利用者ごとの介護計画の作成、実施、評価やこれを踏まえた計画の修正といった介護計画を展開し、他教目で学習した知識や技術を総合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を修得することができる。

到達目標: 1)介護過程を展開し、利用者の個性を尊重した援助方法を実施することができる。
(SBOs) 2)介護福祉士としての職業倫理と社会的役割について説明することができる。
3)地域・施設での継続ケアの意義を説明できる。

評価方法: 実習評価表(施設側)と巡回教員による評価をもとに、総合的に判断する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。
オリエンテーション時に説明する。

オフィスアワー: 時間割が確定後に研究室に提示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	3)	1.法的根拠をもとに施設の概要を理解し、地域との関わりについて学ぶ。	実習	全員
2	1)	2.利用者を理解するためのコミュニケーションのあり方を学ぶ。	実習	全員
3	1)	3.利用者との関わりの中で、個別にニーズを理解し、そのニーズが達成できるよう支援する。	実習	全員
4	1)	4.利用者の個性や障害に応じた個別ケアのを立案し実践する。	実習	全員
5	2)	5.施設職員と協調して、チームの一員としての援助方法について学び、介護福祉士としての倫理、役割を考える。	実習	全員

上記内容にて180時間の実習を行う。

教科書: 使用しない。(講義時に配布する「実習の手びき」を使用する)

参考書: 使用しない。

科目名: 医療的ケア I

担当者: 貫 優美子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻 介護コース(3年)

必修・選択: 選択

単位数: 2

時間数: 60

開講期: 前期

授業形態: 講義|演習

授業概要: 近年の著しい高齢化に伴い医療依存の高い要介護者が増加し医療ニーズが高まっている。社会福祉士及び介護福祉士法が一部改正され、喀痰吸引・経管栄養という医療行為の一部を介護福祉等が一定の要件のもとにこれを業とすることができるようになった。医療的ケア I では、まず「なぜ医療的ケアを学ぶのか」について、理解しそのうえで医療的ケアを安全かつ適切に実施するための基礎的知識を学ぶ。また喀痰吸引や経管栄養について、解剖生理学的な知識から実際の留意点、緊急時の対応など実践的な知識・手順・技術を修得する。

到達目標: 1)医療的ケアについての経緯を説明できる。
(SBOs) 2)感染症・救急法について理解し、演習で実施する。
3)高齢者・障害児・者の代表的な疾患について理解する。
4)喀痰吸引について、解剖学的な知識や留意点を理解し喀痰吸引が安全に実践できる。
5)経管栄養について、解剖学的な知識や留意点を理解し喀痰吸引が安全に実践できる。

評価方法: 学年末の定期試験80%、課題提出状況、授業態度20%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。
1回の授業につき、4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 16時半から17時半まで。ただし介護福祉実習の期間は除く。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	なぜ医療的ケアを学ぶのか。	講義	貫
2	1)	人間の尊厳と医療的倫理について理解する。	講義	貫
3	1)	保健医療サービスとチーム医療について理解する。	講義	貫
4	2)	安全な療養生活について(救急蘇生)学ぶ。1	講義	貫
5	2)	安全な療養生活について(救急蘇生)学ぶ。2	講義	貫
6	2)	安全な療養生活について(救急蘇生)学ぶ。3	演習	貫
7	2)	感染予防と清潔保持について1	講義	貫
8	2)	感染予防と清潔保持について2	演習	貫
9	3)	健康状態の把握 バイタルサインの測定と値の見方を学ぶ	講義	貫
10	3)	健康状態の把握 バイタルサインの測定方法を学ぶ	演習	貫
11	4)	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引について、概要を学ぶ 1	講義	貫
12	4)	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引について概要を学ぶ 2	講義	貫
13	4)	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引について概要を学ぶ 3	講義	貫
14	4)	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引について概要を学ぶ 4	講義	貫
15	4)	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引について概要を学ぶ 5	講義	貫
16	4)	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引について概要を学ぶ 6	講義	貫
17	4)	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引について概要を学ぶ 7	講義	貫
18	4)	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引について、実施手順の解説と実施 1	演習	貫
19	4)	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引について、実施手順の解説と実施 2	演習	貫
20	4)	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引について、実施手順の解説と実施 3	演習	貫
21	4)	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引について、実施手順の解説と実施 4	演習	貫
22	4)	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引について、実施手順の解説と実施 5	演習	貫
23	5)	高齢者及び障害児・者の経管栄養について、概要を学ぶ 1	講義	貫
24	5)	高齢者及び障害児・者の経管栄養について、概要を学ぶ 2	講義	貫
25	5)	高齢者及び障害児・者の経管栄養について、概要を学ぶ 3	講義	貫
26	5)	高齢者及び障害児・者の経管栄養について、概要を学ぶ 4	講義	貫
27	5)	高齢者及び障害児・者の経管栄養について、概要を学ぶ 5	講義	貫
28	5)	高齢者及び障害児・者の経管栄養について、概要を学ぶ 6	講義	貫
29	5)	高齢者及び障害児・者の経管栄養について、実施手順の解説と実施 1	演習	貫
30	5)	高齢者及び障害児・者の経管栄養について、実施手順の解説と実施 2	演習	貫

教科書: 最新介護福祉全書 13 医療的ケア メヂカルフレンド社

参考書: 使用しない。

科目名: **医療的ケアⅡ**

担当者: 貫 優美子(福・福) 稲田弘子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻 介護福祉コース(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義|演習

授業概要: 近年の著しい高齢化に伴い医療依存の高い要介護者が増加し医療ニーズが高まっている。社会福祉士及び介護福祉士法が一部改正され、喀痰吸引・経管栄養という医療行為の一部を介護福祉等が一定の要件のもとにこれを業とすることができるようになった。医療的ケアⅡでは、医療的ケアⅠで学んだことを基礎にし喀痰吸引や経管栄養の手順・技術を実践的できることを目指す。

到達目標: 1) 喀痰吸引や経管栄養の手順・技術を安全・確実に実践的できる。
(SBOs)

2) 救急法について確実に実践できる。

評価方法: 演習の取り組み姿勢と喀痰吸引や経管栄養の実施手順の評価表に基づいて評価する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。
1回の授業につき、60分を目安に演習で実施した手順・技術について復習を行うこと。

オフィスアワー: 16時半～17時半 ただし木、介護福祉実習中はの期間は除く

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	高齢者及び障害児・者の経管栄養について、実施手順の解説と実施	演習	貫
2	1)	高齢者及び障害児・者の経管栄養について、実施手順の解説と実施	演習	貫
3	1)	高齢者及び障害児・者の経管栄養について、実施手順の解説と実施	演習	貫
4	1)	高齢者及び障害児・者の経管栄養について、実施手順の解説と実施	演習	貫 稲田
5	1)	口腔内の喀痰吸引の実施 1 (5回以上)	演習	貫.稲田
6	1)	口腔内の喀痰吸引の実施 2 (5回以上)	演習	貫.稲田
7	1)	鼻腔内の喀痰吸引の実施 1 (5回以上)	演習	貫 稲田
8	1)	鼻腔内の喀痰吸引の実施 2 (5回以上)	演習	貫.稲田
9	1)	気管カニューレ内の喀痰吸引 1 (5回以上)	演習	貫.稲田
10	1)	気管カニューレ内の喀痰吸引2 (5回以上)	演習	貫 稲田
11	1)	胃瘻または腸ろうによる経管栄養の実施 1 (5回以上)	演習	貫.稲田
12	1)	胃瘻または腸ろうによる経管栄養の実施 2 (5回以上)	演習	貫.稲田
13	1)	経鼻経管栄養法の実施 1 (5回以上)	演習	貫 稲田
14	1)	経鼻経管栄養法の実施 2 (5回以上)	演習	貫.稲田
15	2)	救急蘇生法	演習	貫 稲田

教科書: 最新介護福祉全書 13 医療的ケア メヂカルフレンド社

参考書: 使用しない

科目名: **こころとからだのしくみ I**

担当者: 貫 優美子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 介護福祉士の専門性を高めるため、介護技術の根拠となる人体の構造や機能を理解したうえで個々の利用者を支援することが必要となる。こころとからだのしくみ I では、介護実践に必要な知識という観点から人体の構造、各臓器の構造と機能などの基本的知識と高齢者に多い疾患、特に認知症についての知識を取得する。

到達目標: (SBOs) 1)人体の部位の名称、構造、機能について説明できる。
2)介護サービス提供時における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する。
3)高齢者に多い疾患、特に認知症についての知識を取得するし、他介護専門分野での教科や演習に汎用することができる。

評価方法: 中間試験と終了試験、2回実施しその合計点(90%)と授業態度(10%)を総括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。
1回の授業につき、120分を目安に予習・復習を行うこと。
授業毎に実施する復習小テストを解き、完全に答えられるようにする。

オフィスアワー: 16時30分～17時30分まで。ただし木曜日、実習巡回中は除く。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	こころとからだのしくみについて理解する。(1)	講義	貫
2	1)	こころとからだのしくみについて理解する(2)	講義	貫
3	1)	こころとからだのしくみについて理解する(3)	講義	貫
4	1)	こころとからだのしくみについて理解する(4)	講義	貫
5	1)	こころとからだのしくみについて理解する(5)	講義	貫
6	2)	身支度に関連したこころとからだのしくみについて理解する。	講義	貫
7	3)	移動に関連したこころとからだのしくみについて理解する。(1)	講義	貫
8	3)	移動に関連したこころとからだのしくみについて理解する。(2)	講義	貫
9	3)	移動に関連したこころとからだのしくみについて理解する。(3)	講義	貫
10	4)	食事に関連したこころとからだのしくみについて理解する。	講義	貫
11	5)	入浴・清潔に関連したこころとからだのしくみについて理解する。(1)	講義	貫
12	5)	入浴・清潔に関連したこころとからだのしくみについて理解する。(2)	講義	貫
13	6)	排泄に関連したこころとからだのしくみについて理解する。	講義	貫
14	7)	睡眠に関連したこころとからだのしくみについて理解する。	講義	貫
15	8)	死にゆくひとのこころとからだのしくみについて理解する。	講義	貫

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **こころとからだのしくみⅡ**

担当者: 稲田 弘子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(2年)

必修・選択: 選択

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 介護をするには、「介護技術」というテクニックだけでなく、なぜそのように介護したかというその根拠となる心身面に関する基礎的知識が必要である。根拠のある介護が実践できる介護福祉士になるために、人体の構造や機能、疾病を理解し、介護実践の提供における留意点についての知識を修得する。

到達目標: (SBOs)
1) 人の発達・老化について説明することができる。
2) 移動介護に関連したこころとからだのしくみについて説明することができる。
3) 排泄介護に関連したこころとからだのしくみについて説明することができる。
4) 食事介護に関連したこころとからだのしくみについて説明することができる。
5) 清潔介護に関連したこころとからだのしくみについて説明することができる。

評価方法: 9回目に中間試験(50点分)、16回目に修了試験(50点分)を実施する。出席状況・授業態度は成績評価の参考にとどめる。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。
毎授業ごとに配布するプリントをよみかえし、1回の授業につき120分をめどに自分で復習し、まとめること。
定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。
介護福祉士の国家試験対策の課題をすること。

オフィスアワー: 時間割が確定後、研究室前に提示します

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	人体の老化について	講義	稲田
2	1)	生命の維持・恒常について	講義	稲田
3	1)	生命の維持・恒常について	講義	稲田
4	2)	移動介護に関連した人体の構造や機能、疾病等の基礎知識①	講義	稲田
5	2)	移動介護に関連した人体の構造や機能、疾病等の基礎知識②	講義	稲田
6	2)	移動介護に関連した人体の構造や機能、疾病等の基礎知識③	講義	稲田
7	2)	移動介護に関連した人体の構造や機能、疾病等の基礎知識④	講義	稲田
8	2)	移動介護に関連した人体の構造や機能、疾病等の基礎知識⑤	講義	稲田
9	1)2)	中間試験 1～8回目の総括	講義	稲田
10	3)	排泄介護に関連した人体の構造や機能、疾病等の基礎知識①	講義	稲田
11	3)	排泄介護に関連した人体の構造や機能、疾病等の基礎知識②	講義	稲田
12	3)	排泄介護に関連した人体の構造や機能、疾病等の基礎知識③	講義	稲田
13	4)	食事介護に関連した人体の構造や機能、疾病等の基礎知識①	講義	稲田
14	4)	食事介護に関連した人体の構造や機能、疾病等の基礎知識②	講義	稲田
15	5)	清潔介護に関連した人体の構造や機能、疾病等の基礎知識②	講義	稲田

教科書: 使用しない。(講義時にプリントを配布するので、きちんとファイルングしておくこと)

参考書: 使用しない。

科目名: **発達と老化の理解 I**

担当者: 稲田 弘子(福・福) 西田 美香(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・動物療法専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 介護福祉士は、介護や支援を必要とする高齢者はもちろん、障害児・者など、いろいろな年代の方を対象としている。また、人は生まれてから最後を迎えるまで連続線上で生きている。いろいろな年代の人に対し、生活を支えることのできる介護福祉士になるために、人間の成長や発達についての基礎的な知識を修得する。「発達と老化の理解 I」では、誕生から、それぞれの発達段階の課題についての知識を修得する。

到達目標: 1)人間の発達と成長について説明することができる。
(SBOs) 2)各発達段階における課題について説明することができる。

評価方法: 学期末の単位認定試験90%と学習への取り組み状況(授業態度、出欠遅刻状況等)10%として、総括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修。高等学校教諭1種免許状(福祉)の修得を希望する学生は必修。
毎授業ごとにテキストや配布するプリントをよみかえし、1回の授業につき120分をめぐりに自分で復習し、まとめること。
定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。

オフィスアワー: 時間割が確定後に研究室前に提示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	誕生について	講義	稲田
2	1)	乳幼児期の発達について①	講義	稲田
3	1)	乳幼児期の発達について②	講義	稲田
4	1)	乳幼児期の発育・発達について グループワーク①	演習	稲田
5	2)	乳幼児期の発育・発達について グループワーク②	演習	稲田
6	2)	乳幼児期の発育・発達について 発表①	演習	稲田
7	2)	乳幼児期の発育・発達について 発表②	演習	稲田
8	2)	乳幼児期の発育・発達について まとめ	講義	稲田
9	3)	乳幼児期における発達課題について①	講義	稲田
10	3)	乳幼児期における発達課題について②	講義	稲田
11	3)	学童期における発達課題について③	講義	稲田
12	3)	青年期に伴うこころの変化①	講義	西田
13	3)	青年期に伴うこころの変化②	講義	西田
14	3)	青年期に伴うこころの変化③	講義	西田
15	3)	青年期に伴うこころの変化④	講義	西田

教科書: 発達と老化の理解(林 泰史・長田 久雄)メジカルフレンド社【978-4-8392-3149-1】

参考書: 使用しない。(必要時プリントを配布する)

科目名: **発達と老化の理解Ⅱ**

担当者: 稲田 弘子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 介護福祉士は、介護や支援を必要とする高齢者はもちろん、障害児・者など、いろいろな年代の方を対象としている。また、人は生まれてから最後を迎えるまで連続線上を生きている。いろいろな年代の人に対し、生活を支えることのできる介護福祉士になるために、人間の成長や発達について理解する。「発達と老化の理解Ⅱ」では、老化に焦点をあて、身体的・精神的・社会的老化や高齢者に起こりやすい疾病や症状についての知識を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 老化に伴うところとからだの変化と日常生活への影響について説明することができる。
2) 高齢者に多い疾病と日常生活上の留意点について説明することができる。
3) 高齢者の健康を支援するしくみについて説明することができる。

評価方法: 学期末の単位認定テスト95%と学習への取り組み状況(授業態度、演習態度、出欠遅刻状況)5%として、総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 「発達と老化の理解Ⅰ」を履修していること。介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修毎授業ごとにテキストや配布するプリントをよみかえし、1回の授業につき120分をめぐりに自分で復習し、まとめること。
定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。

オフィスアワー: 時間割が確定後に研究室前に提示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	メタボリックシンドロームについて①	講義	稲田
2	1)	メタボリックシンドロームについて②	講義	稲田
3	1)	食事・たばこ、血液検査データについて	講義	稲田
4	1)	身体的・精神的・社会的老化について(調べる)	講義・GW	稲田
5	1)	身体的・精神的・社会的老化について(調べる)	講義・GW	稲田
6	1)	身体的・精神的・社会的老化について(まとめる)	講義・GW	稲田
7	1)	身体的・精神的・社会的老化について(発表)	講義・GW	稲田
8	2)	身体的・精神的・社会的老化について(発表)	講義・GW	稲田
9	2)	身体的・精神的・社会的老化について(質問に対する質疑応答)	講義・GW	稲田
10	2)	高齢者に多い疾病と日常生活上の留意点について①	講義	稲田
11	2)	高齢者に多い疾病と日常生活上の留意点について②	講義	稲田
12	2)	高齢者に多い疾病と日常生活上の留意点について③	講義	稲田
13	2)	高齢者に多い疾病と日常生活上の留意点について④	講義	稲田
14	2)	発達と老化の理解の総括①	講義	稲田
15	3)	発達と老化の理解の総括②	講義	稲田

教科書: 発達と老化の理解 (林 泰史・長田 久雄) メヂカルフレンド社 【978-4-8392-3149-1】
「発達と老化の理解Ⅰ」で使用している教科書。

参考書: 使用しない(必要時プリントを配布する)。

科目名: **障害の理解**

担当者: 清水 径子(福・福) 稲田 弘子(福・福) 貫 優美子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 我が国の障害者施策をめぐる状況は大きく変化した。障害者自立支援法の成立にともない、障害者福祉サービスの利用の仕組みはかわり、さらにサービス内容と質の充実が求められるようになった。障害者施策の対象は高齢化に伴い増加し幅広い年齢層にわたり障害の種類も多様化している。講義では、「障害の構造的理解」が提起され、ICIDHからICFへと進展してきた過程を正しく学習し、その実践的意味も十分理解し、その「考え方」を基本として個々の障害(例えば、視覚障害、聴覚障害や知的障害など)について生理的、病的及び心理的な側面からその特徴を正しく理解する。また、障がいのある人との交流や性格上の様々なことを理解し、さらに障がい者本人のみならず、家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を学習する。障がいのある人の心理や生活上の問題点などを具体的に学習するとともに、家族への支援、チームアプローチの必要性や地域での介護支援資源の探求、介護支援システムの構築などについての学習を深める。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 障害種別ごとの障害の特性や人数の推移が説明できる。
 - 2) 障害種別に応じた生活の実情とニーズが説明できる。
 - 3) 国際障害概念の考え方と限界について、その改正版とされる国際生活機能分類について説明できる。
 - 4) 障害者施策の基本理念が説明できる。
 - 5) 障害者総合支援法の成立の背景とサービス内容が説明できる。
 - 6) 制度の利用・認定の仕組み、費用負担の仕組み、国保連の位置づけが説明できる。
 - 7) サービス体系及び事業内容が説明できる。
 - 8) 自立支援医療、補装具について説明できる。
 - 9) 市町村・都道府県・国・指定サービス事業者の役割が説明できる。
 - 10) 障害者の関連施策を理解し、説明できる。
 - 11) それぞれの障害の種類について原因と特性を理解し、説明できる。
 - 12) 地域におけるサポート体制、チームアプローチを理解し、その方法について説明できる。
 - 13) 家族への支援について考えることができる。

評価方法: 定期試験により評価する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修である。
1回の授業につき、4時間を目安に予習・復習等を行うこと。
与えられた課題に取り組み、提出期限を守ること。

オフィスアワー: 各自、研究室前等に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	【我が国の障害者福祉の歴史】我が国の障害者施策の発展の歴史を理解する。	講義	清水
2	4)	【国際的な障害の捉え方】我が国の障害者施策の発展に影響を与えた国際障害年と国際障害概念について理解する。さらに国際生活機能分類について理解する。 【障害者総合支援法の制度1】障害者総合支援法の制度、とくに自立支援給付としての介護給付と訓練等給付の事業に焦点をあて学ぶ。	講義	清水
3	5)~9)	【障害者総合支援法の制度2】障害者総合支援法の制度、とくに地域生活支援事業に焦点をあて学ぶ。	講義	清水
4	5)~9)	【障害者総合支援法の制度3】障害者総合支援法の制度利用を進める上での専門職の役割と関係機関の連携について学ぶ。	講義	清水
5	5)~9)	【関連施策1】障害児者、高齢者の移動・情報保障、社会参加の促進に関する施策を理解する。	講義	清水
6	10)	【関連施策2】障害者の雇用に関する施策を理解する。	講義	清水
7	10)	【障害の医学的側面の基礎知識1】身体障害①	講義	清水
8	11)	【障害の医学的側面の基礎知識2】身体障害②	講義	貫
9	11)	【障害の医学的側面の基礎知識3】発達障害・難病	講義	貫
10	11)	【障害の医学的側面の基礎知識4】難病	講義	貫
11	11)	【障害の医学的側面の基礎知識5】精神障害①	講義	貫

12	11)	【障害の医学的側面の基礎知識6】精神障害②	講義	稲田
13	11)	【障害の医学的側面の基礎知識7】知的障害・高次脳機能障害	講義	稲田
14	11)	【連携と協働】地域・関係機関との連携、他職種との連携、家族への支援など地域におけるサポートとチームアプローチについて理解する。	講義	稲田
15	12)13)		講義	稲田

教科書： 最新介護福祉全書11 障害の理解 メヂカルフレンド社
 ※1年後期「障害者に対する支援と障害者自立支援法」にて指定されたテキストを使用します。

参考書： 使用しない。

科目名: **社会・集団・家族心理学**

担当者: 加藤 謙介(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科・臨床心理専攻(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 本講義では、「社会」「集団」「家族」が関わる心理学領域の特徴・専門知識について、様々な個別研究事例を通して習得する。具体的には、「対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程」「人の態度及び行動」「家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響」などの小テーマから、心理学の知識を福祉分野に応用するための教養を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)「社会・集団・家族心理学」の学問的志向について説明できる。
2)対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程について説明できる。
3)人の態度及び行動について説明できる。
4)家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響について説明できる。

評価方法: 学期末の試験によって評価する。

準備学習・履修上の注意等: 【準備学習(予習・復習等)時間】毎授業後次回授業内容のポイントを示すので、事前準備を行うこと。また、毎授業後に、1コマあたり1時間を目安に、必ず講義ノートを読み返すこと。
【履修上の注意等】本講義に際しては、心理学・福祉・医療等、幅広い分野に関心を持ち、様々な講義を受講していることが望ましい。また、他の受講生の迷惑になるような行為(私語等)は厳に謹んで頂きたい。

オフィスアワー: 時間割が確定した後に研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【1】オリエンテーション 「社会」「集団」「家族」の心理学をめぐる問題群の概要について紹介する。	講義	加藤
2	2)	【2】「社会的認知」に関する個別テーマのうち、「帰属と対人認知のメカニズム」「社会的判断・推論のメカニズム」「ステレオタイプと偏見」などについて説明する。	講義	加藤
3	2)	【3】「社会的自己」に関する個別テーマのうち、「自己知識・自己概念」「自己知覚」「自己評価・自尊心の維持・高揚のメカニズム」「自己制御」「自己呈示」などについて説明する。	講義	加藤
4	2)	【4】「対人関係・対人行動」に関する個別テーマのうち、「対人魅力」「社会的交換」「協力と競争」などについて説明する。	講義	加藤
5	2)	【5】「対人関係・対人行動」に関する個別テーマのうち、「援助行動」「攻撃行動」などについて説明する。	講義	加藤
6	2)	【6】「コミュニケーション」に関する個別テーマのうち、「言語コミュニケーション」「非言語コミュニケーション」「コミュニケーション・ネットワーク」などについて説明する。	講義	加藤
7	2)	【7】「集団・組織」に関する個別テーマのうち、「所属・成員性」「集団への同調」「内集団ひいき」「集団内の地位とリーダーシップ」などについて説明する。	講義	加藤
8	3)	【8】「態度の機能と構造」に関する個別テーマのうち、「態度の形成と機能」「態度の構造と変化」「態度と行動の一貫性」などについて説明する。	講義	加藤
9	3)	【9】「説得による態度と行動の変化」に関する個別テーマのうち、「送り手の要因」「メッセージの要因」「受け手の要因」「状況の要因」「態度変化のモデル」「説得への抵抗」などについて説明する。	講義	加藤
10	4)	【10】「家族の機能」に関する個別テーマのうち、「性に関わる機能」「子どもの社会化に関わる機能」「情緒に関わる機能」などについて説明する。	講義	加藤
11	4)	【11】「家族内の関係」に関する個別テーマのうち、「家族システム」「夫婦関係」「親子関係」「きょうだい関係」「家族の発達段階」などについて説明する。	講義	加藤
12	4)	【12】「集団・組織の影響」に関する個別テーマのうち、「情報的影響と規範的影響」「集団凝集性」などについて説明する。	講義	加藤
13	4)	【13】「集団・組織の影響」に関する個別テーマのうち、「組織規範と組織文化」などについて説明する。	講義	加藤
14	4)	【14】「文化の影響」に関する個別テーマのうち、「規範」「慣習・習慣」「制度」「相互構成的な文化的存在としての人間」などについて説明する。	講義	加藤
		【15】「文化の影響」に関する個別テーマのうち、「子どもの養育と発達」「異文化接		

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **発達心理学**

担当者: 有木 正浩(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉学科(1年) 視機能療法学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 胎児期から高齢期までの人間の心や行動がどのように変化していくのか。それはどのような要因によるのか。個人や家族、文化などによってどう異なるのか、といった点に注目し、人間の一生を理解する。それぞれの段階での発達課題や疑問点を中心に、具体的な事象を通して理解を深めていく。また、現在問題になっている「発達障がい」についても理解し、対応を学ぶ。

到達目標: (SBOs) 1)発達段階の特徴を説明できる。
2)発達段階における課題について説明できる。
3)発達障害について説明でき、支援方法について配慮できる。

評価方法: 授業に取り組む姿勢、課されたレポートなどと、期末試験の点数で総合的に判断する。

準備学習・履修上の注意等: 予習、復習を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【発達心理学とは何か】 発達心理学の基本的概念を理解する。	講義	有木
2	1)2)	【胎児期・新生児期】 胎児期、新生児期の発達について理解し、心理的問題について、適切な支援の方法を修得する。	講義	有木
3	1)2)	【乳児期】 乳児期の発達について理解し、心理的問題について、適切な支援の方法を習得する。	講義	有木
4	1)2)	【幼児期・前期】 幼児前期の発達について理解し、心理的問題について、適切な支援方法を習得する。	講義	有木
5	1)2)	【幼児期・後期】 幼児後期の発達について理解し、心理的問題について、適切な支援方法を習得する。	講義	有木
6	1)2)	【発達検査・知能検査について】 発達検査や知能検査について理解するとともに、演習を行う。	講義・演習	有木
7	1)2)	【児童期・前期】 児童期前期の発達について理解し心理的問題について、適切な支援方法を習得する。	講義	有木
8	1)2)	【児童期・後期】 児童期後期の発達について理解し心理的問題について、適切な支援方法を習得する。	講義	有木
9	1)2)	【青年期】 青年期の発達について理解し、心理的問題について、適切な支援方法を習得する。	講義	有木
10	1)2)	【成人期】 成人期の発達について理解し、心理的問題について、適切な支援方法を習得する。	講義	有木
11	1)2)	【中年期・高齢期】 中年期・高齢期の発達について理解し、基本的知識を習得する。	講義	有木
12	1)2)	【中年期・高齢期】 中年期・高齢期に起こりうる心理的問題について支援方法を習得する。	講義	有木
13	1)2)	【発達心理学の研究方法】 発達心理学の視点を深めるため、研究方法について理解する。	講義	有木
14	3)	【発達障害の理解】	講義	有木

発達障害について理解し、基本的知識を習得する。

15

3) 【発達障害の対応】
発達障害の支援方法を習得する。

講義

有木

教科書: 発達心理学(無藤 隆、佐久間路子 編著) 学文社 (ISBN978-4-7620-1883-1)

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床心理学概論**

担当者: 前田直樹(臨床福祉学科)

配当学科: 臨床福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 急激な社会の変化にともなって、人々の心の健康に様々な問題が生じている。臨床心理学は心理的問題の解決や援助に携わる理論的研究と実践に関する心理学の応用分野である。この講義では臨床心理学の基礎的な理論と実践について幅広く学習する。

到達目標: (SBOs) 1)臨床心理学が様々な心理の考え方で成り立っていることを理解する。
2)臨床心理学と臨床心理士について理解する。
3)臨床心理学におけるアセスメントについて理解できる。
4)各種心理療法を理解できる。
5)神経症、心身症、精神病の違いを理解できる。

評価方法: 筆記試験

準備学習・履修上の注意等: 臨床心理学を自ら積極的に学習しようとする姿勢。

オフィスアワー: 毎週月曜 18:00-18:30

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	(臨床心理学とは) ○臨床心理学の定義、理論、歴史などを理解する。	講義	前田
2	2)	(臨床心理学と臨床心理士) ○心理臨床の現場で働く臨床心理士の援助活動について理解する。	講義	前田
3	1)4)	(臨床心理学の考え方①) ○精神力動的立場の理論・技法を理解する。	講義	前田
4	1)4)	(臨床心理学の考え方②) ○人間性心理学の立場の理論・技法を理解する。	講義	前田
5	1)	(臨床心理学の考え方③) ○行動理論的立場の理論・技法を理解する。	講義	前田
6	1)4)	(臨床心理学の考え方④) ○近年台頭している認知療法的立場の理論・技法を理解する。	講義	前田
7	3)	(臨床心理アセスメント①) ○アセスメントの基礎、アセスメント面接について理解する。	講義	前田
8	3)	(臨床心理アセスメント②) ○アセスメントにおける質問紙法について理解する。	講義	前田
9	3)	(臨床心理アセスメント③) ○アセスメントにおける投影法について理解する。	講義	前田
10	3)	(臨床心理アセスメント④) ○各種知能検査について理解する。	講義	前田
11	3)	(臨床心理アセスメント⑤) ○機能アセスメントについて理解する。	講義	前田
12	5)	(臨床心理学と心の健康①) ○神経症に対する臨床心理的援助について理解する。	講義	前田
13	5)	(臨床心理学と心の健康②) ○心身症に対する臨床心理的援助について理解する。	講義	前田
14	5)	(臨床心理学と心の健康③) ○様々な精神疾患に対する臨床心理的支援について理解する。	講義	前田
15	1)2)3)4)5)	(総括) ○これまで学習したことを総括し、臨床心理学の基礎的知識を身につける。	講義	前田

教科書: 使用しない。

参考書: 未定

科目名: **運動療法**

担当者: 松田 智香子(福・ス)

配当学科: 臨床福祉専攻(2012年度入学生2年、2011年度以前入学生3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 「身体活動」や「運動」が身体に及ぼす好影響は周知の事実である。本講座では生活習慣病や様々な疾病の改善や予防のために必要な身体活動や運動の重要性について理解を深め、必要な運動生理学や生化学の基礎について具体的に学ぶ。

到達目標: 1)身体の各器官の名称などを説明できる。
2)運動を行うために必要な各器官の役割を説明できる。
3)運動時のエネルギー供給機構を説明できる。
4)運動と栄養摂取の関係を説明できる。
5)運動を行うにあたって必要なメディカルチェックについて説明できる。
6)運動の強度、時間、頻度の関係を理解し、活用できる。
7)様々な運動の種類を理解し、指導や安全対策について説明できる。
8)減量するために必要な運動について説明できる。
9)運動と生活習慣病予防と改善の関係を説明できる。
10)高齢者に適した運動やその必要性について説明できる。
11)障がい者の身体活動の重要性について説明できる。
12)健康づくりのための運動指針の変遷について理解し、それぞれの問題点を説明できる。
13)健康づくりのために必要な運動の重要性について理解し、問題点や改善点について説明できる。

評価方法: 期末試験(90%)、授業態度・課題への取り組み(10%)
原則、再試験は行わない。
なお、再試験を行う場合は、本試験で基準点以上の者のみ再試験を受験できる。
(基準点は授業時に説明する)

準備学習・履修上の注意等: 授業後には授業内容をまとめるなど事後学習を行う。また毎授業後に次回授業内容を提示するので事前準備を行うなど1コマ当り4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割が確定しだい掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	運動を行うに必要な骨格や骨格筋	講義	松田
2	1)2)	骨格筋を制御するために必要な神経系の働き	講義	松田
3	1)2)	運動と呼吸循環器系の働き	講義	松田
4	2)3)	運動を行うために必要なエネルギー代謝	講義	松田
5	3)4)	運動と栄養摂取との関係	講義	松田
6	5)	運動実践と安全	講義	松田
7	6)	運動の種類と強度、時間、頻度の関係	講義	松田
8	6)7)	運動の種類と指導方法、安全対策	講義	松田
9	4)8)	減量に必要な運動	講義	松田
10	8)9)	生活習慣病の予防、改善に必要な身体活動	講義	松田
11	5)9)	さまざまな疾患と安全に運動を行うための基礎的知識	講義	松田
12	10)	高齢者に必要な身体活動や運動	講義	松田
13	11)	障がい者と身体活動や運動	講義	松田
14	12)	健康づくりのための運動指針の変遷	講義	松田
15	13)	健康づくりに必要な運動の重要性	講義	松田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **福祉住環境論**

担当者: 三宮 基裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 【授業の概要】

日本の住宅の問題、住宅改修のプロセスと具体的な改修方法、そして関係する法律や助成制度について学ぶ。
【一般目標(GIO)】
身体に障害のある方や加齢等により心身機能が低下した方が住宅で生活する時の生活環境上の問題を認識し、将来、福祉職として必要となる生活環境整備の基本的知識を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)住環境整備の意義を理解し、住環境整備における福祉職の役割を説明できる。
 - 2)住環境整備に関わる基本的な用語を理解し、説明ができる。
 - 3)住環境整備のプロセスとそれに関わる専門職を理解し、それぞれの役割が説明できる。
 - 4)関連する法制度を理解し、制度活用のプロセスが説明できる。
 - 5)建築図面を読み取り簡単な平面図が描ける。
 - 6)高齢者や障がいのある方の生活において生じる日本住宅の問題が列挙できる。
 - 7)住環境整備の方法が列挙できる。
 - 8)住環境整備の方法を立案できる。

評価方法: 毎時間の受講態度と期末試験の点数で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 参考書に準拠して講義を進めるので、必要に応じて購入しておくこと。
積極的な受講態度で臨むこと。
1回の授業につき4時間を目安に予習・復習をおこなうこと。

オフィスアワー: 研究室在室時は、原則、常時対応

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	住環境整備の意義	講義	三宮
2	2)	ノーマライゼーションとリハビリテーション	講義	三宮
3	2)	バリアフリーとユニバーサルデザイン	講義	三宮
4	3)	住環境整備のプロセス	講義	三宮
5	4)	介護保険制度と住環境整備	講義	三宮
6	5)	住宅図面の読み取りと作図法	講義・演習	三宮
7	6)	日本住宅の問題と住環境整備	講義	三宮
8	4)5)7)	移動空間の整備①(移動に関わる福祉用具)	講義	三宮
9	4)5)7)	移動空間の整備②(アプローチ、玄関、廊下、階段)	講義	三宮
10	4)5)7)	トイレ空間の整備①(排泄に関わる福祉用具)	講義	三宮
11	4)5)7)	トイレ空間の整備②(手すり、段差解消、便座、スペース)	講義	三宮
12	4)5)7)	浴室空間の整備①(入浴に関わる福祉用具)	講義	三宮
13	4)5)7)	浴室空間の整備②(手すり、段差解消、浴槽)	講義	三宮
14	5)7)8)	住環境整備の提案①(サニタリー空間の環境整備)	講義・演習	三宮
15	5)7)8)	住環境整備の提案②(戸建住宅の環境整備)	講義・演習	三宮

教科書: 使用しない

参考書: 改訂4版 福祉住環境コーディネーター3級公式テキスト (東京商工会議所 編) 東京商工会議所 【978-4924547599】

科目名: **福祉住環境デザイン**

担当者: 三宮 基裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 【授業の概要】

生活の基盤である住宅および生活施設について、住宅改修の具体的な改修方法、高齢者に関わる住宅政策や居住施設の概要などについて学ぶ。

【一般目標(GIO)】

高齢者に対するこれからの環境整備のあり方を理解し、介護福祉士として必要となる生活環境整備の基本的知識を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)住宅の役割と緒室の構成が説明できる。
2)住居に関連する法制度が理解でき、説明できる。
3)環境整備の具体的な方法が説明できる。
4)建築図面が読み取れ簡単な作図ができる。
5)高齢者に配慮した環境整備の方法が提案できる。

評価方法: 毎時間の受講態度と期末試験の点数(60%程度)および作品の提案(40%程度)で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 【履修条件】前期開講の「福祉住環境論」を受講すること(学んだ内容を活用するため)

図面の作図の際は各自で必要となる文具を準備すること。
積極的な受講態度で臨むこと。
1回の授業につき4時間を目安に予習・復習をおこなうこと。

オフィスアワー: 研究室在室時は、原則、常時対応

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	2)4)5)	練習課題 ①環境整備のポイント	講義・演習	三宮
2	2)4)5)	練習課題 ②問題点の抽出	講義・演習	三宮
3	2)4)5)	練習課題 ③トイレ・浴室の改修	講義・演習	三宮
4	2)4)5)	練習課題 ③トイレ・浴室の改修	講義・演習	三宮
5	2)4)5)	練習課題 ④間取りの提案	講義・演習	三宮
6	2)4)5)	練習課題 ④間取りの提案	講義・演習	三宮
7	1)3)4)5)	課題説明・生活者の条件設定・作図法	講義・演習	三宮
8	1)3)4)5)	住宅図面の作図法	講義・演習	三宮
9	1)3)4)5)	自宅の平面図の作図	講義・演習	三宮
10	1)3)4)5)	自宅の配置図・展開図の作図	講義・演習	三宮
11	1)3)4)5)	問題点の抽出・改善案の検討	講義・演習	三宮
12	1)3)4)5)	改善案の検討・改善計画の作図	講義・演習	三宮
13	1)3)4)5)	作品の仕上げ	講義・演習	三宮
14	1)3)4)5)	作品の仕上げ	講義・演習	三宮
15	1)3)4)5)	住宅改修の提案⑩(発表)	講義・演習	三宮

教科書: 使用しない。

参考書: 新・介護福祉士養成講座 6 生活支援技術 I 第3版(介護福祉士養成講座編集委員会=編集)【978-4-8058-3940-9】
住宅改修アセスメントのすべて 介護保険「理由書」の書き方・使い方マニュアル(加島守/著)三和書籍【978-4-86251-064-8】

科目名: 福祉施設とまちづくり

担当者: 三宮 基裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 【授業の概要】

福祉のまちづくりを実現するために、福祉施設・まちづくりの必要性和それを実現するためのプロセスを学ぶ。

【一般目標(GIO)】

高齢者の施設を中心に、福祉施設とまちづくりの意義とその必要性を認識し、福祉のまちづくりの具体的提案を実践することで、ノーマライゼーション社会の実現に向けた福祉職の立場からの提案ができるようになるための基本的知識を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)まちづくりの意義と方法が説明できる。
2)まちづくりの歴史と素材が説明ができる。
3)まちづくりのための手順が説明できる。
4)関連する法制度が説明できる。
5)まちづくりの提案ができる。
6)福祉施設の種類と役割が説明できる。

評価方法: 毎時間の受講態度、作成した資料内容や発表方法などの演習の取り組み姿勢、確認問題の結果などにより総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 積極的な受講態度で臨むこと。
1回の授業につき4時間を目安に予習・復習をおこなうこと。
必要に応じて、冬休み中にフィールドワーク学習をおこなう。

オフィスアワー: 研究室在室時は、原則、常時対応

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	まちづくりの定義 まちづくりの対象と定義が説明できる	講義	三宮
2	1)2)	まちづくりの歴史 戦後から現在までのまちづくりの歴史が説明できる	講義	三宮
3	1)4)	まちづくりと財産権 まちづくりにおける公共性と私的財産の関係が説明できる	講義	三宮
4	1)3)	ちづくりの原理① まちづくりを進める上での原理が説明できる	講義	三宮
5	1)3)	まちづくりの原理② まちづくりを進める上での原理が説明できる	講義	三宮
6	1)3)4)	ちづくりの基本目標① まちづくりに含まれる基本的な目標が説明できる	講義	三宮
7	1)3)4)	ちづくりの基本目標② まちづくりに含まれる基本的な目標が説明できる	講義	三宮
8	3)5)	まちづくりの具体的イメージ 先進的実践例から、まちづくりの原理と基本目標を学び取ることができる	講義	三宮
9	3)5)	まちづくりの方法 まちづくりのための合意形成と、そのためのワークショップ技術が説明できる	講義	三宮
10	5)6)	高齢者のための福祉施設 高齢者のための福祉施設の種類と役割が説明できる	講義	三宮
11	5)6)	高齢者のための居住施設(個室・ユニットケア) 高齢者のための居住施設の空間的変遷が説明できる	講義	三宮
12	5)6)	高齢者が地域で暮らすための居住支援(グループホーム・小規模多機能) グループホーム・小規模多機能の意義と役割が説明できる	講義	三宮
13	5)6)	高齢者の地域で暮らすための高齢者向け住宅 住宅に代わる住まいとしての高齢者住宅の意義と役割が説明できる	講義	三宮
14	5)6)	障がい者、児童のための福祉施設 障がい者、児童のための福祉施設の意義と役割が説明できる	講義	三宮

教科書: 指定しない

参考書: まちづくり教科書第1巻まちづくりの方法(日本建築学会編)【4-621-07419-9】

科目名: 介護概論

担当者: 清水 径子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(2年)

必修・選択: 選択

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉・介護需要を踏まえ、介護分野において、「福祉のこころ」と福祉教育の実践能力を持った専門職が必要である。そのため本講義では、介護の概念や対象及びその理念等について理解し、介護過程における介護の技法や介護予防・終末期の援助の基本的な考え方について理解する。また、介護保険制度や福祉・介護に係る他の法制度についても理解する。介護概論は高等学校教諭一種免許状(福祉)を取得するための必修科目として介護理論及び介護技術を身につけ、教育できる能力を修得する。

到達目標: (SBOs)
1)介護を学ぶ意義が説明できる。
2)担い手から見た介護の歴史を調べることができる。
3)介護の原則と倫理を学び、介護の専門職のあり方を討議できる。
4)介護保険制度や障害者自立支援法のしくみ、福祉サービスの種類が説明できる。
5)体験を通して、「介護における援助関係」について説明できる。
6)介護過程の目的や流れが説明できる。
7)介護の目的や基本技法が説明できる。
8)尊厳を支える介護の視点を説明できる。

評価方法: 定期試験(筆記試験)(80%)、授業態度及びレポート提出状況(20%)を総合的に判断して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 原則、遅刻・欠席をしない。
1回の授業につき4時間を目安に予習・復習を行うこと。
予習は授業内容を見て、テキストの該当ページを読んでくること。
復習は配布プリントに目を通すこと。
毎授業後に授業まとめレポートを作成し提出すること。
また、授業中に出された課題は指定期日までに必ず提出すること。
高等学校教諭一種免許状(福祉)の取得を希望している場合は必修となる。

オフィスアワー: オフィスアワーについては授業開始日にお知らせします。また、研究室前にも掲示します。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション 介護とは	講義	清水
2	2)	介護の歴史と背景	講義	清水
3	3)	介護の原則と倫理	講義・SGD	清水
4	4)	介護に関する制度	講義・SGD	清水
5	4)	介護に関する制度	講義	清水
6	5)	介護を必要とする高齢者	講義・演習	清水
7	5)	介護を必要とする障害者	講義・演習	清水
8	6)	介護過程とICF	講義	清水
9	7)	介護の基本(コミュニケーション)	講義・演習	清水
10	7)	介護の基本(食事・排泄)	講義・演習	清水
11	7)	介護の基本(着脱・身体の清潔)	講義・演習	清水
12	7)	介護の基本(移動・車いすの介助)	講義・演習	清水
13	7)	介護の基本(住環境・睡眠)	講義・演習	清水
14	8)	認知症高齢者の介護	講義・SGD	清水
15	8)	終末期の介護	講義	清水

教科書: 社会福祉学習双書15 介護概論 (社会福祉学習双書編集委員会) 全国社会福祉協議会 【978-4-7935-1025-0】

参考書: 新・社会福祉士養成講座13 高齢者に対する支援と介護保険制度 中央法規
新・社会福祉士養成講座14 障害者に対する支援と障害者自立支援制度 中央法規

科目名: 臨床福祉学演習 I

担当者: 秋葉 敏夫(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 臨床福祉学科では4年次に卒論作成することが必須となっている。それに向けて卒論テーマ設定法、情報収集法、調査方法などを修得していく。特に、収集したデータをまとめて、第3者にわかりやすくプレゼンテーションできるようにすることを重点を置いて学んでいく。

到達目標: (SBOs)
1) 研究テーマを設定することができる。
2) 情報収集に関する基本的な手法が使える。
3) 基本的な調査方法を使うことができる。
4) わかりやすいプレゼンテーションができる。

評価方法: 出席と提出物、プレゼンのやり方などで総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 読むべき書籍や資料を与えるので、十分に読みこなし、知識を自分のものにすることが求められる。

オフィスアワー: 火・水・木曜日12:15~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	どうすればよい研究テーマを設定できるか?	演習	秋葉
2	1)	どうすればよい研究テーマを設定できるか?	演習	秋葉
3	1)	どうすればよい研究テーマを設定できるか?	演習	秋葉
4	2)	情報収集法にどんなものがあるか?	演習	秋葉
5	2)	情報収集法にどんなものがあるか?	演習	秋葉
6	2)	情報収集法にどんなものがあるか?	演習	秋葉
7	3)	卒論のための調査法にどんなものがあるか?	演習	秋葉
8	3)	卒論のための調査法にどんなものがあるか?	演習	秋葉
9	3)	卒論のための調査法にどんなものがあるか?	演習	秋葉
10	3)	卒論のための調査法にどんなものがあるか?	演習	秋葉
11	4)	よいプレゼンをするためのルールとは?	演習	秋葉
12	4)	よいプレゼンをするためのルールとは?	演習	秋葉
13	4)	よいプレゼンをするためのルールとは?	演習	秋葉
14	4)	よいプレゼンをするためのルールとは?	演習	秋葉
15	5)	学んだことを実践できるか?	演習	秋葉

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 臨床福祉学演習 I

担当者: 山崎 きよ子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 論文作成の手順を通して、その特性や論文テーマの設定方法、情報収集方法、調査方法などを修得する。また、課題に関する客観的資料収集(文献検索)を行い、客観的事実に基づいたプレゼンテーション方法を修得する。地域の施設に出向き高齢者と交流活動を行なうことができる。

到達目標: (SBOs)
1)論文の特徴・特性について説明することができる。
2)周囲の事象を認識し、疑問を持つ事ができる。
3)事象を比較することができる。
4)伝えたい内容を要約することができる。
5)必要な情報を効率よく収集することができる。

評価方法: 学習態度、ゼミでの発表内容などから総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業前後に4時間の予習復習時間を設けること

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	論文の特徴とは何か? -レポート、あるいは感想文等との相違より-	演習	山崎
2	1)	論文作成の注意事項	演習	山崎
3	1)	小論文の作成1 -1, 2を基にテーマに対して600字程度の小論を作成する-	演習	山崎
4	1)	小論文の批評と修正1	演習	山崎
5	1)	小論文の作成2 -1, 2を基にテーマに対して600字程度の小論を作成する-	演習	山崎
6	1)	小論文の批評と修正2	演習	山崎
7	2)	疑問を持つ力をつける1 -身近な関心事から疑問を持つコツをつかむ-	演習	山崎
8	2)	疑問を持つ力をつける2 -身近な関心事から疑問を持つコツをつかむ-	演習	山崎
9	3)	比べる力をつける1 -イメージマップの作成方法-	演習	山崎
10	3)	比べる力をつける2 -イメージマップの作成方法-	演習	山崎
11	4)	要約する力をつける1 -短い文章を要点のみに要約する-	演習	山崎
12	4)	要約する力をつける2 -短い文章を要点のみに要約する-	演習	山崎
13	5)	調べる力をつける1 -インターネットを活用した情報収集方法-	演習	山崎
14	5)	調べる力をつける2 -図書館を利用した情報収集方法-	演習	山崎
15	1)2)3)4)5)	1)~14)のまとめ	演習	山崎

教科書: 講義時に配布するプリントなどを使用する。

参考書: 使用しない。

科目名: 臨床福祉学演習 I

担当者: 横山 裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 4年次の卒業論文作成に必要なテーマ設定法、情報収集法、調査方法などを修得することができる。また、自分の関心事や、与えられた課題に関する文献調査を行い、その内容をほかの人に伝えるためのプレゼンテーション能力を磨くことができる。

到達目標: 1)卒業論文のテーマ設定ができる。
(SBOs) 2)必要とする先行研究にアクセスできる。
3)必要文献を精読できる。

評価方法: 学習態度、ゼミでの発表内容などから総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習に関することについては教員の指導・指示に従うこと

オフィスアワー: 毎週月?金 16:00?17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	演習1の目的、年間スケジュールが理解できる。	演習	横山
2	1)2)	テーマ探しの手法が理解できる。	演習	横山
3	2)3)	テーマ探しの手法を実践することができる。	演習	横山
4	2)3)	テーマ探しの手法を実践することができる。	演習	横山
5	2)3)	テーマ探しの手法を実践することができる。	演習	横山
6	2)3)	テーマ探しの手法を実践することができる。	演習	横山
7	2)3)	テーマ探しの手法を実践することができる。	演習	横山
8	2)3)	テーマ探しの手法を実践することができる。	演習	横山
9	1)2)	調査方法を理解することができる。	演習	横山
10	1)2)	調査方法を理解することができる。	演習	横山
11	1)2)	調査方法を理解することができる。	演習	横山
12	1)2)	調査方法を理解することができる。	演習	横山
13	1)2)	調査方法を理解することができる。	演習	横山
14	1)2)	調査方法を理解することができる。	演習	横山
15	1)2)3)	調査方法を理解することができる。	演習	横山

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床福祉学演習 I**

担当者: 稲田弘子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 大学は「学問」をするところです。「学問」とは「学」んで「問」うことです。社会福祉分野の専門的知識を単に「学」ぶだけではなく、自分でさまざまなことに「問」いを発していくことで新たな解決法や対処法を身につけていくことができます。社会はこのような人材を求めています。「臨床福祉学演習 I」では、4年次の卒業論文作成に必要なテーマの設定法、情報収集法、調査方法などを修得する。前期は、卒業論文のテーマ選定をするため、いろいろな分野の知識を幅広く修得する。

到達目標: (SBOs) 1)論文とレポートの相違について説明できる。
2)論文の構成について説明できる。
3)論文の各構成について説明できる。

評価方法: 演習態度、演習内容で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 福祉分野に興味のある学生。
授業以外に、新聞を読んだり、図書館で文献を読むこと。

オフィスアワー: 時間割が確定後、表示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション	講義・演習	稲田
2	1)	レポートについて	講義・演習	稲田
3	1)	論文について	講義・演習	稲田
4	2)	論文の構成について	講義・演習	稲田
5	2)	論文の構成について	講義・演習	稲田
6	2)	発表されている論文を読んでみる	講義・演習	稲田
7	2)	興味のあるテーマを探す	講義・演習	稲田
8	2)	テーマに沿った論文を読んでみる	講義・演習	稲田
9	2)	テーマに沿った論文を読んでみる	講義・演習	稲田
10	3)	調査方法について	講義・演習	稲田
11	3)	調査方法について	講義・演習	稲田
12	3)	調査方法について	講義・演習	稲田
13	1)2)3)	前期の演習内容をまとめる。	講義・演習	稲田
14	1)2)3)	前期の演習内容をまとめる。	講義・演習	稲田
15	1)2)3)	前期の演習内容を発表する。	講義・演習	稲田

教科書: 使用しない(必要時プリントを配布する)。

参考書: 使用しない。

科目名: 臨床福祉学演習 I

担当者: 田中 陽子(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 必修

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 演習

授業概要: 学生が主体となって、社会の中で起こっている問題の中から興味・関心のあるテーマを選び、研究していくこととする。そのための方法として、まず自分の興味のある研究テーマを決め、それについて文献研究を行う。そして、その成果を発表や討論をして、それぞれの研究を深めていくこととする。そうして、自分の興味関心を知り、また、卒業研究を進めるための文献収集の方法や論文の書き方を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)研究や議論の方法を修得する。
2)自分の関心のあるテーマを決定することができる。
3)論文の要約をし、レジュメが作成できる。
4)自分のテーマについて発表できる。
5)テーマに合わせてグループ内で討論できる。

評価方法: 学習態度50%およびゼミでの発表内容50%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: ・研究テーマの内容については特に限定をしないが、心理学的視点から研究を深めるものとする。
・1コマ当たり少なくとも1時間は事前準備をすること。

オフィスアワー: 研究室前に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	臨床福祉学演習 I の概要	演習	田中
2	1)2)3)5)	関心のある研究領域の論文の要約・発表・討論①	演習	田中
3	1)2)3)5)	関心のある研究領域の論文の要約・発表・討論②	演習	田中
4	1)2)3)5)	関心のある研究領域の論文の要約・発表・討論③	演習	田中
5	1)2)3)5)	関心のある研究領域の論文の要約・発表・討論④	演習	田中
6	1)2)3)5)	関心のある研究領域の論文の要約・発表・討論⑤	演習	田中
7	1)2)3)5)	関心のある研究領域の論文の要約・発表・討論⑥	演習	田中
8	1)2)3)5)	関心のある研究領域の論文の要約・発表・討論⑦	演習	田中
9	1)	研究論文の書き方①	演習	田中
10	1)	研究論文の書き方②	演習	田中
11	1)	卒業研究の進め方	演習	田中
12	1)	文献収集の方法	演習	田中
13	1)4)	卒業研究の計画①	演習	田中
14	1)4)	卒業研究の計画②	演習	田中
15	1)4)	卒業研究の計画③	演習	田中

教科書: 特に指定なし。

参考書: 講義内にて紹介

科目名: **臨床福祉学演習 I**

担当者: 加藤 謙介(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 本演習では、専門職としての知識・関心を具体化し、「卒業研究」として総合する準備のために、文献講読・発表、及び、卒業論文計画立案・発表を通して、論文の読み方・発表の仕方、研究の組み立て方について習得することを目的とする。特に、「人間と動物の関係」に関する分野を中心に、主にグループ・ダイナミクス(社会心理学)からのアプローチの仕方を学び、「卒業研究論文」の準備を進める。演習 I では、様々な文献・学術論文を講読・発表し、「文献の読み方・発表の仕方」を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)「研究」「学術論文」の枠組みについて説明できる。
2) 専門書を読み、「読書レポート」を作成できる。
3) 学術論文を読み、内容をまとめて発表できる。

評価方法: 次の3点を総合的に評価する。(1)授業への出席、(2)発表内容、(3)ディスカッションへの参加。

準備学習・履修上の注意等: 【準備学習(予習・復習等)時間】発表担当者は期日までに資料を準備すること。発表担当以外の受講者も、資料・ノートなど読み直すなどして、予習・復習を行うこと。
【履修上の注意等】本科目は演習であるため、毎回授業に参加し、文献を読み進め、発表を行うことに意味がある。また、他の受講生の発表内容について積極的・主体的に議論し、自分の意見を述べることを望む。加えて、人間の心理・福祉、人と動物の関係に関する基礎的な知識については、既にこれまでの講義である程度習得されていることを前提にして授業を進める。

オフィスアワー: 時間割が確定した後に研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	イントロダクション	演習	加藤
2	1)	「研究」の枠組みを学ぶ	演習	加藤
3	2)	専門書の講読(1)	演習	加藤
4	2)	専門書の講読(2)	演習	加藤
5	2)	専門書の講読(3)	演習	加藤
6	2)	読書レポートの発表(1)	演習	加藤
7	2)	読書レポートの発表(2)	演習	加藤
8	2)	読書レポートの発表(3)	演習	加藤
9	3)	学術論文の講読(1)	演習	加藤
10	3)	学術論文の講読(2)	演習	加藤
11	3)	学術論文の講読(3)	演習	加藤
12	3)	学術論文の内容発表(1)	演習	加藤
13	3)	学術論文の内容発表(2)	演習	加藤
14	3)	学術論文の内容発表(3)	演習	加藤
15	1)2)3)	中間まとめ	演習	加藤

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 臨床福祉学演習 I

担当者: 前田 直樹(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 日常生活における人間の行動や心理状態を行動論的観点から考察する。演習の進め方としては、不適応行動や行動変容に関するテーマについて各自分析・検討し、月数回のレポート提出と進行内容についてのプレゼンテーションを行う。加えて、卒業論文・心理学に関する研究法や論文の書き方を学習する。

到達目標: 1)心理学の研究法、及びレポートの書き方を習得する。
(SBOs) 2)心理学の論文を作成するための知識と技術を身に着ける。
3)英文論文が読めるようになる。

評価方法: レポート

準備学習・履修上の注意等: 自主的に調査研究する姿勢。行動理論、行動療法、英語に興味を持っている学生。

オフィスアワー: (月)18:00-18:30

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション	演習	前田
2	1)	心理学論文について理解する	演習	前田
3	1)2)	テーマ設定の話し合いを行う1	演習	前田
4	1)2)	テーマ設定の話し合いを行う2	演習	前田
5	1)2)3)	文献研究を行う1	演習	前田
6	3)	文献研究を行う2	演習	前田
7	3)	文献研究を行う3	演習	前田
8	3)	文献研究を行う4	演習	前田
9	1)2)3)	プレゼンテーションを行う	演習	前田
10	1)2)	心理学論文の書き方を学ぶ1	演習	前田
11	1)2)	心理学論文の書き方を学ぶ2	演習	前田
12	1)2)	心理学論文の書き方を学ぶ3	演習	前田
13	1)2)	心理学論文の書き方を学ぶ4	演習	前田
14	1)2)	心理学論文の書き方を学ぶ5	演習	前田
15	1)2)3)	前期総括	演習	前田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床福祉学演習 I**

担当者: 貫 優美子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: さまざまな福祉分野を知るため、施設・事業所見学・ボランティア等に積極的に参加し、福祉の現状や課題を理解する。

到達目標: 1)さまざまな福祉の分野について理解を深める。
(SBOs) 2)現在の福祉についての現状と課題を明確にする。

評価方法: 演習態度、演習内容にて評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業毎に出された課題の提出、事前学習・事後学習は最低1時間は必ず行うこと

オフィスアワー: 16時30分～17時30分。ただし実習の期間は除く。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション	講義	貫
2	1)	福祉について1	演習	貫
3	1)	福祉について2	演習	貫
4	1)	福祉について3	演習	貫
5	1)	福祉について4	演習	貫
6	1)	福祉について5	演習	貫
7	1)	福祉について6	演習	貫
8	1)	福祉について7	演習	貫
9	1)	福祉について8	演習	貫
10	1)	福祉について9	演習	貫
11	1)	福祉について10	演習	貫
12	2)	我が国の福祉の現状を知る1	演習	貫
13	2)	我が国の福祉の現状を知る2	演習	貫
14	2)	我が国の福祉の現状を知る3	演習	貫
15	2)	我が国の福祉の現状を知る4	演習	貫

教科書: 使用しない。(必要時にプリントを配布する)

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床福祉学演習 I**

担当者: 西田 美香(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 本演習は、卒業論文作成の具体的な方法(テーマ設定、情報収集、調査方法等)の習得を目的とする。さらに、自分の興味、関心のあるテーマに関する情報収集で得た内容を他者に伝えるためのプレゼンテーション力を身につける。

到達目標: (SBOs) 1) 研究の進め方について理解し、重要なポイントについて説明できる。
2) 研究テーマに関する文献を収集することができる。
3) 文献を精読することができる。
4) 研究テーマに関して明らかになったことや新たな課題について説明できる。

評価方法: 学習態度40%、ゼミでの発表内容30%、課題の提出30%として、総合的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 本演習では卒業論文作成の具体的な方法を学習するが、集めた情報を咀嚼する作業や調査研究を進める具体的な作業については演習時間外で学生が主体的に実施していくことが基本となる。そのため、常に問題意識を持ち、積極的に行動するという姿勢で取り組んでいただきたい。

オフィスアワー: 後日連絡する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション	演習	西田
2	1)	卒業研究の進め方①	演習	西田
3	1)	卒業研究の進め方②	演習	西田
4	2)	文献収集の方法と実践①	演習	西田
5	2)	文献収集の方法と実践②	演習	西田
6	2)	文献収集の方法と実践③	演習	西田
7	3)	文献の講読①	演習	西田
8	3)	文献の講読②	演習	西田
9	3)	文献の講読③	演習	西田
10	4)	レポート作成①	演習	西田
11	4)	レポート作成②	演習	西田
12	4)	レポート作成③	演習	西田
13	4)	レポートの発表①	演習	西田
14	4)	レポートの発表②	演習	西田
15	1)2)3)4)	まとめ	演習	西田

教科書: 指定なし

参考書: 使用しない

科目名: 臨床福祉学演習 I

担当者: 清水径子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 【授業の概要】
研究活動及び文献の要約や研究手法などの学術論文執筆の基礎を学び、福祉分野での課題や問題点が議論できる。

【一般目標】
研究の進め方を理解し、論文の書き方や研究の具体的な手法を学ぶ能力を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 研究の進め方が理解でき、説明することができる。
2) 文献を要約し、他者に内容を説明できる。
3) 研究手法について学び、その手法の特徴を理解できる。
4) 研究テーマに関する文献の収集ができる。
5) 研究テーマに関する課題や問題点について討議する。

評価方法: 課題提出状況40%、学習態度30%、発表内容30%を目安に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習時間外での文献の精読やレポート作成などの作業を1コマにつき60分程度、学生が主体的に実施していく必要がある。課題の提出締め切りは確実に守ること。

オフィスアワー: 研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション	演習	清水
2	1)	研究とは	講義・演習	清水
3	1)	代表的な研究の方法	講義・演習	清水
4	1)	卒業研究の進め方	講義・演習	清水
5	1)	研究方法の理解①	講義・演習	清水
6	1)	研究方法の理解②	講義・演習	清水
7	1)	研究方法の理解③	講義・演習	清水
8	2)	基礎文献を要約する①	演習	清水
9	2)	基礎文献を要約する②	演習	清水
10	2)	基礎文献を要約する③	演習	清水
11	4)	文献の探し方	講義・演習	清水
12	3)4)	文献の購読	演習	清水
13	3)4)	文献の購読	演習	清水
14	3)4)	文献の購読	演習	清水
15	2)3)4)5)	文献を要約し、発表できる。	演習	清水

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床福祉学演習 I**

担当者: 三宮 基裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 【授業の概要】
研究活動および学術論文執筆の基礎を学ぶとともに、研究成果のプレゼンテーション力を習得する。
【一般目標(GIO)】
研究の手順を理解し、研究を進めるための具体的手法を演習を通じて学ぶ。

到達目標: (SBOs) 1)研究の進め方が理解でき、研究手法の特徴が説明できる。
2)文献を要約し、他者に説明できる。
3)図表を読み取り考察できる。
4)ワープロ、表計算ソフトなど、研究および論文の作成に必要なパソコン操作ができる。

評価方法: 演習に取り組む姿勢により評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習時間以外に各自で15時間以上の研究活動をおこなうこと。

オフィスアワー: 在室時は随時対応する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	卒業研究の進め方(研究とは何か)	講義	三宮
2	1)	卒業研究の進め方(代表的な研究手法)	講義	三宮
3	1)	卒業研究の進め方(研究成果の論文化と研究発表)	講義	三宮
4	1)	研究手法の理解(文献研究)	講義	三宮
5	1)	研究手法の理解(調査研究)	講義	三宮
6	1)	研究手法の理解(実験研究)	講義	三宮
7	3)4)	図表の読み取り(図表の効果)	講義・演習	三宮
8	3)4)	図表の読み取り(表の作成)	講義・演習	三宮
9	3)4)	図表の読み取り(グラフの作成)	講義・演習	三宮
10	3)4)	図表の読み取り(図形の作成)	講義・演習	三宮
11	2)	基礎文献のレビュー(新聞記事レベル)	演習・SGD	三宮
12	2)	基礎文献のレビュー(新書レベル)	演習・SGD	三宮
13	2)	基礎文献のレビュー(研究要旨レベル)	演習・SGD	三宮
14	2)	基礎文献のレビュー(学術論文レベル)	演習・SGD	三宮
15	2)	基礎文献のレビュー(学術論文レベル)	演習・SGD	三宮

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床福祉学演習Ⅱ**

担当者: 秋葉 敏夫(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 必修

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 演習

授業概要: 臨床福祉学科では4年次に卒論作成することが必須となっている。それに向けて卒論テーマ設定法、情報収集法、調査方法などを修得していく。特に、収集したデータをまとめて、第三者にわかりやすくプレゼンテーションできるようにすることを重点を置いて学んでいく。

到達目標: (SBOs)
1) 研究テーマを設定することができる。
2) 情報収集に関する基本的な手法が使える。
3) 基本的な調査方法を使うことができる。
4) わかりやすいプレゼンテーションができる。

評価方法: 出席と提出物、プレゼンのやり方などで総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 卒論作成に必要な書籍、論文などを自主的に探し、読み込み、まとめ上げていくことが要求されるので、十分に心して取り組むことが要求される。

オフィスアワー: 火・水・木曜日12:15～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)	学んだことを実践できるか?	演習	秋葉
2	1)2)3)4)	学んだことを実践できるか?	演習	秋葉
3	1)2)3)4)	学んだことを実践できるか?	演習	秋葉
4	1)2)3)4)	学んだことを実践できるか?	演習	秋葉
5	1)2)3)4)	学んだことを実践できるか?	演習	秋葉
6	1)2)3)4)	学んだことを実践できるか?	演習	秋葉
7	1)2)3)4)	学んだことを実践できるか?	演習	秋葉
8	1)2)3)4)	学んだことを実践できるか?	演習	秋葉
9	1)2)3)4)	学んだことを実践できるか?	演習	秋葉
10	1)2)3)4)	学んだことを実践できるか?	演習	秋葉
11	1)2)3)4)	学んだことを実践できるか?	演習	秋葉
12	1)2)3)4)	学んだことを実践できるか?	演習	秋葉
13	1)2)3)4)	学んだことを実践できるか?	演習	秋葉
14	1)2)3)4)	学んだことを実践できるか?	演習	秋葉
15	1)2)3)4)	学んだことを実践できるか?	演習	秋葉

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床福祉学演習Ⅱ**

担当者: 山崎 きよ子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 必修

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 演習

授業概要: 論文作成の手順を通して、その特性や論文テーマの設定方法、情報収集方法、調査方法などを修得する。また、課題に関する客観的資料収集(文献検索)を行い、客観的事実に基づいたプレゼンテーション方法を修得する。地域の施設に出向き高齢者と交流活動を行なうことができる。

到達目標: (SBOs) 1)高齢者社会福祉領域におけるトピックスに関心を持ち、それらの事象に対し、自身の考えを持つことができる。
2)高齢者と交流のために企画ができる。
3)高齢者と交流のための運営、司会など各役割を遂行できる。
4)多様な高齢者像を理解し、対応できる。

評価方法: 学習態度、ゼミでの発表内容などから総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業前後に4時間の予習復習を実施すること

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う1	演習	山崎
2	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う2	演習	山崎
3	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う3	演習	山崎
4	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う4	演習	山崎
5	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う5	演習	山崎
6	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う6	演習	山崎
7	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う7	演習	山崎
8	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う8	演習	山崎
9	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う9	演習	山崎
10	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う10	演習	山崎
11	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う11	演習	山崎
12	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う12	演習	山崎
13	2)3)4)	ふりかえり1	演習	山崎
14	2)3)4)	ふりかえり2	演習	山崎
15	1)	ふりかえり3	演習	山崎

教科書: 講義時に配布するプリントなどを使用する。

参考書: 使用しない。

科目名: 臨床福祉学演習Ⅱ

担当者: 横山 裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 4年次の卒業論文作成に必要なテーマ設定法、情報収集法、調査方法などを修得することができる。また、自分の関心事や、与えられた課題に関する文献調査を行い、その内容をほかの人に伝えるためのプレゼンテーション能力を磨くことができる。

到達目標: 1)必要文献を精読できる。
(SBOs) 2)伝えたい情報を口頭でわかりやすく説明できる。
3)伝えたい情報を文章で性格に記述できる。

評価方法: 学習態度、ゼミでの発表内容などから総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習に関することについては教員の指導・指示に従うこと

オフィスアワー: 毎週月?金16:00?17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	演習1の目的、年間スケジュールが理解できる。	演習	横山
2	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。	演習	横山
3	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。	演習	横山
4	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。	演習	横山
5	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。	演習	横山
6	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。	演習	横山
7	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。	演習	横山
8	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。	演習	横山
9	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。	演習	横山
10	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。	演習	横山
11	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。	演習	横山
12	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。	演習	横山
13	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。	演習	横山
14	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。	演習	横山
15	3)	これまでの成果を発表することができる。	演習	横山

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床福祉学演習Ⅱ**

担当者: 稲田弘子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(3年)

必修・選択: 必修

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 講義・演習

授業概要: 大学は「学問」をするところです。「学問」とは「学」んで「問」うことです。社会福祉分野の専門的知識を単に「学」ぶだけではなく、自分できざまなことに「問」いを発していくことで新たな解決法や対処法を身につけていくことができます。社会はこのような人材を求めています。「臨床福祉学演習Ⅱ」では、4年次の卒業論文作成に必要な参考文献等の収集法やアンケート調査方法などを修得する。

到達目標: 1)参考文献を収集法を理解し、卒業論文に必要な情報を収集することができる。
(SBOs) 2)アンケート調査法について説明することができる。

評価方法: 演習態度、演習内容で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 福祉分野に興味のある学生。
授業以外に、新聞を読んだり、図書館で文献を読むこと。

オフィスアワー: 時間割が確定後、表示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	オリエンテーション(後期の進め方等)	講義・演習	稲田
2	1)	文献検索について	講義・演習	稲田
3	1)	文献検索について	講義・演習	稲田
4	1)	テーマの設定	講義・演習	稲田
5	1)	テーマの設定	講義・演習	稲田
6	1)	テーマの設定	講義・演習	稲田
7	1)	テーマに沿った文献を検索する	講義・演習	稲田
8	1)	テーマに沿った文献を検索する	講義・演習	稲田
9	1)	テーマに沿った文献を検索する	講義・演習	稲田
10	1)	テーマに沿った文献を検索する	講義・演習	稲田
11	2)	アンケート調査方法について	講義・演習	稲田
12	2)	アンケート調査方法について	講義・演習	稲田
13	2)	アンケート調査方法について	講義・演習	稲田
14	2)	アンケート調査方法について	講義・演習	稲田
15	1)2)	前期の演習内容をまとめ発表する。	講義・演習	稲田

教科書: 使用しない(必要時プリントを配布する)。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床福祉学演習Ⅱ**

担当者: 田中 陽子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科臨床心理専攻(3年)|

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 臨床福祉学演習Ⅰに引き続き、学生が各自テーマを決定し、卒業研究を進める。そして、卒業研究の進め方や研究論文の書き方、研究発表の方法を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)研究や議論の方法を修得する。
2)卒業研究のテーマを決定することができる。
3)論文の要約をし、レジюмеが作成できる。
4)卒業研究を進めることができる。
5)自分のテーマについて発表ができる。
6)テーマに合わせてグループ内で討論できる。

評価方法: 学習態度50%および研究内容50%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: ・研究テーマの内容については特に限定しないが、心理学的視点からの研究を深めるものとする。
・1コマ当たり4時間を目安に事前準備および卒業研究を進めること。

オフィスアワー: 研究室前に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)5)6)	卒業研究のテーマと目的の決定①	演習	田中
2	2)3)5)6)	卒業研究のテーマと目的の決定②	演習	田中
3	4)6)	卒業研究の概要の検討①	演習	田中
4	3)4)6)	卒業研究の概要の検討②	演習	田中
5	4)6)	卒業研究の構成①	演習	田中
6	4)6)	卒業研究の構成②	演習	田中
7	3)4)6)	卒業研究の構成③	演習	田中
8	4)	卒業研究のための文献収集および調査用紙の作成①	演習	田中
9	4)	卒業研究のための文献収集および調査用紙の作成②	演習	田中
10	4)	卒業研究のための文献収集および調査用紙の作成③	演習	田中
11	4)	卒業研究のための文献収集および調査用紙の作成④	演習	田中
12	4)	卒業研究のための文献収集および調査用紙の作成⑤	演習	田中
13	3)4)5)6)	卒業研究の概要の検討③	演習	田中
14	3)4)5)6)	卒業研究の概要の検討④	演習	田中
15	3)4)5)6)	卒業研究の構成④	演習	田中

教科書: 使用しません。

参考書: 演習内で適宜紹介

科目名: 臨床福祉学演習Ⅱ

担当者: 加藤 謙介(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 本演習では、専門職としての知識・関心を具体化し、「卒業研究」として総合する準備のために、文献講読・発表、及び、卒業論文計画立案・発表を通して、論文の読み方・発表の仕方、研究の組み立て方について習得することを目的とする。特に、「人間と動物の関係」に関する分野を中心に、主にグループ・ダイナミクス(社会心理学)からのアプローチの仕方を学び、「卒業研究論文」の準備を進める。演習Ⅱでは、受講生自身のテーマに沿ってさらに文献を読み進め、卒業論文の「問題」部分にあたる「レビュー論文」を執筆する。

到達目標: (SBOs) 1)「研究」「学術論文」の枠組みについて説明できる。
2)文献を引用しながら、研究テーマを作成できる。
3)自分の研究テーマについて、文献引用に基づき「レビュー論文」を作成できる。

評価方法: 次の4点を総合的に評価する。(1)授業への出席、(2)発表内容、(3)ディスカッションへの参加、(4)レビュー論文の内容。

準備学習・履修上の注意等: 【準備学習(予習・復習等)時間】発表担当者は期日までに資料を準備すること。発表担当以外の受講者も、資料・ノートなど読み直すなどして、予習・復習を行うこと。
【履修上の注意等】本科目は演習であるため、毎回授業に参加し、文献を読み進め、発表を行うことに意味がある。また、他の受講生の発表内容について積極的・主体的に議論し、自分の意見を述べることを望む。加えて、人間の心理・福祉、人と動物の関係に関する基礎的な知識については、既にこれまでの講義である程度習得されていることを前提にして授業を進める。

オフィスアワー: 時間割が確定した後に研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	関連文献の渉猟・整理と「研究計画」の作成(1)	演習	加藤
2	1)2)	関連文献の渉猟・整理と「研究計画」の作成(2)	演習	加藤
3	1)2)	関連文献の渉猟・整理と「研究計画」の作成(3)	演習	加藤
4	1)2)	関連文献に基づく「研究計画」の発表(1)	演習	加藤
5	1)2)	関連文献に基づく「研究計画」の発表(2)	演習	加藤
6	1)3)	「レビュー論文」の作成(1)	演習	加藤
7	1)3)	「レビュー論文」の作成(2)	演習	加藤
8	1)3)	「レビュー論文」の作成(3)	演習	加藤
9	1)3)	「レビュー論文」の作成(4)	演習	加藤
10	1)3)	「レビュー論文」の作成(5)	演習	加藤
11	1)3)	レビュー論文の発表(1)	演習	加藤
12	1)3)	レビュー論文の発表(2)	演習	加藤
13	1)3)	レビュー論文の発表(3)	演習	加藤
14	1)3)	レビュー論文の発表(4)	演習	加藤
15	1)2)3)	総括	演習	加藤

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床福祉学演習Ⅱ**

担当者: 前田直樹(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 日常生活における人間の行動や心理状態を行動論的観点から考察する。演習の進め方としては、不適応行動や行動変容に関するテーマについて各自分析・検討し、月数回のレポート提出と進行内容についてのプレゼンテーションを行う。加えて、卒業論文・心理学に関する研究法や論文の書き方を学習する。

到達目標: (SBOs) 1)心理学の研究法、及びレポートの書き方を習得する。
2)心理学の論文を作成するための知識と技術を身に着ける。
3)英文論文が読めるようになる。
4)研究計画を作成する。

評価方法: レポート

準備学習・履修上の注意等: 主に調査研究する姿勢。行動理論、行動療法、英語に興味を持っている学生。

オフィスアワー: (月)18:00-18:30

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	卒業論文テーマを設定する1	演習	前田
2	1)2)	卒業論文テーマを設定する2	演習	前田
3	1)2)	心理学研究法について理解する1	演習	前田
4	1)2)	心理学研究法について理解する2	演習	前田
5	1)2)	心理学研究法について理解する3	演習	前田
6	1)2)3)	卒業論文を作成する1	演習	前田
7	1)2)3)	卒業論文を作成する2	演習	前田
8	1)2)3)	卒業論文を作成する3	演習	前田
9	1)2)3)	卒業論文を作成する4	演習	前田
10	1)2)3)	卒業論文を作成する5	演習	前田
11	4)	研究計画書を作成する	演習	前田
12	1)2)3)4)	プレゼンテーションを行う	演習	前田
13	4)	卒業論文を作成する6	演習	前田
14	4)	卒業論文を作成する7	演習	前田
15	1)2)3)4)	総括	演習	前田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床福祉学演習Ⅱ**

担当者: 貫 優美子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: さまざまな福祉分野を知るため、施設・事業所見学・ボランティア等に積極的に参加し、福祉の現状や課題を理解する。そこから卒業研究に繋げ、研究テーマも含め自己の研究取り組みについて説明ができる。

到達目標: 1)現在の福祉についての現状を理解したうえで、課題を明確にする。
(SBOs) 2)福祉の課題を明確にしその解決策を文献研究等から導き、説明ができる。
3)課題解決のプロセスをまとめ、発表できる。

評価方法: 演習態度、演習内容にて評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業毎に出された課題についての事前学習・事後学習を最低1時間は必ず行うこと。

オフィスアワー: 16時30分～17時30分。ただし木、実習の期間は除く。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	我が国の福祉の課題を明確にする1	講義	貫
2	1)	我が国の福祉の課題を明確にする2	演習	貫
3	1)	我が国の福祉の課題を明確にする3	演習	貫
4	1)	我が国の福祉の課題を明確にする4	演習	貫
5	1)	身近な地域の福祉の課題を明確にする1	演習	貫
6	1)	身近な地域の福祉の課題を明確にする2	演習	貫
7	1)	身近な地域の福祉の課題を明確にする3	演習	貫
8	1)	身近な地域の福祉の課題を明確にする4	演習	貫
9	2)	課題から解決策を探る1	演習	貫
10	2)	課題から解決策を探る2	演習	貫
11	2)	課題から解決策を探る4	演習	貫
12	3)	まとめ・発表準備1	演習	貫
13	3)	まとめ・発表準備2	演習	貫
14	3)	まとめ・発表準備3	演習	貫
15	3)	発表	演習	貫

教科書: 使用しない。(必要時にプリントを配布する)

参考書: 使用しない。

科目名: 臨床福祉学演習Ⅱ

担当者: 西田 美香(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 本演習は、卒業論文作成の具体的な方法(テーマ設定、情報収集、調査方法等)の習得を目的とする。さらに、自分の興味、関心のあるテーマに関する情報収集で得た内容を他者に伝えるためのプレゼンテーション力を身につける。

到達目標: (SBOs)
1) 研究の進め方について理解し、重要なポイントについて説明できる。
2) 研究テーマに関する文献を収集することができる。
3) 文献を精読することができる。
4) 研究テーマに関して明らかになったことや新たな課題について説明できる。
5) 関心のある研究テーマを設定することができる。
6) 研究計画を作成できる。
7) 研究計画を進める準備ができる。

評価方法: 学習態度40%、ゼミでの発表内容30%、課題の提出30%として、総合的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 本演習では卒業論文作成の具体的な方法を学習するが、集めた情報を咀嚼する作業や調査研究を進める具体的な作業については演習時間外で学生が主体的に実施していくことが基本となる。そのため、常に問題意識を持ち、積極的に行動するという姿勢で取り組んでいただきたい。

オフィスアワー: 後日連絡する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション	演習	西田
2	5)	テーマ設定①	演習	西田
3	5)	テーマ設定②	演習	西田
4	5)	テーマ設定③	演習	西田
5	2)3)4)	関連文献の収集と整理①	演習	西田
6	2)3)4)	関連文献の収集と整理②	演習	西田
7	2)3)4)	関連文献の収集と整理③	演習	西田
8	2)3)4)	関連文献の収集と整理④	演習	西田
9	2)3)4)	関連文献の収集と整理⑤	演習	西田
10	6)	研究計画の作成①	演習	西田
11	6)	研究計画の作成②	演習	西田
12	6)	研究計画の作成③	演習	西田
13	7)	調査準備と実践①	演習	西田
14	7)	調査準備と実践②	演習	西田
15	7)	まとめ	演習	西田

教科書: 指定なし

参考書: 使用しない

科目名: 臨床福祉学演習Ⅱ

担当者: 清水 径子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 【授業の概要】

研究活動及び文献の収集・整理ができ、福祉分野での課題や問題点よりテーマ設定を行い卒業研究の計画を立案し、自主的に実践できる。

【一般目標】

研究の進め方を理解し、論文の書き方や研究の具体的な手法を学び、実践できる。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 研究の進め方が理解でき、説明することができる。
 - 2) 文献を要約し、他者に内容を説明できる。
 - 3) 研究手法について学び、その手法の特徴を理解できる。
 - 4) 研究テーマに関する文献の収集ができる。
 - 5) 研究テーマに関する課題や問題点について議論できる。
 - 6) 研究計画が立案できる。
 - 7) 計画に沿って研究を進めることができる。

評価方法: 課題提出状況40%、学習態度30%、発表内容30%を目安に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習時間外での文献の精読やレポート作成などの作業を学生が主体的に実施していく必要がある。課題の提出締め切りは確実に守ること。

オフィスアワー: 在室時は随時対応する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	5)	卒業研究に向けたテーマ設定	演習	清水
2	4)	先行研究及び文献の収集	演習	清水
3	2)4)	先行研究及び文献の収集・整理	演習	清水
4	2)4)	先行研究及び文献の収集・整理	演習	清水
5	2)4)	先行研究及び文献の収集・整理	演習	清水
6	2)4)	先行研究及び文献の収集・整理	演習	清水
7	2)4)	先行研究及び文献の収集・整理	演習	清水
8	5)6)	卒業論文の研究計画立案	演習	清水
9	5)6)	卒業論文の研究計画立案	演習	清水
10	7)	調査方法・調査対象者の検討	演習	清水
11	7)	調査方法・調査対象者の検討	演習	清水
12	7)	調査方法・調査対象者の検討	演習	清水
13	1)5)	研究倫理について	講義・演習	清水
14	7)	調査準備及び実践	演習	清水
15	7)	調査準備及び実践	演習	清水

教科書: テーマに沿ってテキストを指示する。

参考書: テーマに沿って参考書を指示する。

科目名: 臨床福祉学演習Ⅱ

担当者: 三宮 基裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 【授業の概要】
研究活動および学術論文執筆の基礎を学ぶとともに、研究成果のプレゼンテーション力を習得する。
【一般目標(GIO)】
研究の手順を理解し、研究を進めるための具体的手法を演習を通じて学ぶ。

到達目標: 5) 研究のテーマ設定ができる。
(SBOs) 6) 研究テーマに関する内容の文献・資料を収集し、その内容についてまとめ、報告・討議できる。
7) 研究資料の集計・分析手法を活用できる。

評価方法: 演習に取り組む姿勢により評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習時間以外に各自で15時間以上の研究活動をおこなうこと。

オフィスアワー: 在室時は随時対応する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	5)	テーマ設定(興味・関心の抽出)	演習・SGD	三宮
2	5)	テーマ設定(興味・関心の具体化)	演習・SGD	三宮
3	5)	テーマ設定(分野・対象・内容の検討)	演習・SGD	三宮
4	5)	テーマ設定(分野・対象・内容の検討)	演習・SGD	三宮
5	5)	テーマ設定(研究テーマの具体化)	演習・SGD	三宮
6	6)	既往研究の収集・整理	演習	三宮
7	6)	既往研究の収集・整理	演習	三宮
8	6)	既往研究の収集・整理	演習	三宮
9	6)	既往研究の収集・整理	演習	三宮
10	7)	研究対象の検討	演習・SGD	三宮
11	7)	研究対象の検討	演習・SGD	三宮
12	7)	研究対象の検討	演習・SGD	三宮
13	7)	研究手法の検討	演習・SGD	三宮
14	7)	研究手法の検討	演習・SGD	三宮
15	7)	研究手法の検討	演習・SGD	三宮

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 臨床福祉学演習Ⅲ

担当者: 秋葉 敏夫(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 卒論作成に必要な情報収集法、調査の仕方、データの分析の仕方が理解でき、研究方法の基本的手法を身に付けることができる。

到達目標: (SBOs) 1)インターネットを用いての情報収集ができる。
2)調査方法の基本的手法が駆使できる。
3)データの分析ができる。
4)得られた結果をまとめて論文に仕上げられる。

評価方法: 与えられた課題に対する提出物、プレゼン、および討論内容などによって総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 自分の興味あるテーマについて調査・研究ができるので、自主的に積極的に取り組むこと。

オフィスアワー: 火・水・木曜日12:20~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
2	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
3	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
4	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
5	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
6	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
7	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
8	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
9	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
10	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
11	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
12	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
13	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
14	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
15	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: **臨床福祉学演習Ⅲ**

担当者: 山崎 きよ子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 論文作成の手順を通して、その特性や論文テーマの設定方法、情報収集方法、調査方法などを修得する。また、課題に関する客観的資料収集(文献検索)を行い、客観的事実に基づいたプレゼンテーション方法を修得する。地域の施設に出向き高齢者と交流活動を行なうことができる。

到達目標: 1)論文の特徴・特性について説明することができる。
(SBOs) 2)周囲の事象を認識し、疑問を持つ事ができる。
3)事象を比較することができる。
4)伝えたい内容を要約することができる。
5)必要な情報を効率よく収集することができる。
6)高齢者社会福祉領域におけるトピックスに関心をもち、それらの事象に対し、自身の考えを持つことができる。
7)高齢者と交流のために企画ができる。
8)高齢者と交流のための運営、司会など各役割を遂行できる。
9)多様な高齢者像を理解し、対応できる。

評価方法: 学習態度、ゼミでの発表内容などから総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業前後に予習復習時間を設けること

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	論文の特徴とは何か? -レポート、あるいは感想文等との相違より-	演習	山崎
2	1)	論文作成の注意事項	演習	山崎
3	1)	小論文の作成1 -1, 2を基にテーマに対して600字程度の小論を作成する-	演習	山崎
4	1)	小論文の批評と修正1	演習	山崎
5	1)	小論文の作成2 -1, 2を基にテーマに対して600字程度の小論を作成する-	演習	山崎
6	1)	小論文の批評と修正2	演習	山崎
7	2)	疑問を持つ力をつける1 -身近な関心事から疑問を持つコツをつかむ-	演習	山崎
8	2)	疑問を持つ力をつける2 -身近な関心事から疑問を持つコツをつかむ-	演習	山崎
9	3)	比べる力をつける1 -イメージマップの作成方法-	演習	山崎
10	3)	比べる力をつける2 -イメージマップの作成方法-	演習	山崎
11	4)	要約する力をつける1 -短い文章を要点のみに要約する-	演習	山崎
12	4)	要約する力をつける2 -短い文章を要点のみに要約する-	演習	山崎
13	5)	調べる力をつける1 -インターネットを活用した情報収集方法-	演習	山崎
14	5)	調べる力をつける2 -図書館を利用した情報収集方法-	演習	山崎
15	1)2)3)4)	1)~14)のまとめ	演習	山崎

教科書: 講義時に配布するプリントなどを使用する。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床福祉学演習Ⅲ**

担当者: 横山 裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 本演習を通して、ゼミ生が卒業論文のテーマ設定、論文作成のスケジュールの立案、調査の実施、論文の著述、成果の報告などがスムーズにできるようになる。

到達目標: (SBOs) 1)卒業論文のテーマ設定ができる。
2)必要とする先行研究にアクセスできる。
3)必要文献を精読できる。
4)伝えたい情報を口頭でわかりやすく説明できる。
5)伝えたい情報を文章で性格に記述できる。

評価方法: 学習態度、ゼミでの発表内容などから総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習に関することについては教員の指導・指示に従うこと

オフィスアワー: 毎週月?金16:00?17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	卒業論文作成のプロセス、心構えが理解できる。	演習	横山
2	1)2)	論文作成のスケジュールが立案できる。	演習	横山
3	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山
4	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山
5	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山
6	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山
7	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山
8	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山
9	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山
10	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山
11	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山
12	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山
13	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山
14	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山
15	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床福祉学演習Ⅲ**

担当者: 稲田 弘子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年生)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 大学は「学問」をするところです。「学問」とは「学」んで「問」うことです。社会福祉分野の専門的知識を単に「学」ぶだけではなく、自分でさまざまなことに「問」いを発していくことで新たな解決法や対処法を身につけていくことができます。社会はこのような人材を求めています。「臨床福祉学演習Ⅱ」では、各ゼミ生が卒業論文のテーマ設定、論文作成スケジュールの立案、研究の実際、論文の著述、論文の報告ができる能力を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 論文作成のスケジュールを立案する。
2) 個別指導を受けながら、論文作成を行う。
3) 論文形態にまとめることができる。
4) 卒業論文の報告を行うことができる。

評価方法: 演習内容、演習態度、出欠状況で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 社会福祉分野に関心のある学生
福祉分野に興味のある学生。
授業以外に、新聞を読んだり、図書館で文献を読むこと。

オフィスアワー: 時間割確定後に研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)	オリエンテーション	講義	稲田
2	1)	論文作成のための年間スケジュールをたてる。	演習	稲田
3	2)	個別指導	演習	稲田
4	2)	個別指導	演習	稲田
5	2)	個別指導	演習	稲田
6	2)	個別指導	演習	稲田
7	2)	個別指導	演習	稲田
8	2)	個別指導	演習	稲田
9	2)	個別指導	演習	稲田
10	4)	中間発表・意見交換	演習	稲田
11	2)	個別指導	演習	稲田
12	2)	個別指導	演習	稲田
13	2)	個別指導	演習	稲田
14	2)	個別指導	演習	稲田
15	4)	中間発表・意見交換	演習	稲田

教科書: 使用しない。必要時はプリント配布する。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床福祉学演習Ⅲ**

担当者: 田中 陽子(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 臨床福祉学演習Ⅰ・Ⅱに引き続き、卒業研究を進める。そして、卒業研究の進め方および研究論文の書き方、研究発表の方法を修得する。

到達目標: 1)卒業研究を進めることができる。
(SBOs) 2)卒業研究を完成することができる。
3)自分の卒業研究について発表ができる。
4)テーマに合わせて討論できる。

評価方法: 学習態度50%および研究内容50%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: ・研究テーマの内容については特に限定をしないが、心理学的視点から研究を深めるものとする。
・時間割上の時間だけでなく、卒業論文の完成に必要な多大な研究時間を費やすこと。

オフィスアワー: 研究室前に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	今後の卒業研究の計画	演習	田中
2	1)	卒業研究①	演習	田中
3	1)	卒業研究②	演習	田中
4	1)	卒業研究③	演習	田中
5	1)	卒業研究④	演習	田中
6	1)	卒業研究⑤	演習	田中
7	1)	卒業研究⑥	演習	田中
8	1)	卒業研究⑦	演習	田中
9	1)	卒業研究⑧	演習	田中
10	1)	卒業研究⑨	演習	田中
11	1)	卒業研究⑩	演習	田中
12	3)4)	卒業研究発表	演習	田中
13	1)	卒業研究⑪	演習	田中
14	1)	卒業研究⑫	演習	田中
15	1)	卒業研究⑬	演習	田中

教科書: 特に指定なし。

参考書: 講義内にて適宜紹介

科目名: 臨床福祉学演習Ⅲ

担当者: 加藤 謙介(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 「アニマル・セラピー」の実践に関与する福祉専門職としての知識・関心を具体化し、「卒業研究」を完成させるために、受講生各自の卒業論文研究計画の遂行、及び途中経過の発表・ディスカッションを実施する。

到達目標: (SBOs) 1) 自分の研究テーマをもとに、「研究」「学術論文」の枠組みについて説明できる。
2) 卒業研究の計画を遂行できる。
3) 研究計画・結果をもとにディスカッションができる。

評価方法: 授業への参加、および、発表内容をもとに総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 【準備学習(予習・復習等)時間】発表担当者は期日までに資料を準備すること。発表担当以外の受講者も、資料・ノートなど読み直すなどして、予習・復習を行うこと。
【履修上の注意等】本科目は演習であるため、毎回授業に参加し、文献を読み進め、発表を行うことに意味がある。また、他の受講生の発表内容について積極的・主体的に議論し、自分の意見を述べることを望む。加えて、人間の心理・福祉、人と動物の関係に関する基礎的な知識については、既にこれまでの講義である程度習得されていることを前提にして授業を進める。

オフィスアワー: 時間割が確定した後に研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	イントロダクション	演習	加藤
2	2)3)	卒業論文研究計画発表(1)	演習	加藤
3	2)3)	卒業論文研究計画発表(2)	演習	加藤
4	2)3)	卒業論文研究計画発表(3)	演習	加藤
5	2)3)	卒業論文研究計画発表(4)	演習	加藤
6	2)3)	卒業論文研究計画発表(5)	演習	加藤
7	2)3)	卒業論文研究計画発表(6)	演習	加藤
8	2)3)	卒業論文研究計画発表(7)	演習	加藤
9	2)3)	卒業論文研究計画発表(8)	演習	加藤
10	2)3)	卒業論文研究計画発表(9)	演習	加藤
11	2)3)	卒業論文研究計画発表(10)	演習	加藤
12	2)3)	卒業論文研究計画発表(11)	演習	加藤
13	2)3)	卒業論文研究計画発表(12)	演習	加藤
14	2)3)	卒業論文研究計画発表(13)	演習	加藤
15	1)2)3)	中間総括	演習	加藤

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床福祉学演習Ⅲ**

担当者: 前田 直樹(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 演習Ⅰで学習したことを踏まえて、各自の興味のある研究テーマをより具体的に絞り込む。テーマを絞り込んだらそれに関連する文献を集めて文献研究を行う。臨床心理学の研究法は様々なものがあり、自分のテーマに合う研究法を学習し、どのような手順で研究を進めていくのか具体的な計画を立てる。この演習はできるだけ多くの文献や研究法に触れて学習を進めていく。

到達目標: 1)文献研究ができるようになる。
(SBOs) 2)臨床心理学の各種研究法を使用することができる。
3)研究論文の作成ができるようになる。

評価方法: レポート、卒業論文

準備学習・履修上の注意等: 自主的に調査研究する姿勢。行動理論、行動療法、英語に興味を持っている学生。

オフィスアワー: (月)18:00-18:30

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	オリエンテーション	演習	前田
2	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
3	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
4	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
5	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
6	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
7	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
8	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
9	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
10	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
11	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
12	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
13	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
14	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
15	1)2)3)	卒業研究中間発表を行う	演習	前田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 臨床福祉学演習Ⅲ

担当者: 貫 優美子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 本演習を通して、各ゼミが卒業論文のテーマ設定、論文作成スケジュールの立案、研究の実際、論文の著述、論文の報告ができる能力を修得する。

到達目標: 1)論文作成のスケジュールを立案する。
(SBOs) 2)個別指導を受けながら、論文作成を行う。
3)論文形態にまとめることができる。

評価方法: 演習態度、演習内容にて評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業毎に出された課題、事前学習・事後学習は最低1時間は必ず行う。

オフィスアワー: 16時30分～17時30分。ただし木曜日、実習巡回中は除く。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)	オリエンテーション	講義	貫
2	1)	論文作成のための年間スケジュールをたてる。	演習	貫
3	2)	個別指導	演習	貫
4	2)	個別指導	演習	貫
5	2)	個別指導	演習	貫
6	2)	個別指導	演習	貫
7	2)	個別指導	演習	貫
8	2)	個別指導	演習	貫
9	2)	個別指導	演習	貫
10	4)	中間発表・意見交換	演習	貫
11	2)	個別指導	演習	貫
12	2)	個別指導	演習	貫
13	2)	個別指導	演習	貫
14	2)	個別指導	演習	貫
15	2)	中間発表・意見交換	演習	貫

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床福祉学演習Ⅲ**

担当者: 西田 美香(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 本演習は、卒業論文作成の具体的な方法(テーマ設定、情報収集、調査方法等)の習得を目的とする。さらに、自分の興味、関心のあるテーマに関する情報収集で得た内容を他者に伝えるためのプレゼンテーション力を身につける。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 研究の進め方について理解し、重要なポイントについて説明できる。
 - 2) 研究テーマに関する文献を収集することができる。
 - 3) 文献を精読することができる。
 - 4) 研究テーマに関して明らかになったことや新たな課題について説明できる。
 - 5) 関心のある研究テーマを設定することができる。
 - 6) 研究計画を作成し進める。
 - 7) 研究内容のプレゼンテーションを行うことができる。

評価方法: 学習態度40%、ゼミでの発表内容30%、課題の提出30%として、総合的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 本演習では卒業論文作成の具体的な方法を学習するが、集めた情報を咀嚼する作業や調査研究を進める具体的な作業については演習時間外で学生が主体的に実施していくことが基本となる。そのため、常に問題意識を持ち、積極的に行動するという姿勢で取り組んでいただきたい。

オフィスアワー: 後日、連絡する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション	演習	西田
2	2)3)4)5)6)	テーマ見直し①	演習	西田
3	2)3)4)5)6)	テーマ見直し②	演習	西田
4	2)3)4)5)6)	関連文献の収集と整理①	演習	西田
5	2)3)4)5)6)	関連文献の収集と整理②	演習	西田
6	2)3)4)5)6)	関連文献の収集と整理③	演習	西田
7	2)3)4)5)6)	関連文献の収集と整理④	演習	西田
8	7)	プレゼンテーション①	演習	西田
9	2)3)4)5)6)	調査準備と実践①	演習	西田
10	2)3)4)5)6)	調査準備と実践②	演習	西田
11	2)3)4)5)6)	調査準備と実践③	演習	西田
12	2)3)4)5)6)	調査準備と実践④	演習	西田
13	2)3)4)5)6)	調査準備と実践⑤	演習	西田
14	7)	プレゼンテーション②	演習	西田
15	2)3)4)5)6)	まとめ	演習	西田

教科書: 指定しない。

参考書: 指定しない。

科目名: 臨床福祉学演習Ⅲ

担当者: 清水 径子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 【授業の概要】

本演習は、卒業論文作成のための具体的な方法(テーマ設定、調査方法等)を実践し、各自のテーマに併せた研究内容をわかりやすくプレゼンする。

【一般目標】

研究の進め方を理解し、研究の具体的な手法を学ぶ。また、研究に対する姿勢を学ぶ。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 研究の進め方が理解でき、研究計画が立案できる。
 - 2) 文献を要約し、他者に内容を説明できる。
 - 3) 研究テーマに関する情報収集ができる。
 - 4) 研究テーマに関する課題や問題点について議論できる。
 - 5) 計画に沿って研究を進めることができる。
 - 6) 研究内容のプレゼンテーションができる。

評価方法: 課題提出状況40%、学習態度30%、発表内容30%を目安に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習時間外での調査準備や研究活動を学生が主体的に実施していく必要がある。課題の提出締め切りは確実に守ること。

オフィスアワー: 研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション・研究テーマ設定	演習	清水
2	1)	卒業研究の年間計画を立案し、発表する	演習	清水
3	2)3)4)5)	調査準備及び実践(個別指導)	演習	清水
4	2)3)4)5)	調査準備及び実践(個別指導)	演習	清水
5	2)3)4)5)	調査準備及び実践(個別指導)	演習	清水
6	2)3)4)5)	調査準備及び実践(個別指導)	演習	清水
7	2)3)4)5)	調査準備及び実践(個別指導)	演習	清水
8	2)3)4)5)	調査結果のまとめ(個別指導)	演習	清水
9	2)3)4)5)	調査結果のまとめ(個別指導)	演習	清水
10	2)3)4)5)	調査結果のまとめ(個別指導)	演習	清水
11	2)3)4)5)	調査結果のまとめ(個別指導)	演習	清水
12	2)3)4)5)	調査結果のまとめ(個別指導)	演習	清水
13	2)3)4)5)	調査結果のまとめ(個別指導)	演習	清水
14	2)3)4)5)	調査結果のまとめ(個別指導)	演習	清水
15	4)5)6)	中間発表・意見交換	演習	清水

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床福祉学演習Ⅲ**

担当者: 三宮 基裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 【授業の概要】
研究活動および学術論文執筆の基礎を学ぶとともに、研究成果のプレゼンテーション力を習得する。
【一般目標(GIO)】
必要な研究資料を収集の方法と、得た資料に対する分析考察の仕方を学ぶ。
研究テーマについて論理的な結論付けができるようになる。

到達目標: (SBOs) 1) 既往研究を読み、要約および他者へ報告できる。
2) 適切な研究資料の収集方法が選択でき、資料の収集ができる。
3) 研究資料を適切な方法で集計し、客観的立場からの分析と、適切な考察ができる。
4) 論理的な結論付けができる。
5) 適切な発表資料が作成でき、分かりやすい発表ができる。

評価方法: 演習に取り組む姿勢により評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習時間以外に各自で30時間以上の研究活動をおこなうこと。

オフィスアワー: 在室時は随時対応する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	既往研究のレビュー	SGD	三宮
2	1)	既往研究のレビュー	SGD	三宮
3	1)	既往研究のレビュー	SGD	三宮
4	2)	研究資料の収集	演習	三宮
5	2)	研究資料の収集	演習	三宮
6	2)	研究資料の収集	演習	三宮
7	2)	研究資料の収集	演習	三宮
8	3)4)	分析・考察の報告	SGD	三宮
9	3)4)	分析・考察の報告	SGD	三宮
10	3)4)	分析・考察の報告	SGD	三宮
11	3)4)	分析・考察の報告	SGD	三宮
12	4)5)	発表演習	SGD	三宮
13	4)5)	発表演習	SGD	三宮
14	4)5)	発表演習	SGD	三宮
15	4)5)	中間発表	SGD	三宮

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 臨床福祉学演習Ⅳ

担当者: 秋葉 敏夫(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 卒論作成に必要な情報収集法、調査の仕方、データの分析の仕方が理解でき、研究方法の基本的手法を身に付けることができる。

到達目標: 1)インターネットを用いたの情報収集ができる。
(SBOs) 2)調査方法の基本的手法が駆使できる。
3)データの分析ができる。
4)得られた結果をまとめて論文に仕上げられる。

評価方法: 与えられた課題に対する提出物、プレゼン、および討論内容などによって総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 自分の興味あるテーマについて調査・研究ができるので、自主的に積極的に取り組むこと。

オフィスアワー: 火・水・木曜日12:20~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
2	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
3	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
4	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
5	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
6	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
7	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
8	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
9	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
10	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
11	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
12	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
13	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
14	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉
15	1)2)3)4)	到達目標の下に個別指導を受けて、自主的に学習を行う	演習	秋葉

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: **臨床福祉学演習IV**

担当者: 山崎 きよ子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年)

必修・選択: 必修

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 演習

授業概要: 論文作成の手順を通して、その特性や論文テーマの設定方法、情報収集方法、調査方法などを修得する。また、課題に関する客観的資料収集(文献検索)を行い、客観的事実に基づいたプレゼンテーション方法を修得する。地域の施設に出向き高齢者と交流活動を行なうことができる。

到達目標: (SBOs) 1)高齢者社会福祉領域におけるトピックスに関心を持ち、それらの事象に対し、自身の考えを持つことができる。
2)高齢者と交流のために企画ができる。
3)高齢者と交流のための運営、司会など各役割を遂行できる。
4)多様な高齢者像を理解し、対応できる。

評価方法: 学習態度、ゼミでの発表内容などから総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業前後に4時間の予習復習を実施すること

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う1	演習	山崎
2	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う2	演習	山崎
3	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う3	演習	山崎
4	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う4	演習	山崎
5	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う5	演習	山崎
6	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う6	演習	山崎
7	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う7	演習	山崎
8	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う8	演習	山崎
9	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う9	演習	山崎
10	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う10	演習	山崎
11	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う11	演習	山崎
12	2)3)4)	高齢者施設でグループ活動を行う12	演習	山崎
13	2)3)4)	ふりかえり1	演習	山崎
14	2)3)4)	ふりかえり2	演習	山崎
15	1)	ふりかえり3	演習	山崎

教科書: 講義時に配布するプリントなどを使用する。

参考書: 使用しない。

科目名: 臨床福祉学演習Ⅳ

担当者: 横山 裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 本演習を通して、ゼミ生が卒業論文のテーマ設定、論文作成のスケジュールの立案、調査の実施、論文の著述、成果の報告などがスムーズにできるようになる。

到達目標: (SBOs) 1)卒業論文のテーマ設定ができる。
2)必要とする先行研究にアクセスできる。
3)必要文献を精読できる。
4)伝えたい情報を口頭でわかりやすく説明できる。
5)伝えたい情報を文章で性格に記述できる。

評価方法: 学習態度、ゼミでの発表内容などから総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習に関することについては教員の指導・指示に従うこと

オフィスアワー: 毎週月?金16:00?17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山
2	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山
3	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山
4	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山
5	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山
6	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山
7	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山
8	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山
9	4)5)	卒業論文の校正・指導を受けて論文形態にまとめることができる。	演習	横山
10	4)5)	卒業論文の校正・指導を受けて論文形態にまとめることができる。	演習	横山
11	4)5)	卒業論文の校正・指導を受けて論文形態にまとめることができる。	演習	横山
12	4)5)	卒業論文の校正・指導を受けて論文形態にまとめることができる。	演習	横山
13	4)5)	卒業論文の校正・指導を受けて論文形態にまとめることができる。	演習	横山
14	4)5)	卒業論文の校正・指導を受けて論文形態にまとめることができる。	演習	横山
15	4)	発表ができる。	演習	横山

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床福祉学演習Ⅳ**

担当者: 稲田 弘子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年生)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 大学は「学問」をするところです。「学問」とは「学」んで「問」うことです。社会福祉分野の専門的知識を単に「学」ぶだけではなく、自分でさまざまなことに「問」いを発していくことで新たな解決法や対処法を身につけていくことができます。社会はこのような人材を求めています。「臨床福祉学演習Ⅱ」では、各ゼミ生が卒業論文のテーマ設定、論文作成スケジュールの立案、研究の実際、論文の著述、論文の報告ができる能力を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 論文作成のスケジュールを立案する。
2) 個別指導を受けながら、論文作成を行う。
3) 論文形態にまとめることができる。
4) 卒業論文の報告を行うことができる。

評価方法: 演習内容、演習態度、出欠状況で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 社会福祉分野に関心のある学生
福祉分野に興味のある学生。
授業以外に、新聞を読んだり、図書館で文献を読むこと。

オフィスアワー: 時間割確定後に研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)	オリエンテーション	講義	稲田
2	1)	論文作成のための後期スケジュールをたてる。	演習	稲田
3	2)	個別指導	演習	稲田
4	2)	個別指導	演習	稲田
5	2)	個別指導	演習	稲田
6	2)	個別指導	演習	稲田
7	2)	個別指導	演習	稲田
8	3)	これまでの成果をまとめる	演習	稲田
9	3)	これまでの成果をまとめる	演習	稲田
10	3)	これまでの成果をまとめる	演習	稲田
11	3)	これまでの成果をまとめる	演習	稲田
12	3)	これまでの成果をまとめる	演習	稲田
13	3)	これまでの成果をまとめる	演習	稲田
14	4)	発表・意見交換	演習	稲田
15	4)	発表・意見交換	演習	稲田

教科書: 使用しない。必要時はプリント配布する。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床福祉学演習Ⅳ**

担当者: 田中 陽子(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 臨床福祉学演習Ⅲに引き続き、卒業研究を進める。そして、卒業研究の進め方および研究論文の書き方、研究発表の方法を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)卒業研究を進めることができる。
2)卒業研究を完成することができる。
3)卒業研究の要旨が作成できる。
4)自分の卒業研究について発表ができる。
5)テーマに合わせて討論できる。

評価方法: 学習態度50%および研究内容50%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: ・研究テーマの内容については特に限定をしないが、心理学的視点から研究を深めるものとする。
・時間割上の時間だけでなく、卒業論文の完成に必要な多大な研究時間を費やすこと。

オフィスアワー: 研究室前に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	今後の卒業研究の計画	演習	田中
2	1)	卒業研究①	演習	田中
3	1)	卒業研究②	演習	田中
4	1)	卒業研究③	演習	田中
5	1)	卒業研究④	演習	田中
6	1)	卒業研究⑤	演習	田中
7	1)	卒業研究⑥	演習	田中
8	1)	卒業研究⑦	演習	田中
9	1)4)5)	卒業研究発表	演習	田中
10	1)	卒業研究⑧	演習	田中
11	1)	卒業研究⑨	演習	田中
12	1)	卒業研究⑩	演習	田中
13	1)	卒業研究⑪	演習	田中
14	2)	卒業研究の要旨作成①	演習	田中
15	3)	卒業研究の要旨作成②	演習	田中

教科書: 特に指定なし。

参考書: 講義内にて適宜紹介

科目名: **臨床福祉学演習IV**

担当者: 加藤 謙介(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 「アニマル・セラピー」の実践に関与する福祉専門職としての知識・関心を具体化し、「卒業研究」を完成させるために、受講生各自の卒業論文研究計画の遂行、及び途中経過の発表・ディスカッションを実施する。

到達目標: (SBOs) 1) 自分の研究テーマをもとに、「研究」「学術論文」の枠組みについて説明できる。
2) 卒業研究の計画を遂行できる。
3) 研究計画・結果をもとにディスカッションができる。

評価方法: 授業への参加、および、発表内容をもとに総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 【準備学習(予習・復習等)時間】発表担当者は期日までに資料を準備すること。発表担当以外の受講者も、資料・ノートなど読み直すなどして、予習・復習を行うこと。
【履修上の注意等】本科目は演習であるため、毎回授業に参加し、文献を読み進め、発表を行うことに意味がある。また、他の受講生の発表内容について積極的・主体的に議論し、自分の意見を述べることを望む。加えて、人間の心理・福祉、人と動物の関係に関する基礎的な知識については、既にこれまでの講義である程度習得されていることを前提にして授業を進める。

オフィスアワー: 時間割が確定した後に研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	イントロダクション	演習	加藤
2	2)3)	卒業論文中間報告(1)	演習	加藤
3	2)3)	卒業論文中間報告(2)	演習	加藤
4	2)3)	卒業論文中間報告(3)	演習	加藤
5	2)3)	卒業論文中間報告(4)	演習	加藤
6	2)3)	卒業論文中間報告(5)	演習	加藤
7	2)3)	卒業論文中間報告(6)	演習	加藤
8	2)3)	卒業論文中間報告(7)	演習	加藤
9	2)3)	卒業論文中間報告(8)	演習	加藤
10	2)3)	卒業論文中間報告(9)	演習	加藤
11	2)3)	卒業論文中間報告(10)	演習	加藤
12	2)3)	卒業論文中間報告(11)	演習	加藤
13	2)3)	卒業論文中間報告(12)	演習	加藤
14	2)3)	卒業論文中間報告(13)	演習	加藤
15	1)2)3)	総括	演習	加藤

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 臨床福祉学演習Ⅳ

担当者: 前田 直樹(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 演習Ⅰ、Ⅱで学習したことを踏まえて、各自の興味のある研究テーマをより具体的に絞り込む。テーマを絞り込んだらそれに関連する文献を集めて文献研究を行う。臨床心理学の研究法は様々なものがあり、自分のテーマに合う研究法を学習し、どのような手順で研究を進めていくのか具体的な計画を立てる。この演習はできるだけ多くの文献や研究法に触れて学習を進めていく。

到達目標: 1)文献研究ができるようになる。
(SBOs) 2)臨床心理学の各種研究法を使用することができる。
3)研究論文の作成ができるようになる。

評価方法: レポート、卒業論文

準備学習・履修上の注意等: 自主的に調査研究する姿勢。行動理論、行動療法、英語に興味を持っている学生。

オフィスアワー: (月)18:00-18:30

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	オリエンテーション	演習	前田
2	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
3	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
4	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
5	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
6	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
7	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
8	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
9	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
10	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
11	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
12	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
13	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
14	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演習	前田
15	1)2)3)	卒業研究最終発表を行う	演習	前田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床福祉学演習IV**

担当者: 貫 優美子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 本演習を通して、各ゼミが卒業論文のテーマ設定、論文作成スケジュールの立案、研究の実際、論文の著述、論文の報告ができる能力を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)論文作成のスケジュールを立案する。
2)個別指導を受けながら、論文作成を行う。
3)論文形態にまとめることができる。
4)卒業論文の報告を行うことができる。

評価方法: 演習態度、演習内容にて評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業毎に出された課題、事前学習・事後学習は最低1時間行う。

オフィスアワー: 16時30分～17時30分。ただし木曜日、実習巡回中は除く。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	個別指導	演習	貫
2	1)	個別指導	演習	貫
3	1)	個別指導	演習	貫
4	1)	個別指導	演習	貫
5	1)	個別指導	演習	貫
6	1)	個別指導	演習	貫
7	1)	個別指導	演習	貫
8	2)	これまでの成果をまとめる。	演習	貫
9	2)	これまでの成果をまとめる。	演習	貫
10	2)	これまでの成果をまとめる。	演習	貫
11	2)	これまでの成果をまとめる。	演習	貫
12	2)	これまでの成果をまとめる。	演習	貫
13	2)	これまでの成果をまとめる。	演習	貫
14	3)	発表・意見交換	演習	貫
15	3)	発表・意見交換	演習	貫

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床福祉学演習Ⅳ**

担当者: 西田 美香(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 本演習は、卒業論文作成の具体的な方法(テーマ設定、情報収集、調査方法等)の習得を目的とする。さらに、自分の興味、関心のあるテーマに関する情報収集で得た内容を他者に伝えるためのプレゼンテーション力を身につける。

到達目標: 1) 研究の進め方について理解し、重要なポイントについて説明できる。
(SBOs) 2) 研究テーマに関する文献を収集することができる。
3) 文献を精読することができる。
4) 研究テーマに関して明らかになったことや新たな課題について説明できる。
5) 関心のある研究テーマを設定することができる。
6) 研究計画を作成し進める。
7) 研究内容のプレゼンテーションを行うことができる。

評価方法: 学習態度40%、ゼミでの発表内容30%、課題の提出30%として、総合的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 本演習では卒業論文作成の具体的な方法を学習するが、集めた情報を咀嚼する作業や調査研究を進める具体的な作業については演習時間外で学生が主体的に実施していくことが基本となる。そのため、常に問題意識を持ち、積極的に行動するという姿勢で取り組んでいただきたい。

オフィスアワー: 後日、連絡する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション	演習	西田
2	2)3)4)5)6)	調査準備と実践①	演習	西田
3	2)3)4)5)6)	調査準備と実践②	演習	西田
4	2)3)4)5)6)	調査準備と実践③	演習	西田
5	7)	プレゼンテーション①	演習	西田
6	2)3)4)5)6)	調査結果のまとめ①	演習	西田
7	2)3)4)5)6)	調査結果のまとめ②	演習	西田
8	2)3)4)5)6)	調査結果のまとめ③	演習	西田
9	2)3)4)5)6)	調査結果のまとめ④	演習	西田
10	2)3)4)5)6)	調査結果のまとめ⑤	演習	西田
11	2)3)4)5)6)	調査結果のまとめ⑥	演習	西田
12	2)3)4)5)6)	調査結果のまとめ⑦	演習	西田
13	2)3)4)5)6)	調査結果のまとめ⑧	演習	西田
14	7)	プレゼンテーション②	演習	西田
15	2)3)4)5)6)	まとめ	演習	西田

教科書: 指定しない。

参考書: 指定しない。

科目名: 臨床福祉学演習Ⅳ

担当者: 清水 径子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 【授業の概要】
各自のテーマに併せた卒業論文の調査結果をまとめ、卒業論文の書き方を理解し、個別指導を通して作成していく。卒業論文の研究内容をわかりやすく他者にプレゼンする。
【一般目標】
卒業論文の書き方を理解し、作成できる。また、研究に対する姿勢を学び、他者に研究結果を報告できる。

到達目標: (SBOs) 1) 卒業論文を作成し、完成することができる。
2) 論文を簡潔にまとめることができる。
3) 論文をわかりやすく報告することができる。

評価方法: 学習態度30%、発表内容30%、課題の提出40%を目安に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習時間外での研究活動や論文作成を学生が主体的に実施していく必要がある。

オフィスアワー: 研究室前に掲示する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	卒業論文作成指導(個別指導)	演習	清水
2	1)	卒業論文作成指導(個別指導)	演習	清水
3	1)	卒業論文作成指導(個別指導)	演習	清水
4	1)	卒業論文作成指導(個別指導)	演習	清水
5	1)	卒業論文作成指導(個別指導)	演習	清水
6	1)	卒業論文作成指導(個別指導)	演習	清水
7	1)	卒業論文作成指導(個別指導)	演習	清水
8	1)	卒業論文作成指導(個別指導)	演習	清水
9	1)	卒業論文作成指導(個別指導)	演習	清水
10	1)	卒業論文作成指導(個別指導)	演習	清水
11	1)	卒業論文作成指導(個別指導)	演習	清水
12	1)3)	発表会に向けたプレゼンの準備	演習	清水
13	2)3)	発表会に向けたプレゼンの準備	演習	清水
14	2)3)	発表会に向けたプレゼンの準備	演習	清水
15	3)	卒業研究報告会	演習	清水

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床福祉学演習IV**

担当者: 三宮 基裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 【授業の概要】
研究活動および学術論文執筆の基礎を学ぶとともに、研究成果のプレゼンテーション力を習得する。
【一般目標(GIO)】
必要な研究資料を収集の方法と、得た資料に対する分析考察の仕方を学ぶ。
研究テーマについて論理的な結論付けができるようになる。

到達目標: (SBOs) 1)既往研究を読み、要約および他者へ報告できる。
2)適切な研究資料の収集方法が選択でき、資料の収集ができる。
3)研究資料を適切な方法で集計し、客観的立場からの分析と、適切な考察ができる。
4)論理的な結論付けができる。
5)適切な発表資料が作成でき、分かりやすい発表ができる。

評価方法: 演習に取り組む姿勢により評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習時間以外に各自で30時間以上の研究活動をおこなうこと。

オフィスアワー: 在室時は随時対応する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	2)	研究資料の収集	演習	三宮
2	2)	研究資料の収集	演習	三宮
3	2)	研究資料の収集	演習	三宮
4	2)	研究資料の収集	演習	三宮
5	2)	研究資料の収集	演習	三宮
6	3)4)	分析・考察の報告	SGD	三宮
7	3)4)	分析・考察の報告	SGD	三宮
8	3)4)	分析・考察の報告	SGD	三宮
9	3)4)	分析・考察の報告	SGD	三宮
10	3)4)	分析・考察の報告	SGD	三宮
11	3)4)	分析・考察の報告	SGD	三宮
12	4)5)	発表演習	SGD	三宮
13	4)5)	発表演習	SGD	三宮
14	4)5)	発表演習	SGD	三宮
15	4)5)	発表	SGD	三宮

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **精神保健福祉援助技術総論**

担当者: 浅岡 悦子(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 精神保健福祉分野における専門職の概念と範囲及び専門職の倫理を学び、さらに、総合的・包括的な相談援助における専門的機能を理解し、精神保健福祉士としての基本的な知識を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)精神障がい者を理解し、精神保健福祉士制度の経緯及びその専門性について説明できる。
2)相談援助の定義と理念及び形成過程を説明できる。
3)精神障がい者の相談援助における権利擁護について説明できる。
4)精神保健福祉分野における相談援助の体系が説明できる。
5)精神保健福祉分野における専門職の概念と範囲を説明できる。
6)精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な相談援助のあり方を説明できる。
7)精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な援助の機能と概要を説明できる。
8)精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と概要を説明できる。

評価方法: 後期の筆記試験の結果とレポートの提出状況と内容及び授業態度等を総合的に判断して評価する

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	精神障がい者の今、現状について	講義	浅岡
2	1)	精神保健福祉士制度化の歩みとその専門性	講義	浅岡
3	1)2)	精神保健福祉士の必要性和専門職能団体の活動状況	講義	浅岡
4	1)2)	相談援助における権利擁護の概念と範囲	講義演習	浅岡
5	2)3)	精神障がい者の権利擁護と精神保健福祉士の役割	講義	浅岡
6	2)3)	精神保健福祉士に求められる専門職倫理の必要性和倫理的ジレンマ	講義	浅岡
7	1)~3)	1回~6回のまとめ及び振り返りテスト	講義	浅岡
8	4)	精神保健福祉分野における相談援助活動の対象並びにその目的と意義	講義	浅岡
9	4)5)	精神保健福祉分野における援助活動の現状と今後の展開	講義	浅岡
10	4)5)	精神保健福祉分野における専門職の概念・業務	講義	浅岡
11	4)~6)	精神保健福祉活動における総合的・包括的な援助を支える理論	講義	浅岡
12	4)5)7)	精神保健福祉活動における総合的・包括的な援助の機能と概要	講義	浅岡
13	4)5)8)	精神保健福祉活動における総合的・包括的な援助の多職種連携の意義と概要多職種連携における精神保健福祉士の役割	講義	浅岡
14	4)~8)	8回~13回のまとめ	講義・演習	浅岡
15	1)~8)	精神保健福祉士に求められる専門性、全体のまとめ及び振り返りテスト	講義	浅岡

教科書: 新精神保健福祉士養成講座3~精神保健福祉相談援助の基盤(基礎・専門)~ (日本精神保健福祉士養成校協会 編集) 中央法規出版【978-4-8058-3576-0】

参考書: 使用しない。

科目名: **精神医学 I**

担当者: 辻 正之(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻(2年)

必修・選択: 選択

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 【授業の概要】「こころの働き」やストレス、精神疾患、精神保健、精神医療など『精神医学』の基礎論を学習します。
★WHOは今世紀における最大の課題を『精神保健』と予測しました。我が国では、在宅精神障害者が300万人を超え、年間3万人が自殺している現状です。自殺者の80-100%が生前に精神障害に罹患していたことが報告される現在、自殺問題は『精神医学』の中心的課題といえましょう。授業では、『精神科臨床』に揺るぎなく立脚しながら、「患者さんが話をすること」と「治療者がそれを聴くこと」の共同作業を軸に展開される『精神医学』を生物-心理-社会的モデルで捉え、学習して参りましょう。
【一般目標】「精神医学の基礎となる知識を習得し、概念を理解して、それらを説明できる」水準への到達を目標に致しましょう。

到達目標: (SBOs) 1)「患者さん(精神的・心理的問題を抱えた人たち)に聴くこと」が『精神医学』における本質的な鍵技能であることを十分に理解した上で、適切な精神療法的態度、精神療法的技法(面接技法)を修得すること。
2)精神症状を正確に把握し、評価すること。
3)精神の病的状態(精神障害)の原因や症状、治療、予防、援助のありかたなどを理解すること。
4)『精神科チーム医療』のシステムについての理解と能力を獲得すること。
5)『精神医学』は人間存在あるいは人間社会の曖昧さ、不確かさを、丸ごと、引き受けて「医科学」と「人間性」に関わる学問なのであり、さらに人間は確かに、科学の境界の外で、お互いの「こころ」に寄り添える可能性を持っているのだ、という『精神医療』の意味を確認すること。

評価方法: ①授業時間内に書いて頂く簡単なレポートに対する評価に加えて、受講状況による加点を行ないます→全評価中の65%に充当します。
②第15週目に「腕試しテスト」を行います→全評価中の35%に充当します。

準備学習・履修上の注意等: ①白紙の状態を受講して頂いて構いません。授業内で集中的に学習を致しましょう。
②1回の授業につき60分程度の復習をして頂ければ、随分、ご理解が深まると思います。
③テレビや新聞の精神医療・精神保健など「精神医学」に関する報道などにも、ご関心が持てれば更に良いと思います。
④授業内では症例もご提示します。秘密の保持には十分、ご配慮ください。

オフィスアワー: 毎回の授業前後に、ご質問やご意見をお聴きする時間を設ける予定です。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	3)4)	【授業の概要と導入(科目のガイダンス)】 シラバス、「こころ」の働き、ストレス、精神疾患、診断分類、チーム医療	講義	辻正之
2	1)~5)	【精神科診断(1) 最初の診察・面接】 主訴、精神的現在症、問診、聴くこと	講義	辻正之
3	2)	【精神科診断(2) 精神症状】 知覚、思考、感情、意欲・行動、表情、自我	講義	辻正之
4	2)3)	【統合失調症】 妄想、幻覚、解体した会話/行動、感情の平板化、4A症状	講義	辻正之
5	2)3)	【気分障害】 躁うつ病、躁病、うつ病、内因性、心因性	講義	辻正之
6	2)3)	【神経症 ICD-10の疾病分類】 葛藤、不安、ICD-10	講義	辻正之
7	2)3)4)	【パーソナリティ障害 思春期の精神障害】 同一性、思春期心性、不登校、対人恐怖、摂食障害	講義	辻正之
8	1)~5)	【老年期の精神障害】 老化、対象喪失、認知症、老年期うつ病	講義	辻正之
9	3)4)5)	【精神科病院へのご招待】 精神医療・精神科病院の歴史、医療現場の実際	講義	辻正之
10	1)2)3)5)	【精神保健スタッフに求められる技能 ご意見の交換など】 精神症状、効果的なコミュニケーション、BPRS	講義	辻正之
11	2)3)	【外因性精神障害/意識障害】 器質/症状/中毒精神病 意識	講義	辻正之 他
12	1)3)5)	【精神療法】	講義	辻正之

精神療法的態度/技法、治療メカニズム、治療的变化、治療構造

13	3)	【精神科薬物療法】 向精神薬、プラセボ、作用要因、「転移」と「逆転移」	講義	辻正之
14	1)~5)	【腕試しテストの事前説明 科目のまとめ】 シラバスのレビュー、「到達目標」と「自己評価」	講義	辻正之
15	1)~5)	【ストレスケア病棟と職場のメンタルヘルス】 ストレスケア病棟、ハラスメント、うつ病、チーム医療	講義	辻正之

教科書： ①前期授業(精神医学Ⅰ)では毎回、レジュメを配布します。レジュメに基づいて、授業を進める予定です。
②後期授業(精神医学Ⅱ)で使用します→新・精神保健福祉士養成講座1 精神疾患とその治療(日本精神保健福祉士養成校協会) 中央法規出版株式会社【978-4-8058-3574-6】

参考書： 必要に応じて、ご紹介します。

科目名: **精神医学Ⅱ**

担当者: 辻 正之(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉専攻、臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 【授業の概要】前期「精神医学Ⅰ」で習得した『精神医学』の知識や概念を土台にして、さらに「こころの働き」やストレス、精神疾患、精神保健、精神医療など『精神医学』に対する理解を深めて参ります。授業では前期に引続き、『精神科臨床』に揺るぎなく立脚しながら、「患者さんが話をすること」と「治療者がそれを聴くこと」の共同作業を軸に展開される『精神医学』を生物-心理-社会的モデルで捉え、学習して参りましょう。
【一般目標】「精神医学の基礎となる知識を習得し、概念を理解して、それらを説明できる」水準への到達に加えて、精神保健スタッフとして通用する Skill と Attitude の獲得をも目標に致しましょう。

到達目標: (SBOs) 1)「患者さん(精神的・心理的問題を抱えた人たち)に聴くこと」が『精神医学』における本質的な鍵技能であること
を十分に理解した上で、適切な精神療法的態度、精神療法的技法(面接技法)を修得すること。
2)精神症状を正確に把握し、評価すること。
3)精神の病的状態(精神障害)の原因や症状、治療、予防、援助のありかたなどを理解すること。
4)『精神科チーム医療』のシステムについての理解と能力を獲得すること。
5)『精神医学』は人間存在あるいは人間社会の曖昧さ、不確かさを、丸ごと、引き受けて「医科学」と「人間性」に関わる学問なのであり、さらに人間は確かに、科学の境界の外で、お互いの「こころ」に寄り添える可能性を持っているのだ、という『精神医療』の意味を確認すること。

評価方法: ①授業時間内に書いて頂く簡単なレポートに対する評価に加えて、受講状況による加点を行いません→全評価中の65%に充当します。
②第15週目に「腕試しテストⅡ」を行います→全評価中の35%に充当します。

準備学習・履修上の注意等: ①前期「精神医学Ⅰ」のレジュメを活用しながら、教科書に沿って授業を進めて参ります。授業には前期レジュメと教科書をご持参ください。学習状況などにより、授業内容・順番を調整、変更することもあります
②1回の授業につき60分程度、予習として前期レジュメに目を通しておいて頂ければ更に、ご理解が深まると思います
③症例の秘密保持には十分、ご配慮ください。

オフィスアワー: 毎回の授業前後に、ご質問やご意見をお聴きする時間を設ける予定です。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	3)4)5)	【第1章 精神医学概論/ 第2章 精神障害の理解】 精神医学・精神医療の歴史、生物学的基礎	講義	辻正之
2	2)	【第3章 精神疾患の症状と診断】 心理検査	講義	辻正之
3	3)	【第4章 代表的な精神疾患?】 アルコール性障害	講義	辻正之
4	1)~5)	【ゲストスピーカー お一人目】 アルコール性障害	講義	辻正之 他
5	1)~5)	【ゲストスピーカー お二人目】 地域保健	講義	辻正之 他
6	3)	【第4章 代表的な精神疾患②】 女性のメンタルヘルス	講義	辻正之
7	1)~5)	【第4章 代表的な精神疾患?】 統合失調症、気分障害、神経症、認知症などの説明補足	講義	辻正之
8	1)~5)	【第8章 精神疾患と福祉・関連機関との連携の重要性】 産業保健	講義	辻正之
9	1)~5)	【第5章 精神疾患の治療?】 精神療法、薬物療法、ソーシャルワーキング	講義	辻正之
10	1)~5)	【第6章 医療機関の治療構造/ 第7章 人権擁護】 精神保健福祉法	講義	辻正之
11	1)~5)	【第4章 代表的な精神疾患?】 “自殺をしない”約束	講義	辻正之
12	1)~5)	【第5章 精神疾患の治療②】 森田療法、あるがまま、絶対臥褥	講義	辻正之

13	1)~5) 【ご希望に応じたテーマを設定します】	講義	辻正之
14	1)~5) 【腕試しテストの事前説明】 シバスのレビュー、「到達目標」と「自己評価」	講義	辻正之
15	1)~5) 【科目のまとめ「国試」を解く】 シバス/教科書のレビュー	講義	辻正之

教科書： 新・精神保健福祉士養成講座1 精神疾患とその治療（日本精神保健福祉士養成校協会）中央法規出版株式会社【978-4-8058-3574-6】

参考書： 必要に応じて、ご紹介します。

科目名: **精神保健学 I**

担当者: 西田 美香(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 本講義は精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。精神保健福祉士は、精神障害者の相談に応じ、助言、指導、訓練等を行うことを主な役割としているが、そのことに加え、現代社会における精神保健の様々な課題に対する支援も求められている。精神障害の予防、治療、リハビリテーションに加え、国民全体の心の健康の保持・増進についても視野に入れ、社会から要請される精神保健福祉士となるため、本講義では精神の健康における基本的考え方について修得する。また、現代社会における精神保健の諸課題と精神保健の実際について修得する。さらに、精神保健を維持、増進するために機能している専門機関や関係職種との役割と連携について修得する。

到達目標: (SBOs) 1)精神の健康と精神の健康に関連する要因及び精神保健の概要について説明できる。
2)精神保健の視点から見た家族の課題とアプローチについて説明できる。
3)精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチについて説明できる。
4)精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチについて説明できる。
5)精神保健に関する専門職種(保健師等)と国、都道府県、市町村、団体等の役割及び連携について説明できる。

評価方法: レポート20%、期末試験80%により評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき60分を目安に予習、復習を行うこと。

オフィスアワー: 後日掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	精神保健の概要と課題(1) 精神保健の重要性と健康の定義、精神保健・メンタルヘルスの定義、精神保健の概要	講義	西田
2	1)	精神保健の概要と課題(2) 精神保健の歴史、精神保健の課題	講義	西田
3	1)	精神の健康とその要因(1) 社会構造の変化と新しい健康観、ライフサイクルと精神の健康	講義	西田
4	1)	精神の健康とその要因(2) ストレスと精神の健康、生活習慣と精神の健康	講義	西田
5	1)	精神の健康とその要因(3) 精神の健康、精神疾患、身体疾患に由来する障害	講義	西田
6	1)	精神の健康への関与と支援(1) 精神の健康に関する心的態度、精神保健に関する予防の概念と対象	講義	西田
7	1)5)	精神の健康への関与と支援(2) 精神保健に関する国、都道府県等の役割および連携、精神保健に関する専門職種	講義	西田
8	2)	精神保健の視点から見た家族の課題とアプローチ(1) 現代日本の家族特徴、結婚生活と精神保健、育児をめぐる精神保健	講義	西田
9	2)	精神保健の視点から見た家族の課題とアプローチ(2) 社会的ひきこもり、病気療養と介護をめぐる精神保健、高齢者の精神保健	講義	西田
10	2)	精神保健の視点から見た家族の課題とアプローチ(3) 家族の問題を相談する機関、家族の問題にかかわる精神保健福祉士の役割	講義	西田
11	3)	精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ(1) 現代日本の学校教育と生徒児童の特徴、教員の精神保健	講義	西田
12	3)	精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ(2) 関与する専門職と関係法規、学校における精神保健福祉士の役割	講義	西田
13	4)	精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ(1) 現代日本の労働環境、うつ病と過労自殺、飲酒やギャンブルに関する問題	講義	西田
14	4)	精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ(2) 心身症と生活習慣病、職場内問題解決のための機関および関係法規、精神保健福祉士の役割	講義	西田

教科書: 新・精神保健福祉士養成講座2 精神保健の課題と支援第3版 (日本精神保健福祉士養成校協会編集) 中央法規
【978-4-8058-5595-9】

参考書: 使用しない。

科目名: **精神保健学Ⅱ**

担当者: 西田 美香(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 本講義は精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。精神保健福祉士は、精神障害者の相談に応じ、助言、指導、訓練等を行うことを主な役割としているが、そのことに加え、現代社会における精神保健の様々な課題に対する支援も求められている。精神障害の予防、治療、リハビリテーションに加え、国民全体の心の健康の保持・増進についても視野に入れ、社会から要請される精神保健福祉士となるため、本講義では現代社会における精神保健の諸課題と精神保健の実際及び精神保健福祉士の役割について修得する。また、精神保健を維持、増進するために機能している専門機関や関係職種との役割と連携、国際連合の精神保健活動や他の国々における精神保健の現状と対策について修得する。

到達目標: (SBOs) 1)精神保健に関する対策と精神保健福祉士の役割について説明できる。
2)精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチについて説明できる。
3)地域精神保健に関する諸活動と精神保健に関する偏見・差別等の課題を説明できる。
4)諸外国の精神保健活動の現状及び対策について説明できる。

評価方法: レポート20%、期末試験80%により評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき60分を目安に予習、復習を行うこと。

オフィスアワー: 後日掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	精神保健に関する対策と精神保健福祉士の役割(1) 発達障害者に対する対策	講義	西田
2	1)	精神保健に関する対策と精神保健福祉士の役割(2) アルコール問題に対する対策	講義	西田
3	1)	精神保健に関する対策と精神保健福祉士の役割(3) 薬物依存対策	講義	西田
4	1)	精神保健に関する対策と精神保健福祉士の役割(4) うつ病と自殺防止対策	講義	西田
5	1)	精神保健に関する対策と精神保健福祉士の役割(5) 認知症高齢者に対する対策	講義	西田
6	1)	精神保健に関する対策と精神保健福祉士の役割(6) 社会的ひきこもりに対する対策	講義	西田
7	1)	精神保健に関する対策と精神保健福祉士の役割(7) 災害時の精神保健に対する対策	講義	西田
8	1)	精神保健に関する対策と精神保健福祉士の役割(8) 精神保健に関する対策と精神保健福祉士の役割	講義	西田
9	2)	精神保健の視点からみた現代社会の課題とアプローチ(1) 災害被災者の精神保健、犯罪被害者の精神保健、	講義	西田
10	2)	精神保健の視点からみた現代社会の課題とアプローチ(2) ニート・若年無業者と精神保健、ホームレスおよび貧困問題と精神保健	講義	西田
11	2)	精神保健の視点からみた現代社会の課題とアプローチ(3) 性同一性障害と精神保健、多文化と精神保健	講義	西田
12	2)	精神保健の視点からみた現代社会の課題とアプローチ(4) ターミナルケアと精神保健	講義	西田
13	3)	地域精神保健に関する諸活動(1) 精神保健に関する調査、資源開発、ネットワークづくり	講義	西田
14	3)	地域精神保健に関する諸活動(2) 地域精神保健と関係法規、精神保健に関する人材育成	講義	西田
15	4)	諸外国の精神保健活動の現状および対策 世界の精神保健の現状と国際機関の活動、諸外国の精神保健の現状と対策	講義	西田

教科書： 新・精神保健福祉士養成講座2 精神保健の課題と支援第3版（日本精神保健福祉士養成校協会編集）中央法規
【978-4-8058-5595-9】

参考書： 使用しない。

科目名: **精神科リハビリテーション学 I**

担当者: 西田 美香(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 本講義は精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。精神保健福祉士は、精神障害者の相談に応じ、助言、指導、訓練等を行うことを主な役割としており、そのなかでも精神障害を対象とするリハビリテーションは精神障害者の社会復帰支援において熟知しなければならない重要な分野である。我が国における精神保健福祉の歴史において、これまで停滞してきた精神障害者の社会復帰を支える精神保健福祉士となるために、本講義では精神医療の特性と、精神障害者に対する支援の基本的考え方について修得する。また、精神科リハビリテーションの概念と構成、精神科リハビリテーションのプロセスについて修得する。

到達目標: (SBOs) 1)精神保健医療福祉の歴史と動向について説明できる。
2)精神障害者に対する支援の基本的な考え方と必要な知識について説明できる。
3)精神科リハビリテーションの概念と構成について説明できる。
4)精神科リハビリテーションのプロセスについて説明できる。

評価方法: レポート20%、期末試験80%により評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき60分を目安に予習、復習を行うこと。

オフィスアワー: 後日掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	精神保健医療福祉の歴史と動向(1) パラダイムのモデル転換	講義	西田
2	1)	精神保健医療福祉の歴史と動向(2) 国際的動向とわが国への影響、民間活動の意義と歴史	講義	西田
3	1)	精神保健医療福祉の歴史と動向(3) 諸外国の精神保健医療福祉制度の変遷(アメリカ、カナダ、イギリス)	講義	西田
4	1)	精神保健医療福祉の歴史と動向(4) 諸外国の精神保健医療福祉制度の変遷(イタリア、フランス、韓国、ニュージーランド)	講義	西田
5	2)	精神障害者に対する支援の基本的な考え方と必要な知識(1) 精神保健福祉士における活動の歴史	講義	西田
6	2)	精神障害者に対する支援の基本的な考え方と必要な知識(2) 精神障害者支援の理念	講義	西田
7	2)	精神障害者に対する支援の基本的な考え方と必要な知識(3) 精神保健医療福祉領域における支援対象	講義	西田
8	2)	精神障害者に対する支援の基本的な考え方と必要な知識(4) 精神障害者の人権	講義	西田
9	3)	精神科リハビリテーションの概念と構成(1) 精神科リハビリテーションの概念	講義	西田
10	3)	精神科リハビリテーションの概念と構成(2) 精神科リハビリテーションの理念、意義と基本原則	講義	西田
11	3)	精神科リハビリテーションの概念と構成(3) 精神科リハビリテーションの構成と展開	講義	西田
12	4)	精神科リハビリテーションのプロセス(1) リハビリテーションのプロセス	講義	西田
13	4)	精神科リハビリテーションのプロセス(2) アプローチの方法	講義	西田
14	4)	精神科リハビリテーションのプロセス(3) 疾病の経過、ライフサイクルと精神科リハビリテーション	講義	西田
15	1)~4)	1~14回のまとめ	演習・SGD	西田

教科書: 新・精神保健福祉士養成講座4 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I 第2版 (日本精神保健福祉士養成校)

参考書: 使用しない。

科目名: **精神科リハビリテーション学Ⅱ**

担当者: 西田 美香(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 本講義は精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する必修科目である。精神保健福祉士は、精神障害者の相談に応じ、助言、指導、訓練等を行うことを主な役割としており、そのなかでも精神障害を対象とするリハビリテーションは精神障害者の社会復帰支援において熟知しなければならない重要な分野である。我が国における精神保健福祉の歴史において、これまで停滞してきた精神障害者の社会復帰を支える精神保健福祉士となるために、本講義では精神障害者に対する支援の基本的考え方及び相談援助の展開、面接技術について修得する。また、チーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割、精神保健福祉士が行うリハビリテーションの知識と技術及び活用の方法について修得する。

到達目標: (SBOs) 1)医療機関における精神科リハビリテーションの展開とチーム医療における精神保健福祉士の役割について説明できる。
2)精神障害者の支援モデルについて説明できる。
3)相談援助過程及び対象者との相談援助関係について説明できる。
4)相談援助活動のための面接技術を理解し実践できる。
5)スーパービジョンとコンサルテーションについて説明できる。

評価方法: レポート20%、期末試験80%により評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき60分を目安に予習、復習を行うこと。

オフィスアワー: 後日掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	医療機関における精神科リハビリテーションの展開(1) 精神専門療法(作業療法、レクリエーション療法、集団精神療法)	講義	西田
2	1)	医療機関における精神科リハビリテーションの展開(2) 精神専門療法(行動療法、認知行動療法、SST)	講義	西田
3	1)	医療機関における精神科リハビリテーションの展開(3) 家族教育プログラム	講義	西田
4	1)	医療機関における精神科リハビリテーションの展開(4) 精神科デイケア	講義	西田
5	1)	医療機関における精神科リハビリテーションの展開(5) 医療機関のアウトリーチ	講義	西田
6	1)	医療機関における精神科リハビリテーションの展開(6) チーム医療の概要	講義	西田
7	1)	医療機関における精神科リハビリテーションの展開(7) 医療機関における多職種との協働・連携	講義	西田
8	2)	精神障害者支援の実践モデル(1) 精神障害者支援の実践モデルの意味と内容	講義	西田
9	2)	精神障害者支援の実践モデル(2) 代表的な精神障害者支援の実践モデル	講義	西田
10	3)	相談援助の過程および対象との援助関係(1) 地域を基盤とした相談援助、ケース発見、受理面接と契約、課題分析	講義・演習	西田
11	3)	相談援助の過程および対象との援助関係(2) 支援計画、支援の実施と経過の観察、効果測定と支援の評価、終結とアフターケア	講義・演習	西田
12	4)	相談援助活動のための面接技法(1) 面接を効果的に行う方法	講義・演習	西田
13	4)	相談援助活動のための面接技法(2) 面接技法	講義・演習	西田
14	5)	スーパービジョンとコンサルテーション(1) スーパービジョンの意義、機能、形態、過程	講義	西田
15	5)	スーパービジョンとコンサルテーション(2)	講義	西田

コンサルテーションの意義、方法、展開

教科書： 新・精神保健福祉士養成講座4 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I 第2版（日本精神保健福祉士養成校協会編集）中央法規【978-4-8058-3946-1】

参考書： 使用しない。

科目名: **精神保健福祉論 I**

担当者: 黒須 依子(福・子)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 精神障害者等に対し質の高い相談援助等を行うことができるようになるためには、現行の精神保健福祉関連制度やサービスの内容を熟知しておくことが必要である。精神保健福祉論 I では、精神保健福祉法や精神保健福祉士法成立の意義を理解した上で、精神保健福祉士として働く上で必要となる精神保健福祉法や精神保健福祉関連法の内容に関する知識を修得する。さらに、精神保健福祉制度やサービスを活用して精神障害当事者やその家族を支援する精神保健福祉士に求められる役割について理解を深める。

到達目標: (SBOs) 1)精神保健福祉援助における精神障害者の意味や、国連ICFの障害概念から捉えた精神障害者の意味を理解し説明できる。
2)精神障害者に対する日本の社会防衛思想が精神障害者、その家族、及び地域住民の生活に及ぼした影響を説明できる。
3)精神衛生法の特徴と精神衛生法が精神保健福祉に改正された理由を説明できる。
4)精神保健法が精神保健福祉法に改正された社会背景を説明できる
5)精神保健福祉法成立の意義を説明できる。
6)精神保健福祉法の目的と対象を説明できる。
7)精神保健福祉法として特徴的な条項の内容を説明できる。
8)精神保健福祉士法制定の過程と法の目的、精神保健福祉士の定義を理解し説明できる。
9)精神保健福祉士の理念と精神保健福祉士に求められている役割を理解し説明できる。

評価方法: 定期試験結果と各講義内での小テスト結果の総計を全体の80%、出席状況、レポート課題提出状況、授業態度を全体の20%として総合的評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業時の配布資料はファイルに綴じ、指定テキスト①、②と共に毎授業時に持参すること。
なお、当授業に関する自主学習時間を1回の授業につき2時間以上/週設け、講義時に指定した事例やテキスト指定内容購読等の予習復習を行い、授業に臨むこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計30時間以上の自主学習を行うこと。また、提出期限厳守で課題レポートを作成・提出すること。
各講義内容での不明点は、授業時や授業後のオフィスアワーを利用し学生各自で主体的に質問すること。

オフィスアワー: 時間割決定後、研究室前に提示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション 精神障害の捉え方①「法的枠組み」	講義 SGD	黒須
2	1)	精神障害の捉え方② 「ICFの障害概念」	講義	黒須
3	2)	精神保健福祉法の歴史(1) 「精神病者監護法から精神病院法へ」	講義	黒須
4	2)	精神保健福祉法の歴史(2) 「精神病院法から精神衛生法へ」	講義	黒須
5	2)3)	精神保健福祉法の歴史(3) 「精神衛生法の特徴」	講義	黒須
6	3)	精神保健福祉法の歴史(4) 「精神衛生法から精神保健法へ」	講義	黒須
7	4)	精神保健福祉法の歴史(5) 「精神保健法から精神保健福祉法へ」	講義 SGD	黒須
8	5)6)	精神保健福祉法成立の意義と概要 「精神保健福祉法の目的・対象・法成立の意義」	講義	黒須
9	7)	精神保健福祉法の内容(1) 「手帳制度と社会復帰施設」	講義 SGD	黒須
10	7)	精神保健福祉法の内容(2) 「保護者制度と入院制度①」	講義	黒須
11	7)	精神保健福祉法の内容(3) 「入院制度②」	講義	黒須
12	7)	精神保健福祉法の内容(4) 「精神医療審査会制度と精神保健指定医制度」	講義	黒須
13	8)	精神保健福祉士法(1) 「法の成立過程と目的・対象」	講義 SGD	黒須
14	8)9)	精神保健福祉士法(2) 「精神保健福祉士の理念と役割」	講義 SGD	黒須
15	9)	精神保健福祉士の職場と求められる役割	講義	黒須

教科書: ①新・精神保健福祉士養成講座6【第6版】精神保健福祉に関する制度とサービス(日本精神保健福祉士養成校協会:編)中央法規【978-4-8058-5596-6】
②福祉小六法2018(大阪ボランティア協会:編)中央法規出版【978-4-8058-5611-6】

参考書: ①心病める人たち-開かれた精神医療へ- (石川 信義) 岩波新書 【4-00-430122-X】
②ルポ・精神病棟 (大熊一夫) 朝日新聞社【4-02-260244-9】
③精神病院を捨てたイタリア、捨てない日本 (大熊 一夫) 岩波書店 【9784000236850】

科目名: **精神保健福祉論Ⅱ**

担当者: 黒須 依子(福・子)・外部講師

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: ノーマライゼーションが普及した社会づくりに貢献する精神保健福祉士として、地域の関連機関や組織等と連携し精神障害者の生活支援を行うために必要な知識を身に着けることを目的に、精神保健福祉論Ⅱでは、障害福祉サービス関連法や精神保健福祉関連機関の概要、及びこれらの機関と連携して相談援助等に臨む精神保健福祉士の役割を修得する。また、近年の司法と福祉連携の必要性を理解し、更生保護制度と医療観察法の概要、医療観察法の対象者支援における精神保健福祉士の役割を習得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)福祉制度の目的と意義、精神保健福祉士が福祉法を理解する必要性を考え、理解し説明できる。
 - 2)障害者総合支援法成立に至る社会背景を理解し説明できる。
 - 3)障害者総合支援法の目的、対象者、主な支援システムを理解し、説明できる。
 - 4)障害者総合支援法の障害福祉サービスの概要を理解し説明できる。
 - 5)精神障害者の相談援助に関わる主な行政機関と民間組織を理解し説明できる。
 - 6)障害者総合支援法における相談援助システムと相談援助に関わる専門職者を理解し説明できる。
 - 7)精神保健福祉士による相談援助の意義と役割を利用者の視点から理解し説明できる。
 - 8)障害者権利条約の概要と条約への日本批准の意義を理解し説明できる。
 - 9)障害者虐待の現状と障害者虐待防止法の意義を理解し説明できる。
 - 10)更生保護法の目的、対象者、主な支援過程、関連福祉専門職を理解し説明できる。
 - 11)対象者の更生保護における司法と福祉連携の必要性を理解し説明できる。
 - 12)医療観察法の成立過程を理解し、法の目的、対象者を説明できる。
 - 13)医療観察法の処遇過程での対精神保健福祉士の役割を理解し説明できる。
 - 14)日本の精神保健福祉施策の動向を理解し、精神保健福祉士に求められる役割を説明できる。

評価方法: 筆記試験結果と講義内に実施する小テスト結果、指定レポート課題の提出状況と内容を全体の80%で、その他の課題提出状況と内容、出席状況、及び授業態度等を全体の20%とし、総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業時の配布資料はファイルに綴じ、指定テキスト①、②と共に毎授業時に持参すること。また、当授業に関する自主学習時間を1回の授業につき2時間以上/週設け、予習復習を行い、講義内小テストを受験すること、また、提出期限厳守で課題レポートを作成・提出し、講義時に指定した事例やテキスト指定内容を購読した上で授業に臨むこと。その他、各講義内容での不明点は、授業時や授業後のオフィスアワーを利用し学生各自で主体的に質問すること。

オフィスアワー: 時間割決定後、研究室前に提示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション 福祉法制定の目的と意義	講義	黒須
2	2)	障害者総合支援法(1)	講義	黒須
3	3)	「障害者総合支援法の成立過程と法の目的と対象」	講義	黒須
4	4)	障害者総合支援法(2)	講義	黒須
5	4)	「障害者総合支援法の特徴とサービス体系」	講義	黒須
6	4)	障害者総合支援法(3)	講義	黒須
7	4)	障害福祉サービスの種類と概要	講義	黒須
8	4)	障害者総合支援法(4)	講義	黒須
9	5)	障害福祉サービス利用制度	講義	黒須
10	5)	精神障害者の相談援助に関わる主な行政組織と民間組織	講義	黒須
11	6)	精神障害者に対する相談援助(1)	講義	黒須
12	7)	障害者総合支援法における相談支援体系	講義・SGD	黒須・外部講師
13	7)	精神障害者に対する相談援助(2)	講義・SGD	黒須
14	8)9)	利用者に対する相談援助過程と精神保健福祉士の役割	講義・SGD	黒須
15	8)9)	障害者権利条約と障害者虐待防止法	講義・SGD	黒須
16	10)	更生保護制度と精神保健福祉(1)	講義・SGD	黒須
17	10)	更生保護法の概要	講義	黒須
18	11)	更生保護制度と精神保健福祉(2)	講義	黒須
19	11)	司法・福祉の連携の意義と精神保健福祉の役割	講義	黒須
20	12)	医療観察法と精神保健福祉(1)	講義	黒須
21	12)	医療観察法の成立過程と法の概要	講義	黒須
22	13)	医療観察法と精神保健福祉(2)	講義・SGD	黒須
23	13)	医療観察法における処遇過程と精神保健福祉士の役割	講義	黒須
24	14)	精神保健福祉に求められる専門性と役割	講義	黒須
25	14)	日本の精神保健福祉施策の動向と課題	講義	黒須

教科書: ①新・精神保健福祉士養成講座6 精神保健福祉に関する制度とサービス【第6版】(日本精神保健福祉士養成校協

会:編) 中央法規出版【978-4-8058-5596-6】

②福祉小六法2018(大阪ボランティア協会、編) 中央法規出版【978-4-8058-5611-6】

③精神科病院を出て町へ-ACTがつくる地域精神医療-(伊藤順一郎) 岩波書店【978-4-00-270854-6】

参考書: ①当事者主権(中西正司 上野千鶴子)岩波新書【4-00-430860-7】

②社会的入院から地域へ 精神障害のある人々のピアサポート活動(加藤 真規子)現代書館【978-4-7684-3556-4】

科目名: **精神保健福祉論Ⅲ**

担当者: 黒須依子(福・子)、外部講師

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)、臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 福祉専門職としての援助理念や社会資源活用方法に関する知識を身に着けることで、ノーマライゼーションが普及した社会づくりに貢献する精神保健福祉士となるために、精神保健福祉論Ⅲでは、精神障害者の精権利擁護、居住支援、就労支援、自立支援等の精神障害者地域生活支援に必要な知識を身に着ける。また、精神障害者のリハビリを支援しエンパワメントを実現する精神保健福祉士の精神障害者地域生活支援の役割と課題を習得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)ICFによる障害の捉え方を説明できる。□
 - 2)精神障害者の特性をストレングスモデルで理解する意義を理解し説明できる。□
 - 3)日本の精神障害者の概況から、精神障害者やその家族が抱える主な生活ニーズを理解し説明できる。□
 - 4)医療観察法の意義と目的、対象者を説明できる。□
 - 5)医療観察法の主な流れと対象者を支援する専門職の名称と役割を説明できる。□
 - 6)精神障害者に対する地域社会の偏見を取り除く精神保健福祉士の役割を説明できる。□
 - 7)谷中輝雄先生による精神障害者の生活支援の理念の意義を理解し説明できる。□
 - 8)精神障害者の人権擁護に対する精神保健福祉士の役割と課題を説明できる。□
 - 9)精神障害者の自立生活支援におけるピアサポート、クラブハウスの意義を説明できる。□
 - 10)基幹相談支援センターの概要と精神保健福祉士の役割を説明できる。□
 - 11)障害者総合支援法における障害者の相談支援体系を理解し説明できる。□
 - 12)精神障害者余暇活動支援の意義を理解し説明できる。□
 - 13)保証人制度、保証人代行制度、居住支援サポート事業の現状を理解し説明できる。□
 - 14)住居確保における精神保健福祉士の役割と留意点を理解し説明できる。□
 - 15)居住支援における精神保健福祉士、ホームヘルパー、看護師の役割を理解し説明できる。□
 - 16)精神障害者居住支援施設等の今後の動向を理解し説明できる。□
 - 17)精神障害者就労状況と障害者雇用促進法の概要を理解し説明できる。□
 - 18)障害者雇用支援機関・施設の概要を理解し説明できる。□
 - 19)障害者就労支援制度の概要を理解し説明できる。□
 - 20)障害者総合支援法における障害者就労支援事業の概要を理解し説明できる。□
 - 21)障害当事者の講話を聴講し、障害者就労支援施設の現状とピアサポートの意義を理解し説明できる。□
 - 22)リワーク支援、IPSモデルの目的、方法、意義を理解し説明できる。□

評価方法: 評価の80%を定期筆記試験と講義内実施の小テストの結果を、評価の20%を課題レポート提出状況と内容、及び授業態度、出席状況を基準に、総合して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 指定テキスト①の他、講義中配布資料をファイルに綴じ、毎授業時に持参すること。平成26年度「精神保健福祉論Ⅰ・Ⅱ」を受講学生は、当科目受講時の使用テキスト(参考文献①)を各自保管しておき、本講義の参考文献として活用できるよう保管しておくこと。本講義内で参考文献として使用します。また、当授業に関する自主学習時間を1回の授業につき2時間以上/週設け、予習復習を行い、提出期限厳守で課題レポートを作成、提出する他、講義時に指定した事例やテキスト指定内容を購読した上で授業に臨むこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計60時間以上の自主学習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割決定後、提示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	オリエンテーション 精神障害の概念	講義	黒須
2	4)	精神障害者の生活と人権(1) 医療観察法の意義と目的	講義	黒須
3	5)	精神障害者の生活と人権(2) 医療観察法の対象者を支援する専門支援員	講義	黒須
4	7)8)	精神障害者の生活支援の理念と概念 精神障害者の生活支援の概念	講義	黒須
5	9)10)11)	精神障害者地域生活支援システム(1) 相談援助システム	講義	黒須
6	13)	精神障害者社地域生活支援システム(2) 公的年金制度	講義	黒須
7	14)	精神障害者地域生活支援システム(3) 地域社会での住まい確保・居場所確保に必要な社会資源	講義	黒須
8	15)16)	精神障害者地域生活支援システム(4) 居住支援と居場所支援における精神保健福祉士の役割と課題	講義	黒須
9	12)	精神障害者地域生活支援システム(5) 余暇支援に関わる専門職と求められる社会資源	講義	黒須
10	17)18)	精神障害者地域生活支援システム(6) 就労の意義と障害者雇用・就労支援制度の概要①	講義	黒須

11	19)	精神障害者地域生活支援システム(7) 障害者雇用・就労支援制度の概要②	講義	黒須
12	20)	精神障害者地域生活支援システム(8) 障害者総合支援法における障害者就労支援事業	講義	黒須
13	21)22)	精神障害者地域生活支援システム(9) 雇用・就業支援の実際	講義	黒須
14	21)22)	精神障害者地域生活支援システム(11) 精神障害当事者の自立と社会参加を支援する地域生活支援システム	講義	黒須・外部 講師
15	24)	精神障害者地域生活支援システム(10) 精神障害者地域生活支援における精神保健福祉士の役割と課題	講義	黒須

教科書: ①新・精神保健福祉士養成講座7【第3版】精神障害者の生活支援システム(日本精神保健福祉士養成校協会編)中央法規出版株式会社【978-4-8058-5597-3】
②福祉小六法2018(中央法規出版株式会社)【9784805856116】

参考書: ①べてるの家の「非」援助論 そのままでいいと思えるための25章(浦河べてるの家)医学書院【4-260-33210-4】
②精神病院のない社会をめざして バザーリア伝(著:ミケーレ・ザネッティ、フランチェスコ・パルメジャーニ、その他、訳:大内紀彦、鈴木義忠)【978-4000611497】
③事例でわかるピアサポート実践 精神障害者の地域生活がひろがる(金 文美、橋本達志、村上貴栄)中央法規【978-4-8058-3966-9】

科目名: **精神保健福祉援助技術各論 I**

担当者: 黒須 依子(福・子)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 精神保健福祉士として精神保健福祉現場のニーズに対応できるソーシャルワーク技術を身に着けることを目的に、精神保健福祉援助技術各論 I では、精神保健福祉援助におけるケースワーク、グループワーク、コミュニティワークの事例、現場の精神保健福祉士の講義等を通じて、精神保健福祉援助の理念、理論、技法を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)精神保健福祉士の精神保健福祉援助理念と原則を説明できる。
 - 2)ソーシャルワークにおける生活モデルと医学モデルの相違点、及びストレングス視点の意義を説明できる。
 - 3)ケースワークの展開過程と精神保健福祉援助における面接技法を説明し説明できる。
 - 4)事例検討により、精神保健福祉士によるインテーク面接の手法を理解し説明できる。
 - 5)相談援助におけるフェースシート、アセスメントシートの記録方法を演習を通して理解し説明できる。
 - 6)ICFを活用した個別援助アセスメントを行うことができる。
 - 7)グループワークの目的と精神保健福祉士の役割を説明できる。
 - 8)ピアサポートの理念と意義及びピアサポート支援の目的・手法・留意点を説明できる。
 - 9)グループワーク理論を活用したSST(Social Skill Training)の目的、援助技法、援助の留意点を説明できる。
 - 10)精神障害者の家族が抱える問題と家族支援の意義を説明できる。
 - 11)精神保健福祉における家族支援の役割と手法を理解し説明できる。
 - 12)コミュニティワークの目的を理解し説明できる。
 - 13)地域移行支援の現状と課題を理解し説明できる。
 - 14)地域移行・定着支援体制の概要を理解し説明できる。
 - 15)地域移行支援技術における精神保健福祉士の役割と留意点を説明できる。

評価方法: 前・後期の筆記試験の結果や各講義内に実施する小テストの結果、レポート提出状況と内容、及び授業態度にて総合評価する。

準備学習・履修上の注意等: 社会福祉援助技術総論を履修済、又は履修中であることを本講義履修の条件とする。
受講生は指定テキストを、毎時間持参すること。
講義内に行う小テストに向け、授業の復習を毎時行うこと。
また、当授業に関する自主学習時間を1回の授業につき2時間以上/週設け、提出期限厳守で課題レポート作成、提出する他、講義時に指定した事例やテキスト指定内容を講読した上で、授業に臨むこと。
ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計60時間以上の自主学習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割決定後、研究室前に提示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション、精神保健福祉援助の理念(1) 「利用者主体、リカバリー、エンパワーメント、ストレングス」	講義	黒須
2	2)	個別援助理論 「医療モデルから生活モデルへ」	講義	黒須
3	3)	個別援助の手法(1) 「個別支援の過程と事例分析」	講義	黒須
4	4)	個別援助の手法(2) 「インテーク面接の手法と留意点」	講義・演習	黒須
5	5)	個別援助の手法(3) 「アセスメントの手法と留意点」	講義・演習	黒須
6	6)	個別援助の手法(4) 「フェースシートとアセスメントシートの作成法」	講義・演習	黒須
7	7)	集団援助の手法(1) 「集団援助の目的と精神保健福祉士の役割」	講義	黒須
8	8)	集団援助の手法(2) 「ピアサポート活動支援の意義と手法」	講義	黒須
9	8)	集団援助の手法(3) 「ピアサポートによる地域移行支援活動事例」	講義・演習	黒須
10	9)	集団援助の手法(4) 「SSTの目的と手法」	講義	黒須
11	1011)	精神保健福祉における家族支援 「家族が抱える問題と現状と家族支援の目的と方法」	講義	黒須
12	12)13)14)	地域援助の手法(1) 「地域援助の目的と日本の地域移行・定着支援体制」	講義	黒須
13	13)15)	地域援助の手法(2) 「チームアプローチとアウトリーチ」	講義	黒須
14	14)15)	地域援助の手法(3) 「地域移行支援における精神保健福祉士の役割」	講義	黒須
15	14)15)	地域援助の手法(4) 「地域移行支援における事例検討」	講義・演習	黒須

教科書: ①新・精神保健福祉士養成講座5【第2版】精神保健福祉の理論と相談援助の展開2(日本精神保健福祉士養成校協会:編) 中央法規【ISBN:978-4-8058-3947-8】

参考書: ①ストレングスモデル(第3版) 精神障害者のためのケースマネジメント(チャールズ・A・ラップ、リチャード・J・ゴスチャ著、田中英樹 監訳) 金剛出版【978-4-7724-1346-6】
②図説 医療保健福祉のキーワード リカバリー(野中 猛)中央法規【978-4-8058-3532-6】
③フランチェスコ・パルメジャーニ、ミケーレ・ザネッティ著 鈴木義忠、大内紀彦:訳「精神病院のない社会をめざしてバザーリア伝」

科目名: **精神保健福祉援助技術各論Ⅱ**

担当者: 黒須 依子(福・子)

配当学科: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 利用者のニーズと主体性を尊重し地域に根差した精神保健福祉援助活動を行う質の高い精神保健福祉士となるために、精神保健福祉援助技術各論Ⅱではケアマネジメントやコミュニティ・ソーシャルワークの理論、手法を修得する。また、精神障害者地域生活支援に必要な援助技法としてネットワーキング、チームアプローチ、アウトリーチ技法に関する知識を修得し、これらの技法を活用する上での精神保健福祉士の役割を理解する。

到達目標: (SBOs) 1)ケアマネジメントの発展史と目的と対象者を説明できる。
2)ストレングスモデルのケアマネジメント理論を理解し、ストレングスモデルの長所を説明できる。
3)ケアマネジメントにおけるケアプラン作成方法を理解し、ケアプランを作成できる。
4)精神保健福祉におけるコミュニティ・ソーシャルワークの意義と精神保健福祉士の役割を説明できる。
5)精神保健福祉援助でのソーシャル・サポート・ネットワークの手法と意義を説明できる。
6)ACTの理念、特徴を説明できる。
7)チームアプローチ、アウトリーチにおける精神保健福祉士の役割を説明できる。
8)チーム支援の意義とチーム支援員としてピアサポーターの役割を説明できる。
9)入院精神科医療と地域精神科医療の相違点を説明できる。
10)地域精神科医療としてのACTの位置づけと精神保健福祉士に要する援助観を説明できる。
11)地域精神保健活動の意義を説明できる。

評価方法: 20%(出席状況、授業態度、課題提出状況)、80%(定期試験、指定レポート課題提出状況、小テスト結果)を基準として総合評価する。なお、出席数が全体の6割に満たない学生の定期試験受験、指定レポート提出は認めない。

準備学習・履修上の注意等: 社会福祉援助技術総論を履修済、又は履修中であること、精神保健福祉論Ⅰ(精神保健福祉論)の受講経験者であることを本講義履修の条件とする。
受講生は指定テキストを、毎時間持参すること。
また、当授業に関する自主学習時間を1回の授業につき2時間以上/週設け、予習復習を行い、提出期限厳守で課題レポートを作成、提出する他、講義時に指定した事例やテキスト指定内容を購読した上で授業に臨むこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計60時間以上の自主学習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割決定後、提示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	ケアマネジメント(1) 「発展の歴史・定義・目的」	講義	黒須
2	2)	ケアマネジメント(2) 「ケアマネジメントの展開過程とモデル」	講義	黒須
3	3)	ケアマネジメント(3) 「アセスメントシートの作成方法」	講義	黒須
4	3)	ケアマネジメント(3) 「演習:アセスメントシートの作成」	講義・SGD	黒須
5	3)	ケアマネジメント(4) 「ケアプランの作成方法」	講義・演習	黒須
6	3)	ケアマネジメント(5) 「演習:ケアプランの作成」	講義・演習	黒須
7	3)6)	ケアマネジメント(6) 「ACTによるケアマネジメント」	講義	黒須
8	2)3)	ケアマネジメント(7) 「ストレングスモデルによるケアプラン作成」	講義・演習	黒須
9	4)	コミュニティ・ソーシャルワーク(1) 「コミュニティ・ソーシャルワークの発展過程・定義」	講義	黒須
10	4)	コミュニティ・ソーシャルワーク(2) 「コミュニティ・ソーシャルワークの目的と手法」	講義	黒須
11	4)5)	コミュニティ・ソーシャルワーク(3) 「ソーシャル・サポート・ネットワークの手法」	講義・演習	黒須
12	6)	アウトリーチ 「ACTの理念と特徴」	講義	黒須
13	6)7)8)	チームアプローチ 「訪問支援を行う精神保健福祉士の専門性と役割」	講義	黒須
14	8)9)	地域精神科医療に求められる精神保健福祉士の役割	講義	黒須
15	5)11)	地域精神保健福祉活動の意義と課題	講義	黒須

教科書: ①新・精神保健福祉士養成講座5【第2版】精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ(日本精神保健福祉士養成校協会:編)中央法規【978-4-8058-3578-8】
②精神科病院を出て、町へACTがつくる地域精神科医療(伊藤順一郎)岩波書店【978-4-00-270854-6】
(※テキスト②を精神保健福祉論Ⅰ・Ⅱ受講時に購入した学生は、新たに購入する必要はなく、購入済の図書を使用)

して下さい)

-
- 参考書: ①ストレングスモデル リカバリー志向の精神保健福祉サービス (ラップ・チャールズ・A,ゴスチャリチャード・J田中英樹 監訳) 金剛出版 【978-4-7724-1346-6】
②ACT-Kの挑戦-ACTが開く精神医療・福祉の未来(高木 俊介)批評社【978-4-8265-0485-0】
③自由こそ治療だ～イタリア精神病院解体のレポート～(ジル・シュミット著、半田文穂訳)社会評論社【4-7845-0181-9】
-

科目名: **社会心理学**

担当者: 加藤 謙介(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 本講義では、「社会」「集団」「家族」が関わる心理学領域の特徴・専門知識について、様々な個別研究事例を通して習得する。具体的には、「対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程」「人の態度及び行動」「家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響」などの小テーマから、心理学の知識を福祉分野に応用するための教養を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)「社会・集団・家族心理学」の学問的志向について説明できる。
2)対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程について説明できる。
3)人の態度及び行動について説明できる。
4)家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響について説明できる。

評価方法: 学期末の試験によって評価する。

準備学習・履修上の注意等: 【準備学習(予習・復習等)時間】毎授業後次回授業内容のポイントを示すので、事前準備を行うこと。また、毎授業後に、1コマあたり1時間を目安に、必ず講義ノートを読み返すこと。
【履修上の注意等】本講義に際しては、心理学・福祉・医療等、幅広い分野に関心を持ち、様々な講義を受講していることが望ましい。また、他の受講生の迷惑になるような行為(私語等)は厳に謹んで頂きたい。

オフィスアワー: 時間割が確定した後に研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【1】オリエンテーション 「社会」「集団」「家族」の心理学をめぐる問題群の概要について紹介する。	講義	加藤
2	2)	【2】「社会的認知」に関する個別テーマのうち、「帰属と対人認知のメカニズム」「社会的判断・推論のメカニズム」「ステレオタイプと偏見」などについて説明する。	講義	加藤
3	2)	【3】「社会的自己」に関する個別テーマのうち、「自己知識・自己概念」「自己知覚」「自己評価・自尊心の維持・高揚のメカニズム」「自己制御」「自己呈示」などについて説明する。	講義	加藤
4	2)	【4】「対人関係・対人行動」に関する個別テーマのうち、「対人魅力」「社会的交換」「協力と競争」などについて説明する。	講義	加藤
5	2)	【5】「対人関係・対人行動」に関する個別テーマのうち、「援助行動」「攻撃行動」などについて説明する。	講義	加藤
6	2)	【6】「コミュニケーション」に関する個別テーマのうち、「言語コミュニケーション」「非言語コミュニケーション」「コミュニケーション・ネットワーク」などについて説明する。	講義	加藤
7	2)	【7】「集団・組織」に関する個別テーマのうち、「所属・成員性」「集団への同調」「内集団ひいき」「集団内の地位とリーダーシップ」などについて説明する。	講義	加藤
8	3)	【8】「態度の機能と構造」に関する個別テーマのうち、「態度の形成と機能」「態度の構造と変化」「態度と行動の一貫性」などについて説明する。	講義	加藤
9	3)	【9】「説得による態度と行動の変化」に関する個別テーマのうち、「送り手の要因」「メッセージの要因」「受け手の要因」「状況の要因」「態度変化のモデル」「説得への抵抗」などについて説明する。	講義	加藤
10	4)	【10】「家族の機能」に関する個別テーマのうち、「性に関わる機能」「子どもの社会化に関わる機能」「情緒に関わる機能」などについて説明する。	講義	加藤
11	4)	【11】「家族内の関係」に関する個別テーマのうち、「家族システム」「夫婦関係」「親子関係」「きょうだい関係」「家族の発達段階」などについて説明する。	講義	加藤
12	4)	【12】「集団・組織の影響」に関する個別テーマのうち、「情報的影響と規範的影響」「集団凝集性」などについて説明する。	講義	加藤
13	4)	【13】「集団・組織の影響」に関する個別テーマのうち、「組織規範と組織文化」などについて説明する。	講義	加藤
14	4)	【14】「文化の影響」に関する個別テーマのうち、「規範」「慣習・習慣」「制度」「相互構成的な文化的存在としての人間」などについて説明する。	講義	加藤
		【15】「文化の影響」に関する個別テーマのうち、「子どもの養育と発達」「異文化接		

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床心理学**

担当者: 前田 直樹(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 急激な社会の変化にともなって、人々の心の健康に様々な問題が生じている。臨床心理学は心理的問題の解決や援助に携わる理論的研究と実践に関する心理学の応用分野である。この講義では臨床心理学の基礎的な理論と実践について幅広く学習する。

到達目標: (SBOs) 1)臨床心理学が様々な心理の考え方で成り立っていることを理解する。
2)臨床心理学と臨床心理士について理解する。
3)臨床心理学におけるアセスメントについて理解できる。
4)各種心理療法を理解できる。
5)神経症、心身症、精神病の違いを理解できる。

評価方法: 筆記試験

準備学習・履修上の注意等: 臨床心理学を自ら積極的に学習しようとする姿勢。

オフィスアワー: 毎週月曜 18:00-18:30

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	(臨床心理学とは) ○臨床心理学の定義、理論、歴史などを理解する。	講義	前田
2	2)	(臨床心理学と臨床心理士) ○心理臨床の現場で働く臨床心理士の援助活動について理解する。	講義	前田
3	1)4)	(臨床心理学の考え方①) ○精神力動的立場の理論・技法を理解する。	講義	前田
4	1)4)	(臨床心理学の考え方②) ○人間性心理学の立場の理論・技法を理解する。	講義	前田
5	1)	(臨床心理学の考え方③) ○行動理論的立場の理論・技法を理解する。	講義	前田
6	1)4)	(臨床心理学の考え方④) ○近年台頭している認知療法的立場の理論・技法を理解する。	講義	前田
7	3)	(臨床心理アセスメント①) ○アセスメントの基礎、アセスメント面接について理解する。	講義	前田
8	3)	(臨床心理アセスメント②) ○アセスメントにおける質問紙法について理解する。	講義	前田
9	3)	(臨床心理アセスメント③) ○アセスメントにおける投影法について理解する。	講義	前田
10	3)	(臨床心理アセスメント④) ○各種知能検査について理解する。	講義	前田
11	3)	(臨床心理アセスメント⑤) ○機能アセスメントについて理解する。	講義	前田
12	5)	(臨床心理学と心の健康①) ○神経症に対する臨床心理的援助について理解する。	講義	前田
13	5)	(臨床心理学と心の健康②) ○心身症に対する臨床心理的援助について理解する。	講義	前田
14	5)	(臨床心理学と心の健康③) ○様々な精神疾患に対する臨床心理的支援について理解する。	講義	前田
15	1)2)3)4)5)	(総括) ○これまで学習したことを総括し、臨床心理学の基礎的知識を身につける。	講義	前田

教科書: 使用しない。

参考書: 図解雑学 臨床心理学 ナツメ社

科目名: **臨床社会心理学**

担当者: 三宅 邦建(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・動物療法専攻・臨床心理専攻(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 社会心理学の視点から健康・適応の問題を学ぶ。社会心理学の帰属理論でうつ症の発生と維持、自己注目理論で統合失調症の症状を説明できることを学ぶ。これらの学習を、日常生活での自らの適応、他者への助言に生かすことができるようになる。

到達目標: (SBOs) 1)社会心理学と臨床心理学の領域、方法を対比して整理できる。
2)帰属とは何か、行為がどのようなときに内的属性と対応すると判断されるかを説明できる。
3)ケリーの理論では帰属とは合理的な判断プロセスであることを修得する。
4)帰属の3次元を例を上げて説明できる。
5)自己中心的な帰属を例を上げて説明でき、偏向的な帰属は適応的であることを説明できる。
6)学習性無力感理論の実験を整理し失敗体験の繰り返ししが抑うつにつながる過程、抑うつの帰属スタイルを説明できる。
7)自己の二面性、私的自己意識、公的自己意識の違いを整理できる。
8)抑うつの自己注目スタイルを修得する。
9)統合失調症の自我障害を自己注目理論を使って説明できる。

評価方法: 受講態度と学期末試験で評価する

準備学習・履修上の注意等: 毎回の授業に対して最低1時間の復習をして理解を確実にしておくこと。

オフィスアワー: 担当者の研究室(518号)に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	臨床社会心理学とは	講義	三宅
2	2)	帰属理論を学ぶ#1 帰属理論の基礎(対応推論理論)を学ぶ	講義	三宅
3	3)	帰属理論を学ぶ#2 ケリーの共変理論を学ぶ	講義	三宅
4	4)	帰属理論を学ぶ#3 帰属の3次元(統制の位置、安定性、統制可能性)を学ぶ	講義	三宅
5	2)~5)	帰属理論を学ぶ#4 達成動機と帰属のさまざまなバイアス	講義	三宅
6	6)	抑うつを帰属理論で説明する#1 抑うつとはなにか、抑うつの発生と学習性無力感理論	講義	三宅
7	6)	抑うつを帰属理論で説明する#2 改訂学習性無力感理論 抑うつの帰属スタイル	講義	三宅
8	6)	抑うつを帰属理論で説明する#3 Attributional Style Questionnaire (ASQ)を通してうつ症の罹患可能性(vulnerability to depression)の概念を整理	講義	三宅
9	2)~6)	対人不安、孤独感、被害妄想などの不適応行動を帰属理論で説明する 抑うつ以外の不適応行動も帰属理論で説明できることを理解する	講義	三宅
10	7)	自己注目理論#1 自己の二面性、自己注目理論の基礎	講義	三宅
11	8)	自己注目理論#2 自己注目と行動との関連性を理解する	講義	三宅
12	5)~9)	抑うつを自己注目理論で説明する	講義	三宅
13	7)~9)	統合失調症を自己注目理論で説明する#1 統合失調症の主観的世界、自我障害	講義	三宅
14	7)~9)	統合失調症を自己注目理論で説明する#2 統合失調症、自我障害、公的自己意識の肥大化	講義	三宅
15	7)~9)	統合失調症の治療方法 自閉療法の可能性	講義	三宅

教科書: はじめての臨床社会心理学 (坂本 真士・佐藤 健二) 有斐閣 【4-641-07681-2】

参考書: なし

科目名: **基礎カウンセリング I**

担当者: 田中 陽子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: カウンセリングは、問題を抱えて、その問題を一人で解決できずに悩んでいる人(クライアント)が、カウンセラー(相談を受ける専門家)と協力し合って、クライアントの抱えている問題を解決することを目指すものである。そのため、カウンセラーには、カウンセリングについての様々な知識が必要である。本講義では、カウンセリングの基礎的な知識を習得することを目指す。

到達目標: (SBOs) 1)カウンセリングの基本姿勢、クライアントとカウンセラーの関係について理解する。
2)カウンセリングの導入について理解する。
3)クライアントが抱く不安を理解し、その緩和への配慮について理解する。
4)基本的なカウンセリング技法の意義と効果について理解する。
5)言語によるコミュニケーションと非言語によるコミュニケーションについて理解する。

評価方法: 授業中のワークの参加状況と課されたレポート等20%および学期末の単位認定試験80%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: ・受講する学生は、積極的に講義中の(グループ)ワーク等に参加することが求められる。
・1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 研究室前に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	カウンセリングとは、何か	講義	田中
2	1)4)	カウンセリングの基礎的技法について	講義	田中
3	1)2)3)	カウンセラーに対する不安および心理的防御の緩和について	講義	田中
4	1)2)3)	カウンセリングに対する不安および心理的防御の緩和の方法	講義	田中
5	1)5)	非言語コミュニケーションの重要性について	講義	田中
6	5)	非言語的メッセージとは	講義	田中
7	1)2)4)	閉ざされた質問と開かれた質問	講義	田中
8	1)3)4)	完全質問と不完全質問	講義	田中
9	1)4)	基本的応答技法と必要最小限の言語化	講義	田中
10	1)4)	繰り返し技法	講義	田中
11	1)4)	言い換え技法・要約技法	講義	田中
12	1)4)	カウンセリングにおける感情の反映	講義	田中
13	1)4)	聴く態度と客観的理解を妨げるもの	講義	田中
14	1)2)3)4)	カウンセラーが守るべき諸態度について	講義	田中
15	1)2)3)4)	カウンセリングの実践について	講義	田中

教科書: 『カウンセリング実践への道』(高山 巖・園田 順一) 角川学芸出版【404-651599-6】

参考書: 講義内で適宜紹介

科目名: **基礎カウンセリングⅡ**

担当者: 前田 直樹(福・福)、田中 陽子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: カウンセリングは、問題を抱えているクライアントがカウンセラーと協力し合って、クライアントの抱えている問題を解決することを目指すものである。そのさまざまな問題の解決のためには、心のメカニズムや問題・障害などについての心理学的な知識と対象の理解が必要である。本講義では、カウンセリングの対象について、基礎的な知識を習得することを目指す。

到達目標: (SBOs) 1)カウンセリングの基礎である臨床心理学について理解する。
2)心の問題について説明できる。
3)心理援助の基礎理論について説明できる。
4)心理アセスメントの基礎について説明できる。
5)心理療法の基礎について説明できる。

評価方法: 授業中に課されたレポート等10%および学期末の確認テスト90%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: カウンセリングⅠを受講していること。

オフィスアワー: 研究室前に掲示。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【カウンセリングの基礎】 援助のためのカウンセリング	講義	前田・田中
2	2)	【心の病①】 心身症	講義	前田・田中
3	2)	【心の病②】 神経症1	講義	前田・田中
4	2)	【心の病③】 神経症2	講義	前田・田中
5	2)	【心の病④】 精神病1	講義	前田・田中
6	2)	【心の病⑤】 精神病2	講義	前田・田中
7	2)	【心の病⑥】 精神病3	講義	前田・田中
8	2)	【心理援助の実際⑦】 発達障害	講義	前田・田中
9	1)3)	【心理援助の実際⑧】 来談者中心法	講義	前田・田中
10	1)3)	【心理援助の実際⑨】 精神分析	講義	前田・田中
11	1)2)4)	【心理援助の実際⑩】 行動療法	講義	前田・田中
12	1)2)3)4)5)	【心理援助の実際⑪】 認知行動療法	講義	前田・田中
13	1)2)3)4)5)	【心理援助の実際⑫】 森田療法	講義	前田・田中
14	1)2)3)4)5)	【心理援助の実際⑬】 家族療法	講義	前田・田中
15	1)2)3)4)5)	総括	講義	前田・田中

教科書: 使用しない。

参考書: 講義内で適宜紹介

科目名: **福祉カウンセリング**

担当者: 有木 正浩(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉専攻、動物療法専攻、福祉ビジネス専攻、臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 1、福祉分野でカウンセリングをおこなう場合、必要な対象に関する知識やカウンセリングの方法について習得する。

到達目標: (SBOs) 1)福祉分野の体系を説明できる。
2)それぞれの福祉分野における対象者の特性を説明できる。
3)福祉分野でカウンセリングをおこなう場合、必要な対象に関する知識を説明でき、基本的な福祉カウンセリングを実施できる。

評価方法: 授業に取り組む姿勢、課されたレポートと、後期試験の点数で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: すでに心理学やカウンセリングに関する講義を受講していることが望ましい。

オフィスアワー: 講義前後の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【福祉カウンセリングとは何か】 社会福祉と臨床心理学の関係、福祉分野でのカウンセリングについて理解し、その意義や役割などを習得する。	講義	有木
2	1)	【福祉カウンセリングとは何か】 社会福祉の中でカウンセリングを行うための、基礎的な臨床心理学について理解する。	講義	有木
3	2)	【福祉カウンセリングとは何か】 社会福祉の中でカウンセリングを行うための、基礎的な臨床心理学について理解する。	講義	有木
4	2)3)	【子どもの福祉カウンセリング(1)】 児童福祉の要である児童相談所などでの臨床心理の役割と、子どもの発達やさまざまな環境下での心理状態を理解する。	講義	有木
5	2)	【子どもの福祉カウンセリング(2)】 児童虐待の状況や原因、対応について臨床心理の立場から理解する	講義	有木
6	2)3)	【子どもの福祉カウンセリング(3)】 非行について理解と矯正の枠組、カウンセリングの方法を習得する。	講義	有木
7	2)3)	【子どもの福祉カウンセリング(4)】 不登校についての理解と対応について習得する。	講義	有木
8	2)3)	【子どもの福祉カウンセリング(5)】 障害児(知的・情緒・肢体不自由)の特性及び検査法を理解する。	講義	有木
9	2)3)	【子どもの福祉カウンセリング(6)】 発達障害児の理解と対応について習得する。	講義	有木
10	2)3)	【障害者の福祉カウンセリング(1)】 身体障害者の特性を理解するとともに、福祉カウンセリングの方法を習得する。	講義	有木
11	2)3)	【障害者の福祉カウンセリング(2)】 知的・精神障害者を理解するとともに、福祉カウンセリングの方法を習得する。	講義	有木
12	2)3)	【高齢者の福祉カウンセリング(1)】 高齢者福祉と高齢者の心理特性についての理解と対応を習得する。	講義	有木
13	2)3)	【高齢者の福祉カウンセリング(2)】 認知症の理解と福祉カウンセリングについて習得する。	講義	有木
14	2)3)	【家族の福祉と福祉カウンセリング】 家族の発達、構造、機能、支援などについて、福祉カウンセリングの方法を習得する。	講義	有木

15 1)2)3) 【福祉カウンセリング演習】
さまざまな福祉現場を想定して、実践的な演習を行う。

講義

有木

教科書： 未定 決定次第公開する

参考書： 使用しない。

科目名: 動物人間関係学

担当者: 加藤 謙介(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 本講義では、「アニマル・セラピー」の実践に關与する福祉専門職になるために、「人間と動物の關係」をめぐる様々な事柄・問題についての正しい理解を深め、幅広く専門知識を習得する。具体的には、「アニマル・セラピー」「ペットという關係」「動物觀」「動物の權利・動物の福祉」「人と動物の共生」などの小テーマについて学習する。その上で、人間と動物の關係を福祉分野で活用するための知識を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)いわゆる「アニマル・セラピー」の特徴と意義について説明できる。
2)「人間と動物の關係」の特徴・多様性を説明できる。
3)「人間と動物の關係」の具体例を列挙できる。
4)「人間と動物の關係」を支える「動物觀」の特徴について説明できる。
5)「人間と動物の關係」をめぐる諸問題について、特徴と課題を説明できる。

評価方法: 学期末の試験によって評価する。

準備学習・履修上の注意等: 【準備学習(予習・復習等)時間】毎授業後次回授業内容のポイントを示すので、事前準備を行うこと。また、毎授業後に、1コマあたり1時間を目安に、必ず講義ノートを読み返すこと。
【履修上の注意等】本講義に際しては、心理学・福祉・医療等、幅広い分野に関心をもち、様々な講義を受講していることが望ましい。また、他の受講生の迷惑になるような行為(私語等)は厳に謹んで頂きたい。

オフィスアワー: 時間割が確定した後に研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	5)	【1】イントロダクション 「人間と動物の關係」に関する問題群の概要について説明する。	講義	加藤
2	1)	【2】『アニマル・セラピー』とは何か?(1) いわゆる「アニマル・セラピー」の定義・歴史等について説明する。	講義	加藤
3	1)	【3】『アニマル・セラピー』とは何か?(2) いわゆる「アニマル・セラピー」の対象者・効果等について説明する。	講義	加藤
4	1)	【4】『アニマル・セラピー』とは何か?(3) いわゆる「アニマル・セラピー」に関する理論的觀點について説明する。	講義	加藤
5	2)3)	【5】ワークショップ『人間と動物の關係とは?』(1) 「人間と動物の關係」の種類について、「動詞」で考え、グループ・ディスカッションを行う。	SGD	加藤
6	2)3)	【6】ワークショップ『人間と動物の關係とは?』(2) 「人間と動物の關係」の多様性を列挙する。	講義	加藤
7	4)	【7】日本の動物觀(1) 人間と動物の關係の基礎となる「動物觀」について説明する。	講義	加藤
8	4)	【8】日本の動物觀(2) 日本における動物觀の特徴について、宗教的觀點から説明する。	講義	加藤
9	4)	【9】日本の動物觀(3) 日本における動物觀の特徴について、歴史的觀點から説明する。	講義	加藤
10	4)	【10】キリスト教文化圏の動物觀(1) キリスト教文化圏における動物觀の特徴について、歴史的觀點から説明する。	講義	加藤
11	4)	【11】キリスト教文化圏の動物觀(2) キリスト教文化圏における動物觀の特徴について、思想的觀點から説明する。	講義	加藤
12	5)	【12】動物の權利・福祉 「動物の權利」「動物の福祉」「動物愛護」の特徴と差異について説明する。	講義	加藤
13	5)	【13】人と動物の『共生』(1) 人間と動物の「共生」に関する理論的視點・問題点について説明する。	講義	加藤
14	5)	【14】人と動物の『共生』(2) 都市部での人間と動物の「共生」の課題と展望について、「地域猫」活動の事例をもとに説明する。	講義	加藤

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **動物行動学**

担当者: 山口 光昭(非常勤講師)

配当学科: 臨床心理専攻(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 動物介在活動に関わる動物を対象として、必要最低限の生理学、解剖学から、起源、生活様式からその行動、習性、生態を理解するための基本概念、社会化、行動問題、行動問題への対処法、動物種間の行動比較などの理解を深めること。

到達目標: 1)動物介在活動に関わる動物の構造・生態を理解することができる。
(SBOs) 2)人の社会と共存していくための社会化、行動問題、行動問題への対処法を理解することができる。

評価方法: 受講態度、期末試験により評価する。

準備学習・履修上の注意等: 予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	【イントロダクション／各動物の比較生理・解剖学】 動物行動学の歴史、各動物の生理・解剖学を理解できる。	講義	山口
2	1)2)	【進化と家畜化】 進化の中でなぜ人に飼育されるようになったのか、犬と猫の歴史を学ぶことができる。	講義	山口
3	1)2)	【栄養学・衛生学】 主に犬と猫の栄養学及び、動物飼育時の消毒を中心とした衛生学を身につけることができる。	講義	山口
4	1)2)	【発達行動学 猫】 生まれてから成猫となるまでに行動様式がどのように変わるのかを理解できる。	講義	山口
5	1)2)	【発達行動学 犬】 生まれてから成犬になるまでの行動様式を学びネコ科の動物との違いを確認できる。	講義	山口
6	1)2)	【社会的行動学 猫】 単独行動を行う猫科動物の行動を野生猫科動物や野良猫の行動様式から理解できる。	講義	山口
7	1)2)	【社会的行動学 犬】 基本的に群れで生活する生物の代表である犬の行動様式を犬、狼、コヨーテなどと比較して行動様式を理解できる。	講義	山口
8	1)2)	【摂食行動・人と動物の関係】 主に犬・猫の摂食・飲水・嗜好性を理解することと、責任ある飼育となれる。	講義	山口
9	1)2)	【子犬のしつけ】 動物が人間社会に適応しお互い良い関係で暮らすための一歩を学ぶ。	講義	山口
10	1)2)	【子犬の問題行動・対処法①】 仔犬における一般的に問題となる攻撃行動パターンとその対処法を学んでいく。	講義	山口
11	1)2)	【子犬の問題行動・対処法②】 咬む行動パターン以外の問題行動とその対処法を理解できる。	講義	山口
12	1)2)	【行動対処の基本】 基礎訓練の方法・行動修正法の基本ができる。	講義	山口
13	1)2)	【成犬の問題行動と対処法①】 将来に生かせるように、さまざまな攻撃行動の原因・症状と対処法を学ぶことができる。	講義	山口
14	1)2)	【成犬の問題行動と対処法②】 攻撃行動以外で問題となる不安行動や、動物が長生きするようになって問題となってきている老齢性認知障害などの対処法を説明できる。	講義	山口

教科書: 使用しない。

参考書: THE WALTHAM BOOK 犬と猫の行動学 (Chris Thorne(山崎 恵子・鷺巣 月美 訳) インターズー【4-900573-49-3 C3047】

科目名: **心理学研究法**

担当者: 三宅 邦建(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 心理学研究法の基礎を学ぶ。特に、心理・福祉分野で頻繁に用いられる観察法と質問紙法を中心に学ぶことになる。研究法の基礎を学び、実際の研究に役立たせることができる。

到達目標: (SBOs) 1)日常生活の出来事から疑問を作り、発想の柔軟性、視点を変化させることの重要性を体験する。
2)観察法の特徴、長所と短所、留意点を整理できる。
3)時間見本法とそのバリエーションについて学び、それぞれの方法の特徴を整理できる。
4)参与観察法における観察者と対象者との関係を他の観察法のそれと比較して整理できる。
5)質問紙法を観察法と対比してその特徴を整理できる。
6)ワーディング、回答様式など質問紙作成の実際的な知識を習得する。
7)信頼性と妥当性の概念と種類を記述できる。
8)心理尺度の特徴と他の「アンケート質問紙」の違いを説明できる。
9)実験法の概要を説明でき、観察法や質問紙法と特徴を対比できる。
10)研究倫理について説明できる。

評価方法: 受講態度と学期末試験で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 一回の授業に対して最低1時間は復習して下さい。

オフィスアワー: 担当者の研究室(518号)に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	心理学研究法の概要 レジメ#1~3 心理学研究の特徴、学習と研究の違い	講義	三宅
2	1)	心理学研究法の概要 レジメ#1~3 研究の基礎はギモンを持つことにあり	講義	三宅
3	1)	疑問を学ぶ レジメ#1~3 日常生活の出来事から疑問を作り、発想の柔軟性、視点を変化させることの重要性を体験する。	演習	三宅
4	2)	観察法 レジメ4 観察法の概要 観察法の概要	講義	三宅
5	2)3)	観察法 レジメ5 第2章 時間見本法とそのバリエーション	講義	三宅
6	3)4)	観察法 レジメ6と7 第2章 事象見本法 と 第3章 参与観察法	講義	三宅
7	3)4)	観察法 レジメ6と7 第2章 事象見本法 と 第3章 参与観察法	講義	三宅
8	5)	質問紙法 レジメ8 質問紙法の概要を知る	講義	三宅
9	5)6)	質問紙法 レジメ8 質問紙作成の実際的な知識	講義	三宅
10	7)	質問紙法 レジメ9 心理尺度の特徴	講義	三宅
11	7)	質問紙法 レジメ9 心理尺度の特徴と信頼性	講義	三宅
12	5)~8)	質問紙法 質問紙項目の作成	講義	三宅
13	9)	実験法 レジメ10 実験法の概要	講義	三宅
14	9)	実験法 レジメ10 実験デザインの基礎知識と因果関係の推測	講義	三宅
15	1)~9)	観察法、質問紙法、実験法の比較 特徴や長所・短所を整理できる。	講義	三宅

教科書: 心理学マニュアル 観察法 (中澤・大野木・南 編著) 北大路書房【4-7628-2076-8】
心理学マニュアル 質問紙法 北大路書房【4-7628-2109-9】

参考書: 使用しない。

科目名: **心理統計学**

担当者: 三宅 邦建(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(1年)

必修・選択: 選択

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: この科目の目的は、学生が統計学の基礎と実務的な知識を習得することにある。学生は将来の進路(福祉関連の仕事など)に役立つ実践的な統計の知識を得、学期終了後には簡単な統計分析を独力でできることが期待される。データについての基礎知識、集団の特徴を表す統計量、標準得点、さらには関連性・相関係数について学ぶ。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)統計学とはなにかを説明できる。
 - 2)データの特徴を説明でき、4つの尺度を実際のデータで区別できる。
 - 3)度数分布表をデータから作成できる。
 - 4)集団の特徴を表す代表値の区別ができ、簡単な計算が出来る。
 - 5)度数分布表をグラフ化し、度数分布多角形、度数分布曲線とその意味の理解へと発展させることができる。
 - 6)標準偏差の意味を理解し、計算できる。
 - 7)標準得点の意味と得点の標準化の必要性を理解する。
 - 8)正規分布の概念を理解し、標準正規分布表を用い得点の相対的位置を計算できる。
 - 9)標準偏差と標準得点を日常生活に応用できる。
 - 10)データ表からクロス集計表を作成し、2変数の関係を記述できる。
 - 11)ピアソン相関係数の基礎と特徴を説明できる。

評価方法: 受講態度と学期末試験で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 基礎統計学と心理統計学はどちらか一つしか履修できません。認定心理士取得希望者は「心理統計学」を受講のこと。統計学は毎回の授業の積み重ねなので、解らないままにしないで、毎回の授業に対して最低1時間は復習して下さい。

オフィスアワー: 担当者の研究室(518号)に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション 統計学とはなにか	講義	三宅
2	1)2)	データのまとめ方 #1 データの特徴と尺度法	講義	三宅
3	3)	データのまとめ方 #2 単純集計と度数分布表	講義	三宅
4	4)	データのまとめ方 #3 3つの代表値と平均値の計算	講義	三宅
5	4)	データのまとめ方 #4 3つの代表値と中央値の計算	講義	三宅
6	5)	データのまとめ方 #5 グラフとデータの視覚化	講義	三宅
7	6)	標準偏差の意味	講義	三宅
8	7)	標準得点 #1 標準正規分布とその利用	講義	三宅
9	7)	標準得点 #2 標準正規分布表と得点の相対的位置	講義	三宅
10	7)	標準得点 #3 標準正規分布表活用の応用	講義	三宅
11	10)	二変数の関係を調べる #1 クロス集計表の作成	講義	三宅
12	10)	二変数の関係を調べる #2 クロス集計表の解釈	講義	三宅
13	11)	二変数の関係を調べる #3 相関係数 プロット図と二変数の関係	講義	三宅
14	11)	二変数の関係を調べる #4 相関係数 ピアソン相関係数の基礎と特徴	講義	三宅
15	11)	二変数の関係を調べる #5 相関係数 「統計的関係」と日常生活	講義	三宅

教科書: 統計学なんて楽勝だ 第2版 (三宅邦建)

参考書: なし

科目名: 児童社会学

担当者: 登坂 学(保・工)

配当学科: 臨床福祉学科・子ども保育福祉学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 子どもにとって現代とはどのような時代であるかを考えること。これこそ学生が本講義において取り組むテーマである。子どもは、自己・他者・社会を知ることによって大人になっていく。しかしそのプロセスを阻害するものが社会にあるのでは？それは何だろうか？その背景は？我々が保障すべきは、子どもが成長するための「最善の利益」だ。では、子ども時代をより価値のあるものにするために、我々はどのように行動すべきか？逆に子ども自身はどのように生きていくべきか？このような「問い」を大切に、考えつつ、学生自身が社会の仕組みを理解することができるようになる。この思考体験により、将来の保育・教育活動に深み加わらるだろう。

到達目標: (SBOs) 1)子どもをとりまく環境を考察するためのまざまな視点を理解し説明できる。
2)子どもに関わる諸問題が発生する社会環境や構造を冷静に観察することができ、単純な自己責任論から距離を置きつつ分析・発言することができる。
3)ディスカッションやグループワーク、全体発表等の機会を通じて自分の意見を率直に表明できる。さらには他者の意見とすり合わせを行ったうえで建設的議論を行うことができるようになる。
4)様々な問題を乗り越えようとする子どもの姿を描写した映画やルポルタージュの視聴及び解釈により、上記の「問い」の考察のためのヒントを掴み、自分なりに考えを表明できるようになる。

評価方法: 平常点: 授業への参加態度、提出物等の評価(50%) + 総括課題(50%)で総合的に判定する。

準備学習・履修上の注意等: 通常の講義だけでなく、個人課題及びグループワーク、ディスカッション等、参加型のコンテンツもあるため、何よりも主体的な参加姿勢及び貢献が求められる。なお、毎回最低1時間の予習・復習が必要である。

オフィスアワー: 火曜12:30-13:00、水曜12:30-13:00、木曜12:30-13:00。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	【授業のガイダンス】【子どもにとって「自分」とは】子どものアイデンティティを考えるうえで大切なものに「名前」がある。関連事案をつづいて名前の重要性を理解したうえで、自己紹介できる。	講義	登坂
2	1)2)3)	【子どもにとって「年齢」とは】年齢によってできること(許されること)、できないこと(許されないこと)があるが、その事例や論拠について批判的に考察し、意見を述べることができる。	講義	登坂
3	1)2)3)	【子どもにとって「住所」とは】居住地や住環境は子どもの人生を左右する重大事だ。身近な「場所」が子どもの成長にどのような意味を持つのか理解し、支援方法を説明できる。	講義	登坂
4	4)	【映像資料に学ぶ「子どもと社会」(その1)】: 上述の「問い」についての思考に大きなヒントを与えてくれる映画やルポルタージュ等映像資料を視聴することにより、思考を深化し、感想を述べられる。	視聴	登坂
5	1)2)3)	【子どもにとって「家族」とは】様々な理由により家庭における平穏な生活が保障されない子どもも多い。問題の背景を理解したうえで子どもの利益を守る方法を説明できる。	講義	登坂
6	1)2)3)	【子どもにとって「性別」とは】「ジェンダー」の概念及び事案を理解したうえで、保育・幼児教育現場に存在するジェンダーを認識し、適切な行動をとることができるようになる。	講義	登坂
7	1)2)3)	【子どもにとって「死別」とは】近い者やペットとの死別は悲しい出来事であるが、「死=タブー」ではなく、成長のための積極的機会でもあることを理解し、どのように向き合うか意見表明できる。	講義	登坂
8	4)	【映像資料に学ぶ「子どもと社会」(その2)】: 上述の「問い」についての思考に大きなヒントを与えてくれる映画やルポルタージュ等映像資料を視聴することにより、思考を深化し、感想を述べられる。	視聴	登坂
9	1)2)3)	【子どもにとって「社会」とは】ルールを守り、他者と関係しネットワークを構築することが大人になるための重要なプロセス(社会化)であることを理解したうえで、実際の支援方法を考察できる。	講義	登坂
10	1)2)3)	【子どもにとって「学校」とは】学校は子どもの社会化を促す場。教師は大人の代弁者であり、その出会いが子どもたちを成長させていく。学校構造の理解のうえで理想とする教師像を表現できる。	講義	登坂
11	1)2)3)	【子どもにとって「友人」とは】友達は貴重なものだが、いじめやピア・プレッシャーのため、傷ついている子どもたちがいる。典型事案やそのようなことが起こる背景を理	講義	登坂

解し、支援方法を提言できる。

- | | | | |
|----|--------|--|----|
| 12 | 4) | 【映像資料に学ぶ「子どもと社会」(その3)】: 上述の「問い」についての思考に大きな視聴
ヒントを与えてくれる映画やルポルタージュ等映像資料を視聴することにより、思考
を深化し、感想を述べられる。 | 登坂 |
| 13 | 1)2)3) | 【子どもにとって「恋愛」とは】子どもの成長において「性」は避けて通れないテーマで
ある。保育者としてこの問題にどのようにアプローチし、「自分を大切にする」方法を
伝えられるか表現できる。 | 登坂 |
| 14 | 1)2)3) | 【子どもにとって「職業」とは】パンのためだけに働くのではない。職業は自分を確認
する手段でもある。職業へのアプローチは成長の過程であることを理解し、支援の方
法を説明できる。 | 登坂 |
| 15 | 1)2)3) | 【子どもにとって「国家」とは】国家は如何にして子どもに国家自身を認識させてきた
のかを戦前・戦後の比較を通じて理解し、どのように穏健な国家観を育てたらよいか
意見を表明できる。 | 登坂 |

教科書: 特に指定しない。

参考書: 講義において適宜指示する。

科目名: **生活環境福祉論**

担当者: 三宮 基裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 【授業の概要】

日本の住宅の問題、住宅改修のプロセスと具体的な改修方法、そして関係する法律や助成制度について学ぶ。

【一般目標(GIO)】

身体に障害のある方や加齢等により心身機能が低下した方が住宅で生活する時の生活環境上の問題を認識し、将来、福祉職として必要となる生活環境整備の基本的知識を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)住環境整備の意義を理解し、住環境整備における福祉職の役割を説明できる。
 - 2)住環境整備に関わる基本的な用語を理解し、説明ができる。
 - 3)住環境整備のプロセスとそれに関わる専門職を理解し、それぞれの役割が説明できる。
 - 4)関連する法制度を理解し、制度活用のプロセスが説明できる。
 - 5)建築図面を読み取り簡単な平面図が描ける。
 - 6)高齢者や障がいのある方の生活において生じる日本住宅の問題が列挙できる。
 - 7)住環境整備の方法が列挙できる。
 - 8)住環境整備の方法を立案できる。

評価方法: 毎時間の受講態度と期末試験の点数で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 参考書に準拠して講義を進めるので、必要に応じて購入しておくこと。
積極的な受講態度で臨むこと。
1回の授業につき4時間を目安に予習・復習をおこなうこと。

オフィスアワー: 研究室在室時は、原則、常時対応

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	住環境整備の意義	講義	三宮
2	2)	ノーマライゼーションとリハビリテーション	講義	三宮
3	2)	バリアフリーとユニバーサルデザイン	講義	三宮
4	3)	住環境整備のプロセス	講義	三宮
5	4)	介護保険制度と住環境整備	講義	三宮
6	5)	住宅図面の読み取りと作図法	講義・演習	三宮
7	6)	日本住宅の問題と住環境整備	講義	三宮
8	4)5)7)	移動空間の整備①(移動に関わる福祉用具)	講義	三宮
9	4)5)7)	移動空間の整備②(アプローチ、玄関、廊下、階段)	講義	三宮
10	4)5)7)	トイレ空間の整備①(排泄に関わる福祉用具)	講義	三宮
11	4)5)7)	トイレ空間の整備②(手すり、段差解消、便座、スペース)	講義	三宮
12	4)5)7)	浴室空間の整備①(入浴に関わる福祉用具)	講義	三宮
13	4)5)7)	浴室空間の整備②(手すり、段差解消、浴槽)	講義	三宮
14	5)7)8)	住環境整備の提案①(サンタリー空間の環境整備)	講義・演習	三宮
15	5)7)8)	住環境整備の提案②(戸建住宅の環境整備)	講義・演習	三宮

教科書: 使用しない

参考書: 改訂4版 福祉住環境コーディネーター3級公式テキスト (東京商工会議所 編) 東京商工会議所 【978-4924547599】

科目名: **障害の理解Ⅱ**

担当者: 清水 径子(福・福) 稲田 弘子(福・福) 貫 優美子(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 我が国の障害者施策をめぐる状況は大きく変化した。障害者自立支援法の成立にともない、障害者福祉サービスの利用の仕組みはかわり、さらにサービス内容と質の充実が求められるようになった。障害者施策の対象は高齢化に伴い増加し幅広い年齢層にわたり障害の種類も多様化している。講義では、「障害の構造的理解」が提起され、ICIDHからICFへと進展してきた過程を正しく学習し、その実践的意味も十分理解し、その「考え方」を基本として個々の障害(例えば、視覚障害、聴覚障害や知的障害など)について生理的、病的及び心理的な側面からその特徴を正しく理解する。また、障がいのある人との交流や性格上の様々なことを理解し、さらに障がい者本人のみならず、家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を学習する。障がいのある人の心理や生活上の問題点などを具体的に学習するとともに、家族への支援、チームアプローチの必要性や地域での介護支援資源の探求、介護支援システムの構築などについての学習を深める。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 障害種別ごとの障害の特性や人数の推移が説明できる。
 - 2) 障害種別に応じた生活の実情とニーズが説明できる。
 - 3) 国際障害概念の考え方と限界について、その改正版とされる国際生活機能分類について説明できる。
 - 4) 障害者施策の基本理念が説明できる。
 - 5) 障害者総合支援法の成立の背景とサービス内容が説明できる。
 - 6) 制度の利用・認定の仕組み、費用負担の仕組み、国保連の位置づけが説明できる。
 - 7) サービス体系及び事業内容が説明できる。
 - 8) 自立支援医療、補装具について説明できる。
 - 9) 市町村・都道府県・国・指定サービス事業者の役割が説明できる。
 - 10) 障害者の関連施策を理解し、説明できる。
 - 11) それぞれの障害の種類について原因と特性を理解し、説明できる。
 - 12) 地域におけるサポート体制、チームアプローチを理解し、その方法について説明できる。
 - 13) 家族への支援について考えることができる。

評価方法: 定期試験により評価する。

準備学習・履修上の注意等: 介護福祉士の資格取得を希望する場合は必修である。
1回の授業につき、4時間を目安に予習・復習等を行うこと。
与えられた課題に取り組み、提出期限を守ること。

オフィスアワー: 各自、研究室前等に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	【我が国の障害者福祉の歴史】我が国の障害者施策の発展の歴史を理解する。	講義	清水
2	4)	【国際的な障害の捉え方】我が国の障害者施策の発展に影響を与えた国際障害年と国際障害概念について理解する。さらに国際生活機能分類について理解する。 【障害者総合支援法の制度1】障害者総合支援法の制度、とくに自立支援給付としての介護給付と訓練等給付の事業に焦点をあて学ぶ。	講義	清水
3	5)~9)	【障害者総合支援法の制度2】障害者総合支援法の制度、とくに地域生活支援事業に焦点をあて学ぶ。	講義	清水
4	5)~9)	【障害者総合支援法の制度3】障害者総合支援法の制度利用を進める上での専門職の役割と関係機関の連携について学ぶ。	講義	清水
5	5)~9)	【関連施策1】障害児者、高齢者の移動・情報保障、社会参加の促進に関する施策を理解する。	講義	清水
6	10)	【関連施策2】障害者の雇用に関する施策を理解する。	講義	清水
7	10)	【障害の医学的側面の基礎知識1】身体障害①	講義	清水
8	11)	【障害の医学的側面の基礎知識2】身体障害②	講義	貫
9	11)	【障害の医学的側面の基礎知識3】発達障害・難病	講義	貫
10	11)	【障害の医学的側面の基礎知識4】難病	講義	貫
11	11)	【障害の医学的側面の基礎知識5】精神障害①	講義	貫

12	11)	【障害の医学的側面の基礎知識6】精神障害②	講義	稲田
13	11)	【障害の医学的側面の基礎知識7】知的障害・高次脳機能障害	講義	稲田
14	11)	【連携と協働】地域・関係機関との連携、他職種との連携、家族への支援など地域におけるサポートとチームアプローチについて理解する。	講義	稲田
15	12)13)		講義	稲田

教科書： 最新介護福祉全書11 障害の理解 メヂカルフレンド社
 ※1年後期「障害者に対する支援と障害者自立支援法」にて指定されたテキストを使用します。

参考書： 使用しない。

科目名: **心理療法**

担当者: 前田直樹

配当学科: 臨床福祉専攻・動物療法専攻・臨床心理専攻(3年次)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 心理療法のアプローチには、様々なモデルや方法がある。本講義では、主要な学派をとりあげ、その理論的枠組みや技法など基本的知識を習得する。また、それらの方法論が実際の臨床の場でどのように用いられ、治療効果を挙げているかについて議論し、理解を深める。

到達目標: (SBOs) 1)心理療法について理解し、その役割や活躍の場などを説明できる。
2)心理査定について理解し、その方法としての面接・行動観察の方法を説明できる。
3)様々な心理療法に共通する心理療法の基本について理解し、説明できる。
4)それぞれの心理療法の基本的な考え方を理解し、その概要を説明できる。

評価方法: 筆記試験

準備学習・履修上の注意等: すでに心理学に関する講義を受講していること。

オフィスアワー: 月曜日(18:30-19:00)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)4)	【心理療法家とは何かについて理解する】	講義	前田
2	1)2)	【査定と面接・行動観察について理解する】	講義	前田
3	3)	【心理療法の基本について理解する】	講義	前田
4	1)4)	【精神力動的心理療法①】 フロイトの精神分析の治療目標・技法・過程について理解する	講義	前田
5	1)4)	【精神力動的心理療法①】 アドラーの個人心理学とユングの分析心理学の治療目標・技法・過程について理解する	講義	前田
6	1)4)	【精神力動的心理療法③】 精神力動的心理療法の事例を読む	演習	前田
7	1)4)	【精神力動的心理療法④】 そのほかの精神力動的心理療法の代表的な研究者、治療目標・技法・過程について理解する	講義	前田
8	1)4)	【行動療法①】 行動療法の代表的な研究者、治療目標・技法・過程について理解する	講義	前田
9	1)4)	【行動療法②】 認知行動療法の代表的な研究者、治療目標・技法・過程について理解する	講義	前田
10	1)4)	【現象学的心理療法①】 ロジャーズのクライエント中心療法の治療目標・技法・過程について理解する	講義	前田
11	1)4)	【現象学的心理療法②】 パールのゲシュタルト療法の治療目標・技法・過程について理解する	講義	前田
12	1)4)	【現象学的心理療法③】 グラッサーの現実療法など、そのほかの現象学的心理療法の代表的な研究者、治療目標・技法・過程について理解する	講義	前田
13	1)4)	【集団心理療法】 モレノの心理劇など、集団心理療法の代表的な研究者、治療目標・技法・過程について理解する	講義	前田
14	1)4)	【家族療法】 家族療法の代表的な研究者、治療目標・技法・過程について理解する	講義	前田
15	1)4)	【芸術療法】 芸術療法の代表的な研究者、治療目標・技法・過程について理解する	講義	前田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **健康心理学**

担当者: 田中 陽子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30| 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 健康心理学とは、私たちの疾病の予防、治療、健康の増進と維持、疾病の発症や悪化に関与する要因の解明、それに健康策定のための分析や策定の改善に関して、心理学の領域からの実践と理論構築を目指す学問分野である。したがって、本講義では、今日の健康心理学の分野で、私たちの健康の問題が、心理学的側面からどのように理解できるのか、また解決されるのかについて学ぶ。つまり、健康心理学の概論的内容を学び、理解することを目的とする。

到達目標: (SBOs) 1)健康心理学の領域について概要を説明できる。
2)ストレスの理論を理解し、その対処法について説明できる。
3)災害時に必要な心理に関する支援について説明できる。
4)心身の疾病とストレスなど心理的要因の関係を理解し、心理的な解決方法について説明できる。
5)ヘルスサービスについて理解し、医療・保健分野の心理社会的課題に対する必要な支援について説明できる。
6)日常生活の中で、自分の健康管理ができるようになる。

評価方法: 授業中のワークやレポート等10%および学期末の単位認定試験90%として総括評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: ・心理学の基礎的知識を習得しておくこと。
・1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。
・新聞・ニュースなどを通して、現代における健康問題について関心を持つこと。

オフィスアワー: 研究室前に掲示。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【健康心理学とは何か】健康の定義と健康心理学	講義	田中
2	2)3)5)	【ストレスとその対処①】ストレス理論とストレスマネジメント	講義	田中
3	2)3)5)	【ストレスとその対処②】筋弛緩法	講義	田中
4	2)3)5)	【ストレスとその対処③】自律訓練法	講義	田中
5	3)5)	【ライフスタイルと健康増進①】健康増進上の問題	講義	田中
6	3)5)	【ライフスタイルと健康増進②】健康行動の形成モデル	講義	田中
7	3)4)5)	【生活習慣と疾病予防①】喫煙・飲酒	講義	田中
8	3)4)5)	【生活習慣と疾病予防②】食行動・身体活動	講義	田中
9	2)3)4)5)	【疾病とヘルスサービス①】ヘルスサービスとは	講義	田中
10	2)3)4)5)	【疾病とヘルスサービス②】患者と医療従事者の関係	講義	田中
11	2)3)4)5)	【痛みとその対処①】痛みの理論	講義	田中
12	2)3)4)5)	【痛みとその対処②】痛みの管理とコントロールの方法	講義	田中
13	3)4)5)	【疾患と健康心理学】高血圧・喘息・糖尿病など	講義	田中
14	3)4)5)	【重篤な疾患と健康心理学】ガン・冠状動脈疾患など	講義	田中
15	3)4)5)	【健康心理学の将来】健康心理学の使命と医療倫理	講義	田中

教科書: 『ライブラリ 実践のための心理学=6健康の心理学』(春木豊・森和代・石川利江・鈴木平著)サイエンス社【978-4-7819-1173-1C3311】

参考書: 『ベーシック健康心理学 臨床への招待』(山蔦圭輔著)ナカニシヤ出版【978-4-7795-0918-6C3011】

科目名: **心理学基礎実験・実習**

担当者: 加藤 謙介(福・福)

配当学科: ◆新カリキュラム: 臨床心理専攻の2年生|◆旧カリキュラム: 臨床福祉専攻・臨床心理専攻・動物療法専攻の3年生以上

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 本科目では、「心理学の基礎」を学んだ福祉専門職となるために、心理学の様々な「実験」課題への参加を通して、心理学の研究方法に関する専門知識と技術を習得する。具体的には、(1)心理学実験の基礎、(2)学習心理学、(3)知覚心理学、(4)社会心理学の4つのセクションにおける実験等の課題に取り組み、各分野の特徴と、代表的な研究方法・研究事例を学ぶ。

到達目標: (SBOs) 1)心理学研究に関わる基礎的な研究方法について説明できる。
2)心理学の書式に即したレポートを作成することができる。
3)心理学の個別分野に関する知見について説明できる。
4)心理学の個別分野に関する実験課題を実施できる。
5)心理学の知見を社会に活用する際の問題、及び「知恵」について説明できる。

評価方法: 授業中に実施する各「実験課題」への参加、及び、それぞれの課題の「レポート」を評価対象とする。
なお、授業内で実施する全ての実験課題に対してレポートを課す。

準備学習・履修上の注意等: 「認定心理士」資格取得希望者のみに開講する。
また、本科目は「実験・実習」であるため、授業中に実施する各「実験課題」に全て参加することが基本となる。理由なく遅刻・欠席することのないように。

オフィスアワー: 時間割が確定した後に研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【1】イントロダクション:「心理学」研究法の実践に関する問題群について学ぶ。	講義	加藤
2	1)	【2】心理学の方法(1):「良い」心理学研究とともに、研究を進める上で必要な文献収集等の方法について学ぶ。	講義	加藤
3	1)	【3】心理学の方法(2):心理学研究法のうち、観察法・参与観察法・面接法について学ぶ。	講義	加藤
4	1)	【4】心理学の方法(3):心理学研究法のうち、質問紙調査法・実験法・史資料の分析について学ぶ。	講義	加藤
5	2)	【5】「研究論文」の書き方(1):心理学の研究をまとめるための「研究論文」の書き方を学ぶ。	講義	加藤
6	2)	【6】「研究論文」の書き方(2):心理学の研究をまとめるための「研究論文」の書き方を学ぶ。	講義	加藤
7	2)	【7】「研究論文」の書き方(3):「正しい」研究論文のまとめ方を理解するために、「誤った」論文の修正の仕方を学ぶ。;【レポート課題】心理学レポートの形式	実習	加藤
8	2)3)4)	【8】学習心理学実験(1):「学習心理学」における研究事例について説明し、「思考と問題解決」に関する実験課題に参加する。;【レポート課題】ダウンカーのろうそくの問題(思考と問題解決)	実習	加藤
9	2)3)4)	【9】学習心理学実験(2):「学習心理学」の実験のうち、「系列位置効果」に関する実験課題に参加する。;【レポート課題】名前を覚えよう(系列位置効果)	実習	加藤
10	2)3)4)	【10】学習心理学実験(3):「学習心理学」の実験のうち、「記憶」に関する実験課題に参加する。;【レポート課題】身近なモノを思いだそう(記憶)／図形の伝達ゲーム(記憶)	実習	加藤
11	3)4)	【11】学習心理学実験(4):「学習心理学」の実験のうち、「鏡映描写」に関する実験課題に参加する。	実習	加藤
12	2)3)4)	【12】学習心理学実験(5):「学習心理学」の実験のうち、「鏡映描写」に関する実験課題の結果を整理する。;【レポート課題】鏡映描写(学習曲線／両測性転移)	実習	加藤
13	3)4)	【13】学習心理学実験(6):「学習心理学」の研究について、実験課題を踏まえた説明の仕方を修得する。	講義	加藤
14	2)3)4)	【14】学習心理学実験(7):「学習心理学」の実験課題について、【5】～【7】で習得した	実習	加藤

「書き方」を踏まえてレポート作成の方法を学ぶ。

15	2)	【15】知覚心理学実験(1):「知覚心理学」における研究事例について学ぶ。	講義	加藤
16	3)4)	【16】知覚心理学実験(2):「知覚心理学」の実験のうち、SD法を用いた「社会的知覚」に関する実験課題に参加する。	実習	加藤
17	2)3)4)	【17】知覚心理学実験(3):「知覚心理学」の実験のうち、SD法を用いた「社会的知覚」に関する実験課題の結果を整理する。;【レポート課題】動物による印象形成(社会的知覚)	実習	加藤
18	3)4)	【18】知覚心理学実験(4):「知覚心理学」の実験のうち、「ミュラーリヤー」の錯視図形を用いた実験課題に参加する。	実習	加藤
19	2)3)4)	【19】知覚心理学実験(5):「知覚心理学」の実験のうち、「ミュラーリヤー」の錯視図形を用いた実験課題の結果を整理する。;【レポート課題】ミュラーリヤーの錯視(錯視)	実習	加藤
20	2)	【20】知覚心理学実験(6):「知覚心理学」の研究について、実験課題を踏まえた説明の仕方を修得する。	講義	加藤
21	2)3)4)	【21】知覚心理学実験(7):「知覚心理学」の実験課題について、【5】~【7】で習得した「書き方」を踏まえてレポートを作成する。	実習	加藤
22	2)3)4)	【22】社会心理学実験(1):「社会心理学」における研究事例について学ぶ。;【レポート課題】アッシュの線分課題(同調)	実習	加藤
23	3)4)	【23】社会心理学実験(2):「社会心理学」の実験のうち、「NASAの課題」を用いたGDM実験課題に参加する。	実習	加藤
24	2)3)4)	【24】社会心理学実験(3):「社会心理学」の実験のうち、「NASAの課題」を用いたGDM実験課題の結果を整理する。;【レポート課題】NASAの課題(集団意志決定)	実習	加藤
25	3)4)	【25】社会心理学実験(4):「社会心理学」の実験のうち、観察法を用いた社会的相互作用に関する実験課題に参加する。	実習	加藤
26	2)3)4)	【26】社会心理学実験(5):「社会心理学」の実験のうち、観察法を用いた社会的相互作用に関する実験課題の結果を整理する。;【レポート課題】社会的相互作用過程の観察(リーダーシップ)	実習	加藤
27	2)	【27】社会心理学実験(6):「社会心理学」の研究について、実験課題を踏まえた説明の仕方を修得する。	講義	加藤
28	2)3)4)	【28】社会心理学実験(7):「社会心理学」の実験課題について、【5】~【7】で習得した「書き方」を踏まえてレポートを作成する。	実習	加藤
29	5)	【29】心理学と社会(1):心理学の知見を社会で活用するための様々な研究事例について学ぶ。	講義	加藤
30	2)5)	【30】心理学と社会(2):心理学の知見を社会で活用するために必要なアイデアを学ぶ。;【レポート課題】「研究」と「実践」との関係	実習	加藤

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床心理学実習**

担当者: 前田 直樹(福・福)・田中 陽子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科臨床福祉専攻・動物療法専攻・臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 選択| 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 臨床心理学は、心理学の理論を用いて、さまざまな問題を抱えた人やその家族など周りの人の理解と援助の方法を研究・実践するものである。本講義では、心理アセスメント(調査法・観察法・検査法)、心理面接(集団・グループワーク・個別)について実習を行う。お互いに検査者・面接者や被検者・参加者となり、実際にアセスメントや面接を実施することで、実施方法を習得する。また、基本的な分析や解釈の方法、臨床心理学的レポートの書き方を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)心理アセスメントとは何かを理解し、その概要を説明できる。
2)心理アセスメントを実施し、基本的な実施方法や分析方法を習得する。
3)集団面接を実施し、基本的な実施方法や分析方法を習得する。
4)個別面接を実施し、基本的な実施方法や分析方法を習得する。

評価方法: 授業中の課題への取り組み60%およびそれぞれの実習した課題ごとのレポート等40%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: ・受講生が相互に検査や面接実習を行うので、その予定でいること。
・ほとんど毎回レポートを課す。
・1コマ当たり1時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 研究室前に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	検査法の基本について理解する	講義	前田
2	1)2)	【調査法①】質問紙の作成について理解する	実習	前田
3	1)2)	【調査法②】質問紙の作成を実施する	実習	前田
4	1)2)	【調査法③】質問紙の分析について理解する	実習	前田
5	1)2)	【調査法④】結果のデータを基にSPSSを使った分析を行う	実習	前田
6	1)2)	【調査法⑤】分析の結果をまとめてレポートに書く	実習	前田
7	1)2)	【調査法⑥】分析結果をプレゼンテーションする	実習	前田
8	1)2)	【性格検査 質問紙法①】検査法とは何かを理解する	実習	前田
9	1)2)	【性格検査 質問紙法②】質問紙法とは何かを理解する	実習	前田
10	2)	【性格検査 質問紙法③】YG性格検査について理解し、実際に体験する	実習	前田
11	2)	【性格検査 質問紙法④】エゴグラムについて理解し、実際に体験する	実習	前田
12	2)	【性格検査 質問紙法⑤】POMSについて理解し、実際に体験する	実習	前田
13	2)	【性格検査 質問紙法⑥】BDI- IIについて理解し、実際に体験する	実習	前田
14	2)	【性格検査 作業検査法】内田クレペリン作業検査について理解し、実際に体験する	実習	前田
15	2)	【総括】検査結果を基にレポートを作成する	実習	前田
16	1)2)	【知能検査①】知能検査とは	講義	田中
17	1)2)	【知能検査②】知能検査の実際	実習	田中
18	1)2)	【知能検査③】知能検査の報告の仕方	実習	田中
19	1)2)	【性格検査 投影法①】ロールシャッハ・テスト	実習	田中
20	1)2)	【性格検査 投影法②】雨中人物画の実際	実習	田中
21	1)2)	【性格検査 質問紙法③】雨中人物画の分析	実習	田中
22	3)	【集団面接①】観察・円滑なコミュニケーションのためのグループワーク	実習	田中
23	3)	【集団面接②】SST	実習	田中

24	3)	【集団面接③】集団療法とは	実習	田中
25	3)	【集団面接④】集団療法の計画 I	実習	田中
26	3)	【集団面接⑤】集団療法の計画 II	実習	田中
27	3)	【集団面接⑥】集団療法の実際・発表 I	実習	田中
28	3)	【集団面接⑦】集団療法の実際・発表 II	実習	田中
29	4)	【個別面接①】事例研究	実習	田中
30	4)	【個別面接②】ロールプレイ	実習	田中

教科書： 使用しません

参考書： 授業の中で適宜紹介

科目名: **学習心理学**

担当者: 平川 忠敏(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 本講義の目的は学習心理学の基礎知識を習得することである。講義の中では、学習心理学の臨床的な応用領域に焦点を当てながら、古典的条件付け、オペラント条件付け、関係フレーム理論といった学習理論の基盤的な要素に加え、社会的学習に代表されるさまざまな学習心理学の領域について講義を行う。さらに、学習に必要な動機づけ、記憶、認知そして言語について学ぶ。

到達目標: (SBOs) 1)条件付けを理解する。
2)強化なくして学習は成立しないことを理解する。
3)記憶のメカニズムを理解する。
4)動機づけを理解する。
5)学習理論に基づく心理療法を理解する。

評価方法: 期末試験の得点と授業態度で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 予習・復習を行い講義に臨むこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【学習とは】 学習心理学の歴史をたどり、学習の生物学的基礎を踏まえながら現代の学習について理解する。	講義	平川
2	1)2)	【古典的条件づけ】 パブロフの条件反射の実験、ワトソンによる恐怖の形成や消去の実験を学び、古典的条件づけの原理を理解する。	講義	平川
3	1)2)	【オペラント条件づけ】 ソーランドイクの試行錯誤学習実験とスキナーのオペラント学習の実験を学び、オペラント条件づけの原理を理解する。	講義	平川
4	1)2)	【オペラント条件付けの応用】 教育、訓練そして臨床における事例を紹介し、その応用力を養う。	講義	平川
5	1)2)	【嫌悪刺激と罰】 体罰、叱責、拘束、非難、無視などについて学び、罰の副作用を考える。	講義	平川
6	1)2)	【逃避と回避】 動物による逃避・回避実験による2過程説を知り、色々な不適応行動との関係を理解する。	講義	平川
7	1)2)	【関係フレーム理論】 言語と認知に関わる学習理論について学ぶ。	講義	平川
8	1)2)	【モデリング学習】 観察学習、模倣学習について学び、その原理を理解する。	講義	平川
9	1)2)3)	【記憶と忘却】 記憶と忘却のメカニズムを知り、記憶力を高める方法を学ぶ。認知症と記憶、健忘症にも言及する。	講義	平川
10	1)2)4)	【動機づけと欲求】 学習における動機づけの方法、マズローの欲求階層説、キャンンのホメオスタシスを理解する。	講義	平川
11	1)2)3)4)	【学習条件と学習過程】 結果の知識(KR)や学習方法、学習曲線そして学習の転移について学ぶ。	講義	平川
12	1)2)3)4)	【問題解決と推理】 創造性についても学ぶ。	講義	平川
13	1)2)3)4)	【技能の学習】 運動や楽器の学習について学ぶ。	講義	平川
14	1)2)3)4)	【言語、思考そして認知】 人間の学習の特徴について理解する。	講義	平川

教科書: 使用しない。

参考書: 行動と学習の心理学 -日常生活を理解する-(伊藤正人)【ISBN:9784812204320】昭和堂

科目名: **発達臨床心理学**

担当者: 田中 陽子(福・福)

配当学科: 臨床福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 子どもから高齢者に至るまであらゆる発達段階にある人々に関わる実践者には発達理論と実践的取り組みの理解が重要である。本講義では、発達段階にかかわることだけではなく、最近よく取り上げられるようになった脳の諸機能にも触れながら、障がいを含めた心の問題とその対処法について議論し、理解を深める。そして、発達臨床の現場や専門職に関する知識を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)発達と脳の働きの関係について説明できる。
2)各発達段階の心の働きについて説明できる。
3)各発達段階における発達課題が説明できる。
4)発達過程で生じる障害について説明ができる。
5)発達過程で生じる問題への対処法が説明できる。

評価方法: 課されたレポート等10%および学期末の単位認定試験90%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: ・心理学に関する基礎的な知識があること。
・1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 研究室前に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【脳の働きについて①】脳の働きの基礎	講義	田中
2	1)	【脳の働きについて②】ライフサイクルと脳や心の発達	講義	田中
3	1)	【脳の働きについて③】発達過程の問題と脳	講義	田中
4	2)	【心の発達とメカニズム①】感覚・知覚と認知・思考の発達	講義	田中
5	2)	【心の発達とメカニズム②】学習・記憶と感情・欲求の発達	講義	田中
6	3)	【ライフサイクルと生き方①】体の発達	講義	田中
7	3)	【ライフサイクルと生き方②】人間関係の発達～親子・仲間・家族～	講義	田中
8	1)4)	【生き方の危機①】発達の過程での危機	講義	田中
9	1)4)	【生き方の危機②】日常生活の中の心の問題	講義	田中
10	1)4)	【生き方の危機③】心の危機Ⅰ	講義	田中
11	1)4)	【生き方の危機④】心の危機Ⅱ	講義	田中
12	1)2)3)4)5)	【生き方の危機のアセスメント①】心理テスト	講義	田中
13	1)2)3)4)5)	【生き方の危機のアセスメント②】臨床でのアセスメント	講義	田中
14	1)2)3)4)5)	【生き方の危機への支援①】早期の支援	講義	田中
15	1)2)3)4)5)	【生き方の危機への支援②】その後の支援	講義	田中

教科書: 『生き方支援の心理学』(安東 末廣 編) 北大路出版【978-4-7628-2785-3C3011】

参考書: よくわかる臨床発達心理学第4版(麻生 武・浜田 寿美男 編) ミネルヴァ書房【978-4-623-06326-0-C3311】

科目名: 対人行動論

担当者: 前田直樹

配当学科: 臨床福祉専攻・動物療法専攻・臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 選択

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 講義

授業概要: 急激な社会の変化にともなって、人々是对人関係において様々な問題を抱えている。対人行動論は対人関係の問題の解決や援助に携わる理論的研究と実践に関する心理学の応用分野である。この講義では対人行動論の基礎的な理論と実践について幅広く学習する。

到達目標: 1) 対人行動論とは何かを理解することができる。
(SBOs) 2) 個人の行動を理解することができる。
3) 特定の相手に対して取る行動について理解することができる。
4) 社会生活送る上での集団行動について理解することができる。
5) 対人行動論の日常への適用について理解できるようになる。

評価方法: レポート及び授業内での理解度テスト。

準備学習・履修上の注意等: 心理学、臨床心理学の単位を取得していること。

オフィスアワー: 月曜日(18:30-19:00)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	(対人行動とは①) ○個人レベルの心理過程を理解する。	講義	前田
2	1)2)	(対人行動論とは②) ○対人相互作用過程を理解する。	講義	前田
3	1)2)	(対人行動論とは③) ○集団行動、集合行動について理解する。	講義	前田
4	1)2)	(個人の行動の理解①) ○人の判断・理解について理解する。	講義	前田
5	1)2)	(個人の行動の理解②) ○態度とは何かを理解する。	講義	前田
6	1)2)	(個人の行動の理解③) ○態度の変化について理解する。	講義	前田
7	3)	(対人行動の理解①) ○人の魅力について理解する。	講義	前田
8	4)	(対人行動の理解②) ○援助行動について理解する。	講義	前田
9	4)	(対人行動の理解③) ○攻撃行動について理解する。	講義	前田
10	4)5)	(集団行動の理解①) ○社会的影響について理解する。	講義	前田
11	4)5)	(集団行動の理解②) ○集団生活の影響を理解する。	講義	前田
12	4)5)	(集団行動の理解③) ○リーダーシップについて理解する。	講義	前田
13	4)5)	(集団行動の理解④) ○群集心理について理解する。	講義	前田
14	4)5)	総括	講義	前田
15	1)2)3)4)5)		講義	前田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **歴史学概論**

担当者: 長友 道彦(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 明治維新後, 維新政府の対外膨張政策のもとで海外に進出し, 太平洋戦争で敗戦を迎えるまでの推移を, 日本と東アジア諸国との関係を軸に考察する。
また, 各歴史事象を当時の文化人や特に市井の教師たちがどのように見ていたかを, 詩歌を通して考察する。
DVDを視聴し, 映像で確認する。

到達目標: (SBOs) 1)近代以降の国際社会における日本と東アジア諸国・欧米諸国との関係を, 資料を踏まえて説明することができる。
2)19世紀末～20世紀の「戦争」について概要を把握し, 表現することができる。
3)当時の国際社会を理解し, 日本を相対的に位置づけて表現することができる。
4)当時の教師たちの心境を理解し, 言葉で表現することができる。

評価方法: 毎回の授業での態度, 視聴した映像教材に対する感想文と期末試験によって総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 予習は, 使用する教科書を熟読して難解な語句の意味を調べるのに150分, 復習はレジュメの見直しと教科書の再読に90分を充てて行うこと。
レジュメと板書を中心に授業を進めるが, 学生の意見も求める。プリントホルダーを準備すること。

オフィスアワー: 研究室前に掲示します。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)	ガイダンス この講義を学習する目的を考える。講義の進め方と概要の説明。	講義	長友
2	1)2)3)4)	世界史の中の日本 明治維新後の日本の対外膨張政策を, 世界史の中に位置づける。	講義	長友
3	1)2)3)4)	日清戦争 日清戦争はなぜ起きたのかを考える。日清戦争後の日本の変容を考える。	講義・SGD	長友
4	1)2)3)4)	日露戦争 なぜ日本はロシアと戦争をしなければならなかったのかを考える。 日露戦争がもたらした日本国内の変容を考える。	講義・SGD	長友
5	1)2)3)4)	第一次世界大戦(1) 世界大戦前のヨーロッパの国際情勢を確認する。 世界大戦と日本との関連及びその影響について考える。	講義・SGD	長友
6	1)2)3)4)	第一次世界大戦(2) 世界大戦終結が世界と日本に及ぼした影響について考える。	講義・SGD	長友
7	1)2)3)	映像の世紀① 第一次世界大戦の映像から, 当時の戦争の在り方を考え, 自分の意見をまとめる。	講義・SGD	長友
8	1)2)3)4)	満州事変と日中戦争(1) なぜ満州事変は起こされたのかを考える。 膨張する満蒙概念と軍の動向・思惑を考える。	講義・SGD	長友
9	1)2)3)4)	満州事変と日中戦争(2) 日本が国際連盟を脱退するまでの経緯を確認する。	講義・SGD	長友
10	1)2)3)4)	満州事変と日中戦争(3) なぜ日中戦争は起こり, 長期化していったのかを考える。	講義・SGD	長友
11	1)2)3)	映像の世紀② 1930～40年の国際関係を映像で確認し, 考えをまとめる。	講義・SGD	長友
12	1)2)3)4)	太平洋戦争(1)	講義・SGD	長友

なぜ日本はアメリカに宣戦布告したのかを考える。
アメリカと日本の経済比較により戦争の本質を考える。

- | | | | |
|----|----------|---|-----------|
| 13 | 1)2)3)4) | 太平洋戦争(2)
太平洋戦争を含む第二次世界大戦がもたらしたものについて考える。 | 講義・SGD 長友 |
| 14 | 1)2)3) | 映像の世紀③
第二次世界大戦を映像で確認し、考えをまとめる。 | 講義・SGD 長友 |
| 15 | 1)2)3)4) | まとめと展望
敗戦の意義及び日本の戦後改革について考える。 | 講義・SGD 長友 |

教科書: それでも、日本人は「戦争」を選んだ (加藤 陽子) 新潮文庫 【978-4-10-120496-3】

参考書: 『昭和萬葉集』(20巻別巻1) 講談社 (残念ながら本学の図書館にはなく、延岡市図書館にはあります。)

科目名: 住宅・福祉施設計画論

担当者: 三宮 基裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 選択

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 講義

授業概要: 【授業の概要】

日本の住宅および居住施設についての設計計画の意図を学ぶ。

【一般目標(GIO)】

住宅や高齢者・障がい者などの支援が必要な方のための施設について、法的根拠と空間計画上のポイントを認識し、将来、福祉職として必要となる生活空間整備支援のための基本的知識を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)住まいの意味と機能が説明できる。
2)時代背景に応じた空間構成が説明ができる。
3)設計における基本的考え方が説明できる。
4)関連する法制度が説明できる。
5)建築図面を読み取ることができる。

評価方法: 毎時間の受講態度と期末試験の点数で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 積極的な受講態度で臨むこと。
1回の授業につき4時間を目安に予習・復習をおこなうこと。

オフィスアワー: 研究室在室時は、原則、常時対応

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	住まいとは何か 人間にとっての住まいの意味と住宅のもつ機能が説明できる。	講義	三宮
2	2)3)	住まいの変遷 原始時代から現代までの日本における住まいの空間構成の変遷が説明できる。	講義	三宮
3	3)5)	住空間の構成原理 住宅の空間計画における基本的な原理として、住宅平面の考え方や配置計画、戸建と集合住宅の違いなどが説明できる。	講義	三宮
4	3)5)	住宅各室の計画 寝室、居間、サンタリー空間など、住宅各室の計画的配慮が説明できる。	講義	三宮
5	1)2)3)	家族生活と住宅計画 人間のライフサイクルに適した住宅計画の考え方が説明できる。	講義	三宮
6	1)2)3)	高齢社会と住まい 高齢者の住宅ニーズと高齢者の心身特性に配慮した住宅計画の考え方が説明できる。	講義	三宮
7	2)4)	住宅問題と住宅政策 日本における住宅問題とそれらに対する住宅政策の変遷が説明できる。	講義	三宮
8	1)3)4)5)	児童のための施設計画 児童養護施設や保育園など、児童のための施設の種類と計画条件が説明できる。	講義	三宮
9	1)3)4)5)	障がい者のための施設計画 授産施設や厚生施設など、障がい者のための施設の種類と計画条件が説明できる。	講義	三宮
10	1)2)3)4)5)	高齢者のための施設計画1 特別養護老人ホームや老人保健施設などの高齢者のための施設の種類と建築計画の変遷が説明できる	講義	三宮
11	1)3)4)5)	高齢者のための施設計画2 個室・ユニットケアの考えに基づいた空間計画の意図が説明できる。	講義	三宮
12	1)3)4)5)	新しい高齢者居住施設 グループホームや小規模多機能ホームなどの新しい高齢者居住のための施設の空間計画の意図が説明できる。	講義	三宮
13	1)3)4)5)	高齢者向け住宅1 高齢期の住まいとしてシルバーハウジングや高齢者優良賃貸住宅の制度と空間計画の意図が説明できる。	講義	三宮
14	1)2)3)4)5)	高齢者向け住宅2 有料老人ホーム、高円賃、高専賃、サービス付き高齢者向け住宅など高齢者のための住宅の制度と空間計画の意図が説明できる。	講義	三宮
15	1)2)3)4)5)	総括 全体を振り返り、高齢者や障がい者のための住まいの意味と空間整備のポイントが説明できる。	講義	三宮

教科書： 指定しない

参考書： 図解住居学1 住まいと生活(図解住居学編集委員会編)彰国社【4-395-28031-5】

科目名: まちづくりデザイン論

担当者: 三宮 基裕(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 【授業の概要】

福祉のまちづくりを実現するために、福祉施設・まちづくりの必要性とそれを実現するためのプロセスを学ぶ。

【一般目標(GIO)】

高齢者の施設を中心に、福祉施設とまちづくりの意義とその必要性を認識し、福祉のまちづくりの具体的提案を実践することで、ノーマライゼーション社会の実現に向けた福祉職の立場からの提案ができるようになるための基本的知識を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)まちづくりの意義と方法が説明できる。
 - 2)まちづくりの歴史と素材が説明ができる。
 - 3)まちづくりのための手順が説明できる。
 - 4)関連する法制度が説明できる。
 - 5)まちづくりの提案ができる。
 - 6)福祉施設の種類と役割が説明できる。

評価方法: 毎時間の受講態度、作成した資料内容や発表方法などの演習の取り組み姿勢、確認問題の結果などにより総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等:

積極的な受講態度で臨むこと。

1回の授業につき4時間を目安に予習・復習をおこなうこと。

必要に応じて冬休み中にフィールドワーク学習をおこなう。

オフィスアワー: 研究室在室時は、原則、常時対応

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	まちづくりの定義 まちづくりの対象と定義が説明できる	講義	三宮
2	1)2)	まちづくりの歴史 戦後から現在までのまちづくりの歴史が説明できる	講義	三宮
3	1)4)	まちづくりと財産権 まちづくりにおける公共性と私的財産の関係が説明できる	講義	三宮
4	1)3)	ちづくりの原理① まちづくりを進める上での原理が説明できる	講義	三宮
5	1)3)	まちづくりの原理② まちづくりを進める上での原理が説明できる	講義	三宮
6	1)3)4)	ちづくりの基本目標① まちづくりに含まれる基本的な目標が説明できる	講義	三宮
7	1)3)4)	ちづくりの基本目標② まちづくりに含まれる基本的な目標が説明できる	講義	三宮
8	3)5)	まちづくりの具体的イメージ 先進的実践例から、まちづくりの原理と基本目標を学び取ることができる	講義	三宮
9	3)5)	まちづくりの方法 まちづくりのための合意形成と、そのためのワークショップ技術が説明できる	講義	三宮
10	5)6)	高齢者のための福祉施設 高齢者のための福祉施設の種類と役割が説明できる	講義	三宮
11	5)6)	高齢者のための居住施設(個室・ユニットケア) 高齢者のための居住施設の空間的変遷が説明できる	講義	三宮
12	5)6)	高齢者が地域で暮らすための居住支援(グループホーム・小規模多機能) グループホーム・小規模多機能の意義と役割が説明できる	講義	三宮
13	5)6)	高齢者の地域で暮らすための高齢者向け住宅 住宅に代わる住まいとしての高齢者住宅の意義と役割が説明できる	講義	三宮
14	5)6)	障がい者、児童のための福祉施設 障がい者、児童のための福祉施設の意義と役割が説明できる	講義	三宮

教科書: 指定しない

参考書: まちづくり教科書第1巻まちづくりの方法(日本建築学会編)【4-621-07419-9】

科目名: **心理学概論**

担当者: 前田 直樹(福・心)

配当学科: (臨床福祉学科)1年

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 心理学は心の発生、機構、機能などの追及する心の科学であり、個を超えて様々な現象に潜む心理法則の一般性を明らかにすることを課題とする学問である。したがって、その領域は、学習、知覚、感情、知能など多岐にわたる。本講義では心理学の概要と様々な理論をできるだけ身近で日常的な例を上げながら学習する。

到達目標: (SBOs)
1)心理学がどのような学問であるかを全般的に説明できる。
2)学習、記憶、知覚について説明できる。
3)知能について説明できる。
4)性格理論の内容や違いを説明できる。
5)ストレスが心理面に与える影響について理解する。
6)発達心理学にどのような影響を及ぼすのか理解できる。

評価方法: 筆記試験

準備学習・履修上の注意等: 心理学という学問を自ら積極的に追求しようとする姿勢。

オフィスアワー: (月)18:00-18:30

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	(心理学とは) ○心理学の定義や様々な理論を理解する。	講義	前田
2	1)	(心理学の歴史) ○心理学の成り立ち及び現代にいたるまでの歴史や流れを理解する。	講義	前田
3	1)	(動機づけ) ○人間を含めた動物の行動の原因である動機づけを学習し、行動の方向性を定める要因と行動の程度を定める要因などを理解する。	講義	前田
4	1)	(感情) ○生理的過程と深く結び付いている心の働きである感情、情緒や情動、気分などの違いを理解する。	講義	前田
5	1)2)	(知覚) ○脳の働きによって物事を認識する知覚が、日常生活でどのように成り立っているのかを理解する。	講義	前田
6	1)2)	(学習) ○学習理論の歴史やレスポナント条件づけやオペラント学習など、学習の種類について理解する。	講義	前田
7	3)	(知能) ○知能の定義や内容、検査などについて理解する。	講義	前田
8	4)	(人格) ○類型論や特性論などの理論を理解し、人格について心理学的に理解する。	講義	前田
9	5)	(適応) ○ストレスが日常生活に及ぼす影響、それによる心理的な障害などを理解する。	講義	前田
10	1)	(社会と人間) ○集団のまとまりや構造、その中で人間と関わる対人相互作用について理解する。	講義	前田
11	6)	(発達理論) ○心理学における発達の定義や様々な立場における発達理論を理解する。	講義	前田
12	6)	(発達段階) ○各発達段階、及びそれぞれの段階における質的・心理学的変化について理解する。	講義	前田
13	6)	(発達課題) ○人間がそれぞれの発達段階で必要とされる発達課題について理解する。	講義	前田
14	6)	(高齢者の心理) ○仕事からの引退や身体機能の低下などに伴う高齢者の心理について理解する。	講義	前田

15 1)2)3)4)5)6 (総括)

講義

前田

) ○これまでの授業を総括し、心理学の基礎を正しく理解する。

教科書: 使用しない。

参考書: 未定

科目名: **心理学統計法**

担当者: 三宅 邦建(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 英語の基礎学力を高め、英語で心理学を学びつつ大学院に合格する英語力をつけることができる。

到達目標: (SBOs) 1)ボキャブラリとリーディングの基礎学力を高める。
2)英語圏で使用されている心理学テキストを読解し、「英語で心理学」を学ぶことができる。
3)心理系大学院の受験対策として簡単な問題を解くことができる。

評価方法: 出席、課題提出、ボキャブラリーテスト、プレイスメントテストの目標達成度を均等に重み付けして評価する。

準備学習・履修上の注意等: 受講生間の学力差が大きい場合は、共通教材とともに個々のレベルに応じた教材を用い、クラス全体と個々の学生を対象として講義・演習を組み合わせることになる。このシラバスに記述されている授業計画の詳細は受講生の英語力を見極め柔軟に対応する。毎回の授業に対して2時間程度の準備を要する課題をしていくこと。

オフィスアワー: 518号研究室に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)3)	プレイスメントテスト、自分の現在のレベルを把握し目標を設定する。	講義・演習	三宅
2	1)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
3	1)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
4	1)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
5	1)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
6	1)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
7	1)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
8	1)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
9	1)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
10	1)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
11	1)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
12	1)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
13	1)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
14	1)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
15	1)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
16	1)2)3)	プレイスメントテスト、自分の現在のレベルを把握し目標を設定する。	講義・演習	三宅
17	1)2)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅

18	1)2)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
19	1)2)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
20	1)2)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
21	1)2)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
22	1)2)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
23	1)2)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
24	1)2)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
25	1)2)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
26	1)2)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
27	1)2)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
28	1)2)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
29	1)2)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅
30	1)2)3)	Introduction to Psychology, Vocabulary Building, Vocabulary Test, Homework	講義・演習	三宅

教科書: 心理系 大学院入試頻出英単語 (中央ゼミナールステップアップサポート部) オクムラ書店【978-4-86053-074-7】
心理英語問題集 (大学院入試問題分析チーム) オクムラ書店【4-86053-046-2】

参考書: なし

科目名:	動物生態学				
担当者:	山口 光昭(非常勤講師)				
配当学科:	臨床心理専攻(1年)				
必修・選択:	選択	単位数:	2	時間数:	30
				開講期:	後期
				授業形態:	講義
授業概要:	動物介在活動に関わる動物を対象として、必要最低限の生理学、解剖学から、起源、生活様式からその行動、習性、生態を理解するための基本概念、社会化、行動問題、行動問題への対処法、動物種間の行動比較などの理解を深めること。				
到達目標:	1)動物介在活動に関わる動物の構造・生態を理解することができる。 (SBOs) 2)人の社会と共存していくための社会化、行動問題、行動問題への対処法を理解することができる。				
評価方法:	受講態度、期末試験により評価する。				
準備学習・履修上の注意等:	予習・復習を行うこと。				
オフィスアワー:	講義前後の可能な時間				

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	【イントロダクション／各動物の比較生理・解剖学】 動物行動学の歴史、各動物の生理・解剖学を理解できる。	講義	山口
2	1)2)	【進化と家畜化】 進化の中でなぜ人に飼育されるようになったのか、犬と猫の歴史を学ぶことができる。	講義	山口
3	1)2)	【栄養学・衛生学】 主に犬と猫の栄養学及び、動物飼育時の消毒を中心とした衛生学を身につけることができる。	講義	山口
4	1)2)	【発達行動学 猫】 生まれてから成猫となるまでに行動様式がどのように変わるのかを理解できる。	講義	山口
5	1)2)	【発達行動学 犬】 生まれてから成犬になるまでの行動様式を学びネコ科の動物との違いを確認できる。	講義	山口
6	1)2)	【社会的行動学 猫】 単独行動を行う猫科動物の行動を野生猫科動物や野良猫の行動様式から理解できる。	講義	山口
7	1)2)	【社会的行動学 犬】 基本的に群れで生活する生物の代表である犬の行動様式を犬、狼、コヨーテなどと比較して行動様式を理解できる。	講義	山口
8	1)2)	【摂食行動・人と動物の関係】 主に犬・猫の摂食・飲水・嗜好性を理解することと、責任ある飼育となれる。	講義	山口
9	1)2)	【子犬のしつけ】 動物が人間社会に適応しお互い良い関係で暮らすための一歩を学ぶ。	講義	山口
10	1)2)	【子犬の問題行動・対処法①】 仔犬における一般的に問題となる攻撃行動パターンとその対処法を学んでいく。	講義	山口
11	1)2)	【子犬の問題行動・対処法②】 咬む行動パターン以外の問題行動とその対処法を理解できる。	講義	山口
12	1)2)	【行動対処の基本】 基礎訓練の方法・行動修正法の基本ができる。	講義	山口
13	1)2)	【成犬の問題行動と対処法①】 将来に生かせるように、さまざまな攻撃行動の原因・症状と対処法を学ぶことができる。	講義	山口
14	1)2)	【成犬の問題行動と対処法②】 攻撃行動以外で問題となる不安行動や、動物が長生きするようになって問題となってきている老齢性認知障害などの対処法を説明できる。	講義	山口

猫の飼育における問題行動の原因を理解し、対処法を説明・実行できる。

教科書: 使用しない。

参考書: THE WALTHAM BOOK 犬と猫の行動学 (Chris Thorne(山崎 恵子・鷺巣 月美 訳)) インターズー【4-900573-49-3 C3047】

科目名: 動物介在教育学

担当者: 加藤 謙介(福・福)

配当学科: ◆旧カリキュラム:子ども保育福祉学科(3年・4年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 本講義では、福祉専門職・保育士・幼稚園教諭等の専門家育成にあたって、特に「子どもと動物の関係」「動物を介した教育」をめぐる様々な事柄・問題について、幅広く専門知識を習得する。
具体的には、「動物介在教育」「アニマル・セラピー」「法制度における動物飼育」「動物虐待と児童虐待」「メディアにおける人間と動物の関係」などの小テーマについて学習する。その上で、人間と動物の関係を教育分野で活用するための知識を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)「人間と動物の関係」の特徴・多様性を説明できる。
2)いわゆる「アニマル・セラピー」の特徴と意義について説明できる。
3)いわゆる「動物介在教育」の特徴と意義について説明できる。
4)学校等での動物飼育に関する意義と注意点について説明できる。
5)「動物虐待」の特徴と課題、及び、対応のあり方について説明できる。
6)絵本・映画などに描かれた「人間と動物の関係」の特徴について説明できる。

評価方法: 学期末の試験によって評価する。

準備学習・履修上の注意等: 【準備学習(予習・復習等)時間】毎授業後次回授業内容のポイントを示すので、事前準備を行うこと。また、毎授業後に、1コマあたり1時間を目安に、必ず講義ノートを読み返すこと。
【履修上の注意】本講義に際しては、心理学・福祉・医療、ならびに、保育・教育など、幅広い分野に関心をもち、様々な講義を受講していることが望ましい。また、他の受講生の迷惑になるような行為(私語等)は厳に謹んで頂きたい。

オフィスアワー: 時間割が確定した後に研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)3)	【1】イントロダクション:「子どもと動物の関係」に関する問題群の概要について説明する。	講義	加藤
2	1)	【2】『人間と動物の関係とは?』:「人間と動物の関係」の種類について、13の「動詞」から説明する。	講義	加藤
3	2)	【3】『アニマル・セラピー』とは何か?(1):動物を「介在」させたケア実践である「アニマル・セラピー」について、定義・歴史等について説明する。	講義	加藤
4	2)	【4】『アニマル・セラピー』とは何か?(2):動物を「介在」させたケア実践である「アニマル・セラピー」について、対象者・効果等について説明する。	講義	加藤
5	2)	【5】『アニマル・セラピー』とは何か?(3):動物を「介在」させたケア実践である「アニマル・セラピー」に関する理論的観点について説明する。	講義	加藤
6	3)	【6】動物介在教育の実践(1):動物を「介在」させた教育実践である「動物介在教育」について、目的と意義を説明する。	講義	加藤
7	3)	【7】動物介在教育の実践(2):動物を「介在」させた教育実践である「動物介在教育」について、注意点と課題を説明する。	講義	加藤
8	4)	【8】法制度における「動物飼育」(1):学校等での動物飼育に関する法律・制度について説明する。	講義	加藤
9	4)	【9】法制度における「動物飼育」(2):学校等での動物飼育に関する法律・制度に基づき、教育現場での動物活用の課題について説明する。	講義	加藤
10	5)	【10】「動物虐待と児童虐待」(1):「動物虐待」の特徴と対応の困難さについて説明する。	講義	加藤
11	5)	【11】「動物虐待と児童虐待」(2):「動物虐待」と「児童虐待」「DV」との関連を述べ、対応のあり方について説明する。	講義	加藤
12	5)	【12】「動物虐待と児童虐待」(3):「動物虐待」防止に関わる「共感性」の特徴について説明する。	講義	加藤
13	6)	【13】メディアにおける「人間と動物の関係」(1):「人間と動物の関係」をテーマとした絵本の特徴と活用方法について説明する。	講義	加藤
14	6)	【14】メディアにおける「人間と動物の関係」(2):「教育現場における動物の活用」をテーマとした映画を取り上げ、その特徴と問題点について説明する。	講義	加藤

15 1)2)3) 【15】総括:これまでの講義内容を踏まえ、「子どもと動物の関係」に関する意義・課 講義 加藤
4)5)6) 題・展望について説明する。

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **動物適正飼養・トレーニング学**

担当者: 綾部 ゆみ子(非常勤講師)

配当学科: 臨床心理専攻(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 人間と犬が共に豊かな生涯を送れる様に、人間は犬のことを理解し知識を得るために犬学・飼い主学を学び、終生飼養ができるよう総合的に学習する。

到達目標: 1・犬全般について知識を深める。
(SBOs) 2・犬のしつけについて知る。
3・犬の健康管理について知る。
4・犬の衛生管理について知る。

評価方法: 自己の意欲や取り組み、授業後のレポート提出、筆記試験等による評価。

準備学習・履修上の注意等: 授業までに予習として授業内容の範囲を読む事
毎授業後に授業内容の確認としてレポートにまとめる事
実技室の清掃を授業前にしておく事

オフィスアワー: 授業前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1-2	1	犬全般について知識を深める(2コマ) ・犬と人間の関わりについて ・作業犬、使役犬について	講義	綾部
3-6	1	パピー期についての基礎知識(4コマ) ・子犬の教育方法	講義	綾部
7	1	ジュニア期・成犬期・老犬期について基礎知識(1コマ)	講義	綾部
8-9	2	しつけ(2コマ) ・トイレのしつけ実技	講義	綾部
10-12	3	犬の健康管理(3コマ) 獣医師による健康チェック実技	講義	綾部
13-15	4	犬の衛生管理(3コマ) 美容実技	講義	綾部

教科書: なるほど! 犬の心理と行動(水越美奈) 西東社 【ISBN:4-7916-1159-4】

参考書: 使用しない。

科目名: **アニマルセラピー演習 I**

担当者: 加藤 謙介(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(3年生)

必修・選択: 選択

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義・演習・見学

授業概要: この演習では、受講生は、「アニマルセラピー」の実践的な知識・技術、「コーディネーター」の役割と仕事を学ぶことを目的とする。具体的には、「アニマルセラピーコーディネーター」の視点・役割・仕事、福祉・教育等の臨床現場における動物介在プログラムの計画、犬を介したコミュニケーション技術、社会福祉領域における人と動物の関係の意義と課題に関する実践的知識等を習得する。

到達目標: (SBOs)
1) アニマルセラピーコーディネーターの視点・役割・仕事を説明できるとともに、演習において活用できる。
2) 認知症高齢者や発達障害児のコミュニケーションの特徴を学び、動物介在プログラムへの応用を提案できる。
3) 福祉・教育など臨床現場での実践を見学し、その特徴を指摘できる。
4) 臨床現場より学んだものを共有し、活動の修正を提案できる。
5) 社会福祉領域における「人と動物の関係」に関する実践的知識を説明できる。

評価方法: 学期末試験、及びレポート課題で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 施設等での活動見学は土・日となることもある。毎回の授業にたいして2時間程度の復習と予習をすること。

オフィスアワー: 担当教員の研究室に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~5)	オリエンテーション	講義	加藤
2	1)	アニマルセラピーコーディネーター(1) より良いアニマルセラピー実践のために必要な事柄について、5種類の「現場の声」を踏まえて説明できる。	講義	加藤
3	1)	アニマルセラピーコーディネーター(2) アニマルセラピーコーディネーターの「仕事」について「情報交換」「教育」「評価」「調整」「コミュニケーション」の5点から説明できる。	講義・演習	加藤
4	1)	アニマルセラピーコーディネーター(3) アニマルセラピーコーディネーターの「仕事」について「情報交換」「教育」「評価」「調整」「コミュニケーション」の5点から演習をおこなう。	講義・演習	加藤
5	5)	福祉施設における動物活用のマネジメント(1) 高齢者施設における動物活用のマネジメントについて、国内の実践事例をもとに説明できる。	講義	加藤
6	5)	福祉施設における動物活用のマネジメント(2) 障害児・者施設における動物活用のマネジメントについて、国内の実践事例をもとに説明できる。	講義	加藤
7	2)	発達障害児とのコミュニケーション(1) 発達障害児のコミュニケーションの特徴を説明できる。	講義	外部講師・加藤
8	2)	発達障害児とのコミュニケーション(2) 発達障害児のコミュニケーションの特徴を説明できる。	講義	外部講師・加藤
9	2)	認知症高齢者とのコミュニケーション 認知症高齢者のコミュニケーションの特徴を説明できる。	講義	外部講師・加藤
10	3)	実施現場見学(1) アニマルセラピー実施施設の見学	見学	加藤
11	3)	実施現場見学(2) アニマルセラピー実施施設の見学	見学	加藤
12	3)	実施現場見学(3) アニマルセラピー実施施設の見学	見学	加藤
13	3)	実施現場見学(4) アニマルセラピー実施施設の見学	見学	加藤
14	4)	実施現場見学フォローアップ 実施現場見学の体験を共有し、自分の考えをまとめ説明できる	演習	加藤
15	1)	コミュニケーション技術 犬を同伴した場合のコミュニケーションを体験し、その特徴を説明できる。	演習	加藤

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: **アニマルセラピー演習Ⅱ**

担当者: 加藤 謙介(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(3年生)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習・見学

授業概要: この演習では、受講生は、「アニマル・セラピー」の実践的な知識・技術、「コーディネーター」の役割と仕事を学ぶことを目的とする。具体的には、「アニマルセラピーコーディネーター」の視点・役割・仕事、福祉・教育等の臨床現場における動物介在プログラムの計画、犬を介したコミュニケーション技術、社会福祉領域における人と動物の関係の意義と課題に関する実践的知識等を習得する。

到達目標 (SBOs): 1)アニマルセラピーコーディネーターの視点・役割・仕事を説明できるとともに、演習において活用できる。
2)認知症高齢者や発達障害児のコミュニケーションの特徴を学び、動物介在プログラムへの応用を提案できる。
3)福祉・教育など臨床現場での実践を見学し、その特徴を指摘できる。
4)臨床現場より学んだものを共有し、活動の修正を提案できる。
5)社会福祉領域における「人と動物の関係」に関する実践的知識を説明できる。

評価方法: 学期末試験、及びレポート課題で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 施設等への見学は土・日となることもありうる。毎回の授業にたいして2時間程度の復習と予習をすること。

オフィスアワー: 担当教員の研究室に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1-5)	オリエンテーション 演習Ⅱでの学びの内容を説明できる。	講義	加藤
2	3)	アニマルセラピー実施施設見学(1) 発達障害児対象の活動を見学する。	見学	加藤
3	4)	実施施設見学フォローアップ 見学の体験をまとめ、他の学生と共有できる。	演習	加藤
4	5)	社会福祉領域における「人と動物の関係」(1) 動物・福祉関係法規から見た「アニマルセラピー」の位置づけについて説明できる。	講義	加藤
5	5)	社会福祉領域における「人と動物の関係」(2) 動物・福祉関係法規から見た【アニマルセラピー】の位置づけについて説明できる。	講義	加藤
6	5)	社会福祉領域における「人と動物の関係」(3) 身体障害者補助犬法をもとに、障害者福祉における犬の精度的位置づけについて説明できる。	講義	加藤
7	5)	社会福祉領域における「人と動物の関係」(4) 身体障害者補助犬法をもとに、身体障害者の生活における動物の意義と課題について説明できる。	講義	加藤
8	5)	社会福祉領域における「人と動物の関係」(5) 「アニマルセラピー」と「障害者補助犬」を比較し、福祉領域における両者の位置づけ・意義・課題の差異について説明できる。	講義	加藤
9	5)	社会福祉領域における「人と動物の関係」(6) 在宅福祉サービス利用者の動物飼育に関する意義と課題について説明できる。	講義	加藤
10	5)	社会福祉領域における「人と動物の関係」(7) 在宅福祉サービス利用者の動物飼育を支援するための社会的資源について、グループディスカッションを通して学ぶことができる。	講義・演習	加藤
11	5)	社会福祉領域における「人と動物の関係」(8) 福祉サービス利用者の動物飼育体験を活かしたケアの手法について、演習を通して学ぶことができる。	講義・演習	加藤
12	2)	動物を介したコミュニケーション 専攻犬を介した他者とのコミュニケーションを実践できる。	演習	加藤
13	1)	アニマルセラピーコーディネーターの実際 ボランティアと受け入れ側との情報交換の実際を通して実務を説明できる。	演習	加藤

14	1-5)	「アニマル・セラピー」プログラムの策定(1) 福祉・教育等の現場を想定した活動メニューを提案できる。	演習	加藤
15	1-5)	「アニマル・セラピー」プログラムの策定(2) 福祉・教育等の現場を想定した活動メニューを提案できる。	演習	加藤

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: **キャリアカウンセリング**

担当者: 横山 裕(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻・福祉ビジネス専攻(3年)

必修・選択: 選択

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 講義

授業概要: 近年の新卒者に顕著な就業のしにくさやストレスフルな職場環境の出現によって様々な問題が引き起こされている。労働省が2000年に策定した「事業場における労働者の心の健康づくりのための指針」や内閣府に設置された緊急雇用対策本部でのキャリア形成の諸政策からもわかるように、キャリアカウンセリングのニーズは高まっている。本講義では、産業・キャリアカウンセリングが現状にどう対応可能であるかについて理解することを目的とする。

到達目標: (SBOs) 1)カウンセリングの基本的説明ができる。
2)キャリアカウンセリングについて説明できる。
3)就業に関する問題について説明できる。
4)職場環境に起因する就業者の問題について説明できる。
5)カウンセリングの手法が活用できる。
6)キャリアカウンセリングの手法ができる。
7)厚生労働省の心の健康づくりのための指針について説明できる。
8)内閣府の緊急雇用対策の諸政策について説明できる。

評価方法: 提出物の評価を30%及び講義内小試験70%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: カウンセリングの技法について復習しておくこと。

オフィスアワー: 横山が研究室に在室であればいつでも可。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	キャリアカウンセリングの歴史について知る。	講義	横山
2	2)	類似領域の産業カウンセリングについて知る。	講義	横山
3	1)2)	産業カウンセリングとキャリアカウンセリングの共通点と相違点について理解する。	講義	横山
4	3)	近年の就職をとりまく現状について知り、そこから発生する様々な問題について理解する。	講義	横山
5	4)	近年の職場環境の現状について知り、そこから発生する様々な問題について理解する。	講義	横山
6	4)7)	「事業場における労働者の心の健康づくりのための指針」について理解する。	講義	横山
7	4)5)	「事業場における労働者の心の健康づくりのための指針」にもとづく産業カウンセリングのあり方について理解する。	講義	横山
8	5)	産業カウンセリングの技法について知り、ロールプレイを通じて実際に活用できるようになる。	講義	横山
9	5)6)	産業カウンセリングとキャリアカウンセリングの技法の共通点と相違点について理解する。	講義	横山
10	8)	内閣府の緊急雇用対策の背景と実際の諸政策について理解する。	講義	横山
11	6)8)	緊急雇用対策におけるキャリアカウンセリングの位置づけについて理解する。	講義	横山
12	7)	キャリアカウンセリングの技法について知り、ロールプレイを通じて実際に活用できるようになる。	講義	横山
13	5)	各自が職場における就業者の心の健康についての問題を設定し、産業カウンセリングの技法の練習を行う。	演習	横山
14	6)	各自が就職活動における求職者の問題を設定し、キャリアカウンセリングの技法の練習を行う。	演習	横山

教科書: 必要に応じて別途指示する。

参考書: 必要に応じて別途指示する。

科目名: **アニマルセラピー概論 I**

担当者: 加藤 謙介(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: アニマルセラピー概論 I では、心理・福祉専門職育成にあたって、動物を介在したケア実践であるアニマル・セラピーについて、実践の特色、効果、コーディネートの実際等、幅広く専門知識を習得する。
具体的には、「アニマル・セラピーの概要」、「高齢者を対象とするアニマル・セラピー」、「障がい者を対象とするアニマル・セラピー」、「アニマルセラピーコーディネートの実際」などの小テーマについて学習する。その上で、人間と動物の関係を援助専門職分野で活用するための知識を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)アニマルセラピーの概要を整理・説明できる。
2)高齢者を対象とするアニマルセラピーの特徴を説明できる。
3)障がい者を対象とするアニマルセラピーの特徴を説明できる。
4)福祉施設における動物活用の意義と課題について、主に国内での実践事例に基づき説明できる。
5)ボランティア・NPOの特徴と社会的役割について説明できる。
6)「アニマルセラピーコーディネート」の特徴・注意点について説明できる。

評価方法: 学期末に試験を実施する。

準備学習・履修上の注意等: 【準備学習(予習・復習等)時間】毎授業後次回授業内容のポイントを示すので、事前準備を行うこと。また、毎授業後に、1コマあたり1時間を目安に、必ず講義ノートを読み返すこと。
【履修上の注意】本講義に際しては、心理学・福祉・医療など、幅広い分野に関心をもち、様々な講義を受講していることが望ましい。また、他の受講生の迷惑になるような行為(私語等)は厳に謹んで頂きたい。

オフィスアワー: 時間割が確定した後、研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【1】イントロダクション: アニマルセラピーと「人と動物の関係」を説明できる。	講義	加藤
2	1)	【2】アニマルセラピーの概要(1): アニマルセラピーの定義・対象者・効果等を説明できる。	講義	加藤
3	1)	【3】アニマルセラピーの概要(2): より良いアニマルセラピー実践のための「注意点」について、概要を説明できる。	講義	加藤
4	2)	【4】高齢者とアニマルセラピー(1): 高齢者を対象とするアニマルセラピーの特徴と効果について説明できる。	講義	加藤
5	2)	【5】高齢者とアニマルセラピー(2): 高齢者を対象とするアニマルセラピーの理論的観点について説明できる。	講義	加藤
6	2)4)	【6】高齢者施設における動物活用(1): 高齢者の施設ケアにおける動物活用について、国内の実践事例をもとに説明できる。	講義	加藤
7	2)4)	【7】高齢者施設における動物活用(2): 高齢者の施設ケアにおける動物活用について、国内の実践事例をもとに説明できる。	講義	加藤
8	3)	【8】障がい者とアニマルセラピー(1): 障がい者を対象とするアニマルセラピーの特徴と効果について説明できる。	講義	加藤
9	3)	【9】障がい者とアニマルセラピー(2): 障がい者を対象とするアニマルセラピーの理論的観点について説明できる。	講義	加藤
10	3)4)	【10】障がい者施設における動物活用: 障がい者の施設ケアにおける動物活用について、国内の実践事例をもとに説明できる。	講義	加藤
11	5)	【11】ボランティア・NPOの社会的役割: アニマルセラピーの担い手の一翼であるボランティア・NPOの特徴と社会的役割について説明できる。	講義	加藤
12	6)	【12】アニマルセラピーコーディネート(1): アニマルセラピー実践に必要な視点について、「5つの現場の声」をもとに説明できる。	講義	加藤
13	6)	【13】アニマルセラピーコーディネート(2): アニマルセラピー実践に必要な視点について、「5つの現場の声」をもとに説明できる。	講義	加藤
14	6)	【14】アニマルセラピーコーディネート(3): アニマルセラピー実践に必要な視点について、「5つの現場の声」をもとに説明できる。	講義	加藤

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない。

科目名: **アニマルセラピー概論Ⅱ**

担当者: 加藤 謙介(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: アニマルセラピー概論Ⅱでは、特に子どもを対象とした心理・福祉専門職育成にあたって、「子どもと動物の関係」「動物を介した教育」をめぐる様々な事柄・問題について、幅広く専門知識を習得する。
具体的には、子ども・障害児を対象とした「アニマル・セラピー」、「動物介在教育」、「法制度における動物飼育」、「動物虐待と児童虐待」、「メディアにおける人間と動物の関係」などの小テーマについて学習する。その上で、人間と動物の関係を援助専門職分野で活用するための知識を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)「人間と動物の関係」の特徴・多様性を説明できる。
2)子どもを対象にした「アニマル・セラピー」の特徴と意義について説明できる。
3)いわゆる「動物介在教育」の特徴と意義について説明できる。
4)学校等での動物飼育に関する意義と注意点について説明できる。
5)「動物虐待」の特徴と課題、及び、対応のあり方について説明できる。
6)絵本・映画などに描かれた「人間と動物の関係」の特徴について説明できる。

評価方法: 学期末の試験によって評価する。

準備学習・履修上の注意等: 【準備学習(予習・復習等)時間】毎授業後次回授業内容のポイントを示すので、事前準備を行うこと。また、毎授業後に、1コマあたり1時間を目安に、必ず講義ノートを読み返すこと。
【履修上の注意】本講義に際しては、心理学・福祉・医療、ならびに、保育・教育など、幅広い分野に関心をもち、様々な講義を受講していることが望ましい。また、他の受講生の迷惑になるような行為(私語等)は厳に謹んで頂きたい。

オフィスアワー: 時間割が確定した後に研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)3)	【1】イントロダクション:「子どもと動物の関係」に関する問題群の概要について説明する。	講義	加藤
2	2)	【2】子どものためのアニマル・セラピー(1):動物を「介在」させたケア実践である「アニマル・セラピー」について、定義・歴史等について説明する。	講義	加藤
3	2)	【3】子どものためのアニマル・セラピー(2):動物を「介在」させたケア実践である「アニマル・セラピー」について、特に子どもを対象にした研究・実践について説明する。	講義	加藤
4	2)	【4】子どものためのアニマル・セラピー(3):動物を「介在」させたケア実践である「アニマル・セラピー」について、特に障害児を対象にした研究・実践について説明する。	講義	加藤
5	2)	【5】子どものためのアニマル・セラピー(4):動物を「介在」させたケア実践である「アニマル・セラピー」に関する理論的観点について説明する。	講義	加藤
6	3)	【6】動物介在教育の実践(1):動物を「介在」させた教育実践である「動物介在教育」について、目的と意義を説明する。	講義	加藤
7	3)	【7】動物介在教育の実践(2):動物を「介在」させた教育実践である「動物介在教育」について、注意点と課題を説明する。	講義	加藤
8	4)	【8】法制度における「動物飼育」(1):学校等での動物飼育に関する法律・制度について説明する。	講義	加藤
9	4)	【9】法制度における「動物飼育」(2):学校等での動物飼育に関する法律・制度に基づき、教育現場での動物活用の課題について説明する。	講義	加藤
10	5)	【10】「動物虐待と児童虐待」(1):「動物虐待」の特徴と対応の困難さについて説明する。	講義	加藤
11	5)	【11】「動物虐待と児童虐待」(2):「動物虐待」と「児童虐待」「DV」との関連を述べ、対応のあり方について説明する。	講義	加藤
12	5)	【12】「動物虐待と児童虐待」(3):「動物虐待」防止に関わる「共感性」の特徴について説明する。	講義	加藤
13	6)	【13】メディアにおける「人間と動物の関係」(1):「人間と動物の関係」をテーマとした絵本の特徴と活用方法について説明する。	講義	加藤
		【14】メディアにおける「人間と動物の関係」(2):「教育現場における動物の活用」をテーマとした映画を取り上げ、その特徴と問題点について説明する。	講義	加藤

- 14 6) 【15】総括:これまでの講義内容を踏まえ、「子どもと動物の関係」に関する意義・課題・展望について説明する。 講義 加藤
- 15 1)2)3)
4)5)6)

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **動物トレーニング実習 I**

担当者: 綾部 ゆみ子(非常勤講師)

配当学科: 臨床心理専攻(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 家族の一員と言われる犬と快適な生活を過ごすために、必要な教育方法を総合的に学習する。犬の本能や習性、コミュニケーションの取り方等を学び、個々の犬の性格に適した教育方法を学習理論に基づき習得する。また、トレーニング方法については陽性強化法を用いる事とする。3年生でのチャレンジテストに合格に向けての準備・心構えをする。

到達目標: (SBOs) 1.犬のトレーニング方法を知り実践できる。
2.犬のボディランゲージやカーミングシグナルが分かる。
3.犬の基本的なトレーニングを実践できる。
4.犬のマナーチャレンジテストを理解する。

評価方法: 筆記・実技試験による到達度および日常の授業態度で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 基礎知識を自主的に学び深めること。
実技室事前・事後清掃

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1-4	延岡市保健所による手洗い指導を学ぶ。(1コマ)	実技	綾部
2	1-4	クレートトレーニングについて学ぶ。(1コマ) トイレトレーニングについて学ぶ。	実技	綾部
3	1-4	犬を落ち着かせる方法について学ぶ。(1コマ)	実技	綾部
4-5	1-4	犬のトレーニング学についての知識を深める。(2コマ) ①寝める、叱るについて ②分かりやすいトレーニング法について ③指示語について	実技	綾部
6-7	1-4	犬の行動学について知識を深める。(2コマ) ①犬の脳について ②ボディランゲージについて ③優位・劣位行動について ④カーミングシグナルについて	実技	綾部
8-13	1-4	犬との基本トレーニングについて学ぶ。(6コマ) ①上記＋名前呼び ②上記＋呼び戻し(近距離・遠距離・ターゲット) ③上記＋オスワリ ④上記＋アイコンタクト ⑤上記＋マテ ⑥上記＋フセ・立って ⑦上記＋マグネット・ジシャク ⑧上記＋リーダーウオーク	実技	綾部
14-15	1-4	家庭犬のマナーチャレンジテストを学ぶ(2コマ)	実技	綾部

教科書: トレーニング・ザ・ケイナイン グッド・シチズン 優良家族犬普及協会

参考書: 使用しない。

科目名: **動物トレーニング実習Ⅱ**

担当者: 綾部 ゆみ子(非常勤講師)

配当学科: 臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 犬と人間が共存していく上で、お互いにストレスを感じない快適な生活を送るために必要な犬の飼い方・しつけ方を総合的に学習する。犬の本能や習性、コミュニケーションの取り方、ボディランゲージの読み取りを学び、個々の犬の性格に適したしつけ方を、学習理論に基づき学ぶ。この演習では、陽性強化法に立脚したトレーニング方法を用いる。

到達目標: (SBOs) 1. マナーチャレンジテストに合格する。
2. 限られた時間の中で健康管理や衛生管理ができる。
3. セラピードッグの育成に努める。

評価方法: 授業後のレポート、マナーチャレンジテストの合否、実習態度で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 自己の意識を高められるように努める。
犬や周囲に配慮ができるよう自ら努める。
授業に際し、予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1-2	1-3	健康チェック・衛生チェックの復習(2コマ) 基本トレーニングの復習	実技	綾部
3-5	1-3	マナーチャレンジテストについての確認(3コマ) ①テスト項目の確認 ②、③テスト内容についての質疑応答、練習	実技	綾部
6-7	1-3	マナーチャレンジテストの練習(2コマ)	実技	綾部
8	1-3	マナーチャレンジテスト(1コマ)	実技	綾部
9-10	1-3	セラピードッグ育成法を各自で考えまとめる。(2コマ)	実技	綾部
11-12	1-3	セラピードッグ育成法を各自発表する。(2コマ)	実技	綾部
13-15	1-3	施設訪問の実技(3コマ)	実技	綾部

教科書: こころのワクチン 子犬に教える、人としあわせに暮らす方法(パレード)【ISBN:9784434151866】

参考書: 使用しない。

科目名: **アニマルセラピー学外実習**

担当者: 加藤 謙介(福・福)

配当学科: 動物療法専攻(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 動物療法専攻での学習の集大成として、福祉・教育等の現場における「アニマル・セラピー」プログラムを企画・実施する。具体的には、本実習を通して、(1)対象者の理解と実践での適切な対応、(2)参加動物のトレーニング・ハンドリング、(3)「アニマル・セラピー」プログラムの企画・立案、(4)「アニマル・セラピー」のコーディネートの実践、の4点を習得し、卒業後の実践に備える。

到達目標: (SBOs) 1)「アニマル・セラピー」の全般的な企画・コーディネートの役割を果たすことができる。
2)活動場面における具体的なプログラム内容を企画・立案できる。
3)実践グループにおける各役割(ハンドラー、アシスタント、チームリーダー等)を適切に担うことができる。
4)実践場面での問題点を把握し、解決に向けて建設的な提案ができる。
5)活動計画の策定及び事前事後ミーティング等に積極的に参画し、動物とともに臨床場面に臨む専門職としての役割を担うことができる。

評価方法: 実習への参加、訪問活動のレポート課題、事前事後指導への積極的参加等を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 「アニマルセラピー演習Ⅰ・Ⅱ」を履修済みであること。訪問活動の詳細(回数、実施施設、日程)は、訪問施設の都合、履修生の人数や天候等により変更があり柔軟に対応する。学期期間を通して、3~4回の訪問活動を計画しているが、活動日が土・日となることも想定される。毎週2時間は、セラピー実施準備や事後レポートに費やすこと。

オフィスアワー: 担当教員の研究室に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~5)	オリエンテーション 学外実習の概要	講義	加藤
2	1)2)5)	実習施設訪問/事前打ち合わせ 施設担当者との事前打ち合わせ	実習	加藤
3	1)2)5)	実習施設訪問/事前打ち合わせ 施設担当者との事前打ち合わせ	実習	加藤
4	1)2)5)	実施計画策定 活動実施計画案の策定	実習	加藤
5	1)2)5)	実施計画策定 活動実施計画案の策定	実習	加藤
6	1)2)5)	実施案決定 担当者と実施案を決定	実習	加藤
7	3)5)	第1回訪問活動実施	実習	加藤
8	3)5)	第1回訪問活動実施	実習	加藤
9	2)4)5)	第1回訪問活動フォローアップ 第1回活動の報告、修正提案	実習	加藤
10	3)5)	第2回訪問活動実施	実習	加藤
11	3)5)	第2回訪問活動実施	実習	加藤
12	2)4)5)	第2回訪問活動フォローアップ 第2回活動の報告、修正提案	実習	加藤
13	3)5)	第3回訪問活動実施	実習	加藤
14	3)5)	第3回訪問活動実施	実習	加藤
15	2)4)5)	第3回訪問活動フォローアップ 第3回活動の報告、修正提案	実習	加藤

教科書: なし

参考書: なし

科目名: トリミング演習

担当者: 浅尾 美幸(非常勤講師)

配当学科: 臨床心理専攻(2年)

必修・選択: 選択

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 演習

授業概要: 本科目では、アニマルセラピーをはじめとする動物介在プログラム実施にあたり、活動に参加する動物(主に犬)の衛生管理・「身だしなみ」の整え方を学ぶとともに、犬の体の構造・簡単な健康管理の方法等も習得することを目的としている。具体的には、トリミング・グルーミング等の演習への参加を通して、知識とともに技術の習得を目指す。

到達目標: (SBOs) 1)犬の種類を知り、体格や毛質によりお手入れ方法の違いを理解し、実践できる。
2)犬の骨格・動きを知り、実践で取り入れることができる。
3)犬の目・耳・爪などの構造を知り、トリミング中に異常を発見できるようになる。
4)トリミング道具を知り、各部位によって使い分けができる。
5)1人で各部位のお手入れ、シャンプー、部分カットまで出来るようになる。
6)犬を思いやり、優しさをもって接することができ、きれいにしてあげる喜びを知る。

評価方法: 授業態度と小物作成で評価。

準備学習・履修上の注意等: 動きやすい服装と靴(ヒールなし)で来ること。
予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	【トリミングの目的・犬の体の基礎知識】犬の体を知り、トリミング中に健康チェックができるようになる。	演習	浅尾
2	4)	【道具の名前と使い方】道具の名前を知り、各部位によって使い分けの事ができるようになる。	演習	浅尾
3	3)	【各部位の構造と手入れ】各部位のお手入れ方法を知る。	演習	浅尾
4	3)	【各部位の構造と手入れ】各部位のお手入れ方法を知る。	演習	浅尾
5	6)	【リボン作成】犬に使うリボンを各自作成できるようになる。	演習	浅尾
6	6)	【リボン作成とグルーミング実演】グルーミングを見学し、見て覚える。	演習	浅尾
7	4)	【ブラッシングとカット】ウィッグを使い、ブラッシングの練習とカットの練習。道具に慣れる。	演習	浅尾
8	4)	【ブラッシングとカット】ウィッグを使い、ブラッシングの練習とカットの練習。道具に慣れる。	演習	浅尾
9	5)	【グルーミング実習】実施に犬に触れ、犬の動きに慣れ、一人でグルーミングができるようになる。	演習	浅尾
10	5)	【グルーミング実習】実施に犬に触れ、犬の動きに慣れ、一人でグルーミングができるようになる。	演習	浅尾
11	5)	【グルーミング実習】実施に犬に触れ、犬の動きに慣れ、一人でグルーミングができるようになる。	演習	浅尾
12	5)	【グルーミング実習】実施に犬に触れ、犬の動きに慣れ、一人でグルーミングができるようになる。	演習	浅尾
13	5)	【グルーミング実習】実施に犬に触れ、犬の動きに慣れ、一人でグルーミングができるようになる。	演習	浅尾
14	5)	【グルーミング実習】実施に犬に触れ、犬の動きに慣れ、一人でグルーミングができるようになる。	演習	浅尾
15	5)	【グルーミング実習】実施に犬に触れ、犬の動きに慣れ、一人でグルーミングができるようになる。	演習	浅尾

教科書: 使用しない。

参考書: ドッグ・グルーマーズ プロフェッショナル・ワークブック (渡辺 まゆみ・浅野 妃美・山根 淳一) メディカルサイエンス

科目名: 心理検査法実習

担当者: 田中 陽子(福・福)、前田 直樹(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・動物療法専攻・臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 心理検査法実習では、心理アセスメントの方法の実習を行う。各検査ごとに、その検査の成り立ちを学び、さらにお互いに検査者や被検査者となり、実際に心理検査を実施することで、実施方法を習得する。また、その結果を使い、基本的な分析・解釈の方法、臨床心理学的報告書の書き方を習得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)心理検査とは何かを理解し、その概要を説明できる。
 - 2)性格検査とは何かを理解し、その概要を説明できる。
 - 3)知能検査とは何かを理解し、その概要を説明できる。
 - 4)いくつかの心理検査について、実施方法について理解し、説明ができる。
 - 5)いくつかの心理検査について、分析方法について理解し、説明ができる。
 - 6)自己分析や事例などを通して、臨床心理学的報告書の書き方を習得する。
 - 7)心理検査の結果の活かし方を学ぶ。

評価方法: 授業中の課題への取り組み30%およびそれぞれの実習した課題ごとのレポート等70%として総括的評価を行う。

- 準備学習・履修上の注意等:
- ・相互に検査者、被検査者になり、実際に心理検査を行うので、その予定でいること。
 - ・1コマ当たり1時間を目安に復習を行うこと。
 - ・実習した心理検査については検査ごとにレポートを提出すること。

オフィスアワー: 研究室前に掲示。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	心理検査とは	講義	前田
2	2)4)	【性格検査 質問紙法 YG性格検査①】 YG性格検査とは	実習	前田
3	4)5)	【性格検査 質問紙法 YG性格検査②】 YG性格検査の分析	実習	前田
4	4)5)7)	【性格検査 質問紙法 YG性格検査③】 YG性格検査の報告書の書き方	実習	前田
5	2)4)	【性格検査 質問紙法 POMS①】 POMSとは	実習	前田
6	4)5)7)	【性格検査 質問紙法 POMS②】 POMSの分析と報告書の書き方	実習	前田
7	2)4)	【性格検査 質問紙法 BDI-II ①】 BDI-IIとは	実習	前田
8	4)5)7)	【性格検査 質問紙法 BDI-II ②】 BDI-IIの分析と報告書の書き方	実習	前田
9	2)4)	【性格検査 質問紙法 エゴグラム①】 エゴグラムとは	実習	前田
10	4)5)	【性格検査 質問紙法 エゴグラム②】 エゴグラムの分析	実習	前田
11	4)5)7)	【性格検査 質問紙法 エゴグラム③】 エゴグラムの報告書の書き方	実習	前田
12	6)7)	【性格検査 質問紙法の実際①】 質問紙を使った事例の研究	実習	前田
13	6)7)	【性格検査 質問紙法の実際②】 質問紙を使った事例の研究	実習	前田
14	2)4)	【性格検査 作業検査法 内田クレペリン作業検査①】 内田クレペリン作業検査とは	実習	前田
15	4)5)7)	【性格検査 作業検査法 内田クレペリン作業検査②】 内田クレペリン作業検査の基本的な分析方法と報告書の書き方	実習	前田

16	3)4)	【知能検査①】 知能検査とは	講義	田中
17	3)4)	【知能検査②】 架空のケースを想定したウェクスラー法の知能検査の実施①	実習	田中
18	3)4)	【知能検査③】 架空のケースを想定したウェクスラー法の知能検査の実施②	実習	田中
19	3)4)	【知能検査④】 架空のケースを想定したウェクスラー法の知能検査の実施③	実習	田中
20	4)5)	【知能検査⑤】 ウェクスラー法の知能検査の分析の実際	実習	田中
21	5)6)7)	【知能検査⑥】 ウェクスラー法の知能検査の臨床心理学的報告書の書き方と結果の活かし方	実習	田中
22	4)5)6)	【知能検査⑦】 長谷川簡易知能スケールの実際と分析方法	実習	田中
23	4)5)7)	【性格検査 投影法①】 ロールシャッハ・テストの基本的な分析方法	実習	田中
24	4)5)6)	【性格検査 投影法②】 スクウィグル法の実際と分析方法	実習	田中
25	4)5)6)	【性格検査 投影法③】 風景構成法の実際と分析方法	実習	田中
26	4)5)6)	【性格検査 投影法④】 雨中人物画テストとは	実習	田中
27	4)5)6)	【性格検査 投影法⑤】 雨中人物画テストの実際と分析方法①	実習	田中
28	5)6)7)	【性格検査 投影法⑥】 雨中人物画テストの実際と分析方法②	実習	田中
29	6)7)	【性格検査 投影法⑦】 バウムテストの実際と分析方法	実習	田中
30	6)7)	心理検査を使った事例	演習	田中

教科書： 使用しない

参考書： 『研究事例で学ぶSPSSとAmosによる心理・調査データ解析』(小塩真司)東京図書【4-489-09710-8】
『SPSSとAmosによる心理・調査データ解析 第2版』(小塩真司)東京図書【978-4-489-02102-2】
そのほか講義中に適宜紹介。

科目名: **カウンセリング実習**

担当者: 田中 陽子(福・福)、前田 直樹(福・福)、横山 裕(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: カウンセリング実習では、年間を通して、小学校や中学校などで、実際に児童・生徒の支援に関わることとする。これまでに得てきた心理学やカウンセリングの知識を応用しなければならない。特に、観察、カウンセリング、記録などを実践する。

到達目標: (SBOs) 1)カウンセリング実習の概要を理解する。
2)現場での支援の方法を理解し、説明することができる。
3)記録をすることができる。
4)これまで受講した心理学関係の講義や指導の内容を実践できる。

評価方法: 講義内での指導を含めた実習への取り組み60%、実習記録40%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 3年次までの必修科目は履修済みのこと。
原則的に欠席は不可。
毎実習ごとに実習の内容をまとめたレポートを提出すること。また、返却されたレポートのコメントには必ず目を通し、次回実習の事前準備をすること。そのため、1コマあたり1時間以上の事前・事後学習が必要となる。

オフィスアワー: 研究室前に掲示。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	カウンセリング実習の概要	講義	田中・前田・横山
2	1)2)	事前指導①:実習先の理解	演習	田中・前田・横山
3	1)2)	事前指導②:カウンセリングの進め方	演習	田中・前田・横山
4	1)2)4)	事前指導③:カウンセリングの実際	演習	田中・前田・横山
5	3)4)	事前指導④:記録の実際	演習	田中・前田・横山
6	2)3)4)	実習①	実習	田中・前田・横山
7	2)3)4)	実習②	実習	田中・前田・横山
8	2)3)4)	実習③	実習	田中・前田・横山
9	2)	中間指導①	演習	田中・前田・横山
10	2)3)4)	実習④	実習	田中・前田・横山
11	2)3)4)	実習⑤	実習	田中・前田・横山
12	2)3)4)	実習⑥	実習	田中・前田・横山
13	2)	中間指導②	演習	田中・前田・横山
14	2)3)4)	実習⑦	実習	田中・前田・横山
15	2)	中間指導③	演習	田中・前田・横山

16	2)3)4)	実習⑧	実習	田中・前田・横山
17	2)3)4)	実習⑨	実習	田中・前田・横山
18	2)3)4)	実習⑩	実習	田中・前田・横山
19	2)	中間指導④	演習	田中・前田・横山
20	2)3)4)	実習⑪	実習	田中・前田・横山
21	2)3)4)	実習⑫	実習	田中・前田・横山
22	2)3)4)	実習⑬	実習	田中・前田・横山
23	2)	中間指導⑤	演習	田中・前田・横山
24	2)3)4)	実習⑭	実習	田中・前田・横山
25	2)3)4)	実習⑮	実習	田中・前田・横山
26	2)3)4)	実習⑯	実習	田中・前田・横山
27	2)	中間指導⑥	演習	田中・前田・横山
28	2)3)4)	実習⑰	実習	田中・前田・横山
29	2)3)4)	実習⑱	実習	田中・前田・横山
30	2)	実習のまとめ	演習	田中・前田・横山

教科書： 使用しません。

参考書： 講義内にて適宜紹介

科目名: **絵画療法**

担当者: 安原 青兒(福・子)

配当学科: 臨床心理専攻・子ども保育福祉学科(3年)

必修・選択: 選択

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 演習

授業概要: 本授業では社会福祉学部学ぶ学生の専門性を踏まえ、絵画の持つ広義の療法としての可能性に目を向け、平面の中に描き表された描画者の内なる思いとノンバーバルコミュニケーションについて演習を通して概要を習得する。受講生は学習の土台となる描画発達過程・色彩や形態の解釈について理解し、演習では個人療法、相互法、集団療法の技法を体験し、福祉現場で役立つ実践力を身につける。また絵画療法を行う者が持つべき人間観・世界観を理解する。

到達目標: (SBOs) 1)治療的手段となり得る絵画の力と可能性について理解し、絵画療法の概要を説明することが出来る。
2)描画の発達過程を正しく理解し、説明することが出来る。
3)描画の読み取りのポイントを列挙し、色彩や形態に見られる描画者の思いを共有できるようになる。
4)絵画療法の各種技法を体験し、その目的と内容を習得する。
5)集団療法に参加し、絵画療法を行う者と描画者の双方の立場を模擬体験し、その思いを感じ取ることが出来る。
6)学習を通して学んだことを自作ノートにまとめ提出する。

評価方法: 最終試験に加えて、演習での制作物やノートの提出と期限の遵守。また授業に必要な用具の準備、演習への取り組み姿勢等、総合的な授業点を勘案する。欠席は5回まで、遅刻・早退は3回で欠席1回分の減点とする。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき60分を目安に、演習で体験した各種技法の治療的な意義や目的、方法、手順、感想などをノートにまとめ、加えて次回演習の準備学習を行うこと。個人の内面に係る演習を含む科目の性質上、授業中における身体や気分の不調に対しては速やかに報告すること。このことに関連から、不真面目な学生が療法に対して誤った認識を持つ危険もあるので、受講生には真摯な受講態度を求める。

オフィスアワー: 講義時間以外の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【授業概要を学ぶ】 授業の目的や進め方を理解し、必要な材料、用具などについて理解する。 また科目評価の基準や方法を知り、学ぶ姿勢と意識を高める。	講義	安原
2	1)	【絵画療法の本質理解】 一般的な美的価値基準では見落とされがちな、絵画の治療的な側面からその本質を捉え直すことが出来るようになる。	講義	安原
3	2)	【描画発達過程と特徴】 人間の描画活動に共通する発達過程を知り、それぞれの発達の時期に表される描画の特徴についても理解する。	講義	安原
4	3)	【描画解釈】 描画には無意識を含めた描画者の心が投影されることを学び、それが具体的な色彩や形態にどのように象徴され得るのかを理解する。	講義・演習	安原
5	4)5)	【初期的導入】 初期的導入としてのなぐり描き、スクイグルの技法を体験し、描画者とのラポールの形成に絵画療法がどう役割を果たすか理解する。	演習	安原
6	1)2)3)	【描画と障害】 障害児(者)への描画の導入とその治療的な働き、 サヴァン症候群に見られる才能の発掘と支援者の問題を理解する。	演習	安原
7	4)5)	【水彩絵の具の技法】 絵具、水、色彩の果たす治療的な働きに気づき、にじみ絵、 フィンガーペイントの技法を体験して、その心身への作用を理解する。	演習	安原
8	4)5)	【集団絵画療法1】 グループワークの一技法としてKJ法を用いた共同制作を試みる。 そこで展開する力動的側面を理解し、療法を行う者の役割も学ぶ。	演習	安原
9	4)5)	【集団絵画療法2】 グループワークの一技法としてKJ法を用いた共同制作を試みる。 そこで展開する力動的側面を理解し、療法を行う者の役割も学ぶ。	演習・SGD	安原
10	4)5)	【コラージュ療法1】 コラージュの語源と現代美術における成立の経緯を理解し特質を学ぶ。また作品作りを通してその手順と用具、材料の理解を深める。	演習・SGD	安原
11	4)5)	【コラージュ療法2】	演習	安原

コラージュの語源と現代美術における成立の経緯を理解し特質を学ぶ。また作品作りを通してその手順と用具、材料の理解を深める。

12	4)5)	【ちぎり絵1】 治療的に提供されるちぎり絵を体験し、心身にどのような効果があるか、また評価項目を考察し、福祉現場での利用の方法について学ぶ。	演習	安原
13	4)5)	【ちぎり絵2】 治療的に提供されるちぎり絵を体験し、心身にどのような効果があるか、また評価項目を考察し、福祉現場での利用の方法について学ぶ。	演習	安原
14	4)5)	【ちぎり絵3】 治療的に提供されるちぎり絵を体験し、心身にどのような効果があるか、また評価項目を考察し、福祉現場での利用の方法について学ぶ。	演習	安原
15	1)~6)	【演習の総括】 絵画療法の本質、用具や材料の振り返り、療法を行う者に必要な人間観や世界観を理解し、演習を通して自ら学んだことをまとめる。	講義・演習	安原

教科書： 福祉のための芸術療法の考え方 ―絵画療法を中心に― (安原 青児) 大学教育出版社【978-4-88730-688-2】

参考書： 必要に応じて授業内で資料を配布する。

科目名: **絵画療法**

担当者: 安原 青児(福・子)

配当学科: 臨床心理専攻・子ども保育福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 本授業では社会福祉学部学ぶ学生の専門性を踏まえ、絵画の持つ広義の療法としての可能性に目を向け、平面の中に描き表された描画者の内なる思いとノンバーバルコミュニケーションについて演習を通して概要を習得する。受講生は学習の土台となる描画発達過程・色彩や形態の解釈について理解し、演習では個人療法、相互法、集団療法の技法を体験し、福祉現場で役立つ実践力を身につける。また絵画療法を行う者が持つべき人間観・世界観を理解する。

到達目標: (SBOs) 1)治療的手段となり得る絵画の力と可能性について理解し、絵画療法の概要を説明することが出来る。
2)描画の発達過程を正しく理解し、説明することが出来る。
3)描画の読み取りのポイントを列挙し、色彩や形態に見られる描画者の思いを共有できるようになる。
4)絵画療法の各種技法を体験し、その目的と内容を習得する。
5)集団療法に参加し、絵画療法を行う者と描画者の双方の立場を模擬体験し、その思いを感じ取ることが出来る。
6)学習を通して学んだことを自作ノートにまとめ提出する。

評価方法: 最終試験に加えて、演習での制作物やノートの提出と期限の遵守。また授業に必要な用具の準備、演習への取り組み姿勢等、総合的な授業点を勘案する。欠席は5回まで、遅刻・早退は3回で欠席1回分の減点とする。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき60分を目安に、演習で体験した各種技法の治療的な意義や目的、方法、手順、感想などをノートにまとめ、加えて次回演習の準備学習を行うこと。個人の内面に係る演習を含む科目の性質上、授業中における身体や気分の不調に対しては速やかに報告すること。このことに関連から、不真面目な学生が療法に対して誤った認識を持つ危険もあるので、受講生には真摯な受講態度を求める。

オフィスアワー: 講義時間以外の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【授業概要を学ぶ】 授業の目的や進め方を理解し、必要な材料、用具などについて理解する。 また科目評価の基準や方法を知り、学ぶ姿勢と意識を高める。	講義	安原
2	1)	【絵画療法の本質理解】 一般的な美的価値基準では見落とされがちな、絵画の治療的な側面からその本質を捉え直すことが出来るようになる。	講義	安原
3	2)	【描画発達過程と特徴】 人間の描画活動に共通する発達過程を知り、それぞれの発達の時期に表される描画の特徴についても理解する。	講義	安原
4	3)	【描画解釈】 描画には無意識を含めた描画者の心が投影されることを学び、それが具体的な色彩や形態にどのように象徴され得るのかを理解する。	講義・演習	安原
5	4)5)	【初期的導入】 初期的導入としてのなぐり描き、スクイグルの技法を体験し、描画者とのラポールの形成に絵画療法がどう役割を果たすか理解する。	演習	安原
6	1)2)3)	【描画と障害】 障害児(者)への描画の導入とその治療的な働き、サヴァン症候群に見られる才能の発掘と支援者の問題を理解する。	演習	安原
7	4)5)	【水彩絵の具の技法】 絵具、水、色彩の果たす治療的な働きに気づき、にじみ絵、フィンガーペイントの技法を体験して、その心身への作用を理解する。	演習	安原
8	4)5)	【集団絵画療法1】 グループワークの一技法としてKJ法を用いた共同制作を試みる。 そこで展開する力動的側面を理解し、療法を行う者の役割も学ぶ。	演習	安原
9	4)5)	【集団絵画療法2】 グループワークの一技法としてKJ法を用いた共同制作を試みる。 そこで展開する力動的側面を理解し、療法を行う者の役割も学ぶ。	演習・SGD	安原
10	4)5)	【コラージュ療法1】 コラージュの語源と現代美術における成立の経緯を理解し特質を学ぶ。また作品作りを通してその手順と用具、材料の理解を深める。	演習・SGD	安原
11	4)5)	【コラージュ療法2】	演習	安原

コラージュの語源と現代美術における成立の経緯を理解し特質を学ぶ。また作品作りを通してその手順と用具、材料の理解を深める。

12	4)5)	【ちぎり絵1】 治療的に提供されるちぎり絵を体験し、心身にどのような効果があるか、また評価項目を考察し、福祉現場での利用の方法について学ぶ。	演習	安原
13	4)5)	【ちぎり絵2】 治療的に提供されるちぎり絵を体験し、心身にどのような効果があるか、また評価項目を考察し、福祉現場での利用の方法について学ぶ。	演習	安原
14	4)5)	【ちぎり絵3】 治療的に提供されるちぎり絵を体験し、心身にどのような効果があるか、また評価項目を考察し、福祉現場での利用の方法について学ぶ。	演習	安原
15	1)~6)	【演習の総括】 絵画療法の本質、用具や材料の振り返り、療法を行う者に必要な人間観や世界観を理解し、演習を通して自ら学んだことをまとめる。	講義・演習	安原

教科書： 福祉のための芸術療法の考え方 ―絵画療法を中心に― (安原 青児) 大学教育出版社 【978-4-88730-688-2】

参考書： 必要に応じて授業内で資料を配布する。

科目名: **音楽療法**

担当者: 松原 由美(福・子)

配当学科: 臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 選択

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 音楽は理屈を超えて感情の世界へ導いてくれる。リズムは心に活力を与え、メロディーは心を和ませてくれる。悲しい時、さびしい時、つらい時でも私たちが力づけ励ましてくれる。そんな音楽が、最近様々な場所で治療の一貫として使用され始めている。また、その音楽により病気や障害がある人たちのQOLの向上やリハビリテーションなどに活用されている。本講義では、音楽療法の理論的考察や具体的技法を高齢者・障碍児(者)等の事例を基に習得する。

到達目標: (SBOs) 1)音楽療法治療の目的や歴史について説明できる。
2)発達障害について理解し、各障害について説明できる。
3)それぞれの障碍児にあった音楽を考え、目的を持ったセッション案を立案できる。
4)セッションのフィードバックの方法が理解できる。
5)効果音と楽器の使用方法を理解できる。
6)季節の歌を理解し、歌うことができる。

評価方法: 課題レポート、ノート等により総合的に勘案し、評価する。

準備学習・履修上の注意等: 子どもの障碍は、授業中だけでは習得が難しいため、家庭学習を欠かさないこと。療法的内容につき、拒絶反応が出ることも想定する。気分がわるくなったら申し出ること。また、授業中の私語は謹んでほしい。

オフィスアワー: 松原研究室のドアに貼りだす。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	1.オリエンテーション(授業内容・評価・ノートの取り方などの説明) 2.音楽療法とは何かとその歴史	講義	松原
2	2)	音楽療法の現状と治療の意味を理解する。	講義	松原
3	2)3)	障がい児音楽療法の実際1 障がい児における発達の理解	講義	松原
4	3)4)5)6)	障がい児音楽療法の実際2(アセスメント・と目標設定方法)	講義	松原
5	3)4)5)6)	障がい児音楽療法の実際3(対象児理解)	講義	松原
6	3)4)5)6)	音楽療法の実際4(実際のアセスメントと目標立案)	講義	松原
7	3)4)5)6)	音楽療法の実際5(プログラム立案)	講義	松原
8	3)4)5)6)	音楽療法の実際6(フィードバック)	講義	松原
9	3)4)5)6)	音楽療法の実際7(不登校の児童の音楽療法)	講義	松原
10	3)4)5)6)	音楽療法の実際8(補導歴の児童への音楽療法)	講義	松原
11	3)4)5)6)	発達障害と音楽療法	講義	松原
12	3)4)5)6)	被虐待児と愛着障害の音楽療法	講義	松原
13	3)4)5)6)	被虐待児と音楽療法	講義	松原
14	3)4)5)6)	外科的治療後の音楽療法	講義	松原
15	3)4)5)6)	終末ケアと音楽療法	講義	松原

教科書: なし。

参考書: 授業内容や質問によって配布または、紹介する。

科目名: **障害児音楽療法**

担当者: 松原 由美(福・子)

配当学科: 臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 音楽は理屈を超えて感情の世界へ導いてくれる。リズムは心に活力を与え、メロディーは心を和ませてくれる。悲しい時、さびしい時、つらい時でも私たちを力づけ励ましてくれる。そんな音楽が、最近様々な場所で治療の一貫として使用され始めている。また、その音楽により病気や障害がある人たちのQOLの向上やリハビリテーション等などに活用されている。本講義では、音楽療法の理論的考察や具体的技法を高齢者・障害児(者)等の事例を基に習得する。

到達目標: (SBOs) 1)音楽療法治療の目的や歴史について説明できる。
2)発達障害について理解し、各障害について説明できる。
3)それぞれの障害児にあった音楽を考え、目的を持ったセッション案を立案できる。
4)セッションのフィードバックの方法が理解できる。
5)効果音と楽器の使用方法を理解できる。
6)季節の歌を理解し、歌うことができる。

評価方法: 課題レポート、ノート等により総合的に勘案し、評価する。

準備学習・履修上の注意等: 子どもの障害は、授業中だけでは習得が難しいため、家庭学習を欠かさないこと。療法的内容につき、拒絶反応が出ることも想定する。気分がわるくなったら申し出ること。また、授業中の私語は謹んでほしい。

オフィスアワー: 松原研究室のドアに貼りだす。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	1. オリエンテーション(授業内容・評価・ノートの取り方などの説明) 2. 音楽療法とは何かとその歴史	講義	松原
2	2)	音楽療法の現状と治療の意味を理解する。	講義	松原
3	2)3)	障がい児音楽療法の実際1 障がい児における発達の理解	講義	松原
4	3)4)5)6)	障がい児音楽療法の実際2(アセスメント・と目標設定方法)	講義	松原
5	3)4)5)6)	障がい児音楽療法の実際3(対象児理解)	講義	松原
6	3)4)5)6)	音楽療法の実際4(実際のアセスメントと目標立案)	講義	松原
7	3)4)5)6)	音楽療法の実際5(プログラム立案)	講義	松原
8	3)4)5)6)	音楽療法の実際6(実践)	講義	松原
9	3)4)5)6)	音楽療法の実際7(実践)	講義	松原
10	3)4)5)6)	音楽療法の実際8(フィードバック)	講義	松原
11	3)4)5)6)	発達障害と音楽療法	講義	松原
12	3)4)5)6)	発達障害と愛着障害の音楽療法	講義	松原
13	3)4)5)6)	被虐待児と音楽療法	講義	松原
14	3)4)5)6)	外科的治療後の音楽療法	講義	松原
15	3)4)5)6)	終末ケアと音楽療法	講義	松原

教科書： なし。

参考書： 配布する。

科目名: 外書講読 I

担当者: 前田 直樹(福・福)

配当学科: 臨床心理専攻(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 4 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 英語の基礎学力を高め、英語で心理学を学びつつ大学院合格に合格する英語力をつけることができる。

到達目標: 1)ボキャブラリーとリーディングの基礎学力を高める。
(SBOs) 2)英語圏で使用されている心理学テキストを読解し、「英語で心理学」を学ぶことができる。
3)心理系大学院の受験対策として簡単な問題を解くことができる。

評価方法: 出席、課題提出、ボキャブラリーテスト、プレイズメントテストの目標達成度を均等に重み付けして評価する。

準備学習・履修上の注意等: 受講生間の学力差が大きい場合は、共通教材とともに個々のレベルに応じた教材を用い、クラス全体と個々の学生を対象として講義・演習を組み合わせることになる。このシラバスに記述されている授業計画の詳細は受講生の英語力を見極めて柔軟に対応する。毎回の授業に対して2時間程度の準備を要する課題をしてくること。

オフィスアワー: 431号研究室に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)3)	プレイズメントテスト、自分の現在のレベルを把握し目標を設定する。	講義・演習	前田
2	1)3)	STの読解1 ボキャブラリー強化1 宿題1	講義・演習	前田
3	1)3)	STの読解2 ボキャブラリー強化2、ボキャブラリーテスト1、宿題2	講義・演習	前田
4	1)3)	STの読解3 ボキャブラリー強化3、ボキャブラリーテスト2、宿題3	講義・演習	前田
5	1)3)	STの読解4 ボキャブラリー強化4、ボキャブラリーテスト3、宿題4	講義・演習	前田
6	1)3)	STの読解5 ボキャブラリー強化5、ボキャブラリーテスト4、宿題5	講義・演習	前田
7	1)3)	STの読解6 ボキャブラリー強化6、ボキャブラリーテスト5、宿題6	講義・演習	前田
8	1)3)	STの読解7 ボキャブラリー強化7、ボキャブラリーテスト6、宿題7	講義・演習	前田
9	1)3)	STの読解8 ボキャブラリー強化8、ボキャブラリーテスト7、宿題8	講義・演習	前田
10	1)3)	STの読解9 ボキャブラリー強化9、ボキャブラリーテスト8、宿題9	講義・演習	前田
11	1)3)	STの読解10 ボキャブラリー強化10、ボキャブラリーテスト9、宿題10	講義・演習	前田
12	1)3)	STの読解11 ボキャブラリー強化11、ボキャブラリーテスト10、宿題11	講義・演習	前田
13	1)3)	STの読解12 ボキャブラリー強化12、ボキャブラリーテスト11、宿題12	講義・演習	前田
14	1)3)	STの読解13 ボキャブラリー強化13、ボキャブラリーテスト12、宿題13	講義・演習	前田
15	1)3)	STの読解14 ボキャブラリー強化14、ボキャブラリーテスト13	講義・演習	前田
16	1)2)3)	プレイズメントテスト プレイズメントテスト、自分の現在のレベルを把握し目標を設定する。	講義・演習	前田
17	1)2)3)	Introduction to Psychology1, Vocabulary Building1, Vocabulary Test1, Homework1	講義・演習	前田
18	1)2)3)	Introduction to Psychology2, Vocabulary Building2, Vocabulary Test1, Homework2	講義・演習	前田
19	1)2)3)	Introduction to Psychology3, Vocabulary Building3, Vocabulary Test1, Homework3	講義・演習	前田
20	1)2)3)	Introduction to Psychology4, Vocabulary Building4, Vocabulary Test1, Homework4	講義・演習	前田
21	1)2)3)	Introduction to Psychology5, Vocabulary Building5, Vocabulary Test1, Homework5	講義・演習	前田
22	1)2)3)	Introduction to Psychology6, Vocabulary Building6, Vocabulary Test1,	講義・演習	前田

Homework6

23	1)2)3)	Introduction to Psychology7, Vocabulary Building7, Vocabulary Test1, Homework7	講義・演習	前田
24	1)2)3)	Introduction to Psychology8, Vocabulary Building8, Vocabulary Test1, Homework8	講義・演習	前田
25	1)2)3)	Introduction to Psychology9, Vocabulary Building9, Vocabulary Test1, Homework9	講義・演習	前田
26	1)2)3)	Introduction to Psychology10, Vocabulary Building10, Vocabulary Test1, Homework10	講義・演習	前田
27	1)2)3)	Introduction to Psychology11, Vocabulary Building11, Vocabulary Test1, Homework11	講義・演習	前田
28	1)2)3)	Introduction to Psychology12, Vocabulary Building12, Vocabulary Test1, Homework12	講義・演習	前田
29	1)2)3)	Introduction to Psychology13, Vocabulary Building13, Vocabulary Test1, Homework13	講義・演習	前田
30	1)2)3)	Introduction to Psychology14, Vocabulary Building14, Vocabulary Test1	講義・演習	前田

教科書: 特になし

参考書: なし

科目名: **子どもの保健 I B**

担当者: 稲田 弘子(福・福)

配当学科: 子ども保育福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 子どもの健康や安全を守り、心身とも健やかに育てることのできる保育士となるために、絶えず成長・発達している子どもの身体的・精神的・社会的特徴を踏まえ、子どもにかかりやすい病気や感染症、予防接種そして安全確保のための取り組みや緊急時の対応などの知識を修得する。
子どもの保健 I Bでは、子どもがかりやすい、子ども特有の感染症や疾病その対応についての知識・技術を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)子どもの疾病とその予防法及び適切な対応について説明できる。
2)保育における衛生管理について説明できる。
3)母子保健政策について説明できる。

評価方法: 定期試験

準備学習・履修上の注意等: 保育士の資格取得を希望する場合は必修。
毎授業ごとにテキストや配布するプリントをよみかえし、1回の授業につき120分をめぐりに自分で復習し、まとめること。
返却した小テストは、再度復習すること。
定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。

オフィスアワー: 時間割が確定後に研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	感染症について①	講義	稲田
2	1)	感染症について②	講義	稲田
3	1)	感染症について③	講義	稲田
4	1)	予防接種について	講義	稲田
5	1)	循環器(解剖生理、疾病、対応)について	講義	稲田
6	1)	呼吸器(解剖生理、疾病、対応)について	講義	稲田
7	1)	消化器(解剖生理、疾病、対応)について①	講義	稲田
8	1)	消化器(解剖生理、疾病、対応)について②	講義	稲田
9	1)	腎・尿路系(解剖生理、疾病、対応)について	講義	稲田
10	1)	内分泌系(解剖生理、疾病、対応)について	講義	稲田
11	1)	中枢神経系(解剖生理、疾病、対応)について①	講義	稲田
12	1)	中枢神経系(解剖生理、疾病、対応)について②	講義	稲田
13	2)	アレルギーについて①	講義	稲田
14	2)	アレルギーについて②	講義	稲田
15	3)	清潔保持の実際(沐浴、手洗い)について	講義・演習	稲田

教科書: 「子どもの保健 I A」で使用している教科書

参考書: 使用しない。(必要時プリントを配布する)

科目名: **子どもの保健Ⅱ**

担当者: 甲斐 玲子(非常勤講師)

配当学科: 子ども保育福祉学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 小児保健学的に見た保育とは、子どもの生命の保持と情緒の安定を図ることにある。保育者は、子どもの発育発達状態、健康状態を正しく把握し、保育中の子どもの健康を守る責任がある。また、疾病の予防、事故防止、安全教育について家庭との連携は、乳幼児の健全な育ちにとって必要不可欠である。保育内容「健康」および「子どもの保健Ⅰ」で学習した基礎理論等を踏まえ、実習を通して保育の場において実践できる技術と応用能力を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)小児の特性と健康の理解、健康状態の的確な把握、家庭との連携の重要性について理解し、説明できる。
2)身体計測時の一般的注意事項を理解し、体重、身長、頭囲などの計測ができる。
3)体温、呼吸、排泄、睡眠・感覚機能の発達を把握し、それぞれの機能測定法および記録・評価ができる。
4)乳幼児の精神・運動発達機能の評価法について理解できる。
5)乳幼児の抱き方、寝かせ方、着脱衣、食事の与え方、歯磨き、身体の清潔について習熟し、実施できる。
6)小児の主な病気への対処法についての理解を深め、健康生活に必要な要素について説明できる。
7)乳幼児の事故時の対処技能、応急処置に習熟し、実施できる。
8)保育環境を整備し、事故防止とともに設備の衛生について説明できる。
9)病気・事故の予防と対策および安全教育の重要性について理解を深め、説明できる。

評価方法: 提出物・演習の評価を50%、学期末単位認定試験50%として総合的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 実習に適した服装で受講すること。
グループワークが多いため欠席はしないこと。毎回の授業計画を踏まえ、予め教科書の指定された範囲を事前に読んで授業に臨むこと。授業後は必ずレポート提出をすること。なお、授業後の復習やレポート課題のための積極的な取組を行うこと。1コマあたり1時間の予習・復習が必要である。機会をとらえて保育現場においてボランティア経験等を積み、乳幼児保育の保健面の具体的な取り組みの状況把握を行うこと。

オフィスアワー: 授業前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	小児保健実習の必要性について理解する。	講義	甲斐
2	1)2)	子どもの健康と保健の意義について理解する。(健康診断、嘱託医の役割他)	講義, 演習	甲斐
3	1)2)3)4)	子どもの疾病と保育のあり方についてさまざまな分野から学ぶ。(健康状態の観察、記録)	講義, 演習	甲斐
4	1)2)3)	子どもの身体発育と保健の関連について理解する。(身体計測、生理機能の測定他)	講義, 演習	甲斐
5	1)3)6)	保育現場で遭遇する子どもの感染症についての知識を深め、疾病予防、アレルギー疾患への対応を学ぶ。	講義, 演習	甲斐
6	1)8)	保育現場における健康および安全の実施体制について具体的に学習する。	講義, 演習	甲斐
7	3)4)	保健活動における計画作成のしかたおよび評価のしかたについて理解する。	講義, 演習	甲斐
8	3)4)6)7)8)9)	保健計画の活用のしかた、活動記録および評価の実際について学ぶ。	講義, 演習	甲斐
9	9)	乳幼児のかかりやすい病気の早期発見と疾病への対応、感染症と予防接種への理解を深める。	講義, 演習	甲斐
10	1)5)	保健における養護と教育の一体性について学習する。	講義	甲斐
11	7)8)9)	事故防止と安全対策、安全教育、安全管理の重要性について考える。	演習	甲斐
12	6)	生活リズムの確立、食育の推進、睡眠の重要性について再確認する。	講義, 演習	甲斐
13	8)9)	乳幼児の保育環境の整備、衛生管理のあり方が健康支援や事故防止につながることに理解し、実践のノウハウを学習する。	講義, 演習	甲斐
14	1)9)	家庭における健康支援のあり方、専門機関、地域との連携	講義, 演習	甲斐
15	1)6)7)8)	総括	講義	甲斐

教科書: 「子どもの保健Ⅱ」(佐藤益子編著) ななみ書房【ISBN978-4-903355-63-4】

参考書： 使用しません。

科目名: **障害児保育 I**

担当者: 岩崎 まり子

配当学科: 子ども保育福祉学科(4年)

必修・選択: 選択

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義・演習

授業概要: 障がいのある子どもや発達が気になる子どもと周りの子どもを含めた保育実践のあり方を、臨床発達心理学に基づいて学習する。そして、その保育を創って行くために、子ども理解の進め方や具体的支援を事例をとおして考える。さらに、さまざまなニーズを持つ保護者との協働や小学校へのつなぎのあり方を事例をとおして検討する。

- 到達目標: (SBOs)
- ① 障がい児保育を支える理念を学ぶ。
 - ② 子どもの多様な発達と障がいを理解できる。
 - ③ 子どもの発達のアセスメントができ、それに基づいた保育計画が作成できる。
 - ④ 子どもの視点に立つ保育実践ができる。
 - ⑤ 保育チームの一員として保育実践に参加できる。
 - ⑥ 保護者や小学校と適切な連携ができる。
 - ⑦ 子どもの発達を支える保育者としての自己理解を進める。

評価方法: 授業態度、定期的に課す小レポート、および定期試験(レポート)による総合評価とする。

準備学習・履修上の注意等: 発達心理学、保育内容、幼児理解など保育関連学科および障がい児の心理、障害福祉など障がい関連学科を随時復習しておくこと。
毎授業前後に、配布資料及びテキストの関連項目に目を通すこと。
学習時間として、1時間程度確保することが望ましい。

オフィスアワー: 授業前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	②③	オリエンテーション ライフステージにおける乳幼児期・保育における発達の観点	講義・演習	岩崎
2	①	I 障がい概念と障がい児保育 I-1 障がい概念の変遷 I-2 日本における障がい児保育の歩み I-3 障がい児保育の制度形態	講義	岩崎
3	①②⑦	I-4 障がい児保育の専門性 I-5 乳幼児健康診査と早期発見	講義・演習	岩崎
4	①②④⑦	II 障がい理解と発達援助 II-1 視覚障がい児の理解と援助 II-2 聴覚障がい児の理解と援助	講義	岩崎
5	①②④⑦	II-3 言語障がい児の理解と援助	講義	岩崎
6	①②④⑦	II-4 肢体不自由児の理解と援助	講義	岩崎
7	①②④⑦	III 丁寧な支援を必要とする子ども III-1 「気になる」こどもの理解	講義・演習	岩崎
8	①②④⑦	III-1 「気になる」こどもの理解	講義・演習	岩崎
9	①②④⑦	III-2 知的障がい児の理解と援助	講義・演習	岩崎
10	①②④⑦	III-3 注意欠如多動性障がい(ADHD)の理解と援助	講義・演習	岩崎
11	①②④⑦	III-3 ADHDの理解と援助・事例 III-4 学習障がい(LD)の理解と援助	講義・演習	岩崎
12	①②④⑦	III-4 LDの理解と援助・事例 III-5 自閉スペクトラム症(ASD)の理解と援助	講義・演習	岩崎
13	①②④⑦	III-5 ASDの理解と援助・事例	講義・演習	岩崎
14	①②④⑦	III-5 ASDの理解と援助・事例	講義・演習	岩崎
15	①②④⑦	前期内容のまとめ 事例検討など	GW	岩崎

教科書: よくわかる障害児保育 尾崎康子・小林真ほか ミネルブア書房[978-4-623-05703-0]

参考書: 実践事例に基づく障害児保育 七木田敦編 保育出版社[978-4-938795-62-7 C3337]

科目名: 障害児保育Ⅱ

担当者: 岩崎 まり子

配当学科: 子ども保育福祉学科(4年)

必修・選択: 選択

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 講義・演習

授業概要: 障害のある子どもや発達に気になる子どもと周りの子どもを含めた保育実践のあり方を、臨床発達心理学に基づいて学習する。そして、その保育を創って行くために、子どもの理解の進め方や具体的支援を事例をとおして考える。さらに、さまざまなニーズを持つ保護者との協働や小学校へのつなぎのあり方を事例をとおして検討する。

- 到達目標: (SBOs)
- ①障がい児保育を支える理念を学ぶ。
 - ②子どもの多様な発達と障がいを理解できる。
 - ③こどもの発達のアセスメントができ、それに基づいた保育計画が作成できる。
 - ④こどもの視点に立つ保育実践ができる。
 - ⑤保育チームの一員として保育実践に参加できる。
 - ⑥保護者や小学校と適切な連携ができる。
 - ⑦子どもの発達を支える保育者としての自己理解を進める。

評価方法: 授業態度、定期的に課すレポートおよび定期試験(レポート)による総合評価とする。

準備学習・履修上の注意等: 発達心理学、保育内容、幼児理解など保育関連学科および障がい児の心理、障害福祉など障がい関連学科を随時復習しておくこと。
毎授業の前後に、配布資料、教科書の関連項目に目を通しておく。
学習時間として、1時間程度確保することが望ましい。

オフィスアワー: 授業前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	①②⑦	オリエンテーション 前期講義の内容の要点を整理する	演習	岩崎
2	②③④⑤	I 障がい児保育を進めるために I-1 発達障がい児のための環境設定の例 I-2 こころの理論 I-3 こどもの観察の方法	演習	岩崎
3	②③④⑤	I-4 評価の方法 I-5 評価ツールをもとに事例をアセスメントする	演習	岩崎
4	②③④⑤	I-5 評価ツールをもとに事例をアセスメントする I-6 保育カンファレンスの意義と方法	演習	岩崎
5	②③④⑤	II 個別支援計画を作成する II-1 個別支援計画作成の方法	演習	岩崎
6	③④⑤	II-1 個別支援計画作成の方法 II-2 個別支援計画のまとめ	演習	岩崎
7	②③④⑤	II-3 クラスメイトへの対応 II-4 障がい理解教育	演習	岩崎
8	④⑤⑦	III 家族を支援する III-1 保護者との協働	演習	岩崎他
9	⑥⑦	III-2 信頼関係をきずく相談 III-3 事例検討 事例A 事例B 事例C	講義・演習	岩崎
10	⑥⑦	III-3 事例検討 事例D 事例E	演習	岩崎
11	④⑤⑥	III-4 ペアレントトレーニング III-5 きょうだい支援	講義・演習	岩崎
12	④⑤⑥	IV 他機関との連携 IV-1 障がい児の保育を支える諸機関・専門職 IV-2 幼保小連携	講義・演習	岩崎
13	④⑤⑥	IV-2 幼保小連携 IV-3 移行支援計画	講義	岩崎
14	⑥	IV-4 小1プロブレムを防ぐ保育活動 障がい児保育の現状と課題・まとめ	演習	岩崎

教科書: よくわかる障害児保育 尾崎康子・小林真ほか ミネルブア書房[978-4-623-05703-0]

参考書: 実践事例に基づく障害児保育 七木田敦編 保育出版社[978-4938795-62-7 C3337]
「気になる」子どもの保育 尾崎春代／木原久美子 ミネルブア書房[978-4-623-05909-6]

科目名: **家庭支援論**

担当者: 甲斐 玲子(非常勤講師)

配当学科: 子ども保育福祉学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 子どもが生活し、育つ場が家庭であることへの認識を深め、家庭が現在さまざまな問題を抱えるようになっている現状を知り、わが国でも子育て家庭支援が大きな課題となっていることを理解する。そして、子育て家庭支援の原理を理解し、支援のための施策や制度を概観し、さまざまな子育て家庭支援の実際を理解することによって、保育者に求められる子育て家庭支援能力を培う。

到達目標: (SBOs) 1)家庭支援の意義と役割について説明できる。
2)家庭生活の現状と家庭を取り巻く社会的状況を説明できる。
3)子育て家庭の支援体制を説明できる。
4)多様な子育て家庭支援の実際について説明できる。

評価方法: 学期末試験および授業への取り組み姿勢を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 毎回の授業前に、予め指定された教科書の範囲について最低でも60分の予習をしておくこと。なお、授業後の復習を行い、理解を深めること。

オフィスアワー: 授業前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	子どもと家族・家庭の定義や機能・役割について理解する。	講義	甲斐
2	1)	家庭の機能と役割が、時代の移り変わりの中でどのように変化してきたかを学ぶ。	講義・演習	甲斐
3	1)	家族を取り巻く社会の動向について具体的に理解する。	講義・演習	甲斐
4	1)	子育ての悩み等の現状について理解を深め、家庭支援の必要性を学ぶ。	講義・演習	甲斐
5	2)	子育て支援の法的根拠について理解を深める。	講義・演習	甲斐
6	2)	子育て支援施策・次世代育成支援施策について理解する。	講義	甲斐
7	2)	子育て家庭支援に関わる制度と関係機関について学びを深める。	講義・演習	甲斐
8	3)	子育て家庭支援についての基本的考え方やポイントについて理解する。	講義	甲斐
9	3)	保育所・幼稚園における家庭支援の具体的な方法について考えてみる。	講義・演習	甲斐
10	3)	地域における家庭支援の場が多岐にわたることを理解する。	講義	甲斐
11	3)	特別な配慮の必要な子どもと保護者への支援について理解する。	講義	甲斐
12	4)	危機的状態にある家庭への支援策について具体的に学びを深める。	講義・演習	甲斐
13	4)	支援の必要な家庭について、様々な事例をもとに対応のし方を考えてみる。	講義・演習	甲斐
14	4)	今後の家庭支援の課題と展望について学ぶ。	講義	甲斐
15	4)	家庭支援の基本的姿勢～保育者の役割について再考する～	講義	甲斐

教科書: 学び、考え、実践力をつける家庭支援論【第2版】(木村志保/津田尚子編著)保育出版社【ISBN978-4-905493-10-5】

参考書: 使用しません。

科目名: **保育相談支援**

担当者: 國友 基子(非常勤講師)

配当学科: 子ども保育福祉学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習

授業概要: ・児童福祉法第18条の4に保育士についての仕事の役割が述べてあるので、保育士の専門性は保育と児童の保護者に対する保育に関する指導である。保育指針の保護者支援の基本を読み解きながら説明を入れる。
・実際の事例を各授業毎に入れ、実例と相談支援の考え方を取りまぜて講義する。

到達目標: (SBOs) 1)子どもの最善の利益を考慮し、子どもの福祉を重視する。
2)保護者とともに、子どもの成長の喜びを共有すること。
3)保育に関する知識や技術などの保育教諭の専門性や、子どもの集団が常に存在する環境など、保育所・幼稚園・認定こども園の特色を生かすこと。
4)一人一人の保護者の状況を踏まえ、子どもと保護者の安定した関係に配慮して、保護者の養育力の向上に資するよう、適切に支援すること。
5)子育て等に関する相談や助言に当たっては、保護者の気持ちを受け止め、相互の信頼関係を基本に、保護者一人一人の自己決定を尊重する事。
6)子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知り得た事柄の秘密保持に留意すること。
7)地域の子育て支援に関する資源を積極的に活用するとともに、子育て支援・児童健全育成に関する地域の関係機関、団体等との連携及び協力を図ること。

評価方法: 学期末試験および授業への取り組み姿勢を観るレポートを総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 毎回の授業について授業、レジュメ・配布資料等を活用して3時間(15回で合計45時間)の予習と復習をすること。

オフィスアワー: 授業前後の可能な時間。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	保護者に対する保育相談の意義 ①子ども・家族についての相談支援の意義 ②環境についての相談支援の意義	講義・演習	國友
2	3)	保育の特性と保育士の専門性を生かした支援 ①子どもの生活の場としての特性 ②保育の専門職としての特性	講義・演習	國友
3	1)	子どもの最善の利益と福祉の重視 ①児童福祉法と児童憲章 ②児童の権利に関する条約	講義・演習	國友
4	2)	子どもの成長の喜びの共有 ①保護者の話を聞く ②子どもの様子を伝える	講義・演習	國友
5	4)	保護者の養育力の向上に資する支援 ①知識や気づきの提供による保護者の養育力の向上 ②構造化された働きかけを通じた保護者の養育力の向上	講義・演習	國友
6	5)6)	信頼関係を基本とした受容的かかわり、自己決定、秘密保持の尊重 ①信頼関係を築くための受容的かかわり ②自己決定、秘密保持の尊重	講義・演習	國友
7	7)	地域資源の活用と関係機関等との連携・協力(1) ①地域資源との連携・協力	講義・演習	國友
8	7)	地域資源の活用と関係機関等との連携・協力(2) ②関係機関との連携、協力	講義・演習	國友
9	5)	保育に関わる保護者への指導 ①保護者への指導 ②保護者への指導の範囲	講義・演習	國友
10	4)	保育相談支援の内容 ①保育や用語を通じた支援 ②特別なニーズを持つ子どもと保護者への支援 ③地域子育て支援を通じた支援	講義・演習	國友
11	4)5)	保護者支援の方法と技術 ①ニーズ把握のポイント ②取り組みのポイント ③終結時のポイント	講義・演習	國友
12	3)4)	保育相談支援の計画、記録、評価、カンファレンス(1) ①保護者支援の計画 ②保護者支援の記録	講義・演習	國友

13	5)	保育相談支援の計画、記録、評価、カンファレンス(2) ③支援の評価 ④保護者相談支援のカンファレンス	講義・演習 國友
14	3)	保育所における保育相談支援の実際 ①保育所利用者の相談支援 ②地域で子育てしている保護者の相談支援 保育所における特別な対応を要する家庭への支援 ①児童虐待の早期発見と対応 ②虐待の種類と保護者支援 ③障害児の保護者相談支援 ④海外から来た家族への対応	講義・演習 國友
15	1)	児童養護施設等要保護児童の家庭に対する支援 ①保護者相談支援が必要な場面 ②障害児施設における保育相談支援 ③母子生活支援施設における保護者支援	講義・演習 國友

教科書： 保育相談支援(生活事例からはじめる)第4版 出版社：青踏社
※その他必要な資料はプリント配布します。

参考書： 保育所保育指針解説書(厚生労働省版)厚生労働省/編 フレーベル館【ISBN:9784577812426】

科目名: **基礎技能(美術Ⅲ)**

担当者: 安原 青兒(福・子)

配当学科: 子ども保育福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 本授業は美術ⅠおよびⅡで学んだ幼児造形の基礎理解をもとに、さらに保育に必要な技法を習得する。また、それに伴う用具や材料の扱いに習熟する。間近な保育実習を見据え、ねらいと見通しを持った実習に役立つ保育教材の制作と活用についても体験を通して理解する。なお伝統的な造形技法を実施し、それをを用いた遊びの実際も体験する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 児童の造形的な発達段階をを理解し、説明することが出来る。
 - 2) 保育場面で必要とされる造形技法を理解し、実際に制作を実施する。
 - 3) 幼児造形技法に必要な材料・用具に慣れ、自在に使いこなすことが出来る。
 - 4) 自らの美的感受性を深め、美的楽しさや美しさを感じる事が出来る。
 - 5) 保育内容における造形技法を学ぶため、描く、作る、写すなどの制作を実施する。
 - 6) 伝統的な児童文化教材を調べ、それについて説明することが出来る。
 - 7) 自ら作った保育教材で活用の実際を体験する。

評価方法: 全課題(制作物)とノート提出、その期限の遵守。また授業準備、演習への取り組み等、総合的な授業点を勘案する。欠席は5回まで、遅刻・早退は3回で欠席1回分の減点とする。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき60分を目安に演習で取り組んだ技法の意義・目的、方法や手順、感想等をノートにまとめ、合わせて次回授業の学習計画を立てること。演習に必要な用具、材料は基本的に受講生が各自準備すること。詳細については授業内で随時、連絡していく。

オフィスアワー: 講義時間以外の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)6)	【授業概要を学ぶ】 授業の目的や進め方を理解し、必要な材料、用具などについて理解する。また科目評価の基準や方法を知り、学ぶ姿勢と意識を高める。	講義	安原
2	2)3)4)5)	【紙版画1】 幼児期の造形の中で、写す活動がどのような意味を持つのかを理解し、基本的技法である紙版画について工程と見通しを理解する。	演習	安原
3	2)3)4)5)	【紙版画2】 版作りの実際を通して紙の重なりと表現の違い、表現方法の工夫を学んでいく。	演習	安原
4	2)3)4)5)	【紙版画3】 紙版画の印刷の方法を学び、インク、ばれん、版画用紙の扱いと幼児への指導について体験を通して理解する。	演習	安原
5	2)3)4)5)	【紙版画4】 紙版画の印刷の方法を学び、インク、ばれん、版画用紙の扱いと幼児への指導について体験を通して理解する。	演習	安原
6	1)2)3)5)	【紙版画5】 刷り上がった作品をどのように鑑賞し、整理していくのか配慮する。	演習	安原
7	1)2)3)5)	【保育カードの制作1】 日常の保育場面で用いられるカードにはどのようなものがあるか議論し、幼児や保護者に内容が伝わるより良いカードとはどのようなものか考え、理解する。	演習	安原
8	1)2)3)5)7)	【保育カードの制作2】 前回理解した受け取り手を想定して、造形的に創意工夫あるオリジナルカードを手作りする。そのことを通してカードの持つ意味を説明することが出来るようになる。	演習	安原
9	1)4)6)	【保育カードの制作3】 造形的に創意工夫して作り上げたオリジナルカードを保育現場でどのように活用するか調べ、配慮することが出来るようになる。	演習	安原
10	1)4)6)	【保育カードの制作4】 造形的に創意工夫して作り上げたオリジナルカードを保育現場でどのように活用するか調べ、配慮することができるようになる。	演習	安原
11	1)4)6)7)	【実習に役立つ保育教材の制作1】 子どもとのコミュニケーションに役立つ自己紹介グッズを創意工夫して制作し、活用	演習	安原

の実際を演習の中で実演し確認することができる。

12	1)2)6)7)	【実習に役立つ保育教材の制作2】 子どもとのコミュニケーションに役立つ自己紹介グッズを創意工夫して制作し、活用 の実際を演習の中で実演し確認することができる。	演習	安原
13	1)2)6)7)	【実習に役立つ保育教材の制作3】 子どもとのコミュニケーションに役立つ自己紹介グッズを創意工夫して制作し活用の 実際を演習の中で実演し確認することができる。	演習	安原
14	1)2)6)7)	【実習に役立つ保育教材の制作4】 子どもとのコミュニケーションに役立つ自己紹介グッズを創意工夫して制作し活用の 実際を演習の中で実演し確認することができる。	演習	安原
15	1)~7)	【演習の総括】 幼児造形の基本的用具、材料を振り返り、演習を通して自ら学んだことをまとめる。 また素材と触れ、感じたことやそれを生かす作品作りの創意工夫、また美術に対す る概念や自身の感性の育ちを確認することができる。	講義	安原

教科書： 使用しない。

参考書： 演習時に必要に応じて提示する。

科目名: **基礎技能(音楽 I)**

担当者: 松原 由美(福・子)

配当学科: 子ども保育福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 幼児期の子どもの活動をよく観察すると、リズムカルな音楽を口ずさんでいたり身体表現をしたり、さらには耳に入ってきた言葉にメロディーをつけて歌っている。子どもは、さまざまな音楽経験を通して、豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培う。また、文部科学省は、子どもたちの「生きる力」を育む為の手段として音楽の影響力は非常に大きいと考える。そのような子ども本来が持っている音楽的才能をさらに感性として更には「生きる力」として大事に育てるのが幼児教育者であると考え。本講義は、幼児教育者としての音楽の基礎的力を養うための「鍵盤楽器」の伴奏を行うための基礎知識としてピアノを、さらには「手遊び」「歌唱」を学ぶ。

到達目標: (SBOs) 1)ト音記号・ヘ音記号の読譜ができる。
2)楽語などを理解し、活用できる。
3)指の番号を理解し、スムーズな運指法において演奏できる。
4)鍵盤楽器を両手で楽譜通り演奏できる。
5)バイエル100番まで両手でなめらかに演奏できる。
6)音楽的に正しい動きの中で手遊びができる。
7)音楽に合わせて身体表現ができる。

評価方法: 実技試験と毎回の評価表により総合的に勘案する。(バイエル100番までの合格によって実技試験の受験資格がある。)

準備学習・履修上の注意等: 課題を確実に計画的に練習し、授業を受けること。
鍵盤楽器は、毎日の積み重ねと授業を休まないことが上達のキーポイントである。
やむを得ず欠席の場合は、授業前に必ず担当者に連絡すること。

オフィスアワー: 研究室前に掲示する(松原)・講義前後の可能な時間(非常勤講師)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 1. 授業内容 2. 評価 3. 使用教材の決定 4. 担当教員の決定	講義	松原
2	1)2)3)4)5)	今まで練習した教材を持参しその曲	演習	松原
3	1)2)3)4)5)	【ピアノ、歌唱、手遊び】 個人個人の課題を必ず練習して、授業を受ける。	演習	松原
4	1)2)3)4)5)7)8)9)	【ピアノ、歌唱、手遊び】 個人個人の課題を必ず練習し、授業を受ける。	演習	松原
5	1)2)3)4)5)6)7)8)	【ピアノ、歌唱、手遊び】 個人個人の課題を必ず練習し、授業を受ける。	演習	松原
6	1)2)3)4)5)6)7)8)	【ピアノ、歌唱、手遊び】 個人個人の課題を必ず練習し、授業を受ける。	演習	松原
7	1)2)3)4)5)7)	【ピアノ、歌唱、手遊び】 個人個人の課題を必ず練習し、授業を受ける。	演習	松原
8	1)2)3)4)5)6)7)	【ピアノ、歌唱、手遊び】 個人個人の課題を必ず練習し、授業を受ける。	演習	松原
9	1)2)3)4)5)6)7)	【ピアノ、歌唱、手遊び】 個人個人の課題を必ず練習し、授業を受ける。	演習	松原
10	1)2)3)4)5)6)7)	【ピアノ、歌唱、手遊び】 個人個人の課題を必ず練習し、授業を受ける。	演習	松原
11	1)2)3)4)5)6)7)	【ピアノ、歌唱、手遊び】 個人個人の課題を必ず練習し、授業を受ける。	演習	松原
12	1)2)3)4)5)6)7)	【ピアノ、歌唱、手遊び】 個人個人の課題を必ず練習し、授業を受ける。	演習	松原
13	1)2)3)4)5)7)	【ピアノ、歌唱、手遊び】 個々の課題を必ず練習し、授業を受ける。	演習	松原

14	1)2)3)4)【ピアノ、歌唱、手遊び】	演習	松原
	5)6)7) 個人個人の課題を必ず練習し、授業を受ける。		
15	【ピアノ、歌唱、手遊び】	演習	松原
	個人個人の課題を必ず練習し、授業を受ける。		

教科書： 音楽の学習経験に基づいて教本を指定する。

参考書： 必要に応じて配布する。

科目名: **基礎技能(音楽Ⅱ)**

担当者: 松原 由美(福・子)

配当学科: 子ども保育福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 「音楽の好きで感性豊かな子どもに育てたい」という願いを保護者も保育者も持っており、幼児期の音楽教育や音楽遊びは一生の感性や音楽のし好に影響を持つ。
コダーイは訓練された耳、心、知性、手を持つ子どもの教育の第一歩は歌を歌うことと言っている。
幼児教育者が、情緒豊かに歌って子どもの心に訴え、かつ歌いやすいピアノを奏でれば子どもはたのしくかつ情緒豊かに歌い、感性豊かとなり音楽性も高まり音楽好きな子どもが育つ。本講義では、子どもが歌いやすい伴奏法と無理のない歌い方更には歌遊びの基本となる手遊びも習得する。

到達目標: (SBOs) 1) 保育園でよく使用される季節曲の特徴を説明できる。
2) 調べた曲の伴奏法を習得する。
3) 曲の運指法を習得する。
4) 子どもの発達段階を考慮したテンポを設定し、演奏できる。
5) 発達を考慮して、年齢ごとに手遊びを理解する。

評価方法: 授業毎の実技試験により、学習の到達度を確認する。
学習への取組姿勢【予習・復習(学生自身が選曲した10曲の子どもの歌の伴奏や手遊び15曲の練習)・課題提出状況、授業への参加】の評価を50%、学期末の単位認定試験の得点を50%として、単位認定を行う。

準備学習・履修上の注意等: 予習復習を行うこと
欠席しないこと

オフィスアワー: 研究室の前と第5講義室に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション(授業概要・評価・学習カードの活用法・課題曲45曲・担当教員発表など)】 手遊びの練習法について	講義	松原
2	1)	子どもの歌を季節ごとにまとめる	演習	松原
3	1)2)	自分の課題曲を設定し、運指法を考える	演習	松原
4	1)2)3)4)	自分の課題曲を設定し、運指法や発達ごとのテンポを考える	演習	松原
5	1)2)3)4)5)	課題曲10曲手遊びの練習計画に沿ってレッスンを受ける。	演習	松原
6	1)2)3)4)5)	課題曲10曲手遊びの練習計画に沿ってレッスンを受ける。	演習	松原
7	1)2)3)4)5)	課題曲10曲と手遊びの練習計画に沿ってレッスンを受ける。	演習	松原
8	1)2)3)4)5)	課題曲10曲と手遊びの練習計画に沿ってレッスンを受ける。	演習	松原
9	1)2)3)4)5)	課題曲10曲と手遊びの練習計画に沿ってレッスンを受ける。	演習	松原
10	1)2)3)4)5)	課題曲10曲と手遊びの練習計画に沿ってレッスンを受ける。	演習	松原
11	1)2)3)4)5)	課題曲10曲と手遊びの練習計画に沿ってレッスンを受ける。	演習	松原
12	1)2)3)4)5)	課題曲10曲と手遊びの練習計画に沿ってレッスンを受ける。	演習	松原
13	1)2)3)4)5)	課題曲10曲と手遊びの練習計画に沿ってレッスンを受ける。	演習	松原
14	1)2)3)4)5)	課題曲10曲と手遊びの練習計画に沿ってレッスンを受ける。	演習	松原
15	6)	手遊び発表会をする。	演習	松原

教科書: たのしい子どもの歌

参考書: 必要に応じて配布する。

科目名: **基礎技能(音楽Ⅲ)**

担当者: 松原 由美(福・子)

配当学科: 子ども保育福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 本講座は、基礎技能音楽Ⅱをさらにスキルアップし子どもが歌いやすい伴奏法や弾き歌いを習得する。基礎技能Ⅰ、Ⅱで学んだリズムやスラーなどを最大限に活用し歌い手が、歌いやすいブレスの取り方などの伴奏テクニックなども習得する。
また、手遊びやリズム遊びを現場で活用できる方法を習得し、研究保育の指導案の表現方法なども記入できるようにする。

到達目標: (SBOs) 1)保育現場で実践できる音楽遊びができるようにする。
2)保育現場で実践するための弾き歌いを演奏できるようにする。(歌の音量や、子どもが歌いやすい伴奏について説明ができる。)
3)手遊び、歌遊び、身体表現を楽しく実践する方法を説明でき、実践できる。
4)研究保育の音楽遊びの立案方法や指導案記入法などを実践できる。

評価方法: 授業ごとの実技試験により、学習の到達度を確認する。
学習への取組姿勢【予習・復習(学生自身が選曲した10曲の子どもの歌の弾き歌いや20曲の手遊びの練習)、課題提出状況、授業への参加】の評価を50%、学年末の単位認定試験の得点を50%として、単位認定を行う。

準備学習・履修上の注意等: 毎日必ず練習すること。欠席しないこと。
ピアノの練習は毎日30分以上実施すること。
手遊びも毎日練習すること。

オフィスアワー: 第5講義室に張り出す。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)	【オリエンテーション(授業概要・評価・学習カードの活用法・担当教員発表など)】 手遊びの練習について	講義	松原
2		【弾き歌いのレッスン】 課題曲から3曲以上を弾き歌いし、担当者に評価してもらう。	演習	松原
3		【弾き歌いのレッスン】 課題曲から3曲以上を弾き歌いし、担当者に評価してもらう。	演習	松原
4		【弾き歌いのレッスン】 課題曲から3曲以上を弾き歌いし、担当者に評価してもらう。	演習	松原
5		【弾き歌いのレッスン】 課題曲から3曲以上を弾き歌いし、担当者に評価してもらう。	講義	松原
6		【弾き歌いのレッスン】 課題曲から3曲以上を弾き歌いし、担当者に評価してもらう。	講義	松原
7		【弾き歌いのレッスン】 課題曲から3曲以上を弾き歌いし、担当者に評価してもらう。	講義	松原
8		【弾き歌い発表会】	演習	松原

教科書: なし。

参考書: 配布する。

科目名: **保育実習Ⅱ(保育所)**

担当者: 安原 青兒(福・子)、甲斐 玲子(非常勤講師)、松原 由美(福・子)、黒須 依子(福・子)

配当学科: 子ども保育福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 90 開講期: 後期 授業形態: 学外実習

授業概要: 本科目は国の指定科目である「保育実習Ⅱ」にあたる保育所における第2段階の総合的な実習科目であり、本学が開設する保育士課程必修科目である。学生は総合的な学びである実習の意義と目的を理解し、既習の教科内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を培う。責任感と健康管理はもとより、より深く自己の実習課題を吟味し、保育実践や日誌・記録の充実に努め、保育士の専門性と職業倫理の理解を深化させる。また「実習事後指導」を受講し、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する新たな課題を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)実習の意義と目的の理解を踏まえ、総合的な保育所の概要を把握することができる。
2)子どもの最善の利益を踏まえたより高度で具体的保育を実践することができる。
3)保護者の正しいニーズ理解と保護者支援について観察・実践することができる。
4)子どもの特性や状態に応じたかかわりについて理解することができる。
5)多様な表現技術を生かした保育実践ができる。
6)保育課程を理解し、具体的な指導計画案の作成と実践をすることができる。
7)日々の実習の適切な形式で日誌にまとめることができる。
8)保育士の専門性と職業倫理を身に着けることができる。
9)実習の総括と自己評価、課題の明確化ができる。

評価方法: 実習は12日間実施する。実習施設の評価、実習ファイルの内容と提出状況、実習報告書のまとめなどを総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 子ども保育福祉学科の学生で、別に示す実習に出るための申し合わせ事項に該当する者であること。

オフィスアワー: 講義時間以外の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)7)	【実習の実際1】 環境を含めた実習先保育所の総合的な概要について、施設長講話や施設内見学等を通して理解する。	学外実習	全教員
2	1)2)7)	【実習の実際2】 実習先保育所の一日の流れの中で、子どもの最善の利益がどのように果たされているのかを理解する。	学外実習	全教員
3	2)4)5)7)	【実習の実際3】 具体的な保育実践を通して、子どもの発達過程の理解と年齢に応じた保育の違いについて学ぶ。	学外実習	全教員
4	2)4)5)7)	【実習の実際4】 子どもの生活や遊びの実態把握を通して、必要な保育士の援助や配慮、適切なかかわりについて理解する。	学外実習	全教員
5	2)4)5)6)7)	【実習の実際5】 個々の子どもの特性や状態に応じた保育技の違いについて、保育者の観察や実践を通して習得する。	学外実習	全教員
6	2)4)5)6)7)	【実習の実際6】 多様な表現技術を生かした保育内容の実践を試み、実践力を高める。	学外実習	全教員
7	2)5)6)7)	【実習の実際7】 保育課程に基づく保育所全体の保育計画を把握し、自身の具体的な保育指導計画を作成し、その実践を通して学びを深める。	学外実習	全教員
8	1)~8)	【実習の実際8】 保護者の保育ニーズや支援の在り方について、保育士の対応の観察や記録などから理解を深める。	学外実習	全教員
9	1)~8)	【実習の実際9】 日々の実習日誌やファイルの扱いを通して、記録の意味を理解し、その技術を高める。また記録の守秘義務や職業倫理を身につける。	学外実習	全教員
10	1)~9)	【実習の実際10】 保育士の業務内容と他職種との役割分担や連携、外部の他機関とのかかわりについて総合的に理解する。	学外実習	全教員
11	1)~9)	【実習のまとめ1】	事後指導	全教員

実習時間数、記録・提出書類等の確認を行い、実習の総括を行う。

演習

- | | | | | |
|----|-------|--|-------------|-----|
| 12 | 1)~9) | 【実習のまとめ2】
グループディスカッションを通して、保育所と保育業務の多様性、具体的な実習内容について視野を広げる。 | 事後指導
SGD | 全教員 |
| 13 | 1)~9) | 【実習のまとめ3】
グループディスカッションを通して、保育所と保育業務の多様性、具体的な実習内容について視野を広げる。またグループによる実習報告書をまとめる。 | 事後指導
SGD | 全教員 |
| 14 | 1)~9) | 【実習報告書の作成】
個人による実習報告書を作成し提出する。 | 事後指導
演習 | 全教員 |
| 15 | 1)~9) | 【個別面談】
グループおよび個人の実習報告書、実習日誌を含む実習ファイルの提出等を確認し、実習の総括と今後の課題について個別面談で指導を受ける。 | 事後指導
演習 | 全教員 |

教科書： 使用しない。

参考書： 必要に応じて授業で配布する

科目名: **基礎カウンセリング**

担当者: 田中 陽子(福・福)

配当学科: 子ども保育福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: カウンセリングは、問題を抱えて、その問題を一人で解決できずに悩んでいる人(クライアント)が、カウンセラー(相談を受ける専門家)と協力し合って、クライアントの抱えている問題を解決することを目指すものである。そのため、カウンセラーには、カウンセリングについての様々な知識が必要である。本講義では、カウンセリングの基礎的な知識を習得することを目指す。

到達目標: (SBOs) 1)カウンセリングの基本姿勢、クライアントとカウンセラーの関係について理解する。
2)カウンセリングの導入について理解する。
3)クライアントが抱く不安を理解し、その緩和への配慮について理解する。
4)基本的なカウンセリング技法の意義と効果について理解する。
5)言語によるコミュニケーションと非言語によるコミュニケーションについて理解する。

評価方法: 授業中のワークの参加状況と課されたレポート等20%および学期末の単位認定試験80%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: ・受講する学生は、積極的に講義中の(グループ)ワーク等に参加することが求められる。
・1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 研究室前に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	カウンセリングとは、何か	講義	田中
2	1)4)	カウンセリングの基礎的技法について	講義	田中
3	1)2)3)	カウンセラーに対する不安および心理的防御の緩和について	講義	田中
4	1)2)3)	カウンセリングに対する不安および心理的防御の緩和の方法	講義	田中
5	1)5)	非言語コミュニケーションの重要性について	講義	田中
6	5)	非言語的メッセージとは	講義	田中
7	1)2)4)	閉ざされた質問と開かれた質問	講義	田中
8	1)3)4)	完全質問と不完全質問	講義	田中
9	1)4)	基本的応答技法と必要最小限の言語化	講義	田中
10	1)4)	繰り返し技法	講義	田中
11	1)4)	言い換え技法・要約技法	講義	田中
12	1)4)	カウンセリングにおける感情の反映	講義	田中
13	1)4)	聴く態度と客観的理解を妨げるもの	講義	田中
14	1)2)3)4)	カウンセラーが守るべき諸態度について	講義	田中
15	1)2)3)4)	カウンセリングの実践について	講義	田中

教科書: 『カウンセリング実践への道』(高山 巖・園田 順一) 角川学芸出版【404-651599-6】

参考書: 講義内で適宜紹介

科目名: **芸術療法演習**

担当者: 安原 青児(福・子)

配当学科: 子ども保育福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 芸術療法(アートセラピー)とは芸術を媒介とする様々な治療的な手段を総称している。自由な自己表現、共感、異なる価値観の尊重など、人間的感受性に立脚し、療法としての芸術演習を通して自己理解、相互理解を深め、芸術療法を行う者として治療的な結びつきを豊かにすることが出来るようなホリスティックなケアの基礎を習得する。また各種技法を福祉の現場で生かすことができるような技術を身につける。

到達目標: (SBOs) 1)造形療法、特に立体造形と色彩表現を含んだ概要について説明ができる。
2)造形技法の楽しさを感じるとともに、障害児(者)、高齢者への活用方法について修得する。
3)様々な芸術を治療的に活かしていく方法を習得し、その基礎的概念を説明することが出来る。
4)集団療法を模擬体験し、芸術療法を行う者と受け手の双方の立場にたったセッションに参加する。
5)五感を鍛える体験を通して、美的感受性の育ちを自身の中に感じ取るようになる。
6)芸術療法の中で扱われる家族の問題を理解し、実践で配慮できる力を身につける。
7)芸術療法の総合的な学びを通して、芸術療法を行う者の持つべき人間観や資格の問題を整理し、まとめることができる。

評価方法: 最終試験および全課題(制作物・レポート)また自筆ノートの取り組みと提出、またその期限の遵守を義務付ける。欠席は5回まで、遅刻・早退は3回で欠席1回分の減点とする。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき60分を目安に、演習で体験した各種技法の治療的な意義や目的、方法、手順、感想などをノートにまとめ、加えて次回演習の準備学習を行うこと。科目性質上、授業中における身体や気分の不調に対しては速やかに報告すること。このことに関連から、不真面目な学生が療法に対して誤った認識を持つ危険もあるので、受講生には真摯な受講態度を求める。

オフィスアワー: 講義時間以外の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)3)	【オリエンテーション】 授業概要と評価方法、準備物、取り組み姿勢等を理解する。	講義・演習	安原
2	1)2)4)5)	【透ける折り紙の技法】 伝統的な折り紙の治療的な側面について理解する 透ける折り紙の技法を演習を通して学び、その活用方法が説明できる。	演習	安原
3	1)2)4)5)	【詩歌療法1】 詩歌療法を概観し、中でも短歌・俳句・川柳の治療的な取り入れについて様々な作品を味わうことで理解する。	演習	安原
4	1)2)4)5)	【九分割統合絵画法】 クライアントの内面を抵抗なく表現してもらう技法として、九分割統合絵画法を演習として取り組み、その活用を学ぶ。	演習	安原
5	1)2)4)5)	【円枠家族画法】 家族描画法について治療的な項目の基本を理解する。 円枠家族画に取り組み、基本にある曼荼羅の意味を含め理解する。	演習	安原
6	1)2)4)5)	【詩歌療法2】 伝統的な七五調のリズムが働きかけるものを理解し、実際の文芸療法の種類、方法の中で写真とともに扱う方法を演習を通して学んでいく。	演習	安原
7	1)2)4)5)	【集団絵画療法1】 自然物を用いた共同制作を試みる。自然から受け取る治療内容と、集団力動について相互に理解し合う。	演習	安原
8	1)3)5)	【集団絵画療法2】 自然物を用いた共同制作を試みる。自然から受け取る治療内容と、集団力動につて相互に理解し合う。	演習	安原
9	1)3)5)	【詩歌療法3】 フォト五七五の取り組みを通して詩歌療法、写真療法の意義を学ぶ。 学生相互の作品を味わう中で、その治療的な働きや活用を理解する。	演習	安原
10	1)3)5)	【粘土遊び法1】 触覚の本質を理解し、年度技法を学ぶ中で、刺激、リハビリ、昇華、課題の与え方、適応の範囲、作品の分析等を総合的に理解する。	演習	安原

11	3)4)6)	【粘土遊び法2】 触覚の本質を理解し、粘土技法を学ぶ中で、刺激、リハビリ、昇華、課題の与え方、適応の範囲、作品の分析等を総合的に理解する。	演習	安原
12	3)4)	【描画の読み取りと分析1】 実際の児童画に描かれたテーマや色彩、形態の解釈と具体的な治療的アプローチを事例を通して考え、理解する。	演習	安原
13	1)~7)	【描画の読み取りと分析2】 実際の児童画に描かれたテーマや色彩、形態の解釈と具体的な治療的アプローチを事例を通して考え、理解する。	演習	安原
14	1)~7)	【プレパレーションの理解】 芸術療法に関連ある項目として、病児や保護者支援に役立つプレパレーションの種類と応用、芸術療法との関わりについて学ぶ。	演習	安原
15	1)~7)	【演習の総括】 芸術療法演習のまとめとして、福祉現場での活用とエイブルアート運動、専門職の在り方と資格などを総合的に理解する。	講義・演習	安原

教科書： 福祉のための芸術療法の考え方 -絵画療法を中心に- (安原 青児) 大学教育出版社【978-4-88730-688-2】

参考書： 授業時に必要に応じて資料を配布する。

科目名: **児童と文学**

担当者: 上農 正剛(福・子)

配当学科: 子ども保育福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 幼児の情操を育み、そこから豊かな感情と深い思考力、表現力を涵養するためには、絵本を初めとする幼児期における文学的教育は極めて重要な意味を持つ。幼児教育の専門家として絵本や物語等の指導場面に際し、理解・認識しておかなければならない、文学的教育の意味、歴史、理論を学び、実践的対応に当たる時の考え方の根幹をしっかりと理解し、習得する。

到達目標: (SBOs) 1)児童にとっての文学的体験の意義について説明できる。
2)物語の機能について説明できる。
3)絵本の表現効果と意図を分析的に説明できる。
4)絵本制作にあたり必要な具体的諸作業が基本的なレベルで実行できる。
5)絵本の「読み聞かせ」が専門家としての基本的レベルで実行できる。

評価方法: 毎回受講ノートは回収し、記述状態を確認し、評価の50%対象とする。学期末に試験レポートを課し、評価の50%対象とする。

準備学習・履修上の注意等: 課題として指定テキスト(児童文学作品)を指示するので、授業後毎回1時間かけて、そのテキストを精読すること。

オフィスアワー: 時間割確定後に通知する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	【オリエンテーション】 本講義の目的、内容、講義の進め方について理解する。	講義	上農
2	1)	【児童とは何か?】 西洋ならびに日本における<児童>概念の歴史を学び、私たちが無自覚に保有している<子ども>観を今一度再考する。	講義	上農
3	2)	【文学とは何か?】 狭義の<文学>概念の定義、東西の歴史を理解し、それを踏まえた現代的広義の<文学>概念の機能状況を把握する。	講義	上農
4	3)	【児童文学の歴史ー西洋】 欧米における児童文学の発達史を確認し、重要作品、重要作家に関する理解を深める。	講義	上農
5	3)	【児童文学の歴史ー日本】 日本における児童文学の発達史を確認し、重要作品、重要作家に関する理解を深める。	講義	上農
6	4)6)	【児童文学と発達の関係】 お話→絵本→物語というプロセスが児童の認知発達にどのように関わっているかを理解する。	講義	上農
7	4)6)	【お話・物語の果たす役割】 お話や物語という文学形式を構成する要素とそれが果たしている役割(機能)について理解する。	講義	上農
8	4)5)	【絵の役割】 絵本における<絵>、物語における<挿絵>の要素とそれが果たしている役割(機能)について理解する。	講義	上農
9	4)5)	【児童文学の現代的展開①アニメーション一般作品】 現代社会の中で児童に対し文学的機能を果たしているメディアとしてのアニメーション作品の意味を理解する。	講義	上農
10	4)5)	【児童文学の現代的展開②アニメーション宮崎駿の作品】 現在、最も高度な文学性を内包した宮崎アニメの諸作品を分析し、その意味を理解する。	講義	上農
11	4)5)	【児童文学の現代的展開③マンガ幼児向け】 現代社会の中で児童に対し文学的機能を果たしているメディアとしての幼児向けマンガ作品の意味を理解する。	講義	上農
12	4)5)	【児童文学の現代的展開④マンガ少年少女向け】	講義	上農

	現代社会の中で児童に対し文学的機能を果たしているメディアとしての少年少女向けマンガ作品の意味を理解する。		
13	4)5) 【児童文学の理論①ユングとエリクソン】 児童文学の根底にある問題を考えるための理論的手掛かりとしてユングとエリクソンの思想を理解する。	講義	上農
14	4)5) 【児童文学の理論②ホイジンガとカイヨフ】 児童文学の根底にある問題を考えるための理論的手掛かりとしてホイジンガとカイヨフの遊戯論を理解する。	講義	上農
15	4)5) 【児童文学の理論③文化人類学と民俗学】 児童文学の根底にある問題を考えるための理論的手掛かりとして文化人類学と民俗学の思考を理解する。	講義	上農

教科書： 使用しない。

参考書： 講義の中で適宜、助言する。

科目名: **器楽活用法**

担当者: 松原 由美(福・子)

配当学科: 子ども保育福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義 演習

授業概要: 多くの乳幼児は、オルゴールやガラガラ、太鼓など家庭にある楽器の音やbCDを聴いて楽器と出会い、音への関心を持つ。お座りができる頃になると、おもちゃの楽器を手に持ち、たたく、吹くなど自分で音を鳴らして楽しむようになる。
幼稚園や保育園に入園するころには、楽器に触れる機会が増え、音色や響きを聴いて表現したり、歌唱や身体表現に合わせて楽器を演奏したりして音楽にさらに親しんでゆくようになる。また、友達や教師、保育士とともに合奏し、他者の音楽に親しみを持つようになる。そのような時期の子どもへの指導にあたっては、多様な関わりを持つことができるように配慮し、楽器の関心・興味を持つような環境設定が必要になる。
子どもの発達に即した楽器の選定にの仕方を教育要領や保育所書育指針から学び、正しい演奏法や選曲の方法を学ぶ。
さらに、保育者が教材をアレンジするなどの工夫の技術、園生活や幼児の状況に合わせて、表現することを楽しめるスキルを学ぶ。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)子どもの発達に合わせた楽器の選び方を理解する。
 - 2)指導計画の作成方法を理解する。
 - 3)幼児が楽器に親し興味を持つために、保育者としての配慮を学ぶ。
 - 4)幼児が親しみやすい楽器の特徴と奏法を知る。
 - 5)リコーダーやピアニカ等の身近な楽器を使用し、保育に適した音楽遊びを調べる。
 - 6)様々な打楽器の中で特徴と奏法を学び、即興演奏ができる。
 - 7)ピアノ連弾の練習をすると共に一定のテンポで演奏ができる。
 - 8)自分自身の体を楽器としてボディーパーカッションができる。
 - 9)ボディーパーカッションの簡単なリズムを作ることができる。
 - 10)自分で作ったボディーパーカッションのリズムを演奏することができる。

評価方法: 実技試験 授業への関心意欲を小レポートなどから勘案し評価する。

準備学習・履修上の注意等: アンサンブルを行うので、一人でもかけると音楽の流れや和音に崩れが生じるので、休まず出席すること。授業中に提示したリズムをそれぞれ課外で練習し、リズムパターンを習得すること。授業内で苦手とした部分を練習しておくこと。

オフィスアワー: 研究室の前に掲示する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 授業の概要、評価の方法、参考書紹介。	講義	松原
2	1)	【楽器紹介】 幼稚園や保育所の現場で使用される楽器を知る。また、それぞれの楽器の使用にふさわしい年齢を教育要領や保育所保育指針から学ぶ	演習	松原
3	1)	【楽器遊びの指導計画を知る】 年齢に応じた楽器を理解し、音楽に関する年間計画の立案を理解する。 1つの楽器で年齢ごとに遊びがどのように変化するかを理解する。 4歳児の楽器遊びの指導案を立案する。	演習	松原
4	1)2	【楽器について知る①】 さまざまな楽器の名前を理解し、指導のポイントを理解する。	演習	松原
5	3)	【楽器について知る②】 保育現場で頻繁に使用する楽器の奏法を理解する。 園児が理解しやすい演奏法の説目について知る。	演習	松原
6	3)	【リコーダーやピアニカについて知る①】 楽器の取り扱い方法を理解する。 良い音の出し方、音色について理解する。	演習	松原
7	4)	【リコーダーやピアニカについて知る②】 それぞれの楽器でアンサンブルを楽しむ方法を学ぶ。 演奏に躓いた園児へのアドバイス方法を学ぶ。	演習	松原
8	5)	【ドレミパイプ】 ドレミパイプの特性の理解。 アンサンブルでメロディーの流れを感じる。 (楽譜)	演習	松原
9	6)	【ミュージックシート】	演習	松原

ミュージックシートの特性を理解する。
仲間とアンサンブルの練習をし、アンサンブルについて習得する。
(楽譜)

10	5)6)	【打楽器】 打楽器の特性を理解し、アンサンブルを行う。 (楽譜)	演習	松原
11	5)6)	【トーンチャイム①】 トーンチャイムの特徴を理解する	演習	松原
12	7)	【トーンチャイム②】 トーンチャイムでアンサンブルの方法を理解する。	演習	松原
13	7)	【トーンチャイム③】 トーンチャイムでアンサンブルの方法を理解する。	演習	松原
14	8)	【ボディーパーカッション】 体のいろいろな個所をたたきながら音の違いを知る。 リズム譜どおり正確なテンポで演奏できる。	演習	松原
15	8.9.10)	【ボディーパーカッション】 体のいろいろな個所のそれぞれの音を理解し、自分でボディーパーカッション の曲をを12小節作る。	演習	松原

教科書： 保育所保育指針 幼稚園教育要領

参考書： 授業内で幼児にもできる楽器遊びに関する参考書を紹介する。

科目名: **障害児教育**

担当者: 上農 正剛(福・子)

配当学科: 子ども保育福祉学科(2年)

必修・選択: 選択

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 講義・演習

授業概要: 障害児教育という課題には「障害」、「児童」、「教育」という三つの問題が内在している。障害児教育の二つの有名な先駆的事例の比較分析を通し、この三つの要素がどのように関連しているか、それぞれにどのような本質的問題を抱えているかを理解する。

到達目標: (SBOs)
1)障害児教育の歴史が説明できる。
2)障害児教育の理念が説明できる。
3)障害児教育の実践方法が説明できる。
4)障害児教育の課題が説明できる。

評価方法: ノートの記録状況(20%)、検討課題への応答(20%)、試験レポート(60%)の配分で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 毎授業終了時に「検討課題」を提示するので、次回授業まで1時間かけて回答を準備する。回答は次回授業時に発表する。

オフィスアワー: 時間割が確定後に通知する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	障害児教育の問題を考える際の導入的観点を理解する。	講義	上農
2	1)3)	映像資料①を視聴する。	演習	上農
3	1)3)	映像資料①②を視聴する。	演習	上農
4	1)3)	映像資料②を視聴する。	演習	上農
5	4)	映像資料①②に対する自己評価と分析をする。	演習	上農
6	2)3)4)	映像資料①に対する詳細な解説と意味分析を理解する。	講義	上農
7	2)3)4)	映像資料①に対する詳細な解説と意味分析を理解する。	講義	上農
8	2)3)4)	映像資料②に対する詳細な解説と意味分析を理解する。	講義	上農
9	2)3)4)	映像資料②に対する詳細な解説と意味分析を理解する。	講義	上農
10	4)	映像資料①と②の相違の意味について討論を通し検討する。	演習	上農
11	4)	障害児教育の基本的課題について理解する。	講義	上農
12	1)	特殊教育と特別支援教育の歴史について理解する。	講義	上農
13	4)	特別支援教育の課題について理解する。	講義	上農
14	2)4)	障害認識論の基礎的概念について理解する。	講義	上農
15	1)2)3)4)	整理と総括	講義	上農

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: **子どもと生活**

担当者: 安原 青児(福・子)

配当学科: 子ども保育福祉学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 保育・幼児教育の専門職者にとって、子どもの生活やその固有の文化を理解することは必須である。環境を生きる子どもたちの地理的、社会的、人的環境などを子どもの視点を大切にしながら詳細に学び、生活に結びついた文化の諸相を理解する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 授業概要を理解し、子どもの生活を学ぶ意義、目的が説明できる。
 - 2) 時代による子どもの生活の変遷について概要を説明できる。
 - 3) 地域に伝わる行事や宗教儀礼の意味、またそれが果たす子どもの成長との関わりを説明できる。
 - 4) 子どもにとっての家族とその諸問題を例を挙げて説明することができる。
 - 5) 社会問題となっている虐待や事件を通して子どもの人権について理解し、その大切さを説明できる。
 - 6) 子どもが具体的な生活の中で生きていく力と遊び、体験活動とのかかわりについて説明できる。
 - 7) 子どもの伝承文化や文化財、また子どもの芸術を理解し、生活や成長との関連を説明できる。
 - 8) 子どもにとってのメディアや社会経済とのかかわりについて説明できる。

評価方法: 毎回の授業内容をノートにまとめ、最終回に提出する事を義務づける。
演習での積極的な取り組み、自作ノートや各種レポートの提出、単位認定試験などを総合的に評価する。
欠席は5回まで、遅刻・早退は3回で欠席1回分の減点とする。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき60分を目安に、授業内容をノートにまとめ、合わせて次回の準備学習を行うこと。
本科目は幼稚園教諭一種免許取得のための選択必修科目として位置づけられている。

オフィスアワー: 授業などを除く研究室在室時間には、随時相談・指導に応じる。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【授業概要】 授業概要として、子どもの生活を学ぶ意義、目的、進め方、評価を解説する。	講義	安原
2	1)2)	【子どもの生活史】 江戸時代～平成までの子どもの生活史を概観し、その変遷を理解する。	講義	安原
3	2)3)	【地域社会と伝承1】 地域に根差した子どもに関する宗教儀礼や行事の種類と意味を理解する。	講義	安原
4	2)3)	【地域社会と伝承2】 地域の伝わる子育ての伝統や現代社会での移り変わりを理解する。	講義	安原
5	3)4)	【子どもと家族】 子どもの生活に最も影響を与える家族の諸問題とその解決策を検討する。	講義	安原
6	5)	【子どもと人権】 児童虐待、DV、子どもを巻き込む犯罪等についてその解決策を検討する。	SGD	安原
7	2)4)6)	【子どもと体験活動】 生きる力をはぐくむ様々な体験活動の意義と目的、方法などを理解する。	SGD	安原
8	4)6)	【子どもと遊び1】 年齢による遊びの違いを発達過程に沿って理解する。	講義	安原
9	4)6)7)	【子どもと遊び2】 子どもの生活に関わる玩具、保育教材、児童文化財などについて理解する。	講義	安原
10	4)6)7)	【子どもと遊び3】 伝承遊びの種類と継承について体験を通して理解を深める。	演習	安原
11	4)6)7)	【子どもと遊び4】 伝承遊びの種類と継承について体験を通して理解を深める。	演習	安原
12	4)6)7)	【子どもと芸術】 子どもにとって美術、文学、音楽等の芸術の持つ意味について理解する。	講義	安原
13	1)5)7)8)	【子どもの生活とメディア】 子どもの生活に関わる様々なメディアの功罪について検討する。	SGD	安原
14	1)5)7)8)	【子どもと経済】 子どもをターゲットにした経済社会の諸相を概観し、その功罪を検討する。	SGD	安原

本科目で学んできた知識をまとめ、専門職者の役割を理解する。

教科書： 使用しない。

参考書： 必要に応じて、授業内で資料を配布する。

科目名: 教職実践演習(幼稚園)

担当者: 登坂 学(保・工)

配当学科: 子ども保育福祉学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 1)現場経験豊かな幼稚園教諭をゲストスピーカーとして招聘し、講話をおこなう。これによって学生は、教師の資質として求められる「使命感・責任感・教育愛」「社会性・対人関係能力」「子ども理解・クラス経営」および「教科等の指導力」等を現場レベルで学ぶことができ、卒業後のレディネスを形成することができる。
2)「履修カルテ」および「実習ノート」をもとに、これまでの学修履歴を振り返り、すでに何を獲得し、何が課題として残されているかを確認することができる。
3)その上で、課題として残されている点については、その克服のために卒業までにどのようなことに取り組むべきか具体的に考え、明確化することができる。
4)これまでの学修で培ってきた知識やスキルを総動員して指導案を作成し模擬授業を行う。そこでは学生同士の相互評価及び教員のコメントによって幼児教育の指導力等に関わる自己の課題を明確にすることができる。

学生は以上を通して教職課程履修における自己の到達点を明らかにし、卒業までに取り組むべき課題についての自覚を深めることができる。

到達目標: (SBOs) 1)教師として求められる資質能力について理解しそれを説明できる。
2)これまでの講義や実習等の経験をとおして、自分が教師としての資質能力をどの程度まで修得しているかを、客観的に把握し説明できる。
3)教職に向けて今後さらにどのような課題に取り組むべきか、その課題にどのように取り組もうとするのか自ら考え、それを説明できる。

評価方法: 発表およびレポートをもとに評価する。

準備学習・履修上の注意等: 本科目を履修するための条件は次の通りである。
1)4年次前期分までの「教職課程履修カルテ」を作成していること
2)教育実習を終了していること
3)4年で卒業できる見込みであること
4)毎回最低1時間は予習または復習できること(模擬授業にあつては1日以上時間を準備に費やせること)

オフィスアワー: 別途研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)5)	【オリエンテーション】—授業のねらい 教職課程の学修履歴を振り返り、自己の到達点と課題を明らかにする意義について理解する。(他学科との合同授業)半期の授業の流れを理解できる。	演習	登坂
2	1)2)3)4)5)	【省察と課題の確認①】—「履修カルテ」にもとづく振り返り 「履修カルテ」と「実習ノート」をもとに、これまでの学修履歴を振り返ることができ、自らの課題を発見し、口頭又は文章で表現することができる。	演習	登坂
3	1)2)3)4)5)	【外部講師による講話(1)】—「使命感・責任感・教育愛」 経験豊かな現場教員の講話によって、教師の「使命感・責任感・教育愛」について学び、そこから得られたことを記述できる。(他学科との合同授業、講話の内容は変更することがある)	演習	外部講師
4	1)2)3)4)5)	【省察と課題の確認②】—到達点の確認と課題の明確化 外部講師の講話を踏まえ、教科等の指導力を身につけるのに大切なことは何かについてグループディスカッションにより意見交換を行い、得られたものを記述できる。	演習	登坂
5	1)2)3)4)5)	【省察と課題の確認③】—発表と交流 学修履歴の振り返りにもとづいて明らかになった到達点と課題を発表し、互いに交流する。	演習	登坂
6	1)2)3)4)5)	【外部講師による講話(2)】—「社会性・対人関係能力」 経験豊かな現場教員の講話によって教師に必要な「社会性・対人関係能力」について学び、そこから得られたものを文章で表現できる。(他学科との合同授業、講話の内容は変更することがある)	演習	外部講師
7	1)2)3)4)5)	【教師の使命と責任についての討論(グループ討論および全体討論)】 講話と自己省察を踏まえて教師の使命や必要な資質能力についてテーマを設定し、グループ討論を行う。そこから得られたものを口頭或いは文章で表現することができる。	演習	登坂
8	1)2)3)4)5)	【外部講師による講話(3)】—「子ども理解と保育内容の指導力①」 経験豊かな幼稚園教諭の講話によって、いかに「保育・指導力」を身につけ	演習	外部講師

るかを学ぶ、それを記述できる。(講話の内容は変更することがある)

9	1)2)3)4)5) 【指導案の作成と模擬授業①】—模擬授業と相互講評(第1回) 教育実習を振り返りつつ、模擬授業に向けて指導案を作成し、現時点でベストの模擬授業をすることができる。相互評価及び教員からのコメントにより授業スキルを高めることができる。	演習	登坂
10	1)2)3)4)5) 【指導案の作成と模擬授業②】—模擬授業と相互講評(第2回) 教育実習を振り返りつつ、模擬授業に向けて指導案を作成し、現時点でベストの模擬授業をすることができる。相互評価及び教員からのコメントにより授業スキルを高めることができる。	演習	登坂
11	1)2)3)4)5) 【指導案の作成と模擬授業③】—模擬授業と相互講評講評(第3回) 教育実習を振り返りつつ、模擬授業に向けて指導案を作成し、現時点でベストの模擬授業をすることができる。相互評価及び教員からのコメントにより授業スキルを高めることができる。	演習	登坂
12	1)2)3)4)5) 【指導案の作成と模擬授業④】—模擬授業と相互講評(第4回) 教育実習を振り返りつつ、模擬授業に向けて指導案を作成し、現時点でベストの模擬授業をすることができる。相互評価及び教員からのコメントにより授業スキルを高めることができる。	演習	登坂
13	1)2)3)4)5) 【外部講師による講話(4)】—「子ども理解と保育内容の指導力《2》」 経験豊かな幼稚園教諭の講話によって新任教諭にとって必要なことは何かを学びとり、それを記述できる。(講話の内容は変更することがある)	演習	外部講師
14	1)2)3)4)5) 【教科等の指導力についての討論(グループ討論および全体討論)】 外部講師の講話で提起された課題をもとにグループ討議及びディスカッションを行うことで、新任教員に必要とされるレディネスを向上させることができ、気づきを記述することができる。	演習	登坂
15	1)2)3)4)5) 【まとめ】 授業の全体を振り返り、レビューを作成し、今後に向けての各自の課題を確認することで、就職直前のレディネスを形成できる。	演習	登坂

教科書： 指定しないが、授業中に適宜文献を紹介する。

参考書： 授業中に適宜各種資料を紹介する。

科目名: 幼稚園教育実習

担当者: 黒須依子(福・子)・安原青兒(福・子)・松原由美(福・子)・登坂学(保・工)・甲斐玲子(非常勤講師)

配当学科: 子ども保育福祉学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 4 時間数: 120 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 幼稚園での保育について、これまで学んだ理論や技術を総合的に適用して、幼稚園教諭としての実践力や応用力を養う。実習終了後は「幼稚園教育実習事後指導」を受講し、実習の振り返り、自己評価を行い、報告書作成、報告会での報告を通じ今後の自己課題を明確化する。【到達目標】1.幼稚園における保育を理解する。2.幼児へのかかわりと援助を理解する。3.幼稚園教諭の職務を理解する。4.記録について実践的に学習する。5.指導計画を立案し、責任保育を実施する。6.実習の反省と自己評価を行う。

- 到達目標 (SBOs)
1)幼稚園実習に向けた個別の実習目標と実習課題を確認、理解する。
2)幼稚園実習に要する知識や技術を再確認する。
3)新幼稚園教育要領の内容を理解する。
4)幼稚園における保育を実践できる。
5)幼児への適切なかかわりと援助を行うことができる。
6)幼稚園教諭の職務を説明できる。
7)実習内容を適切に記録できる。
8)指導計画を立案し、責任保育を実施することができる。
9)実習について自己評価し、さらなる学習にフィードバックできる。
10)実習概要、課題達成度、反省点をまとめ、文書又は口頭でわかりやすく報告することができる。

評価方法: 実習(3週間)を実施した幼稚園からの評価を中心に、以下3点を合わせて総合評価する。

- ①巡回指導や実習日誌等の点検による評価、
②幼稚園教育実習事前ガイダンスの出席状況
③幼稚園教育実習事後指導の出席状況、授業態度、実習報告内容、実習報告書提出状況

準備学習・履修上の注意等: 実習は無遅刻・無欠席が原則であり、やむを得ない理由によって遅刻や欠席があった場合は、幼稚園に願い出て、その補充をすること。同様に、実習前に開催する事前ガイダンス、実習終了後に実施する「幼稚園教育実習事後指導」も無遅刻・無欠席を原則とする。やむを得ない理由により遅刻や欠席する場合は、必ず担当教員へ事前連絡(遅くとも当日中に連絡)を入れ、その理由を伝えること。

オフィスアワー: 時間割発表後、各教員が授業の空き時間に適宜設定する。

授業計画

Table with 5 columns: 回数, SBOsNo., 授業内容, 授業方法, 担当. It details 12 sessions of the internship, including topics like '事前指導', '個別の実習目標', '新幼稚園教育要領', and '実習'.

		幼児教育の有り方に対する知識や視野を広める。□ □		
13	9)10)	実習報告会に参加し、自己実習の課題を明らかにする□ □	実習	全教員
14	9)10)	実習報告書を作成する(1)□ ? 下書きを作成し、担当教員の添削を受け修正する。□ □	実習	全教員
15	9)10)	実習報告書を作成する(2)□ 清書を作成し、担当教員の承認を得て提出する。□	実習	全教員

教科書: 1)文部科学省「幼稚園教育要領解説(平成29年告示版)」H30年3月発行予定

2)無藤隆、汐見稔幸、砂上史子「ここがポイント! 幼稚園・保育所・認定こども園 3法令ガイドブック(H29年告示対応)」フレーベル館【978-4-577-81425-3】

3)百瀬ユカリ「よくわかる幼稚園実習(第二版)」創生社【978-4-7944-8047-7】

*「教育実習の研究」にて使用したテキストと同様(既に所持する学生は、新たに購入する必要はありません)

4)「幼稚園実習の手引き(H28年9月)」(非売品 *「教育実習の研究」受講時に配布を受けたもの)

参考書: 授業時に参考文献や資料を提示する。

科目名: **子ども保育福祉学演習Ⅱ**

担当者: 安原 青兒(福・子)

配当学科: 子ども保育福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 3年次の子ども保育福祉学演習Ⅰでの学習を踏まえ、卒業研究論文の作成に向けて必要な知識、技術の習得を目的とする。引き続き保育や幼児教育、児童福祉等の各分野から研究テーマを絞り込み、論文執筆のスケジュール、方法、文献読解、必要なフィールドワーク等を行う。

到達目標: (SBOs) 1)専門ゼミ演習を踏まえ、さらに学習の自己評価、今後の課題などを明確にすることが出来る。
2)これまでのフィールドワークで培った学習の基礎に立って、造形の楽しさと自らの美的感受性をさらに育み、保育者としての感性を醸成させる。
3)課題意識を明確にし、自ら積極的に研究の方法をより具体的に調べ、実践する。
4)各自の課題に合わせ、情報収集、文献購読、調査研究を積み重ね、それを卒業研究の中に昇華していくために整理する。
5)ゼミの中で自分の意見を論理的に表明し、他者の意見を踏まえて討論することができるようになる。
6)保育・幼児教育・ソーシャルワーク等の諸問題研究に取り組み、その専門性、人間性、倫理観を身につける。

評価方法: 演習への主体的な取り組み、レポート等の課題提出状況、討論や発表等の積極的研究態度等を総合的に評価する。欠席が限度を超える場合は不可。また遅刻・早退は回数に応じて減点とする。

準備学習・履修上の注意等: 1回の演習につき60分を目安に、研究・学習のための文献購読、フィールドワーク諸準備、資料の整理とまとめ、情報収集等を行い、演習や卒業研究が有意義に進められるよう準備学習を行うこと。また毎回、自らの学びを振り返り、向上心を持って演習に取り組むこと。自身のパソコンを準備すること。

オフィスアワー: 授業時間以外の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 演習の目的、学習の進め方と姿勢、評価方法等の説明を理解し、積極的に学ぶ意識を持つ。	演習	安原
2	2)3)4)	【個別面談1】 研究テーマ及び演習計画の確認を行う。	演習	安原
3	2)3)4)	【個別面談2】 研究テーマ及び演習計画の確認を行う。	演習	安原
4	2)3)4)	【先行研究の検討1】 研究テーマに沿った先行研究を調査・収集し、検討を加える。	演習	安原
5	2)3)4)	【先行研究の検討2】 研究テーマに沿った先行研究を調査・収集し、検討を加える。	演習	安原
6	2)3)4)	【先行研究の検討3】 研究テーマに沿った先行研究を調査・収集し、検討を加える。	演習	安原
7	2)3)4)	【先行研究の検討4】 研究テーマに沿った先行研究を調査・収集し、検討を加える。	演習	安原
8	3)4)5)	【研究報告と討論1】 研究テーマに即して文献の紹介と討論等を行い、学習を深める。	演習	安原
9	3)4)5)	【研究報告と討論2】 研究テーマに即して文献の紹介と討論等を行い、学習を深める。	演習	安原
10	3)4)5)	【研究報告と討論3】 研究テーマに即して文献の紹介と討論等を行い、学習を深める。	演習	安原
11	3)4)5)	【研究報告と討論4】 研究テーマに即して文献の紹介と討論等を行い、学習を深める。	演習	安原
12	1)5)	【中間発表1】 各自のこれまでの学習、研究の成果と途中経過を発表し、指導を受ける。	演習	安原
13	1)5)	【中間発表2】 各自のこれまでの学習、研究の成果と途中経過を発表し、指導を受ける。	演習	安原
14	1)~6)	【前期総括1】 学習を振り返り、保育、児童福祉等の諸問題への理解を再検討し、情報収集、討	演習	安原

論、実践等を総括する。

15	1)~6)	【前期総括2】 学習を振り返り、保育、児童福祉等の諸問題への理解を再検討し、情報収集、討論、実践等を総括する。	演習	安原
16	1)	【オリエンテーション】 後期演習の目的、学習の進め方と姿勢、評価方法等の説明を理解し、積極的に学ぶ意識を持つ。	演習	安原
17	1)~6)	【課題研究1】 各自の課題研究を進め、討論、個別指導の実施と各自の研究結果の分析、考察を行っていく。	演習	安原
18	1)~6)	【課題研究2】 各自の課題研究を進め、討論、個別指導の実施と各自の研究結果の分析、考察を行っていく。	演習	安原
19	1)~6)	【課題研究3】 各自の課題研究を進め、討論、個別指導の実施と各自の研究結果の分析、考察を行っていく。	演習	安原
20	1)~6)	【課題研究4】 各自の課題研究を進め、討論、個別指導の実施と各自の研究結果の分析、考察を行っていく。	演習	安原
21	1)~6)	【課題研究5】 各自の課題研究を進め、討論、個別指導の実施と各自の研究結果の分析、考察を行っていく。	演習	安原
22	1)~6)	【課題研究6】 各自の課題研究を進め、討論、個別指導の実施と各自の研究結果の分析、考察を行っていく。	演習	安原
23	1)~6)	【課題研究の作成1】 各自の課題研究(卒業研究)の最終的な作成作業を行う。	演習	安原
24	1)~6)	【課題研究の作成2】 各自の課題研究(卒業研究)の最終的な作成作業を行う。	演習	安原
25	1)~6)	【課題研究発表会1】 各自の課題研究(卒業研究)の発表にむけてスライドの作成等を行う。	演習	安原
26	1)~6)	【課題研究発表会2】 各自の課題研究(卒業研究)の発表と討論を行う。	演習	安原
27	1)~6)	【課題研究のまとめ1】 各自の卒業研究報告書(卒業論文)と要旨の作成	演習	安原
28	1)~6)	【課題研究のまとめ2】 各自の卒業研究報告書(卒業論文)と要旨の作成	演習	安原
29	1)~6)	【演習の総括1】 課題研究、ゼミ活動を通じた反省と今後の課題を個別面談の中で明らかにしていく。	演習	安原
30	1)~6)	【演習の総括2】 課題研究、ゼミ活動を通じた反省と今後の課題を個別面談の中で明らかにしていく。	演習	安原

教科書： 使用しない。

参考書： 演習時に必要に応じて提示する。

科目名: **子ども保育福祉学演習Ⅱ**

担当者: 上農 正剛(福・子)

配当学科: 子ども保育福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 講義|演習

授業概要: 福祉・医療・教育の根底にある生命・身体に関する価値観を哲学・社会学・歴史学を通し再検討し、そこに潜在する本質的問題を理解する。同時に、討論を介した検討により、問題の本質を把握する際の認識論的思考法を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)福祉・医療・教育に関する社会学の批判的基礎概念が説明できる。
2)討論の場での意見提示の技法を習得する。
3)討論の場での意見交換の技術を習得する。
4)討論の場での他者の意見を正確に理解し、活用する方法を習得する。
5)問題状況の構成要素を分析し、根本原因を的確に指摘することが出来る。

評価方法: 受講態度、討論への参加姿勢、研究テーマ探求への積極性(50%)、課題レポートの質(5%)を総合的に判断し評価する。

準備学習・履修上の注意等: 毎授業後、授業で取り扱った重要概念については1時間かけて理解の再確認を実施すること。少人数での討論を指導基盤とするので、自主的かつ積極的に議論に参加すること。

オフィスアワー: 時間割発表後、適宜通知する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	障害児教育を題材に、そこに潜在している諸問題を理解する。	講義	上農
2	1)	障害児教育を題材に、そこに潜在している諸問題を理解する。	講義	上農
3	1)	障害児教育を題材に、そこに潜在している諸問題を理解する。	講義	上農
4	1)	障害児教育を題材に、そこに潜在している諸問題を理解する。	講義	上農
5	1)	障害児教育を題材に、そこに潜在している諸問題を理解する。	講義	上農
6	2)3)4)	映像資料を視聴し、討論形式により、その内容を分析・検討する。	演習	上農
7	2)3)4)	映像資料を視聴し、討論形式により、その内容を分析・検討する。	演習	上農
8	2)3)4)	映像資料を視聴し、討論形式により、その内容を分析・検討する。	演習	上農
9	2)3)4)	映像資料を検討し、討論形式により、その内容を分析・検討する。	演習	上農
10	2)3)4)	映像資料を検討し、討論形式により、その内容を分析・検討する。	演習	上農
11	2)5)	プレ研究発表会を実施する。	演習	上農
12	2)3)4)	研究発表の内容を討論により検討する。	演習	上農
13	1)	関連する人文社会科学の補足情報を理解する。	演習	上農
14	2)5)	研究発表会を実施する。	演習	上農
15	2)3)4)	討論により学習内容を総括的に検討・整理する。	演習	上農
16	1)	生命倫理学に関する基礎的概念を理解する。	講義	上農
17	1)	生命倫理学に関する基礎的概念を理解する。	講義	上農
18	1)	生命倫理学に関する基礎的概念を理解する。	講義	上農
19	1)	生命倫理学に関する基礎的概念を理解する。	講義	上農
20	1)	生命倫理学に関する基礎的概念を理解する。	講義	上農
21	2)3)4)	生命倫理学に関する映像資料を視聴し、討論により内容を検討する。	演習	上農
22	2)3)4)	生命倫理学に関する映像資料を視聴し、討論により内容を検討する。	演習	上農
23	2)3)4)	生命倫理学に関する映像資料を視聴し、討論により内容を検討する。	演習	上農

24	2)3)4)	生命倫理学に関する映像資料を視聴し、討論により内容を検討する。	演習	上農
25	2)3)4)	生命倫理学に関する映像資料を視聴し、討論により内容を検討する。	演習	上農
26	1)	生命倫理学に関する補足概念を理解する。	講義	上農
27	2)5)	生命倫理学に関し、研究発表会を実施する。	演習	上農
28	2)3)4)	研究発表に討論により検討を加える。	演習	上農
29	1)	全体総括	講義	上農
30	1)	全体総括	講義	上農

教科書： コピー資料を配布する。

参考書： 適宜、助言する。

科目名: **子ども保育福祉学演習Ⅱ**

担当者: 登坂 学(保・工)

配当学科: 子ども保育福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: ゼミ学生は前年度に確定した卒論論文テーマに基づき、研究を継続する。毎回のゼミはその成果の発表、質疑応答、ディスカッションの場であり、相互の建設的意見交換により、研究をさらに一歩前進させるための重要な時間となるだろう。
また時間の一部を使い、公務員試験における教養試験・専門試験(但し当ゼミの研究テーマとかかわる内容)をにらんだ何らかの演習を行うことも構想している。

到達目標: (SBOs) 1)人文・社会・自然の諸領域を横断する幅広い「学際知」を身につけることができる。
2)グローバルな視野から「子どもの権利」を考察し、その普遍性を認識することができる。
3)「体験知」からいったん離れ、客観的なスタンスで教育を論じることができる。
4)公務員試験の受験に必要な最低限の人文・社会的知識を身につけることができる。
5)基礎学力としての英語読解能力の回復を図ることができ、実力の向上を実感できる。

※ゼミメンバーの要望があれば、課外時間に公務員試験の勉強会も行う。

評価方法: ゼミへの取り組み姿勢及びディスカッションへの貢献度(50%)＋提出物の評価(50%)で総合的に判定する。

準備学習・履修上の注意等: 当ゼミは、きつい(という先輩諸氏の評判だ)。次の諸点を教育に対する情熱を持っていること。1)受け身にならず、主体的に学習できること。2)友人に流されず、自分の目標に向けて努力できること。3)最低限の礼儀やマナーを弁えていること。

卒論執筆に費やす時間を一律に指示することはできないが、最低でも1年間かけてコツコツと研究していく必要がある。それを前提として、1日1時間、1週あたり最低でも7時間は研究に費やしてほしい。

オフィスアワー: 火曜12:30-13:00、水曜12:30-13:00、木曜12:30-13:00。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)5)	ガイダンス及び教材の配布。	ゼミ	登坂
2	1)2)3)4)5)	各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
3	1)2)3)4)5)	各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
4	1)2)3)4)5)	各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
5	1)2)3)4)5)	各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
6	1)2)3)4)5)	各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
7	1)2)3)4)5)	各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
8	1)2)3)4)5)	各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
9	1)2)3)4)5)	各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
10	1)2)3)4)5)	各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
11	1)2)3)4)5)	各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
12	1)2)3)4)5)	各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
13	1)2)3)4)5)	各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂

14	1)2)3)4)5) 各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
15	1)2)3)4)5) 各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
16	1)2)3)4)5) 各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
17	1)2)3)4)5) 各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
18	1)2)3)4)5) 各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
19	1)2)3)4)5) 各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
20	1)2)3)4)5) 各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
21	1)2)3)4)5) 各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
22	1)2)3)4)5) 各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
23	1)2)3)4)5) 各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
24	1)2)3)4)5) 各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
25	1)2)3)4)5) 各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
26	1)2)3)4)5) 各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
27	1)2)3)4)5) 各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
28	1)2)3)4)5) 各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
29	1)2)3)4)5) 各自の研究テーマに基づく調査・研究の発表、質疑応答、ディスカッション。	ゼミ	登坂
30	1)2)3)4)5) 卒業論文発表会。	ゼミ	登坂

教科書： 4年ゼミにおいてはテキストは指定しないが、各自の研究に必要な文献を適宜紹介する。

参考書： 授業において適宜指示する。

科目名: **子ども保育福祉学演習Ⅱ**

担当者: 松原 由美(福・子)

配当学科: 子ども保育福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 3年次の子ども保育福祉学演習Ⅰでの学習を踏まえ、卒業研究論文の作成に向けて必要な知識、技術の習得を目的とする。引き続き保育や幼児教育、児童福祉等の各分野から研究テーマを絞り込み、論文執筆のスケジュール、方法、文献読解、必要なフィールドワーク等を行う。

到達目標: (SBOs) 1)研究の目的を明確にし研究計画書の作成ができる。
2)研究計画を基に3年次経験した演習をさらに深めることができる。
3)演習後念入りにフィードバックを実施し、次回の演習計画を作成することができる。
4)自分の研究分野の先行研究論文を検索することができる。 5.計画に基づき発表ができる。

評価方法: 毎回の報告会や発表を総合的に勘案する。

準備学習・履修上の注意等: 自らの学びを振り返り、向上心を持って演習に取り組むこと。
毎回の課題を授業までしっかり行っておくこと。

オフィスアワー: 授業時間以外の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 演習の目的、学習の進め方と姿勢、評価方法等の説明を理解し、積極的に学ぶ意識を持つ。	演習	松原
2	1)	【個別面談1】 研究テーマ及び演習計画の確認を行う。	演習	松原
3	1)2)	【個別面談2】 研究テーマ及び演習計画の確認を行う。	演習	松原
4	1)2)3)4)	【先行研究の検討1】 研究テーマに沿った先行研究を調査・収集し、検討を加える。	演習	松原
5	1)2)3)4)	【先行研究の検討2】 研究テーマに沿った先行研究を調査・収集し、検討を加える。	演習	松原
6	1)2)3)4)	【先行研究の検討3】 研究テーマに沿った先行研究を調査・収集し、検討を加える。	演習	松原
7	1)2)3)4)	【先行研究の検討4】 研究テーマに沿った先行研究を調査・収集し、検討を加える。	演習	松原
8	1)2)3)4)	【研究報告と討論1】 研究テーマに即して文献の紹介と討論等を行い、学習を深める。	演習	松原
9	1)2)3)4)	【研究報告と討論2】 研究テーマに即して文献の紹介と討論等を行い、学習を深める。	演習	松原
10	1)2)3)4)	【研究報告と討論3】 研究テーマに即して文献の紹介と討論等を行い、学習を深める。	演習	松原
11	1)2)3)4)	【研究報告と討論4】 研究テーマに即して文献の紹介と討論等を行い、学習を深める。	演習	松原
12	1)2)3)4)	【中間発表1】 各自のこれまでの学習、研究の成果と途中経過を発表し、指導を受ける。	演習	松原
13	1)2)3)4)	【中間発表2】 各自のこれまでの学習、研究の成果と途中経過を発表し、指導を受ける。	演習	松原
14	1)2)3)4)	【前期総括1】 学習を振り返り、保育、児童福祉等の諸問題への理解を再検討し、情報収集、討論、実践等を総括する。	演習	松原
15	1)2)3)4)	【前期総括2】 学習を振り返り、保育、児童福祉等の諸問題への理解を再検討し、情報収集、討論、実践等を総括する。	演習	松原

16	1)2)3)4)	【オリエンテーション】 後期演習の目的、学習の進め方と姿勢、評価方法等の説明を理解し、積極的に学ぶ意識を持つ。	演習	松原
17	1)2)3)4)	【課題研究1】 各自の課題研究を進め、討論、個別指導の実施と各自の研究結果の分析、考察を行っていく。	演習	松原
18	1)2)3)4)	【課題研究2】 各自の課題研究を進め、討論、個別指導の実施と各自の研究結果の分析、考察を行っていく。	演習	松原
19	1)2)3)4)	【課題研究3】 各自の課題研究を進め、討論、個別指導の実施と各自の研究結果の分析、考察を行っていく。	演習	松原
20	1)2)3)4)	【課題研究4】 各自の課題研究を進め、討論、個別指導の実施と各自の研究結果の分析、考察を行っていく。	演習	松原
21	1)2)3)4)	【課題研究5】 各自の課題研究を進め、討論、個別指導の実施と各自の研究結果の分析、考察を行っていく。	演習	松原
22	1)2)3)4)	【課題研究6】 各自の課題研究を進め、討論、個別指導の実施と各自の研究結果の分析、考察を行っていく。	演習	松原
23	1)2)3)4)	【課題研究の作成1】 各自の課題研究(卒業研究)の最終的な作成作業を行う。	演習	松原
24	1)2)3)4)5)	【課題研究の作成2】 各自の課題研究(卒業研究)の最終的な作成作業を行う。	演習	松原
25	1)2)3)4)5)	【課題研究発表会1】 各自の課題研究(卒業研究)の発表にむけてスライドの作成等を行う。	演習	松原
26	1)2)3)4)5)	【課題研究発表会2】 各自の課題研究(卒業研究)の発表と討論を行う。	演習	松原
27	1)2)3)4)5)	【課題研究のまとめ1】 各自の卒業研究報告書(卒業論文)と要旨の作成	演習	松原
28	1)2)3)4)5)	【課題研究のまとめ2】 各自の卒業研究報告書(卒業論文)と要旨の作成	演習	松原
29	1)2)3)4)5)	【演習の総括1】 課題研究、ゼミ活動を通じた反省と今後の課題を個別面談の中で明らかにしていく。	演習	松原
30	1)2)3)4)5)	【演習の総括2】 課題研究、ゼミ活動を通じた反省と今後の課題を個別面談の中で明らかにしていく。	演習	松原

教科書： 共通の教科書はなし。
学生個々の課題によってその都度紹介する。

参考書： 使用しない。

科目名: **子ども保育福祉学演習Ⅱ**

担当者: 黒須 依子(福・子)

配当学科: 子ども保育福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 福祉専門職、又は教育者として質の高い実践を行うことができるようになることを目的に、子ども保育福祉学演習Ⅰで学んだ文献検索法、社会調査法、論文記述方法を活用し、チューターの助言・指導を受けながら研究活動に主体的に取り組むことができる。
また、学士としてふさわしい研究活動を通し文献検索法、文章読解力、思考力、論文記述力を身に付け、研究活動内容を卒業論文としてまとめ提出期限に余裕をもち卒業論文を完成して卒論要旨を作成し、両者ともに提出期限内に提出することができる。
さらに、卒論発表会に参加し、自身の卒論概要を第三者へのわかりやすい発表をめざし発表資料作成、プレゼンテーションの練習に主体的に取り組むことができる。

到達目標: 1)演習Ⅱの目的、年間スケジュールを理解し、自身の年間目標を設定する。
2)3年次までの研究成果を文章にまとめ、指導教員、ゼミ生へ報告する。
3)3年次に作成した卒論研究計画を、現状に応じて立て直す。
4)論文作成に対する個別指導を受け、テーマに沿った研究を主体的に進める。
5)卒論中間発表会でこれまでの研究の成果を報告し、聴者から質疑に回答する。
6)卒業論文を提出期限までに完成する。
7)教員の指導の下に、卒論要旨を作成する。
8)卒論要旨を完成する。
9)卒業論文、卒論要旨を提出期限を厳守し、提出することができる。
10)卒論発表会に使用する資料を作成する。
11)ゼミ内の卒業研究発表予行演習会に参加し、メンバーの質疑や助言に応じ発表方法を改善することができる。
12)卒業研究発表会に参加し、卒業研究の成果をわかりやすく簡潔に聴者に報告することができる。
13)卒業研究発表会に参加し、聴者からの質疑を受けとめ、マナー良く回答することができる。

評価方法: 研究活動への主体性、ゼミでの授業態度、ゼミ課題の実施状況、卒論中間発表会・報告会の内容や取組姿勢などから総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 全授業出席を基本とする。就活、体調不良等によりやむ終えず欠席しなければならない場合には、事前に又は当日中にチューターへ直接連絡しその理由を伝え、補講日の調整をチューターに依頼すること。
研究活動における資料収集・整理、文献購読、プレゼンテーション資料の作成等について、授業前後、休日、休暇などを利用し、60時間以上の自己学習を行い、研究活動に要する知識や活動を主体的に行うこと。
なお、社会福祉士国家資格取得に向けた国家試験希望者は、4年次の国試勉強や就職活動に時間を費やせるよう、4年次前期までに卒業論文を完成することを目標に、卒業研究、卒論執筆活動に臨むこと。

オフィスアワー: 時間割決定後、研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	演習Ⅱの目的、年間スケジュールを理解し、自身の年間目標を設定する。	演習	黒須
2	2)	3年次までの研究成果を文章化する。□	演習	黒須
3	2)	3年次までの研究成果を、ゼミ生間で報告する。	演習	黒須
4	3)	卒論執筆計画を自身の現状に合わせて作成する。□	演習	黒須
5	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須
6	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須
7	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須
8	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須
9	5)	卒論中間報告会に参加し、自己研究内容について中間報告を行う。	演習	黒須
10	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須
11	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須
12	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須
13	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須
14	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須
15	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須

16	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須
17	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須
18	6)	個別指導を受けながら、研究論文を完成する。	演習	黒須
19	7)	個別指導を受けながら、卒論要旨を執筆する。	演習	黒須
20	7)	個別指導を受けながら、卒論要旨を執筆する。	演習	黒須
21	8)9)	卒論要旨を完成する。	演習	黒須
22	10)	担当教員の許可を得て、卒業論文と卒論要旨を提出窓口へ提出する。 卒論研究報告会の発表用資料を作成する。	演習	黒須
23	10)	卒論研究報告会の発表用資料を作成する。	演習	黒須
24	10)	卒論研究報告会の発表用資料を作成する。	演習	黒須
25	10)	卒論研究報告会の発表用資料を作成する。	演習	黒須
26	10)	卒論研究報告会の発表用資料を作成する。	演習	黒須
27	11)	卒論研究報告会の予行演習(1)を行う。	演習	黒須
28	11)	卒論研究報告会の発表用資料を修正する。	演習	黒須
29	11)	卒論研究報告会の予行演習(2)を行う。	演習	黒須
30	12)13)	卒論研究報告会で自身の研究成果を報告する。	演習	黒須

教科書: 使用しない。

参考書: よくわかる卒論の書き方(白井利明・高橋一郎)ミネルヴァ書房【978-4-623-05111-3】
文章力が見につく本(小笠原信之)高橋書店【978-4-471-19116-0】

科目名: **子ども保育福祉学演習Ⅱ**

担当者: 山崎 睦男(福・子)□

配当学科: 子ども保育福祉学科(4年)□

必修・選択: 必修| 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 3年次の子ども保育福祉学演習Ⅰでの学習を踏まえ、卒業研究論文の作成に向けて必要な知識、技術の習得を目的とする。引き続き、保育や幼児教育、児童福祉等の分野から、研究するテーマに基づく、研究の調査・分析、論考を行う。□

到達目標: “1)演習Ⅱの目的を理解し、学習活動に主体的に取り組むことができる。
(SBOs) 2)関心のある研究領域を探索し、率先して研究に取り組むことができる。
3)自分の意見を持ち、発言することができる。
4)調査・文献研究等の情報収集が適切にできる。
5)資料収集・調査などをまとめ、分析することができる。
6)調査・研究で取り組んだ内容をまとめ、発表することができる。□

評価方法: 課題・レポート50%・取り組み姿勢50%などにより総合的に評価する。□

準備学習・履修上の注意等: 1回の演習につき60分を目安に、研究・学習のための文献購読、調査等の諸準備、資料の整理とまとめ、情報収集等を行い、演習や卒業研究が有意義に進められるよう準備学習を行うこと。また毎回、自らの学びを振り返り、向上心を持って演習に取り組むこと。□

オフィスアワー: 担当教員に確認のこと□

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	“【オリエンテーション】 前期演習の目的、学習の進め方と姿勢、評価方法等の説明を理解し、積極的に学ぶ意識を持つ。	“演習	“山崎
2	1)2)	【研究の進め方①】 研究テーマ・研究計画書(研究の目的・内容・方法等)の再確認を行う。	演習	山崎
3	1)2)	【研究の進め方②】 研究テーマ・研究計画書を確定する。	演習	山崎
4	1)2)	【研究の進め方③】 研究のデザイン・論文の書き方の基礎を理解する。	演習	山崎
5	1)2)	【研究の進め方④】 研究のデザイン・論文の書き方の基礎を理解する。	演習	山崎
6	2)3)4)5)	【研究テーマに沿った演習・実験・調査・情報収集の実施①】 研究テーマに関する先行研究の収集・整理・まとめを行う。	演習	山崎
7	2)3)4)5)	【研究テーマに沿った演習・実験・調査・情報収集の実施②】 研究テーマに関する先行研究の収集・整理・まとめを行う	演習	山崎
8	2)3)4)5)	【演習・調査・情報収集の方法とその計画①】 研究テーマに沿った演習・調査の方法を知る。	演習	山崎
9	2)3)4)5)	【演習・調査・情報収集の方法とその計画②】 研究テーマに沿った演習・調査の準備をする。	演習	山崎
10	2)3)4)5)	【中間発表】 演習・調査・情報収集等についての計画発表を行う。	演習	山崎
11	2)3)4)5)	【演習・調査・情報収集の実施①】 演習・調査を実施する。	演習	山崎
12	2)3)4)5)	【演習・実験・調査・情報収集の実施②】 演習・調査を実施する	演習	山崎
13	2)3)4)5)	【演習・実験・調査・情報収集のまとめ①】 演習・調査・文献収集結果のまとめを行う	演習	山崎

14	2)3)4)5)	【演習・実験・調査・情報収集のまとめ②】 演習・調査・文献収集結果のまとめを行う	演習	山崎
15	2)3)4)5)	【研究の進捗状況の確認】 研究テーマ、目的、方法、結果の進捗状況を確認する	演習	山崎
16	1)	【オリエンテーション】 後期演習の目的、学習の進め方と姿勢、評価方法等の説明を理解し、積極的に学ぶ意識を持つ。	演習	山崎
17	2)3)4)5)	【課題研究1】 課題研究を進め、個別指導の実施と研究結果の分析、考察を行っていく。	演習	山崎
18	2)3)4)5)	【課題研究2】 課題研究を進め、個別指導の実施と研究結果の分析、考察を行っていく。	演習	山崎
19	2)3)4)5)	【課題研究3】 課題研究を進め、個別指導の実施と研究結果の分析、考察を行っていく。	演習	山崎
20	2)3)4)5)	【課題研究4】 課題研究を進め、個別指導の実施と研究結果の分析、考察を行っていく。	演習	山崎
21	2)3)4)5)	【課題研究5】 課題研究を進め、個別指導の実施と研究結果の分析、考察を行っていく。	演習	山崎
22	2)3)4)5)	【課題研究6】 課題研究を進め、個別指導の実施と研究結果の分析、考察を行っていく。	演習	山崎
23	2)3)4)5)6)	【課題研究の作成1】 課題研究(卒業研究)の最終的な作成作業を行う。	演習	山崎
24	2)3)4)5)6)	【課題研究の作成2】 課題研究(卒業研究)の最終的な作成作業を行う。	演習	山崎
25	2)3)4)5)6)	【課題研究発表会1】 課題研究(卒業研究)の発表にむけてスライドの作成等を行う。	演習	山崎
26	2)3)4)5)6)	【課題研究発表会2】 課題研究(卒業研究)の発表を行う。	演習	山崎
27	2)3)4)5)6)	【課題研究のまとめ1】 卒業研究報告書(卒業論文)と要旨の作成	演習	山崎
28	2)3)4)5)6)	【課題研究のまとめ2】 卒業研究報告書(卒業論文)と要旨の作成	演習	山崎
29	1)2)3)	【演習の総括1】 課題研究を通じた反省と今後の課題を個別面談の中で明らかにしていく。	演習	山崎
30	1)2)3)	【演習の総括2】 課題研究を通じた反省と今後の課題を個別面談の中で明らかにしていく。	演習	山崎
”	”	” □ □	”	”

□
□
□
□

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: **卒業研究**

担当者: 安原 青児(福・子)

配当学科: 子ども保育福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 4 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 3年次の子ども保育福祉学演習Ⅰでの学習を踏まえ、演習Ⅱと連動しながら卒業研究論文の完成に向けて必要な知識、技術を使って研究及び論文執筆を行う。そのためには、引き続き保育や幼児教育、児童福祉、その他の各分野から研究テーマを絞り込み、論文執筆のスケジュール、方法、文献読解、必要なフィールドワーク等を吟味し、研究に集中することが求められる。

到達目標: (SBOs) 1)卒業研究テーマを決定するに当たり、自己の課題や研究課題を明確にし、それを説明できる。
2)卒業研究に必要な文献の検索や資料収集について調べることができる。
3)卒業論文または卒業制作の完成までのタイムスケジュールを正しく計画する。
4)卒業論文の執筆または卒業制作を行い、定期的な指導を受けて客観的な評価基準を明確にすることが出来る。
5)卒業研究の発表を行い、自分の研究について説明することができ、また他者の発表の聴講も含めて、質疑応答ができる。
6)自分の卒業研究をゼミの研究論文集の一編として提出する。

評価方法: 卒業研究の積極的取り組み、一定の形式による論文等の提出、中間および最終研究発表会への参加等を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき60分を目安に、研究のための文献購読、フィールドワークや諸調査、資料のまとめ、情報収集等を行い、演習が有意義に進められるよう準備学習を行うこと。もとより子ども保育福祉学演習ⅠおよびⅡとの関連で、積極的な学習と真摯な研究態度が求められる。

オフィスアワー: 授業時間以外の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 演習の目的、学習の進め方と姿勢、評価方法等の説明を理解し、積極的に学ぶ意識を持つ。	演習	安原
2	1)	【個別面談1】 研究テーマ及び演習計画の確認を行う。	演習	安原
3	1)	【個別面談2】 研究テーマ及び演習計画の確認を行う。	演習	安原
4	2)	【先行研究、文献の検討1】 研究テーマに沿った先行研究、文献について、確認、検討を行う。	演習	安原
5	2)	【先行研究、文献の検討2】 研究テーマに沿った先行研究、文献について、確認、検討を行う。	演習	安原
6	3)	【執筆方法の検討1】 卒業研究論文の執筆について、その方法や技術について検討し指導を受ける。	演習	安原
7	3)	【執筆方法の検討2】 卒業研究論文の執筆について、その方法や技術について検討し指導を受ける。	演習	安原
8	2)3)4)	【卒業研究の実際1】 論文執筆等、研究の実際を行っていく。進捗状況の確認と中間提出が求められ、個別指導を受けながら進める。	演習	安原
9	2)3)4)	【卒業研究の実際2】 論文執筆等、研究の実際を行っていく。進捗状況の確認と中間提出が求められ、個別指導を受けながら進める。	演習	安原
10	2)3)4)	【卒業研究の実際3】 論文執筆等、研究の実際を行っていく。進捗状況の確認と中間提出が求められ、個別指導を受けながら進める。	演習	安原
11	2)3)4)	【卒業研究の実際4】 論文執筆等、研究の実際を行っていく。進捗状況の確認と中間提出が求められ、個別指導を受けながら進める。	演習	安原
12	5)	【中間発表1】	演習	安原

		各自のこれまでの学習、研究の成果と途中経過を発表し、そのプレゼンテーションを含め指導を受ける。		
13	5)	【中間発表2】 各自のこれまでの学習、研究の成果と途中経過を発表し、そのプレゼンテーションを含め指導を受ける。	演習	安原
14	1)~4)	【前期総括1】 各自の卒業研究を振り返り、中間の総括と課題の明確化を図る。	演習	安原
15	1)~4)	【前期総括2】 各自の卒業研究を振り返り、中間の総括と課題の明確化を図る。	演習	安原
16	1)	【オリエンテーション】 後期演習の目的、学習の進め方と姿勢、評価方法等の説明を理解し、積極的に学ぶ意識を持つ。	演習	安原
17	2)3)4)	【卒業研究の実際5】 論文執筆等、研究の実際を引き続き行っていき、必要に応じた個別指導を受ける。	演習	安原
18	2)3)4)	【卒業研究の実際6】 論文執筆等、研究の実際を引き続き行っていき、必要に応じた個別指導を受ける。	演習	安原
19	2)3)4)	【卒業研究の実際7】 論文執筆等、研究の実際を引き続き行っていき、必要に応じた個別指導を受ける。	演習	安原
20	2)3)4)	【卒業研究の実際8】 論文執筆等、研究の実際を引き続き行っていき、必要に応じた個別指導を受ける。	演習	安原
21	2)3)4)	【卒業研究の実際9】 論文執筆等、研究の実際を引き続き行っていき、必要に応じた個別指導を受ける。	演習	安原
22	2)3)4)	【卒業研究の実際10】 論文執筆等、研究の実際を引き続き行っていき、必要に応じた個別指導を受ける。	演習	安原
23	2)3)4)	【卒業研究の提出と校正1】 各自の卒業研究の最終的な提出と確認、また校正作業を行う。	演習	安原
24	2)3)4)	【卒業研究の提出と校正2】 各自の卒業研究の最終的な提出と確認、また校正作業を行う。	演習	安原
25	5)	【卒業研究発表会1】 各自の卒業研究の発表にむけて発表資料、スライドの作成等を行う。	演習	安原
26	5)	【卒業研究発表会2】 各自の卒業研究の発表と討論を行う。	演習	安原
27	6)	【卒業研究のまとめ1】 各自の卒業研究報告書(卒業論文)と要旨の作成	演習	安原
28	6)	【卒業研究のまとめ2】 各自の卒業研究報告書(卒業論文)と要旨の作成	演習	安原
29	1)~6)	【演習の総括1】 卒業研究および1年間のゼミ活動を通じた反省と卒業後の課題を個別面談の中で明らかにしていく。	演習	安原
30	1)~6)	【演習の総括2】 卒業研究および1年間のゼミ活動を通じた反省と卒業後の課題を個別面談の中で明らかにしていく。	演習	安原

教科書： 使用しない。

参考書： 演習時に必要に応じて提示する。

科目名: **卒業研究**

担当者: 上農 正剛(福・子)

配当学科: 子ども保育福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 4 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 演習|講義

授業概要: 自らの関心と学習専門領域を踏まえた卒業研究を実施するための知識と能力を習得し、それを活用し、卒業論文を執筆する。

到達目標: (SBOs) 1)卒業研究に必要な基礎専門知識を習得する。
2)卒業研究の地盤となる人文社会科学の基礎的概念を理解する。
3)卒業研究に必要な基礎的技術(情報収集・計画立案・論文構成等)を修得する。
4)他者との討論により自分の研究内容を吟味する手法を習得する。

評価方法: 研究計画立案、実施姿勢、発表・討論への参加態度(50%)、卒業研究論文の質(50%)を総合的に判断して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 準備学習として指定された文献を毎回事前に1時間かけて精読しておくこと。
論文執筆途中で意欲を喪失したり、作業を停滞させないよう、計画と指導に従い、自主的に研究を実行していく積極性をもって欲しい。

オフィスアワー: 時間割発表後、適宜通知する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1			演習	上農
2	1)2)3)	1卒業研究テーマ構想(研究動機と研究目標)の検討	演習	上農
3	1)2)3)	2卒業研究テーマ構想(研究動機と研究目標)の検討	演習	上農
4	1)2)3)	3卒業研究テーマ構想(関連文献と必要調査)の検討	演習	上農
5	1)2)3)	4卒業研究テーマ提出と確認	講義	上農
6	3)	5卒業研究計画の立案方法を理解する	演習	上農
7	3)	6卒業研究計画の提出と確認	演習	上農
8	1)2)3)	7文献報告と討論	演習	上農
9	1)2)3)	8文献報告と討論	演習	上農
10	1)2)3)	9文献報告と討論	演習	上農
11	1)2)3)	10文献報告と討論	演習	上農
12	4)	11中間発表 I (1)	演習	上農
13	4)	12中間発表 I (2)	演習	上農
14	4)	13中間発表についての検討討論	演習	上農
15	4)	14中間発表についての検討討論	演習	上農
16	1)2)3)	15進捗状況の確認と再調整	演習	上農
17	1)2)3)	16中間発表 II (1)	演習	上農
18	1)2)3)	17中間発表 II (2)	演習	上農
19	4)	18報告と検討	演習	上農
20	4)	19報告と検討	演習	上農
21	4)	20報告と検討	演習	上農
22	4)	21報告と検討	演習	上農
23	4)	22報告と検討	演習	上農
	4)	23報告と検討	演習	上農

24	4)	24報告と検討	演習	上農
25	4)	25報告と検討	演習	上農
26	4)	26報告と検討	演習	上農
27	1)2)3)	27卒業論文の最終確認	演習	上農
28	1)2)3)	28卒業論文の最終確認	演習	上農
29	1)2)3)	29卒業研究要旨集原稿の最終確認	演習	上農
30	1)2)3)	30学科研究発表用スライドの最終確認	演習	上農

教科書： 使用しない。

参考書： 適宜、助言する。

科目名: **卒業研究**

担当者: 登坂 学(保・工)

配当学科: 子ども保育福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 4 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 卒論指導

授業概要: ここでは指導教員が一对一で研究指導を行う。当ゼミの場合は最終的に論文の提出を求めている。ゼミ生は卒論のデッドライン(締め切り)を考慮に入れ、各自計画的に執筆していかなければならない。ここで大切なのは「主体性」と「計画性」である。卒論の執筆にあたり、学生はあくまで一人の「研究者」である。指導教員は裏方であり、サポート役に徹することになる。
最終的に提出された論文の内容が審査されるとはいえ、そこに至るまでのプロセスも評価のポイントとなる。最初の指導日に指示された既定の指導回数を最低限クリアし、どれだけ情熱をもって取り組めるかが問われることとなる。

到達目標: 卒業論文は、最終的に次のような項目が審査されて評価が決まる。本時においても提出に至る毎回の指導においても、同様のポイントをめぐって指導がなされる。
1)誤字・脱字や文法の間違いがなく、分かりやすい文章で記述されていること。
2)論文執筆時のルールが守られていること(インターネットからのコピー&ペーストはないか、引用の方法は適切か、出典の明示がなされているか等)。
3)章立てや文章構成が練られており、論理的整合性があること。
4)しっかりと実証がなされていること(主張や考察の根拠や裏付けが十分な)。
難しい項目もあるが、できる限り頑張ろう。その努力によって生み出された成果が、4年制大学卒業生の証なのだから。

評価方法: 論文執筆のプロセス(指導回数、指導を受ける姿勢)(50%) + 卒業論文の査読による評価(50%)で総合的に判定する。

準備学習・履修上の注意等: 卒業論文は大学生活4年間の総決算であり、一生の思い出になるものである。(逆に言えば、不本意な論文に後々後悔することもありうる)。卒論の意義と重要性をしっかりと認識し、自分で最良と納得できる論文を執筆・提出していただきたい。卒論執筆に費やす時間を一律に指示することはできないが、最低でも1年間かけてコツコツと研究していく必要がある。それを前提として、1日1時間、1週あたり最低でも7時間は研究に費やしてほしい。

オフィスアワー: 火曜12:30-13:00、水曜12:30-13:00、木曜12:30-13:00。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)	個別指導。学生は研究成果(1~2週間かけて調べたこと、執筆した文章等)を持参してプレゼンテーションを行う。指導教員はそれを傾聴・熟読し、研究上の指導及び助言を行う。	個別指導	登坂
2	1)2)3)4)	個別指導。学生は研究成果(1~2週間かけて調べたこと、執筆した文章等)を持参してプレゼンテーションを行う。指導教員はそれを傾聴・熟読し、研究上の指導及び助言を行う。	個別指導	登坂
3	1)2)3)4)	個別指導。学生は研究成果(1~2週間かけて調べたこと、執筆した文章等)を持参してプレゼンテーションを行う。指導教員はそれを傾聴・熟読し、研究上の指導及び助言を行う。	個別指導	登坂
4	1)2)3)4)	個別指導。学生は研究成果(1~2週間かけて調べたこと、執筆した文章等)を持参してプレゼンテーションを行う。指導教員はそれを傾聴・熟読し、研究上の指導及び助言を行う。	個別指導	登坂
5	1)2)3)4)	個別指導。学生は研究成果(1~2週間かけて調べたこと、執筆した文章等)を持参してプレゼンテーションを行う。指導教員はそれを傾聴・熟読し、研究上の指導及び助言を行う。	個別指導	登坂
6	1)2)3)4)	個別指導。学生は研究成果(1~2週間かけて調べたこと、執筆した文章等)を持参してプレゼンテーションを行う。指導教員はそれを傾聴・熟読し、研究上の指導及び助言を行う。	個別指導	登坂
7	1)2)3)4)	個別指導。学生は研究成果(1~2週間かけて調べたこと、執筆した文章等)を持参してプレゼンテーションを行う。指導教員はそれを傾聴・熟読し、研究上の指導及び助言を行う。	個別指導	登坂
8	1)2)3)4)	個別指導。学生は研究成果(1~2週間かけて調べたこと、執筆した文章等)を持参してプレゼンテーションを行う。指導教員はそれを傾聴・熟読し、研究上の指導及び助言を行う。	個別指導	登坂
9	1)2)3)4)	個別指導。学生は研究成果(1~2週間かけて調べたこと、執筆した文章等)を持参してプレゼンテーションを行う。指導教員はそれを傾聴・熟読し、研究上の指導及び助言を行う。	個別指導	登坂

- | | | | | |
|----|----------|--|------|----|
| 29 | 1)2)3)4) | 個別指導。学生は研究成果(1～2週間かけて調べたこと、執筆した文章等)を持参してプレゼンテーションを行う。指導教員はそれを傾聴・熟読し、研究上の指導及び助言を行う。 | 個別指導 | 登坂 |
| 30 | 1)2)3)4) | 個別指導。学生は研究成果(1～2週間かけて調べたこと、執筆した文章等)を持参してプレゼンテーションを行う。指導教員はそれを傾聴・熟読し、研究上の指導及び助言を行う。 | 個別指導 | 登坂 |

教科書： テキストは指定しないが、指導の一環として適宜文献を紹介する。

参考書： 参考書は指定しないが、指導の一環として適宜文献を紹介する。

科目名: **卒業研究**

担当者: 松原 由美(福・子)

配当学科: 子ども保育福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 4 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 3年次の子ども保育福祉学演習Ⅰでの学習を踏まえ、演習Ⅱと連動しながら卒業研究論文の完成に向けて必要な知識、技術を使って研究及び論文執筆を行う。そのために、引き続き保育や幼児教育、児童福祉、その他の各分野から研究テーマを絞り込み、論文執筆のスケジュール、方法、文献読解、必要なフィールドワーク等を吟味し、研究に集中することが求められる。

到達目標: (SBOs) 1)卒業研究テーマを確実なものとして、演習Ⅰのデータなどをさらに確実なものとする。
2)論文の執筆方法などを習得することができる。
3)章立てを立案に執筆を始める。
4)研究を論文にまとめ、それを発表する。

評価方法: 卒業研究の積極的取り組み、一定の形式による論文等の提出、中間および最終研究発表会への参加等を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 子ども保育福祉学演習ⅠおよびⅡとの関連で、積極的な学習と真摯な研究態度が求められる。毎回の課題を必ず実施し提出のこと。

オフィスアワー: 授業時間以外の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 演習の目的、学習の進め方と姿勢、評価方法等の説明を理解し、積極的に学ぶ意識を持つ。	演習	松原
2	1)	【個別面談1】 研究テーマ及び演習計画の確認を行う。	演習	松原
3	1)	【個別面談2】 研究テーマ及び演習計画の確認を行う。	演習	松原
4	1)2)	【先行研究、文献の検討1】 研究テーマに沿った先行研究、文献について、確認、検討を行う。	演習	松原
5	1)2)	【先行研究、文献の検討2】 研究テーマに沿った先行研究、文献について、確認、検討を行う。	演習	松原
6	1)2)	【執筆方法の検討1】 卒業研究論文の執筆について、その方法や技術について検討し指導を受ける。	演習	松原
7	1)2)	【執筆方法の検討2】 卒業研究論文の執筆について、その方法や技術について検討し指導を受ける。	演習	松原
8	1)2)3)	【卒論中間発表の準備1・卒業研究の実際1】 論文執筆等、研究の実際を行っていく。進捗状況の確認と中間提出が求められ、個別指導を受けながら進める。	演習	松原
9	1)2)3)	【卒論中間発表の準備2・卒業研究の実際2】 論文執筆等、研究の実際を行っていく。進捗状況の確認と中間提出が求められ、個別指導を受けながら進める。	演習	松原
10	1)2)3)	【卒論中間発表の準備3・卒業研究の実際3】 論文執筆等、研究の実際を行っていく。進捗状況の確認と中間提出が求められ、個別指導を受けながら進める。	演習	全員
11	1)2)3)	【卒論中間発表練習・卒業研究の実際4】 論文執筆等、研究の実際を行っていく。進捗状況の確認と中間提出が求められ、個別指導を受けながら進める。	演習	全員
12	1)2)3)	【中間発表1】 各自のこれまでの学習、研究の成果と途中経過を発表し、そのプレゼンテーションを含め指導を受ける。	演習	全員
13	1)2)3)	【中間発表2】 各自のこれまでの学習、研究の成果と途中経過を発表し、そのプレゼンテーションを含め指導を受ける。	演習	松原
14	1)2)3)	【前期総括1】 各自の卒業研究を振り返り、中間の総括と課題の明確化を図る。	演習	松原
15	1)2)3)	【前期総括2】	演習	松原

各自の卒業研究を振り返り、中間の総括と課題の明確化を図る。

16	1)2)3)	【オリエンテーション】 後期演習の目的、学習の進め方と姿勢、評価方法等の説明を理解し、積極的に学ぶ意識を持つ。	演習	松原
17	1)2)3)	【卒業研究の実際5】 論文執筆等、研究の実際を引き続き行っていく、必要に応じた個別指導を受ける。	演習	松原
18	1)2)3)	【卒業研究の実際6】 論文執筆等、研究の実際を引き続き行っていく、必要に応じた個別指導を受ける。	演習	松原
19	1)2)3)	【卒業研究の実際7】 論文執筆等、研究の実際を引き続き行っていく、必要に応じた個別指導を受ける。	演習	松原
20	1)2)3)	【卒業研究の実際8】 論文執筆等、研究の実際を引き続き行っていく、必要に応じた個別指導を受ける。	演習	松原
21	1)2)3)	【卒業研究の実際9】 論文執筆等、研究の実際を引き続き行っていく、必要に応じた個別指導を受ける。	演習	松原
22	1)2)3)	【卒業研究の実際10】 論文執筆等、研究の実際を引き続き行っていく、必要に応じた個別指導を受ける。	演習	松原
23	1)2)3)	【卒業研究の提出と校正1】 各自の卒業研究の最終的な提出と確認、また校正作業を行う。	演習	松原
24	1)2)3)	【卒業研究の提出と校正2】 各自の卒業研究の最終的な提出と確認、また校正作業を行う。	演習	松原
25	1)2)3)	【卒業研究発表会1】 各自の卒業研究の発表にむけて発表資料、スライドの作成等を行う。	演習	松原
26	1)2)3)	【卒業研究発表会2】 各自の卒業研究の発表と討論を行う。	演習	松原
27	1)2)3)	【卒業研究のまとめ1】 各自の卒業研究報告書(卒業論文)と要旨の作成	演習	松原
28	1)2)3)	【卒業研究のまとめ2】 各自の卒業研究報告書(卒業論文)と要旨の作成	演習	松原
29	1)2)3)4)	【演習の総括1】 卒業研究および1年間のゼミ活動を通じた反省と卒業後の課題を個別面談の中で明らかにしていく。	演習	松原
30	1)2)3)4)	【演習の総括2】 卒業研究および1年間のゼミ活動を通じた反省と卒業後の課題を個別面談の中で明らかにしていく。	演習	松原

教科書: 個々の研究に応じて紹介する

参考書: 個々の研究に応じて紹介する

科目名: 卒業研究

担当者: 黒須 依子(福・子)

配当学科: 子ども保育福祉学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 4 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 学士として必要な文章読解力、思考力、文章力を身に着けるため、子ども保育福祉学演習Ⅰ、Ⅱでの研究成果を卒業論文としてまとめ完成し、研究要旨を卒論要旨として指定形式に準じて指定期限内までに作成することができる。
また、プレゼンテーション法を習得し、第三者に向けて研究中間報告、研究結果を明確に報告することができ、他者からの質問に適切に応答することができる。

到達目標: (SBOs) 1)卒業論文の作成プロセスを類別する。
2)3年次までの研究成果を文章にまとめ、指導教員、ゼミ生へ報告する。
3)3年次に作成した卒論研究計画を、現状に応じて立て直す。
4)論文作成に対する個別指導を受け、テーマに沿った研究を主体的に進める。
5)卒論中間発表会でこれまでの研究の成果を報告し、聴者から質疑に応答する。
6)卒業論文を提出期限までに完成する。
7)教員の指導の下に、卒論要旨を作成する。
8)卒論要旨を完成する。
9)卒業論文、卒論要旨を提出期限を厳守し、提出することができる。
10)卒論発表会に使用する資料を作成する。
11)ゼミ内の卒業研究発表予行演習会に参加し、メンバーの質疑や助言に応じ発表方法を改善することができる。
12)卒業研究発表会に参加し、卒業研究の成果をわかりやすく簡潔に聴者に報告することができる。
13)卒業研究発表会に参加し、聴者からの質疑を受けとめ、マナー良く回答することができる。

評価方法: 卒業論文完成状況、学習態度、ゼミでの研究発表内容などから総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 本演習は全出席を原則とする。就活、体調不良等によりやむ終えず本演習を欠席する場合は、事前に、又は事前連絡が不可能な場合は当日中にチューターへ連絡をし、その理由を伝えるとともに欠席した演習の補講日の実施を自ら依頼すること。
卒論執筆に必要な知識を主体性をもって学び、課題レポートは期限厳守で提出すること。
卒論に要する資料や情報は文献検索の他、福祉サービス提供現場へ出での収集を行うこと。
就職活動や国家試験勉強等に時間を費やせるよう、卒論と卒論要旨は4年次10月までに仕上げる意欲をもって授業に臨むこと。

オフィスアワー: 時間割決定後、研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	卒業論文の作成プロセスを理解する。□	演習	黒須
2	2)	3年次までの研究成果を文章化する。□	演習	黒須
3	2)	3年次までの研究成果を、ゼミ生間で報告する。	演習	黒須
4	3)	卒論執筆計画を自身の現状に合わせて作成する。□	演習	黒須
5	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須
6	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須
7	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須
8	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須
9	5)	卒論中間報告会に参加し、自己研究内容について中間報告を行う。	演習	黒須
10	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須
11	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須
12	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須
13	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須
14	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須
15	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須
16	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須

17	4)	個別指導を受けながら、研究テーマに沿った研究を行う。	演習	黒須
18	6)	個別指導を受けながら、研究論文を完成する。	演習	黒須
19	7)	個別指導を受けながら、卒論要旨を執筆する。	演習	黒須
20	7)	個別指導を受けながら、卒論要旨を執筆する。	演習	黒須
21	8)	卒論要旨を完成する。	演習	黒須
22	9)	担当教員の許可を得て、卒業論文と卒論要旨を期限内に提出する。	演習	黒須
22	10)	卒論研究報告会の発表用資料を作成する。	演習	黒須
23	10)	卒論研究報告会の発表用資料を作成する。	演習	黒須
24	10)	卒論研究報告会の発表用資料を作成する。	演習	黒須
25	10)	卒論研究報告会の発表用資料を作成する。	演習	黒須
26	10)	卒論研究報告会の発表用資料を作成する。	演習	黒須
27	11)	卒論研究報告会の予行演習(1)	演習	黒須
28	11)	卒論研究報告会の発表用資料を修正する。	演習	黒須
29	11)	卒論研究報告会の予行演習(2)	演習	黒須
30	12)13)	卒論研究報告会で自身の研究成果を報告する。	演習	黒須

教科書： 使用しない。

参考書： ①よくわかる卒論の書き方(白井利明・高橋一郎) ミネルヴァ書房【978-4-623-05111-3】
 ②文章力が見につく本(小笠原信之)高橋書店【978-4-471-19116-0】

科目名: 教職論

担当者: 兒玉 修 (非常勤講師)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・臨床福祉専攻(1年)

必修・選択: 教職 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: (1)教職に関する専門科目を学ぶ意義について理解する。(2)教師の仕事の社会的使命と職務の具体的内容について、研修や身分保障を含めて理解する。(3)今日、学校現場で解決を求められている諸問題や新たに取り組むべき諸課題について理解する。(4)現職教員との対話・討論をとおして、自己の進路として教職を選択する意義について考える。――これらを通して教職に対する意欲を喚起し、自分なりの教師像をイメージすることにより、教職へ向けての見通しをもつ。

到達目標: (SBOs)
1)教師の社会的使命と具体的な職務内容について理解している。
2)教師の仕事の場としての学校制度とその管理・運営について理解している。
3)教員としての研修の権利と義務や遵守事項、身分保障制度、学校における同僚関係の重要性について理解している。
4)今日の教師が直面する教育の現代的課題について理解している。
5)教師の仕事に向けての目的意識を身につけている。
6)教師になるためにどのような学びと経験を積み、どのような資質能力を身につけるべきかについて理解している。

評価方法: 成績は複数回のレポートで評価する。

準備学習・履修上の注意等: (1)1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。
(2)授業はテキストに即して進め、次回授業で扱うテキストの該当箇所を予め指定するので、必ず予習しておくこと。
(3)授業ではテキストを用いるほか、レジュメや資料を配布するので、これらをもとに復習すること。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	6)	【教職科目を学ぶ意義】 教職の専門性を支える教職専門科目を学ぶ意義、教職専門科目の構成と内容、およびそれらの教員免許法上の位置づけについて理解する。	講義	兒玉
2	1)	【子どもの生活と学校】 子どもをめぐる現状および課題について、基本的生活習慣や学校生活などの諸側面から理解する。	講義	兒玉
3	1)	【教師の仕事(1)学習指導】 子どもの認識と技能の発達を促す学習指導の意義と役割、目的と方法について、授業論や教育内容論などを踏まえて、理解を深める。	講義	兒玉
4	1)	【教師の仕事(2)生徒指導・教育相談】 子どもの人格形成や人間的成長を促す生徒指導および教育相談の意義と役割について、その基盤としての生徒理解の重要性を含めて、理解する。	講義	兒玉
5	1)	【教師の仕事(3)進路指導・キャリア教育】 子どもを豊かな人生に向けて導くための進路指導とキャリア教育の意義と課題について、学校から仕事への移行をめぐる現代的な困難をも含めて、理解を深める。	講義	兒玉
6	1)	【教師の仕事(4)学級経営】 子どもたちが安心して生活と学習に取り組める教育環境の整備にかかわる学級経営の課題について、現代的諸問題をも踏まえつつ、理解を深める。	講義	兒玉
7	4)	【子どもの荒れと学級崩壊】 今日の子どもの荒れはさまざまな事情によって発達上の困難に直面していることを、学級崩壊という事象を手がかりに理解する。	講義	兒玉
8	4)	【教員の資質・能力(1)教師像の歴史の変遷】 学校における教師の役割はどのように変化し、それに伴って期待される教師像はどのように変遷したかを理解する。	講義	兒玉
9	3)	【教員の資質・能力(2)現代社会と教師像】 教師の社会的役割の歴史の変遷を踏まえて、今日、教師に求められる資質能力について理解を深める。	講義	兒玉
10	3)	【教員の養成と採用(1)教員養成】 教員養成制度の歴史と現状、および今日の教員養成の仕組みと内容について理解する。	講義	兒玉

11	3)	【教員の養成と採用(2)教員の採用と研修】 教員採用の現状と課題, 採用後の研修について, 法規定を含めて, 現状と課題を理解する。	講義	兒玉
12	3)	【教員の地位と身分(1)専門職としての教職】 教師像の歴史の変遷について学び, 教職の専門職としての特質と社会的責任の重さについて理解する。	講義	兒玉
13	2)	【教員の地位と身分(2)教員の待遇と勤務条件】 教員が職務に専念できるように身分の安定が保障されていることについて, 法規定を含めて, 理解する。	講義	兒玉
14	2)	【学校制度と管理運営(1)】 日本における学校の種類と制度について学び, 学校の種別や段階に応じて教員の職務内容がどう異なるかを理解する。	講義	兒玉
15	5)	【学校制度と管理運営(2)】 学校管理・学校運営について学び, 学校の使命を遂行するために教員はどのような役割を担うべきかを理解する。	講義	兒玉

教科書: 新版 教職入門—教師への道— (藤本典裕編著) 図書文化社 【ISBN-10:4810066685】

参考書: その他適宜紹介する。また、授業中に適宜資料を配布する。

科目名: **教育行政学**

担当者: 長友 道彦(福・福)

配当学科: 子ども保育福祉学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 平成18年12月に教育基本法が改正され、教育行政を支える法体系は大きく変更された。また、地方教育行政法の改正により平成27年4月から新教育委員会制度が始まった。本講義では、公教育の概念とその制度的原理を教育法体系と関連づけて整理することを出発点に、文部科学省と教育委員会制度を中心に教育行政の構造と機能を学習するとともに幼保一元化の動きを含めた最近の教育政策や制度改革の動向等我が国の教育行政の課題について考察することを目的とする。

到達目標: (SBOs) 1)公教育の概念・歴史と制度的原理について理解を深め、教育行政の意義について説明できる。
2)憲法を頂点とする我が国の教育法規の体系について理解を深め、教育基本法改正点を説明できる。
3)教育行政機関としての文部科学省及び教育委員会の機能について説明できる。
4)学校経営と教職員の職務について理解を深め、副校長等新しく設置された職の意味について説明できる。
5)教育課程行政について理解を深め、学習指導要領及び教科書検定制度について説明できる。
6)国及び地方の教育費と教育財政について理解し、教育行政の課題について説明できる。
7)生涯学習・社会教育行政について理解を深め、学校教育との関連について説明できる。
8)学校評価制度や学校評議員制度等、開かれた学校に向けての制度と課題について説明できる。
9)保育行政について理解を深め、近年の幼稚園・保育園をめぐる動きについて説明できる。

評価方法: 筆記試験・小テスト・課題の提出状況・授業への取り組み姿勢等を総合的に判断して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 予習は教科書を熟読して言葉の意味等を調べるのに150分、復習は授業のレジュメの見直し・整理と教科書の再読に90分を充てて行うこと。

オフィスアワー: 研究室前に掲示します。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)		講義	長友
2	1)2)	ガイダンス:現在の教育問題と教育行政及び教育行政学	講義	長友
3	1)2)	我が国の教育制度:明治期の学制から現在まで	講義	長友
4	1)9)	教育行政と教育行政学:教育行政の主体と活動,教育行政と教育行政学の関係	講義	長友
5	1)9)	就学前の子どもたちの教育(1):幼児教育・保育制度,保育内容と方法。	講義	長友
6	1)3)	就学前の子どもたちの教育(2):近年の幼稚園・保育園をめぐる動き。	講義	長友
7	1)5)	教育行政を動かす組織:地方教育行政を担う機関。国の教育行政機関。教育行政組織の変容。	講義	長友
8	3)4)8)	教育を受ける権利の保障:児童・生徒・保護者の権利。義務教育と就学保障。 特別なニーズを持つ子どもの教育。	講義	長友
9	3)6)	学校管理と経営:学校運営の動向,組織。安全教育。開かれた学校づくりと学校評価。	講義	長友
10	3)6)	教育費と教育財政:教育財政の制度と機能,地方分権化と義務教育費。学校財務。	講義	長友
11	1)2)7)	教育活動を支える諸条件:教育条件整備と法制度。新しい動向。	講義	長友
12	1)2)7)	生涯学習・社会教育制度(1):生涯学習と社会教育。社会教育の歴史とその成立。 教育基本法の改正と社会教育・生涯学習。	講義	長友
13	3)4)	生涯学習・社会教育制度(2):生涯学習・社会教育行政の運営原則。主な生涯学習・社会教育制度。 今後の課題。	講義	長友
		教職員の養成・採用・研修と身分保障(1):教員という職業。教員		

14	3)4)	養成と採用。 教員養成のしくみ, 教員採用選考。	講義	長友
15	2)3)5)	教職員の養成・採用・研修と身分保障(2):教員の研修, 身分保障。新しい動き。 教育行政の課題:教育課程行政と教科書	講義	長友

教科書: 教育行政学 改訂新版 (藤野 正章・藤本 典裕 編著) 学文社 【978-4-7620-2490-0】

参考書: 適宜紹介します。

科目名: **教育行政学**

担当者: 長友 道彦(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・動物療法専攻・スポーツ健康福祉専攻(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 平成18年12月に教育基本法が改正され、教育行政を支える法体系は大きく変更された。また、地方教育行政法の改正により平成27年4月から新教育委員会制度が始まった。本講義では、公教育の概念とその制度的原理を教育法体系と関連づけて整理することを出発点に、文部科学省と教育委員会制度を中心に教育行政の構造と機能を学習するとともに学校安全教育や「チーム学校」運営、さらに幼保一元化の動きを含めた最近の教育政策や制度改革の動向等、我が国の教育行政の課題について考察することを目的とする。

到達目標: (SBOs) 1)憲法を頂点とする教育法規の体系について理解を深め、教育基本法改正の意義について説明できる。
2)公教育の概念・歴史と制度的原理について理解を深め、教育行政の意義について説明できる。
3)教育行政機関としての文部科学省及び教育委員会の機能について説明できる。
4)学校経営と教職員の職務について理解を深め、副校長等新しく設置された職の意義について説明できる。
5)教育課程行政について理解を深め、学習指導要領及び教科書検定制度について説明できる。
6)国及び地方の教育費と教育財政について理解し、教育行政の課題について説明できる。
7)生涯学習・社会教育行政について理解を深め、学校教育との関連について説明できる。
8)学校評価制度や学校評議員制度等、開かれた学校に向けての制度と課題について説明できる。
9)保育行政について理解を深め、近年の幼稚園・保育園をめぐる動きについて説明できる。
10)学校安全に関する基礎的知識について理解を深め、実践できる力を養う。

評価方法: 筆記試験・小テスト・課題の提出状況・授業への取り組み姿勢等を総合的に判断して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 予習は教科書を熟読して言葉の意味等を調べるのに150分、復習は授業のレジュメの見直し・整理と教科書の再読に90分を充てて行うこと。

オフィスアワー: 研究室前に掲示します。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	ガイダンス:現在の教育問題と教育行政及び教育行政学	講義	長友
2	1)2)	我が国の教育制度:明治期の学制から現在まで	講義	長友
3	1)2)	教育行政と教育行政学:教育行政の主体と活動,教育行政と教育行政学の関係	講義	長友
4	1)3)	教育行政を動かす組織:地方教育行政を担う機関。国の教育行政機関。教育行政組織の変容。	講義	長友
5	1)5)	教育を受ける権利の保障:児童・生徒・保護者の権利。義務教育と就学保障。 特別なニーズを持つ子どもの教育。	講義	長友
6	3)4)8)	学校管理と経営:学校運営の動向,組織。安全教育。開かれた学校づくりと学校評価。	講義	長友
7	3)6)	教育費と教育財政:教育財政の制度と機能,地方分権化と義務教育費。学校財務。	講義	長友
8	3)6)	教育活動を支える諸条件:教育条件整備と法制度。新しい動向。	講義	長友
9	1)2)7)	生涯学習・社会教育制度(1):生涯学習と社会教育。社会教育の歴史とその成立。 教育基本法の改正と社会教育・生涯学習。	講義	長友
10	1)2)7)	生涯学習・社会教育制度(2):生涯学習・社会教育行政の運営原則。主な生涯学習・社会教育制度。 今後の課題。	講義	長友
11	3)4)	教職員の養成・採用・研修と身分保障(1):教員という職業。教員養成と採用。 教員養成のしくみ,教員採用選考。	講義	長友
12	3)4)8)	教職員の養成・採用・研修と身分保障(2):教員の研修,身分保障。新しい動き。	講義	長友
13	2)3)5)	教育課程行政と教科書(1):教育課程行政の基本的な考え方,学習指導要領,教科書。	講義	長友

14	2)3)5)	教育課程行政と教科書(2):教科書問題の歴史	講義	長友
15	1)9)	就学前の子どもたちの教育:近年の幼稚園・保育園をめぐる動き。	講義	長友

教科書: 教育行政学 改訂新版 (藤野 正章・藤本 典裕 編著) 学文社 【978-4-7620-2490-0】

参考書: 適宜紹介します。

科目名: 教育課程論

担当者: 児玉 修(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉専攻・スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 教職 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。
(1)教育課程とは何でありどのような意義があるか、(2)教育課程にはどのような類型があるか、(3)教育課程は誰がどのような基準で編成するのか、(4)教育課程はどのような変遷を経てきたのか、(5)中学校学習指導要領はなぜ・どのように編成されているのか、(6)高等学校学習指導要領はなぜ・どのように編成されているのか、(7)教育課程の編成において学校や教師はどのような役割を果たすべきか、(8)カリキュラムマネジメントはどのように進められるべきかについて理解する。

到達目標: (SBOs) 1)教育課程編成の基礎理論について理解している。
2)教育課程編成の基準に関わる法令や中学校学習指導要領ならびに高等学校学習指導要領の内容(特に「第1章 総則」)について理解している。
3)中学校や高等学校における学校教育目標の設定ならびに教育課程編成の原則や具体的手順について理解している。

評価方法: 提出物の評価を30%~40%及び学期末の定期試験の評価を60%~70%として総合的に評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 本講義の受講者は教員免許を取得し、将来教壇に立つことを希望していると思われる。そこで、講義には教師としてふさわしい態度で臨み、各自が主体的に講義(授業)づくりに参加することを強く希望する。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~3)	【教育課程の意義】「カリキュラム」、「教育課程」の意義について考える。	講義	児玉
2	1)~3)	【カリキュラムの要素】カリキュラムはどのような要素によって構成されているかを考える。	講義	児玉
3	1)~3)	【カリキュラムの類型(1)】教科カリキュラム、経験カリキュラム、広領域カリキュラム、コアカリキュラムなどのカリキュラム類型は、それぞれどのような理論に基づいているか考える。	講義	児玉
4	1)~3)	【カリキュラムの類型(2)】教科カリキュラム、経験カリキュラム、広領域カリキュラム、コアカリキュラムなどのカリキュラム類型は、それぞれどのような理論に基づいているか考える。	講義	児玉
5	1)~3)	【わが国の教育課程編成の法的基準】公教育における教育課程はどのような法的基準や規程に基づいているか理解する。	講義	児玉
6	1)~3)	【中学校学習指導要領の構成と特色】現行の中学校学習指導要領は全体的にどのように構成され、どのような特色をもっているか理解する。	講義	児玉
7	1)~3)	【中学校学習指導要領総則の内容(Ⅰ)】現行の中学校学習指導要領総則における内容は、なぜ・どのように編成されているか考える。	講義	児玉
8	1)~3)	【中学校学習指導要領総則の内容(Ⅱ)】現行の中学校学習指導要領総則における内容は、歴史的になぜ・どのように変遷してきたか考える。	講義	児玉
9	1)~3)	【高等学校学習指導要領の構成と特色】現行の高等学校学習指導要領は全体的にどのように構成され、どのような特色をもっているか理解する。	講義	児玉
10	1)~3)	【高等学校学習指導要領総則の内容(Ⅰ)】現行の高等学校学習指導要領総則における内容は、なぜ・どのように編成されているか考える。	講義	児玉
11	1)~3)	【高等学校学習指導要領総則の内容(Ⅱ)】現行の高等学校学習指導要領総則における内容は、歴史的になぜ・どのように変遷してきたか考える。	講義	児玉
12	1)~3)	【学習指導要領と教育評価】学習指導要領と教育評価とが、なぜ・どのように関連しているか考える。	講義	児玉
13	1)~3)	【学校における教育課程の編成の方法】学校における教育課程編成はどのように進められているのか、その原則と手順について理解する。	講義	児玉
14	1)~3)	【学校における指導計画の形式と内容】学校で作成される指導計画の形式と内容、そして、教育課程編成上の意義について理解する。	講義	児玉

15 1)~3) 【教育課程編成における教師の役割】
教育課程編成過程における教師の役割について考える。

講義

兒玉

教科書： 「中学校学習指導要領解説 総則編 最新版」
「高等学校学習指導要領解説 総則編 最新版」

参考書： その他適宜紹介する。また、授業中に適宜資料を配布する。

科目名: **保健体育科教育法 I**

担当者: 西本 一雄(非常勤講師)、井藤 英俊(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 教職 単位数: 4 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 1. 中学・高校の体育の授業づくりのために、目標-内容-方法-評価の基礎的理論を修得する。
2. 具体的な授業づくりでの問題点を学習し、指導案を作成する力を修得する。
中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)を取得すること、教育実習を充実したものにするための準備として、また教員採用試験の二次試験対策等で要求される単元の指導計画や単位時間の計画を作成する力を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 保健体育学習指導要領を踏まえ、保健体育科における目標の考え方と内容の考え方について理解している。
2) 保健体育学習指導要領を踏まえ、各領域における特徴とねらいについて理解している。
3) 保健体育学習指導要領を踏まえ、各領域における内容の考え方について理解している。
4) 保健体育学習指導要領を踏まえ、各領域における学習内容と指導の要点について理解している。

評価方法: 授業態度、課題提出、小テストとレポートで総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 教職の必修科目であり、保健体育教員としての最も重要な体育授業についての学習である。
配布した資料を事前によく読んでおく。
小テストでは習ったことの定着を確認するので、自宅学習を十分行う。
教師になるための学習であるので意欲的に受講する。
実習では運動のできる服装の準備をする。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間(西本)、毎週月曜～水曜日 12:30～13:00(井藤)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~4)	【保健体育科の目標と内容】保健体育の目標と内容について学習する。 学習指導要領の保健体育の目標と内容について理解する。	講義・演習	西本・井藤
2	1)~4)	【体づくり運動①】体づくり運動の目標と内容について学習する。 体ほぐし運動の目標と学習内容、指導の要点について理解する。	講義・演習	西本・井藤
3	1)~4)	【体づくり運動②】体づくり運動の目標と内容について学習する。 体力を高める運動の目標と学習内容、指導の要点について理解する。	講義・演習	西本・井藤
4	1)~4)	【器械運動】器械運動の目標と内容について学習する。 器械運動の目標と学習内容、指導の要点について理解する。	講義・演習	西本・井藤
5	1)~4)	【陸上競技①】陸上競技の目標と内容について学習する。 陸上競技の走運動の目標と学習内容、指導の要点について理解する。	講義・演習	西本・井藤
6	1)~4)	【陸上競技②】陸上競技の目標と内容について学習する。 陸上競技の跳運動・投運動の目標と学習内容、指導の要点について理解する。	講義・演習	西本・井藤
7	1)~4)	【水泳】水泳の目標と内容について学習する。 水泳の目標と学習内容、指導の要点について理解する。	講義・演習	西本・井藤
8	1)~4)	【球技①】ゴール型球技の目標と内容について学習する。 ゴール型球技の目標と学習内容、指導の要点について理解する。	講義・演習	西本・井藤
9	1)~4)	【球技②】ネット型球技の目標と内容について学習する。 ネット型球技の目標と学習内容、指導の要点について理解する。	講義・演習	西本・井藤
10	1)~4)	【球技③】ベースボール型球技の目標と内容について学習する。 ベースボール型球技の目標と学習内容、指導の要点について理解する。	講義・演習	西本・井藤
11	1)~4)	【武道①】武道の目標と内容について学習する。 武道の目標と学習内容、指導の要点について理解する。	講義・演習	西本・井藤
12	1)~4)	【ダンス】ダンスの目標と内容について学習する。 武道の目標と学習内容、指導の要点について理解する。	講義・演習	西本・井藤
13	1)~4)	【体育理論①】運動やスポーツの多様性について学習する。 運動やスポーツが多様であることについて理解する。	講義・演習	西本・井藤
14	1)~4)	【体育理論②】運動やスポーツの意義や効果、学び方、 安全な行い方について学習する。 運動やスポーツによる身体的・精神的・社会的効果、学び方や安全な 行い方について理解する。	講義・演習	西本・井藤

15	1)~4)	【体育理論③】文化としてのスポーツについて学習する。 文化としてのスポーツの意義、オリンピック、パラリンピックなどの役割について理解する。	講義・演習	西本・井藤
16	1)~4)	【健康な生活と疾病の予防①】健康と疾病について学習する。 健康と疾病に対する主体的要因と環境要因の関わりについて理解する。	講義・演習	井藤
17	1)~4)	【健康な生活と疾病の予防②】健康の保持増進について学習する。 健康の保持増進には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けることが必要なことを理解する。	講義・演習	井藤
18	1)~4)	【健康な生活と疾病の予防③】喫煙、飲酒、薬物乱用について学習する。 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為の心身への影響、これらの行為へは人間関係や社会環境が影響していることを理解する。	講義・演習	井藤
19	1)~4)	【健康な生活と疾病の予防④】感染症について学習する。 感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることにより予防できることを理解する。	講義・演習	井藤
20	1)~4)	【健康な生活と疾病の予防⑤】健康の保持増進や疾病の予防に対する個人や社会の取り組みについて学習する。 保健・医療機関の有効活用、正しい医薬品の使用について理解する。	講義・演習	井藤
21	1)~4)	【心身の機能の発達と心の健康①】身体の発育と機能の発達について学習する。 身体の発育や機能の発達の時期、その個人差について理解する。	講義・演習	井藤
22	1)~4)	【心身の機能の発達と心の健康②】 思春期における機能の変化について学習する。思春期における生殖機能の成熟と成熟に伴う変化に対応した適切な行動について理解する。	講義・演習	井藤
23	1)~4)	【心身の機能の発達と心の健康③】 精神機能の発達と思春期における自己形成について学習する。 知的機能、情意機能、社会性などの精神機能の発達と思春期における自己形成について理解する。	講義・演習	井藤
24	1)~4)	【心身の機能の発達と心の健康④】 精神と身体に関わり、欲求やストレスについて学習する。 精神と身体が相互に関わりがあること、欲求やストレスの心身への影響と適切な対処法について学習する。	講義・演習	井藤
25	1)~4)	【障害の防止①】交通事故や自然災害による傷害の防止について学習する。 交通事故や自然災害などによる傷害への人的要因と環境要因などの関わりを理解する。	講義・演習	井藤
26	1)~4)	【障害の防止②】交通事故などによる障害について学習する。 交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できることを理解する。	講義・演習	井藤
27	1)~4)	【障害の防止③】自然災害による障害について学習する。 自然災害における災害発生時、二次災害時の行動、自然災害に対する備え、安全な避難について理解する。	講義・演習	井藤
28	1)~4)	【障害の防止④】応急手当と心肺蘇生法について学習する。 適切な応急手当と心肺蘇生法について理解する。	講義・演習	井藤
29	1)~4)	【健康と環境①】身体对环境に対する適応能力について学習する。 身体对环境に対する適応能力、快適で効率のよい生活のための温度、湿度や明るさの範囲について理解する。	講義・演習	井藤
30	1)~4)	【健康と環境②】飲料水や空気と健康のかかわりについて学習する。 衛生的な飲料水や空気の管理、廃棄物の処理について、理解する。	講義・演習	井藤

教科書： 教師を目指す学生必携 保健体育科教育法(杉山 重利・高橋 建夫・園山 和夫 編) 大修館書店【978-4-469-26692-4】

参考書： 中学校学習指導要領解説 保健体育編 (文部科学省) 東山書房【978-4-8278-1196-2】
高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 (文部科学省) 東山書房【978-4-8278-1202-0】
体育科教育学入門(高橋 建夫・岡出 美則・友添 秀則・岩田 靖 編著)大修館書店【978-4-469-26701-3】

科目名: 保健体育科教育法Ⅱ

担当者: 井藤 英俊(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 教職 単位数: 4 時間数: 60 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 中等教育の体育科教育における目標、内容、指導方法について学習指導要領に基づいて理解する。特に、体育において取り上げられる運動領域の動きの構造に関する理解を深め、教材の解釈ならびに教材の開発の仕方を学ぶ。さらに、これらの教材に基づいて授業に適用する指導体系をつくれるようにする。

到達目標: 1)保健体育科教員に必要とされる知識や資質・能力について理解する。
(SBOs) 2)保健体育科の特性を理解し、学習指導要領を踏まえ、年間計画・単元計画・授業計画を考え、作成し、実践することができる。
3)実践した授業の授業評価を相互に評価できる。

評価方法: 試験等を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 予習・復習を行うこと。
実習も行いますので、運動のできる服装及び体育館シューズを準備すること。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日 12:30～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~3)	体育は「何を学ぶ」教科かを学習する。現在の体育の授業を取り巻く問題点を主体的・対話的に理解し、何を教えるのかが説明できる。	講義・演習	井藤
2	1)~3)	授業づくりの基礎理論①】体育と教育制度を学習する。教育における体育の意義が理解できる。	講義・演習	井藤
3	1)~3)	【授業づくりの基礎理論②】学習指導要領を学習する。指導要領から体育の必要性が理解できる。	講義・演習	井藤
4	1)~3)	【授業づくりの基礎理論③】学習指導要領から体育の目標を学習する。体育を学ぶことにより「何ができるようになるか」を理解できる。	講義・演習	井藤
5	1)~3)	【授業づくりの基礎理論④】学習指導要領から体育のカリキュラムを学習する。体育の授業時数や内容が理解できる。	講義・演習	井藤
6	1)~3)	【体育の学習指導論①】よい体育の授業について学習する。よい体育授業の「基礎的条件」「内容的条件」について理解する。	講義・演習	井藤
7	1)~3)	【体育の学習指導論②】体育の教材・教具について学習する。「教材」づくり「教具」づくりができる。	講義・演習	井藤
8	1)~3)	【体育の学習指導論③】体育の学習指導論について学習し理解する。	講義・演習	井藤
9	1)~3)	【体育の学習指導論④】体育の学習形態論について学習し理解する。	講義・演習	井藤
10	1)~3)	【体育の学習指導論⑤】体育の学習評価について学習し理解するとともに、情報機器を活用した学習評価ができる。	講義・演習	井藤
11	1)~3)	【体育の学習指導論⑥】体育の授業評価について学習し理解するとともに、情報機器を活用した授業評価ができる。	講義・演習	井藤
12	1)~3)	【体育の指導方略と指導技術①】体育授業におけるモニタリングと相互作用技術について学習し理解する。	講義・演習	井藤
13	1)~3)	【体育の指導方略と指導技術②】体育授業におけるマネジメントについて学習し理解する。	講義・演習	井藤
14	1)~3)	【体育の指導方略と指導技術③】体育授業におけるインストラクションについて学習し理解する。	講義・演習	井藤
15	1)~3)	【体育の指導方略と指導技術④】運動有能感について学習し理解する。	講義・演習	井藤
16	1)~3)	【体育の指導方略と指導技術⑤】運動有能感を高める指導について学習し実践できるようになる。	講義・演習	井藤
17	1)~3)	【指導案作成・模擬授業・振り返り①】指導案の作成方法を学習する。具体的な指導案作りができる。	講義・演習	井藤

18	1)~3)	【指導案作成・模擬授業・振り返り②】 年間計画・単元計画の作成方法を学習し作成することができる。	講義・演習	井藤
19	1)~3)	【指導案作成・模擬授業・振り返り③】 体ほぐし運動についてのねらいを学習・理解し、指導案を作成する。	講義・演習	井藤
20	1)~3)	【指導案作成・模擬授業・振り返り④】 体ほぐし運動について、授業を実践する。	講義・演習	井藤
21	1)~3)	【指導案作成・模擬授業・振り返り⑤】 体ほぐし運動について、相互に授業評価する。	講義・演習	井藤
22	1)~3)	【指導案作成・模擬授業・振り返り⑥】 体力を高める運動について指導案を作成する。	講義・演習	井藤
23	1)~3)	【指導案作成・模擬授業・振り返り⑦】 体力を高める運動について、授業を実践し、相互に授業評価する。	講義・演習	井藤
24	1)~3)	【指導案作成・模擬授業・振り返り⑧】 「器械運動」領域についてマイクロティーチングを行う。 「器械運動」領域について、互いに学びあうことに重点を置いた指導案の作成、授業の実践、相互評価ができる。	講義・演習	井藤
25	1)~3)	【指導案作成・模擬授業・振り返り⑨】 「陸上」領域についてマイクロティーチングを行う。 「陸上」領域について、ICTを活用し動きを捉え、動きの改善を目指した指導案の作成、授業の実践、相互評価ができる。	講義・演習	井藤
26	1)~3)	【指導案作成・模擬授業・振り返り⑩】 「水泳」領域についてマイクロティーチングを行う。 「水泳」領域について、ICTを活用して互いに学びあうことができる指導案の作成、授業の実践、相互評価ができる。	講義・演習	井藤
27	1)~3)	【指導案作成・模擬授業・振り返り⑪】 「球技」領域についてマイクロティーチングを行う。 「球技」領域について、一人一人の個性を生かした指導案の作成、授業の実践、相互評価ができる。	講義・演習	井藤
28	1)~3)	【指導案作成・模擬授業・振り返り⑫】 「ダンス・武道」領域についてマイクロティーチングを行う。 「ダンス・武道」領域について、武道の歴史や伝統的な考え方を学ぶ指導案の作成、授業の実践、相互評価ができる。	講義・演習	井藤
29	1)~3)	【指導案作成・模擬授業・振り返り⑬】 「体育理論」領域についてマイクロティーチングを行う。 「体育理論」領域について、文化としてのスポーツの意義を学ぶ指導案の作成、授業の実践、相互評価ができる。	講義・演習	井藤
30	1)~3)	【指導案作成・模擬授業・振り返り⑭】 各運動領域の授業づくりに関するまとめをする。 各運動領域の授業づくりができる。	講義・演習	井藤

教科書： 教師を目指す学生必携 保健体育科教育法(杉山 重利・高橋 建夫・園山 和夫 編) 大修館書店 【978-4-469-26692-4】

参考書： 中学校学習指導要領解説 保健体育編 最新版
高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 最新版
体育科教育学入門(高橋 建夫・岡出 美則・友添 秀則・岩田 靖 編著)大修館書店

科目名: **道徳教育の指導法**

担当者: 橋迫 和幸 (福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(2年)・臨床福祉専攻(2年)

必修・選択: 教職 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 道徳教育の本質, 学習指導要領における道徳教育の目標と内容, 現代社会と道徳教育をめぐる諸問題, わが国における道徳教育の歴史, 道徳性の発達と道徳教育の課題などについて学ぶ。これをふまえて道徳教育の諸課題について理解し, 道徳教育の理念と目的, 内容と方法, および道徳授業の教材と指導法について基礎的知識を得る。これらをとおして, 道徳教育とは何か, 子どもたちに道徳性を育てるにはどのような課題に取り組むべきかについての理解を深め, 道徳の授業をどう構想したらよいかを考える力を身につける。

到達目標: (SBOs) 1) 道徳教育の理念と目的および学習指導要領における道徳教育の目標と内容について理解している。
2) 道徳教育をめぐる歴史および現代社会における道徳教育の諸問題について理解している。
3) 子どもの道徳性の発達の特質について理解している。
4) 学校における道徳教育の課題と方法について理解している。
5) 道徳授業の教材と指導法の要点について理解し, 指導案を構想することができる。

評価方法: 成績評価は, 複数回のレポートの成績および出席点をもとに行う。

準備学習・履修上の注意等: (1)1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。
(2)授業はテキストに即して進め, 次回授業で扱うテキストの該当箇所を予め指定するので, 必ず予習しておくこと。
(3)授業ではテキストを用いるほか, レジュメや資料を配布するので, これらをもとに復習すること。

オフィスアワー: 時間割が確定後, 研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	【現代社会と道徳教育(1)】 人びとがどのような道徳性を身につけるかは, 社会のありようによって規定されることを理解し, この点で現代社会にどのような問題があるかを考える。	講義	橋迫
2	1)2)	【現代社会と道徳教育(2)】 学習指導要領に示されているように, 学校での道徳教育は道徳の授業だけでなく「学校の教育活動全体をとおして行う」ことが大切であることを理解する。	講義	橋迫
3	2)	【道徳教育の歴史的展開(1)】 明治, 大正, 昭和戦前期の道徳教育の歴史を概観し, 道徳教育が国家主義と結びつくとき, そこにどのような問題が生ずるかを理解する。	講義	橋迫
4	2)	【道徳教育の歴史的展開(2)】 戦後教育改革のなかで道徳教育においても憲法と教育基本法によって新しい理念が示されたこと, その後それはどのように実現され, あるいはどのような問題が残されているかを理解する。	講義	橋迫
5	2)	【道徳教育の理念と目的(1)】 道徳は法と同様に社会規範の一つであるが, 法とは違って個々人の良心によって支えられるものであり, したがって道徳教育の内容は教科のようには一義的に確定できない事に特徴があることを理解する。	講義	橋迫
6	1)	【道徳教育の理念と目的(2)】 道徳は良心によって支えられるものであることから, 道徳教育は既存の価値を教えるのではなく, 自主的な価値判断の能力を育てることが重要であることを理解する。	講義	橋迫
7	3)	【道徳性の発達と教育(1)】 子どもはどのように道徳性を身につけていくか, その発達の筋道について, ピアジェやコールバーグの理論をもとに学ぶ。	講義	橋迫
8	3)	【道徳性の発達と教育(2)】 道徳性の発達に関する知見から, 道徳教育を改善するにはどのような課題に取り組むことが求められるかについて学ぶ。	講義	橋迫
9	4)	【学習指導要領と道徳教育(1)】 学習指導要領では道徳教育がどのように位置づけられているかを理解し, 最新の改訂学習指導要領で従来の「道徳の時間」が「特別の教科・道徳」に改められた意義について学ぶ。	講義	橋迫
10	4)	【学習指導要領と道徳教育(2)】 道徳教育は, 「特別の教科・道徳」を要としつつ, 学校の教育活動全体を通じて行われることを理解し, 教科学習をおよび教科外活動における道徳教育はどうあるべきかについて学ぶ。	講義	橋迫

11	4)	【道徳の授業をめぐる問題と課題(1)】 道徳授業の基本的なスタイルについて理解し、道徳の授業をめぐる現状と問題について理解する。	講義	橋迫
12	5)	【道徳の授業をめぐる問題と課題(2)】 中学校の道徳授業の実践事例を分析し、道徳授業のねらいや内容、指導の展開について、具体的に理解する。	演習	橋迫
13	5)	【道徳科授業の教材と指導法(1)】 道徳科の授業構成の一般的なスタイルについて理解し、道徳科の授業では目標をどのように設定し、授業の展開をどのように構想したらよいかを考える。	講義	橋迫
14	5)	【道徳科授業の教材と指導法(2)】 道徳科授業の指導案はどのような構成になっているか、指導案作成において留意すべきことは何かを理解し、実際に教材を用いて指導案を作成する。	講義	橋迫
15	1)	【「いのちの授業」と道徳教育】 道徳性を育むには、学校のなかで一人ひとりの子どもが解放され尊重されるような状況を生みだすことが不可欠であることを、「いのちの授業」を事例として理解する。	講義	橋迫

教科書： 道徳教育 改訂版（教師教育テキストシリーズ）（井ノ口淳三編）学文社【ISBN-10:4762026553】

参考書： 中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 平成29年7月（文部科学省HP）

科目名: **特別活動の指導法**

担当者: 橋迫 和幸(福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科, 臨床福祉専攻(2年)

必修・選択: 教職 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 特別活動の意義と目的, 特別活動の歴史, 特別活動の各分野の目標と内容・方法, 教科教育や道徳教育など他の教育活動と特別活動との関連などの諸テーマを学ぶとともに, 具体的な実践事例を分析することをとおして, 特別活動について理論と実践の両面から理解を深め, 課題について考える。

到達目標: (SBOs)
1)特別活動の意義と目的および教育課程におけるその位置づけについて理解している。
2)特別活動の歴史と現状, 問題と課題について理解している。
3)特別活動の各分野のねらいと内容, 方法について理解している。
4)特別活動の充実・発展を図るための諸課題について理解し, その解決策を構想することができる。

評価方法: 成績評価は, 複数回のレポート成績, および出席点をもとに行う。

準備学習・履修上の注意等:
(1)1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。
(2)授業はテキストに即して進め, 次回授業で扱うテキストの該当箇所を予め指定するので, 必ず予習しておくこと。
(3)授業ではテキストを用いるほか, レジュメや資料を配布するので, これらをもとに復習すること。

オフィスアワー: 時間割が確定後, 研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【特別活動とは何か】 学校教育は教科指導を中心として展開されるが, 同時に教科外での子どもたちによる自主的な活動が重要な意味を持っていること理解する。	講義	橋迫
2	2)	【教科外活動・特別活動の歴史(1)】 戦前の学校では子どもたちの自主的な活動は教育課程外の活動として位置づけられていた反面, 儀式や行事が重要な位置づけをされていたことについて理解する。	講義	橋迫
3	2)	【教科外活動・特別活動の歴史(2)】 戦後は教科外活動が教育課程のなかに組み込まれたが, その名称や内容, 位置づけは学習指導要領改訂のたびに変容し, 「特別活動」は比較的新しいものであることを理解する。	講義	橋迫
4	1)	【特別活動の意義と課題(1)】 特別活動は望ましい集団活動を通して心身の調和のとれた発達と個性の伸長を促すとともに, 社会の一員としての自覚を促すことを目的とすることを理解する。	講義	橋迫
5	1)	【特別活動の意義と課題(2)】 学校が子どもの成長発達をめぐってさまざまな困難に直面している今日, 特別活動には人間関係づくりを通して学校の再生を図る役割が期待されていることを理解する。	講義	橋迫
6	3)	【学級活動(ホームルーム活動)のねらいと方法(1)】 学級は子どもたちにとって学校における生活と学習の基礎単位であり, それができる居場所として組織されるかどうか子どもたちの成長発達に大きく影響することを理解する。	講義	橋迫
7	3)	【学級活動(ホームルーム活動)のねらいと方法(2)】 学級活動(ホームルーム活動)は, 学級を子どもたちの「心の居場所」(準拠集団)として組織するのに重要な役割を担っていること, また生徒指導の機会としても重要であることを理解する。	講義	橋迫
8	3)	【生徒会活動と生徒参加(1)】 生徒会活動は, 全校生徒を主体とした自主的自治的活動として, 学校づくりに寄与するだけでなく, 将来の市民としての資質能力を育成する上でも重要な役割を担っていることを理解する。	講義	橋迫
9	3)	【生徒会活動と生徒参加(2)】 生徒会活動がその目的を達成するためには, 生徒を一定の範囲で学校運営に参加させることが重要であるが, 現状では生徒参加があまりすすんでいないことを理解し, その原因は何かを考える。	講義	橋迫
10	3)	【特別活動の「実践記録」を読む】 特別活動の実践事例の分析を通して, 特別活動は具体的にどのように展開	講義	橋迫

されるか、そこにどのような可能性があるかを理解する。

11	3)	【学校行事の意義と課題】 学校行事は、日常と異なった活動を通して子どもたちの学校生活にメリハリを与え、新たな自己発見を促す点で重要な役割を担っていること、しかし同時に課題が少なくないことを、理解する。	講義	橋迫
12	4)	【「総合的な学習の時間」と特別活動】 総合的な学習の時間での取り組みが特別活動での自主的な活動に発展したり、またその逆もあるというように、両者の連携によって相互に発展し合う関係にあることを理解する。	講義	橋迫
13	4)	【教科指導と特別活動】 特別活動における人間関係づくりが教科学習の基盤を整えるのに寄与したり、教科学習で取り組んだことが特別活動の内容を豊かにしたりするなど、特別活動は教科指導と有機的に結合して発展することを理解する。	講義	橋迫
14	4)	【クラブ・部活動の現状と課題】 クラブ・部活動は、子どもたちが趣味を生かした自主的な活動を通して新たな可能性を深めたり豊かな人間関係を体験したりする重要な機会であること、しかし現状ではさまざまな問題があることを理解する。	講義	橋迫
15	4)	【学校再生の課題と特別活動】 今日の学校が抱えているさまざまな困難を克服し、子どもたちの人間的成長発達を支える場として学校を再生させる上で、特別活動にはどのような可能性があるかを考える。	講義	橋迫

教科書： 新しい特別活動指導論[第2版](高旗正人・倉田侃司編著)ミネルヴァ書房【ISBN-10:4623059960】

参考書： 中学校学習指導要領解説 特別活動編 平成29年7月(文部科学省HP)

科目名: **教育方法論**

担当者: 登坂 学(保・工)

配当学科: 子ども保育福祉学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 教育方法論では、幼児期における教育、保育の方法、幼児期の実態や学びに即した保育者の指導方法、保育の記録の方法等について学習することを目的とする。それらの学習を通して、保育者の役割とは何かを考え、保育者に求められる専門性を理解し、幼児期にふさわしい生活を展開するための保育者の指導や援助のあり方を考えていく。

到達目標: (SBOs) 1) 幼児期における教育、保育の方法の基本について説明できる。
2) 子どもの遊びへのかかわり方、指導方法が分かる。
3) 幼稚園教育要領における教育方法のあり方について説明できる。
4) 子どもの実態や季節等に応じた具体的な環境構成のあり方を提案できる。
5) 子どもの実態に即した適切な指導、援助のあり方を提案できる。
6) 保育における一日の流れや様々な遊び、活動、行事のあり方について、情報機器を活用しながら説明できる。
7) 保育記録の意味や記録のとり方が分かり、援助や指導に生かす意義について説明できる。

評価方法: 授業参加状況(態度、欠席状況等)を20%、レポート作成および発表・実演等を50%、授業中の確認テスト等を30%として評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 第1回授業時に、授業の進め方、評価方法等について具体的に説明するため、必ず出席すること。毎回の授業前に、あらかじめ指定された範囲の教科書を読み、事前学習を行っておくこと。また授業後にはレポート提出を求めることがあるので聞き漏らさぬよう注意すること。なお、本講義は1コマあたり1時間の予習・復習が必要である。

オフィスアワー: 火曜12:30-13:00、水曜12:30-13:00、木曜12:30-13:00。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	幼稚園の教育方法において大切なことは何かを考える。	講義・演習	登坂
2	2)5)	子どもと遊びの楽しさを共有する方法を探る①	講義・演習	登坂
3	2)5)	子どもと遊びの楽しさを共有する方法を探る②	講義・演習	登坂
4	3)4)	幼稚園教育要領をもとに、子どもが育つ環境をつくる方法を探る①	講義・演習	登坂
5	3)4)	幼稚園教育要領をもとに、子どもが育つ環境をつくる方法を探る②	講義・演習	登坂
6	4)	季節を視野に入れた環境構成を考える①	講義・演習	登坂
7	4)	季節を視野に入れた環境構成を考える②	講義・演習	登坂
8	2)5)6)	保育の見通しをもち、子どもとの充実した遊びや活動を組み立てる方法を考え、情報機器を用いて発表する。	講義・演習	登坂
9	2)5)6)	保育の形態から、子どもとの充実した遊びや活動を組み立てる方法を考え、情報機器を用いて発表する。	講義・演習	登坂
10	2)5)6)	子どもとの充実した生活をつくるための一日の流れを考える。	講義・演習	登坂
11	2)5)6)	子どもとの充実した生活をつくるための場の設定を考える。	講義・演習	登坂
12	2)5)6)	子どもの育ちに即した援助の方法を探る。	講義・演習	登坂
13	4)6)	栽培活動や行事を子どもとともに作りあげる方法を探る。	講義・演習	登坂
14	2)5)	かかわりの難しさを感じる子どもへの援助の方法を探る。	講義・演習	登坂
15	7)	保育の記録から援助、指導を考える。	講義・演習	登坂

教科書: 幼稚園教育要領(以下のアドレスから入手すること)
http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2017/05/12/1384661_3_2.pdf

参考書: 授業のなかで適宜紹介する。

科目名: **教育方法論**

担当者: 長友 道彦(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・動物療法専攻・スポーツ健康福祉学科(3年)

必修・選択: 教職 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 中学校や高等学校における望ましい授業づくりについて具体的に考察し、学校教師としての力量や能力を形成することが求められている。そのために、先哲の業績を手掛かりに、これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用、教育評価に関する基礎的な知識・技能を修得する。

到達目標: (SBOs)
1)教育の目的と、教育内容、教育方法との関連性について説明できる。
2)先哲の教育思想の要点について理解し、現代の教育との関わりについて説明できる。
3)授業づくりの観点から授業の構造や「学び方」、学習内容について理解を深めるとともに、説明できる。
4)学習指導案の意義について理解を深め、実際に自分の担当する教科目についての学習指導案を作成することができる。また、教育評価の意味や方法について理解を深め、授業の目的は生徒の価値ある変容であることを説明できる。
5)教育課程について理解を深め、学習指導要領を中心とする教育課程に関する法制について説明できる。
6)教育効果を高める教材・教具・情報機器の使用法について理解を深めるとともに、実際に活用することができる。

評価方法: 筆記試験、小テスト、課題の提出状況・授業態度を考慮して総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 予習は、テキストを熟読し、言葉の意味等を調べるのに150分、復習は、レジュメの見直しと整理、教科書の再読に90分はかけること。教科書を購入して必ず持参すること。レジュメと、板書を中心に授業を進めるが、学生の意見も求める。プリントホルダーを作成すること。

オフィスアワー: 研究室前に掲示します。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	教育方法論入門 教育の目的と教育内容、様々な教育方法。	講義	長友
2	1)2)	教育方法史(1) ソクラテス～コメニウス～ルソー…産婆術と大教授学と消極教育	講義	長友
3	1)2)	教育方法史(2) ベスタロッチとヘルバルト派…開発教授法と5段階教授法 20世紀初頭の新教育運動	講義	長友
4	1)2)	教育方法史(3) 教育の現代化とオープンスクールの教育	講義	長友
5	1)3)4)	学習指導論(1) 授業の構造と意義、教育課程、学習指導案、授業目標づくり	講義	長友
6	1)3)	学習指導論(2) 問題解決学習、「学び方」を学ぶ、教材研究と教材解釈	講義	長友
7	1)3)	学習指導論(3) 展開のある授業、発問の種類と機能、授業における説明の役割と方法	講義	長友
8	1)3)	学習指導論(4) 集団学習、体験的学習、安全教育、「指導要録」の記入について	講義	長友
9	1)3)5)	学習指導(1) 学習指導要領の変遷、教科書の教育的役割、「教科書を教える」と「教科書で教える」の区別	講義	長友
10	1)3)5)	学習指導(2) 総合的な学習の時間、特別活動、道徳教育(特別の教科道徳)	講義	長友
11	1)5)	学習指導(3) キャリア教育と進路指導	講義	長友
12	1)3)5)	教育技術論(1) 教育技術の特質、集団づくり、学習活動の個別化と個性化、 ティーム・ティーチング	講義	長友
13	1)3)6)	教育技術論(2)	講義	長友

14	1)3)5)	教育メディア, ICT教育, インターネット教育, メディア・リテラシー	講義	長友
		教育技術論(3)		
15	1)4)	板書とノート指導, 調べ学習, 机間指導, 模擬授業の意義と方法	講義	長友
		教育評価論 学力, 相対評価と絶対評価, 到達目標と方向目標		

教科書: 教育の方法と技術 (柴田 義松/山崎 準二) 学文社 【978-4-7620-2440-5】

参考書: 高等学校学習指導要領解説 総則編 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1480-4】

科目名: 生徒・進路指導論

担当者: 長友 道彦(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 教職 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 生徒指導は、学校の教育目標を達成するために重要な機能の一つであり、一人一人の生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、倫理観や正義感などの社会的資質や行動力を高めるように指導・援助するものである。そのために、学校の教育活動全体を通じて、他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を勤めていくために必要な知識・技能や素養を修得する。特に、いじめ防止への早期対応のため生徒理解への認識を深める。また、進路指導の意義とキャリア教育の重要性を理解し、その目的のために必要な授業改善や学校内外の組織体制に必要な知識や素養を修得する。

到達目標 (SBOs):

- 1)進路指導を含む生徒指導の意義と課題について理解を深め、教育課程における生徒指導の位置付けについて説明できる。
- 2)集団指導と個別指導の方法原理について理解を深め、学校運営と生徒指導について説明できる。
- 3)教科等教育課程の各場面における生徒指導の在り方について理解を深め、指導力の基礎について説明できる。
- 4)児童期・青年期の心理と発達について理解を深め、児童生徒理解の基本としての資料収集法について説明できる。
- 5)全体に対する指導等学校における生徒指導体制について理解し、生徒指導の改善と評価について説明できる。
- 6)教育相談の意義、相談の進め方等について理解を深め、カウンセラーとしての基礎的素養について説明できる。
- 7)個々の問題行動について理解を深め、具体的な指導の在り方について説明できる。
- 8)生徒指導に関する法制について理解を深め、関係機関との連携の在り方について説明できる。
- 9)進路指導・キャリア教育の位置づけを理解し、組織的な指導体制及び家庭や関係機関との連携の在り方を理解し、説明できる。

評価方法: 筆記試験、授業への参加態度、小テスト、課題の提出状況等総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 予習は、使用する教科書を熟読して語句の意味を調べるのに150分、復習は授業のレジュメの見直しと教科書の再読に90分を充てて行うこと。

オフィスアワー: 研究室前に掲示します。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)		講義	長友
2	1)	生徒指導の意義と原理(1) 生徒指導の意義と課題、教育課程上の位置づけ	講義	長友
3	1)3)	生徒指導の意義と原理(2) 集団指導・個別指導の方法原理、学校運営と生徒指導・進路指導	講義	長友
4	1)3)	教育課程と生徒・進路指導(1) 教科及び道徳教育における生徒・進路指導	講義	長友
5	4)	教育課程と生徒・進路指導(2) 総合的な学習の時間及び特別活動における生徒・進路指導	講義	長友
6	4)	児童生徒の心理と児童生徒理解(1) 児童生徒理解の基本及び児童期の心理と発達、発達障害の理解	講義	長友
7	1)3)4)6)	児童生徒の心理と児童生徒理解(2) 青年期の心理と発達	講義	長友
8	2)5)	児童生徒の心理と児童生徒理解(3) 青年期の心理と発達に関する資料の収集、教育相談	講義	長友
9	5)	学校における生徒・進路指導体制 生徒指導組織、進路指導組織、年間指導計画、安全教育、資料の保管活用等	講義	長友
10	5)	生徒・進路指導の進め方(1) 組織的対応と関係機関との連携、教職員の役割	講義	長友
11	1)4)7)	生徒・進路指導の進め方(2) 守秘義務と説明責任、担任指導、校内規律、安全教育	講義	長友
12	1)4)7)	個別の問題を抱える児童生徒の指導(1) 問題行動の早期発見と指導、喫煙、飲酒、薬物乱用、少年非行、暴力	講義	長友

13	1)4)7)	個別の問題を抱える児童生徒の指導(2) いじめ、ネット等のトラブル, 命の教育, 児童虐待, 不登校	講義	長友
14	1)9)	生徒指導に関する法制度等と地域関係機関との連携 校則、懲戒と体罰、青少年保護育成に係る法令等, 学校を中心とした家庭・地域・関係機関等との連携	講義	長友
15	1)9)	進路指導とキャリア教育(1) 中学校における進路指導の意義と方法, キャリア教育の目標と展開 進路指導とキャリア教育(2) 高等学校における進路指導の意義と方法, キャリア教育の目標と展開	講義	長友

教科書: 生徒指導提要 (文部科学省) 教育図書株式会社 【978-4-87730-274-0】

参考書: 高等学校学習指導要領解説 総則編 平成21年11月 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1480-4】
 中学校学習指導要領解説 総則編 平成20年9月(文部科学省) 株式会社ぎょうせい 【978-4-324-90002-4】
 生徒指導・進路指導の理論と方法 (林尚示 服部伴文 村木晃) 春風社【978-4-86110-355-1】

科目名: 教職実践演習(中・高)

担当者: 橋迫 和幸(福・ス)・長友 道彦(福・福)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(4年)・臨床福祉専攻(4年)・動物療法専攻(4年)

必修・選択: 教職 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: (1)教員としての現場経験が豊富な外部講師の講話によって、教師の資質として求められる「使命感・責任感・教育愛」「社会性・対人関係能力」「子ども理解・学級経営」および「教科等の指導力」について現場の視点で理解する。(2)「履修カルテ」および「教育実習録」をもとに、これまでの教職課程の学習履歴を振り返って、すでに何を獲得し、何が課題として残されているかを確認する。(3)その上で、課題として残されている点については、その解決のため卒業までにどんなことに取り組むかを具体的に考え、明確化する。(4)教育実習での授業経験をもとに指導案を作成して模擬授業を行い、相互講評によって、教科の指導力等に関わる自己の課題を明確にする。――以上を通して、教職に向けての学びにおける自己の到達点を明らかにし、卒業までに取り組むべき課題についての自覚を深める。

到達目標: 1)教師として求められる資質能力について、大事なことがらを理解している。
(SBOs) 2)これまでの学習や実習等の経験をとおして、自分が教師としての資質能力をどの程度まで修得しているかを、客観的に把握している。
3)教職に向けて、今後さらにどのような課題に取り組むべきかを理解し、その課題に取り組もうとする姿勢を身につけている。

評価方法: 成績は発表およびレポートをもとに評価する。

準備学習・履修上の注意等: (1)本科目を履修するには、次の条件を充たしておかなければならない。――①4年次前期までに「教職課程履修カルテ」を作成していること、②教育実習を終了していること、③4年で卒業できる見込みであること。
(2)1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。
(3)「教育実習録」および実習で作成した指導案をもとに実習を振り返り、実習で行った授業を再現して模擬授業ができるように予習しておくこと。
(4)模擬授業を踏まえて復習し、教員としての自己の課題を整理すること。

オフィスアワー: 時間割が確定後、研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーションー授業のねらい】 教職課程の学習履歴を振り返り、自己の到達点と課題を明らかにする意義について理解する。(子ども保育福祉学科との合同授業)	講義	橋迫・長友
2	2)	【省察と課題の確認(1):「履修カルテ」「実習ノート」にもとづく振り返り】 「履修カルテ」と「実習ノート」をもとに、これまでの学習履歴を振り返る。	演習	橋迫・長友
3	1)	【外部講師による講話(1):「使命感・責任感・教育愛」】 経験豊かな現場教員の講話によって、教師の「使命感・責任感・教育愛」について学ぶ。(子ども保育福祉学科との合同授業、講話の内容は変更することがある)	講義	外部講師
4	2)	【省察と課題の確認(2):到達点の確認と課題の明確化】 「履修カルテ」と「実習ノート」をもとに、自己の到達点と課題を明らかにする。	演習	橋迫・長友
5	2)	【省察と課題の確認(3):発表と交流】 学習履歴の振り返りにもとづいて明らかになった到達点と課題を発表し、互いに交流する。	演習	橋迫・長友
6	1)	【外部講師による講話(2):「社会性・対人関係能力」】 経験豊かな現場教員の講話によって、教師に必要な「社会性・対人関係能力」について学ぶ。(子ども保育福祉学科との合同授業、講話の内容は変更することがある)	講義	外部講師
7	2)	【教師の使命と資質能力についての討論(グループ討論および全体討論)】 講話と自己省察を踏まえて、教師の使命や必要な資質能力について、討論を行う。	演習	橋迫・長友
8	1)	【外部講師による講話(3):「教科等の指導力」】 経験豊かな現場教員の講話によって、「教科等の指導力」を身につけるにはどうしたらよいかを学ぶ。(講話の内容は変更することがある)	講義	外部講師
9	2)	【指導案の作成と模擬授業(1):教育実習の振り返りと指導案の作成】 教育実習を振り返り、模擬授業に向けて指導案を作成する。	演習	長友・橋迫
10	2)	【指導案の作成と模擬授業(2):模擬授業と相互講評(その1)】 指導案にもとづく模擬授業を行い、相互に講評しあって交流する。(第1回目)	演習	長友・橋迫
11	2)	【指導案の作成と模擬授業(3):模擬授業と相互講評(その2)】 指導案にもとづく模擬授業を行い、相互に講評しあって交流する。(第2回目)	演習	長友・橋迫

12	2)	【指導案の作成と模擬授業(4):模擬授業と相互講評(その3)】 指導案にもとづく模擬授業を行い, 相互に講評しあって交流する。(第3回目)	演習	長友・橋迫
13	1)	【外部講師による講話(3) :「子ども理解・学級経営」】 経験豊かな現場教員の講話によって, 「子ども理解・学級経営」で大事なことは何かを学ぶ。(講話の内容は変更することがある)	講義	外部講師
14	3)	【教科等の指導力についての討論(グループ討論および全体討論)】 模擬授業を踏まえ, 教科等の指導力を身につけるのに大切なことは何かについて, 意見交換を行う。	演習	長友・橋迫
15	3)	【まとめ:今後に向けて】 授業の全体を振り返り, 今後に向けての各自の課題を確認する。	演習	長友・橋迫

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **教育実習 I**

担当者: 橋迫 和幸(福・ス)・登坂 学(福・子)・長友 道彦(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・動物療法専攻(4年次)・スポーツ健康福祉学科(4年次)

必修・選択: 教職必修 単位数: 2 時間数: 2W 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 中学校または高等学校における2週間の教育実習で、授業観察、指導案作成、授業の実践、部活指導、生徒との交流などを通して、教育実践について体験的に学ぶ。また、本教育実習での体験について、これまでに教職課程科目で学んできた内容と関連づけて考察を行い、理論と実践の統合を目指す。

到達目標: (SBOs)
1) 学校現場の実際について概略を理解している。
2) 授業の指導案を作成し、実際に展開することができる。
3) 生徒指導や学級経営について理解し、実際に遂行することができる。
4) 校務分掌や他の教員との協力について理解し、実際に遂行することができる。
5) 実習の成果を振り返り、教師としての力量を高めるための自己の課題について理解している。

評価方法: 実習校による評価にもとづき、教育実習運営委員会により評定を行う。

準備学習・履修上の注意等: 前年度に実習校より内諾を受けている者のみ履修可。「教育実習の研究」等の事前指導内容、および実習校でのガイダンス内容をよく理解し、実習期間中は教職員としての自覚を持ち行動すること。中学校免許、高等学校免許のいずれを希望するかにかかわらず、「教育実習 I」は中学校または高等学校のいずれで履修してもよい。ただし、中学校免許取得を希望する者は、必ず同一の実習校で「教育実習 II」とあわせて、連続3週間の実習を履修しなければならない。高等学校免許のみを希望する者は、「教育実習 I」を2週間履修しなければならない。

オフィスアワー: 時間割が確定後に研究室前に掲示

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1回 から 30 回 まで		授業内容は、実習校の計画に基づく。 到達目標は各回の授業ごとに総合的に達成される。	実習	実習校の指導教員

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **教育実習Ⅱ**

担当者: 橋迫 和幸(福・ス)・登坂 学(福・子)・長友 道彦(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・動物療法専攻(4年次)・スポーツ健康福祉学科(4年次)

必修・選択: 教職必修 単位数: 2 時間数: 2W 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 「教育実習Ⅰ」を踏まえ、中学校または高等学校における2週間の教育実習で、授業観察、指導案作成、授業の実践、部活指導、生徒との交流などを通して、教育実践について体験的に学ぶ。また、本教育実習での体験について、これまでに教職課程科目で学んできた内容と関連づけて考察を行い、理論と実践の統合を目指す。

到達目標: (SBOs)

- 1) 学校現場の実際について概略を理解している。
- 2) 授業の指導案を作成し、実際に展開することができる。
- 3) 生徒指導や学級経営について理解し、実際に遂行することができる。
- 4) 校務分掌や他の教員との協力について理解し、実際に遂行することができる。
- 5) 実習の成果を振り返り、教師としての力量を高めるための自己の課題について理解している。

評価方法: 実習校による評価に基づき、教育実習運営委員会により成績評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 前年度に実習校より内諾を受けている者のみ履修可。「教育実習の研究」等の事前指導内容、および実習校でのガイダンス内容をよく理解し、実習期間中は教職員としての自覚を持ち行動すること。中学校免許、高等学校免許のいずれを希望するかにかかわらず、「教育実習Ⅱ」は中学校または高等学校のいずれで履修してもよい。ただし、「教育実習Ⅱ」は「教育実習Ⅰ」とあわせて履修すること(「教育実習Ⅱ」だけを履修することはできない)。また、ⅠとⅡは同一の実習校で履修しなければならない。中学校免許取得を希望する者は、必ず「教育実習Ⅰ」とあわせて履修すること。高等学校免許取得を希望する者もⅠとⅡをあわせて履修できるが、「教育実習Ⅱ」だけを履修することはできない。実習期間は、ⅠとⅡを合わせて、計3週間とする。

オフィスアワー: 時間割が確定後に研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1回 から 30 回ま で	到達目標 は各回 の 授業ごと に 総合的に 達成され る。	授業内容は、実習校の計画に基づく。	実習	実習校の指導教員

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 生徒指導等の研究

担当者: 長友 道彦(福・福)

配当学科: 臨床福祉専攻・スポーツ健康福祉学科(2年)

必修・選択: 教職 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 生徒指導は、学校の教育目標を達成するために重要な機能の一つであり、一人一人の生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、倫理観や正義感などの社会的資質や行動力を高めるように指導・援助するものである。そのために、学校の教育活動全体を通じて、他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を勤めていくために必要な知識・技能や素養を修得する。特に、いじめ防止への早期対応のため生徒理解への認識を深める。また、また、進路指導は子どもが自ら、将来の進路を選択・計画し、その後の生活によりよく適応し、能力を伸長した人間形成を目指す。さらにキャリア教育は、学校で学ぶことと社会との接続を意識し、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むことを目的とする。その目的のために必要な授業改善や体験活動の推進、ガイダンスとカウンセリングの充実、それに向けた学校内外の組織体制に必要な知識や素養を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)進路指導を含む生徒指導の意義と課題について理解を深め、教育課程における生徒指導の位置付けについて説明できる。
 - 2)集団指導と個別指導の方法原理について理解を深め、学校運営と生徒指導について説明できる。
 - 3)教科等教育課程の各場面における生徒指導の在り方について理解を深め、指導力の基礎について説明できる。
 - 4)児童期・青年期の心理と発達について理解を深め、児童生徒理解の基本としての資料収集法について説明できる。
 - 5)全体に対する指導等学校における生徒指導体制について理解し、生徒指導の改善と評価について説明できる。
 - 6)教育相談の意義、相談の進め方等について理解を深め、カウンセラーとしての基礎的素養について説明できる。
 - 7)個々の問題行動について理解を深め、具体的な指導の在り方について説明できる。
 - 8)生徒指導に関する法制について理解を深め、関係機関との連携の在り方について説明できる。
 - 9)進路指導・キャリア教育の位置づけを理解し、組織的な指導体制及び家庭や関係機関との連携の在り方を理解し、説明できる。

評価方法: 筆記試験、授業への参加態度、小テスト、課題の提出状況等総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 予習は、使用する教科書を熟読して語句の意味を調べるのに150分、復習は授業のレジュメの見直しと教科書の再読に90分を充てて行うこと。

オフィスアワー: 研究室前に掲示します。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	生徒指導の意義と原理(1) 生徒指導の意義と課題、教育課程上の位置づけ	講義	長友
2	1)	生徒指導の意義と原理(2) 集団指導・個別指導の方法原理、学校運営と生徒指導	講義	長友
3	1)3)	教育課程と生徒指導(1) 教科及び道徳教育における生徒指導	講義	長友
4	1)3)	教育課程と生徒指導(2) 総合的な学習の時間及び特別活動における生徒指導	講義	長友
5	4)	児童生徒の心理と児童生徒理解(1) 児童生徒理解の基本及び児童期の心理と発達、発達障害の理解	講義	長友
6	4)	児童生徒の心理と児童生徒理解(2) 青年期の心理と発達	講義	長友
7	1)3)4)6)	児童生徒の心理と児童生徒理解(3) 青年期の心理と発達に関する資料の収集、教育相談	講義	長友
8	2)5)	学校における生徒指導体制 生徒指導組織、年間指導計画、安全教育、資料の保管活用等	講義	長友
9	5)	生徒指導の進め方(1) 組織的対応と関係機関との連携、教職員の役割	講義	長友
10	5)	生徒指導の進め方(2) 守秘義務と説明責任、担任指導、校内規律、安全教育	講義	長友
11	1)4)7)	個別の問題を抱える児童生徒の指導(1)	講義	長友

12	1)4)7)	問題行動の早期発見と指導, 喫煙、飲酒、薬物乱用, 少年非行, 暴力	講義	長友
13	1)4)7)	個別の問題を抱える児童生徒の指導(2) いじめ、ネット等のトラブル, 命の教育, 児童虐待, 不登校	講義	長友
14	1)9)	生徒指導に関する法制度等と地域関係機関との連携 校則、懲戒と体罰、青少年保護育成に係る法令等, 学校を中心とした家庭・地域・関係機関等との連携	講義	長友
15	1)9)	進路指導とキャリア教育(1) 中学校における進路指導の意義と方法, キャリア教育の目標と展開	講義	長友
		進路指導とキャリア教育(2) 高等学校における進路指導の意義と方法, キャリア教育の目標と展開		

教科書: 生徒指導提要 (文部科学省) 教育図書株式会社 【978-4-87730-274-0】

参考書: 高等学校学習指導要領解説 総則編 平成21年11月 (文部科学省) 東山書房 【978-4-8278-1480-4】
 中学校学習指導要領解説 総則編 平成20年9月(文部科学省) 株式会社ぎょうせい 【978-4-324-90002-4】
 生徒指導・進路指導の理論と方法 (林尚示 服部伴文 村木晃) 春風社【978-4-86110-355-1】

科目名: **教育実習の研究**

担当者: 橋迫 和幸 (福・ス)

配当学科: スポーツ健康福祉学科(3年)・臨床福祉専攻(3年)

必修・選択: 教職 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: (1)教育実習の意義とねらいについて理解する。
(2)教育実習に向けての心得および礼儀作法について理解する。
(3)これまで教職課程で学んできたことをもとに、教育実習に関わる基礎的事項についての理解を深める。
(4)これまでの学習を踏まえて教師としての自己の在り方を省察し、実習に向けて取り組むべき課題を明確にする。
—これらを通して、これまでの学習を集大成し、教育実習に向けての目的意識を明確にする。

到達目標: (SBOs) 1)教育実習の目的を理解し、教育実習生としての本分と基本的作法について理解している。
2)教職に向けてこれまでに学んできたことの意味を、実践的な視点からとらえ直すことができる。
3)学校で行われている事柄について、実習生の視点からその意義をとらえることができる。
4)指導案の作成や生徒への対応の仕方など、教育実習生としてなすべきことについて具体的に見通しを持つことができる。
5)自己のありようを省察し、教育実習に向けて取り組むべき自己の課題を自覚している。

評価方法: 成績評価は、複数回のレポートの成績をもとに行う。

準備学習・履修上の注意等: (1)1コマ当たり1時間を目安に予習・復習を行うこと。
(2)授業はテキストのほか本学作成の「教育実習の手引き」をもとに進める。次回授業で取り上げるテーマを予め呈示するので、テキストおよび手引きで予習しておくこと。
(3)復習では授業で学んだことを整理し、その観点から教師としての自己の課題を明らかにすること。

オフィスアワー: 時間割が確定後、研究室前に掲示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【教育実習ガイダンス】 教育実習とは何かを理解し、実習に向けて準備すべきことを確認する。	講義	橋迫
2	1)2)5)	【教育実習の意義と課題】 教育実習の目的を理解し、教育実習で取り組むべき課題を確認する。	講義	橋迫
3	1)2)	【教育実習の心得と事前準備】 教育実習に臨む心構えについて理解し、実習までに行うべき事前準備について確認する。	講義	橋迫
4	2)3)	【教育実習に関する基礎的事項(1) 教育課程と学習指導要領】 教育課程編成の意義と目的および学習指導要領の位置づけについて理解を深める。	講義	橋迫
5	2)3)	【教育実習に関する基礎的事項(2) 学校の管理運営と学級経営】 学校の管理運営および学級経営について、これまでに学んできたことを整理し確認する。	講義	橋迫
6	2)3)	【教育実習に関する基礎的事項(3) 生徒理解と生徒指導】 生徒理解と生徒指導について、これまでに学んできたことを整理し確認する。	講義	橋迫
7	2)3)	【教育実習に関する基礎的事項(4) 授業観察の視点と方法】 授業観察の意義と目的を理解し、授業観察の要点について整理を深める。	講義	橋迫
8	3)4)	【教育実習に関する基礎的事項(5) 授業づくりに向けての事前準備】 授業づくりの意義を理解し、授業づくりに向けて準備すべき事柄を確認する。	講義	橋迫
9	3)4)	【教育実習に関する基礎的事項(6) 授業実習の留意点】 授業づくりのための基礎的事項を理解し、指導案作成の手順を確認する。	講義	橋迫
10	3)4)	【教育実習に関する基礎的事項(7) 指導案の作成】 教育実習で担当する教科の模擬指導案を作成し、指導案作成の要点を確認する。	講義	橋迫
11	2)3)	【教育実習に関する基礎的事項(9) 教科以外の教育活動(その1)】 道徳教育、特別活動、総合的な学習の時間に関わる教師の仕事の内容について理解する。	講義	橋迫
12	2)3)	【教育実習に関する基礎的事項(10)教科以外の教育活動(その2)】 人権教育、特別支援教育に関わる教師の仕事の内容について理解する。	講義	橋迫
13	1)5)			

14	5)	【教育実施終了後の対応】 実習校への礼状作成など、実習終了後の対応に関わる礼儀作法について確認する。	講義	橋迫
15	4)5)	【教育実習に向けた省察と課題の確認】 これまでの教職課程の学習を踏まえて自己を省察し、実習に向けた課題を確認する。	講義	橋迫
		【まとめ】 実習までに取り組むべき課題およびスケジュールについて、再確認する。	講義	橋迫

教科書： 教育実習ハンドブック[増補版]（柴田義松・木内剛編著）学文社【ISBN-10:4762023248】

参考書： 教育実習の手引き（九州保健福祉大学教職課程）（非売品）＊授業のさいに配布する。

科目名: 福祉科教育法

担当者: 福永 善秀(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉専攻・動物療法専攻(3年)

必修・選択: 教職 単位数: 4 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 教科「福祉」は、高齢社会の高齢者の問題に対応した専門的人材の育成を目的に設置されています。このような高齢者の問題は介護だけでなく、高齢者が社会の一員として豊かな福祉社会を創造し、これらの人々の生活を支援とすることが必要です。そこで、本授業では、高齢者が社会の一員として豊かな福祉社会を創造する、その基本的要件である豊かな人間性を育て、さらに、福祉社会の創造的な担い手として専門職業人、さらに、福祉分野など即戦力を育て、社会福祉に関する専門的知識および技術を身につけた人材を育てるように工夫する。

到達目標: (SBOs) 1)教科「福祉」の創設とその意義を概説できる。
2)「福祉」の概念・理念と教科「福祉」の構造を理解し、これらの事項を説明できる。
3)学習指導要領における教科「福祉」の全体構造を概説できる。
4)「福祉」の改訂のポイントを説明できる。
5)教科「福祉」の目標を説明できる。
6)教科「福祉」の各科目の内容を概説し、指導の展開の仕方を説明できる。
7)教科「福祉」の科目の指導案を作成し、模擬授業をつうじて授業方法を学ぶ。

評価方法: 筆記試験、課題の提出状況・授業態度を考慮し、評価する。

準備学習・履修上の注意等: 講義は対話形式で進めるので、適切に対応できるようにしてほしい。
1コマにつき4時間程度の予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	教科「福祉」の創設とその意義	講義	福永
2	1)	教科「福祉」の位置づけと「福祉科に関する学科」設置	講義	福永
3	2)	「福祉」の概念・理念と教科「福祉」	講義	福永
4	3)	学習指導要領の根拠法と改訂の変遷	講義	福永
5	3)	最新の学習指導要領の特色と構成	講義	福永
6	3)	学習指導の形態	講義	福永
7	3)	教育課程の編成	講義	福永
8	3)	福祉科の教育課程	講義	福永
9	3)	福祉科の学習指導と評価	講義	福永
10	1)	現代社会に対応した「福祉」の在り方(1):現代社会のニーズと高等学校「福祉」の位置付け	講義	福永
11	2)	現代社会に対応した「福祉」の在り方(2):社会福祉学における教科「福祉」の位置づけ	講義	福永
12	3)	現代社会に対応した「福祉」の在り方(3):教科「福祉」の全体構造	講義	福永
13	4)	現代社会に対応した新しい「福祉」の在り方(4)新しい「福祉」のポイント	講義	福永
14	5)	「福祉」の内容と指導展開(1):目標	講義	福永
15	6)	「福祉」の内容と指導展開(2):社会福祉基礎	講義	福永
16	6)	「福祉」の内容と指導展開(3):介護福祉基礎	講義	福永
17	6)	「福祉」の内容と指導展開(4):コミュニケーション技術	講義	福永
18	6)	「福祉」の内容と指導展開(5):生活支援技術	講義	福永
19	6)	「福祉」の内容と指導展開(6):介護過程	講義	福永
20	6)	「福祉」の内容と指導展開(7):介護総合演習	講義	福永
21	6)	「福祉」の内容と指導展開(8):介護実習	講義	福永

22	6)	「福祉」の内容と指導展開(9):こころとからだの理解	講義	福永
23	6)	「福祉」の内容と指導展開(10):福祉情報活用	講義	福永
24	6)	「福祉」の内容と指導展開(11):指導計画の作成と内容の取り扱い	講義	福永
25	2)	環境保護と社会連帯の教育法	講義	福永
26	2)	戦前・戦後の福祉教育の歴史	講義	福永
27	7)	福祉科科目「社会福祉基礎」の指導案作成方法	講義	福永
28	7)	福祉科科目「社会福祉基礎」の指導案の作成	講義	福永
29	7)	模擬授業	講義・演習	福永
30	7)	模擬授業と福祉科教育法とまとめ	講義・演習	福永

教科書: 高等学校新学習指導要領の展開 福祉科編 (保住 芳美 編著) 明治図書出版 【978-4-18-850919-7】

参考書: 福祉科教育法 (硯川真旬他 編著) ミネルヴァ書房 【4-623-03597-2】
